教　育　要　項

令和７年度

産業医科大学医学部

目　　次

Ⅰ　はじめに ····· 1

Ⅱ　令和７年度　学年暦 ····· 4

Ⅲ　令和７年度　授業科目担当責任者一覧 ····· 6

Ⅳ　教育課程と履修 ····· 9

1　教育研究上の理念 ····· 11

2　教育課程 ····· 11

3　履　　修 ····· 13

4　授　　業 ····· 18

5　試　　験 ····· 20

6　オフィスアワー ····· 21

7　総合教育セミナー ····· 21

8　早期臨床体験実習 ····· 21

9　研究室配属 ····· 22

10　共用試験（CBT・OSCE） ····· 22

11　臨床実習 ····· 22

12　産業医学現場実習 ····· 22

13　Post-CC OSCE ····· 23

14　成績下位の学生に対する Academic Support Program（特別学習指導等） ····· 23

15　合格しなければ原級に留め置かれる試験 ····· 23

16　進級判定・卒業判定に対する異議申し立て制度 ····· 24

17　その他 ····· 24

産業医科大学学則 ····· 28

産業医科大学医学部授業科目の履修の認定方法及び学習の評価・進級に関する規程 ···· 39

産業医科大学医学部における GPA 制度の実施要領 ····· 46

Ⅵ　施設案内図 ····· 49

Ⅶ　授業時間割・授業内容

１　年　次　……　59

２　年　次　……　129

３　年　次　……　181

４　年　次　……　241

５　年　次　……　311

６　年　次　……　327

臨 床 実 習　……　343

メドレーカリキュラム　……　347

はじめに

教務部長

大学設置の目的と教育の基本理念

産業医科大学（医学部）は「産業医学の振興および優れた産業医の養成」という目的のもとに昭和53年(1978年)に設立されました。産業医とは、労働環境と健康や疾病との関係を明らかにし、労働者の健康に寄与する医師です。産業医学の振興は優れた産業医の育成により初めて可能となります。優れた産業医とは社会から必要とされる医師に他なりません。すなわち、十分な意欲・知識・判断力・技術・高い倫理観・教養と豊かな人間性を持ち、患者さん／労働者のケアを行い、患者さん／労働者をより幸せにすることができる医師が社会から必要とされるのです。このような優れた産業医を育成するための教育計画がこの教育要項です。

医学教育の現状と本学の取組み

医学の進歩は目覚ましいものがあり、医学生として修得しなければならない知識および技能は増加の一途をたどっています。また、医師は人間が相手の仕事です。病める人の心に対応する術（礼節・いたわりの心・コミュニケーション能力等）を修得することも極めて重要です。このような状況を踏まえ、2016年度に医学教育モデル・コア・カリキュラムー教育内容ガイドラインーが改訂されました。さらに2022年度の改訂では、社会の状況を的確に把握し、時代の変化や予測困難な事項に多職種と連携、協力しながら柔軟に対応し、生涯にわたって活躍できる医療人を養成することが目標に掲げられ、そのための教育指針が示されました。本学でも、2024年度入学者からこれに沿った医学教育を実施しています。

また、日本の全ての医科大学および大学医学部は、世界医学教育連盟の基準を満たす医学教育プログラムを実施することが求められ、日本医学教育評価機構（JACME）による国際的認証評価を受けることが必要になりました。本学も2023年にこの認証を受けましたが、その基準に準拠した教育を行うため2019年度入学者から新カリキュラムがスタートしています。

教育要項とカリキュラム

上述の背景に基づいて作成されたのが、この教育要項に示されているカリキュラムです。

１．学修目標とコンピテンシー

本教育要項には各教育プログラムのタイトルやその内容・予定および「ねらい」のほか、学生が何をどこまで理解し、行うことができるようになれば良いかという具体的な「学修目標」を示しています。それぞれの「学修目標」はどのコンピテンシーを達成するためのものかが記載されています。さらに「成績評価方法・基準」を示しています。学生は、「事前事後学習の方法」「教科書」「参考書」を参照しながら自律的に学び、その成果(到達度)を自己評価することが求められます。

２．医学教育モデル・コア・カリキュラム（コアカリ）

本教育要項にはプログラムの内容が医学教育モデル・コア・カリキュラムにおいてどの項目に該当するのかを記載してあります（見方はP.3参照)。モデル・コア・カリキュラムの詳細は大学のホームページに掲載していますので、学生はこれを参照することにより各教育プログラムのポイントを具体的に把握し、到達目標を知ることができます。

３．実習教育

座学だけで医学を理解するのは極めて困難です。本学では座学に加えて実習を重要視しています。基礎医学においては、解剖実習に代表されるように実習の重要さは論をまちません。講義と実習の両輪で皆さんの基礎医学の理解が深まることと思います。臨床医学においては、卒業後の臨床能力を伸ばすためにも、実際の臨床に触れて勉学への動機づけを行うためにも臨床実習は重要です。実際の患者さんに向き合って実習を行うに当たり必要最低限の医学知識と臨床技能を修得し、臨床実習を行う資格があるかどうかをテストする「共用試験」が、全国の医科大学

および大学医学部の学生に対して実施されており、本学でも 4 年次生を対象に行います。「共用試験」とは、コンピュータを用いた試験「CBT (Computer Based Testing)」と、客観的臨床能力試験「OSCE (Objective Structured Clinical Examination)」のことです。これに合格した学生には「臨床実習生 (医学)」の認定証が授与され、晴れて臨床実習に参加できることになります。6 年次生では診療参加型臨床実習 (Clinical Clerkship：クリクラ) を行った後に「臨床実習後 OSCE (Post-Clinical Clerkship OSCE)」を行い、卒業時に必要な臨床能力をどの程度修得できているかを評価します。また、医師は国際性や英語能力を身に付けることも重要です。本学では語学教育を低学年で行い、臨床実習において海外の医学校と交換医学教育を行っています。

４．産業医学教育

本学は産業医学の振興と優れた産業医の養成を目的に設置された大学です。このために産業医学関連科目が 1 年次から 6 年次まで組まれています。これらを通して、広い視野と豊かな人間性を備え、労働者の病気予防と健康増進に寄与する産業医の養成を行います。なお、本学卒業者は卒業直後に「産業医学総合実習 (10 時間)」を受講することにより、医師国家試験合格と同時に産業医資格が付与されます。この産業医資格は、他学卒業生とは異なり更新の必要がありません。

５．教育プログラム（講義・実習）への出席について

教育プログラムでは、学生が学ぶべき必要・不可欠な内容を解りやすく教育します。学生が全てのプログラムに出席・参加することを前提に教育プログラムはデザインされています。したがって、教育プログラムを修了したかどうかの判断を試験等により行う場合には、プログラムに一定基準以上出席・参加していることがその受験資格となります。

最後に

皆さんは、厳しい競争を経て本学医学部に入学した優秀な人たちばかりです。皆さんに幸せな医師／産業医になっていただきたいと心から願っています。しかし、日本の医学部に入学した人の3%前後は卒業できないという現実があります。医学部を卒業するためには大学受験よりもはるかに多くの勉強量が必要になります。医師／産業医になれるかどうかは頭脳の明晰さではなく努力です。学問に王道はありません。毎日こつこつと勉強する習慣が極めて大事です。また、将来皆さんが本学で学修した成果を社会に還元し、次世代における産業医学・臨床医学の発展につなぐためには、卒後も生涯にわたって自律的に学び続けることが大切です。そのために、学生のうちから自ら積極的に深く学ぶ「学習力」を身につけ、医学という学問の尊さと面白さを体感してほしいと願っています。

◆ 医師として求められる基本的な資質・能力

医学教育モデル・コア・カリキュラム（令和４年度改訂版）では、「医師として求められる基本的な資質・能力」として、次のとおり定められています。

医師は、医師としての基本的な価値観を備えたうえ、安全で質の高い医療を提供し、また、 医学に新たな知見を積み重ねることができるよう、以下の資質・能力について、生涯にわたって研鑽していくことが求められる。

PR: プロフェッショナリズム (Professionalism)
人の命に深く関わり健康を守るという医師の職責を十分に自覚し、多様性・人間性を尊重し、利他的な態度で診療にあたりながら、医師としての道を究めていく。

GE: 総合的に患者・生活者をみる姿勢 (Generalism)
患者の抱える問題を臓器横断的に捉えた上で、心理社会的背景も踏まえ、ニーズに応じて柔軟に自身の専門領域にとどまらずに診療を行い、個人と社会のウェルビーイングを実現する。

LL: 生涯にわたって共に学ぶ姿勢 (Lifelong Learning)
安全で質の高い医療を実践するために絶えず省察し、他の医師・医療者と共に研鑽しながら、生涯にわたって自律的に学び続け、積極的に教育に携わっていく。

RE: 科学的探究 (Research)
医学・医療の発展のための医学研究の重要性を理解し、科学的思考を身に付けながら、学術・研究活動に関与して医学を創造する。

PS: 専門知識に基づいた問題解決能力 (Problem Solving)
医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。

IT: 情報・科学技術を活かす能力 (Information Technology)
発展し続ける情報化社会を理解し、人工知能等の情報・科学技術を活用しながら、医学研究・医療を実践する。

CS: 患者ケアのための診療技能 (Clinical Skills)
患者の苦痛や不安感に配慮し、確実で信頼される診療技能を磨き、患者中心の診療を実践する。

CM: コミュニケーション能力 (Communication)
患者及び患者に関わる人たちと、相手の状況を考慮した上で良好な関係性を築き、患者の意思決定を支援して、安全で質の高い医療を実践する。

IP: 多職種連携能力 (Interprofessional Collaboration)
医療・保健・福祉・介護など患者・家族に関わる全ての人々の役割を理解し、お互いに良好な関係を築きながら、患者・家族・地域の課題を共有し、関わる人々と協働することができる。

SO: 社会における医療の役割の理解 (Medicine in Society)
医療は社会の一部であるという認識を持ち、経済的な観点・地域性の視点・国際的な視野なども持ちながら、公正な医療を提供し、健康の代弁者として公衆衛生の向上に努める。

◆ 各授業科目の「コアカリ（医学教育モデル・コア・カリキュラム）項目」の見方

年月日	曜日	時限	授　業　項　目（内　容）	コアカリ項目				担　当　者
				第1層	第2層	第3層	第4層	
R7.4.1	火	1･2	はじめに(微生物と感染症)	PS PS SO	01 03 01	03 03 03	01, 15 16 06	齋藤　光正

その授業項目（内容）が、「コアカリ」のどの学修目標に該当するかを、項目番号で示しています。
（学修目標は、第１層-第２層-第３層-第４層（例：PS-01-03-01）という形式で記載されています。）
この例では、『はじめに（微生物と感染症)』の授業は、「コアカリ」の以下の学修目標に該当します。

PS-01-03-01 原核生物としての細菌の構造と機能の違いについて真核生物と比較して理解している。
PS-01-03-15 微生物感染症に対するワクチンの原理、種類とそれに対する問題点について理解している。
(PS-01: 基礎医学／PS-01-03: 個体の反応)
PS-03-03-16 ワクチン予防可能な疾患について理解している(表 1)。
(PS-03: 全身に及ぶ生理的変化、病態、診断、治療／PS-03-03: 感染症(表 2-18))
SO-01-03-06 学校保健安全法、学校医の役割、学校感染症等、学校保健の意義と概要を理解している。
(SO-01: 社会保障／SO-01-03: 地域保健)

「医学教育モデル・コア・カリキュラム（令和４年度改訂版)」は、本学ホームページ上で閲覧可能です。
各授業項目（内容）が、「コアカリ」のどの学修目標に該当するかを、「第２章 学修目標」で確認してください。
【 産業医科大学トップページ ＞ 学生生活 ＞ 医学部 ＞ 医学教育モデル・コア・カリキュラム 】

令和7年度　医学部　学年暦

【前学期】

は、授業期間　　は、試験期間

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30		
		火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水		入学式　4/3
4月	1			入学式	オリ		2							3							4							5	開学記念日	昭和の日			新入生オリエンテーション　4/4 授業開始　1年　4/7
	2						W							W							W							W					2～6年　4/1
	3																																
	4																																5年　模擬試験　4/30
	5	臨床実習 11						臨床実習 12							臨床実習 13							臨床実習 14											
	6	臨床実習 51						臨床実習 52							臨床実習 53							臨床実習 54											

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
		木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	
5月	1			憲法記念日	みどりの日 6W	こどもの日	振替休日					7							8							9								
	2																																
	3																																
	4											W							W							W							
	5	臨床						実習 15							臨床実習 16							臨床実習 17							臨床実習 18			
	6	臨床						実習 55							臨床実習 56							臨床実習 57							臨床実習 58			

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30		
		日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月		3年　研究室配属　6/23～9/29
6月	1																																
	2	10						11							12							13							14				
	3																							研究室配属							研		
	4	W						W							W							W							W				
	5	臨床実習 19						臨床実習 20							臨床実習 21							臨床実習 22							臨			
	6	臨床実習 59						臨床実習 60							臨床実習 61							臨床実習 62							臨			

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
		火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	3年　Post-CC OSCE模擬患者　7/26
7月	1																																4年　CBT模擬試験　7/22
	2						15							16							17							18					
	3	研究室配属						研究室配属							研究室配属							海の日	研究室配属				模擬患者			研究室配属			6年　模擬試験Ⅰ　7/7、8 Post-CC OSCE　7/25、26
	4						W							W							W							W					
	5	床実習 23						臨床実習 24							臨床実習 25								臨床実習 26						臨床実習 予備			
	6	床実習 63																											夏期特別学習指			

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
		金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	
8月	1																																夏季休業
	2			19							20	山の日						21						22						23		1～4年　8/1～31
	3																																5～6年　8/4～15
	4			W							W							W							W							W	
	5	日																	臨床実習 27							臨床実習 28							
	6	導																															

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30		
		月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火		3年　基礎総合試験Ⅲ　9/1
9月	1																																5年　産業医学Ⅴ （産業医学シミュレーション実習） 9/29～10/3
	2							24							25	敬老の日						26		秋分の日					1				
	3		研究室配属						研究室配属								研究室配属						研		究室配					属			
	4							W							W							W							W				
	5	臨床実習 29							臨床実習 30								臨床実習 31						臨		床実習32					産業			6年　Post-CC OSCE 予備日　9/19、20
	6																																

令和7年度　医学部　学年暦

【後学期】

■ は、授業期間　　▨ は、試験期間

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
		水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
10月	1													スポーツの日																		大学祭準備
	2					2							3							4	早期臨床体験実習Ⅱ						5					
	3					W							W							W							W					
	4																															
	5	医学 V					臨床実習 33								臨床実習 34						臨床実習 35							臨床実習 36				
	6																															

5年　産業医学Ⅴ（産業医学シミュレーション実習）9/29～10/3

6年　総合試験Ⅰ　10/14、15

2年　早期臨床体験実習Ⅱ 10/20～24

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
		土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	
11月	1	大学祭	大学祭	文化の日・大学祭	後片付け					7							8					*	※	勤労感謝の日	振替休日						10	
	2		6																					9								
	3		W							W							W							W							W	
	4																															
	5				臨床実習 37						臨床実習 38																		進路説明			
	6																															

大学祭　11/1～3

4年　OSCE　11/5、6

CBT　11/18

5年・6年　総合試験Ⅱ　11/26、27

5年　医学部進路説明会　11/28

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
		月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水
12月	1	早期臨床体験実習Ⅰ																														
	2							11							12							13							14			
	3		*	※																												
	4							W							W						電カル説明	W				オリ			W			
	5	産業医学Ⅴ							臨床実習 39							臨床実習 40							臨床実習 予備日									
	6																						冬季特別学習指導									

1年　早期臨床体験実習Ⅰ 12/1～5

5年　産業医学Ⅴ（産業医学現場実習）12/1～5

4年　電子ｶﾙﾃ操作説明会　12/20

4年　臨床実習ｵﾘｴﾝﾃｰｼｮﾝ　12/25

冬季休業

1～6年　12/29～1/4

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
		木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
1月	1	元旦											成人の日				*															
	2																															
	3															早期臨		※	※	床体験実習Ⅲ												
	4				15	臨床実習 1						16		臨床実習 2						17	臨床実習 3						18	臨床実習 4					
	5				W	臨床実習 41						W		臨床実習 42						※	臨床実習 43						W	臨床実習 44					
	6																															

3年　早期臨床体験実習Ⅲ 1/16～22

卒業者発表　1月中旬

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	
		日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	
2月	1																													
	2	19					*		20			建国記念の日											22	天皇誕生日						
	3							*	※																					
	4	W	臨床実習 5						W	臨床		実習 6				21	臨床実習 7						W	臨床実習 8						
	5		臨床実習 45							臨床		実習 46				W	臨床実習 47							臨床実習 48						
	6																													

1年　基礎総合試験Ⅰ　2/2

2年　基礎総合試験Ⅱ　2/3

2月上旬　医師国家試験

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
		日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
3月	1																															
	2	23							24			*	※			25					春分の日		26							27		
	3																															
	4	W	臨床実習 9						W	臨床実習 10						W							W							W		
	5		臨床実習 49																													
	6			卒業式																												

進級発表　3月下旬

卒業式　3/3

春季休業

1～5年　3/16～

◎ 入学試験日（※）及び準備日程（＊）

総合型選抜入試 … 11/21、11/22　学校推薦型選抜 … 12/2、3　大学入学共通テスト … 1/16～18

一般選抜（個別学力検査） … 2/6～8　一般選抜（面接・小論文） … 3/11、12

令和7年度　医学部　授業科目担当責任者一覧

授業科目	開講年次	担当講座等名	科目担当責任者	
心理学	1	産業精神保健学	教授	江口　尚
人間関係論	1	人間関係論	講師	種田博之
哲学概論	1	哲学概論	准教授	樫本直樹
数学概論	1	数学概論	准教授	鳥巣伊知郎
医学英語Ⅰ	1	英語	准教授	田中公介
医学英語Ⅱ	2			
※医学概論Ⅰ	1	（医学部長）		
※医学概論Ⅱ	2			
※医学概論Ⅲ	3			
※医学概論Ⅳ	4			
総合教育セミナー	1	（1年次教育小委員会委員長）		
病の文学	1	哲学概論	准教授	樫本直樹
英語運用論（TOEIC入門）	1	英語	准教授	田中公介
法学概論	1		非常勤講師	清水裕一郎
経済学入門	1		非常勤講師	豊田高輔
自然科学思想史	1	医科物理学	教授	門野敏彦
医療統計学	1	数学概論	准教授	鳥巣伊知郎
生命科学・環境科学概論	1	（RI研究センター）	教育教授	馬田敏幸
比較動物医学	1	（動物研究センター）	准教授	川田耕司
医療社会学	1	人間関係論	講師	種田博之
医用工学入門	1	リハビリテーション医学	教授	佐伯　覚
先端医科学講釈	1	（医学教育改革推進センター長）		
ドイツ語	1		非常勤講師	進藤良太
フランス語	1		非常勤講師	コモン・ティエリ
医科物理学	1	医科物理学	教授	門野敏彦
生体物質化学	1	生体物質化学	教授	森　誠之
細胞生物学	1	（教務部長）		
医学基礎実験	1	生体物質化学	教授	森　誠之
※情報統計学	1	（医学部長）		
救急蘇生法	1	救急・集中治療医学	教授	尾崎将之
臨床医学入門	1	（診療参加型臨床実習小委員会委員長）		
医療職概論	1	（1年次教育小委員会委員長）		
人体発生学	2	第2解剖学	教授	森本景之
※系統解剖学総論	1	（医学部長）		
※系統解剖学各論	2			
組織解剖学総論	1	第2解剖学	教授	森本景之
組織解剖学各論	2			

授業科目	開講年次	担当講座等名	科目担当責任者	
生理学（動物性機能）	2	第1生理学	教授	丸山　崇
生理学（植物性機能）	2			
医化学	1	生化学	准教授	日笠弘基
分子生物学	1	分子生物学	教授	遠藤元誉
薬理学	2	薬理学	教授	高橋富美
基礎病理学	2	◎第1病理学 第2病理学	教授	久岡正典
臨床病理学	3	第1病理学	教授	久岡正典
病態病理学	3	第2病理学	教授	中山敏幸
免疫学・寄生虫学	2	免疫学・寄生虫学	教授	長田良雄
微生物学	2	微生物学	教授	齋藤光正
衛生学	2	衛生学	教授	辻　真弓
※公衆衛生学	3	（医学部長）		
法医学	3	法医学	教授	佐藤寛晃
研究室配属	3	（3年次教育小委員会委員長）		
※第1内科学総論	3	（医学部長）		
※第1内科学各論	4			
第2内科学総論	3	第2内科学	教授	片岡雅晴
第2内科学各論	4			
第3内科学総論	3	第3内科学	教授	原田　大
第3内科学各論	4			
呼吸器内科学総論	3	呼吸器内科学	教授	矢寺和博
呼吸器内科学各論	4			
神経内科学総論	3	神経内科学	教授	足立弘明
神経内科学各論	4			
精神医学総論	3	精神医学	教授	吉村玲児
精神医学各論	4			
小児科学Ⅰ	3	小児科学	教授	深野玲司
小児科学Ⅱ	4			
第1外科学総論	3	第1外科学	教授	平田敬治
第1外科学各論	4			
第2外科学総論	3	第2外科学	教授	田中文啓
第2外科学各論	4			
心臓血管外科学	4	心臓血管外科学	教授	西村陽介
脳神経外科学総論	3	脳神経外科学	教授	山本淳考
脳神経外科学各論	4			
整形外科学総論	3	整形外科学	教授	酒井昭典
整形外科学各論	4			
皮膚科学	3	皮膚科学	教授	澤田雄宇

授業科目		開講年次	担当講座等名	科目担当責任者	
泌尿器科学総論		3	泌尿器科学	教授	柏木英志
泌尿器科学各論		4			
眼科学		4	眼科学	教授	近藤寛之
耳鼻咽喉科・頭頸部外科学		4	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	教授	堀龍介
産科学		3	産科婦人科学	教授	吉野潔
婦人科学		4			
放射線科学		4	放射線科学	教授	青木隆敏
麻酔科学		4	麻酔科学	教授	堀下貴文
リハビリテーション医学		4	リハビリテーション医学	教授	佐伯覚
救急医学		4	救急・集中治療医学	教授	尾崎将之
※血液内科学総論		3	（医学部長）		
※血液内科学各論		4			
歯科・口腔外科学		3	歯科・口腔外科	准教授	宮脇昭彦
※総合診療医学		4	（医学部長）		
※臨床検査医学		4			
※遺伝子診断・治療学		4			
医のプロフェッショナリズム		4	（診療参加型臨床実習小委員会委員長）		
臨床診断学		4	（共用試験・教育小委員会委員長）		
症候論統合講義		6	（総合試験・国家試験対策小委員会委員長）		
早期臨床体験実習Ⅰ		1	（早期臨床体験実習小委員会委員長）		
早期臨床体験実習Ⅱ		2			
早期臨床体験実習Ⅲ		3			
臨床実習		4	（診療参加型臨床実習小委員会委員長）		
		5			
		6			
産業医学教育統括責任者			副学長（教育研究担当）		堀江正知
産業医学科目	産業医学Ⅰ	1	（産業生態科学研究所 所長）		
	産業医学Ⅱ（労働衛生一般、放射線衛生）	2			
	産業医学Ⅲ（作業環境管理、作業管理、有害業務管理）	3	衛生学	教授	辻真弓
	産業医学Ⅳ※（健康管理、メンタルヘルス、健康の保持増進対策）	4	（医学部長）		
	産業医学Ⅴ（産業医学現場実習、産業医学シミュレーション実習）	5	（産業医学教育小委員会委員長）		
	産業医学Ⅵ（治療と職業生活の両立支援）	6	（就学・就労支援センターセンター長）		

◎複数講座で担当する科目の科目担当責任者の所属講座

※の科目については、担当講座等の後任教授等が就任次第、当該科目の科目担当責任者とする。

教育課程と履修

教育課程と履修

1　教育研究上の理念

働く人々の健康と環境に医学の眼でアプローチする産業医は、産業の発展と活性化を支える意味からも、21 世紀において極めて重要な役割を担っています。医学部では、医学を産業社会の中でより深く、より広い視野から考えることのできる人間性豊かな産業医を養成します。

2　教育課程

（1）カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

医学部医学科では、医学を産業社会の中でより深く、より広い視野から考えることのできる人間性豊かな産業医及び産業医学・産業保健の発展に寄与する医師を養成します。

これらの目標を達成するために、次のような教育課程を編成し、実施します。カリキュラムは、モデル・コア・カリキュラムを踏まえた医学教育と本学の特徴である産業医学教育に加え、人文社会系科目、医学概論及び研究室配属などの独自の内容で構成しています。

① 総合教育・医学基礎教育

幅広い教養と高い倫理観をもつ豊かな人間性を培い、社会人としての素養を身につける内容とし、高等学校教育から大学教育・医学教育へと接続・連携する教育を行います。また、早期臨床体験実習等を通じて、患者との接し方や医師のプロフェッショナリズムの素地を作ります。さらに、将来国際人として活躍する医師にとって必要な英語教育は、医学的色彩の濃い医学英語として実施します。

② 基礎医学教育

各授業科目間のみならず臨床医学との統合を図り、臨床医学の学修に必要な専門知識を学び、基礎学力を修得する内容とします。また、研究室配属では、科学的思考力、自主学習能力、問題解決能力等を学修し、科学研究における考え方や手法を学び、研究成果の発表を行います。

③ 臨床医学教育

講義、実習を通じて患者との相互理解の大切さを学び、疾病・病態を系統的に理解し、臨床における基本的知識・技能・態度を身につける内容とします。1 年次から早期臨床体験実習を行い、高学年ではすべての臨床講座を網羅した臨床実習を大学病院において実施するとともに、大学病院及び関連・協力病院において診療参加型臨床実習を行い、臨床的知識を深め実践的技能と臨床推論能力を修得します。さらに、海外医学部との相互交流で留学生とともに臨床実習を行い、国際的視野を広げることを目指します。

④ 産業医学教育

1 年次から 6 年次の各学年にわたり、産業医学を系統的・段階的に学修し、産業保健活動に必要な専門的知識と技能を修得する内容とします。5 年次には学外の事業場等において産業医の指導の下で現場実習を行い、産業保健活動で実践できる能力を身につけます。これらにより、初期臨床研修開始前に産業医の資格を取得できる内容とします。

⑤ 少人数対話型教育

多くの講義及び実習において少人数対話型教育を実施し、問題解決能力、論理的思考力・コミュニケーション能力を涵養します。

⑥　学修達成度の判定

1年次から3年次に基礎総合試験、4年次に共用試験（CBT・OSCE)、5年次に総合試験(Ⅱ)、6年次に総合試験（Ⅰ・Ⅱ）及びPost-CC OSCEを実施し、学年ごとに学修の達成度を判定します。

（2）特色

各学科目は「総合教育」、「医学基礎」、「基礎医学」、「臨床医学」及び「産業医学」の5区分に分類されます。

① 「総合教育」教育は大学生として必要な教養教育を行うとともに、基本的な学習習慣を身につけさせることを目的とします。また、医学的色彩の濃い教育内容を取り入れ医学学習への動機づけを行います。

② 「医学基礎」教育は高等学校教育から医学教育への橋渡し的役割を担った内容とします。

③ 「基礎医学」教育は各授業科目間のみならず臨床医学との関連を統合、強化し、正常構造、正常機能及び病態を理解させ、臨床医学学習に必要な学力を身につけさせることを目的とします。

④ 「臨床医学」教育として、まず1年次から3年次に早期臨床体験実習を実施し、3、4年次に臨床系統講義を行います。4年次後学期にCBTとOSCEを実施後、6年次前学期まで臨床実習を実施し、臨床実習終了後は臨床研修開始時に必要な臨床能力を評価するために、Post-CC OSCEを実施します。

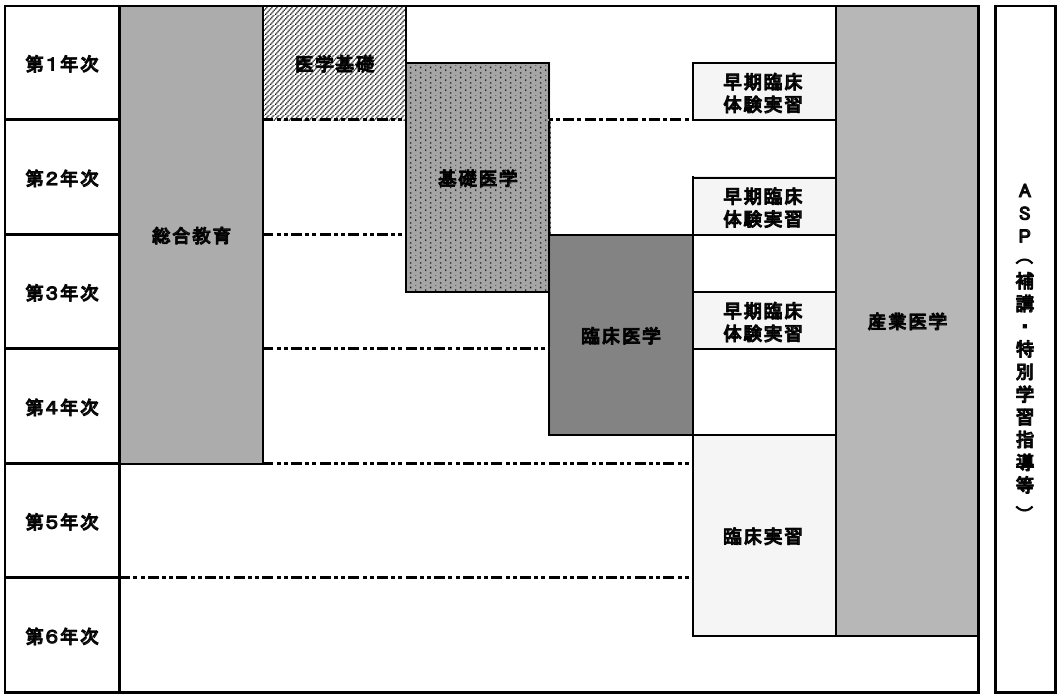
その他、6年次では基礎医学と連携した症候論統合講義を行います。

⑤ 「産業医学」教育を1年次から6年次の各学年にわたり系統的に実施します。特に5年次に学外の企業で行う産業医学現場実習を重要視し、産業医学教育を段階的に発展させて本学の設置目的を具現化します。

産業医資格の取得について

本学医学部の卒業生は、医師国家試験に合格すると産業医の資格を取得することができます。
ただし、卒業直後に大学で実施する10時間の「産業医学総合実習」の受講が必要です。

＜教育課程概略図＞



３　履修

（１）卒業の要件

産業医科大学学則（以下、「学則」といいます。）で定められた卒業の要件は、「下表に定める必修科目 7,043 時間、選択科目 120 時間以上を学則のとおりに履修し、その修了の認定を受け、かつ、総合試験及び Post-CC OSCE に合格すること」です。（学則第 26 条参照）

区　　分	卒業の要件
総合教育科目	必修　473　時間 選択　120　時間　以上
医学基礎科目	必修　334　時間
基礎医学科目	必修　1,810　時間
臨床医学科目	必修　4,180　時間
産業医学科目	必修　246　時間
計	7,163　時間

▲　学年制について

本学医学部では、いわゆる「学年制」を採用しています。

次の年次に進級できなかった場合、翌年度においてその年次の全科目（履修の認定を受けた総合教育の授業科目を除く）を再履修し、履修の認定を受けなければなりません。

また、進級できなかった年次が 1 年次から 3 年次の場合は基礎総合試験を、4 年次の場合は共用試験（CBT・OSCE）を、5 年次の場合は総合試験（Ⅱ）を、6 年次の場合は総合試験（Ⅰ・Ⅱ）及び Post-CC OSCE を再受験し、合格しなければなりません。（産業医科大学医学部授業科目の履修の認定方法及び学習の評価･進級に関する規程（以下「履修規程」という。）第 13 条参照）

（２）履修区分

授業科目は、履修上の区分として必修、選択の 2 つに分けられます。その他、大学が必要と認めた者には Academic Support Program（ASP）を行います。

①　必修科目

各年次において必ず履修しなければならない授業科目です。ほぼ全ての授業科目が必修科目となっています。

②　選択科目

総合教育の中に 13 の選択科目が設けられており、合計 120 時間以上を履修しなければなりません。

※　ASP とは・・・主に夏季休業期間や春季休業期間等に対象者の学力向上を支援するために実施する特別学習指導をいい、対象者は必ず参加する必要があります。

（３）履修の届出

選択科目においては、定められた期間内に、履修する科目の「履修届」を教務課に提出しなければなりません。

（4）履修の認定

履修の認定に当たっては、授業科目ごとに担当教員が試験、レポート、出席状況及び受講態度等により総合的に合格・不合格を判定します。正課外教育における出席状況・評価結果等も判定に考慮します。成績評価基準・方法は授業科目ごとに明示されています。

「判定基準」は、次のとおりです。なお、総合試験などの講義が行われないものは、それぞれの合格基準に則り判定されます。

合　　格	100 点から 60 点
不　合　格	59 点以下

（5）評価

履修の評価は、A、B、C、D及びFの5段階に区分して行い、それぞれの評価にＧＰ(Grade Point)を付与します。その評価基準は次のとおりです。(学則第 18 条、履修規程第 5 条、ＧＰＡ制度の実施要領第 2 条参照)

評価	A	B	C	D	F
成績	100 点から 90 点	89 点から 80 点	79 点から 70 点	69 点から 60 点	59 点以下
ＧＰ	4	3	2	1	0

（6）進級（履修規程第 12 条）

① 進級する者

各年次末において次表の授業科目の履修の認定がなされ、かつ、1 年次から 3 年次においては基礎総合試験、4 年次においては共用試験（CBT・OSCE)、5 年次においては総合試験（Ⅱ)、6 年次においては総合試験（Ⅰ・Ⅱ）及び Post-CC OSCE に合格した者を、次の年次に進級又は卒業させます。

② 原級に留め置かれる者（いわゆる留年)

（ア）各年次末において次表の授業科目の履修の認定がなされず、又は 1 年次から 3 年次において基礎総合試験、4 年次において共用試験（CBT・OSCE)、5 年次において総合試験（Ⅱ)、6 年次において総合試験（Ⅰ・Ⅱ）及び Post-CC OSCE に合格しない者は、進級が認められず原級に留め置かれます。

（イ）履修の評価を受ける資格（講義については実授業時間の 3 分の 2 以上、実験、実技又は実習については実授業時間の 4 分の 3 以上の出席）を有しない科目が 1 科目でもある者は、原級に留め置かれます。

（ウ）試験に関し不正行為があったと認められた者は、その試験は無効となり、原級に留めます。

（エ）（ア)、（イ）及び（ウ）により原級に留められた者は、翌年度においてその年次の全科目（履修の認定を受けた総合教育の授業科目を除く）を再履修し、履修の認定を受けなければなりません。また、進級できなかった年次が 1 年次から 3 年次の場合は基礎総合試験を、4 年次の場合は共用試験（CBT・OSCE）を、5 年次の場合は総合試験（Ⅱ）を、6 年次の場合は総合試験（Ⅰ・Ⅱ）及び Post-CC OSCE を再受験し、合格しなければなりません。

③ 除籍

同一年次に 2 年在学し、なお進級又は卒業できないときや、第 2 年次までに 3 年在学し、なお進級できないときは、除籍されます。(学則第 25 条及び履修規程第 14 条参照)

年次	履修又は合格の認定がなければ原級に留め置かれる授業科目及び試験
1	心理学、人間関係論、哲学概論、数学概論、医学英語Ⅰ、医学概論Ⅰ、総合教育セミナー、（病の文学、英語運用論（ＴＯＥＩＣ入門）、法学概論、経済学入門、自然科学思想史、医療統計学、生命科学・環境科学概論、比較動物医学、医療社会学、医用工学入門、先端医科学講釈、ドイツ語、フランス語)のうち選択した科目の履修時間合計数は 120 時間以上、医科物理学、生体物質化学、細胞生物学、医学基礎実験、情報統計学、救急蘇生法、臨床医学入門、医療職概論、系統解剖学総論、組織解剖学総論、医化学、分子生物学、早期臨床体験実習Ⅰ、産業医学Ⅰ、基礎総合試験Ⅰ
2	医学英語Ⅱ、医学概論Ⅱ、人体発生学、系統解剖学各論、組織解剖学各論、生理学（動物性機能）、生理学（植物性機能）、薬理学、基礎病理学、免疫学・寄生虫学、微生物学、衛生学、早期臨床体験実習Ⅱ、産業医学Ⅱ（労働衛生一般、放射線衛生）、基礎総合試験Ⅱ
3	医学概論Ⅲ、臨床病理学、病態病理学、公衆衛生学、法医学、研究室配属、第１内科学総論、第２内科学総論、第３内科学総論、呼吸器内科学総論、神経内科学総論、精神医学総論、小児科学Ⅰ、第１外科学総論、第２外科学総論、脳神経外科学総論、整形外科学総論、皮膚科学、泌尿器科学総論、産科学、血液内科学総論、歯科・口腔外科学、早期臨床体験実習Ⅲ、産業医学Ⅲ（作業環境管理、作業管理、有害業務管理）、基礎総合試験Ⅲ
4	医学概論Ⅳ、第１内科学各論、第２内科学各論、第３内科学各論、呼吸器内科学各論、神経内科学各論、精神医学各論、小児科学Ⅱ、第１外科学各論、第２外科学各論、心臓血管外科学、脳神経外科学各論、整形外科学各論、泌尿器科学各論、眼科学、耳鼻咽喉科・頭頸部外科学、婦人科学、放射線科学、麻酔科学、リハビリテーション医学、救急医学、血液内科学各論、総合診療医学、臨床検査医学、遺伝子診断・治療学、医のプロフェッショナリズム、臨床診断学、臨床実習、産業医学Ⅳ（健康管理、メンタルヘルス、健康の保持増進対策）、共用試験（CBT・OSCE）
5	臨床実習、産業医学Ⅴ（産業医学現場実習、産業医学シミュレーション実習）、 総合試験（Ⅱ）
6	臨床実習、症候論統合講義、産業医学Ⅵ（治療と職業生活との両立支援）、総合試験（Ⅰ・Ⅱ）、Post-CC OSCE

（7）ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

医学部医学科では、「医学及び看護学その他の医療保健技術に関する学問の教育及び研究を行い、労働環境と健康に関する分野におけるこれらの学問の振興と人材の育成に寄与する」という本学の目的及び使命を理解し、本学が規定する修業年限以上の在学のもと、医師として必要な知識・技能・態度を修得するとともに、次に示す豊かな人間性と倫理性、科学的能力を備え、産業医学分野の研究及び産業保健の実務において中心的かつ指導的役割を担う資質と能力を身につけ、卒業に必要な時間数を修得し、その修了の認定を受け、かつ、総合試験及びPost-CC OSCEに合格した者に卒業の認定を行い、学士（医学）の学位を授与します。

① 人間性・医療倫理・プロフェッショナリズム

医師としてふさわしい豊かな人間性を身につけるとともに、その職責を自覚し、倫理観・使命感・責任感を持って、社会に貢献することができる。

② 医学的知識・技能

医師としての業務を行うために必要な基礎医学・社会医学・臨床医学に関する基本的知識と技能を修得し、疾病の予防、診断と治療、研究に活用することができる。

③　産業医学的知識・技能

産業医学の使命及び産業保健の意義を理解し、産業医学の研究及び産業保健の実務において中心的かつ指導的役割を担う医師としての必要な専門的知識と技能を修得し、実践することができる。

④　患者及び働く人への適切な対応能力

医師としての信頼を得られる思考と態度を身につけ、患者及び働く人の尊厳・意思を尊重して相互理解と信頼のもとに適切な対応ができる。また、治療と職業生活の両立支援に関する専門的知識を修得し、疾病の予防、診断、治療及び社会復帰に関して適切かつ総合的に判断することができる。

⑤　科学的探究心・問題解決能力

医学及び産業医学における研究の意義を理解し、科学的な観察力・思考力・表現力を修得し、生涯にわたり自己研鑽を続ける意欲を持ち、自ら問題を解決することができる。

⑥　コミュニケーション能力

患者、働く人及びそれらに関わる人たちと良好な人間関係を築き、適切な情報交換共有、説明伝達を行うことができる。また、多職種の医療チーム内で信頼関係を築き、チームの一員として行動することができる。

⑦　国際保健

国際的な視野を持ち、将来、産業医学分野における国際保健に貢献することができる。

（8）コンピテンス、コンピテンシー

ディプロマ・ポリシーの項目である「学生が卒業時に修得すべき主要な能力」を「コンピテンス」として設定し、各コンピテンスの要素である「具体的な到達目標」を「コンピテンシー（観察可能な能力）」として設定しています。

この教育要項の各授業項目にある「学修目標」が、以下に示すどのコンピテンス、コンピテンシーに対応しているか、その番号が付されています。

Ⅰ．人間性・医療倫理・プロフェッショナリズム

産業医科大学医学部の学生は、卒業時に医師としてふさわしい豊かな人間性を身につけるとともに、その職責を自覚し、倫理観・使命感・責任感を持って、社会に貢献することができる。

1. 医師として倫理的問題を理解し、倫理的原則に基づいて行動できる。
2. 医師として法的責任、規則を遵守できる。
3. 患者、社会、医療者に対して説明責任を果たすことができる。
4. 医師としての自尊心と生涯にわたり自己研鑽に努める姿勢を持ち続けることができる。
5. 常に自己を評価・管理し、自分の知識、技能、行動に責任を持つことができる。

Ⅱ．医学的知識・技能

産業医科大学医学部の学生は、卒業時に医師としての業務を行うために必要な基礎医学・社会医学・臨床医学に関する基本的知識と技能を修得し、疾病の予防、診断と治療、研究に活用することができる。

修得すべき項目

1. 正常構造と機能
2. 遺伝、発生
3. 発達、成長、加齢、死
4. 心理、行動
5. 病因、構造と機能の異常

6. 診断、治療
7. 救急医療
8. 産業保健
9. 医療安全
10. 感染対策
11. 疫学、予防、公衆衛生
12. 保健・医療・福祉制度
13. 医療経済
14. 医療情報管理・個人情報保護

Ⅲ. 産業医学的知識・技能

産業医科大学医学部の学生は、卒業時に産業医学の使命及び産業保健の意義を理解し、産業医学の研究及び産業保健の実務において中心的かつ指導的役割を担う医師としての必要な専門的知識と技能を修得し、実践することができる。

1. 労働条件と労働環境に関連する健康障害の予防、働く人の健康の保持増進、並びに福祉の向上に寄与し、働く人及び事業者に適切な教育を行うことができる。
2. 働く人及び事業者との円滑な意思疎通を図り、他の専門職とも協力して、職場の環境改善、働く人の健康増進にとりくむことができる。
3. 職務上知りえた企業秘密、働く人の健康情報を管理し、プライバシーを保護することができる。
4. 集団の健康管理及び組織体の健全な運営の推進を産業医の視点から総合的に判断することができる。
5. 地域環境・地球環境に配慮し、必要に応じて事業者に対し改善を要請する。

Ⅳ. 患者及び働く人への適切な対応能力

産業医科大学医学部の学生は、卒業時に医師としての信頼を得られる思考と態度を身につけ、患者及び働く人の尊厳・意思を尊重して相互理解と信頼のもとに適切な対応ができる。

また、治療と職業生活の両立支援に関する専門的知識を修得し、疾病の予防、診断、治療及び社会復帰に関して適切かつ総合的に判断することができる。

1. 患者との良好な関係を構築し、患者から的確に病歴を聴取することができる。
2. 基本的な身体診察を行い、所見を認識できる。
3. 診療録についての基本的な知識を修得しPOS (Problem-Oriented System)を用いて診療録を記載できる。
4. 患者の病歴、診察所見から、臨床推論により適切な鑑別診断を行うことができる。
5. EBM (Evidence-Based Medicine)に基づいて診断し、適切な治療計画を立てることができる。
6. 医療文書を適切に作成できる。
7. 医療安全について理解し、実践できる。
8. 患者とその関係者の心理･社会的背景を理解し、患者に必要な病状説明を行い、患者の意思決定を尊重し対応できる。
9. 患者教育に参加できる。
10. 医療制度、社会福祉制度、医療経済を正しく理解し診療を実践できる。
11. 地域社会において、プライマリーケアの実践、疾病予防、健康増進、安全確保のための活動に参加できる。

Ⅴ．科学的探究心・問題解決能力

産業医科大学医学部の学生は、卒業時に医学及び産業医学における研究の意義を理解し、科学的な観察力・思考力・表現力を修得し、生涯にわたり自己研鑽を続ける意欲を持ち、自ら問題を解決することができる。

1. 未解決の医学的、科学的問題を発見することができ、その解決方法を科学的に考案することができる。
2. 医学・医療の発展のための医学研究の持つ社会的意義を理解している。
3. 研究倫理に関する基本的な知識及び医学研究に必要な基礎的な技術を身につけ、研究に関する法並びに倫理指針を遵守した研究活動を遂行できる。
4. 実験結果について論理的に考察し、研究発表や論文作成を行うことができる。
5. 最新の医学情報を収集し、論理的、批判的に評価し、正しく応用できる。

Ⅵ. コミュニケーション能力

産業医科大学医学部の学生は、卒業時に患者、働く人及びそれらに関わる人たちと良好な人間関係を築き、適切な情報交換共有、説明伝達を行うことができる。

また、多職種の医療チーム内で信頼関係を築き、チームの一員として行動することができる。

1. 患者とその家族の個人的背景、文化、社会的背景を理解し、傾聴、共感、理解、支持的態度を示し良好なコミュニケーションをとることができる。
2. 個人情報保護を含む患者の権利を尊重し、適切に対処できる。
3. 多職種の医療チーム内で信頼関係を築き、患者中心の医療のために情報を共有し、医師の責任を意識し、リーダーとして行動できる。
4. 他の医療者に、手順を守り適切にコンサルテーションできる。
5. 先輩、後輩、同僚、他職種医療者を尊重し、調和的な態度で行動できる。

Ⅶ. 国際保健

産業医科大学医学部の学生は、卒業時に国際的な視野を持ち、将来、産業医学分野における国際保健に貢献することができる。

1. 海外からの患者の診療、医療者との交流のため英語でのコミュニケーションができる。
2. 国際的な医療の社会的問題や産業保健の情報を収集できる。
3. 国ごとに異なる医療事情、産業保健事情を理解する。
4. 医学・医療に関する課題について、国際的視野に立って考察することができる。
5. 医療活動を通した国際協力に関心を示し、参加することができる。

4　授業

（1）学年

学年は、**4 月 1 日から翌年 3 月 31 日**までです。

（2）学期

本学は、前学期（4 月 1 日から 9 月 30 日まで）と後学期（10 月 1 日から翌年 3 月 31 日まで）の 2 学期制です。

（3）授業時間

1時限	2時限	3時限	4時限	5時限
8:50～9:40	9:50～10:40	10:50～11:40	11:50～12:40	13:40～14:30

6時限	7時限	8時限	9時限	10時限
14:40～15:30	15:40～16:30	16:40～17:30	17:40～18:30	18:40～19:30

（4）出席

各授業科目とも、講義については講義時間の3分の2以上、実習については実習時間の4分の3以上出席しなければ、履修の評価を受けることができません。

病気、忌引等のやむを得ない理由で欠席するときは、「欠席届」を教務課に提出しなければなりません。

上記以外の理由で欠席することは認められません。

疾病・災害等により、欠席が1週間以上になるときは、医師の診断書又はその他事由を証明する書類を「欠席届」に添付してください。（学生準則第10条参照）

なお、欠席する場合には、各自で必ず講義担当講座等へ電話連絡してください。

連絡方法：産業医科大学代表番号（093-603-1611）にかけ、担当講座資料室につないでもらう。

（5）休講、補講、時間割変更

その都度、e-ラーニング掲示板（後述）への掲示で通知します。掲示板は必ず毎日見てください。

５　試験

（１）試験の種類

科 目 試 験	授業科目の履修の評価方法の一つとして各授業科目の担当教員が行う試験です。
臨 時 試 験	臨時試験は、各授業科目の担当教員が必要と認めたときに行うことができます。授業科目の履修の評価方法の一つであることは科目試験と差異はありません。
基礎総合試験	各授業科目の基本的かつ重要事項について総合的な学力を認定するため、1 年次から 3 年次に行う試験です。
共 用 試 験 (CBT・OSCE)	臨床医学に関する総合的な学力を認定するため、第 4 年次に行う試験です。
総 合 試 験	医学に関する総合的な学力を認定するため、第 6 年次に行う試験です。
Post-CC OSCE	卒業時に必要な臨床能力を評価するため、第 6 年次に行う試験です。
追　試　験	病気や災害等やむを得ない理由で上記の試験を受けられなかった者で、担当教員等が必要と認めた者について行います。 〔76 点以上はその 80%、60 点以上 75 点以下は 60 点〕
再　試　験	試験に不合格になった者についての再試験は原則として行わないこととなっていますが、担当教員等が必要と認めた者について行うことができます。 〔合格点を得た場合、60 点〕

（２）試験の時間割

科目試験、臨時試験の実施日時は、各科目の授業内容を確認の上、各科目の指示に従ってください。基礎総合試験及び総合試験の時間割は、試験開始日の 2 週間前までに e-ラーニング掲示板に掲示します。追・再試験は、その都度掲示します。

（３）追・再試験の受験手続

追・再試験の受験を認められた者は、証明書発行サービスを用いて、教務課を経由し担当教員に申請するとともに、追・再試験受験料を証明書発行サービスを用いて納入しなければなりません。受験料は、1 科目につき次のとおりです。

なお、期間内に手続をしなかった者は、追・再試験の受験資格を失います。

試　験	金　　額
追　試　験	1,000 円
再　試　験	2,000 円

追試験の受験料は、試験を受験できなかった理由により無料になる場合があります。（学費収納規程別表２）

（４）試験に関する注意事項

① 試験は、定められた教室の定められた席で受けなければなりません。

② 試験中は、**学生証**を必ず机上に提示してください。学生証を忘れたときは、直ちに教務課に申し出て試験当日限り有効の仮学生証の発行を受けてください。学生証又は仮学生証の提示のない場合は、受験を認めません。

なお、仮学生証は、当日の試験終了後、教務課に返還しなければなりません。

③ 試験開始後 30 分以上の遅刻者の入室は認めません。また、試験開始後 30 分以内の答案の提出及び退出は認めません。

④ 試験中における物品の貸借は、一切認めません。

⑤ 試験中は、携帯電話等の電子機器の電源を切り、鞄の中に入れなければなりません。

⑥ 試験中は、荷物を講義室の前後に置いてください。

⑦ 病気、災害等のために試験を受けることができない者は、「欠席届」に診断書又はその他事由を証明する書類を添付して、直ちに教務課に提出してください。(学生準則第 10 条参照)

6 オフィスアワー（1年次対象）

入学して日が浅い 1 年次生が、授業についての相談や質問をしやすくするため、オフィスアワーを設けています。

この時間帯は学生は予約なしに教員の居室を訪問することができます。大いに活用して学業成績の向上等を目指してください。もちろん、これ以外の時間帯であっても教員を訪問することができますが、不在などで会えないことがあります。

具体的な時間帯、居室番号は掲示により連絡します。

7 総合教育セミナー

多様なテーマの中から学生に選択してもらい、定期的に教員と直接に接し、対話や討論を行うことによって、学生に学問に対する興味を抱かせ、自ら学ぶ姿勢を身につけさせることを目的として、下記の要領により実施します。

総合教育、医学基礎、基礎医学及び産業生態科学研究所の教員が担当します。

① 実施年次　1 年次前学期

② テ ー マ　担当教員がテーマを提示します。学生は、「総合教育セミナーの手引き」を参考にして、希望のテーマを選択します。この希望を参考にして、大学が調整・決定します。

③ セミナーの人数　5 人前後

④ 履修の評価を受ける資格　実授業時間の 3 分の 2 以上セミナーに出席した場合に資格が与えられます。

8 早期臨床体験実習

早期臨床体験実習は 1 年次から 3 年次に本学病院及び学外医療施設等で実施します。入学後早期に、多職種によるチーム医療の現場に参加し、各職種の業務を経験することで、チーム医療の重要性を理解すること、また、医療現場での医師の役割、医師像を明確にし、今後の学習意欲の向上に繋げることを目的としています。

９　研究室配属

研究室配属は、学生を医学部の総合教育・医学基礎（一部）、基礎医学講座及び臨床医学講座（一部）並びに産業生態科学研究所の研究室に配属し、研究室の雰囲気、研究の意義を学び、自主学習意欲を助長・育成する目的として下記の要領により実施します。

必修科目であり、これを機会として研究に興味を持つ者が増えることを希望します。

① 実施年次　3年次

② 実施期間　6月～9月

③ 配属講座等　学生間で調整して配属講座、研究室を決定します。各講座、研究室のテーマなどの詳しいことは「研究室配属の手引」により連絡します。

１０　共用試験(CBT・OSCE)

共用試験は、公益社団法人医療系大学間共用試験実施評価機構により、臨床実習開始前に全国の医科大学・大学医学部の学生を対象に実施される評価試験です。

本学では、4年次にコンピュータを用いた知識・問題解決能力を評価する客観試験（Computer Based Testing；CBT）と態度・診察技能を評価する客観的臨床能力試験（Objective Structured Clinical Examination；OSCE）を実施します。同一年度内にこの両方の試験に合格した学生には、共用試験合格証及び臨床実習生（医学）認定証が交付され、臨床実習への参加が認められます。

CBTは、模擬試験も実施します。

１１　臨床実習

臨床実習は、4年次から6年次に実施します。

1年目（4、5年次）は、本学病院、本学若松病院及び北九州市立総合療育センターをローテーションして実施します。この実習の目的は、直接外来患者や入院患者と接して、実際の診療を体験することにより、一連の診療形態を理解し、講義等で得た基本的知識と技能を自ら再確認し、より確実に身につけるとともに、将来医療に携わる者として不可欠である診療態度や責任感を自覚させることです。

2年目（5、6年次）は、より高度の知識及び技能を身につけるために、診療参加型臨床実習として実施します。将来、産業医あるいは医師として活躍するために、実際の医療現場で診療チームの一員として臨床活動に参加し、業務を分担しながら、医師として必要な態度、知識、考え方、技能の基礎を身につけることを目的としています。

１２　産業医学現場実習（産業医学Ⅴ）

5年次に産業医学Ⅴで行われる産業医学現場実習は、産業医学及び産業医に対する理解を深めるために実施します。この実習は、事業場における産業医業務を実際に体験し、産業医としての資質と志気の向上を図り、産業医・産業医活動についての具体的イメージを持つことによって、より産業医への志向を高めることを目的として全国約50の事業場及びそこに勤務している産業医をはじめとする産業保健スタッフの協力のもとに実施します。

※　詳細は、産業医学現場実習オリエンテーションで説明します。

１３　Post-CC OSCE

Post-CC OSCE（Post-Clinical Clerkship OSCE）は、臨床研修開始時に必要な臨床能力を評価するための客観的臨床能力試験であり、6年次の診療参加型臨床実習後に実施します。

１４　成績下位の学生に対するAcademic Support Program（特別学習指導等）

各学年の成績下位の学生を対象として、学力向上を支援するために、夏季・秋季・冬季・春季の休業期間等にAcademic Support Program（ASP）を行います。

ASPにおいては、対象学生はASPでの出席状況・達成度も評価され、基準に到達することが求められます。ASPにおける評価（合格・不合格）は進級判定・卒業判定に考慮されます。

成績下位の学生とは、成績下位30名前後及び原級に留め置かれている学生をいいます。

ASPの対象者及び内容は適宜発表します。

１５　合格しなければ原級に留め置かれる試験

（１）基礎総合試験

各授業科目の基本的かつ重要事項について総合的な学力を認定するため、1年次から3年次に行う試験です。1、2年次の各年次末及び3年次の夏季休業明けに実施します。

（２）共用試験（CBT・OSCE）

臨床医学の基本的知識及び重要事項について総合的な学力を認定するため､4年次に行う試験です。

（３）Post-CC OSCE

卒業時の臨床能力を適切に評価・認定するため、6年次に行う試験です。

（４）総合試験

総合試験Ⅰ・Ⅱは、医師国家試験に準じた形式で6年次に行う試験です。

総合試験の成績は、2回の試験を総合的に判定する予定ですが、詳細については掲示によりお知らせします。医師国家試験に対する意識を早期から確立する必要があるため、5年次生は総合試験Ⅱを受験します。

問題分類		出題数	配点	満点
必修問題	一般	50問	1点／問	50点
	臨床	50問	3点／問	150点
必修問題を除いた一般問題		100問	1点／問	100点
必修問題を除いた臨床実地問題		200問	1点／問	200点
総配点				500点

医師国家試験合格率の向上は、現時点での最重要課題です。そのため、大学では各種の方策を講じており、この総合試験のほかにも6年次の早い時期から模擬試験を数回実施します。

１６　進級判定・卒業判定に対する異議申し立て制度

進級判定又は卒業判定の結果に異議がある場合は、異議申し立てを行うことができます。異議申し立ては、教務課で受理し、成績評価小委員会で審議されます。

成績評価小委員会では、各試験の成績や各授業科目の担当責任者から提出された客観的な根拠資料（成績の内訳、採点済みのテストの写し、レポートの写しなど）をもとに、不合格となった試験・科目の成績評価が適切に行われたかを判断します。なお、その過程において、必要に応じて科目担当責任者から意見を聴取することがあります。

異議申し立てに対する回答は、医学部長又はそれに準ずる者を通じて行います。

１７　その他

（１）講義中における遵守事項

① 遅刻及び講義中の講義室の出入りは真にやむを得ない場合を除き禁止する。やむを得ず、講義中に出入りする場合は、講義担当教員の許可を得ること。

② スマートフォン及びタブレット端末等の情報通信機器は、講義資料の閲覧等、受講している講義に関連すること以外の目的で使用しない。また、講義資料及び講義中のスライド等の資料を学外者等の第三者に閲覧させたり、譲渡したりする行為を禁止する。特に学外への流出は、著作権法違反に問われ、損害賠償等につながる場合があることに留意する。

なお、情報通信機器に関して、講義担当教員から使用制限等の指示がある場合にはこれに従う。

③ 飲食はすべて禁止する。ペットボトル等を机の上に置かない。

（２）講義室及び実験実習室の使用に当たっての遵守事項

① 講義室及び実験実習室は、常に清潔に保つ。

② 講義室は、大学に無断で講義以外の目的に使用しない。

講義以外の目的で使用する場合には、あらかじめ使用日の 3 日前までに、講義室使用願を学生課に提出し、許可を得る。（学生準則第 24 条）

③ 講義室の視聴覚設備には、手を触れない。誤って破損した場合については、至急教務課に届け出る。

④ 実験実習室は、各担当講座の指示に従って使用し、機器・備品の取扱いには、十分注意する。

⑤ 講義室及び実験実習室の使用については、節電・節水を心がけ、使用後は、窓を閉め、空調及び照明等の電源を切って退出する。

⑥ 講義室及び実験実習室内に椅子等の持ち込みをしない。備え付け以外の機器等の持ち込みについては、許可を得る。

⑦ 他の利用の妨げとなるので、室内（特に机上）には私物（講義資料を含む）を放置せず、都度持ち帰る。放置されている私物については、大学で廃棄処分する。

⑧ 講義室のコンセントを私用に用いない。

（３）学生のセミナー室（2402 講義室・1248 室（旧 LL 教室））の利用について

6 年次生の卒業及び国家試験受験のためのグループ学習を行うため、2 号館 2402 講義室にセミナー室（8 人収容：8 室）、1 号館 1248 室（旧 LL 教室）（6 人収容:4 室）を設けています。

① 利用時間　 7:00～22:00　 閉室日　原則としてなし

② 使用に当たっての遵守事項

（ア） セミナー室は、常に清潔に保つ。（飲食は禁止）

（イ） 他の部屋で授業等が行われている場合があるので、妨げにならないようにする。

（ウ）　セミナー室の機器・備品の持ち出しは行わない、その取扱いには十分注意する。
　誤って破損した場合は、至急教務課に届け出る。（なお、使用者の責任により損害を生じた場合は実費を弁償してもらうことがある。）
（エ）　備え付けの機器、備品以外の機器等の持ち込みについては、必ず許可を得る。
（オ）　セミナー室の使用後は、部屋を原状に復するとともに、照明等の電源を切る。
（カ）　他の学生の利用の妨げとなるので、室内（特に机上）に私物を放置しない。放置されている私物については、大学で廃棄処分する。

（4）実験実習時の注意事項

①　名札の着用について
（ア）　医学基礎の実験及び基礎医学の実習の際には、各担当講座等の指示に従って各自名札を用意し、必ず着用すること。
（イ）　早期臨床体験実習Ⅰ～Ⅲについては、学生証を名札として使用すること。
②　顕微鏡の使用について
使用にあたっては、次の点を遵守すること。
（ア）　授業時間以外に顕微鏡を使用する場合は、必ず講座の許可を得る。
（イ）　顕微鏡は学外に持ち出さない。
（ウ）　顕微鏡の貸与を受けた者は、責任をもって管理する。なお、貸与を受けた者の責任により損害を生じた場合は実費を弁償してもらうことがある。

（5）コンピュータ実習室及び学習室

学生は、6 号館の 2 階のコンピュータ実習室（大―6208 室、小―6207 室）及び学習室（6201 室、6202 室）を、コンピュータを用いた授業、当該授業の補習及び自己学習のために利用できます。

①　利用時間
平日　8:00～22:00　　土・日曜日　13:00～18:00
ただし、コンピュータ実習室で授業等が行われている時間中、学生は、履修している講義以外で入室できません。これに反した場合、使用しているパソコンが使用不能な状態にされることがあります。
学習室の 1 日の利用時間は最長 2 時間を限度としています。

②　閉室日
国民の祝日、開学記念日（4 月 28 日）、年末年始（12 月 28 日～1 月 3 日）

③　利用の手続
コンピュータ実習室利用にあたっては、学生証が必要です。
学習室利用にあたっては、事前に管理室で利用手続を行い、管理室員（不在のときは 1 号館 1 階の警備員）の指示を受けてください。

④　利用にあたっての遵守事項
（ア）　以下の行為は禁止します。
- 室内設置の機器及びソフトウェアの室外への持ち出し
- ソフトウェアのコピー
- 室内での飲食
- コンピュータ・ハードディスク内へのファイルの保存及びソフトウェアのインストール
- 学内及び学外のネットワークに支障を与えるような行為
- 教卓上の機器使用

・　日本国内及びネットワークで接続した国の法律に違反する行為

（イ）　使用後は、機器・空調・照明等の電源を切って、退室してください。

（ウ）　機器及びソフトウェアにトラブルが生じた場合、あるいは破損、紛失した場合は直ちに管理室員に連絡し、指示に従ってください。17:15 以降に発生した場合は、翌日（土曜日及び休日の場合は次の平日）、管理室員に連絡し、その指示に従ってください。

（エ）　機器及びソフトウェアの使用にあたっては、十分注意して取扱ってください。利用者の責により、機器及びソフトウェアを滅失し又は破損した場合は、その利用者が当該損害を賠償しなければなりません。

※　禁止事項の違反や悪質ないたずら等、他の利用者に迷惑をかけた者に対しては、学生証の利用停止及びアカウントの停止等の措置を行うことがあります。

（６）学習室（1 号館 2 階 1249 室、4 階 1405 室、1408 室、1452 室）について

医学部・産業保健学部の学生の個人学習ができるように、1 号館 2 階 1249 室（56 席）、4 階 1405 室（44 席）、1408 室（16 席）、1452 室（30 席）を設置しています。（1405 室、1408 室、1452 室は、7 月～2 月は看護学科 4 年次生のための個人学習室となります。）

席数に制限がありますので、一人が占有することなく譲り合って使用してください。

① 利用時間　　8:30～22:00

② 閉室日　　なし

③ 手続き　　「個人学習室使用願」を学生課に提出すること。
1 回の手続きで、1 週間使用可。

④ 利用にあたっての注意事項

（ア）　学習室は常に清潔に保つこと。（飲食は禁止）

（イ）　他の部屋で授業等が行われている場合があるので、妨げにならないようにすること。

（ウ）　申請している机のみ利用すること。

（エ）　他の学生の利用の妨げとなるので、室内（特に机上）に私物を放置しないこと。申請により使用している机上以外に放置されている私物については、廃棄する。

（７）個人学習設備（3 号館 3 階学生ホール・1248 室（旧 LL 教室））について

6 年次生が卒業及び医師国家試験のための個人学習が出来るように、大学 3 号館 3 階学生ホールに、パーテーションで仕切った 77 人分のブース（机・椅子・照明）、1248 室（旧 LL 教室）に 15 人分の個人机を設置しています。数に制限がありますので、一人が占有することなく譲り合って使用してください。

① 利用時間　　7:00～22:00

② 閉室日　　なし

③ 利用にあたっての注意事項

（ア）　学習室は、常に清潔に保つこと。（飲食は禁止）

（イ）　他の学生の利用の妨げとなるので、室内ブース（特に机上）に私物を放置しないこと。放置されている私物については、大学で廃棄処分する。

（ウ）　利用後、私物は部屋の後方にある書架に収納すること。

（８）e-ラーニング掲示板及び大学からの連絡について

授業時間割の変更、休講、進級発表、教務関係の学生の呼び出しなど、大学からの重要なお知らせは、原則として、e-ラーニング掲示板（https://el.med.uoeh-u.ac.jp/）でお知らせします。そのため、

毎日、必ず e-ラーニング掲示板を確認するようにしてください。e-ラーニング掲示板へのアクセス方法や利用方法は別途、教務課からお知らせします。

なお、緊急を要する連絡の場合は、携帯電話への直接の連絡やメールをすることがありますので、大学からの電話やメールには応答してください。

（９）授業・試験を受ける際の不正行為等に関する注意事項

① 試験中不正行為があったときは、その者のその試験は無効とされ、原級に留めます。（履修規程第11条）また、学則第43条に基づいて懲戒処分されます。試験時間中の不正行為とはカンニングだけではなく、試験監督者の指示に従わないことも含みます。

② レポート等の作成にあたっては、他人の著作を流用・盗用、剽窃することがないようにしてください。これは法令違反にも該当し、懲戒処分の対象となる可能性があります。また、レポート等を貸し出したり、見せたりした側も剽窃のほう助にあたります。同様に懲戒処分の対象になりますので、そのことを十分に理解してください。

③ 各授業における出席不正（代返等を含め、自身が授業に出席していないのにも関わらず出席したかのように見せかける行為すべて）があったときは、その者は欠席として取り扱われ、講座によっては遡って、出席が取り消されることがあります。また、出席不正に加担した者も同様に扱われることがあります。

産 業 医 科 大 学 学 則

第１章　総則

（目的及び使命）

第１条　産業医科大学（以下「本学」という。）は、教育基本法（平成18年法律第120号）及び学校教育法（昭和22年法律第26号）に基づき、医学及び看護学その他の医療保健技術に関する学問の教育及び研究を行い、労働環境と健康に関する分野におけるこれらの学問の振興と人材の育成に寄与することを目的及び使命とする。

（学部、学科及び専攻）

第２条　本学に、次の各学部及び各学科を置く。

医学部　医学科

産業保健学部　看護学科　産業衛生科学科

２　学部及び学科における人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的は、別に定めるものとする。

（定員）

第３条　前条の各学部に置く各学科の学生の定員は、次のとおりとする。

学部	学科	入学定員	収容定員
医学部	医学科	105名	630名
産業保健学部	看護学科	70名	280名
	産業衛生科学科	20名	80名

（修業年限）

第４条　医学部の修業年限は６年とし、産業保健学部の修業年限は４年とする。

（在学期間）

第５条　医学部の在学期間は９年、産業保健学部の在学期間は８年を超えることができない。

２　医学部については、同一年次に２年、第２年次までに３年を超えて在学することはできない。

３　産業保健学部については、同一年次に２年を超えて在学することはできない。

（学年）

第６条　学年は、４月１日に始まり、翌年３月31日に終わる。

（学期）

第７条　学年を分けて、次の２学期とする。

前学期　４月１日から９月30日まで

後学期　10月１日から翌年３月31日まで

（休業日）

第８条　定期の休業日は、次のとおりとする。

日曜日及び土曜日

国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日

開学記念日　４月28日

春季休業　３月21日から４月10日まで

夏季休業　７月21日から８月31日まで

冬季休業　12月21日から翌年１月10日まで

２　春季、夏季及び冬季の各休業期間は、教育上必要があるときは、学長はこれを変更することがある。

３　第１項に定めるもののほか、学長は臨時の休業日を定めることができる。

第２章　入学、再入学、編入学及び転入学

（入学等の時期）

第９条　入学、再入学、編入学及び転入学の時期は、学年の始めから１か月以内とする。

（入学資格）

第10条　本学に入学することのできる者は、次の各号の一に該当する者とする。

（１）　高等学校又は中等教育学校を卒業した者

（２） 通常の課程による12年の学校教育を修了した者
（３） 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
（４） 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
（５） 専修学校の高等課程（修業年限が３年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定したものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
（６） 文部科学大臣の指定した者
（７） 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第１号。以下「省令」という。）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（省令附則第２条による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。）
（８） 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達したもの

（入学志願手続）
第11条 入学を志願する者（以下「入学志願者」という。）は、所定の期日までに、願書その他別に定める書類（以下「出願書類等」という。）に検定料を添えて、学長に願い出なければならない。

（入学者の選考）
第12条 前条の入学志願者に対しては、試験を行い、その成績等により選考する。

（入学手続及び入学許可）
第13条 前条の規定による選考の結果に基づき、合格の通知を受けた者は、所定の期日までに、入学誓約書その他所定の書類を学長に提出するとともに、所定の入学料を納入しなければならない。
２ 学長は、前項に規定する入学手続を終えた者に入学を許可する。

（再入学、編入学及び転入学）
第14条 学長は、本学に欠員のある場合に限り、選考のうえ、相当の学年に再入学、編入学及び転入学（以下「再入学等」という。）を許可することがある。
２ 医学部に再入学等ができる者は、次の各号の一に該当する者とする。
（１） 本学医学部の中途退学者で、再入学を志願する者
（２） 他の大学において進学課程を修了した者で、入学を志願する者
（３） 他の大学の医学部医学科に在学中の者で、入学を志願する者
３ 産業保健学部に再入学等ができる者は、次の各号の一に該当する者とする。
（１） 本学産業保健学部の中途退学者で、同一学科（専攻）に再入学を志願する者
（２） 大学を卒業した者又は大学において２年以上在学し、所定の単位を修得したのち退学した者で、編入学を志願する者
（３） 短期大学又は高等専門学校を卒業した者で、編入学を志願する者
（４） 学校教育法第132条に規定する者で、編入学を志願する者
（５） 他の大学に在学中の者で、転入学を志願する者
４ 前３項の取扱いについては、別に定める。

第３章 教育課程及び履修等

（教育課程及び履修方法）
第15条 本学の教育課程及び履修方法は、医学部については別表第１、産業保健学部については別表第３に定めるとおりとする。

（単位）
第16条 各授業科目の単位数は、１単位の履修時間を教室内及び教室外を合わせて45時間とし、次の基準により計算するものとする。
（１） 講義については、15時間の授業をもつて１単位とする。
（２） 演習については、30時間の授業をもつて１単位とする。
（３） 実験、実習及び実技については、45時間の授業をもつて１単位とする。
２ 学長が教育上必要があると認めたときは、前項の規定にかかわらず、講義及び演習については15時間から30時間、実験、実習及び実技については30時間から45時間までの範囲の時間の授業をもつて１単位とすることが

できる。
3　前２項の規定にかかわらず、卒業研究については、学修の成果を考慮して単位数を定める。

（１年間の授業期間）
第17条　１年間の授業を行う期間は、試験等の期間を含め、35週にわたることを原則とする。

（授業科目履修の認定等）
第18条　授業科目履修の認定は、試験その他の審査によりこれを行う。
2　医学部については、第３年次までは総合的な学力を認定するため年次毎に基礎総合試験Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、第４年次では共用試験（ＣＢＴ・ＯＳＣＥ）、第５年次では総合試験（Ⅱ）及び第６年次ではＰｏｓｔ－ＣＣ　ＯＳＣＥ並びに総合試験（Ⅰ・Ⅱ）を行う。
3　医学部の評価は、Ａ、Ｂ、Ｃ、Ｄ及びＦの５段階に区分し、Ａ、Ｂ、Ｃ及びＤを合格とし、Ｆを不合格とする。なお、成績の評価に付与するＧＰ（Grade Point）及びＧＰＡ（Grade Point Average）の算出については別に定める。
4　産業保健学部の評価は、優、良、可及び不可の４段階に区分し、優、良及び可を合格とし、不可を不合格とする。
5　第１項及び第２項の試験及び審査の方法については、別に定める。

（既修得単位の認定）
第18条の２　学長が教育上有益と認めるときは、他の大学を卒業し、又は中途退学し、新たに本学の第１年次に入学した学生の既修得単位について、本学において修得したものとして認定することができる。
2　前項の規定により認定することができる単位は、合計30単位を限度とする。
3　前２項の取扱いについては、別に定める。

（編入学生の既修得単位の認定）
第18条の３　編入学を許可された学生の既修得単位の認定については、別に定める。

（他大学における授業科目の履修）
第19条　学長が教育上有益と認めるときは、他の大学との協議に基づき、学生に当該大学の授業科目を履修させることができる。
2　前項の取扱いについては、別に定める。

第４章　休学、復学、転学、転部、転科、退学及び除籍

（休学）
第20条　疾病その他やむを得ない事由により２か月以上修学することができない者は、医師の診断書又は詳細な理由書を添えて保証人連署で学長に願い出て、その許可を受けて休学することができる。
2　病気その他の事由により修学することが不適当と認められる者については、学長は休学を命ずることができる。

（休学期間）
第21条　休学期間は、引き続き２年を超えることができない。
2　休学期間は、通算して４年を超えることができない。
3　休学期間は、第５条の在学期間には算入しない。

（復学）
第22条　休学期間中にその理由がなくなつたときは、学長の許可を得て復学することができる。

（転学）
第23条　他の大学への入学又は転入学を志願しようとする者は、保証人連署で学長に詳細な理由を記した転学願を提出して、その許可を受けなければならない。

（転部及び転科）
第23条の２　転部及び転科は認めない。

（退学）
第24条　疾病その他やむを得ない事由により退学しようとする者は、その事実を証する書類を添え、保証人連署で学長に退学願を提出して、その許可を受けなければならない。

（除籍）

第25条　次の各号の一に該当する者は、学長が除籍する。

（１）　第５条の在学期間を超えた者

（２）　第21条第１項に規定する休学期間を超えてなお修学できない者

（３）　病気その他の理由により、成業の見込みがないと認められる者

（４）　第30条に規定する授業料等の納入を怠り、督促してもなお納入しない者

（５）　長期間にわたり行方不明の者

第５章　卒業及び学位の授与

（卒業の要件及び卒業）

第26条　学長は、本学に第４条に規定する修業年限以上在学し、次に定める卒業の要件を満たした者には卒業の認定を行う。

学部	学科	卒業の要件
医学部	医学科	別表第１に定めるところにより、必修科目7,043時間、選択科目120時間以上を履修し、その修了の認定を受け、かつ、総合試験及びPost-CC OSCEに合格すること。
産業保健学部	看護学科	別表第３に定めるところにより、必修科目126単位のほか、選択科目８単位以上を修得すること。
	産業衛生科学科	別表第３に定めるところにより、必修科目105単位のほか、選択科目25単位以上を修得すること。

２　学長は、前項の規定により卒業の認定を受けた者には、卒業証書を授与する。

（学位の授与）

第27条　学長は、前条の規定により卒業した者には、学位規則（昭和28年文部省令第９号）の定めるところにより、次の区分に従い学士の学位を授与する。

学部	学科	学士
医学部	医学科	学士（医学）
産業保健学部	看護学科	学士（看護学）
	産業衛生科学科	学士（保健衛生学）

２　学位に関する事項は、産業医科大学学位規程（昭和60年規程第12号）で定める。

第６章　検定料、入学料、授業料、施設設備費及び実験実習費

（検定料）

第28条　入学志願者は、入学志願手続と同時に検定料を納入しなければならない。

２　検定料の額は、別に定める。

（入学料）

第29条　入学料は、医学部は1,000,000円とし、産業保健学部は282,000円とする。

２　前項に規定する入学料は、入学を許可されるときに納入しなければならない。

（授業料等）

第30条　授業料、施設設備費及び実験実習費（以下「授業料等」という。）の年額は、次のとおりとする。

学部	授業料	施設設備費	実験実習費
医学部	3,115,000円	1,300,000円	500,000円
産業保健学部	765,000円	170,000円	80,000円

２　前項の授業料等は、毎年度について、第７条に規定するそれぞれの学期において、年額の２分の１に相当する額を納入するものとする。

（休学の場合における授業料等）

第31条　休学を許可され、又は命ぜられた者の休学中の授業料等は、月割計算により、休学した日の前日の属する月の翌月から復学した日の属する月の前月までに相当する額を免除する。

（復学の場合における授業料等）

第32条　前学期又は後学期の中途において復学した者の当該学期の授業料等は、月割計算により、復学した月か

ら次の納入期の前月までに相当する額を、復学した月に納入しなければならない。

（退学等の場合における授業料等）

第33条　前学期又は後学期の中途で退学し、又は除籍された者の当該学期分の授業料等は徴収する。ただし、死亡した者及び行方不明又は授業料等の未納を理由として除籍された者の未納の授業料等についてはこの限りでない。

２　停学期間中の授業料等は、徴収する。

（授業料等の免除及び徴収の猶予）

第34条　経済的理由によつて授業料等の納入が困難であり、かつ、学業優秀と認められる者及び学生の学資を主として負担している者が不慮の災害等を受け、授業料等の納入が困難と認められる者については、本人の申請により、授業料等の全部若しくは一部を免除し、又は徴収を猶予することがある。

２　前項の取扱いについては、別に定める。

（免除又は猶予事由の消滅に伴う授業料等）

第35条　前条の規定により授業料等を免除され、又は徴収を猶予されている者が、その理由を失つたときは、その月から所定の期日に授業料等を納入しなければならない。

（既納の検定料、入学料及び授業料等）

第36条　既納の検定料、入学料及び授業料等は、返還しない。ただし、第12条に規定する試験において、出願書類等による選抜を行い、その合格者に限り学力検査その他による選抜を行う場合の検定料の返還額は、別に定める。

２　前項の規定にかかわらず、第31条により免除された授業料等については、その相当額を復学後の授業料に充当する。

第７章　聴講生、特別聴講学生、科目等履修生、研究生及び外国人留学生

（聴講生）

第37条　学長は、本学所定の授業科目中、一科目又は数科目について聴講を志願する者があるときは、教育に支障のない場合に限り、選考のうえ、聴講生としての入学を許可することがある。

２　前項の授業科目には、実験、実技及び実習は含まない。

第37条の２　第10条の規定は、聴講生の場合についてこれを準用する。

第37条の３　聴講生として入学を志願する者（以下「聴講志願者」という。）は、所定の期日までに、願書に検定料及び別に定める書類を添えて、学長に願い出なければならない。

第37条の４　前条の聴講志願者に対しては、学力検査又は人物考査により選考する。

第37条の５　第13条の規定は、前条の選考の結果に基づき合格の通知を受けた者の場合についてこれを準用する。

第37条の６　聴講生の入学時期は、聴講が許可された授業科目の授業が始まる学期の始めとし、その在学期間は、当該授業科目の授業が終了する学期末又は学年末までとする。ただし、引き続いて当該授業科目又は新たな授業科目の聴講を希望する者は、願出により、学長の許可を得て在学期間を延長することができる。

第37条の７　聴講生に対しては、聴講した授業科目履修の認定は行わない。ただし、願出により当該授業科目について試験を行い、これに合格した者に対しては、学長は聴講終了証明書を授与することができる。

第37条の８　聴講生が第41条に定める授業料の納入を怠り、督促しても、なお納入しないときは、学長がこれを除籍する。

（特別聴講学生）

第38条　学長は、他の大学の学生で、本学において特定の授業科目を履修することを志願する者があるときは、当該大学との協議に基づき、特別聴講学生としての入学を許可することがある。

（科目等履修生）

第38条の２　学長は、本学所定の授業科目中、一科目又は数科目について履修を志願する者があるときは、教育に支障のない場合に限り、選考のうえ、当該科目を履修することができる者（以下「科目等履修生」という。）としての入学を許可することがある。

２　前項の科目等履修生が履修することができる授業科目は、医学部にあつては別表第２のとおりとし、産業保健学部にあつては別に定める。

第38条の３　第10条の規定は、科目等履修生の場合についてこれを準用する。

第38条の４　科目等履修生で授業科目を履修し、試験に合格したものに対しては、当該授業科目の単位修得の認

定を行うことができる。
２　第18条第１項から第４項までの規定は、前項の授業科目の単位修得の認定についてこれを準用する。
３　学長は、前項の規定により単位修得を認定された者には、当該授業科目の単位修得証明書を授与することができる。
第38条の５　その他科目等履修生の入学及び履修等に関し必要な事項は、別に定める。

（研究生）
第39条　学長は、本学において、特定の専門事項について研究することを志願する者があるときは、本学において適当と認め、かつ、教育研究に支障のない場合に限り、選考のうえ、研究生として入学を許可することがある。
２　前項の研究生は、次の２種類とする。
（１）　一般研究生（原則として毎日研究に従事する者）
（２）　専攻研究生（毎週２日又は３日程度研究に従事する者）
第39条の２　研究生として入学することのできる者は、学士及びこれと同等以上の学力を有すると認められるものとする。
第39条の３　研究生として入学を志願する者（以下「研究生志願者」という。）は、願書に検定料及び別に定める書類を添えて、学長に願い出なければならない。
第39条の４　前条の研究生志願者に対しては、学力検査又は人物考査により選考する。
第39条の５　第13条の規定は、前条の選考の結果に基づき、合格の通知を受けた者の場合についてこれを準用する。
第39条の６　研究生の入学時期は、原則として学期の始めとする。
第39条の７　研究生の指導教員は、学長が定める。
第39条の８　研究生の在学期間は、１年とする。ただし、研究の必要により在学期間の延長を希望する者は、願出により、学長の許可を得て在学期間を延長することができる。
第39条の９　研究生は、研究期間満了前に退学しようとするときは、学長に退学願を提出し、その許可を得なければならない。
第39条の10　研究生が、次の各号の一に該当するときは、学長がこれを除籍する。
（１）　第41条に定める授業料の納入を怠り、督促しても、なお納入しないとき。
（２）　研究を怠る等、研究生として適当でないと指導教員が認めたとき。
第39条の11　学長は、研究生からの願出により、研究証明書を与えることができる。

（外国人留学生）
第40条　学長は、外国人で、大学において教育を受ける目的をもつて入国し、本学に入学を志願する者があるときは、教育研究に支障のない場合に限り、選考のうえ、外国人留学生として入学を許可することがある。
（検定料、入学料及び授業料）
第41条　聴講生、特別聴講学生、科目等履修生及び研究生に係る検定料、入学料及び授業料の額は、別に定める。

第８章　表彰及び懲戒

（表彰）
第42条　学生として表彰に値する行為があつた者は、学長が表彰することがある。

（懲戒）
第43条　本学則、その他本学の諸規程に違反し、又は学生としての本分に反する行為をした者は、学長が懲戒する。
２　前項の懲戒の種類は、訓告、停学及び退学とする。
３　退学は、次の各号の一に該当する者に対して行う。
（１）　性行不良で改善の見込みがない者
（２）　正当な理由がなくて出席が常でない者
（３）　本学の秩序を乱し、その他学生としての本分に著しく反した者
４　停学の期間が２か月以上にわたるときは、その期間は、第５条の在学期間に算入しない。
５　懲戒に関する手続は、別に定める。

第９章　附置研究所

（附置研究所）

第43条の２　本学に、産業生態科学研究所を附置する。

２　産業生態科学研究所に関する事項は、別に定める。

第10章　附属教育研究施設

（附属図書館及び附属病院）

第44条　本学に、附属図書館及び附属病院を置く。

２　附属図書館及び附属病院に関する事項は、別に定める。

第11章　関連教育病院

（関連教育病院）

第45条　本学は、学生に対する臨床教育を行うために、国公立又は法人の設立する病院との協議に基づいて、当該病院において、学生に特に特定の授業科目を履修させることができる。

２　前項の取扱いについては、別に定める。

第12章　職員組織及び教授会

（職員組織）

第46条　本学に、学長、副学長、教授、准教授、講師、助教、事務職員を置き、その他必要な職員を置くことができる。

（教授会）

第47条　各学部に、教授会を置く。

２　教授会の運営に関する必要な事項は、別に定める。

第13章　学生寮

（学生寮）

第48条　本学に、学生寮を置くことができる。

２　学生寮に関する事項は、別に定める。

附　則（平成24年３月15日）

１　この学則は、平成24年４月１日から施行する。

２　この学則による改正後の産業医科大学学則（以下「改正後の学則」という。）第26条第１項の表中医学部の項、別表第１、別表第２及び別表第３の規定は、この学則の施行日以後に医学部に入学した者から適用する。

３　この学則の施行日前に医学部に入学した者については、改正後の学則の規定にかかわらず、なお従前の例による。

４　この学則の施行日前に医学部に入学した者が原級に留められ、次年度以後の当該年次の教育課程がすでに改正後の学則の規定による教育課程に移行しているときは、前項の規定にかかわらず、その者に係る次年度以後の教育課程、履修方法及び卒業の要件については、別に定めることができる。

附　則（平成27年３月10日）

この学則は、平成27年４月１日から施行する。

附　則（平成27年10月30日）

１　この学則は、平成28年４月１日から施行する。

２　この学則による改正後の産業医科大学学則（以下「改正後の学則」という。）第26条第１項の表中産業保健学部の項及び別表第４の規定は、この学則の施行日以後に産業保健学部に入学した者から適用する。

３　この学則の施行日前に産業保健学部に入学した者については、改正後の学則の規定にかかわらず、なお従前の例による。

４　この学則の施行日前に産業保健学部に入学した者が原級に留められ、次年度以後の当該年次の教育課程がすでに改正後の学則の規定による教育課程に移行しているときは、前項の規定にかかわらず、その者に係る次年

度以後の教育課程、履修方法及び卒業要件については、別に定めることができる。

附　則（平成30年５月24日）

1　この学則は、平成31年４月１日から施行する。

2　この学則による改正後の産業医科大学学則（以下「改正後の学則」という。）第18条第２項及び第３項、並びに第26条第１項の表中医学部の項、別表第１及び別表第２の規定は、この学則の施行日以後に医学部に入学した者から適用する。

3　この学則の施行日前に医学部に入学した者については、改正後の学則の規定にかかわらず、なお従前の例による。

4　この学則の施行日前に医学部に入学した者が原級に留められ、次年度以後の当該年次の教育課程がすでに改正後の学則の規定による教育課程に移行しているときは、前項の規定にかかわらず、その者に係る次年度以後の教育課程、履修方法及び卒業の要件については、別に定めることができる。

附　則（令和元年５月31日）

この学則は、令和元年６月１日から施行する。

附　則（令和元年６月４日）

1　この学則は、令和２年４月１日から施行する。

2　産業保健学部環境マネジメント学科については、この学則による改正後の産業医科大学学則（以下「改正後の学則」という。）第２条の規定にかかわらず、当該学科に在学する者がいなくなるまでの間存続するものとする。

3　令和２年度から令和４年度までの産業保健学部産業衛生科学科及び環境マネジメント学科の学生の収容定員は、改定後の学則第３条の規定にかかわらず、次によるものとする。

令和２年度　産業衛生科学科　20名、環境マネジメント学科　60名
令和３年度　産業衛生科学科　40名、環境マネジメント学科　40名
令和４年度　産業衛生科学科　60名、環境マネジメント学科　20名

4　この学則による改正後の学則の第２条、第３条、第26条、第27条の産業保健学部学科名称変更による規定及び第26条第１項の表中産業保健学部の項及び別表第３の規定は、この学則の施行日以後に産業保健学部に入学した者から適用する。

5　この学則の施行日前に産業保健学部に入学した者については、改正後の学則の規定にかかわらず、なお従前の例による。

6　この学則の施行日前に産業保健学部に入学した者が原級に留められ、次年度以後の当該年次の教育課程がすでに改正後の学則の規定による教育課程に移行しているときは、前項の規定にかかわらず、その者に係る次年度以後の教育課程、履修方法及び卒業要件については、別に定めることができる。

附　則（令和５年５月30日）

この学則は、令和５年６月１日から施行する。

別表第１　医学部　授業科目（第15条関係）

授業科目			時間数	履修	備考
総合教育	総合科目	心理学	30	必修	
		人間関係論	40	必修	
		哲学概論	44	必修	
		数学概論	30	必修	
	外国語	医学英語Ⅰ	80	必修	
		医学英語Ⅱ	80	必修	
		医学概論Ⅰ	64	必修	
		医学概論Ⅱ	30	必修	
		医学概論Ⅲ	30	必修	
		医学概論Ⅳ	30	必修	
		総合教育セミナー	15	必修	
	選択	病の文学	14	選択	選択する科目の履修時間数については、合計120時間以上とする。
		英語運用論（TOEIC入門）	14	選択	
		法学概論	14	選択	
		経済学入門	14	選択	
		自然科学思想史	14	選択	
		医療統計学	20	選択	
		生命科学・環境科学概論	12	選択	
		比較動物医学	12	選択	
		医療社会学	14	選択	
		医用工学入門	8	選択	
		先端医科学講釈	18	選択	
		ドイツ語	48	選択	
		フランス語	48	選択	
医学基礎		医科物理学	40	必修	情報統計学及び救急蘇生法については、実習を含む。
		生体物質化学	40	必修	
		細胞生物学	40	必修	
		医学基礎実験	72	必修	
		情報統計学	54	必修	
		救急蘇生法	12	必修	
		臨床医学入門	40	必修	
		医療職概論	36	必修	

授業科目		時間数	履修	備考
基礎医学	人体発生学	16	必修	系統解剖学総論から法医学までの授業科目については、実習を含む。
	系統解剖学総論	34	必修	
	系統解剖学各論	158	必修	
	組織解剖学総論	48	必修	
	組織解剖学各論	112	必修	
	生理学（動物性機能）	81	必修	
	生理学（植物性機能）	81	必修	
	医化学	84	必修	
	分子生物学	76	必修	
	薬理学	104	必修	
	基礎病理学	58	必修	
	臨床病理学	79	必修	
	病態病理学	79	必修	
	免疫学・寄生虫学	118	必修	
	微生物学	106	必修	
	衛生学	64	必修	
	公衆衛生学	82	必修	
	法医学	70	必修	
	研究室配属	360	必修	
臨床医学	第１内科学総論	46	必修	
	第１内科学各論	66	必修	
	第２内科学総論	32	必修	
	第２内科学各論	56	必修	
	第３内科学総論	28	必修	
	第３内科学各論	32	必修	
	呼吸器内科学総論	22	必修	
	呼吸器内科学各論	26	必修	
	神経内科学総論	20	必修	
	神経内科学各論	40	必修	
	精神医学総論	16	必修	
	精神医学各論	36	必修	
	小児科学Ⅰ	28	必修	
	小児科学Ⅱ	54	必修	
	第１外科学総論	16	必修	
	第１外科学各論	36	必修	
	第２外科学総論	18	必修	
	第２外科学各論	22	必修	
	心臓血管外科学	14	必修	
	脳神経外科学総論	8	必修	
	脳神経外科学各論	12	必修	

授業科目		時間数	履修	備考
臨床医学	整形外科学総論	16	必修	
	整形外科学各論	28	必修	
	皮膚科学	34	必修	
	泌尿器科学総論	10	必修	
	泌尿器科学各論	36	必修	
	眼科学	25	必修	
	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	54	必修	
	産科学	22	必修	
	婦人科学	48	必修	
	放射線科学	30	必修	
	麻酔科学	32	必修	
	リハビリテーション医学	32	必修	
	救急医学	20	必修	
	血液内科学総論	20	必修	
	血液内科学各論	26	必修	
	歯科・口腔外科学	24	必修	
	総合診療医学	30	必修	
	臨床検査医学	22	必修	
	遺伝子診断・治療学	29	必修	
	医のプロフェッショナリズム	40	必修	
	臨床診断学	134	必修	
	症候論統合講義	200	必修	
	早期臨床体験実習Ⅰ	40	必修	
	早期臨床体験実習Ⅱ	40	必修	
	早期臨床体験実習Ⅲ	40	必修	
	臨床実習	2,520	必修	
産業医学	産業医学Ⅰ	24	必修	産業医学Ⅱの放射線衛生については、実習を含む。
	産業医学Ⅱ（労働衛生一般、放射線衛生）	52	必修	
	産業医学Ⅲ（作業環境管理、作業管理、有害業務管理）	24	必修	
	産業医学Ⅳ（健康管理、メンタルヘルス、健康の保持増進対策）	24	必修	
	産業医学Ⅴ（産業医学現場実習、産業医学シュミレーション実習）	86	必修	
	産業医学Ⅵ（治療と職業生活との両立支援）	36	必修	
卒業に必要な時間数		7,163		

産業医科大学医学部授業科目の履修の認定方法及び学習の評価・進級に関する規程

（目的）

第１条　この規程は、産業医科大学学則（昭和52年12月21日。以下「学則」という。）第18条第５項の規定に基づき、医学部授業科目の履修の認定方法及び学習の評価・進級に関する取扱いを定めることを目的とする。

（履修届）

第２条　学生は、各年次又は各学期の始めに、その年次又は学期に開講される選択科目について、履修しようとする授業科目を定めて、学長に届け出なければならない。

２　前項の届出は、各学期の授業開始後１週間以内に教務課に履修届を提出することにより行うものとする。

３　第１項の各年次に開講される授業科目は、別表１のとおりとする。

（履修科目の変更・取消）

第３条　前条第１項により届け出た授業科目の変更又は取消をしようとするときは、学長に届け出なければならない。

２　前項の届出は、授業開始後２週間以内に教務課に履修科目変更・取消届を提出することにより行うものとする。

（履修の評価）

第４条　授業科目の履修の評価は、別表１の授業科目ごとに試験その他の方法により、その授業科目の担当の教授、准教授又は講師（以下「担当教員」という。）が行う。

（履修の評価基準）

第５条　前条の履修の評価は、Ａ（100点から90点）、Ｂ（89点から80点）、Ｃ（79点から70点）、Ｄ（69点から60点）及びＦ（59点以下）の５段階に区分して行う。

（履修の評価を受ける資格）

第６条　第４条に規定する授業科目の履修の評価を受けることができる資格を有する者は、講義については実授業時間の３分の２以上及び実験、実技又は実習については実授業時間の４分の３以上出席したものとする。

（試験）

第７条　第４条に規定する授業科目の履修の評価のための試験は、科目試験及び臨時試験とする。

２　基礎医学及び臨床医学の総合的な学力を認定するため、基礎総合試験、共用試験（CBT・OSCE）、総合試験及びPost-CC OSCEを行う。

３　前２項の試験の成績は、100点法によって表示し、60点以上を合格、59点以下を不合格とする。

４　前項により不合格となった者に対する再試験は行わない。ただし、その授業科目の担当教員（この項においては、第２項に定める試験の責任者を含む。）が必要と認めた場合は、再試験を行うことができる。この場合、再試験を受けようとする者は、所定の期日までに産業医科大学証明書交付に関する取扱要項（令和６年３月６日）第２条第２項に規定する証明書発行サービス（以下「証明書発行サービス」という。）を用いて、教務課を経由し担当教員に申請するとともに、学校法人産業医科大学学費等収納規程（昭和53年規程第10号。以下「学費等収納規程」という。）第４条第４項に定める手数料を証明書発行サービスを用いて納入するものとする。

５　前項ただし書の再試験において、合格点を得た場合には第３項の規定にかかわらず、60点をもってその成績とする。

（科目試験）

第８条　科目試験は、担当教員が行う。

２　前項の試験を受けなかった者のうち、担当教員が病気、災害等やむを得ない理由によって試験を受けることができなかったと認めた者については、願出により追試験を行うことができる。

３　前項の追試験を受けようとする者は、所定の期日までに証明書発行サービスを用いて、教務課を経由し担当教員に申請するとともに、学費等収納規程第４条第４項に定める手数料を証明書発行サービスを用いて納入するものとする。

４　第２項の追試験については、前条第３項の規定にかかわらず、76点以上はその80％を、75点以下60点以上は60点をもってその成績とする。

（臨時試験）

第９条　臨時試験は、各授業科目の担当教員が必要と認めたとき、適宜行うものとする。

２　臨時試験にかかる追試験については、前条の規定を準用する。

（基礎総合試験、共用試験、総合試験及びPost-CC OSCE）

第９条の２　基礎総合試験は第１年次から第３年次までの各年次、共用試験（CBT・OSCE）は第４年次、総合試験（Ⅱ）は第５年次、総合試験（Ⅰ・Ⅱ）及びPost-CC OSCEは第６年次に行う。

２　基礎総合試験、共用試験（CBT・OSCE）、総合試験及びPost-CC OSCEにかかる追試験については第８条第２項から第４項までの規定を準用する。

（試験の実施方法）

第10条　試験の実施方法は、科目試験及び臨時試験については各授業科目の担当教員が、基礎総合試験、共用試験（CBT・OSCE）、総合試験及びPost-CC OSCEについては教務委員会が定める。

（試験に関する不正行為）

第11条　試験に関し不正な行為があったと認められた者のその試験は無効とし、原級に留めることができる。

２　学長は、前項の場合において、学則第43条の規定に基づき、懲戒する。

（履修の認定及び進級）

第12条　授業科目の履修の認定は、別表１に掲げる授業科目ごとに担当教員が総合的に行い、学長が教授会の意見を聴いたうえで、決定する。

２　各年次末において別表２に掲げる授業科目の履修の認定がなされず、又は第１年次から第３年次において基礎総合試験、第４年次において共用試験（CBT・OSCE）、第５年次において総合試験（Ⅱ）、第６年次において総合試験（Ⅰ・Ⅱ）及びPost-CC OSCEに合格しない者は、学長が教授会の意見を聴いたうえで、原級に留める。

（再履修等）

第13条　第11条第１項及び前条第２項の規定により原級に留められた者は、翌年度において、その年次の全科目（別表１に掲げる授業科目のうち履修の認定を受けた総合教育の授業科目を除く。）を再履修し、履修の認定を受けなければならない。

２　前項の場合において、原級に留められた年次が第１年次から第３年次にあっては基礎総合試験を、第４年次にあっては共用試験（CBT・OSCE）を、第５年次にあっては総合試験（Ⅱ）を、第６年次にあっては総合試験（Ⅰ・Ⅱ）及びPost-CC OSCEを再受験し、合格しなければならない。

（除籍）

第14条　次の各号の一に掲げる事由に該当する者は、学則第25条第１号の規定に基づき、学長が除籍する。

（１）　同一年次に２年在学し、なお進級又は卒業できないとき。

（２）　第２年次までに３年在学し、なお進級できないとき。

附　則（平成24年３月15日規程第５号）

１　この規程は、平成24年４月１日から施行し、この規程による改正後の産業医科大学医学部授業科目の履修の認定方法及び学習の評価・進級に関する規程（以下「改正後の規程」という。）の規定は、同日以後に入学する者から適用する。

２　各年次に開講される授業科目及びその履修の認定については、当分の間、当該年度において教育上特に必要があると認めるときは、改正後の規程別表１、別表２及び別表３の規定にかかわらず、当該授業科目について開講される年次及び履修の認定を行う年次を変更することができる。

３　この規程の施行日前に入学した者については、改正後の規程の規定にかかわらず、なお従前の例による。

４　前項に定める者が原級に留められ、次年度以後の当該年次の教育課程がすでに改正後の規程の規定による教育課程に移行しているときは、前項の規定にかかわらず、その者に係る次年度以後の教育課程、履修方法及び進級・卒業の要件については、別に定めることができる。

附　則（平成24年３月28日規程第８号）

この規程は、平成24年４月１日から施行する。

附　則（平成27年３月26日規程第14号）

この規程は、平成27年４月１日から施行する。

附　則（平成28年３月10日規程第10号）

この規程は、平成28年４月１日から施行する。

附　則（平成30年８月28日規程第16号）

この規程は、平成30年10月１日から施行する。

附　則（平成30年11月29日規程第27号）

1　この規程は、平成31年４月１日から施行し、この規程による改正後の産業医科大学医学部授業科目の履修の認定方法及び学習の評価・進級に関する規程（以下「改正後の規程」という。）の規定は、同日以後に入学する者から適用する。

2　各年次に開講される授業科目及びその履修の認定については、当分の間、当該年度において教育上特に必要があると認めるときは、改正後の規程別表１及び別表２の規定にかかわらず、当該授業科目について開講される年次及び履修の認定を行う年次を変更することができる。

3　この規程の施行日前に入学した者については、改正後の規程の規定にかかわらず、なお従前の例による。ただし、第12条第１項の規定については、この限りでない。

4　前項に定める者が原級に留められ、次年度以後の当該年次の教育課程がすでに改正後の規程の規定による教育課程に移行しているときは、前項の規定にかかわらず、その者に係る次年度以後の教育課程、履修方法及び進級・卒業の要件については、別に定めることができる。

附　則（令和７年３月　日規程第　号）

この規程は、令和７年４月１日から施行する。

別表１　授業時間数を定める授業科目（第２条関係）

授業科目				第１年次	第２年次	第３年次	第４年次	第５年次	第６年次	計
総合教育	総合科目	必修	心理学	30						30
		必修	人間関係論	40						40
		必修	哲学概論	44						44
		必修	数学概論	30						30
	外国語	必修	医学英語Ⅰ	80						80
		必修	医学英語Ⅱ		80					80
		必修	医学概論Ⅰ	64						64
		必修	医学概論Ⅱ		30					30
		必修	医学概論Ⅲ			30				30
		必修	医学概論Ⅳ				30			30
		必修	総合教育セミナー	15						15
	選択	選択	病の文学	14						14
		選択	英語運用論（TOEIC入門）	14						14
		選択	法学概論	14						14
		選択	経済学入門	14						14
		選択	自然科学思想史	14						14
		選択	医療統計学	20						20
		選択	生命科学・環境科学概論	12						12
		選択	比較動物医学	12						12
		選択	医療社会学	14						14
		選択	医用工学入門	8						8
		選択	先端医科学講釈	18						18
		選択	ドイツ語	48						48
		選択	フランス語	48						48
医学基礎		必修	医科物理学	40						40
		必修	生体物質化学	40						40
		必修	細胞生物学	40						40
		必修	医学基礎実験	72						72
		必修	情報統計学	54						54
		必修	救急蘇生法	12						12
		必修	臨床医学入門	40						40
		必修	医療職概論	36						36
基礎医学		必修	人体発生学		16					16
		必修	系統解剖学総論	34						34
		必修	系統解剖学各論		158					158
		必修	組織解剖学総論	48						48
		必修	組織解剖学各論		112					112

授業科目			第１年次	第２年次	第３年次	第４年次	第５年次	第６年次	計
基礎医学	必修	生理学（動物性機能）		81					81
	必修	生理学（植物性機能）		81					81
	必修	医化学	84						84
	必修	分子生物学	76						76
	必修	薬理学		104					104
	必修	基礎病理学		58					58
	必修	臨床病理学			79				79
	必修	病態病理学			79				79
	必修	免疫学・寄生虫学		118					118
	必修	微生物学		106					106
	必修	衛生学		64					64
	必修	公衆衛生学			82				82
	必修	法医学			70				70
	必修	研究室配属			360				360
臨床医学	必修	第１内科学総論			46				46
	必修	第１内科学各論				66			66
	必修	第２内科学総論			32				32
	必修	第２内科学各論				56			56
	必修	第３内科学総論			28				28
	必修	第３内科学各論				32			32
	必修	呼吸器内科学総論			22				22
	必修	呼吸器内科学各論				26			26
	必修	神経内科学総論			20				20
	必修	神経内科学各論				40			40
	必修	精神医学総論			16				16
	必修	精神医学各論				36			36
	必修	小児科学Ⅰ			28				28
	必修	小児科学Ⅱ				54			54
	必修	第１外科学総論			16				16
	必修	第１外科学各論				36			36
	必修	第２外科学総論			18				18
	必修	第２外科学各論				22			22
	必修	心臓血管外科学				14			14
	必修	脳神経外科学総論			8				8
	必修	脳神経外科学各論				12			12
	必修	整形外科学総論			16				16
	必修	整形外科学各論				28			28
	必修	皮膚科学			34				34

授業科目			第１年次	第２年次	第３年次	第４年次	第５年次	第６年次	計
臨床医学	必修	泌尿器科学総論			10				10
	必修	泌尿器科学各論				36			36
	必修	眼科学				25			25
	必修	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学				54			54
	必修	産科学			22				22
	必修	婦人科学				48			48
	必修	放射線科学				30			30
	必修	麻酔科学				32			32
	必修	リハビリテーション医学				32			32
	必修	救急医学				20			20
	必修	血液内科学総論			20				20
	必修	血液内科学各論				26			26
	必修	歯科・口腔外科学			24				24
	必修	総合診療医学				30			30
	必修	臨床検査医学				22			22
	必修	遺伝子診断・治療学				29			29
	必修	医のプロフェッショナリズム				40			40
	必修	臨床診断学				134			134
	必修	症候論統合講義						200	200
	必修	早期臨床体験実習Ⅰ	40						40
	必修	早期臨床体験実習Ⅱ		40					40
	必修	早期臨床体験実習Ⅲ			40				40
	必修	臨床実習				400	1,600	520	2,520
産業医学	必修	産業医学Ⅰ	24						24
	必修	産業医学Ⅱ（労働衛生一般、放射線衛生）		52					52
	必修	産業医学Ⅲ（作業環境管理、作業管理、有害業務管理）			24				24
	必修	産業医学Ⅳ（健康管理、メンタルヘルス、健康の保持増進対策）				24			24
	必修	産業医学Ⅴ（産業医学現場実習、産業医学シミュレーション実習）					86		86
	必修	産業医学Ⅵ（治療と職業生活との両立支援）						36	36
卒業に必要な時間数			1,063	1,100	1,124	1,434	1,686	756	7,163

注）総合教育の選択科目については、合計120時間以上を履修する。

別表２　進級・卒業要件（第12条関係）

年次	履修又は合格の認定がなければ原級に留め置かれる授業科目及び試験
1	心理学、人間関係論、哲学概論、数学概論、医学英語Ⅰ、医学概論Ⅰ、総合教育セミナー、（病の文学、英語運用論（ＴＯＥＩＣ入門）、法学概論、経済学入門、自然科学思想史、医療統計学、生命科学・環境科学概論、比較動物医学、医療社会学、医用工学入門、先端医科学講釈、ドイツ語、フランス語)のうち選択した科目の履修時間合計数は120時間以上、医科物理学、生体物質化学、細胞生物学、医学基礎実験、情報統計学、救急蘇生法、臨床医学入門、医療職概論、系統解剖学総論、組織解剖学総論、医化学、分子生物学、早期臨床体験実習Ⅰ、産業医学Ⅰ、基礎総合試験Ⅰ
2	医学英語Ⅱ、医学概論Ⅱ、人体発生学、系統解剖学各論、組織解剖学各論、生理学（動物性機能）、生理学（植物性機能）、薬理学、基礎病理学、免疫学・寄生虫学、微生物学、衛生学、早期臨床体験実習Ⅱ、産業医学Ⅱ（労働衛生一般、放射線衛生）、基礎総合試験Ⅱ
3	医学概論Ⅲ、臨床病理学、病態病理学、公衆衛生学、法医学、研究室配属、第１内科学総論、第２内科学総論、第３内科学総論、呼吸器内科学総論、神経内科学総論、精神医学総論、小児科学Ⅰ、第１外科学総論、第２外科学総論、脳神経外科学総論、整形外科学総論、皮膚科学、泌尿器科学総論、産科学、血液内科学総論、歯科・口腔外科学、早期臨床体験実習Ⅲ、産業医学Ⅲ（作業環境管理、作業管理、有害業務管理）、基礎総合試験Ⅲ
4	医学概論Ⅳ、第１内科学各論、第２内科学各論、第３内科学各論、呼吸器内科学各論、神経内科学各論、精神医学各論、小児科学Ⅱ、第１外科学各論、第２外科学各論、心臓血管外科学、脳神経外科学各論、整形外科学各論、泌尿器科学各論、眼科学、耳鼻咽喉科・頭頸部外科学、婦人科学、放射線科学、麻酔科学、リハビリテーション医学、救急医学、血液内科学各論、総合診療医学、臨床検査医学、遺伝子診断・治療学、医のプロフェッショナリズム、臨床診断学、臨床実習、産業医学Ⅳ（健康管理、メンタルヘルス、健康の保持増進対策）、共用試験（CBT・OSCE）
5	臨床実習、産業医学Ⅴ（産業医学現場実習、産業医学シミュレーション実習）、総合試験（Ⅱ）
6	臨床実習、症候論統合講義、産業医学Ⅵ（治療と職業生活との両立支援）、総合試験（Ⅰ・Ⅱ）、Post-CC OSCE

産業医科大学医学部におけるＧＰＡ制度の実施要領

（目的）

第１条　この要領は、産業医科大学学則第 18 条第３項の規定並びに産業医科大学医学部授業科目の履修の認定方法及び学習の評価・進級に関する規程第５条の規定に基づき、産業医科大学医学部（以下「医学部」という。）におけるＧＰＡ（Grade Point Average）制度（以下「ＧＰＡ」という。）に関して、必要な事項を定めることを目的とする。

（評価、評点、ＧＰ、評価の基準）

第２条　学生が履修した各授業科目の成績に係る評価、評点、ＧＰ（Grade Point）及び評価の基準は、次表のとおりとする。

評価	評点	ＧＰ	評価の基準
Ａ	100 点～90 点	４	到達目標を達成し、極めて優秀な学修成果をあげた。
Ｂ	89 点～80 点	３	到達目標を達成し、優秀な学修成果をあげた。
Ｃ	79 点～70 点	２	到達目標を達成し、良好な学修成果をあげた。
Ｄ	69 点～60 点	１	到達目標を達成し、一定の学修成果をあげた。
Ｆ	59 点以下	０	到達目標を達成せず、一定の学修水準に達していない。
合格	－	―	到達目標を達成し、一定の学修水準に達している。
不合格	－	―	到達目標を達成せず、一定の学修水準に達していない。

（ＧＰＡの種類と算出方法）

第３条　ＧＰＡは、当該学年における学修の状況及び成果を示す指標（以下「学年ＧＰＡ」という。）及び在学中における全期間の学修の状況及び成果を示す指標（以下「累積ＧＰＡ」という。）の２種類とする。

２　学年ＧＰＡ及び累積ＧＰＡ算出の計算式は、次の各号に掲げるとおりとし、算出された数値に小数点以下がある場合は、小数点第３位の値を四捨五入する。

⑴　学年ＧＰＡ算出の計算式

$$\text{学年ＧＰＡ} = \frac{\begin{array}{l}４\times\text{Ａの取得時間数}+３\times\text{Ｂの取得時間数}+２\times\text{Ｃの取得時間数}+\\ １\times\text{Ｄの取得時間数}+０\times\text{Ｆの取得時間数}\end{array}}{\text{当該学年における履修時間数（Ｆの時間数を含む）}}$$

⑵　累積ＧＰＡ算出の計算式

$$\text{累積ＧＰＡ} = \frac{\begin{array}{l}４\times\text{Ａの取得時間数}+３\times\text{Ｂの取得時間数}+２\times\text{Ｃの取得時間数}+\\ １\times\text{Ｄの取得時間数}+０\times\text{Ｆの取得時間数}\end{array}}{\text{全在学期間における総履修時間数（Ｆの時間数を含む）}}$$

（対象授業科目）

第４条　ＧＰＡ算出の対象は、進級・卒業要件に算入できる全ての授業科目とする。

２　前項の規定にかかわらず、次の各号に掲げる授業科目に該当する場合は、ＧＰＡ算出の対象外とする。

⑴　第２条に規定する「合格」及び「不合格」をもって評価される授業科目

⑵　医学部において学長が指定する授業科目

（ＧＰＡ算出期日の取扱い）

第５条　ＧＰＡの算出は、学年ごとに指定された成績登録締切日までに確定した成績に基づいて行う。

（再履修科目の取扱い）

第６条　再履修によって得た授業科目の評価及び時間数は、当該年度のＧＰＡの算出に算入するものとする。

（成績通知）

第７条　成績通知においては、各授業科目の評価及びＧＰＡ（学年及び累積）を記載するものとする。

（ＧＰＡの活用）

第８条　教育内容等の改善のための組織的な教員研修、学生の履修指導・学修支援、学生生活支援等にＧＰＡを活用するものとする。

（雑則）

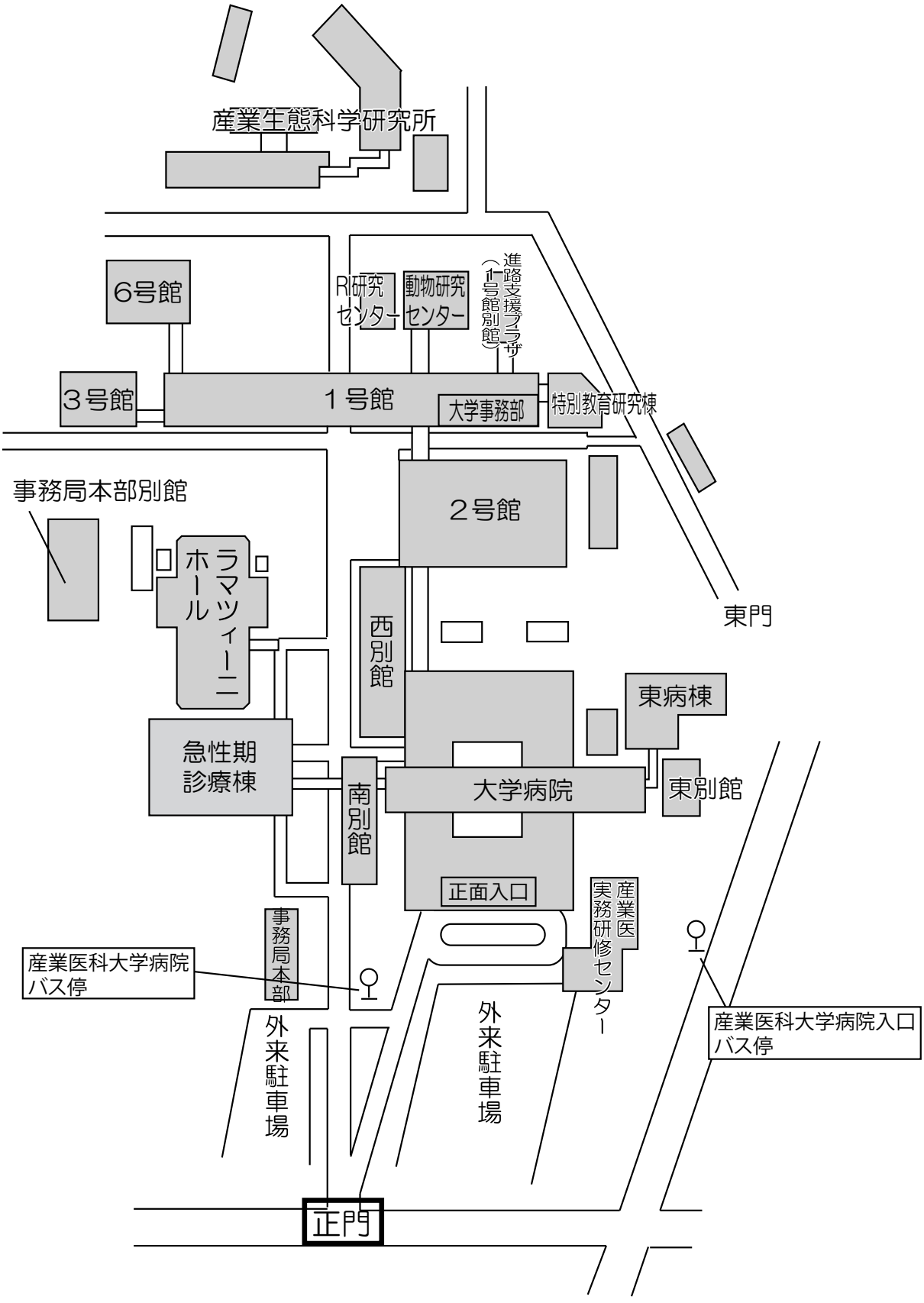
第９条　この要領に定めるもののほか、ＧＰＡ制度の実施に関し必要な事項は、別に定める。

附　則（平成 30 年 11 月 29 日）

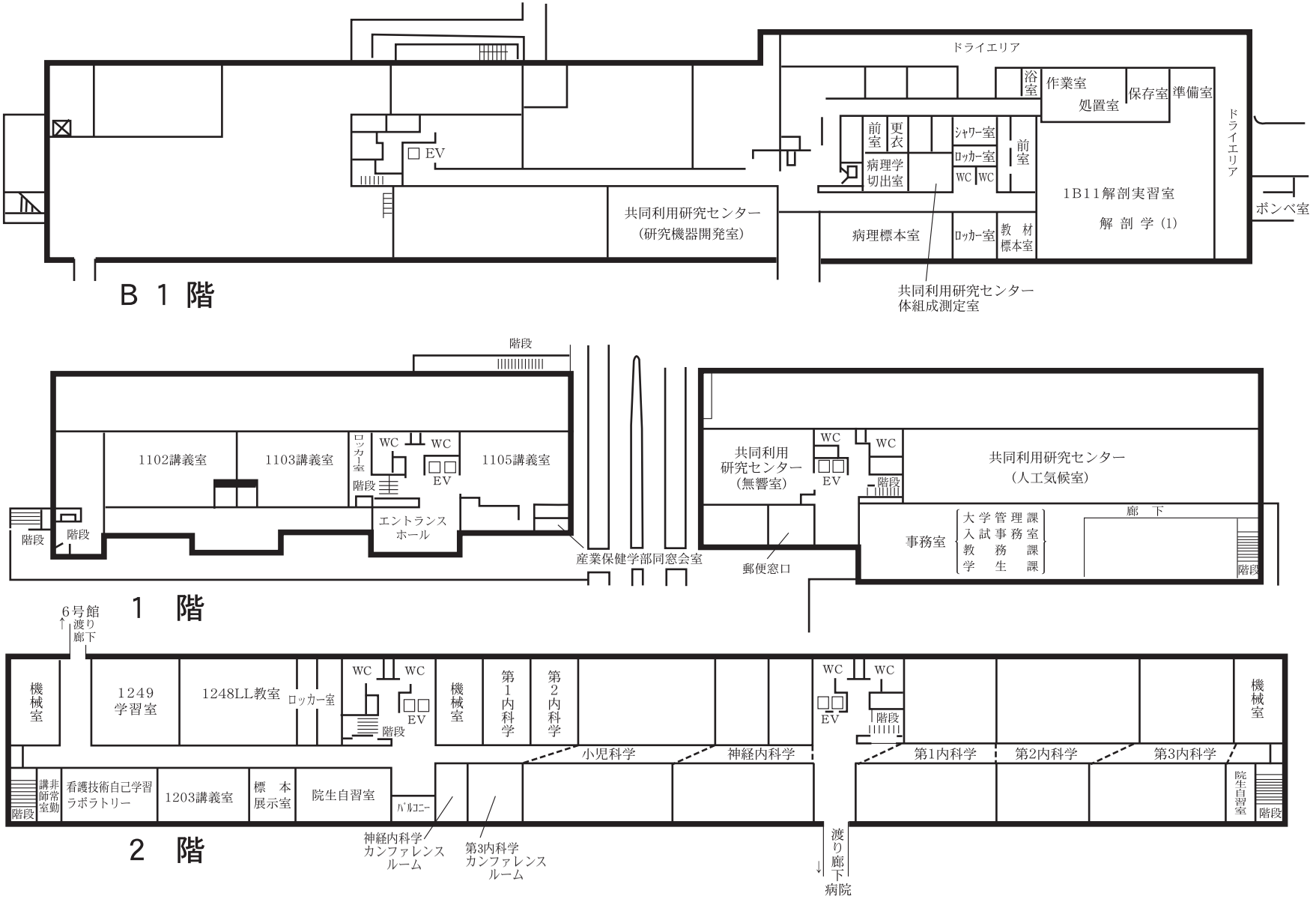
この要領は、平成 31 年４月１日から施行し、平成 31 年度に第１年次に入学する者から適用する。

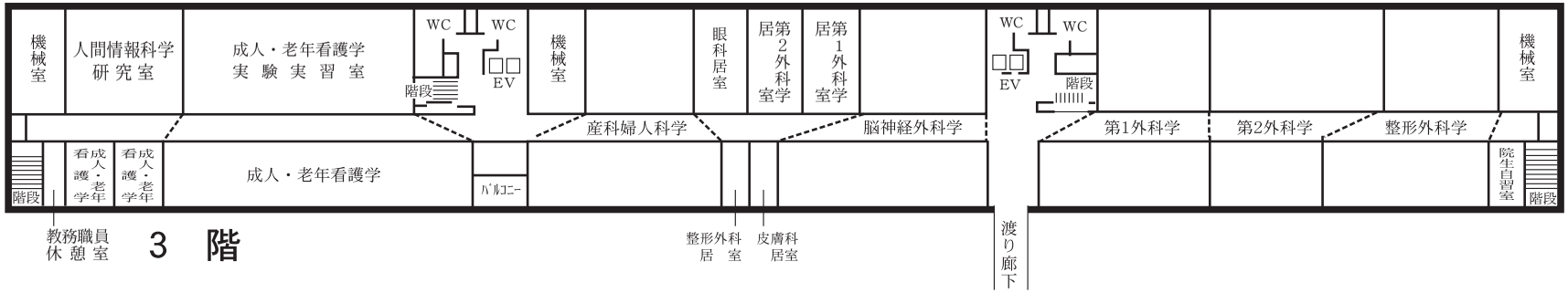
施 設 案 内 図

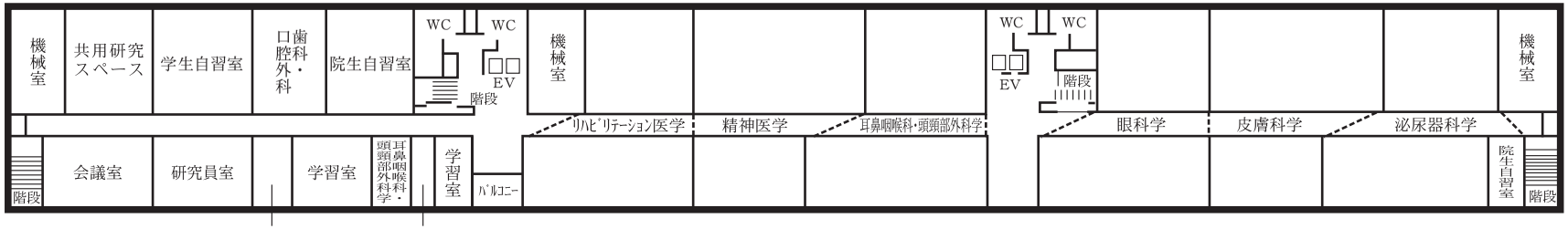
キャンパスマップ

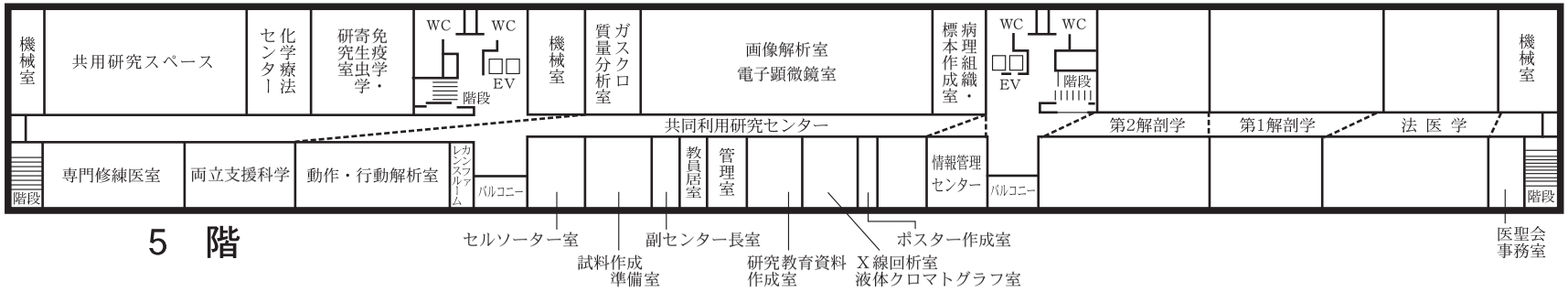

産業生態科学研究所
6号館
RI研究センター
動物研究センター
進路支援プラザ（1号館別館）
3号館
1号館
大学事務部
特別教育研究棟
事務局本部別館
2号館
ラマツィーニホール
東門
西別館
東病棟
急性期診療棟
南別館
大学病院
東別館
正面入口
産業医実務研修センター
事務局本部
産業医科大学病院バス停
外来駐車場
外来駐車場
産業医科大学病院入口バス停
正門

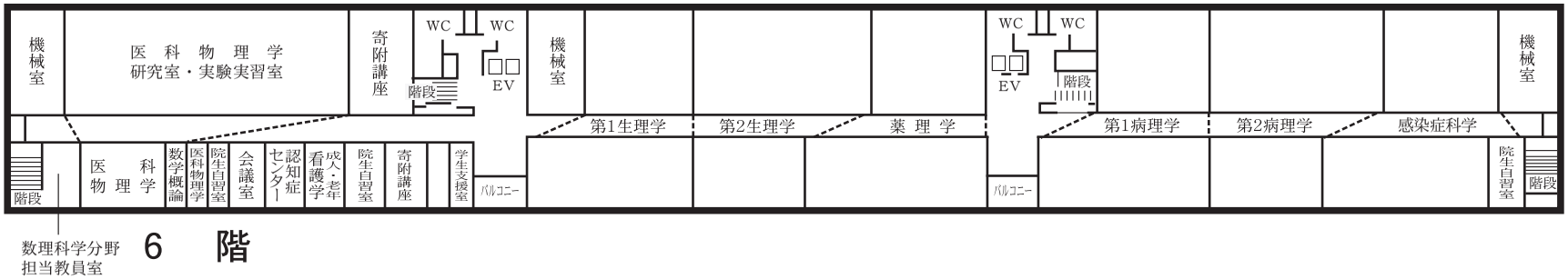
大学本館1号館

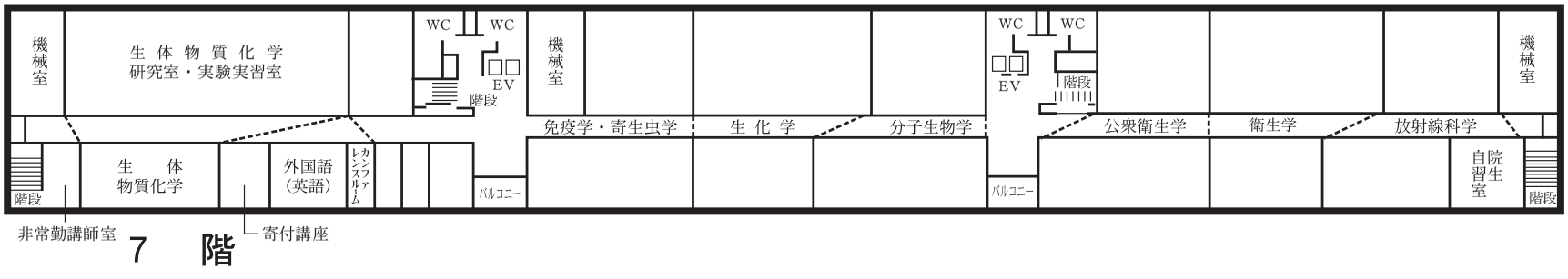

B 1 階
□ EV
共同利用研究センター
（研究機器開発室）
ドライエリア
浴室
作業室
処置室
保存室
準備室
前室
更衣
病理学切出室
シャワー室
ロッカー室
WC
WC
前室
1B11解剖実習室
解 剖 学（1）
ドライエリア
ボンベ室
病理標本室
ロッカー室
教材標本室
共同利用研究センター
体組成測定室
1 階
階段
1102講義室
1103講義室
ロッカー室
WC
WC
EV
1105講義室
階段
階段
階段
エントランスホール
産業保健学部同窓会室
共同利用
研究センター
（無響室）
WC
WC
EV
階段
共同利用研究センター
（人工気候室）
郵便窓口
事務室
大学管理課
入試事務室
教務課
学生課
廊下
階段
2 階
6号館
渡り
廊下
機械室
1249
学習室
1248LL教室
ロッカー室
WC
WC
EV
階段
機械室
第1内科学
第2内科学
WC
WC
EV
階段
小児科学
神経内科学
第1内科学
第2内科学
第3内科学
機械室
階段
講師室
非常勤
看護技術自己学習
ラボラトリー
1203講義室
標本
展示室
院生自習室
バルコニー
院生自習室
階段
神経内科学
カンファレンス
ルーム
第3内科学
カンファレンス
ルーム
渡り
廊下
病院

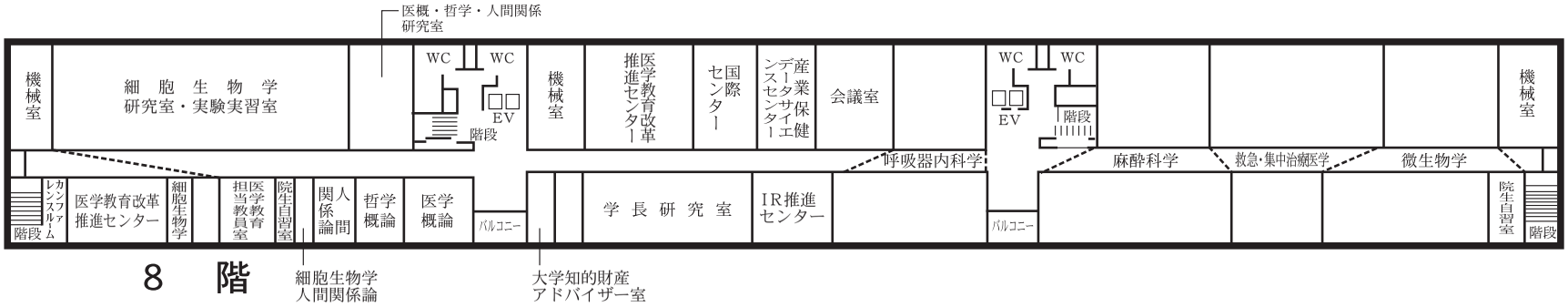

機械室
人間情報科学研究室
成人・老年看護学実験実習室
WC
WC
EV
階段
機械室
眼科居室
居第2外科学室
居第1外科学室
WC
WC
EV
階段
機械室
産科婦人科学
脳神経外科学
第1外科学
第2外科学
整形外科学
階段
看護学 成人・老年学
看護学 成人・老年学
成人・老年看護学
バルコニー
院生自習室
階段
教務職員休憩室
3 階
整形外科居室
皮膚科居室
渡り廊下


機械室
共用研究スペース
学生自習室
口腔外科
院生自習室
WC
WC
EV
階段
機械室
リハビリテーション医学
精神医学
耳鼻咽喉科・頭頸部外科学
WC
WC
EV
階段
眼科学
皮膚科学
泌尿器科学
機械室
階段
会議室
研究員室
学習室
耳鼻咽喉科・頭頸部外科学
学習室
バルコニー
院生自習室
階段
4 階
産学連携・知的財産担当教員室
リハビリテーション医学

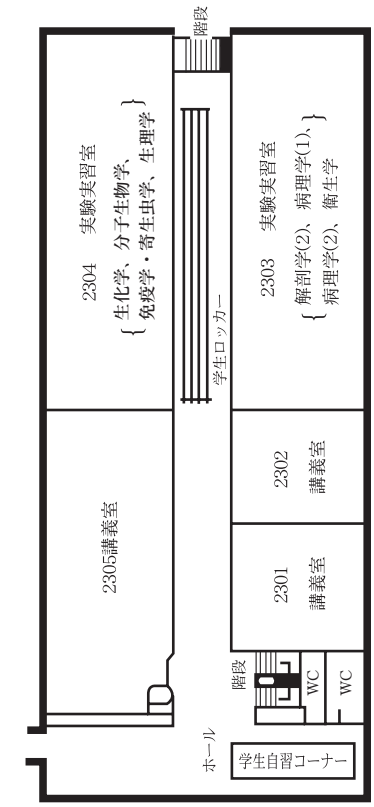

機械室
共用研究スペース
化学療法センター
寄生虫学・免疫学研究室
WC
WC
EV
階段
機械室
ガスクロ質量分析室
画像解析室
電子顕微鏡室
病理組織・標本作成室
WC
WC
EV
階段
機械室
共同利用研究センター
第2解剖学
第1解剖学
法医学
階段
専門修練医室
両立支援科学
動作・行動解析室
レンファーム
バルコニー
教員居室
管理室
情報管理センター
バルコニー
階段
5 階
セルソーター室
試料作成準備室
副センター長室
研究教育資料作成室
X線回析室
液体クロマトグラフ室
ポスター作成室
医聖会事務室


機械室
医科物理学
研究室・実験実習室
寄附講座
WC
WC
EV
階段
機械室
第1生理学
第2生理学
薬理学
WC
WC
EV
階段
第1病理学
第2病理学
感染症科学
機械室
階段
医科物理学
数学概論
医科物理学
院生自習室
会議室
認知症センター
成人・老年看護学
院生自習室
寄附講座
学生支援室
バルコニー
バルコニー
院生自習室
階段
数理科学分野
担当教員室
6 階

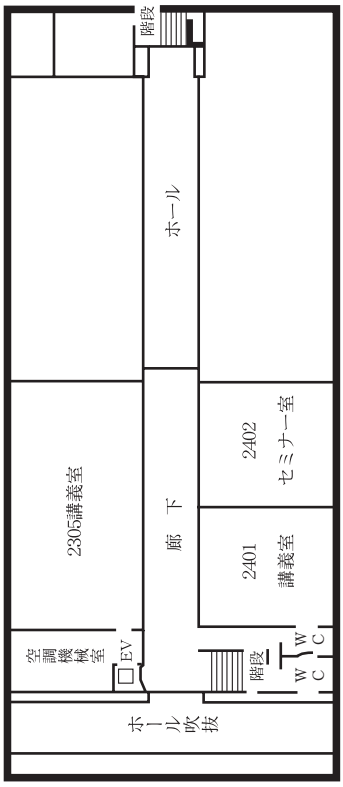

機械室
生体物質化学
研究室・実験実習室
WC
WC
EV
階段
機械室
免疫学・寄生虫学
生化学
分子生物学
WC
WC
EV
階段
公衆衛生学
衛生学
放射線科学
機械室
階段
生体
物質化学
外国語
(英語)
カンファレンスルーム
バルコニー
バルコニー
院生自習室
階段
非常勤講師室
寄付講座
7 階


医概・哲学・人間関係
研究室
機械室
細胞生物学
研究室・実験実習室
WC
WC
EV
階段
機械室
医学教育改革推進センター
国際センター
産業保健データサイエンスセンター
会議室
呼吸器内科学
WC
WC
EV
階段
麻酔科学
救急・集中治療医学
微生物学
機械室
階段
カンファレンスルーム
医学教育改革推進センター
細胞生物学
医学教育担当教員室
院生自習室
人間関係論
哲学概論
医学概論
バルコニー
学長研究室
IR推進センター
バルコニー
院生自習室
階段
8 階
細胞生物学
人間関係論
大学知的財産
アドバイザー室

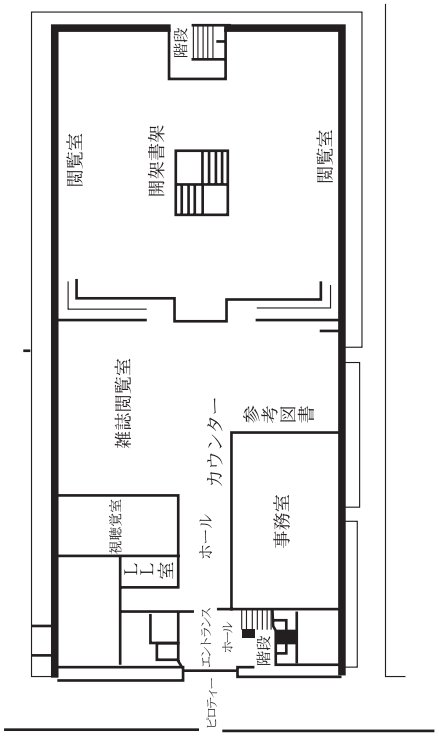
大学本館2号館



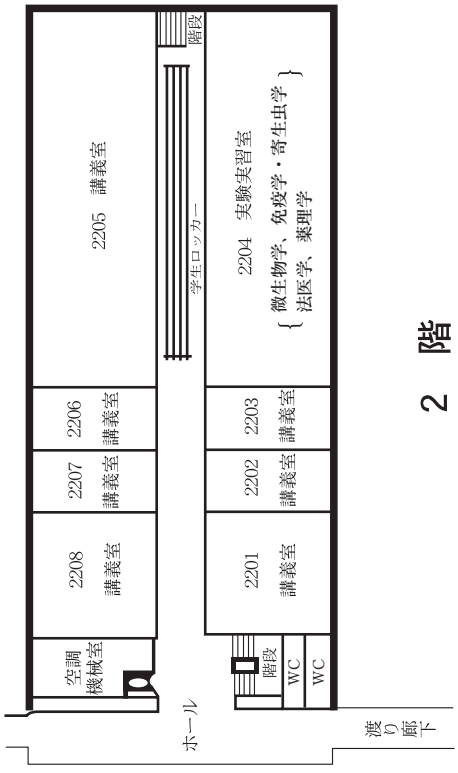
3 階



4 階



1 階



2 階

授業時間割
授　業　内　容

1 年 次

授業科目	頁	開講 前学期	開講 後学期
心理学	71	○	○
人間関係論	73	○	
哲学概論	75	○	
数学概論	77	○	
医学英語Ⅰ	79	○	○
医学概論Ⅰ	83	○	
総合教育セミナー	85	○	
医科物理学	86	○	
生体物質化学	88	○	
細胞生物学	90	○	
医学基礎実験	92	○	
情報統計学	94	○	
救急蘇生法	96	○	
臨床医学入門	97	○	○
医療職概論	98		○
系統解剖学総論	100		○
組織解剖学総論	102		○
医化学	104	○	○
分子生物学	106	○	○
早期臨床体験実習Ⅰ	109		○
産業医学Ⅰ	110	○	○

1 年 次

授業科目	頁	開講 前学期	開講 後学期
病の文学（選択科目）	112		○
英語運用論（TOEIC入門）（選択科目）	113	○	
法学概論（選択科目）	114	○	
経済学入門（選択科目）	115	○	
自然科学思想史（選択科目）	116		○
医療統計学（選択科目）	117		○
生命科学・環境科学概論（選択科目）	119		○
比較動物医学（選択科目）	120		○
医療社会学（選択科目）	121		○
医用工学入門（選択科目）	123	○	
先端医科学講釈（選択科目）	124		○
ドイツ語（選択科目）	125	○	○
フランス語（選択科目）	127	○	○

令和７年度　時間割

1年次　前学期

４　／　７（月）～　４　／３０（水）

1限　8:50 ～ 9:40　　5限　13:40 ～14:30　　9限　17:40～18:30
2限　9:50 ～10:40　　6限　14:40 ～15:30　　10限　18:40～19:30
3限　10:50 ～11:40　　7限　15:40 ～16:30
4限　11:50 ～12:40　　8限　16:40 ～17:30

	月	火	水	木	金
		1日	2日	3日	4日
1限					
2限					
3限					
4限				入学式	オリエンテーション
5限					
6限					
7限					
8限					
	7日	8日	9日	10日	11日
1限	数学概論 1	医学英語Ⅰ 1	英語運用論(TOEIC) 1	哲学概論 1	細胞生物学 1
2限	数学概論 2	医学英語Ⅰ 2	英語運用論(TOEIC) 2	哲学概論 2	細胞生物学 2
3限	人間関係論 1	医学英語Ⅰ 3	数学概論 3	ドイツ語 1 フランス語 1	人間関係論 3
4限	人間関係論 2	医学英語Ⅰ 4	数学概論 4	ドイツ語 2 フランス語 2	人間関係論 4
5限	医学概論Ⅰ 1	法学概論 1	生体物質化学 3	情報統計学 1	医科物理学 1
6限	医学概論Ⅰ 2	法学概論 2	生体物質化学 4	情報統計学 2	医科物理学 2
7限	生体物質化学 1	経済学入門 1	医用工学入門 1	情報統計学 3	医科物理学 3
8限	生体物質化学 2	経済学入門 2	医用工学入門 2	情報統計学 4	医科物理学 4
	14日	15日	16日	17日	18日
1限	数学概論 5	医学英語Ⅰ 5	英語運用論(TOEIC) 3	哲学概論 3	細胞生物学 3
2限	数学概論 6	医学英語Ⅰ 6	英語運用論(TOEIC) 4	哲学概論 4	細胞生物学 4
3限	人間関係論 5	医学英語Ⅰ 7	数学概論 7	ドイツ語 3 フランス語 3	細胞生物学 5
4限	人間関係論 6	医学英語Ⅰ 8	数学概論 8	ドイツ語 4 フランス語 4	細胞生物学 6
5限	人間関係論 7	法学概論 3	生体物質化学 5	情報統計学 5	医科物理学 5
6限	医学概論Ⅰ 3	法学概論 4	生体物質化学 6	情報統計学 6	医科物理学 6
7限	医学概論Ⅰ 4	経済学入門 3	医用工学入門 3	情報統計学 7	医科物理学 7
8限		経済学入門 4	医用工学入門 4	情報統計学 8	医科物理学 8
	21日	22日	23日	24日	25日
1限	数学概論 9	医学英語Ⅰ 9	健康診断	哲学概論 5	細胞生物学 7
2限	数学概論 10	医学英語Ⅰ 10		哲学概論 6	細胞生物学 8
3限	人間関係論 8	医学英語Ⅰ 11		ドイツ語 5 フランス語 5	人間関係論 11
4限	人間関係論 9	医学英語Ⅰ 12		ドイツ語 6 フランス語 6	人間関係論 12
5限	人間関係論 10	法学概論 5	生体物質化学 7	情報統計学 9	医科物理学 9
6限	医学概論Ⅰ 5	法学概論 6	生体物質化学 8	情報統計学 10	医科物理学 10
7限	医学概論Ⅰ 6	経済学入門 5	医用工学入門 5	情報統計学 11	医科物理学 11
8限		経済学入門 6	医用工学入門 6	情報統計学 12	医科物理学 12
	28日	29日	30日		
1限	開学記念日	昭和の日	英語運用論(TOEIC) 5		
2限			英語運用論(TOEIC) 6		
3限			細胞生物学 9		
4限			細胞生物学 10		
5限			生体物質化学 9		
6限			生体物質化学 10		
7限			医用工学入門 7		
8限			医用工学入門 8		

令和７年度　時間割

1年次　前学期

５　／　１（木）～　５　／30（金）

1限　8:50 ～ 9:40　　5限　13:40 ～14:30　　9限　17:40～18:30
2限　9:50 ～10:40　　6限　14:40 ～15:30　　10限　18:40～19:30
3限　10:50 ～11:40　　7限　15:40 ～16:30
4限　11:50 ～12:40　　8限　16:40 ～17:30

	月	火	水	木	金
				1日	2日
1限				哲学概論 7	
2限				哲学概論 8	
3限				ドイツ語 7 フランス語 7	人間関係論 13
4限				ドイツ語 8 フランス語 8	人間関係論 14
5限				情報統計学 13	医科物理学 13
6限				情報統計学 14	医科物理学 14
7限				情報統計学 15	医科物理学 15
8限				情報統計学 16	医科物理学 16
	5日	6日	7日	8日	9日
1限	こどもの日	振替休日	英語運用論(TOEIC) 7	総合教育セミナー 1	人間関係論 15
2限			英語運用論(TOEIC) 8	総合教育セミナー 2	人間関係論 16
3限			細胞生物学 11	ドイツ語 9 フランス語 9	人間関係論 17
4限			細胞生物学 12	ドイツ語 10 フランス語 10	人間関係論 18
5限			生体物質化学 11	哲学概論 9	医科物理学 17
6限			生体物質化学 12	哲学概論 10	医科物理学 18
7限				情報統計学 17	医科物理学 19
8限				情報統計学 18	医科物理学 20
	12日	13日	14日	15日	16日
1限	数学概論 11	医学英語Ⅰ 13	英語運用論(TOEIC) 9	哲学概論 11	細胞生物学 17
2限	数学概論 12	医学英語Ⅰ 14	英語運用論(TOEIC) 10	哲学概論 12	細胞生物学 18
3限	人間関係論 19	医学英語Ⅰ 15	細胞生物学 15	ドイツ語 11 フランス語 11	数学概論 13
4限	人間関係論 20	医学英語Ⅰ 16	細胞生物学 16	ドイツ語 12 フランス語 12	数学概論 14
5限	医学概論Ⅰ 7	法学概論 7	生体物質化学 13	人間関係論 21	医科物理学 23
6限	医学概論Ⅰ 8	法学概論 8	生体物質化学 14	人間関係論 22	医科物理学 24
7限	細胞生物学 13	経済学入門 7	医科物理学 21	情報統計学 19	医科物理学 25
8限	細胞生物学 14	経済学入門 8	医科物理学 22	情報統計学 20	医科物理学 26
	19日	20日	21日	22日	23日
1限	数学概論 15	医学英語Ⅰ 17	英語運用論(TOEIC) 11	哲学概論 13	細胞生物学 21
2限	数学概論 16	医学英語Ⅰ 18	英語運用論(TOEIC) 12	哲学概論 14	細胞生物学 22
3限	数学概論 17	医学英語Ⅰ 19	細胞生物学 19	ドイツ語 13 フランス語 13	数学概論 19
4限	数学概論 18	医学英語Ⅰ 20	細胞生物学 20	ドイツ語 14 フランス語 14	数学概論 20
5限	人間関係論 23	法学概論 9	生体物質化学 15	情報統計学 21	医科物理学 27
6限	人間関係論 24	法学概論 10	生体物質化学 16	情報統計学 22	医科物理学 28
7限	人間関係論 25	経済学入門 9	文献検索講習会	情報統計学 23	医科物理学 29
8限		経済学入門 10		情報統計学 24	医科物理学 30
	26日	27日	28日	29日	30日
1限	数学概論 21	医学英語Ⅰ 21	英語運用論(TOEIC) 13	哲学概論 15	細胞生物学 23
2限	数学概論 22	医学英語Ⅰ 22	英語運用論(TOEIC) 14	哲学概論 16	細胞生物学 24
3限	医学概論Ⅰ 9	医学英語Ⅰ 23	総合教育セミナー 3	ドイツ語 15 フランス語 15	細胞生物学 25
4限	医学概論Ⅰ 10	医学英語Ⅰ 24	総合教育セミナー 4	ドイツ語 16 フランス語 16	
5限	医学基礎実験 ①	法学概論 11	医学基礎実験 ②	人間関係論 26	医学基礎実験 ③
6限		法学概論 12		人間関係論 27	
7限		経済学入門 11			
8限		経済学入門 12			
9限					
10限					

令和７年度 時間割

1年次　前学期

６ ／ ２（月）～ ６ ／２７（金）

1限 8:50～9:40　2限 9:50～10:40　3限 10:50～11:40　4限 11:50～12:40
5限 13:40～14:30　6限 14:40～15:30　7限 15:40～16:30　8限 16:40～17:30
9限 17:40～18:30　10限 18:40～19:30

	月	火	水	木	金
	2日	3日	4日	5日	6日
1限			数学概論 23	哲学概論 17	医科物理学 31
2限		総合教育セミナー 5	数学概論 24	哲学概論 18	医科物理学 32
3限	医学概論Ⅰ 11	生体物質化学 17	数学概論 25	ドイツ語 17 フランス語 17	医科物理学 33
4限	医学概論Ⅰ 12	生体物質化学 18		ドイツ語 18 フランス語 18	医科物理学 34
5限	医学基礎実験 ④	法学概論 13	医学基礎実験 ⑤	人間関係論 28	医学基礎実験 ⑥
6限		法学概論 14		人間関係論 29	
7限		経済学入門 13			
8限		経済学入門 14			
9限					
10限					
	9日	10日	11日	12日	13日
1限	哲学概論 19		数学概論 26	哲学概論 21	
2限	哲学概論 20		数学概論 27	哲学概論 22	
3限	医学概論Ⅰ 13	生体物質化学 19		ドイツ語 19 フランス語 19	医科物理学 35
4限	医学概論Ⅰ 14	生体物質化学 20		ドイツ語 20 フランス語 20	医科物理学 36
5限	医学基礎実験 ⑦	医学英語Ⅰ 25	医学基礎実験 ⑧	情報統計学 25	医学基礎実験 ⑨
6限		医学英語Ⅰ 26		情報統計学 26	
7限		医学英語Ⅰ 27		情報統計学 27	
8限		医学英語Ⅰ 28		情報統計学 28	
9限					
10限					
	16日	17日	18日	19日	20日
1限		細胞生物学 26	救急蘇生法 1	哲学概論 23	総合教育セミナー 8
2限		細胞生物学 27	救急蘇生法 2	哲学概論 24	総合教育セミナー 9
3限	医学概論Ⅰ 15	生体物質化学 21	総合教育セミナー 6	ドイツ語 21 フランス語 21	人間関係論 30
4限	医学概論Ⅰ 16	生体物質化学 22	総合教育セミナー 7	ドイツ語 22 フランス語 22	人間関係論 31
5限	医学基礎実験 ⑩	医学英語Ⅰ 29	医学基礎実験 ⑪	情報統計学 29	医学基礎実験 ⑫
6限		医学英語Ⅰ 30		情報統計学 30	
7限		医学英語Ⅰ 31		情報統計学 31	
8限		医学英語Ⅰ 32		情報統計学 32	
9限					
10限					
	23日	24日	25日	26日	27日
1限	救急蘇生法 3	細胞生物学 28	生体物質化学 25	哲学概論 25	人間関係論 32
2限	救急蘇生法 4	細胞生物学 29	生体物質化学 26	哲学概論 26	人間関係論 33
3限	救急蘇生法 5	生体物質化学 23	細胞生物学 30	ドイツ語 23 フランス語 23	
4限	救急蘇生法 6	生体物質化学 24	細胞生物学 31	ドイツ語 24 フランス語 24	
5限		医学英語Ⅰ 33	細胞生物学 32	情報統計学 33	医科物理学 37
6限		医学英語Ⅰ 34	細胞生物学 33	情報統計学 34	医科物理学 38
7限		医学英語Ⅰ 35	総合教育セミナー 10	情報統計学 35	医学概論Ⅰ オリエンテーション
8限		医学英語Ⅰ 36	総合教育セミナー 11	情報統計学 36	
	30日				
1限	細胞生物学 34				
2限	細胞生物学 35				
3限	総合教育セミナー 12				
4限	総合教育セミナー 13				
5限	生体物質化学 27				
6限	生体物質化学 28				
7限	生体物質化学 29				
8限	生体物質化学 30				

令和７年度　時間割

1年次　前学期

７　／　１（火）～　７　／３１（木）

1限　8:50 ～ 9:40　　5限　13:40 ～14:30　　9限　17:40～18:30
2限　9:50 ～10:40　　6限　14:40 ～15:30　　10限　18:40～19:30
3限　10:50 ～11:40　　7限　15:40 ～16:30
4限　11:50 ～12:40　　8限　16:40 ～17:30

	月	火	水	木	金
		1日	2日	3日	4日
1限		生体物質化学 31	救急蘇生法 7	哲学概論 27	人間関係論 34
2限		生体物質化学 32	救急蘇生法 8	哲学概論 28	人間関係論 35
3限		生体物質化学 33	救急蘇生法 9	ドイツ語 25 フランス語 25	医科物理学 39
4限		生体物質化学 34	救急蘇生法 10	ドイツ語 26 フランス語 26	医科物理学 40
5限		細胞生物学 36	生体物質化学 35	情報統計学 37	情報統計学 41
6限		細胞生物学 37	生体物質化学 36	情報統計学 38	情報統計学 42
7限		細胞生物学 38	生体物質化学 37	情報統計学 39	情報統計学 43
8限			生体物質化学 38	情報統計学 40	情報統計学 44
	7日	8日	9日	10日	11日
1限	医学概論 I Early Medical Exposure				
2限					
3限					
4限					
5限					
6限					
7限					
8限					
	14日	15日	16日	17日	18日
1限	救急蘇生法 11	総合教育セミナー 14	情報統計学 45	哲学概論 29	人間関係論 36
2限	救急蘇生法 12	総合教育セミナー 15	情報統計学 46	哲学概論 30	
3限		細胞生物学 39	情報統計学 47		
4限		細胞生物学 40	情報統計学 48		
5限		医学英語Ⅰ 37	情報統計学 49	情報統計学 53	
6限		医学英語Ⅰ 38	情報統計学 50		
7限		医学英語Ⅰ 39	情報統計学 51		
8限		医学英語Ⅰ 40	情報統計学 52		
	21日	22日	23日	24日	25日
1限	海の日			哲学概論 31	
2限			生体物質化学 39	哲学概論 32	数学概論 28
3限			生体物質化学 40		数学概論 29
4限					数学概論 30
5限				情報統計学 54	
6限					
7限					
8限					
	28日	29日	30日	31日	
1限					
2限					
3限					
4限					
5限					
6限					
7限					
8限					

令和７年度　時間割

1年次　前学期

９　／　１（月）～　９　／３０（火）

1限　8:50 ～ 9:40　　5限　13:40 ～14:30　　9限　17:40～18:30
2限　9:50 ～10:40　　6限　14:40 ～15:30　　10限　18:40～19:30
3限　10:50 ～11:40　　7限　15:40 ～16:30
4限　11:50 ～12:40　　8限　16:40 ～17:30

	月	火	水	木	金
	1日	2日	3日	4日	5日
1限	分子生物学 1	分子生物学 5	心理学 1	哲学概論 35	医学概論Ⅰ（Early Medical Exposure）報告会
2限	分子生物学 2	分子生物学 6	心理学 2	哲学概論 36	
3限	分子生物学 3	分子生物学 7	哲学概論 33	医化学 5	
4限	分子生物学 4	分子生物学 8	哲学概論 34	医化学 6	
5限	医化学 1	産業医学Ⅰ 1	臨床医学入門 1	産業医学Ⅰ 5	
6限	医化学 2	産業医学Ⅰ 2	臨床医学入門 2	産業医学Ⅰ 6	
7限	医化学 3	産業医学Ⅰ 3	臨床医学入門 3	産業医学Ⅰ 7	
8限	医化学 4	産業医学Ⅰ 4	臨床医学入門 4	産業医学Ⅰ 8	
	8日	9日	10日	11日	12日
1限	分子生物学 9	分子生物学 12	心理学 3	哲学概論 39	
2限	分子生物学 10	分子生物学 13	心理学 4	哲学概論 40	
3限	分子生物学 11	分子生物学 14	哲学概論 37	医化学 11	
4限		分子生物学 15	哲学概論 38	医化学 12	
5限	医化学 7	産業医学Ⅰ 9	臨床医学入門 5	産業医学Ⅰ 13	人間関係論 37
6限	医化学 8	産業医学Ⅰ 10	臨床医学入門 6	産業医学Ⅰ 14	人間関係論 38
7限	医化学 9	産業医学Ⅰ 11	臨床医学入門 7	産業医学Ⅰ 15	人間関係論 39
8限	医化学 10	産業医学Ⅰ 12	臨床医学入門 8	産業医学Ⅰ 16	人間関係論 40
	15日	16日	17日	18日	19日
1限	敬老の日	分子生物学 16	心理学 5	医化学 13	医化学 17
2限		分子生物学 17	心理学 6	医化学 14	医化学 18
3限		分子生物学 18	哲学概論 41	医化学 15	医化学 19
4限		分子生物学 19	哲学概論 42	医化学 16	医化学 20
5限		産業医学Ⅰ 17	臨床医学入門 9	分子生物学 20	臨床医学入門 13
6限		産業医学Ⅰ 18	臨床医学入門 10	分子生物学 21	臨床医学入門 14
7限		産業医学Ⅰ 19	臨床医学入門 11	分子生物学 22	臨床医学入門 15
8限		産業医学Ⅰ 20	臨床医学入門 12	分子生物学 23	臨床医学入門 16
	22日	23日	24日	25日	26日
1限	分子生物学 24	秋分の日	心理学 7	医化学 25	
2限	分子生物学 25		心理学 8	医化学 26	
3限	分子生物学 26		哲学概論 43	医化学 27	臨床医学入門 23
4限	分子生物学 27		哲学概論 44	医化学 28	臨床医学入門 24
5限	医化学 21		臨床医学入門 17	分子生物学 28	産業医学Ⅰ 21
6限	医化学 22		臨床医学入門 18	分子生物学 29	産業医学Ⅰ 22
7限	医化学 23		臨床医学入門 19	臨床医学入門 21	産業医学Ⅰ 23
8限	医化学 24		臨床医学入門 20	臨床医学入門 22	産業医学Ⅰ 24
	29日	30日			
1限	分子生物学 30	医学英語Ⅰ 41			
2限	分子生物学 31	医学英語Ⅰ 42			
3限	分子生物学 32	医学英語Ⅰ 43			
4限	分子生物学 33	医学英語Ⅰ 44			
5限	医化学 29	臨床医学入門 25			
6限	医化学 30	臨床医学入門 26			
7限	医化学 31	臨床医学入門 27			
8限	医化学 32	臨床医学入門 28			

令和７年度　時間割

1年次　後学期

１０／　１（水）～　１０／３１（金）

1限　8:50 ～ 9:40　　5限　13:40 ～14:30　　9限　17:40～18:30
2限　9:50 ～10:40　　6限　14:40 ～15:30　　10限　18:40～19:30
3限 10:50 ～11:40　　7限　15:40 ～16:30
4限 11:50 ～12:40　　8限　16:40 ～17:30

	月	火	水	木	金
			1日	2日	3日
1限			心理学 9	生命科学・環境科学概論 1	比較動物医学 1
2限			心理学 10	生命科学・環境科学概論 2	比較動物医学 2
3限			医化学 33	ドイツ語 27 フランス語 27	医療統計学 1
4限			医化学 34	ドイツ語 28 フランス語 28	医療統計学 2
5限			医化学 35	分子生物学 34	組織解剖学総論 1
6限			医化学 36	分子生物学 35	組織解剖学総論 2
7限			臨床医学入門 29	分子生物学 36	病の文学 1
8限			臨床医学入門 30	分子生物学 37	病の文学 2
	6日	7日	8日	9日	10日
1限	医療統計学 3	医療社会学 1	心理学 11	生命科学・環境科学概論 3	比較動物医学 3
2限	医療統計学 4	医療社会学 2	心理学 12	生命科学・環境科学概論 4	比較動物医学 4
3限	分子生物学 38	臨床医学入門 33	医化学 37	ドイツ語 29 フランス語 29	医療統計学 5
4限	分子生物学 39	臨床医学入門 34	医化学 38	ドイツ語 30 フランス語 30	医療統計学 6
5限	組織解剖学総論 3	医学英語Ⅰ 45	医化学 39	分子生物学 40	組織解剖学総論 5
6限	組織解剖学総論 4	医学英語Ⅰ 46	医化学 40	分子生物学 41	組織解剖学総論 6
7限	臨床医学入門 31	医学英語Ⅰ 47		分子生物学 42	病の文学 3
8限	臨床医学入門 32	医学英語Ⅰ 48		分子生物学 43	病の文学 4
	13日	14日	15日	16日	17日
1限		医療社会学 3	心理学 13	生命科学・環境科学概論 5	比較動物医学 5
2限		医療社会学 4	心理学 14	生命科学・環境科学概論 6	比較動物医学 6
3限		臨床医学入門 35	医化学 41	ドイツ語 31 フランス語 31	医療統計学 7
4限	スポーツの日	臨床医学入門 36	医化学 42	ドイツ語 32 フランス語 32	医療統計学 8
5限		医学英語Ⅰ 49	医化学 43	分子生物学 44	組織解剖学総論 7
6限		医学英語Ⅰ 50	医化学 44	分子生物学 45	組織解剖学総論 8
7限		医学英語Ⅰ 51		分子生物学 46	病の文学 5
8限		医学英語Ⅰ 52		分子生物学 47	病の文学 6
	20日	21日	22日	23日	24日
1限	医療統計学 9	医療社会学 5	心理学 15	生命科学・環境科学概論 7	比較動物医学 7
2限	医療統計学 10	医療社会学 6	心理学 16	生命科学・環境科学概論 8	比較動物医学 8
3限		臨床医学入門 37	医化学 45	ドイツ語 33 フランス語 33	系統解剖学総論 1
4限		臨床医学入門 38	医化学 46	ドイツ語 34 フランス語 34	系統解剖学総論 2
5限	組織解剖学総論 9	医学英語Ⅰ 53	医化学 47	分子生物学 48	組織解剖学総論 11
6限	組織解剖学総論 10	医学英語Ⅰ 54	医化学 48	分子生物学 49	組織解剖学総論 12
7限		医学英語Ⅰ 55		分子生物学 50	病の文学 7
8限		医学英語Ⅰ 56		分子生物学 51	病の文学 8
	27日	28日	29日	30日	31日
1限	医療統計学 11	医療社会学 7	心理学 17	生命科学・環境科学概論 9	
2限	医療統計学 12	医療社会学 8	心理学 18	生命科学・環境科学概論 10	
3限	系統解剖学総論 3	臨床医学入門 39	医化学 49	ドイツ語 35 フランス語 35	
4限	系統解剖学総論 4	臨床医学入門 40	医化学 50	ドイツ語 36 フランス語 36	大学祭
5限		医学英語Ⅰ 57	医化学 51	分子生物学 52	準備日
6限		医学英語Ⅰ 58	医化学 52	分子生物学 53	
7限		医学英語Ⅰ 59	組織解剖学総論 13	分子生物学 54	
8限		医学英語Ⅰ 60		分子生物学 55	

令和７年度　時間割

1年次　後学期

１１／　３（月）～　１１／２８（金）

1限　8:50 ～ 9:40　　5限　13:40 ～14:30　　9限　17:40～18:30
2限　9:50 ～10:40　　6限　14:40 ～15:30　　10限　18:40～19:30
3限 10:50 ～11:40　　7限　15:40 ～16:30
4限 11:50 ～12:40　　8限　16:40 ～17:30

	月	火	水	木	金
1限					
2限					
3限					
4限					
5限					
6限					
7限					
8限					
	3日	4日	5日	6日	7日
1限	大学祭 文化の日	大学祭 後片付け	心理学 19	生命科学・環境科学概論 11	比較動物医学 9
2限			心理学 20	生命科学・環境科学概論 12	比較動物医学 10
3限				ドイツ語 37 フランス語 37	自然科学思想史 1
4限				ドイツ語 38 フランス語 38	自然科学思想史 2
5限				分子生物学 56	系統解剖学総論 5
6限				分子生物学 57	系統解剖学総論 6
7限				分子生物学 58	病の文学 9
8限				分子生物学 59	病の文学 10
	10日	11日	12日	13日	14日
1限	医療統計学 13	医療社会学 9	心理学 21		比較動物医学 11
2限	医療統計学 14	医療社会学 10	心理学 22		比較動物医学 12
3限	系統解剖学総論 7	系統解剖学総論 9	自然科学思想史 3	ドイツ語 39 フランス語 39	自然科学思想史 5
4限	系統解剖学総論 8	系統解剖学総論 10	自然科学思想史 4	ドイツ語 40 フランス語 40	自然科学思想史 6
5限	組織解剖学総論 14	医学英語Ⅰ 61	医化学 53	分子生物学 60	系統解剖学総論 11
6限	組織解剖学総論 15	医学英語Ⅰ 62	医化学 54	分子生物学 61	系統解剖学総論 12
7限	組織解剖学総論 16	医学英語Ⅰ 63		分子生物学 62	病の文学 11
8限	組織解剖学総論 17	医学英語Ⅰ 64		分子生物学 63	病の文学 12
	17日	18日	19日	20日	21日
1限	医療統計学 15	医療社会学 11	心理学 23		総合型選抜入試 準備日
2限	医療統計学 16	医療社会学 12	心理学 24		
3限	自然科学思想史 7	系統解剖学総論 13	自然科学思想史 9	ドイツ語 41 フランス語 41	
4限	自然科学思想史 8	系統解剖学総論 14	自然科学思想史 10	ドイツ語 42 フランス語 42	
5限	組織解剖学総論 18	医学英語Ⅰ 65	医化学 55	分子生物学 64	
6限	組織解剖学総論 19	医学英語Ⅰ 66	医化学 56	分子生物学 65	
7限	組織解剖学総論 20	医学英語Ⅰ 67	医化学 57	分子生物学 66	
8限	組織解剖学総論 21	医学英語Ⅰ 68	医化学 58	分子生物学 67	
	24日	25日	26日	27日	28日
1限	振替休日	医療社会学 13		早期臨床体験実習Ⅰ 実習参加のための基礎講義	医療統計学 17
2限		医療社会学 14			医療統計学 18
3限		系統解剖学総論 15			自然科学思想史 11
4限		系統解剖学総論 16			自然科学思想史 12
5限		医学英語Ⅰ 69			系統解剖学総論 17
6限		医学英語Ⅰ 70			系統解剖学総論 18
7限		医学英語Ⅰ 71			病の文学 13
8限		医学英語Ⅰ 72			病の文学 14

令和７年度　時間割

1年次　後学期

１２／　１（月）～　１２／２６（金）

1限　8:50 ～ 9:40　　5限　13:40 ～14:30　　9限　17:40～18:30
2限　9:50 ～10:40　　6限　14:40 ～15:30　　10限　18:40～19:30
3限　10:50 ～11:40　　7限　15:40 ～16:30
4限　11:50 ～12:40　　8限　16:40 ～17:30

	月	火	水	木	金
	1日	2日	3日	4日	5日
1限	早期臨床体験実習Ⅰ				
2限					
3限					
4限					
5限					
6限					
7限					
8限					
	8日	9日	10日	11日	12日
1限	分子生物学 68		心理学 25		医療統計学 19
2限	分子生物学 69		心理学 26	早期臨床体験実習Ⅰ 実習成果発表	医療統計学 20
3限	系統解剖学総論 19		分子生物学 70	ドイツ語 43 フランス語 43	系統解剖学総論 25
4限	系統解剖学総論 20		分子生物学 71	ドイツ語 44 フランス語 44	系統解剖学総論 26
5限	組織解剖学総論 22	系統解剖学総論 21		医化学 実習①	組織解剖学総論 26
6限	組織解剖学総論 23	系統解剖学総論 22			組織解剖学総論 27
7限	組織解剖学総論 24	系統解剖学総論 23			組織解剖学総論 28
8限	組織解剖学総論 25	系統解剖学総論 24			組織解剖学総論 29
	15日	16日	17日	18日	19日
1限			心理学 27		
2限			心理学 28		組織解剖学総論 34
3限	系統解剖学総論 27	医化学 59	分子生物学 72	ドイツ語 45 フランス語 45	自然科学思想史 13
4限	系統解剖学総論 28	医化学 60	分子生物学 73	ドイツ語 46 フランス語 46	自然科学思想史 14
5限	組織解剖学総論 30	医化学 実習②	医化学 実習③	医化学 実習④	系統解剖学総論 29
6限	組織解剖学総論 31				系統解剖学総論 30
7限	組織解剖学総論 32				系統解剖学総論 31
8限	組織解剖学総論 33				系統解剖学総論 32
	22日	23日	24日	25日	26日
1限			分子生物学 74		
2限	組織解剖学総論 35		分子生物学 75		組織解剖学総論 42
3限	組織解剖学総論 36	医化学 61	分子生物学 76	系統解剖学総論 33	組織解剖学総論 43
4限	組織解剖学総論 37	医化学 62		系統解剖学総論 34	組織解剖学総論 44
5限	組織解剖学総論 38	医学英語Ⅰ 73	医化学 63		組織解剖学総論 45
6限	組織解剖学総論 39	医学英語Ⅰ 74	医化学 64		組織解剖学総論 46
7限	組織解剖学総論 40	医学英語Ⅰ 75	医化学 65		組織解剖学総論 47
8限	組織解剖学総論 41	医学英語Ⅰ 76	医化学 66		
	29日	30日	31日		
1限					
2限					
3限					
4限					
5限					
6限					
7限					
8限					

令和７年度 時間割

1年次　後学期

１　／　５（月）～　１　／３０（金）

1限　8:50 ～ 9:40　5限　13:40 ～14:30　9限　17:40～18:30
2限　9:50 ～10:40　6限　14:40 ～15:30　10限　18:40～19:30
3限 10:50 ～11:40　7限　15:40 ～16:30
4限 11:50 ～12:40　8限　16:40 ～17:30

	月	火	水	木	金
				1日	2日
1限				元日	
2限					
3限					
4限					
5限					
6限					
7限					
8限					
	5日	6日	7日	8日	9日
1限	医療職概論 1	医療職概論 5	心理学 29	医療職概論 11	
2限	医療職概論 2	医療職概論 6	心理学 30	医療職概論 12	組織解剖学総論 48
3限	医療職概論 3	医療職概論 7	先端医科学講釈 5	ドイツ語 47 フランス語 47	医療職概論 13
4限	医療職概論 4	医療職概論 8	先端医科学講釈 6	ドイツ語 48 フランス語 48	医療職概論 14
5限	先端医科学講釈 1	医学英語Ⅰ 77	先端医科学講釈 7	先端医科学講釈 9	医療職概論 15
6限	先端医科学講釈 2	医学英語Ⅰ 78	先端医科学講釈 8	先端医科学講釈 10	医療職概論 16
7限	先端医科学講釈 3	医学英語Ⅰ 79	医療職概論 9	先端医科学講釈 11	
8限	先端医科学講釈 4	医学英語Ⅰ 80	医療職概論 10	先端医科学講釈 12	
	12日	13日	14日	15日	16日
1限	成人の日	医療職概論 17	医療職概論 19	医療職概論 25	大学入学共通テスト準備日
2限		医療職概論 18	医療職概論 20	医療職概論 26	
3限		先端医科学講釈 13	医療職概論 21	フランス語 49	
4限		先端医科学講釈 14	医療職概論 22	フランス語 50	
5限			医療職概論 23	医療職概論 27	
6限			医療職概論 24	医療職概論 28	
7限			医化学 67		
8限			医化学 68		
	19日	20日	21日	22日	23日
1限	医療職概論 29	医療職概論 33	基礎総合試験Ⅰ準備期間		
2限	医療職概論 30	医療職概論 34			
3限	医療職概論 31	医療職概論 35			
4限	医療職概論 32	医療職概論 36			
5限	先端医科学講釈 15				
6限	先端医科学講釈 16				
7限	先端医科学講釈 17				
8限	先端医科学講釈 18				
	26日	27日	28日	29日	30日
1限	基礎総合試験Ⅰ準備期間				
2限					
3限					
4限					
5限					
6限					
7限					
8限					

令和７年度　時間割

1年次　後学期

２　／　２（月）～　２　／２７（金）

1限　8:50 ～ 9:40　　5限　13:40 ～14:30　　9限　17:40～18:30
2限　9:50 ～10:40　　6限　14:40 ～15:30　　10限　18:40～19:30
3限　10:50 ～11:40　　7限　15:40 ～16:30
4限　11:50 ～12:40　　8限　16:40 ～17:30

	月	火	水	木	金
	2日	3日	4日	5日	6日
1限	基礎総合試験Ⅰ				一般入試準備日
2限					
3限					
4限					
5限					
6限					
7限					
8限					
	9日	10日	11日	12日	13日
1限			建国記念の日		
2限					
3限					
4限					
5限					
6限					
7限					
8限					
	16日	17日	18日	19日	20日
1限					
2限					
3限					
4限					
5限					
6限					
7限					
8限					
	23日	24日	25日	26日	27日
1限	天皇誕生日				
2限					
3限					
4限					
5限					
6限					
7限					
8限					

心理学
【Psychology】

担当責任者 教授（産業精神保健学） 江口 尚

ねらい

人の心理と行動を理解し、患者及び労働者等に対する適切な心理的支援の基本的知識を習得する。特に産業保健においては、労働者の心の不調に対して支援を行うだけでなく、不調を未然に防ぎ、健康を保持するとともに、活き活きと働く支援や対策も求められる。患者及び労働者等の心理と行動を把握し、最適な支援方法を検討するために、心理学の基本的知識を習得する。

学修目標

1. 人の心理と行動の理解に基づいた心理的支援の基礎を説明できる。（Ⅱ-4, Ⅲ-2, Ⅳ-1, Ⅳ-8, Ⅵ-1, Ⅵ-3, Ⅵ-4, Ⅵ-5）
2. 人の心理と行動の評価方法と評価結果の応用の基礎を説明できる。（Ⅱ-4, Ⅲ-2, Ⅳ-1, Ⅳ-8, Ⅴ-1, Ⅴ-2, Ⅴ-3）
3. 特に産業保健において心理職を含む他職種連携の基礎を説明できる。（Ⅱ-4, Ⅱ-8, Ⅲ-1, Ⅲ-2, Ⅲ-4, Ⅵ-1, Ⅵ-3, Ⅵ-4, Ⅵ-5）
4. 心理学を応用した労働者の心の健康の保持増進の基礎を説明できる。（Ⅱ-4, Ⅱ-8, Ⅲ-1, Ⅲ-2, Ⅲ-4, Ⅳ-1, Ⅳ-8）

事前事後学習の方法

1. 予習:授業科目について参考書の該当箇所をよく読むこと。
2. 復習:配布された講義テキストをよく読み、講義内容の復習をすること。

成績評価方法・基準

1. 前半復習テスト(約4割)、後半復習テスト(約6割)の結果を基に出席状況および課題への取り組みの主体的な姿勢等を加味し、総合的に判断する。
2. 100点満点で60点以上を合格とし、A、B、C、D、Fの5段階評価とする。

○ 教 科 書

講義テキストを配布

○ 参 考 書

1. 産業保健心理学(島津明人編著、ナカニシヤ出版)
2. 心理学(無藤隆 他 著、有斐閣)

講義:2201講義室

年月日	曜日	時限	授業項目（内容）	コアカリ項目				担当者
				第1層	第2層	第3層	第4層	
R7. 9. 3	水	1	オリエンテーション	PR	01	01	01,02	真船 浩介
9. 3	水	2	心理学概論(心理学と諸科学)	GE	01	02	01	真船 浩介
9.10	水	1	心理測定論(尺度構成法)	CM	03	01	01,02	真船 浩介
9.10	水	2	実験心理学(実験社会心理学)	PR RE	02 01	02 01	01,02 01,02	真船 浩介
9.17	水	1	認知心理学(感覚・知覚・認知)	PS PR CM	01 02 02	02 02 03	17 01,02 01	真船 浩介
9.17	水	2	感情心理学(感情の基礎、測定)	CM	01	01 02	04 02	真船 浩介

1 年 次

講義:2201講義室

年月日	曜日	時限	授業項目（内容）	コアカリ項目				担当者
				第1層	第2層	第3層	第4層	
9.24	水	1	発達心理学(発達、愛着)	GE	03	01	01-03	真船　浩介
9.24	水	2	人格心理学(特性と類型)	GE GE CM	01 04 02	05 02 03	01 01 02	真船　浩介
10. 1	水	1	学習心理学1(学習理論)	GE	01	05	01,02	真船　浩介
10. 1	水	2	学習心理学2(行動科学)	GE	01	05	01	真船　浩介
10. 8	水	1	臨床心理学1(来談者中心療法、積極的傾聴)	GE GE GE CM	01 01 04 02	05 03 02 03	02 01 01 02	真船　浩介
10. 8	水	2	臨床心理学2(交流分析)	GE CM	04 01	02 01	01 01,02,04	真船　浩介
10.15	水	1	臨床心理学3(認知行動療法)	GE	01 04	05 02	02 01	真船　浩介
10.15	水	2	臨床心理学4(応用行動分析)	GE	01 04	05 02	02 01	真船　浩介
10.22	水	1	前半復習テスト・解説					真船　浩介
10.22	水	2	社会心理学1(社会的スキル)	CM IP	01 02	01 02	01,02, 04,05 02	真船　浩介
10.29	水	1	社会心理学2(社会的支援、向社会的行動)	PR	02	01	01,02	真船　浩介
10.29	水	2	健康心理学1(ストレス科学)	GE CM	01 03	05 01	01 01,02	真船　浩介
11. 5	水	1	健康心理学2(ストレスマネジメント)	GE	01 04	05 01	01 01,05-07	真船　浩介
11. 5	水	2	産業・組織心理学1(動機づけ)	GE CM CM	01 02 03	05 03 02	01 04 02	真船　浩介
11.12	水	1	産業・組織心理学2(キャリア)	GE LL	01 01	02 02	02 01,02	真船　浩介
11.12	水	2	産業保健心理学1(構成概念を用いた疫学研究)	GE RE	01 01	04 02	02 01,02	井上　彰臣
11.19	水	1	産業保健心理学2(産業精神保健)	SO CM	01 03	04 01	01-03 01	江口　　尚
11.19	水	2	産業保健心理学3(セルフケア支援)	GE GE	01 04	03 01	02 01,02, 05-07	日野　亜弥子
12.10	水	1	産業保健心理学4(行動経済学・ナッジ)	GE SO	01 06	05 01	03 02,03	江口　　尚
12.10	水	2	産業保健心理学5(多様性への配慮)	CM SO SO SO	02 04 04 06	01 01 02 01	01 02 01 03	日野　亜弥子
12.17	水	1	産業保健心理学6(集団へのアプローチ)	IP CM CM GE	02 02 03 04	04 02 02 01	01 01 01 05,07	真船　浩介
12.17	水	2	産業保健心理学7(多職種連携、心理職の役割)	IP	01	02	01	真船　浩介
R8. 1. 7	水	1	後半復習テスト・解説					真船　浩介
1. 7	水	2	まとめ	PR	01	01	01,02	真船　浩介

人間関係論
【Human Relations】

担当責任者 講師(人間関係論) 種田 博之

ねらい

私たちは、日々の生活のなかで、ごく自然に他者と何らかの関係をもち、コミュニケーションをはかっています。そして、そのことをことさら意識することはありません。また、他者との適切な関係が取ることのできない人、例えば「ストーカー」や「キレる人」などに対して、「変わり者」というレッテルを貼ってしまいがちです。しかし、他者と関係を結ぶことができるということはあたりまえのことで、「ストーカー」などのような人たちは本当に「変わり者」なのでしょうか？ 私たちは他者とどのようにして関係をつくってきているのでしょうか？ その関係はどのような「関係」なのでしょうか？ その関係のなかで、「私」はどのような行為をしてきているのでしょうか？ あるいは、どのような時に、他者と意思疎通が取れていると私たちは感じるのでしょうか？ 他者と分かり合えた時、うれしかったり、楽しいと感じたりするのはなぜなのでしょうか？ 逆に、分かり合えなかった時、怒りや悲しみを感じるのはなぜなのでしょうか？ この講義は、上記の問いなどに応えるかたちで、人間関係ないしコミュニケーションの仕組み・成り立ちについて、具体例を通して、解説していきます。

学修目標

1. 人間の「行為」について説明できる。(Ⅱ-4, Ⅵ-1)
2. 自己がいかにして「自己」となるのかについて説明できる。(Ⅱ-4, Ⅵ-1)
3. 自己と他者との関係―人間関係がどのようにして成り立っているのかについて説明できる。(Ⅱ-4, Ⅵ-1, Ⅵ-3, Ⅵ-5)
4. コミュニケーションの仕組みと成り立ちについて説明できる。(Ⅱ-4, Ⅵ-1)

事前事後学習の方法

1. 参考文献リストに挙示した文献を事前に予習しておくこと。
2. 配布された資料を熟読して講義内容の復習をすること。実習ならびにグループ課題においては各レポートを作成すること。

成績評価方法・基準

1. 小テスト(約3割)、実習レポート(約3割)、グループ課題(約3割)の結果をもとに、小レポートの内容(約1割)を加味し、総合的に判断する。
2. 100点満点換算で、A、B、C、D、Fの5段階評価とする。

○ 教 科 書

とくに指定しない

○ 参 考 書

適宜、指示する。

1 年 次

講義:2201講義室

年月日	曜日	時限	授業項目（内容）	コアカリ項目				担当者
				第1層	第2層	第3層	第4層	
R7.4.7	月	3･4	オリエンテーション 小レポート	PR GE GE LL RE RE	01-03 01 03,04 01,02 01 03	02,03,05 01,02 01		種田 博之
4.11	金	3･4	講義:人間関係論とはどのような学問か？ 小レポート	GE GE CM SO	01 03,04 01-03 04,06	02,03,05		種田 博之
4.14	月	3～5	実習:私たちはどのように見られているか？ 実習レポート	RE CM	01,03 01-03			種田 博之
4.21	月	3～5	実習:私たちはメッセージをどのように読み取っているのか？ 実習レポート	RE CM	01,03 01-03			種田 博之
4.25	金	3･4	講義:私たちは「現実」をどのように見ているのか？① 小レポート	GE GE CM SO	01 03,04 01-03 04,06	02,03,05		種田 博之
5.2	金	3･4	講義:私たちは「現実」をどのように見ているのか？② 小レポート	GE GE CM SO	01 03,04 01-03 04,06	02,03,05		種田 博之
5.9	金	1～4	実習:説明するということはどういうことか？ 実習レポート	RE CM	01,03 01-03			種田 博之
5.12	月	3･4	講義:「意味」の希求 小レポート	GE GE CM SO	01 03,04 01-03 04,06	02,03,05		種田 博之
5.15	木	5･6	講義:小まとめ 理解度チェックのための小テスト	GE GE CM SO	01 03,04 01-03 04,06	02,03,05		種田 博之
5.19	月	5～7	実習:演技 実習レポート	RE CM	01,03 01-03			種田 博之
5.29	木	5･6	講義:私はいかにして「私」となっているか？① 小レポート	GE GE CM SO	01 03,04 01-03 04,06	02,03,05		種田 博之
6.5	木	5･6	講義:私はいかにして「私」となっているか？② 小レポート	GE GE CM SO	01 03,04 01-03 04,06	02,03,05		種田 博之
6.20	金	3･4	講義:コミュニケーションをめぐる誤解 小レポート	GE GE CM SO	01 03,04 01-03 04,06	02,03,05		種田 博之
6.27	金	1･2	講義:コミュニケーションプロセスモデル 小レポート	GE GE CM SO	01 03,04 01-03 04,06	02,03,05		種田 博之
7.4	金	1･2	講義:コミュニケーションにおけるコンテキスト 小レポート	GE GE CM SO	01 03,04 01-03 04,06	02,03,05		種田 博之
7.18	金	1	講義:小まとめ 理解度チェックのための小テスト	GE GE CM SO	01 03,04 01-03 04,06	02,03,05		種田 博之
9.12	金	5～8	グループワーク報告会 グループワークレポート	LL RE IP	02 04 01,02	01 01		種田 博之

哲学概論
【Philosophy】

担当責任者 准教授（哲学概論） 樫本 直樹

ねらい

医学は、自然科学の知識に加えて、人間の生老病死という人間存在の本質に関わる側面や人間対人間という倫理的な側面が関係する難しい分野である。そして産業医学は、予防医学、環境医学、社会医学という性格を持ち、幅広い視野を必要とする。医学生がそうした医学・産業医学を学び、将来医師となって出会うのは、自分たちとは生活文化の異なる患者や働く人びとの抱える、答えがすぐには出ないような難しい問題である。哲学概論ではそうした答えの出にくい問題に向き合い、考え抜く手がかりと基礎体力を身につけ、学生自身が「哲学する」ための基礎となる考え方や方法を学ぶ。

講義では、医学との関連や身近な具体例などを取り入れつつ、哲学の諸問題について学生とともに考えていきたい。

学修目標

1. 哲学するとはどういうことかを自分の言葉で説明できる。（Ⅰ-4, Ⅰ-5）
2. 自分自身の前提としている立場や考えについて問い直し、必要があればそれを変容させることができる。（Ⅰ-4, Ⅰ-5,Ⅵ-1）
3. 自然科学が前提としている考え方や科学の方法について理解できる。（Ⅰ-3,Ⅳ-8）
4. 自己と他者、身体性、個人と社会、倫理にかかわる問題を理解し、人間や社会について考えを深めることができる。（Ⅰ-1,Ⅵ-1）
5. 自分自身の体験を掘り下げ、倫理と人間の尊厳性に対する認識を持つことができる。（Ⅰ-1, Ⅰ-4, Ⅵ-1）

事前事後学習の方法

1. シラバスに記載されている項目について、参考書などで事前に予習しておく。
2. 配布された資料を振り返り、講義内容の復習する。

成績評価方法・基準

1. 科目試験（2回）60%、講義レポート（12回）30%、出席状況や受講態度等10%を基に総合的に評価する。
2. 100点換算で60点以上を合格とし、A、B、C、D、Fの5段階評価とする。

○ 教 科 書

とくに指定しない。

○ 参 考 書

トマス・ネーゲル「哲学ってどんなこと？：とっても短い哲学入門」1993年 昭和堂

岩崎武雄「哲学のすすめ」1966年 講談社

苫野一徳「はじめての哲学的思考」2017年 筑摩書房

ジョン・R・サール、山本貴光・吉川浩満訳「MiND － 心の哲学」2018年 筑摩書房

加藤尚武「現代倫理学入門」1997年 講談社

その他については、講義内で適宜提示する。

講義：2201講義室

年月日	曜日	時限	授業項目（内容）	コアカリ項目				担当者
				第1層	第2層	第3層	第4層	
R7.4.10	木	1	哲学とは何か(1)：哲学とはどのような学問か	PR	03	01	01	樫本 直樹
4.10	木	2	哲学とは何か(2) 講義レポート①	PR	03	01	01	樫本 直樹
4.17	木	1	哲学とは何か(3)	PR	03	01	01	樫本 直樹
4.17	木	2	哲学とは何か(4)	PR	03	01	01	樫本 直樹

1　年　次

講義:2201講義室

年月日	曜日	時限	授　業　項　目　（内　容）	コアカリ項目				担　当　者
				第1層	第2層	第3層	第4層	
4.24	木	1	医学と哲学(1):医学生に哲学がなぜ必要か	PR	03	01	01	樫本 直樹
4.24	木	2	医学と哲学(2)　講義レポート②	PR	03	01	02	樫本 直樹
5.1	木	1	自己(1):自己とはなんだろうか	PR	02	02	01	樫本 直樹
5.1	木	2	自己(2)	PR	02	02	02	樫本 直樹
5.8	木	5	他者(1):他者の心をどうやって知るのか	PR	02	02	01	樫本 直樹
5.8	木	6	他者(2)	PR	02	02	02	樫本 直樹
5.15	木	1	自己と他者(1):他者とどうかかわっていくのか	PR	02	02	01	樫本 直樹
5.15	木	2	自己と他者(2)　講義レポート③	PR	02	02	02	樫本 直樹
5.22	木	1	心と身体(1):心と身体は別物か	PR	03	01	02	樫本 直樹
5.22	木	2	心と身体(2)　講義レポート④	SO	04	04	01	樫本 直樹
5.29	木	1	自由意志(1):自由意志はあるのか	PR	03	01	02	樫本 直樹
5.29	木	2	自由意志(2)　講義レポート⑤	SO	04	04	01	樫本 直樹
6.5	木	1	個人と社会(1):社会はどうやって生まれたのか	PR	03	01	01	樫本 直樹
6.5	木	2	個人と社会(2)	SO	04	04	01	樫本 直樹
6.9	月	1	社会と正義(1):よりよい社会とは	PR	03	01	01	樫本 直樹
6.9	月	2	社会と正義(2)　講義レポート⑥	SO	04	04	01	樫本 直樹
6.12	木	1	個人の自由(1):個人の自由はどこまで認められるのか	PR	03	01	01	樫本 直樹
6.12	木	2	個人の自由(2)　講義レポート⑦	CM	02	03	02	樫本 直樹
6.19	木	1	科目試験Ⅰ	PR	03	01	01	樫本 直樹
6.19	木	2	科目試験Ⅰ	LL	01	01	02	樫本 直樹
6.26	木	1	倫理学の基礎(1):倫理的に考えるとは	PR	03	01	01	樫本 直樹
6.26	木	2	倫理学の基礎(2)　講義レポート⑧	PR	03	01	02	樫本 直樹
7.3	木	1	主要な倫理学説(1):功利主義とは	PR	03	01	01	樫本 直樹
7.3	木	2	主要な倫理学説(2)	SO	04	04	01	樫本 直樹
7.17	木	1	主要な倫理学説(3):義務論とは	PR	03	01	01	樫本 直樹
7.17	木	2	主要な倫理学説(4)	SO	04	04	01	樫本 直樹
7.24	木	1	主要な倫理学説(5):徳倫理とは	PR	03	01	01	樫本 直樹
7.24	木	2	主要な倫理学説(6)　講義レポート⑨	SO	04	04	01	樫本 直樹
9.3	水	3	働くことの意味(1):私たちはなぜ働くのか	PR	03	01	01	樫本 直樹
9.3	水	4	働くことの意味(2)	PR	03	01	02	樫本 直樹
9.4	木	1	働くことの意味(3):働くとは	PR	03	01	01	樫本 直樹
9.4	木	2	働くことの意味(4)　講義レポート⑩	CM	03	01	02	樫本 直樹
9.10	水	3	生と死(1):死とは何か	PR	03	01	01	樫本 直樹
9.10	水	4	生と死(2)	PR	03	01	02	樫本 直樹
9.11	木	1	生と死(3):よりよい死とは	PR	02	02	02	樫本 直樹
9.11	木	2	生と死(4)　講義レポート⑪	PR	04	01	01	樫本 直樹
9.17	水	3	科目試験Ⅱ	PR	03	01	01	樫本 直樹
9.17	水	4	科目試験Ⅱ	LL	01	01	02	樫本 直樹
9.24	水	3	全体の振り返りとまとめ(1):哲学することはなぜ必要か	PR	03	01	01	樫本 直樹
9.24	水	4	全体の振り返りとまとめ(2)　講義レポート⑫	PR	01	01	02	樫本 直樹

数学概論
【Introduction to Mathematics】

担当責任者 准教授（数学概論） 鳥巣 伊知郎

ねらい

数学は長い歴史を有する学問の1つであり、広く科学技術の基礎をなす。数学は他の自然科学と共に発展を続けているが、近年は社会の諸問題にも有効に用いられる度合いが増してきている。

本講義では、現代数学の体系の中でも最も基本的な微分積分学と線形代数学を学ぶことを目的とする。

学修目標

1. 実数論と収束の概念、および微分と積分の定義を厳密に理解する。（V-1, V-4）
2. 偏微分や重積分の定義を理解し計算ができるようになる。（V-1, V-4）
3. 行列の基本変形とランクの計算により連立1次方程式を解けるようになる。（V-1, V-4）
4. 具体的な行列の行列式・逆行列・固有値を求めることができる。（V-1, V-4）

事前事後学習の方法

1. 配布資料と教科書の説明文を読んで予習する。
2. 練習問題を解いて復習する。

成績評価方法・基準

1. 出席、授業態度、小テスト、試験等により評価する。
2. 60点以上を合格とする。

○ 教 科 書

小林昭七 著「微分積分読本 －1変数－」2000年 裳華房

石村園子 著「やさしく学べる線形代数」2000年 共立出版

○ 参 考 書

石村園子 著「やさしく学べる微分積分」1999年 共立出版

川久保勝夫 著「線形代数学(新装版)」2010年 日本評論社

1　年　次

講義:2201講義室

年月日	曜日	時限	授　業　項　目　（内　容）	コアカリ項目				担　当　者
				第1層	第2層	第3層	第4層	
R7.4.7	月	1･2	ガイダンス(集合と論理記号)　小テスト	RE	01	01	01	鳥巣　伊知郎
4.9	水	3･4	微分積分学1(実数と複素数)　小テスト	RE	01	01	01	鳥巣　伊知郎
4.14	月	1･2	線形代数学1(行列と行列式)　小テスト	RE	01	01	01	鳥巣　伊知郎
4.16	水	3･4	微分積分学2(数列と級数の収束)　小テスト	RE	01	01	01	鳥巣　伊知郎
4.21	月	1･2	線形代数学2(線形写像とベクトル空間)　小テスト	RE	01	01	01	鳥巣　伊知郎
5.12	月	1･2	まとめ　小テスト	RE	01	01	01	鳥巣　伊知郎
5.16	金	3･4	微分積分学3(微分積分学の基本定理)　小テスト	RE	01	01	01	鳥巣　伊知郎
5.19	月	1～4	線形代数学3(連立一次方程式と階数)　小テスト	RE	01	01	01	鳥巣　伊知郎
5.23	金	3･4	微分積分学4(テイラー展開)　小テスト	RE	01	01	01	鳥巣　伊知郎
5.26	月	1･2	線形代数学4(固有値と固有ベクトル)　小テスト	RE	01	01	01	鳥巣　伊知郎
6.4	水	1～3	微分積分学5(偏微分と重積分)　小テスト	RE	01	01	01	鳥巣　伊知郎
6.11	水	1･2	線形代数学5(2次形式と対角化)　小テスト	RE	01	01	01	鳥巣　伊知郎
7.25	金	2～4	まとめテスト	RE	01	01	01	鳥巣　伊知郎

医学英語Ⅰ
【Medical English Ⅰ】

担当責任者 准教授（英語） 田中 公介

ねらい

将来国際人として活躍する医師にとって必要な英語の運用能力、専門的知識を身に付けると共に異文化理解を深める。
医学関連の様々なトピックについての英文を読み、それらについて自らの考えを英語で書き、話す訓練を通して論理的思考力と、英作文能力を身につける。
学年全体を4クラス（A-Dクラス）に分け、25名程度（ネイティブ教員のコミュニケーションクラス）から50名程度（日本人教員のライティング・リーディングクラス）の編成で授業を行う。
通年で計4名の教員が授業を担当する。それぞれの授業詳細は以下を参照のこと。
※4/8から5/27、9/30の7回分の授業は1-4時限に開講する。それ以外の授業は5-8時限に開講する。

学修目標

1. 正しい発音・リズム・イントネーションで初歩的な会話・スピーチができる。（Ⅴ-4, Ⅶ-1, Ⅶ-5）
2. 初・中級レベルのリスニングができる。（Ⅴ-4, Ⅴ-5, Ⅶ-1, Ⅶ-3, Ⅶ-4, Ⅶ-5）
3. 英語の基本的な句読法（パンクチュエーション）を使い、初・中級レベルの英作文ができる。（Ⅴ-4, Ⅶ-4）
4. 英語新聞・雑誌の記事、基本的な医学関連エッセイの読解ができる。（Ⅴ-5, Ⅶ-2, Ⅶ-3）
5. 科学・医学関連の英語論文の構成・特徴を説明できる。（Ⅶ-2, Ⅶ-3）
6. 医学関連英語の語彙・表現の構成・特徴を説明できる。（Ⅶ-2, Ⅶ-3）

事前事後学習の方法

1. 各クラスで毎回実施される小テストの予習をすること。
2. 各クラスで毎回指定される個所の予習をすること。
3. 配布資料・テキストを使って、授業内容の復習をすること。

成績評価方法・基準

1. 各クラスの成績を基に総合的に評価する。成績評価の詳細は以下の通りである。
   C. P. カーマン ： Class Participation（40%）、Vocabulary Tests（40%）、Listening Tests（20%）
   下仮屋 翔 ： 単語テスト（20%）、課題（20%）、期末確認テスト（60%）
   田中 公介 ： 提出課題（40%）、期末確認テスト（60%）
   J. ヒックス ： Quizzes（25%）、Homework（18%）、Presentations（35%）、Classwork（12%）、Participation（10%）
2. 4クラス全てで60点以上を取ることを合格条件とする。
3. 各クラスの点数の合計値の平均点を100点満点で算出し、A, B, C, D, Fの5段階評価とする。

○教 科 書

C. P. カーマン ： プリント
下仮屋 翔 ： プリント
田中 公介 ： プリント、ファイル配布
J. ヒックス ： The Hospital Team – English for Medical Specialists

○参 考 書

田中 公介 ： 藤枝 宏壽共著 「これだけは知っておきたい医学英語の基本用語と表現 第4版」 2021年（メジカルビュー社）

1　年　次

講義(A・Bクラス):2203講義室
(C・Dクラス):2206講義室

年月日	曜日	時限	授　業　項　目（内　容）	コアカリ項目				担　当　者
				第1層	第2層	第3層	第4層	
R7.4.8	火	C・1-2 A・3-4	Calling a Hospital	RE	04	01	03	C. P. カーマン(学外)
4.15	火	C・1-2 A・3-4	Medical Tests, Vocabulary Test, Listening/Speaking Test (inc. Review)	RE	04	01	03	C. P. カーマン(学外)
4.22	火	C・1-2 A・3-4	Prescribing Medicine Vocabulary Test, Listening/Speaking Test (inc. Review)	RE	04	01	03	C. P. カーマン(学外)
5.13	火	C・1-2 A・3-4	Influenza Vocabulary Test, Listening/Speaking Test (inc. Review)	RE	04	01	03	C. P. カーマン(学外)
5.20	火	C・1-2 A・3-4	Healing a Fracture, Pt.1 Vocabulary Test, Listening/Speaking Test (inc. Review)	RE	04	01	03	C. P. カーマン(学外)
5.27	火	C・1-2 A・3-4	Healing a Fracture, Pt.2 Vocabulary Test, Listening/Speaking Test (inc. Review)	RE	04	01	03	C. P. カーマン(学外)
6.10	火	C・5-6 A・7-8	Job-Related Stress Vocabulary Test, Listening/Speaking Test (inc. Review)	RE	04	01	03	C. P. カーマン(学外)
6.17	火	C・5-6 A・7-8	Dermatology Vocabulary Test, Listening/Speaking Test (inc. Review)	RE	04	01	03	C. P. カーマン(学外)
6.24	火	C・5-6 A・7-8	Stomach Pain Vocabulary Test, Listening/Speaking Test (inc. Review)	RE	04	01	03	C. P. カーマン(学外)
7.15	火	C・5-6 A・7-8	Revision Vocabulary Test, Listening/Speaking Test (inc. Review)	RE	04	01	03	C. P. カーマン(学外)
9.30	火	D・1-2 B・3-4	Calling a Hospital	RE	04	01	03	C. P. カーマン(学外)
10.7	火	D・5-6 B・7-8	Medical Tests Vocabulary Test, Listening/Speaking Test (inc. Review)	RE	04	01	03	C. P. カーマン(学外)
10.14	火	D・5-6 B・7-8	Prescribing Medicine Vocabulary Test, Listening/Speaking Test (inc. Review)	RE	04	01	03	C. P. カーマン(学外)
10.21	火	D・5-6 B・7-8	Influenza Vocabulary Test, Listening/Speaking Test (inc. Review)	RE	04	01	03	C. P. カーマン(学外)
10.28	火	D・5-6 B・7-8	Healing a Fracture, Pt.1 Vocabulary Test, Listening/Speaking Test (inc. Review)	RE	04	01	03	C. P. カーマン(学外)
11.11	火	D・5-6 B・7-8	Healing a Fracture, Pt.2 Vocabulary Test, Listening/Speaking Test (inc. Review)	RE	04	01	03	C. P. カーマン(学外)
11.18	火	D・5-6 B・7-8	Job-Related Stress Vocabulary Test, Listening/Speaking Test (inc. Review)	RE	04	01	03	C. P. カーマン(学外)
11.25	火	D・5-6 B・7-8	Dermatology Vocabulary Test, Listening/Speaking Test (inc. Review)	RE	04	01	03	C. P. カーマン(学外)
12.23	火	D・5-6 B・7-8	Stomach Pain Vocabulary Test, Listening/Speaking Test (inc. Review)	RE	04	01	03	C. P. カーマン(学外)
R8.1.6	火	D・5-6 B・7-8	Revision Vocabulary Test, Listening/Speaking Test (inc. Review)	RE	04	01	03	C. P. カーマン(学外)

講義(A-Dクラス):
6208室(コンピュータ実習室(大))

年月日	曜日	時限	授業項目(内容)	コアカリ項目				担当者
				第1層	第2層	第3層	第4層	
R7.4.8	火	A-B・1-2 C-D・3-4	オリエンテーション、Paragraph Writing基礎(1)、 Medical Writing基礎(1)-①	RE	04	01	01	下仮屋 翔
4.15	火	A-B・1-2 C-D・3-4	単語テスト(1)、Paragraph Writing基礎(2)、 Medical Writing基礎(1)-②	RE	04	01	01	下仮屋 翔
4.22	火	A-B・1-2 C-D・3-4	単語テスト(2)、Paragraph Writing基礎(3)、 Medical Writing基礎(2)-①	RE	04	01	01	下仮屋 翔
5.13	火	A-B・1-2 C-D・3-4	単語テスト(3)、Paragraph Writing基礎(4)、 Medical Writing基礎(2)-②	RE	04	01	01	下仮屋 翔
5.20	火	A-B・1-2 C-D・3-4	単語テスト(4)、Paragraph Writing基礎(5)、 Medical Writing基礎(3)-①	RE	04	01	01	下仮屋 翔
5.27	火	A-B・1-2 C-D・3-4	単語テスト(5)、Paragraph Writing基礎(6)、 Medical Writing基礎(3)-②	RE	04	01	01	下仮屋 翔
6.10	火	A-B・5-6 C-D・7-8	単語テスト(6)、Medical Writing基礎(4)	RE	04	01	01	下仮屋 翔
6.17	火	A-B・5-6 C-D・7-8	単語テスト(7)、Medical Writing基礎(5)	RE	04	01	01	下仮屋 翔
6.24	火	A-B・5-6 C-D・7-8	単語テスト(8)、Medical Writing基礎(6)	RE	04	01	01	下仮屋 翔
7.15	火	A-B・5-6 C-D・7-8	期末確認テスト	RE	04	01	01	下仮屋 翔
9.30	火	A-B・1-2 C-D・3-4	オリエンテーション、医学英語問題入門(1)	RE	02	02	01	田中 公介
10.7	火	A-B・5-6 C-D・7-8	医学英語問題入門(2)、医学論文読解の基礎(1)	RE	02	02	01	田中 公介
10.14	火	A-B・5-6 C-D・7-8	医学論文読解の基礎(2)、Medical Reading(提出課題)(1)	RE	02	02	01	田中 公介
10.21	火	A-B・5-6 C-D・7-8	Medical Reading(1)の解説、医学論文読解の基礎(3)	RE	02	02	01	田中 公介
10.28	火	A-B・5-6 C-D・7-8	Medical Reading(提出課題)(2)	RE	02	02	01	田中 公介
11.11	火	A-B・5-6 C-D・7-8	Medical Reading(2)の解説、医学論文読解の基礎(4)	RE	02	02	01	田中 公介
11.18	火	A-B・5-6 C-D・7-8	医学論文読解の基礎(5)	RE	02	02	01	田中 公介
11.25	火	A-B・5-6 C-D・7-8	Medical Reading(提出課題)(3)	RE	02	02	01	田中 公介
12.23	火	A-B・5-6 C-D・7-8	Medical Reading(3)の解説、Medical Reading(提出課題) (4)、 Medical Reading(4)の解説	RE	02	02	01	田中 公介
R8.1.6	火	A-B・5-6 C-D・7-8	期末確認テスト	RE	02	01	01	田中 公介

【前期:下仮屋担当クラス】
・単語テスト:医学関連基本英単語を覚える。毎回、初回時限の冒頭で実施する。
・Paragraph Writing基礎:学術的文章の構造や論証方法の基本を学び、演習問題や英作文課題を通じて実践していく。
・Medical Writing基礎:医学論文で用いられる英語表現について、段階的な英作文演習を通して身につけていく。
・各課題は一部をオンライン上で提出する(期限厳守)。各課題ならびに期末確認テストの内容は、授業内または動画視聴形式で解説する。

【後期:田中担当クラス】
・医学英語問題入門:近年の医師国家試験に出題された英語問題を抜粋・一部改変した問題を解きながら、医学関連語彙・表現を習得する。
・医学論文読解の基礎:医学関連語彙・表現・用法を習得する。
・Medical Reading:医学関連の英文の日本語訳出をする。一部を課題として指定し授業中に作成・提出する。
・期末確認テスト:学期中の授業内容を復習する筆記テストを実施する(解説は学期終了後に実施予定)。

※ 前後期ともに、使用教室を変更することがある。詳細は都度連絡する。

1　年　次

講義(A-Dクラス):2201講義室

年月日	曜日	時限	授　業　項　目（内　容）	コアカリ項目				担　当　者
				第1層	第2層	第3層	第4層	
R7.4.8	火	D・1-2 B・3-4	Nutrition & Fitness / Needlestick Injuries	RE	04	01	02	J. ヒックス(学外)
4.15	火	D・1-2 B・3-4	Communicable Diseases / Orthoptics Vocabulary Quiz, Translation Homework (inc. Review)	RE	04	01	02	J. ヒックス(学外)
4.22	火	D・1-2 B・3-4	Hygiene & Public Health / Radiological Technology Vocabulary Quiz, Translation Homework (inc. Review)	RE	04	01	02	J. ヒックス(学外)
5.13	火	D・1-2 B・3-4	The Human Body / Team Medical Treatment Vocabulary Quiz, Translation Homework (inc. Review)	RE	04	01	02	J. ヒックス(学外)
5.20	火	D・1-2 B・3-4	Reforming Japanese Healthcare Vocabulary Quiz, Translation Homework (inc. Review)	RE	04	01	02	J. ヒックス(学外)
5.27	火	D・1-2 B・3-4	Needlestick Injuries / MLTs Vocabulary Quiz, Translation Homework (inc. Review)	RE	04	01	02	J. ヒックス(学外)
6.10	火	D・5-6 B・7-8	Physical Therapy / Communicable Diseases Vocabulary Quiz, Translation Homework (inc. Review)	RE	04	01	02	J. ヒックス(学外)
6.17	火	D・5-6 B・7-8	Radiological Technology / Hygiene & Public Health Vocabulary Quiz, Translation Homework (inc. Review)	RE	04	01	02	J. ヒックス(学外)
6.24	火	D・5-6 B・7-8	Team Medical Treatment / The Human Body Vocabulary Quiz, Translation Homework (inc. Review)	RE	04	01	02	J. ヒックス(学外)
7.15	火	D・5-6 B・7-8	Orthoptics and Visual Science / Physical Therapy Vocabulary Quiz, Translation Homework (inc. Review)	RE	04	01	02	J. ヒックス(学外)
9.30	火	C・1-2 A・3-4	Nutrition & Fitness / Needlestick Injuries	RE	04	01	02	J. ヒックス(学外)
10.7	火	C・5-6 A・7-8	Communicable Diseases / Orthoptics Vocabulary Quiz, Translation Homework (inc. Review)	RE	04	01	02	J. ヒックス(学外)
10.14	火	C・5-6 A・7-8	Hygiene & Public Health / Radiological Technology Vocabulary Quiz, Translation Homework (inc. Review)	RE	04	01	02	J. ヒックス(学外)
10.21	火	C・5-6 A・7-8	The Human Body / Team Medical Treatment Vocabulary Quiz, Translation Homework (inc. Review)	RE	04	01	02	J. ヒックス(学外)
10.28	火	C・5-6 A・7-8	Reforming Japanese Healthcare Vocabulary Quiz, Translation Homework (inc. Review)	RE	04	01	02	J. ヒックス(学外)
11.11	火	C・5-6 A・7-8	Needlestick Injuries / MLTs Vocabulary Quiz, Translation Homework (inc. Review)	RE	04	01	02	J. ヒックス(学外)
11.18	火	C・5-6 A・7-8	Physical Therapy / Communicable Diseases Vocabulary Quiz, Translation Homework (inc. Review)	RE	04	01	02	J. ヒックス(学外)
11.25	火	C・5-6 A・7-8	Radiological Technology / Hygiene & Public Health Vocabulary Quiz, Translation Homework (inc. Review)	RE	04	01	02	J. ヒックス(学外)
12.23	火	C・5-6 A・7-8	Team Medical Treatment / The Human Body Vocabulary Quiz, Translation Homework (inc. Review)	RE	04	01	02	J. ヒックス(学外)
R8.1.6	火	C・5-6 A・7-8	Orthoptics and Visual Science / Physical Therapy Vocabulary Quiz, Translation Homework (inc. Review)	RE	04	01	02	J. ヒックス(学外)

医学概論Ⅰ
【Medical Humanities Ⅰ】

担当責任者 （医学部長）

ねらい

「医学とは、できる限り確かな医学知識（Science）と技術（Art）を用いて、病いにある人の自己回復力を全人的に援助する人間学（Humanities）である。」医学生の立場でこの意味を充分に理解・体得するために、次の方針に基づいた教育を行う。

1. 講義および体験学習を通じて、「医学とは何か」「人間とは何か」について理解を深めることにより、人間に対する豊かな感性と霊性を養う。
2. 医学概論教育を通じて本来の自分の生き方を再発見・探求することにより、専門職である医師となるための基本的な倫理観・態度を養う。
3. 産業医学マインドの原点である、①上医をめざす、②感謝されない医師、③哲学する医師の3つの基本的医師像に加え、④実感として共感する医師となれるよう、その基本的態度の体得に努める。

学修目標

1. 医学が万能でない場合があることを実例にそって説明することができる。（Ⅰ-1）
2. 患者に直接触れるケアを、たとえ汚いことでも進んで行うことができる。（Ⅰ-4）
3. 援助を求める人と積極的にコミュニケーションを図ることができる。（Ⅵ-1）
4. 心身障害者に対する社会の対応について意見を述べることができる。（Ⅳ-10）

事前事後学習の方法

1. シラバスに記載されている授業項目について、指定教科書や参考書などで事前に予習しておくこと。
2. 配布された講義プリントを熟読して講義内容の復習をすること。

成績評価方法・基準

1. 科目試験Ⅰ（約40%）・科目試験Ⅱ（約45%）、講義レポート（約10%）、実習反省会・実習レポート・グループ別プレゼンテーション（約5%）の結果を基に総合的に判断する。
2. 100点満点換算で、A、B、C、D、Fの5段階評価とする。

○ 教 科 書

藤野昭宏、前田義郎訳「医療倫理の歴史 ― バイオエシックスの源流と諸文化圏における展開」 2009年 ナカニシヤ出版

○ 参 考 書

澤瀉久敬著 「医学概論第一～三部」 1965年 誠信書房
本田盈四郎著 「先天異常の医学」 1997年 中公新書
砂原茂一著 「医者と患者と病院と」 2000年 岩波新書
柳原和子著 「がん患者学」 2000年 昌文社
得永幸子著 「病い」の存在論 1984年 地湧社
V. E. フランクル著 霜山徳爾訳 「夜と霧」 2000年 みすず書房
ヴィクトーア・フォン・ヴァイツゼッカー著 木村敏訳 「病いと人」 2000年 新曜社
小川鼎三著 「医学の歴史」 1997年 中公新書
マイヤー・シュタイネック・ズートホフ共著 小川鼎三監訳 「図説医学史」 1996年 朝倉書店
V. E. フランクル著 諸富祥彦監訳 「〈生きる意味〉を求めて」 2000年 春秋社
エーリッヒ・フロム著 佐野哲郎訳 「生きるということ」 2000年 紀伊国屋書店
日野原重明、仁木久恵訳 「平静の心」オスラー博士講演集 新訂増補版 2003年 医学書院
大森荘蔵著 「物と心」 1989年 東京大学出版会

1　年　次

講義:2201講義室

年月日	曜日	時限	授　業　項　目（内　容）	コアカリ項目				担　当　者
				第1層	第2層	第3層	第4層	
R7.4.7	月	5･6	医学概論とは何か ＊講義レポート①	PR	03	01	02	石丸　知宏
4.14	月	6･7	健康とは何か　－植物状態患者および家族から学ぶ ＊講義レポート②	GE	04	01	01	石丸　知宏
4.21	月	6･7	医師とは何か　－水俣病から学ぶ ＊講義レポート③	PR	01	01	02	石丸　知宏
5.12	月	5･6	死とは何か 臨床宗教師からのメッセージ（特別講義①） ＊講義レポート④	SO	06	01	01	源　智道（学外）
5.26	月	3･4	医療とは何か 患者および家族からのメッセージ　（特別講義②） ＊講義レポート⑤	SO	06	01	01	三好　洋介（学外）
6.2	月	3･4	医療とは何か　－薬害エイズから学ぶ ＊講義レポート⑥	PR	01	01	01	石丸　知宏
6.9	月	3･4	障害とは何か 重症心身障害者施設管理者からのメッセージ （特別講義③） ＊講義レポート⑦	SO	04	01	02	岩永　知秋（学外）
6.16	月	3	科目試験Ⅰ（50分間）					石丸　知宏
6.16	月	4	Early Medical Exposure実習の意義と目的 ＊講義レポート⑧	PR	03	01	01	石丸　知宏
6.27	金	7･8	Early Medical Exposure オリエンテーション ＊講義レポート⑨	PR	03	01	01	各施設代表者（学外）
7.7	月	1～8	Early Medical Exposure実習 福岡県内の重症心身障害児（者）施設に 班分けして実習をおこなう					石丸　知宏 樫本　直樹
7.8	火	1～8		PR	01	02	01	
7.9	水	1～8		PR	02	01	01	
7.10	木	1～8		PR	02	01	02	
7.11	金	1～8						
9.5	金	1･2	Early Medical Exposure グループ別反省会Ⅰ	PR	01	02	02	石丸、樫本
9.5	金	3･4	Early Medical Exposure グループ別反省会Ⅱ	PR	01	02	02	石丸、樫本
9.5	金	5･6	Early Medical Exposure 全体反省会（発表会）	PR	01	02	02	石丸、樫本
9.5	金	7･8	施設代表者参加による評価とまとめ ＊講義レポート⑩	PR	01	02	02	石丸、樫本
9.5	金	7･8	科目試験Ⅱ（50分間）					石丸　知宏

総合教育セミナー
【General Education Seminar】

担当責任者　1年次教育小委員会委員長

ねらい

入学早期に教員と接して、特色のあるテーマについて学ぶ。

研究に対する考え方を修得する。

コミュニケーション能力を身につける。

学修目標

1. 与えられたテーマについて創造的・自主的に取り組み、そのテーマを理解する。(V-1, V-2)
2. 少人数対話型教育を通して科学的思考能力を身につける。(V-3, V-4, V-5)

事前事後学習の方法

担当教員の指示に従う。

成績評価方法・基準

出席状況と学習に対する積極性を総合的に評価する。

○ 教 科 書

担当教員の指示に従う。

○ 参 考 書

担当教員の指示に従う。

年月日	曜日	時限	授業項目（内容）	コアカリ項目				担当者
				第1層	第2層	第3層	第4層	
R7.5.8	木	1・2	各テーマ	RE	01 03	01 03	02 01,03	各担当教員
5.28	水	3・4						
6.3	火	2						
6.18	水	3・4						
6.20	金	1・2						
6.25	水	7・8						
6.30	月	3・4						
7.15	火	1・2						

医科物理学
【Physics】

担当責任者　教授（医科物理学）　門野　敏彦

ねらい

1．さまざまな自然現象が少数の基本法則で統一的に記述されることを理解する。
2．複雑な現象に対して境界条件を見極め本質的な基本法則を導く過程を学ぶ。
3．医療や診断に使用されている機器の作動原理を理解して応用するための基礎を習得する。

学修目標

1．国際単位系について説明することができる。（V-1，V-3）
2．回転運動と力のモーメント、角運動量の関係について述べることができる。（V-1，V-3）
3．微粒子が集団で運動する時のふるまいについて述べることができる。（V-1，V-3）
4．気体や液体にかかる圧力と流れが計算できる。（V-1，V-3）
5．流体の粘性について述べることができる。（V-1，V-3）
6．フーリエ変換について述べることができる。（V-1，V-3）
7．光のスペクトルについて説明することができる。（V-1，V-3）
8．放射線について説明することができる。（Ⅱ-6，Ⅱ-9，V-1，V-3）

事前事後学習の方法

毎回の配布プリント、小テストをよく復習すること。これが次回の予習につながる。

成績評価方法・基準

1．出席、授業態度、小テスト、試験等により評価する。
2．60点以上を合格とする。

○ 教 科 書

プリント

○ 参 考 書

「たのしい物理」（中野正博著　1990年　日本理工出版会）
「医療専門職のための二度目の物理学入門」（嶋津秀昭著　2008年　秀潤社）

講義:2201講義室

年月日	曜日	時限	授業項目（内容）	コアカリ項目				担当者
				第1層	第2層	第3層	第4層	
R7.4.11	金	5〜8	ガイダンス・単位系・波動 小テスト	RE	02	01	01	門野 敏彦
4.18	金	5〜8	力学1 小テスト	RE	02	01	01	大坪 貴文
4.25	金	5〜8	力学2 小テスト	RE	02	01	01	大坪 貴文
5.2	金	5〜8	力学3 小テスト	RE	02	01	01	門野 敏彦
5.9	金	5〜8	光1 小テスト	RE	02	01	01	吉田 二美
5.14	水	7･8	中間テスト1	RE	02	01	01	門野 敏彦
5.16	金	5〜8	光2 小テスト	RE	02	01	01	吉田 二美
5.23	金	5〜8	流体 小テスト	RE	02	01	01	門野 敏彦
6.6	金	1〜4	放射線 小テスト	PS	03	06	01	馬田 敏幸 (RI研究センター)
6.13	金	3･4	中間テスト2	RE	02	01	01	門野 敏彦
6.27	金	5･6	中間テストの解説	RE	02	01	01	門野 敏彦
7.4	金	3･4	全体のまとめ	RE	02	01	01	門野 敏彦

生体物質化学
【Chemistry】

担当責任者　教授（生体物質化学）　森　誠之

ねらい

1．生体反応の物理化学的背景について理解する。
2．生体有機化合物の性質と構造について理解する。
3．医薬品化合物の作用機序について化学的に理解する。
4．産業医に必要な化学基礎知識を身に付ける。
5．医薬品の濃度計算や単位換算について理解する。

学修目標

1．化学物質と環境・生体との関係について説明できる。（Ⅰ-4、Ⅲ-5）
2．物理化学的概念にもとづき化学反応を説明できる。（Ⅴ-1）
3．有機化合物の命名法や、結合様式、立体構造について説明できる。（Ⅱ-1）
4．有機化合物の反応を有機電子論的に説明できる。（Ⅱ-1）
5．化学的性質・構造にもとづいた分析方法について説明できる。（Ⅴ-2、Ⅴ-3）
6．医薬品化合物の濃度計算や単位換算について説明できる。（Ⅱ-1、Ⅴ-3）
7．医薬品化合物の生体物質に対する作用機構を説明できる。（Ⅱ-1、Ⅴ-1）

事前事後学習の方法

1．授業内容に関連した課題、小テスト、レポートを与え、フィードバックによる反復学習をする。
2．講義内容に関して質問がある場合、オフィスアワーにおいて相談を受けつける。

成績評価方法・基準

1．小テスト・レポート・中間試験と科目試験の総合点で60点以上を合格とする。
2．出席状況、学習への積極性を評価し、加点、減点の考慮とする。

○ 教 科 書

なし。（プリント配布）

○ 参 考 書

菅原二三男 監訳，マクマリー生物有機化学 有機化学編 原著8版，平成30年発行，丸善出版
川嵜敏祐 監修，レーニンジャーの新生化学[上] 第7版，平成31年発行，廣川書店

講義:2201講義室

年月日	曜日	時限	授業項目（内容）	コアカリ項目				担当者
				第1層	第2層	第3層	第4層	
R7.4.7	月	7･8	1. 生体物質化学序論	PR LL RE	03 01 02	01 01 01	01 01 01	森 誠之
4.9	水	5･6	2. 化学反応の物理化学Ⅰ 小テスト	PR RE	03 02	01 01	01 01	森 誠之
4.16	水	5･6	3. 化学反応の物理化学Ⅱ 小テスト	PR RE PS	03 02 01	01 01 02	01 01 01	森 誠之
4.23	水	5･6	4.化学反応の物理化学Ⅲ 小テスト	PR RE	03 02	01 01	01 01	森 誠之
4.30	水	5･6	5. 原子、分子構造の量子化学 小テスト	PR RE	03 02	01 01	01 01	森 誠之
5.7	水	5･6	6. 有機化合物の構造と命名Ⅰ（アルカン） 小テスト	PR RE	03 02	01 01	01 01	坂口 怜子
5.14	水	5･6	7. 有機化合物の構造と命名Ⅱ（アルケン、芳香族） 小テスト	PR RE PS	03 02 01	01 01 02	01 01 01	坂口 怜子
5.21	水	5･6	8. 酸･塩基平衡 小テスト	PR RE	03 02	01 01	01 01	森 誠之
6.3	火	3･4	9. 異性体(キラル体、幾何異性体) 小テスト	PR RE	03 02	01 01	01 01	森 誠之
6.10	火	3･4	中間試験					森 誠之 坂口 怜子
6.17	火	3･4	10.酸化･還元Ⅰ(アルコール、チオール) 小テスト	PR RE PS	03 02 01	01 01 02	01 01 28	森 誠之
6.24	火	3･4	11.酸化･還元Ⅱ(アルデヒド、ケトン、コレステロール) 小テスト	PR RE PS	03 02 01	01 01 02	01 01 30	森 誠之
6.25	水	1･2	12.アミン、カルボン酸 小テスト	PR RE	03 02	01 01	01 01	森 誠之
6.30	月	5･6	13.医薬品の有機化学Ⅰ	LL RE	01 01	01 02	01 01	永田 龍(学外)
6.30	月	7･8	14.医薬品の有機化学Ⅱ －新型コロナウイルス関連医薬品－ レポート提出	LL RE	01 01	01 02	01 01	永田 龍(学外)
7.1	火	1･2	15.生体高分子の高次構造Ⅰ 小テスト	PR RE PS	03 02 01	01 01 01 02	01 01 07 29	坂口 怜子
7.1	火	3･4	16.医薬品の作用と生体物質 レポート提出	LL RE	01 02	01 01	01 01	小林 英幸(学外)
7.2	水	5･6	17.生体高分子の高次構造Ⅱ(核酸) 小テスト	PR RE PS	03 02 01	01 01 01 02	01 01 07 29	坂口 怜子
7.2	水	7･8	18.ビタミンの構造と機能 小テスト	PR RE PS	03 02 01	01 01 02	01 01 34	坂口 怜子
7.23	水	2･3	科目試験					森 誠之 坂口 怜子

細胞生物学
【Cell Biology】

担当責任者 （医学部長）

ねらい

医学の領域に進むために必要な細胞生物学上の基礎的知識を習得する。

学修目標

1. 細胞の構造を記述し、特に動物細胞の特徴を具体的に述べることができる。（Ⅱ-1）
2. オルガネラの構造と機能を具体的に述べることができる。（Ⅱ-1）
3. 蛋白質の構造と機能の大要を説明することができる。（Ⅱ-1）
4. 遺伝子の構造と機能の大要を説明することができる。（Ⅱ-2）
5. 運動の分子機構の大要を説明することができる。（Ⅱ-1）
6. 情報伝達の分子機構の大要を説明することができる。（Ⅱ-1）
7. 進化の基本的な分子機構を説明できる。（Ⅱ-1，Ⅱ-2）
8. 細胞増殖の大要を説明することができる。（Ⅱ-2）
9. 自然地理と生物地理の関係を説明できる。（Ⅱ-11，Ⅴ-2）
10. 生態系における人間の役割を説明できる。（Ⅱ-11，Ⅴ-2）
11. 人間の健康における生態系の役割を説明できる。（Ⅱ-11，Ⅲ-5，Ⅴ-2）

事前事後学習の方

授業の最後に次回分の教科書該当ページをアナウンスするので良く読んでおくこと。

成績評価方法・基準

出席状況、授業態度、小テスト、期末試験、レポートで総合的に評価。

小テスト（毎回実施、合計点を100点換算）×0.2＋中間・期末試験（各50点）×0.8で60点以上が合格。

ただし出席状況、授業態度を加味することがある。

○ 教 科 書

Bruce Albertsら著　中村桂子ら監訳 「Essential細胞生物学」 第5版　2021年 （南江堂）

David Sadava他著　石崎泰樹・斎藤成也監訳 「カラー図解 アメリカ版 大学生物学の教科書 第5巻 生態学」
2014年 （講談社 ブルーバックス）

○ 参 考 書

Harvey Lodishら著　野田春彦ら訳 「分子細胞生物学」 第6版　2010年 （東京化学同人）

岡田隆夫著 「解剖生理や生化学をまなぶ前の楽しくわかる生物・化学・物理」 2017年 （羊土社）

大塚柳太郎ら著 「人類生態学」 第2版　2012年 （東京大学出版会）

講義：2201講義室

年月日	曜日	時限	授業項目（内容）	コアカリ項目				担当者
				第1層	第2層	第3層	第4層	
R7.4.11	金	1	生物の多様性	PS	01	01	13	土井 知光
4.11	金	2	進化説、小テスト	PS	01	01	12	土井 知光

講義:2201講義室

年月日	曜日	時限	授業項目(内容)	コアカリ項目				担当者
				第1層	第2層	第3層	第4層	
4.18	金	1	細胞説の成立	PS	01	01	01	土井 知光
4.18	金	2	細胞の基本構造 (1)オルガネラⅠ	PS	01	01 03	01,03 02	土井 知光
4.18	金	3	細胞の基本構造 (2)オルガネラⅡ	PS	01	01	03	土井 知光
4.18	金	4	細胞の基本構造 (3)オルガネラⅢ、小テスト	PS	01	01	03,05	土井 知光
4.25	金	1	組織と生体の階層性 (1)細胞、組織、器官	PS	01	01 02	04,10 11-14	土井 知光
4.25	金	2	組織と生体の階層性 (2)器官系、個体、個体群、小テスト	PS	02	01	01	土井 知光
4.30	水	3	生命体を構成する物質 (1)生体を構成する元素	PS	01	02	34	森 誠之
4.30	水	4	生命体を構成する物質 (2)有機化合物、小テスト	PS	01	01 02	08 28-30	森 誠之
5.7	水	3	蛋白質の構造 (1)アミノ酸配列、二次構造、三次構造	PS	01	02	29	森 誠之
5.7	水	4	蛋白質の構造 (2)四次構造、多量体構造、小テスト	PS	01	02	29	坂口 怜子
5.12	月	7	酵素の構造	PS	01	02	27	坂口 怜子
5.12	月	8	酵素の種類、小テスト	PS	01	02	27	坂口 怜子
5.14	水	3	遺伝子の本体	PS	01	01	08	土井 知光
5.14	水	4	遺伝子の構造、小テスト	PS	01	01	09	土井 知光
5.16	金	1	進化の分子的基盤(1)	PS	01	01	07	土井 知光
5.16	金	2	進化の分子的基盤(2)、小テスト	PS	01	01	09	土井 知光
5.21	水	3	生体膜の構造	PS	01	01	04	土井 知光
5.21	水	4	生体膜の物質輸送、小テスト	PS	01	02	02,08	土井 知光
5.23	金	1	細胞運動と細胞骨格	PS	01	02	07,08	土井 知光
5.23	金	2	体細胞分裂、小テスト	PS	01	01	08	土井 知光
5.30	金	1	減数分裂	PS	01	01	08	土井 知光
5.30	金	2	生物の環境応答(1)神経系	PS	01	02	01-03	土井 知光
5.30	金	3	生物の環境応答(2)情報伝達物質、小テスト	PS	01	02	04-06	土井 知光
6.17	火	1	哺乳類の初期発生	PS	01	02	22,23 ,25,26	土井 知光
6.17	火	2	中間試験					土井 知光
6.24	火	1	生態学とは	S0	02	02	05	土井 知光
6.24	火	2	自然地理と生物地図の関係	S0	02	02	05	土井 知光
6.25	水	3	人類の活動と生態系	PS	01	03	17	土井 知光
6.25	水	4	個体群、小テスト	S0	02	01	01	土井 知光
6.25	水	5	生物種間の相互作用と進化	PS	01	01	12	土井 知光
6.25	水	6	生態学的群落	S0	02	02	05	土井 知光
6.30	月	1	地球のエコシステム	S0	04	03	01	土井 知光
6.30	月	2	人類の活動がエコシステムに与える影響、小テスト	S0	04	03	01	土井 知光
7.1	火	5	生態系における人間	PS	01	02	21	土井 知光
7.1	火	6	人間の健康と生存	PS	01	02	21	土井 知光
7.1	火	7	人口からみる人類、小テスト	PS	01	03	16	土井 知光
7.15	火	3	人間と環境問題	S0	02	02	01	土井 知光
7.15	火	4	後期試験					土井 知光

※小テストに使用するので毎回、必ずWiFi接続できる端末(スマホ、タブレット、PC等)を持参すること。

医学基礎実験
【Basic Medical Experiments】

担当責任者　教授（生体物質化学）　森　誠之

ねらい

1．医科物理学、生体物質化学および細胞生物学で講義される内容を基礎実験によってよりよく理解する。
2．データの取り扱いやレポートの作成法など実験に関する基礎的な知識を習得する。
3．将来の自然科学の発展に対応できるように、自然科学諸分野の基礎的な実験方法を理解する。
4．未知の自然現象の解明を目的とする研究実験に必要な観察力・姿勢を養う。

学修目標

1．電気を応用した簡単な計測ができる。(Ⅳ-3, Ⅳ-5, Ⅴ-1, Ⅴ-4)
2．光をつかった簡単な計測ができる。(Ⅳ-3, Ⅳ-5, Ⅴ-1, Ⅴ-4)
3．音をつかった簡単な計測ができる。(Ⅳ-3, Ⅳ-5, Ⅴ-1, Ⅴ-4)
4．実験結果を解析し、図表化して報告することができる。(Ⅳ-3, Ⅳ-5, Ⅴ-1, Ⅴ-4)
5．化合物の構造、安定性と立体配座の関係を理解できる。(Ⅴ-1, Ⅴ-4)
6．酸・塩基平衡の実験から解離定数を導くことができる。(Ⅴ-1, Ⅴ-4)
7．医薬品化合物の有機的合成・精製ができる。(Ⅴ-1, Ⅴ-4)
8．医薬品化合物の化学的定量ができる。(Ⅴ-1, Ⅴ-4)
9．遺伝子の分子構造について説明できる。(Ⅱ-2)
10．細胞の構造について説明できる。(Ⅱ-1)
11．顕微鏡をつかって観察ができる。(Ⅱ-1)
12．酵素反応を用いた簡単な計測ができる。(Ⅱ-1, Ⅴ-4)
13．哺乳動物の体制について説明できる。(Ⅱ-1, Ⅴ-3)

事前事後学習の方法

実習したことをよく復習して体得すること。

成績評価方法・基準

1．　出欠状況（欠席は原則的に認めない）、実習態度、実習レポートの内容により総合的に判定する。
2．　60点以上を合格とする。

○ 教 科 書

医科物理学系実験 ： プリント
生体物質化学系実験 ： 実習書
細胞生物学系実験 ： プリント

○ 参 考 書

Sternheim & Kane著　石井・刈田他訳 「ライフサイエンス物理学」 1999年　（廣川書店）
「ボルハルト・ショアー現代有機化学」（化学同人）
菅原二三男監訳 「マクマリー生物有機化学基礎化学編」 第4版　2015年 （丸善出版）
菅原二三男 他監訳 「マクマリー生物有機化学有機化学編」 原著8版　2018年 （丸善出版）
小林啓二・木原伸浩共著 「有機スペクトル解析入門（有機化学スタンダード）」 2021年 （裳華房）
Bruce Albertsら著　中村桂子・松原謙一監訳 「Essential細胞生物学」 第4版　2016年 （南江堂）

医科物理学系実験 :1659実験室
生体物質化学系実験 :1759実験室
細胞生物学系実験 :1855実験室

年月日	曜日	時限	授業項目（内容）	コアカリ項目 第1層	第2層	第3層	第4層	担当者
R7.5.26 5.28	月 水	5〜10 5〜10	学生を学籍番号順にA,B,C の3クラスに分け、各クラスは医科物理学系実験、生体物質化学系実験、細胞生物学系実験の実習(オリエンテーションを含む)を4回ずつ行う。					
5.30	金	5〜10	＜医科物理学系実験＞	第1層	第2層	第3層	第4層	担当者
6.2 6.4 6.6	月 水 金	5〜10 5〜10 5〜10	スピーカーの製作 レポート提出	RE	03	01 02 03 04	01 01 01-03 01	＜医科物理学系実験＞ 門野 敏彦 吉田 二美 大坪 貴文 鳥巣 伊知郎 佐藤 教昭
6.9 6.11 6.13	月 水 金	5〜10 5〜10 5〜10	パルスオキシメーターの製作 レポート提出	RE	03	01 02 03 04	01 01 01-03 01	
6.16 6.18 6.20	月 水 金	5〜10 5〜10 5〜10	回折現象を用いた光の波長測定 レポート提出	RE	03	01 02 03 04	01 01 01-03 01	
			電解質溶液の電気伝導率の測定 レポート提出	RE	03	01 02 03 04	01 01 01-03 01	
			＜生体物質化学系実験＞	第1層	第2層	第3層	第4層	担当者
			分子の構造解析 レポート提出	RE	01 04	01 01	02 01	〈生体物質化学系実験〉 森 誠之 坂口 怜子 未定(学外)
			分子模型 レポート提出	RE	01 04	01 01	02 01	
			酸・塩基平衡実験 レポート提出	RE	03 03 04	03 04 01	01 01 01	
			医薬品化合物の化学的定量実験 レポート提出	RE	02 03 03 04	01 03 04 01	01 01 01 01	
			＜細胞生物学系実験＞	第1層	第2層	第3層	第4層	担当者
			遺伝子の分子構造：二重らせんモデル構築 レポート提出	PS	01	01	08,09	〈細胞生物学系実験〉 土井 知光 川田 耕司(動物研究センター) 野中 颯(学外)
			細胞の構造：核、染色体の観察 レポート提出	PS	01	01	01,02, 08	
			動物の体制：マウスの解剖 レポート提出	PS	02	06 07 08 09 10	01 01 01 01 01	
			マウス肝の酵素活性測定 レポート提出	PS	01	02	27,29	

情報統計学
【Information Science and Statistics】

担当責任者　（医学部長）

ねらい

医学教育の基礎として、根拠に基づいた医療(EBM：evidence-based medicine)の基盤となる統計学と、
それに関連した情報科学の基本を身につける。

(1)科学や社会の中で医学・医療だけでなく様々な情報を客観的・批判的に取捨選択して統合整理し、表現する基本的能力を獲得する。

(2)確率には頻度と信念の度合いの二つがあり、それを用いた統計・推計学の有用性と限界を理解し、確率変数とその分布、統計的推測(推定と検定)の原理と方法を理解する。

(3)医学、生物学でよく遭遇する標本に統計手法を適用するときに生じる問題点、具体的な扱い方を修得する。

(4)人工知能などの最新の情報処理技術を理解する。

学修目標

1．基本的なコンピューターの操作ができ、ITについての知識を説明できる。
2．公開されているデータを分析内容に応じて加工ができる。(V-1)
3．統計手法を適切に選択・使用できる。(V-1)
4．分析結果などを文書や発表スライドを用いて説明できる。(V-4)

事前事後学習の方法

1．事前学習は配布資料の確認
2．事後学習は講義内容の復習

成績評価方法・基準

1．最終テスト(40%)＋プレゼンテーション(40%)＋平常点(20%)で総合的に評価する。
2．平常点(20%)の内訳は、レポート(15%)＋出席状況・受講態度等(5%)。

○教　科　書

1．加納克己・高橋秀人共著, 基礎医学統計学, 改訂第7版, 南江堂, 2022
2．情報リテラシー 総合編, FOM出版, 2022

○参　考　書

1．東京大学教養学部統計学教室編, 統計学入門, 東京大学出版会, 1991
2．栗原伸一著, 入門統計学, 第2版, オーム社, 2021
3．飯島史郎・石川さと子著, 生命科学・医療系のための情報リテラシー, 第4版, 丸善出版, 2022

講義:6208講義室

年月日	曜日	時限	授業項目（内容）	コアカリ項目				担当者
				第1層	第2層	第3層	第4層	
R7.4.10	木	5	オリエンテーション	IT	03	02	01	未定
4.10	木	6	情報リテラシー（課題提出）	IT	01	02	02	未定
4.10	木	7	PCリテラシー（課題提出）	IT	01	02	02	未定
4.10	木	8	論文検索（課題提出）	RE	02	02	01	未定
4.17	木	5・6	Word演習（課題提出）	RE	02	02	01	未定
4.17	木	7・8	PowerPoint演習（課題提出）	RE	04	01	01	未定
4.24	木	5～7	Excel演習（課題提出）	RE	04	01	01	未定
4.24	木	8	統計学(1)統計学概論	SO	02	03	01	未定
5.1	木	5	統計学(2)記述統計	SO	02	03	02	未定
5.1	木	6	統計学(3)推測統計	SO	02	03	02-04	未定
5.1	木	7・8	統計学(4)区間推定	SO	02	03	03	未定
5.8	木	7	統計学(5)仮説検定、1標本の検定	SO	02	03	04	未定
5.8	木	8	統計学(6)t検定	SO	02	03	04	未定
5.15	木	7	統計学(6)t検定（課題提出）	SO	02	03	04	未定
5.15	木	8	プレゼンテーション準備(1)（課題提出）	RE	04	01	01	未定
5.22	木	5・6	統計学(7)カイ2乗検定（課題提出）	SO	02	03	04	未定
5.22	木	7・8	統計学(8)分散分析（課題提出）	SO	02	03	04	未定
6.12	木	5・6	統計学(9)相関（課題提出）	SO	02	03	04	未定
6.12	木	7・8	統計学(10)回帰分析（課題提出）	SO	02	03	05	未定
6.19	木	5～8	プレゼンテーション準備(2)（課題提出）	RE	04	01	01	未定
6.26	木	5	人工知能概論	IT	02	02	01	未定
6.26	木	6～8	人工知能演習	IT	02	02	01	未定
7.3	木	5～8	プレゼンテーション準備(3)（課題提出）	RE	04	01	01	未定
7.4	金	5～8	プレゼンテーション準備(4)（課題提出）	RE	04	01	01	未定
7.16	水	1・2	プレゼンテーション準備(5)（課題提出）	RE	04	01	01	未定
7.16	水	3～8	プレゼンテーション	RE	04	01	02,03	未定
7.17	木	5	総括	IT IT IT IT IT RE RE SO	01 02 02 03 03 02 04 02	02 01 02 01 02 02 01 03	02 02 01 02 01 01 01,02 01,03,04	未定
7.24	木	5	最終テスト	IT IT IT IT IT RE RE SO	01 02 02 03 03 02 04 02	02 01 02 01 02 02 01 03	02 02 01 02 01 01 01,02 01,03,04	未定

救急蘇生法
【Cardiopulmonary Resuscitation】

担当責任者　教授(救急・集中治療医学)　尾崎　将之

ねらい　救急蘇生法は医学的知識の有無にかかわらず、すべての人が習得すべきもので、医学生になった初年度に、このカリキュラムを組まれているのもそのためである。

学修目標

1. 絶え間ない胸骨圧迫を早く(100/分～120/分)、深く(約5cm、6cmを超えない)実施できる。(Ⅱ-7)
2. 胸郭を毎回元に戻すことができる。(Ⅱ-7)
3. 人工呼吸は1回1秒で、過換気を避けることができる。(Ⅱ-7)
4. AEDを用いて安全かつ迅速に電気ショックを行うことができる。(Ⅱ-7)

事前事後学習の方法

講義について

1. 予習:　指定教科書をよく読み、予習課題を仕上げておくこと。
2. 復習:　復習課題をノートにまとめること。

実習について

1. 予習:　指定教科書をよく読みこみ、実技ができるように備えること。
2. 復習:　実技を振り返り、筆記試験に備えること。

成績評価方法・基準

1. 学習能力:最終試験　100点
2. 技術能力:スキルチェックシートによる技術評価　50点
3. 態度:各授業の参加による加算により各授業の配点　1回25点×2＝50点(合計:50点)
4. 1・2・3の合計得点を2分の1とし、100点に換算し、A、B、C、D、Fの5段階評価とする。

○ 教 科 書

日本救急医療財団「救急蘇生法の指針 2020 市民用」(ISBN:978-4-86719-026-5)

○ 参 考 書

JRC蘇生ガイドライン2020(ISBN: 978-4-260-04637-4)

講義・試験:2201講義室

実習:2205講義室

年月日	曜日	時限	授業項目(内容)	コアカリ項目				担当者
				第1層	第2層	第3層	第4層	
R7.6.18	水	1・2	救急蘇生法(歴史と総論)	CS	03	03	01	尾崎　将之
6.23	月	1・2	小グループによる実習	CS	03	03	02	全医局員
6.23	月	3・4	小グループによる実習	CS	03	03	02	全医局員
7.2	水	1・2	小グループによる実習	CS	03	03	02	全医局員
7.2	水	3・4	小グループによる実習	CS	03	03	02	全医局員
7.14	月	1・2	総括・筆記試験	CS	03	03	02	尾崎　将之

臨床医学入門
【Introduction of Clinical Medicine】

担当責任者 診療参加型臨床実習小委員会委員長

ねらい

臨床医学の概要を理解し、臨床医学および関連する領域の学習の必要性を認識する。

学修目標

1. それぞれの臨床医学の概要や役割を説明できる。(Ⅱ-1, Ⅱ-2, Ⅱ-5)
2. 臨床医学に関連する領域を列挙し、概要を説明できる。(Ⅱ-6, Ⅱ-7, Ⅱ-8)

事前事後学習の方法

配布された講義資料をもとに復習をすること。

成績評価方法・基準

出欠状況および授業態度により総合的に判断する。

評価方法は各講座により異なる。

○教 科 書

特に指定しない。

○参 考 書

特に指定しない。

講義:2201講義室

年月日	曜日	時限	授業項目(内容)	コアカリ項目				担当者
				第1層	第2層	第3層	第4層	
R7.9.3	水	5・6	オリエンテーションおよび第3内科学					原田 大
9.3	水	7・8	第1外科学					平田 敬治
9.10	水	5・6	第1内科学					未定
9.10	水	7・8	放射線科学					青木 隆敏
9.17	水	5・6	歯科・口腔外科学					宮脇 昭彦
9.17	水	7・8	精神医学					吉村 玲児
9.19	金	5・6	整形外科学					酒井 昭典
9.19	金	7・8	皮膚科学					澤田 雄宇
9.24	水	5・6	泌尿器科学					柏木 英志
9.24	水	7・8	眼科学					近藤 寛之
9.25	木	7・8	リハビリテーション医学					佐伯 覚
9.26	金	3・4	脳神経外科学					山本 淳考
9.30	火	5・6	耳鼻咽喉科・咽頭部外科学					堀 龍介
9.30	火	7・8	第2外科学					田中 文啓
10.1	水	7・8	産科婦人科学					吉野 潔
10.6	月	7・8	第2内科学					片岡 雅晴
10.7	火	3・4	呼吸器内科学					矢寺 和博
10.14	火	3・4	小児科学					深野 玲司
10.21	火	3・4	神経内科学					足立 弘明
10.28	火	3・4	麻酔科学					堀下 貴文

医療職概論
【Introduction to Health Occupation】

担当責任者　1年次教育小委員会委員長

ねらい

医療は、患者を実際に診察している医師と他の専門領域の医師、さらにはコメディカルのスタッフとの共同作業である。この最適な医療を提供するために、医療にかかわる職種の知識を習得する。さらに、保健・医療・福祉サービスの中での医師の役割について理解を深める。

学修目標

1. 医療提供構造と医療資源について理解する。(Ⅱ-11, Ⅱ-12, Ⅱ-13, Ⅱ-14)
2. 医学教育について理解する。(Ⅰ-1, Ⅰ-2, Ⅰ-3, Ⅰ-4, Ⅰ-5)
3. 医療経営について理解する。(Ⅱ-13, Ⅲ-4)
4. 女性医師のワークライフバランスについて理解する。(Ⅰ-1, Ⅰ-4, Ⅰ-5, Ⅵ-5)
5. 歯科医療について理解する。(Ⅱ-1, Ⅵ-3, Ⅵ-4, Ⅵ-5)
6. 処方について理解する。(Ⅵ-3, Ⅵ-4, Ⅵ-5)
7. 地域医療との連携について理解する。(Ⅱ-13, Ⅱ-14, Ⅳ-10, Ⅳ-11)
8. 看護管理・専門看護について理解する。(Ⅵ-3, Ⅵ-4, Ⅵ-5)
9. 保健師・助産師について理解する。(Ⅵ-3, Ⅵ-4, Ⅵ-5)
10. 放射線・臨床検査、そして臨床工学について理解する。(Ⅱ-6, Ⅵ-3, Ⅵ-4, Ⅵ-5)
11. リハビリテーションにおける療法士について理解する。(Ⅵ-3, Ⅵ-4, Ⅵ-5)

事前事後学習の方法

1. 予習:配付資料の確認
2. 復習:講義内容の復習

成績評価方法・基準

医療職概論総括当日に講義室内で作成した小論文(6割)、出席状況(2割)、授業態度(2割)等を総合して判断する。

○ 教 科 書

特になし

○ 参 考 書

特になし

講義:2201講義室

年月日	曜日	時限	授業項目（内容）	コアカリ項目				担当者
				第1層	第2層	第3層	第4層	
R8.1.5	月	1･2	基礎医学	LL RE RE RE	01 01 01 02	01 01 02 01	01 02 01 01	（科目担当責任者）
1.5	月	3･4	助産師	PS IP	02 02	11 04	01,02 01	（産業保健学部）
1.6	火	1･2	薬剤師	CS IP IP	02 01 02	04 02 04	02 01 01	植木 哲也 （薬剤部）
1.6	火	3･4	病院地域医療連携	GE GE GE IP	01 01 02 02	03 06 02 04	02,03 05 02 01	野田 雅美 （患者サポートセンター）
1.7	水	7･8	地域医療	GE GE	02 02	01 02	01,02 01,02, 04,05	長森 健 （北九州市医師会専務理事）
1.8	木	1･2	歯科医師	PS	02	16	01-05	宮脇 昭彦 （歯科・口腔外科）
1.9	金	3･4	診療放射線技師	CS IP IP	02 01 02	04 02 04	02 01 01	川下 幸隆 （放射線部）
1.9	金	5･6	医師として働く女性のワークライフバランス	GE LL SO	02 01 04	02 02 02	01 01,02 01	田中 眞紀 （福岡県医師会理事）
1.13	火	1･2	地域保健師	GE	02	01 03 04	01,02 01 02	（産業保健学部）
1.14	水	1･2	医療提供構造と医療資源	IT IT IP	01 02 02	01 02 04	01 01,02 01	一瀬 豊日 （進路指導部）
1.14	水	3･4	臨床検査技師	CS CS IP	02 02 02	03 04 04	02 36 01	中園 朱実 （臨床検査・輸血部）
1.14	水	5･6	多職種連携と医学教育	LL IP IP IP	02 01 02 02	01 02 01 03	01,02 01 01 01,02	岩田 勲 （医学教育改革推進センター）
1.15	木	1･2	臨床工学技士	IT CS IP	02 02 02	02 04 04	02 36 01	（臨床工学部）
1.15	木	5･6	リハビリテーションにおける療法士	CS IP	02 02	04 04	45,47 01	武本 暁生 （リハビリテーション部）
1.19	月	1･2	看護管理	CM CM IP	01 01 02	01 02 04	01-05 01,02 01	三輪ゆかり （産業医科大学病院看護部長）
1.19	月	3･4	専門看護	PR IP	02 02	01 04	01,02 01	松岡 さなえ （看護部放射線治療科）
1.20	火	1･2	医療経営	PR LL	01 01	01 02	01,02 01	田中 文啓 （産業医科大学病院長）
1.20	火	3･4	医療職概論総括					（科目担当責任者）

系統解剖学総論
【General Anatomy】

担当責任者　（医学部長）

ねらい

1．医学の基礎として人体の形態と構造を理解する。
2．精緻な観察力の涵養を図る。
3．医学教育の成立する社会的基盤について理解する。

人体の形態と構造を理解することは、医学においてもっとも基礎的なことである。人体の構造を深く理解するためには、系統解剖学講義、自習とともに、実習において深い観察を行うことが非常に重要である。

骨学実習は献体という多くの人々の善意によって初めて行うことができるものである。医学教育を支えてくれる多くの人々の存在を理解し、医学と社会とを考える大きな機会としていただきたい。このことは、その後の基礎医学、臨床医学、産業医学、環境医学を修得し、医師となる上でとくに重要である。

＜骨学・関節学＞

1．骨の形態を理解し、骨格の構成を理解する。
2．骨の連結形態を理解し、連結部位および骨格の運動を理解する。

＜筋　　学＞

筋（骨格筋）の形態、構造とその機能を理解する。

＜脈 管 学＞

心臓、血管およびリンパ管の構造と血液・リンパの循環生理を理解する。

学修目標

＜骨学・関節学＞

1．骨・軟骨・関節・靭帯の構造と機能を説明できる。（Ⅰ-5，Ⅱ-1）
2．頭頸部の構成を説明できる。（Ⅰ-5，Ⅱ-1）
3．椎骨の形態、脊柱の構成と機能を説明できる。（Ⅰ-5，Ⅱ-1，Ⅴ-3，Ⅵ-5）
4．四肢の骨の構造と関節の特徴を説明できる。（Ⅰ-5，Ⅱ-1，Ⅴ-3，Ⅵ-5）
5．骨盤の構成と性差を説明できる。（Ⅰ-5，Ⅱ-1）

＜筋　　学＞

1．骨格筋および骨格筋の補助装置の形態を説明できる。（Ⅰ-5，Ⅱ-1）
2．主な骨格筋の起始、停止、作用と支配神経を説明できる。（Ⅰ-5，Ⅱ-1）
3．四肢の主要筋群の運動と神経支配を説明できる。（Ⅰ-5，Ⅱ-1）
4．姿勢と体幹の運動にかかわる筋群を説明できる。（Ⅰ-5，Ⅱ-1）
5．抗重力筋を説明できる。（Ⅰ-5，Ⅱ-1）

＜脈 管 学＞

1．心臓の構造と分布する血管・神経を説明できる。（Ⅰ-5，Ⅱ-1）
2．大動脈と主な分枝（頭頸部、上肢、胸部、腹部、下肢）を図示し、分布域を概説できる。（Ⅰ-5，Ⅱ-1）
3．主な静脈を図示し、門脈系と上・下大静脈系を説明できる。（Ⅰ-5，Ⅱ-1）
4．体循環、肺循環と胎児・胎盤循環を説明できる。（Ⅰ-5，Ⅱ-1）
5．体循環、肺循環と胎児の血液循環を説明できる。（Ⅰ-5，Ⅱ-1）
6．リンパ節とリンパ管の走行と分布、主なリンパ性器官の構造を説明できる。（Ⅰ-5，Ⅱ-1）

事前事後学習の方法

1. シラバスに記載されている授業項目について、教科書・参考書などで事前に予習しておくこと。
2. 指定教科書や配布物を熟読して講義内容の復習をすること。

成績評価方法・基準

1. レポート内容(20%)、ミニテスト(20%)、系統解剖学総論終講試験(60%)の結果を基に、
   出席状況・受講・実習態度を加味し総合的に判定する。
2. 100点満点換算で、A、B、C、D、Fの5段階評価とする。

○ **教 科 書** (指定)

東華岳・林春樹著「イラストで学ぶ骨・関節・筋の解剖学」2023年(丸善出版)

伊藤隆原著、高野廣子改訂「解剖学講義」改訂3版、2012年(南山堂)

○ **参 考 書** (推薦)

Richard L. Drake著、秋田恵一翻訳「グレイ解剖学」原著第5版、2024年(エルゼビア・ジャパン)

ネッター著、相磯貞和翻訳「ネッター解剖学アトラス」原書第7版、2022年(南江堂)

松村譲二著「イラスト解剖学」第10版、2021年(中外医学社) (電子ブック・大学図書館にある)

坂井建雄著「標準解剖学」、2017年(医学書院)

Human Anatomy Atlas (Visible Body、産業医科大学専用ポータル、電子ブック・大学図書館)

寺田春水・藤田恒夫著「骨学実習の手びき」第4版、1992年(南山堂)

講義:2201講義室
実習:1B11解剖実習室

年月日	曜日	時限	授業項目(内容)	コアカリ項目				担当者
				第1層	第2層	第3層	第4層	
R7.10.24	金	3・4	解剖学総論	PR PS PS	02 01 02	03 02	16	未定
10.27	月	3・4	骨・関節学1:骨・関節学総論	PS	02	05	01	未定
11.7	金	5・6	筋学1:筋学総論、胸腹部の筋	PS	02	05	01	未定
11.10	月	3・4	骨・関節学2:体幹と上肢の骨格	PS	02	05	01	未定
11.11	火	3・4	脈管学1:脈管学総論、心臓1	PS	02	06	01	未定
11.14	金	5・6	筋学2:上肢の筋	PS	02	05	01	未定
11.18	火	3・4	脈管学2:心臓2、動脈1	PS	02	06	01	未定
11.25	火	3・4	筋学3:下肢の筋	PS	02	05	01	未定
11.28	金	5・6	脈管学3:動脈2	PS	02	06	01	未定
12.8	月	3・4	筋学4:頭頸部と背部の筋 (ミニテスト/筋学)	PS	02	05	01	未定
12.9	火	5・6	脈管学4:静脈とリンパ系 (ミニテスト/脈管学)	PS	02	02 06	01 01	未定
12.9	火	7・8	骨・関節学3:下肢の骨格と頭蓋骨	PS	02	05	01	未定
12.12	金	3・4	骨学実習1:体幹の骨格(レポート1)(ミニテスト/骨学1)	PS	02	02	01	全教員
12.15	月	3・4	骨学実習2:上肢の骨格(レポート2)(ミニテスト/骨学2)	PS	02	02	01	全教員
12.19	金	5・6	骨学実習3:下肢の骨格(レポート3)	PS	02	02	01	全教員
12.19	金	7・8	骨学実習4:頭蓋骨 (レポート4)(ミニテスト/骨学3)	PS	02	02	01	全教員
12.25	木	3・4	系統解剖学総論終講試験					全教員

組織解剖学総論
【General Histology】

担当責任者　教授（第2解剖学）　森本　景之

ねらい

1. 医学の基礎として、人体を構成する器官の正常構造を理解する。
2. 細胞の微細構造を理解する。
3. 細胞集団としての組織・臓器の構成、機能分化と方向用語を理解する。
4. 精緻な観察力の涵養を図る。
5. 医学教育の成立する社会的基盤について理解する。

人体の正常構造を理解することは、医学においてもっとも基礎となる。人体の構造を深く理解するためには、講義、自習と共に、実習において深い観察を行うことが非常に重要である。また、組織解剖学総論講義・実習において、光学顕微鏡を通して、細胞と組織の構造と機能の理解を得ることは、組織解剖学各論、系統解剖学総論・各論の正しい理解に必須である。加えて、医学・生物学への電子顕微鏡の導入による細胞と組織の超微形態学を把握することは、分子生物学、免疫学等の正しい理解にも連結する。

解剖学、組織学における実習は献体という多くの人々の善意によって初めて行うことができるものである。医学教育は多くの方々の協力の上に成り立っていることを忘れてはならない。このことは、基礎医学、臨床医学、産業医学を修得し、医師となる上でとくに重要である。自己を理解し、様々な人の支えによって医学を学ぶ機会が得られたことへの感謝と敬意の念を持ち、学習の成果を社会に還元していただきたい。

＜内　臓　学＞

消化器、呼吸器、泌尿・生殖器および内分泌器の正常構造と機能を理解する。

＜感 覚 器 学＞

視覚器、平衡聴覚器の正常構造とその機能を理解する。

＜組　織　学＞

1. 人体の細胞および組織の構造と機能を顕微鏡的に理解する。
2. 固定・薄切された細胞・組織の顕微鏡像から生体における三次元的構造を理解する。

学修目標

＜内臓学・感覚器学＞

1. 各臓器の正常構造とその機能を説明することができる。（Ⅱ-1）
2. 各臓器の位置関係を説明することができる。（Ⅱ-1）
3. 各臓器を支配する神経と各臓器に分布する血管を説明することができる。（Ⅱ-1）

＜組織学総論講義・実習＞

1. 細胞の構造と機能を説明できる。（Ⅱ-1）
2. 上皮組織と腺の構造と機能を説明できる。（Ⅱ-1）
3. 支持組織を構成する細胞と細胞間質（線維成分と基質）を説明できる。（Ⅱ-1）
4. 筋組織について、骨格筋、心筋、平滑筋の構造と機能を対比して説明できる。（Ⅱ-1）
5. 神経組織の微細構造を説明できる。（Ⅱ-1）

事前事後学習の方法

1. 事前学習として、教科書等で講義・実習の該当箇所に目を通す。
2. 事後学習として、講義プリント、実習スケッチ等を用いて、到達目標を達成する。

成績評価方法・基準

1. 小テスト（全3回）、実習スケッチ、内臓学試験、組織学総論試験の結果を基に、出席・実習状況を加味して、総合的に判定する。
2. 100点満点換算で、A、B、C、D、Fの5段階評価とする。

○ **教 科 書** （指定）

Anthony L. Mescher著、坂井建夫/川上速人監訳「ジュンケイラ組織学」第6版、2024年(丸善出版)

○ **参 考 書**

＜内臓学・感覚器学＞

1. 伊藤隆原著、高野廣子改訂「解剖学講義」改訂3版、2012年（南山堂）

＜組織学総論＞

1. 藤田尚男/藤田恒夫原著、岩永敏彦改訂「標準組織学 総論」第6版、2022年（医学書院）
2. 藤田尚男他訳「Sobotta 実習 人体組織学図譜」第5版、2005年（医学書院）
3. 内山安男監訳「組織細胞生物学」原書第5版、2022年(南江堂)

1年次

講義：2201講義室
実習：2303実習室

年月日	曜日	時限	授業項目（内容）	コアカリ項目				担当者
				第1層	第2層	第3層	第4層	
R7.10.3	金	5・6	内臓学1：消化器総論、口腔、唾液腺	PS	02	08 16	01 01	森本 景之
10.6	月	5・6	内臓学2：咽頭、食道、胃、小腸、大腸	PS	02	08 16	01 01	馬場 良子
10.10	金	5・6	内臓学3：肝、胆道系、膵、腹膜	PS	02	08	01	森本 景之
10.17	金	5・6	内臓学4：呼吸器、泌尿器	PS	02	07 09 16	01 01 01	馬場 良子
10.20	月	5・6	内臓学5：内分泌器、生殖器	PS	01 02 02	02 10 14	06 01 01	國分 啓司
10.24	金	5・6	感覚器学：視覚器、平衡聴覚器	PS	01 02 02	02 15 16	17 01 01	國分 啓司
10.29	水	7	内臓学試験					全教員
11.10	月	5・6	組織学総論1：細胞	PS	01	01 02 04	01-04 07,08 05,06	森本 景之
11.10	月	7・8	組織学総論実習1：オリエンテーション、標本配布、 顕微鏡の使用法、標本作製法	PR PR RE PS	01 02 03 01	01 01 03 01	02 01 01 01	全教員
11.17	月	5・6	組織学総論2：上皮組織	PS	01	01 02	01,04 08,10	馬場 良子
11.17	月	7・8	組織学総論実習2：上皮組織	PS	01	01 02	04 10	全教員
12.8	月	5・6	小テスト 組織学総論3：支持組織1	PS	01	02	11	森本 景之
12.8	月	7・8	組織学総論実習3：支持組織1	PS	01	02	11	全教員
12.12	金	5・6	組織学総論4：支持組織2	PS	01 02	02 05	11 01	森本 景之
12.12	金	7・8	組織学総論実習4：支持組織2	PS	01 02	02 05	11 01	全教員
12.15	月	5・6	組織学総論5：支持組織3	PS	01 02	02 05	11 01	森本 景之
12.15	月	7・8	組織学総論実習5：支持組織3	PS	01 02	02 05	11 01	全教員
12.19	金	2	組織学総論6：血液	PS	02	02	01	菊池 亮(学外)
12.22	月	2～4	小テスト 組織学総論7・8：筋組織1・2	PS	01 02	02 06	14 01	馬場 良子
12.22	月	5～8	組織学総論実習6・7：筋組織1・2	PS	01 02	02 06	14 01	全教員
12.26	金	2～4	小テスト 組織学総論9：神経総論、末梢神経系	PS	01 02	02 03	03,09,13 01	國分 啓司
12.26	金	5～7	組織学総論実習8・9：神経細胞・神経線維・ 末梢神経	PS	01 02	02 03	03,09,13 01	全教員
R8.1.9	金	2	組織学総論試験					全教員

医化学
【Medical Chemistry】

担当責任者 准教授(生化学) 日笠 弘基

ねらい

摂取した食物が栄養素として腸管から吸収された後、どのようにしてエネルギー源となるのか、その精緻なメカニズムを細胞内小器官の構造および機能を踏まえて理解する。物質代謝による個々の細胞活動が生命体のあらゆる活動の基盤であることを理解する。多数の細胞が集まって構築する組織・器官(臓器)の正常な代謝とその調節に関する知識を正しく習得したうえで、種々の疾病や病態(がん、糖尿病、動脈硬化症など)においてどのような代謝・機能異常がその原因となっているのかを理解し、さらにその異常に対応するべき方策を創造できる能力の基盤を養う。

学修目標

1. 糖質、脂質、窒素化合物の異化・同化経路とDNA-RNA-タンパク質というセントラルドグマを理解する。(Ⅱ-1, Ⅱ-2, Ⅴ-1)
2. 多様な生体内触媒の特性と調節について説明できるとともに、実験的に体験する。(Ⅱ-1, Ⅴ-1, Ⅴ-4, Ⅵ-4, Ⅵ-5)
3. 摂食後のエネルギー代謝機構を詳しく述べることができる。飢餓時と過食時の代謝機構を説明できる。(Ⅱ-1, Ⅱ-2, Ⅱ-5, Ⅴ-1, Ⅴ-2)
4. 生活習慣病(糖尿病、肥満、動脈硬化症など)や腫瘍における代謝の特徴を理解し、その異常を指摘できる。(Ⅱ-1, Ⅱ-2, Ⅱ-5, Ⅴ-1, Ⅴ-2)
5. 代謝の破綻が原因となる疾患を説明できる。(Ⅱ-1, Ⅱ-2, Ⅱ-5, Ⅴ-1, Ⅴ-2)
6. ビタミンや抗酸化因子の作用機序を理解し、その欠如による疾病と関連づける事ができる。(Ⅱ-1, Ⅱ-2, Ⅱ-5, Ⅴ-1, Ⅴ-2)

講義および実習の事前事後学習法

1. 高校で生物を未選択の学生は、下記の入門書の授業項目に該当する箇所を、講義前に読んでおくことを強く推奨する。
2. 講義中は配布テキストに重要事項を記入して、講義後に下記の教科書と対比させながら学習する。

成績評価方法・基準

1. 医化学試験、基礎総合試験、小テスト、実習レポート、出席率、受講態度等を総合的に考査のうえ加・減点し決定する。
2. 成績は5段階で評価する。

○ 教 科 書 以下2つより1つを選べばよい。

石浦章一ら監訳 マシューズ他 「カラー生化学」 第4版 2015年 (西村書店)

市川厚監修、福岡伸一監訳 「マッキー生化学」 第6版 2018年 (化学同人)

○ 入 門 書

畠山鎮次著 系統看護学講座 人体の構造と機能② 生化学 2019年 (医学書院)

○ 実 習 書

当教室で準備する。

講義: 2201 講義室
実習: 2304 実習室

年月日	曜日	時限	授業項目(内容)	コアカリ項目				担当者
				第1層	第2層	第3層	第4層	
R7.9.1	月	5・6	細胞内の代謝の場	PS	01	01 02	03,04 02,08	日笠 弘基
9.1	月	7・8	生体物質(無機質)	PS	01	02	01,34	日笠 弘基

講義: 2201 講義室
実習: 2304 実習室

年月日	曜日	時限	授業項目（内容）	コアカリ項目				担当者
				第1層	第2層	第3層	第4層	
9.4	木	3・4	生体物質(糖質)(小テスト1 予定)	PS	01	02	28,37	日笠 弘基
9.8	月	5・6	生体物質(脂質)	PS	01	02	30,37	日笠 弘基
9.8	月	7・8	糖代謝(1)解糖系	PS	01	02	28	日笠 弘基
9.11	木	3・4	糖代謝(2)クエン酸回路 (小テスト2 予定)	PS	01	02	28	日笠 弘基
9.18	木	1・2	ミトコンドリアと代謝	PS	01	02	28	日笠 弘基
9.18	木	3・4	酸化的リン酸化とシャトル機構	PS	01	02	28	日笠 弘基
9.19	金	1・2	糖代謝(3)クエン酸回路の制御 (小テスト3 予定)	PS	01	02	28,35	日笠 弘基
9.19	金	3・4	糖代謝(4)糖新生と基質	PS	01	02	28,35	日笠 弘基
9.22	月	5・6	糖代謝(5)臓器の糖代謝応答と相互作用 (小テスト4 予定)	PS	01	02	28,36	日笠 弘基
9.22	月	7・8	糖代謝(6)糖代謝異常による疾患	PS	01	04	07	日笠 弘基
9.25	木	1・2	生体物質(核酸)	PS	01	02	32	日笠 弘基
9.25	木	3・4	生体物質(アミノ酸)	PS	01	02	29	日笠 弘基
9.29	月	5・6	生体物質(タンパク質) (小テスト5 予定)	PS	01	01 02	09 29	日笠 弘基
9.29	月	7・8	タンパク質の機能(1)タンパク質の多様性	PS	01	01 02	04 05,07, 27,29	日笠 弘基
10.1	水	3・4	タンパク質の機能(2)変異と変性による疾患 (小テスト6 予定)	PS	01	04	02,08, 20	日笠 弘基
10.1	水	5・6	タンパク質の機能(3)生体触媒としての特性	PS	01	02	27,28	日笠 弘基
10.8	水	3・4	窒素化合物の代謝(1)核酸の代謝と疾患	PS	01	02 04	32 10	日笠 弘基
10.8	水	5・6	医化学試験(1)と解説					日笠 弘基
10.15	水	3・4	窒素化合物の代謝(2)アミノ酸の代謝と疾患 (小テスト7 予定)	PS	01	02 04	29,31, 35 08	日笠 弘基
10.15	水	5・6	血液の特性と生体防御	PS	01 02	03 02	18,20, 22 01	日笠 弘基
10.22	水	3・4	脂質の代謝(1)脂肪酸	PS	01	02 04	30 09	日笠 弘基
10.22	水	5・6	脂質の代謝(2)コレステロール	PS	01	02 04	30,37 09,18	日笠 弘基
10.29	水	3・4	ホルモンの作用機序	PS	01	02	05,06	日笠 弘基
10.29	水	5・6	ホルモンと代謝	PS	01 02	02 14	36 01	日笠 弘基
11.12	水	5・6	酸化ストレス(1)活性酸素種	PS	01	02	33	日笠 弘基
11.19	水	5・6	酸化ストレス(2)酸化ストレスと疾患	PS	01	04	18,20	日笠 弘基
11.19	水	7・8	生体物質(ビタミン)(1)脂溶性ビタミン	PS	01	02	34	日笠 弘基
12.11	木	5～8	医化学実習① (レポート期限 12.26)	PS	01	02	27	教員全員
12.16	火	3・4	生体物質(ビタミン)(2)脂溶性ビタミンの作用機序と欠乏症	PS	01	02 04	33,34 11	日笠 弘基
12.16	火	5～8	医化学実習② (レポート期限 1.16)	PS	01	02	27	教員全員
12.17	水	5～8	医化学実習③ (レポート期限 1.16)	PS	01	02	27	教員全員
12.18	木	5～8	医化学実習④ (レポート期限 1.16)	PS	01	02	27	教員全員
12.23	火	3・4	生体物質(ビタミン)(3)水溶性ビタミン	PS	01	02	34	日笠 弘基
12.24	水	5～8	生体物質(ビタミン)(4)水溶性ビタミンの作用機序と欠乏症	PS	01	02 04	28,29, 32,34 11	日笠 弘基
R8.1.14	水	7・8	医化学試験(2)と解説					日笠 弘基

分子生物学
【Molecular Biology】

担当責任者　教授（分子生物学）　遠藤　元誉

ねらい

1. 細胞の構造とその様々な働きとともに、遺伝子からタンパクへの流れに基づく生命現象を学び、遺伝子工学の手法と応用やヒトゲノムの解析を理解する。
2. ゲノム・染色体・遺伝子の多様性と疾患との関連を理解する。
3. 発癌のメカニズムと病態を理解する。

学修目標

1. Mendelの法則、ミトコンドリア遺伝、インプリンティング及び多因子遺伝を説明できる。（Ⅱ-2）
2. 遺伝型と表現型の関係を説明できる。（Ⅱ-2）
3. 染色体の構造を概説し、ゲノムと染色体及び遺伝子の構造と関係性、体細胞分裂及び減数分裂における染色体の挙動を説明できる。（Ⅱ-1，Ⅱ-2）
4. デオキシリボ核酸（DNA）の複製と修復を概説できる。（Ⅱ-1）
5. DNAからリボ核酸（RNA）への転写、タンパク質合成に至る翻訳を含む遺伝情報の発現及び調節（セントラルドグマ）を説明できる。（Ⅱ-1，Ⅱ-2，Ⅱ-3）
6. 染色体分析・DNA配列決定を含むゲノム解析技術を概説できる。（Ⅱ-2，Ⅱ-6）
7. ゲノムの多様性に基づく個体の多様性を説明できる。（Ⅱ-2）
8. 単一遺伝子疾患の遺伝様式を説明し、代表的な疾患を列挙できる。（Ⅱ-2，Ⅱ-5）
9. 染色体異常による疾患の中で主なものを挙げ、概説できる。（Ⅱ-2，Ⅱ-5）
10. ミトコンドリア遺伝子の変異による疾患を挙げ、概説できる。（Ⅱ-2，Ⅱ-5）
11. エピゲノムの機序及び関連する疾患を概説できる。（Ⅱ-5，Ⅱ-6）
12. 多因子疾患における遺伝要因と環境要因の関係を概説できる。（Ⅱ-2，Ⅱ-5）
13. 薬剤の有効性や安全性とゲノムの多様性との関係を概説できる。（Ⅱ-1，Ⅱ-5）
14. 自律性の増殖と、良性腫瘍と悪性腫瘍の違いを説明できる。（Ⅱ-2，Ⅱ-3，Ⅱ-5）
15. 癌の原因や遺伝子変化を説明できる。（Ⅱ-5，Ⅱ-6）
16. 異形成、上皮内癌、進行癌、早期癌、異型性、多形性等を説明できる。（Ⅱ-5，Ⅱ-6）
17. 実習で分子生物学的手法を習得する。（Ⅴ-3，Ⅴ-4）

事前事後学習の方法

1. 授業前に授業項目（内容）の確認を行い、教科書（参考書）の該当部分を熟読のうえ準備する。
2. 授業の中で疑問に感じたり、自身の知識が足りないと感じた所を教科書（参考書）にて復習し理解する。

成績評価方法・基準

1. 前期復習テスト・後期復習テスト・全期間復習テスト、理解度チェックのための小テスト、実習レポートの結果を基に、出席状況、実習への取り組み、プレゼンテーションへの取り組み等を加味し、総合的に判断する。
2. 100点満点換算で、A、B、C、D、Fの5段階評価とする。

○教　科　書

戸田達史，井上聡，松本直通（監訳）「ヒトの分子遺伝学 第5版」（メディカル・サイエンス・インターナショナル）

古閑明彦（監訳）「一目でわかる臨床遺伝学 第2版」（メディカル・サイエンス・インターナショナル）

○参　考　書

中村桂子，松原謙一（翻訳）「Essential細胞生物学(原書 第4版)」（南江堂）

中村桂子，松原謙一（監訳）「細胞の分子生物学 第6版」（ニュートンプレス）

講義:2201講義室
実習:2304講義室

年月日	曜日	時限	授業項目（内容）	コアカリ項目				担当者
				第1層	第2層	第3層	第4層	
R7.9.1	月	1・2	分子生物学概論・DNAと染色体	RE RE PS	01 01 01	01 02 01	02 01 02,03,09	遠藤 元誉
9.1	月	3・4	メンデルの法則と遺伝性疾患	PS	01	01 04	06-08 01,02	大林 邦衣
9.2	火	1・2	DNAの複製	PS	01	01	05	遠藤 元誉
9.2	火	3・4	DNAの修復	PS	01	01	09	遠藤 元誉
9.8	月	1・2	DNAの組換え (小テスト1)	PS	01	01	08,09	遠藤 元誉
9.8	月	3	転写と翻訳(1)	PS	01	01	02,03, 05-09	大林 邦衣
9.9	火	1～4	転写と翻訳(2) (小テスト2)	PS	01	01	02,03, 05-09,11	大林 邦衣
9.16	火	1・2	遺伝子の発現調節(1)	PS	01	01	05,07-09	遠藤 元誉
9.16	火	3・4	遺伝子の発現調節(2) (小テスト3)	PS	01	01	05,07-09	遠藤 元誉
9.18	木	5	前期復習テスト					全教員
9.18	木	6	前期復習テストの解説					全教員
9.18	木	7・8	シグナル伝達・細胞死(1)	PS	01	02 04	05,06 05,06	大林 邦衣
9.22	月	1・2	細胞周期	PS	01	01	08	遠藤 元誉
9.22	月	3・4	遺伝医学(機構と疾患)	PS	03	01	01-04,06	遠藤 元誉
9.25	木	5・6	遺伝子診断、遺伝子治療の基礎	PS	03	01	01-04,06	大林 邦衣
9.29	月	1・2	遺伝子とゲノムの進化、集団遺伝学 (小テスト4)	PS	03 01	01 01	01,03,04 12,13	遠藤 元誉
9.29	月	3・4	遺伝子組換え実験講習会	PS	01	01	10,11	遠藤 元誉
10.2	木	5・6	ミトコンドリア遺伝(特性と疾患)	PS	01	01	06	大林 邦衣
10.2	木	7・8	シグナル伝達・細胞死(2)	PS	01	02 04	05,06 05,06	大林 邦衣
10.6	月	3	がんの分子生物学(基礎)	PS	03	04	01,03	遠藤 元誉
10.6	月	4	がんの分子生物学(臨床応用)	PS	03	04	01,13,25	小山 倫太郎(第2外科学)
10.9	木	5・6	遺伝子工学の基礎	PS	01	01	10,11	遠藤 元誉
10.9	木	7・8	エピジェネティクス(機構と疾患)	PS	01	01	06-08	遠藤 元誉
10.16	木	5	後期復習テスト					全教員
10.16	木	6	後期復習テストの解説					全教員
10.16	木	7・8	プレゼンテーション (1)	LL RE	02 04	01 01	01,02 01-03	全教員
10.23	木	5～8	プレゼンテーション (2)	LL RE	02 04	01 01	01,02 01-03	全教員
10.30	木	5～8	実習 (1)	RE	03 05	03 02	01 02	全教員
11.6	木	5～8	実習 (2)	RE	03 05	03 02	01 02	全教員
11.13	木	5～8	実習 (3)	RE	03 05	03 02	01 02	全教員

1　年　次

講義:2201講義室
実習:2304講義室

年月日	曜日	時限	授　業　項　目（内　容）	コアカリ項目				担　当　者
				第1層	第2層	第3層	第4層	
11.20	木	5～8	実習（4）	RE	03 05	03 02	01 02	全教員
12.8	月	1･2	シグナル伝達･細胞死(3) (小テスト5)	PS	01	02 04	05,06 05,06	大林　邦衣
12.10	水	3･4	転写と翻訳(3) (小テスト6)	PS	01	01	02,03, 05-09,11	大林　邦衣
12.17	水	3･4	分子生物学総括　(実習レポート提出期限)					全教員
12.24	水	1･2	全期間復習テスト					全教員
12.24	水	3	全期間復習テストの解説					全教員

早期臨床体験実習Ⅰ
【Early Clinical Exposure Ⅰ】

担当責任者 早期臨床体験実習小委員会委員長

ねらい

入学後早期に多職種の連携による医療の現場に参加し、各職種の役割を理解することでチーム医療の重要性を理解する。
患者の立場や気持ちを理解し、医療現場での医師の役割を学ぶ。
将来医師を目指す医学生としての、心構えや身に着けるべき態度を学び、目標とする医師像を明確にし、今後の学習意欲の向上につなげる。

学修目標

1. 多職種の連携による医療の現場を体験実習し、チーム医療の重要性を理解する。(Ⅵ-3, Ⅵ-4, Ⅵ-5)
2. 各職種の業務見学を通し、多職種の業務内容を理解する。(Ⅵ-3, Ⅵ-4, Ⅵ-5)
3. 患者の気持ちを理解し、患者を中心としたチーム医療の重要性を説明できる。(Ⅵ-1, Ⅵ-3, Ⅳ-8)
4. 医学生としてふさわしい、身なり、態度で行動する。(Ⅰ-5)
5. チーム医療の一員としての医師の役割、医師像を理解する。(Ⅵ-3, Ⅵ-4, Ⅵ-5)
6. 将来医師となる自分が今後なすべきことを自覚する。(Ⅰ-4, Ⅰ-5)

事前事後学習の方法

1. 事前学習 準備授業で説明する注意事項を実習前に再度確認する。
2. 事後学習 実習中に経験した臨床的知識を確認し、自己学習の機会にする。

成績評価方法・基準

出欠状況(欠席は準備授業、振り返り授業を含めて原則認めない)、実習態度、各職種からの評価、学修目標の理解度、レポートによって総合的に判定する。
実習であるので皆勤が原則である。止むを得ない理由のない欠席・遅刻、服装の乱れ、態度不良、居眠り、積極性欠如などは不合格である。

○ 教 科 書

特に指定しない。

○ 参 考 書

担当教員の指示に従う。

年月日	曜日	時限	授業項目(内容)	コアカリ項目				担当者
				第1層	第2層	第3層	第4層	
R7.11.27	木	1～4	早期臨床体験実習Ⅰ実習参加の為の基礎講義	GE GE CM IP PR LL	01 01 01 01,02 01-03 01	01 02-04 01,02	01-06	医学教育担当教員
12.1～5	月～金	1～8	早期臨床体験実習Ⅰ					
12.11	木	2	早期臨床体験実習Ⅰ実習成果発表					

産業医学Ⅰ
【Occupational Health　Ⅰ】

担当責任者　産業生態科学研究所　所長

ねらい　１．労働三法をはじめとする労働関連法規を学ぶ。

２．企業人として理解しておくべき企業経営ならびに経済の基礎を学ぶ。

３．健康保険法など労働者に係る社会保障制度を学ぶ。

学修目標

１．労働法制と社会保障制度の内容を説明できる。〈Ⅱ-8，Ⅱ-11，Ⅱ-12，Ⅲ-1〉

２．産業医学の歴史および産業医の現状と将来について説明できる。〈Ⅱ-8，Ⅱ-11，Ⅱ-12，Ⅲ-1，Ⅲ-2〉

３．一企業人としての産業医の役割とその重要性を説明できる。〈Ⅲ-1，Ⅲ-2，Ⅲ-3，Ⅲ-4，Ⅲ-5〉

４．将来、産業医として活動することを目標として勉学に励むことができる。〈Ⅱ-8，Ⅱ-11，Ⅱ-12，Ⅱ-14，Ⅳ-10，Ⅳ-11，Ⅶ-2，Ⅶ-3，Ⅶ-4

事前事後学習の方法

１．事前学習については、関係省庁のウェブサイト等で最近の動向について把握するとともに、LMS上に掲載する講義資料を閲覧し、事前課題が設定されている場合はその課題に取り組むこと

２．事後学習については、LMS上に掲載する講義資料及び授業の動画等を用いて復習し、事後課題が設定されている場合はその課題に取り組むとともに、教科書及び関係省庁のウェブサイト等で制度の詳細等について確認すること

成績評価方法・基準

１．試験の結果、及び出席状況を基に総合的に判断する。

２．100点満点換算で、A、B、C、D、Fの5段階評価とする。

○ 教 科 書

なし

○ 参 考 書

厚生労働省労働基準局　編、労働衛生のしおり 最新版(中央労働災害防止協会)

講義:2201講義室

年月日	曜日	時限	授業項目（内容）	コアカリ項目				担当者
				第1層	第2層	第3層	第4層	
R7.9.2	火	5	日本国憲法	SO	01	04	01,02	上村 慧(学外)
9.2	火	6	刑法・刑事訴訟法①	SO	01	04	01,02	永松 裕幹(学外)
9.2	火	7	刑法・刑事訴訟法②	SO	01	04	01,02	永松 裕幹(学外)
9.2	火	8	民法	SO	01	04	01,02	久野 亜希子(学外)
9.4	木	5	商法と会社法①	SO	01	04	01,02	塩飽 梨栄(学外)
9.4	木	6	商法と会社法②	SO	01	04	01,02	塩飽 梨栄(学外)
9.4	木	7	財務諸表とその分析法	SO	01	04	01,02	永田 智久 (産業保健経営学)
9.4	木	8	労働基準法①労働者性	SO	01	04	01,02	山下 昇(学外)
9.9	火	5	労働基準法②労働時間(1)	SO	01	04	01,02	福岡労働局(学外)
9.9	火	6	労働基準法③労働時間(2)	SO	01	04	01,02	福岡労働局(学外)
9.9	火	7	労働基準法④賃金	SO	01	04	01,02	福岡労働局(学外)
9.9	火	8	労働基準法⑤休日	SO	01	04	01,02	福岡労働局(学外)
9.11	木	5	労働安全衛生法①	SO	01	04	01,02	宮内 博幸 (産業保健学部)
9.11	木	6	労働安全衛生法②	SO	01	04	01,02	宮内 博幸 (産業保健学部)
9.11	木	7	労働契約法①解雇	SO	01	04	01,02	久野 亜希子(学外)
9.11	木	8	労働契約法②安全配慮義務	SO	01	04	01,02	久野 亜希子(学外)
9.16	火	5	労働災害①	SO	01	04	01,02	福岡労働局(学外)
9.16	火	6	労働災害②	SO	01	04	01,02	福岡労働局(学外)
9.16	火	7	社会保障制度・健康保険法①	SO	01 04	02 06	02 01	久野 亜希子(学外)
9.16	火	8	社会保障制度・健康保険法②	SO	01 04	02 06	02 01	久野 亜希子(学外)
9.26	金	5	労働衛生史①	SO	01	04	01,02	永野 千景 (産業保健管理学)
9.26	金	6	労働衛生史②	SO	01	04	01,02	永野 千景 (産業保健管理学)
9.26	金	7	卒業生産業医による講演	SO	01	04	01,02	西 賢一郎(学外)
9.26	金	8	試験	SO	01	04	01,02	上野 晋

病の文学
【Literatures of Patients】

担当責任者 准教授（哲学概論） 樫本 直樹

ねらい

病気には、身体的な疾患（disease）と精神面を含む病い（illness）の側面がある。この授業では、主に後者の視点から「認知症」をテーマとして取り上げ、認知症を抱えた人の書いた手記、認知症について書かれた文章などを読むことを通して、認知症の人の心境、本人とその家族が抱える困難や苦しみに触れ、患者やその家族の側から医学や医療の営みを眺めることを試みる。
また、こうした作業を通して、日本で「老いる」とはどのようなことなのか、医療や看護の基礎となる「ケア」とはどのような営みなのかについても考える。

学修目標

1. 認知症の人の書いた手記等を読み、患者自身の側から、患者の考え、感じ方を理解することができる。（VI-1）
2. 人生の悲哀、苦悩、絶望、希望について実感的に理解できる。（VI-1）
3. 患者を理解することを通して、患者やその家族の側から医療・看護について眺めることができる。（Ⅰ-1,Ⅳ-8）
4. 医療や看護の基礎となるケアとはどのような営みなのかについて理解できる。（Ⅰ-5,VI-1）

事前事後学習の方法

授業で配布した資料を読んで、理解を深めると同時に、インターネット等を使用して社会で実際どのような取り組みがされているのかについて調べ自己学習につなげる。

成績評価方法・基準

1. 科目試験（60%）、6回の講義レポート（30%）、受講態度等（10%）を基に総合的に評価する。
2. 100点換算で60点以上を合格とし、A、B、C、D、Fの5段階評価とする。

○ 教 科 書

とくに指定しない。

○ 参 考 書

小澤勲「認知症とは何か」2005年　岩波書店
クリスティーン・ボーデン、桧垣陽子訳「私は誰になっていくの？ アルツハイマー病者からみた世界」2003年 クリエイツかもがわ
恩蔵絢子「脳科学者の母が、認知症になる：記憶を失うと、その人は”その人”でなくなるのか？」2021年 河出書房新社
藤川幸之助「母はもう春を理解できない：認知症という旅の物語」2021年 株式会社harunosora
その他については、授業内で適宜提示する。

講義：2201講義室

年月日	曜日	時限	授業項目（内容）	コアカリ項目				担当者
				第1層	第2層	第3層	第4層	
R7.10.3	金	7・8	認知症の人の置かれた状況 講義レポート①	PR GE	03 04	01 02	01 01	樫本 直樹
10.10	金	7・8	認知症を生きる：手記 講義レポート②	CM	01	02	01	樫本 直樹
10.17	金	7・8	認知症を生きる：手記 講義レポート③	CM	01	02	02	樫本 直樹
10.24	金	7・8	認知症の人にどう向き合うのか：GW 講義レポート④	GE CM	04 03	02 01	01 02	樫本 直樹
11.7	金	7・8	認知症の人にどう向き合うのか：発表 講義レポート⑤	CM	03	01	01	樫本 直樹
11.14	金	7・8	認知症の人の世界をどう理解するか：医療におけるケアの本質 講義レポート⑥	PR CM	03 01	01 02	01 01	樫本 直樹
11.28	金	7・8	科目試験	LL PR	01 03	01 01	02 02	樫本 直樹

英語運用論（TOEIC入門）
【English Performance Skills】

担当責任者 准教授（英語） 田中 公介

ねらい

TOEIC関連の問題を通して、総合的な英語力の向上を目指す。

学修目標

1．各自がTOEICスコアの目標を設定し（目安として、990点満点中650点以上）、それを達成できる。（Ⅶ-1）
2．TOEICのリスニング・リーディング問題を通して、全般的な英語運用能力を習得できる。（Ⅶ-1）

事前事後学習の方法

1．毎回指定する教材の単元に取り組むこと。

成績評価方法・基準

1．毎回の授業中の課題提出（100％）を基に、出席状況も考慮しつつ総合的に評価する。
2．100点満点換算で、A、B、C、D、Fの5段階評価とする。

○ 教 科 書

The Best Approach to the TOEIC Test: Getting the Point of Strategies（松柏社）

○ 参 考 書

公式TOEIC Listening & Reading 問題集 9（Educational Testing Service, 2022年刊行）

講義：6208室（コンピュータ実習室（大））

年月日	曜日	時限	授業項目（内容）	コアカリ項目				担当者
				第1層	第2層	第3層	第4層	
R7.4.9	水	1	TOEIC問題の内容・傾向概説	CM	01	01	01	田中 公介
4.9	水	2	Chapter 1/課題提出(1)	CM	01	01	01	田中 公介
4.16	水	1	Chapter 2/課題提出(2)	CM	01	01	01	田中 公介
4.16	水	2	Chapter 3/課題提出(3)	CM	01	01	01	田中 公介
4.30	水	1	Chapter 4/課題提出(4)	CM	01	01	01	田中 公介
4.30	水	2	Chapter 5/課題提出(5)	CM	01	01	01	田中 公介
5.7	水	1	Chapter 6/課題提出(6)	CM	01	01	01	田中 公介
5.7	水	2	Chapter 7/課題提出(7)	CM	01	01	01	田中 公介
5.14	水	1	Chapter 8/課題提出(8)	CM	01	01	01	田中 公介
5.14	水	2	Chapter 9/課題提出(9)	CM	01	01	01	田中 公介
5.21	水	1	Chapter 10/課題提出(10)	CM	01	01	01	田中 公介
5.21	水	2	Chapter 11/課題提出(11)	CM	01	01	01	田中 公介
5.28	水	1	Chapter 12/課題提出(12)	CM	01	01	01	田中 公介
5.28	水	2	Chapter 13/課題提出(13)	CM	01	01	01	田中 公介

○ その他

・毎回の授業で、テキストで指定された課題問題（リスニング・リーディング）を指定時間までにGoogle Formsで提出する。正答につき1点付与（毎回評定に直結する課題提出を実施する）。
・評価基準は毎回の提出課題のみとする（欠席者は0点扱いとする）。
・テキストを購入せずに授業に臨んだ者・テキストを忘れて授業に臨んだ者・Google Formで複数回の課題提出をした者・課題提出の際にカンニング行為をした者は、当該の授業の課題点を0点扱いとする。

法学概論
【Introduction to Jurisprudence】

担当責任者　非常勤講師　清水　裕一郎

ねらい

「法」に関する基本的な考え方や仕組みを学んだ上で、特に日常生活や医療の現場における具体的な事例を通じて、法学的思考の基礎を修得する。

学修目標

1. 社会や医療の現場において法が果たしている役割を理解し、説明することができる。（Ⅰ-2，Ⅰ-3，Ⅳ-7）
2. 日常生活や医療の現場において生ずる基本的な問題を、法に基づいて分析し、解決を試みることができる。（Ⅰ-2，Ⅰ-3，Ⅵ-2）
3. 法や社会に関する情報を自ら収集し、日常生活や医療の現場において適切に活用することができる。（Ⅴ-4，Ⅶ-2）
4. 法や社会に対する関心を生涯にわたって持ち続けることができる。（Ⅰ-4，Ⅰ-5）

事前事後学習の方法

1. インターネット、テレビの報道番組、新聞等を活用して、社会で日々起こっている出来事を把握しておくこと。
2. 授業後は配付資料やメモ等を見直して、毎回の講義内容を復習すること。

成績評価方法・基準

学期末のレポートで成績を評価し、60点以上を合格とする。

○ 教 科 書

特に指定しない。

○ 参 考 書

特に指定しない。

適宜、資料を配付する。

講義：2201講義室

年月日	曜日	時限	授業項目（内容）	コアカリ項目				担当者
				第1層	第2層	第3層	第4層	
R7.4.8	火	5・6	ガイダンス、我が国の法体系					清水　裕一郎（学外）
4.15	火	5・6	憲法とは何か？					清水　裕一郎（学外）
4.22	火	5・6	日常生活と法(1)―契約					清水　裕一郎（学外）
5.13	火	5・6	日常生活と法(2)―親族と相続					清水　裕一郎（学外）
5.20	火	5・6	医療行為と法(1)―医療過誤における法的責任					清水　裕一郎（学外）
5.27	火	5・6	医療行為と法(2)―医療過誤が問題となった事例					清水　裕一郎（学外）
6.3	火	5・6	遺骨に対する権利、まとめ					清水　裕一郎（学外）

経済学入門
【Basic Economics】

担当責任者 非常勤講師 豊田 高輔

ねらい

大和証券株式会社が提供する計7回の講義を通じて、企業・会社に関する基本的な知識を習得し、また、経済活動の根幹を支える「証券市場」のもつ重要性を理解することで、企業とは何か、そこで働くことがどのようなことなのかを理解できるようになる。

学修目標

1. 将来企業で働く者として、企業・会社の基本的な役割、株式会社やその機関・組織について理解を深めるとともに、昨今注目されている企業再編・支配権等についても実際の事例を通じて理解できる。
2. 企業活動や我々の生活と密接に関係している証券市場の機能と役割について、実体経済に及ぼす影響や日本経済の変遷との関係を含めて理解する。また、証券市場での主な商品の内容・性格とその運用方法を理解できる。
3. 企業活動において重要性が増しているコンプライアンス、コーポレートガバナンスについて理解を深めることができる。

事前事後学習の方法

1. 事前学習：特になし
2. 事後学習：講義の内容の復習

成績評価方法・基準

講義内容の理解度をはかるレポート（課題を指定）(100%)により、60点以上を合格とする。

○ 教 科 書

なし（毎回、講義用テキストを配付する）

○ 参 考 書

特に指定なし

講義：2201講義室

年月日	曜日	時限	授業項目（内容）	コアカリ項目				担当者
				第1層	第2層	第3層	第4層	
R7.4.8	火	7・8	オリエンテーション・金融市場の役割					（学外）
4.15	火	7・8	経済情報の見方					（学外）
4.22	火	7・8	株式市場					（学外）
5.13	火	7・8	債券市場					（学外）
5.20	火	7・8	投資信託 －身近な資産運用手段－					（学外）
5.27	火	7・8	投資銀行ビジネス					（学外）
6.3	火	7・8	コンプライアンス －証券法制より－					（学外）

※大和証券寄附講座

自然科学思想史
【History of Natural Scientific Thought】

担当責任者　教授（医科物理学）　門野　敏彦

ねらい

現代医学の発展は、偉大な先人の発見や研究・観察の積み重ねである。「自然科学思想史」では、先哲を顕彰するとともに、新発見や研究・観察を行う上での論理的思考や批判的思考過程を共有し、これから医師となる学生の内省・熟慮を基盤とする、論理的思考力や批判的思考力、証拠を重視した客観的・多面的思考、主体的探究、ジェネリックスキルの育成を行い、課題解決能力の向上を目的とする。

学修目標

1. 論理的に思考できる。（Ⅰ-4, Ⅴ-1, Ⅴ-2, Ⅴ-5）
2. 批判的に思考できる。（Ⅰ-4, Ⅴ-1, Ⅴ-2, Ⅴ-5）
3. 証拠を重視した客観的・多面的思考ができる。（Ⅰ-4, Ⅴ-1, Ⅴ-2, Ⅴ-5）
4. 課題を発見し、主体的に探求できる。（Ⅰ-4, Ⅴ-1, Ⅴ-2, Ⅴ-5）
5. 事実の明確化、情報の分析・評価、妥当な推論、問題解決を行うことができる。（Ⅰ-4, Ⅴ-1, Ⅴ-2, Ⅴ-5）

事前事後学習の方法

毎回の配布プリント、レポート課題をもとにして、講義の内容をよく復習すること。これが次回の予習につながる。

成績評価方法・基準

出席、態度、レポート等を総合して判断する。60点以上を合格とする。
自分の頭で考える訓練をしていく予定。

○ 教 科 書

プリント

○ 参 考 書

講義：2201講義室

年月日	曜日	時限	授業項目（内容）	コアカリ項目				担当者
				第1層	第2層	第3層	第4層	
R7.11.7	金	3･4	要素還元主義と普遍的構造　小レポート提出	RE	01	01 02	01,02 01,02	門野　敏彦(医科物理学)
11.12	水	3･4	人類と文明･宇宙　小レポート提出	RE	01	01 02	01,02 01,02	吉田　二美(医科物理学)
11.14	金	3･4	化学から見た医学　小レポート提出	RE	01	01 02	01,02 01,02	小林　英幸(学外)
11.17	月	3･4	哲学から見た医学　小レポート提出	RE	01	01 02	01,02 01,02	樫本　直樹(哲学概論)
11.19	水	3･4	演劇から紐解く病と社会　小レポート提出	RE	01	01 02	01,02 01,02	村松　圭司(公衆衛生学)
11.28	金	3･4	生物学と医学　小レポート提出	RE	01	01 02	01,02 01,02	未定
12.19	金	3･4	産業医大白熱教室　小レポート提出	RE	01	01 02	01,02 01,02	長田　良雄 (免疫学･寄生虫学)

医療統計学
【Medical Statistics】

担当責任者 准教授（数学概論） 鳥巣 伊知郎

ねらい

治療法の有用性を判断するには統計学の知識が必要不可欠である。医療研究の計画やデータ解析を行う手段として統計解析が大きな役割を果たす。本講義では、数理統計学の現代的な数学的理論を学習した後に、医学分野で利用の多いロジスティック回帰分析の仕組みを学び、統計パッケージについて概観する。文献などで医療統計学の実際を学ぶ。

学修目標

1. 数理統計学の基礎を十分に理解する。（V-1, V-4）
2. 統計モデルの考え方を理解する。(V-1, V-4)
3. 多変量解析の手法について理解する。(V-1, V-4)
4. 医療統計の文献が読めるようになる。(V-1, V-4)

事前事後学習の方法

1. 配布資料と参考書の説明文を読んで予習する。
2. 練習問題を解いて復習する。

成績評価方法・基準

医療統計学は講義中に行われる演習とレポートにより総合的に評価する。

○ 教 科 書

東京大学教養学部統計学教室編「統計学入門」1991年 東京大学出版会

○ 参 考 書

久保川達也 著「現代数理統計学の基礎」 2017年 共立出版

東京大学教養学部統計学教室 編「自然科学の統計学」 1992年 東京大学出版会

1 年 次

講義:2201講義室

年月日	曜日	時限	授 業 項 目 （ 内 容 ）	コアカリ項目				担 当 者
				第1層	第2層	第3層	第4層	
R7.10.3	金	3･4	中心極限定理とその証明(スターリングの公式) 小テスト	RE	01	01	01	鳥巣 伊知郎
10.6	月	1･2	多変量データの記述(多次元正規分布) 小テスト	RE	01	01	01	鳥巣 伊知郎
10.10	金	3･4	線形モデル(分散分析･重回帰分析) 小テスト	RE	01	01	01	鳥巣 伊知郎
10.17	金	3･4	最小二乗法とガウス-マルコフの定理(BLUE) 小テスト	RE	01	01	01	鳥巣 伊知郎
10.20	月	1･2	最尤推定量の性質(漸近有効性･一致性) 小テスト	RE	01	01	01	鳥巣 伊知郎
10.27	月	1･2	推定と検定(P値･信頼区間･尤度比検定) 小テスト	RE	01	01	01	鳥巣 伊知郎
11.10	月	1･2	情報統計学の話題から1	RE	01	01	01	大谷 誠
11.17	月	1･2	情報統計学の話題から2 レポート提出	RE	01	01	01	大谷 誠
11.28	金	1･2	論文抄読と演習1	RE	01	01	01	村松 圭司
12.12	金	1･2	論文抄読と演習2 レポート提出	RE	01	01	01	村松 圭司

生命科学・環境科学概論

【Introduction to Life and Environmental Science】

担当責任者 教育教授（RI研究センター） 馬田 敏幸

ねらい

生命活動と環境の関わりをミクロとマクロの視点から理解する。また、我々を取り巻く現在の地球環境を理解する。

学修目標

1. 生命活動の基本単位である細胞の営みと放射線への応答を説明できる。（Ⅱ-1）
2. ペプチド・ホルモンを例をあげてその作用を説明できる。（Ⅱ-6, Ⅴ-1）
3. 地球温暖化・気候変動の現状を理解し、その改善策を説明できる。（Ⅲ-5）

事前事後学習の方法

1. シラバスに記載されている授業項目について、参考書などで事前に予習しておくこと。
2. 配布された講義テキストを熟読して講義内容の復習をすること。

成績評価方法・基準

1. 理解度チェックのための6回の小テストの結果と出席状況を加味し、総合的に判断する。
2. 100点満点換算で、A、B、C、D、Fの5段階評価とする。

○ 教 科 書

なし（毎回、講義用資料を配付する）

○ 参 考 書

1. H. Lodish・他著 榎森康文・他訳「分子細胞生物学第9版」（東京化学同人）
2. 大西武雄・監修「新版放射線医科学」（医療科学社）
3. 環境省「令和6年版環境白書」（日経印刷）

講義：2201講義室

年月日	曜日	時限	授業項目（内容）	コアカリ項目				担当者
				第1層	第2層	第3層	第4層	
R7.10.2	木	1・2	生命活動とペプチド・ホルモン、小テスト	PS	02	14	01,05	佐藤 貴弘（学外）
10.9	木	1・2	細胞機能解析とがん治療、小テスト	PS PS	01 03	02 04	02 25	馬田 敏幸
10.16	木	1・2	放射線の健康影響、小テスト	PS	03	06	03	馬田 敏幸
10.23	木	1・2	環境汚染、小テスト	SO	01	05	01	馬田 敏幸
10.30	木	1・2	エネルギー資源と地球温暖化、小テスト	SO	04	03	01	馬田 敏幸
11.6	木	1・2	気候変動がもたらす自然災害、小テスト	SO	04	03	02	馬田 敏幸

比較動物医学
【Comparative Medicine】

担当責任者　准教授（動物研究センター）　川田　耕司

ねらい　近年問題となっている重篤な感染症の多くは動物由来であり、種の壁を超えて人に流行をもたらしたことから、感染症を防ぎ、人や家畜、それらを取り巻く生態系の健康を守るためには、これまで独立した学問領域であった医学、獣医学、環境学が連携する必要性があると認識されるようになった。この総合的な概念は“One World, One Health”として提唱されている。本講義では、One Health アプローチにおいて重要となる人獣共通感染症に加え、人医学と獣医学のもう一つの重要な接点である動物実験について概説する。

学修目標

1．One Health の概念について理解し、説明できる。（Ⅱ-11）
2．人獣共通感染症を理解し、その制御法について説明できる。（Ⅱ-5）
3．動物実験倫理およびそれをめぐる社会情勢について理解し、説明できる。（Ⅴ-3）
4．各種実験動物の特性について理解し、説明できる。（Ⅴ-3）

事前事後学習の方法

1．シラバスに記載されている授業項目について、参考書、関連省庁のウェブサイト等で事前に予習しておくこと。
2．配布された講義資料を熟読し、講義内容を復習すること。

成績評価方法・基準

1．筆記試験（60％）、小テスト(40％)の結果を基に出席状況等を加味し、総合的に判断する。
2．1の合計点を100点に換算し60点以上を合格とする。

○ 教 科 書

講義資料を配付する。

○ 参 考 書

ズーノーシスハンドブック(岸本寿男 山田章雄著、メディカルサイエンス社　2009年)
実験動物学　第2版(久和　茂著、朝倉書店　2018年)

講義：2201講義室

年月日	曜日	時限	授業項目（内容）	コアカリ項目				担当者
				第1層	第2層	第3層	第4層	
R7.10.3	金	1･2	人の健康と動物･環境－One Health の概念　小テスト	PS SO	01 05	03 02	16 01	川田　耕司
10.10	金	1･2	人獣共通感染症－ウイルス性疾病　小テスト	PS	01	03	16	宮田　博規
10.17	金	1･2	人獣共通感染症－細菌性疾病その他　小テスト	PS	01	03	16	川田　耕司
10.24	金	1･2	動物実験倫理と社会環境　小テスト	RE	05	02	02	川田　耕司
11.7	金	1･2	各種実験動物の特性とモデル動物　小テスト	PS	01	01	11,13	川田　耕司
11.14	金	1･2	試験					川田　耕司

医療社会学
【Medical Sociology】

担当責任者 講師（人間関係論） 種田 博之

ねらい

私たちの社会はこれまでに何度も薬害を経験してきています。私たちが経験してきた薬害の中に「輸入非加熱血液製剤によるHIV感染」――いわゆる「薬害エイズ」――があります。「輸入非加熱血液製剤によるHIV感染」とは、血友病患者に対して輸入非加熱血液製剤を投与し、その結果、HIVに感染させてしまった薬害です。この講義では、「輸入非加熱血液製剤によるHIV感染」について、とくに医師-患者関係のレベルに焦点をしぼって、解説をしていきます。すなわち、なぜ医師は輸入非加熱血液製剤を投与しつづけたのでしょうか？ 投与するにあたってHIVのリスクはどのように評価されたのでしょうか？ その評価は患者に如何に伝えられたのでしょうか？ HIVに感染させてしまった時、医師はそのことを患者に如何に伝えたのでしょうか？ HIVに対して有効な治療方法がなかった時に、医師は患者に対して如何なる対処をしたのでしょうか？ そして医師と患者（ないしその家族など）をとりまく社会状況はどのようなものであったのでしょうか？ この講義では、上で示した問いに応えるようなかたちで、「輸入非加熱血液製剤によるHIV感染」について、具体的に解説していきます。

学修目標

1. 「輸入非加熱血液製剤によるHIV感染」の経緯について説明できる。（Ⅰ-1，Ⅰ-3，Ⅰ-4，Ⅰ-5，Ⅴ-5）
2. リスク評価の問題点について説明できる。（Ⅱ-9，Ⅱ-11，Ⅱ-12，Ⅳ-7，Ⅴ-5）
3. 「告知」とはどのような行為であるのかについて説明できる。（Ⅳ-8，Ⅵ-1，Ⅵ-3）

事前事後学習の方法

1. 参考文献リストに挙示した文献を事前に予習しておくこと。
2. 配布された資料を熟読して講義内容の復習をすること。

成績評価方法・基準

1. 講義ごとの小レポート（70％）と課題レポート（30％）の結果をもとに総合的に評価する。
2. 100点満点換算で、A、B、C、D、Fの5段階評価とする。

○ 教 科 書

とくに指定しない。

○ 参 考 書

適宜指示する。

1 年 次

講義:2201講義室

年月日	曜日	時限	授業項目（内容）	コアカリ項目				担当者
				第1層	第2層	第3層	第4層	
R7.10.7	火	1･2	医療社会学とは？ 小レポート	SO SO SO CS	01 04 06 05	05		種田 博之
10.14	火	1･2	「輸入非加熱血液製剤によるHIV感染」の概要 小レポート	SO SO SO CS	01 04 06 05	05		種田 博之
10.21	火	1･2	血友病とHIV／AIDSの基礎的知識 小レポート	PS PS PS CS	01 01 03 02	03 04 03 04	11,22 13 02,04,38	種田 博之
10.28	火	1･2	HIV／AIDSの表象 小レポート	GE CM SO SO	04 01-03 01 04,06	05		種田 博之
11.11	火	1･2	HIV／AIDSのリスクはどのように評価されたのか？ 小レポート	GE CM SO SO	04 01-03 01 04,06	05		種田 博之
11.18	火	1･2	治療方法がない状況における医師－患者関係 小レポート	GE CM SO SO	04 01-03 01 04,06	05		種田 博之
11.25	火	1･2	医師と患者の適正なコミュニケーションとは？ 小レポートならびに課題レポート	PR GE CM SO	01-04 01,03, 04 01-03 04,06			種田 博之

医用工学入門
【Basic Biomedical Engineering】

担当責任者　教授（リハビリテーション医学）　佐伯　覚

ねらい

医用工学は、医学に工学技術を取り入れて生命現象を明らかにするとともに診断や治療に有効な手段を提供する新しい専門領域である。病院内で使用されている多くの医療機器やシステムは医用工学に基づいており、現代医療を支えている医用工学の基礎知識や機器の原理を理解する。

学修目標

1. 医用工学の概要、本学の産学連携のシステムを理解する。（Ⅱ-6、Ⅴ-1、Ⅴ-2、Ⅴ-5）
2. 生体情報計測機器（心電計、脳波計、筋電計）、検体検査機器について理解する。（Ⅱ-6、Ⅴ-5）
3. 超音波、X線、RI、MRI機器について理解する。（Ⅱ-6、Ⅴ-5）
4. 人工心肺、人工呼吸器、モニター機器について理解する。（Ⅱ-6、Ⅴ-5）
5. 医療現場で用いられているロボット装置を理解し、医療現場のニーズを検討する。（Ⅱ-6、Ⅴ-5）
6. マン・マシーンインターフェイス（義手、マイコン制御義足）などの先端的技術について理解する。（Ⅱ-6、Ⅴ-5）

事前事後学習の方法

1. シラバスに記載されている授業項目について、参考書などで事前に予習しておくこと。
2. 配布された講義資料を熟読して講義内容の復習をすること。

成績評価方法・基準

1. 小テスト（40%）、参加の仕方(10%)、レポート（50%）の結果を基に総合的に評価する。
2. 100点満点換算で、A、B、C、D、Fの5段階評価とする。

○ 教 科 書

特に指定しない

○ 参 考 書

山口正樹他著「はじめての生体工学」2016年（講談社）

八幡勝也著「イラスト図解　医療機器と検査・治療のしくみ」2013年（日本実業出版社）

講義：2201講義室

年月日	曜日	時限	授業項目（内容）	コアカリ項目				担当者
				第1層	第2層	第3層	第4層	
R7.4.9	水	7	医用工学概論、本学の産学連携とその成果 1)	IT	01 02	01 02	01 01,02	佐伯　覚
4.9	水	8	医用ロボット / 小テスト	IT	02	02	01	越智　光宏
4.16	水	7	生体情報処理装置Ⅰ 2)	IT	02	02	01,02	佐伯　覚
4.16	水	8	生体情報処理装置Ⅱ 2) / 小テスト	CS	02	04	36	佐伯　覚
4.23	水	7	画像診断処理装置Ⅰ 3)	IT	02	02	01,02	佐伯　覚
4.23	水	8	画像診断処理装置Ⅱ 3) / 小テスト	CS	02	04	36	佐伯　覚
4.30	水	7	生体機能補助装置、医用監視装置 4)	IT CS	02 02	02 04	01 37	佐伯　覚
4.30	水	8	医用工学の臨床応用 / 小テスト・レポート課題提示（提出期限は講義終了後3週以内）	IT	02	02	01	牧野　健一郎（学外）

1) 橋本正浩（産学連携・知的財産担当教員）と分担、

2) 岡本拓磨、田中佑佳、田口茉奈（産業医科大学病院臨床検査・輸血部）と分担、

3) 片山竜也、秦　翔、河野将司（産業医科大学病院放射線部）と分担、

4) 高橋一久（産業医科大学病院臨床工学部）と分担.

先端医科学講釈
【The Forefront of Medical Science】

担当責任者　教授(医学教育改革推進センター長)　岩田　勲

ねらい

学内研究者が自身の論文について解説し、最先端の医学研究を紹介する。

医学研究の実例に触れることで医科学とは何かを知り、科学的推論や研究方法、論文の構成について学ぶ。

学修目標

1. 論文の成り立ちを理解する。(V-1, V-2, V-3, V-4, V-5)
2. 科学的思考法を学ぶ。(V-1, V-2, V-3, V-4, V-5, Ⅶ-4)
3. 医科学の研究手法を知る。(V-1, V-3, V-4, V-5)
4. 科学としての医学を認識する。(V-1, V-2, V-3, V-4, V-5, Ⅶ-4)

事前事後学習の方法

1. 事前学習不要。

   講義に関連する項目を下調べしてもよい。
2. 事後には興味があれば講義内容に関連する項目を自己学習する。

   図書館を利用し関連論文を読む。

   不明な点を講師と議論する。

成績評価方法・基準

講義ごとのレポート(70%)、出席状況、授業態度(30%)。

○ 教 科 書

指定なし

○ 参 考 書

指定なし

講義:2201講義室

年月日	曜日	時限	授業項目(内容)	コアカリ項目				担当者
				第1層	第2層	第3層	第4層	
R8.1.5	月	5～8	先端医科学講釈Ⅰ(レポート)	RE	01 01 02 02	01 02 01 02	01,02 01,02 01 01	未定
1.7	水	3～6	先端医科学講釈Ⅱ(レポート)					未定
1.8	木	5～8	先端医科学講釈Ⅲ(レポート)					未定
1.13	火	3･4	先端医科学講釈Ⅳ(レポート)					未定
1.19	月	5～8	先端医科学講釈Ⅴ(レポート)					未定

ドイツ語
【German】

担当責任者 非常勤講師 進藤 良太

ねらい

他者、異文化との円滑なコミュニケーションのために他言語への理解は欠かせない。
本授業では、ドイツ語を「読み、聞き、話し、書く」能力の習熟を通して、
自分たちの学んできた言語、そして言語一般を相対化して見つめる眼差しを養う。

学修目標

1. ドイツ語を正しく発音することが出来る。
2. 基礎的な文法を理解することが出来る。
3. 独和辞書を用いて、短い文章を自力で読解出来る。
4. ドイツ語で自身の考えを発言することが出来る。
5. 慣れ親しんだ日本語・英語に加えて、なぜ大学で第二外国語を学ぶのか、その意義を考えることが出来る。

事前事後学習の方法

1. 事前学習:特になし
2. 事後学習:学習した課の内容を確認する

成績評価方法・基準

課題提出(40%)、定期試験(60%)で評価し、100点中60点以上を合格とする。
ただし、授業への積極的な参加態度に欠ける場合には減点の可能性あり。

○教 科 書

″System 15 Neu-Deutsche Grammatik″
出版社:同学社
著者:西本美彦、Nishimoto, Angelika、高田博行
ISBN 97-4-8102-0881-8

『アポロン独和辞典 第4版』
出版社:同学社
編集執筆:根本道也 他
ISBN:978-4-8102-0007-2

○参 考 書

○そ の 他

受講希望者が合計で50名を超えた場合には担当教員による選抜を行う。
(学期途中(特に後期中)から授業に参加しなくなったり、履修取消をする学生が大変多く見られるので、通年で授業を受講する意思を持った学生のみ履修登録をすること。該当学生が出た場合は翌年度以降の受講定員数を減らす措置を取る。)

1 年 次

講義:2201講義室

年月日	曜日	時限	授業項目（内容）	コアカリ項目				担当者
				第1層	第2層	第3層	第4層	
R7.4.10	木	3･4	ドイツ語のAlphabet、発音	A	3	1		進藤 良太(学外)
4.17	木	3･4	ドイツ語のAlphabet、発音	A	3	1		進藤 良太(学外)
4.24	木	3･4	ドイツ語のAlphabet、発音	A	3	1		進藤 良太(学外)
5.1	木	3･4	System1 現在人称変化Ⅰ	A	3	1		進藤 良太(学外)
5.8	木	3･4	System1 現在人称変化Ⅰ	A	3	1		進藤 良太(学外)
5.15	木	3･4	System2 定冠詞と名詞･複数形	A	3	1		進藤 良太(学外)
5.22	木	3･4	System3 不定冠詞と冠詞類･並列接続詞	A	3	1		進藤 良太(学外)
5.29	木	3･4	System1~3 復習	A	3	1		進藤 良太(学外)
6.5	木	3･4	System4 現在人称変化Ⅱ･命令形	A	3	1		進藤 良太(学外)
6.12	木	3･4	System5 人称代名詞･前置詞	A	3	1		進藤 良太(学外)
6.19	木	3･4	System5 人称代名詞･前置詞	A	3	1		進藤 良太(学外)
6.26	木	3･4	System6 形容詞の格変化	A	3	1		進藤 良太(学外)
7.3	木	3･4	期末テスト	A	3	1		進藤 良太(学外)
10.2	木	3･4	System7 動詞の3基本形･過去人称変化	A	3	1		進藤 良太(学外)
10.9	木	3･4	System8 完了形･比較変化	A	3	1		進藤 良太(学外)
10.16	木	3･4	System8 完了形･比較変化	A	3	1		進藤 良太(学外)
10.23	木	3･4	System9 話法の助動詞･未来形･従属接続詞	A	3	1		進藤 良太(学外)
10.30	木	3･4	System9 話法の助動詞･未来形･従属接続詞	A	3	1		進藤 良太(学外)
11.6	木	3･4	System10 分離動詞･zu不定詞	A	3	1		進藤 良太(学外)
11.13	木	3･4	System11 再帰動詞･分詞	A	3	1		進藤 良太(学外)
11.20	木	3･4	System12 指示代名詞･関係代名詞	A	3	1		進藤 良太(学外)
12.11	木	3･4	System13 受動態	A	3	1		進藤 良太(学外)
12.18	木	3･4	System14,15 接続法	A	3	1		進藤 良太(学外)
R8.1.8	木	3･4	期末テスト	A	3	1		進藤 良太(学外)

フランス語
【French】

担当責任者 非常勤講師 コモン・ティエリ

ねらい

1. 言語一般及び外国語習得法への考察を深める。
2. 異文化を理解し、また、コミュニケーションのための道具であるフランス語を実践することより、社会に通用する切り札とする。

学修目標

1. フランスという国及びその医療事情を理解する。(Ⅶ-3)
2. フランス語各要素における不可欠な部分と修飾的部分とを分けることができる。(語彙・動詞の時制etc・・・)
3. 限られた言語能力を駆使して幅広い意見を述べることができる。(Ⅵ-1)
4. 授業中、積極的な態度で臨む:知識の丸暗記でなく、活用をする。(Ⅰ-5)

事前事後学習の方法

1. 予習は特に必要ないが、復習は必ず行うこと。
2. 定期的に、習った事を使って文章を作成し、訂正してもらうこと。

成績評価方法・基準

試験の配点は、前期中間テストは100点満点、前期末試験は200点満点、後期中間テストは300点満点、後期末試験は400点満点、計1000点満点とし、合計600点以上を合格とする。

ただし、授業への積極的な態度に欠ける場合、減点の可能性あり。

○ 教 科 書

なし(プリント配付)

○ 参 考 書

特に指定しない

1 年 次

講義:2206講義室

年月日	曜日	時限	授 業 項 目 （内 容）	コアカリ項目				担 当 者
				第1層	第2層	第3層	第4層	
R7.4.10	木	3･4	初対面／自己紹介					コモン・ティエリ （学外）
4.17	木	3･4	自己紹介(2)／子音と母音／子音の役割／音節とは					コモン・ティエリ （学外）
4.24	木	3･4	フランス語の成り立ち／アルファベット／"w" と "y"					コモン・ティエリ （学外）
5.1	木	3･4	アルファベットの書き方／フランス語の母音／挨拶					コモン・ティエリ （学外）
5.8	木	3･4	フランスという国／フランスの医療保険制度／フランス語の子音／数字:0～20					コモン・ティエリ （学外）
5.15	木	3･4	名詞の性／文章の基本構成／プリント(動詞/単語)／AVOIR／指示形容詞					コモン・ティエリ （学外）
5.22	木	3･4	ETRE／ALLER／～から～まで／VENIR／ここ、そこ、あそこ／否定形					コモン・ティエリ （学外）
5.29	木	3･4	FAIRE／天気の表現／形容詞:位置と変化／中間テスト					コモン・ティエリ （学外）
6.5	木	3･4	SAVOIR／CONNAITRE／COMPRENDRE／とても／たくさん					コモン・ティエリ （学外）
6.12	木	3･4	冠詞（不定/定/部分）／VOULOIR／POUVOIR					コモン・ティエリ （学外）
6.19	木	3･4	ETRE と IL Y A／数字:21以上					コモン・ティエリ （学外）
6.26	木	3･4	所有形容詞／現在形 (-er 動詞 [1])／確認テスト					コモン・ティエリ （学外）
7.3	木	3･4	現在形 (-er 動詞 [2])／フランス語特殊文字の入力(パソコン)／期末試験					コモン・ティエリ （学外）
10.2	木	3･4	前学期の復習／フランス語特殊文字の入力 (パソコン)					コモン・ティエリ （学外）
10.9	木	3･4	現在形 (-er 動詞以外)／日付けの言い方					コモン・ティエリ （学外）
10.16	木	3･4	現在形 (代名動詞)／色の形容詞					コモン・ティエリ （学外）
10.23	木	3･4	疑問文／疑問詞					コモン・ティエリ （学外）
10.30	木	3･4	否定形と直接目的語の冠詞／直接目的語の代名詞化					コモン・ティエリ （学外）
11.6	木	3･4	強調形／近接過去／近接未来					コモン・ティエリ （学外）
11.13	木	3･4	代名詞 CEとCA／前置詞 EN／中間テスト					コモン・ティエリ （学外）
11.20	木	3･4	複合過去:AVOIR助動詞の場合／男性と女性の名前					コモン・ティエリ （学外）
12.11	木	3･4	複合過去:ETRE助動詞の場合／過去分詞の変化 [1]					コモン・ティエリ （学外）
12.18	木	3･4	過去分詞の変化 [2]／命令形					コモン・ティエリ （学外）
R8.1.8	木	3･4	確認テスト／現在分詞					コモン・ティエリ （学外）
1.15	木	3･4	ジェロンディフ／期末試験					コモン・ティエリ （学外）

2 年 次

授業科目	頁	開講 前学期	開講 後学期
医学英語Ⅱ	141	○	○
医学概論Ⅱ	145	○	
人体発生学	147	○	
系統解剖学各論	149	○	○
組織解剖学各論	153	○	
生理学（動物性機能）	156	○	
生理学（植物性機能）	157	○	
薬理学	161	○	○
基礎病理学	163		○
免疫学・寄生虫学	166	○	○
微生物学	170	○	
衛生学	174	○	
早期臨床体験実習Ⅱ	177		○
産業医学Ⅱ（労働衛生一般、放射線衛生）	178		○

令和７年度　時間割

２年次　前学期

４　／　１（火）～　４　／３０（水）

1限　8:50 ～ 9:40　5限　13:40 ～14:30　9限　17:40～18:30
2限　9:50 ～10:40　6限　14:40 ～15:30　10限　18:40～19:30
3限 10:50 ～11:40　7限　15:40 ～16:30
4限 11:50 ～12:40　8限　16:40 ～17:30

	月	火	水	木	金
		1日	2日	3日	4日
1限		微生物学 1	医学概論Ⅱ 1	生理学(植物性機能) 1	微生物学 5
2限		微生物学 2	医学概論Ⅱ 2	生理学(植物性機能) 2	微生物学 6
3限		微生物学 3	人体発生学 1	生理学(植物性機能) 3	人体発生学 3
4限		微生物学 4	人体発生学 2	生理学(植物性機能) 4	人体発生学 4
5限		生理学(動物性機能) 1	生理学(動物性機能) 3	微生物学 実習 ①	生理学(動物性機能) 7
6限		生理学(動物性機能) 2	生理学(動物性機能) 4		生理学(動物性機能) 8
7限		系統解剖学各論オリエンテーション	生理学(動物性機能) 5		生理学(動物性機能) 9
8限			生理学(動物性機能) 6		生理学(動物性機能) 10
	7日	8日	9日	10日	11日
1限	生理学(動物性機能) 11	微生物学 7	医学概論Ⅱ 3	生理学(植物性機能) 9	微生物学 9
2限	生理学(動物性機能) 12	微生物学 8	医学概論Ⅱ 4	生理学(植物性機能) 10	微生物学 10
3限	生理学(動物性機能) 13	微生物学 実習 ②	人体発生学 5	生理学(植物性機能) 11	微生物学 11
4限	生理学(動物性機能) 14		人体発生学 6	生理学(植物性機能) 12	微生物学 実習 ③
5限	系統解剖学各論 1	医学英語Ⅱ 1	生理学(植物性機能) 5	系統解剖学各論 5	生理学(動物性機能) 15
6限	系統解剖学各論 2	医学英語Ⅱ 2	生理学(植物性機能) 6	系統解剖学各論 6	生理学(動物性機能) 16
7限	系統解剖学各論 3	医学英語Ⅱ 3	生理学(植物性機能) 7	系統解剖学各論 7	生理学(動物性機能) 17
8限	系統解剖学各論 4	医学英語Ⅱ 4	生理学(植物性機能) 8	系統解剖学各論 8	生理学(動物性機能) 18
	14日	15日	16日	17日	18日
1限	微生物学 12		医学概論Ⅱ 5	生理学(植物性機能) 13	微生物学 14
2限	微生物学 13	微生物学 実習 ④	医学概論Ⅱ 6	生理学(植物性機能) 14	微生物学 15
3限	人体発生学 7		医学概論Ⅱ 7	生理学(植物性機能) 15	人体発生学 9
4限	人体発生学 8		医学概論Ⅱ 8	生理学(植物性機能) 16	人体発生学 10
5限	系統解剖学各論 9	医学英語Ⅱ 5	系統解剖学各論 13	系統解剖学各論 17	系統解剖学各論 21
6限	系統解剖学各論 10	医学英語Ⅱ 6	系統解剖学各論 14	系統解剖学各論 18	系統解剖学各論 22
7限	系統解剖学各論 11	医学英語Ⅱ 7	系統解剖学各論 15	系統解剖学各論 19	系統解剖学各論 23
8限	系統解剖学各論 12	医学英語Ⅱ 8	系統解剖学各論 16	系統解剖学各論 20	系統解剖学各論 24
	21日	22日	23日	24日	25日
1限	生理学(動物性機能) 19	生理学(動物性機能) 21	医学概論Ⅱ 9	生理学(植物性機能) 17	
2限	生理学(動物性機能) 20	生理学(動物性機能) 22	医学概論Ⅱ 10	生理学(植物性機能) 18	
3限	人体発生学 11	生理学(動物性機能) 23	人体発生学 13	生理学(植物性機能) 19	人体発生学 15
4限	人体発生学 12	生理学(動物性機能) 24	人体発生学 14	生理学(植物性機能) 20	人体発生学 16
5限	系統解剖学各論 25	医学英語Ⅱ 9	系統解剖学各論 29	系統解剖学各論 33	系統解剖学各論 37
6限	系統解剖学各論 26	医学英語Ⅱ 10	系統解剖学各論 30	系統解剖学各論 34	系統解剖学各論 38
7限	系統解剖学各論 27	医学英語Ⅱ 11	系統解剖学各論 31	系統解剖学各論 35	系統解剖学各論 39
8限	系統解剖学各論 28	医学英語Ⅱ 12	系統解剖学各論 32	系統解剖学各論 36	系統解剖学各論 40
	28日	29日	30日		
1限	開学記念日	昭和の日	医学概論Ⅱ 11		
2限			医学概論Ⅱ 12		
3限			微生物学 実習 ⑤		
4限					
5限			組織解剖学各論 1		
6限			組織解剖学各論 2		
7限					
8限					

令和７年度 時間割

２年次　前学期

５ ／ １（木）～ ５ ／３０（金）

1限　8:50 ～ 9:40　5限　13:40 ～14:30　9限　17:40～18:30
2限　9:50 ～10:40　6限　14:40 ～15:30　10限　18:40～19:30
3限 10:50 ～11:40　7限　15:40 ～16:30
4限 11:50 ～12:40　8限　16:40 ～17:30

	月	火	水	木	金
				1日	2日
1限				生理学(植物性機能) 21	生理学(動物性機能) 25
2限				生理学(植物性機能) 22	生理学(動物性機能) 26
3限				生理学(植物性機能) 23	生理学(動物性機能) 27
4限				生理学(植物性機能) 24	生理学(動物性機能) 28
5限				系統解剖学各論 41	系統解剖学各論 45
6限				系統解剖学各論 42	系統解剖学各論 46
7限				系統解剖学各論 43	系統解剖学各論 47
8限				系統解剖学各論 44	系統解剖学各論 48
	5日	6日	7日	8日	9日
1限	こどもの日	振替休日	医学概論Ⅱ 13	健康診断	
2限			医学概論Ⅱ 14		微生物学 実習 ⑥
3限					
4限					
5限			組織解剖学各論 3	系統解剖学各論 49	系統解剖学各論 53
6限			組織解剖学各論 4	系統解剖学各論 50	系統解剖学各論 54
7限			組織解剖学各論 5	系統解剖学各論 51	系統解剖学各論 55
8限			組織解剖学各論 6	系統解剖学各論 52	系統解剖学各論 56
	12日	13日	14日	15日	16日
1限		微生物学 16	医学概論Ⅱ 15	生理学(植物性機能) 25	微生物学 18
2限		微生物学 17	医学概論Ⅱ 16	生理学(植物性機能) 26	微生物学 19
3限	組織解剖学各論 7	微生物学 実習 ⑦	組織解剖学各論 13	生理学(植物性機能) 27	微生物学 実習 ⑧
4限	組織解剖学各論 8		組織解剖学各論 14	生理学(植物性機能) 28	
5限	組織解剖学各論 9	系統解剖学各論 57	組織解剖学各論 15	系統解剖学各論 61	系統解剖学各論 65
6限	組織解剖学各論 10	系統解剖学各論 58	組織解剖学各論 16	系統解剖学各論 62	系統解剖学各論 66
7限	組織解剖学各論 11	系統解剖学各論 59	組織解剖学各論 17	系統解剖学各論 63	系統解剖学各論 67
8限	組織解剖学各論 12	系統解剖学各論 60	組織解剖学各論 18	系統解剖学各論 64	系統解剖学各論 68
	19日	20日	21日	22日	23日
1限	生理学(動物性機能) 29		医学概論Ⅱ 17	生理学(植物性機能) 29	生理学(植物性機能) 33
2限	生理学(動物性機能) 30		医学概論Ⅱ 18	生理学(植物性機能) 30	生理学(植物性機能) 34
3限	生理学(動物性機能) 31	微生物学 実習 ⑨	組織解剖学各論 19	生理学(植物性機能) 31	微生物学 20
4限	生理学(動物性機能) 32		組織解剖学各論 20	生理学(植物性機能) 32	微生物学 21
5限	系統解剖学各論 69	医学英語Ⅱ 13	組織解剖学各論 21	系統解剖学各論 73	系統解剖学各論 77
6限	系統解剖学各論 70	医学英語Ⅱ 14	組織解剖学各論 22	系統解剖学各論 74	系統解剖学各論 78
7限	系統解剖学各論 71	医学英語Ⅱ 15	組織解剖学各論 23	系統解剖学各論 75	系統解剖学各論 79
8限	系統解剖学各論 72	医学英語Ⅱ 16	組織解剖学各論 24	系統解剖学各論 76	系統解剖学各論 80
	26日	27日	28日	29日	30日
1限	生理学(動物性機能) 33	生理学(動物性機能) 37	医学概論Ⅱ 19	生理学(植物性機能) 35	生理学(動物性機能) 41
2限	生理学(動物性機能) 34	生理学(動物性機能) 38	医学概論Ⅱ 20	生理学(植物性機能) 36	生理学(動物性機能) 42
3限	生理学(動物性機能) 35	生理学(動物性機能) 39	組織解剖学各論 25	生理学(植物性機能) 37	生理学(動物性機能) 43
4限	生理学(動物性機能) 36	生理学(動物性機能) 40	組織解剖学各論 26	生理学(植物性機能) 38	生理学(動物性機能) 44
5限	系統解剖学各論 81	医学英語Ⅱ 17	組織解剖学各論 27	系統解剖学各論 85	系統解剖学各論 89
6限	系統解剖学各論 82	医学英語Ⅱ 18	組織解剖学各論 28	系統解剖学各論 86	系統解剖学各論 90
7限	系統解剖学各論 83	医学英語Ⅱ 19	組織解剖学各論 29	系統解剖学各論 87	系統解剖学各論 91
8限	系統解剖学各論 84	医学英語Ⅱ 20	組織解剖学各論 30	系統解剖学各論 88	系統解剖学各論 92

令和７年度　時間割

２年次　前学期

６　／　２（月）～　６　／３０（月）

1限　8:50 ～ 9:40　　5限　13:40 ～14:30　　9限　17:40～18:30
2限　9:50 ～10:40　　6限　14:40 ～15:30　　10限　18:40～19:30
3限 10:50 ～11:40　　7限　15:40 ～16:30
4限 11:50 ～12:40　　8限　16:40 ～17:30

	月	火	水	木	金
	2日	3日	4日	5日	6日
1限	生理学(植物性機能) 39	医学英語Ⅱ 21	医学概論Ⅱ 21	生理学(植物性機能) 41	生理学(動物性機能) 45
2限	生理学(植物性機能) 40	医学英語Ⅱ 22	医学概論Ⅱ 22	生理学(植物性機能) 42	生理学(動物性機能) 46
3限	組織解剖学各論 31	医学英語Ⅱ 23	組織解剖学各論 37	生理学(植物性機能) 43	生理学(動物性機能) 47
4限	組織解剖学各論 32	医学英語Ⅱ 24	組織解剖学各論 38	生理学(植物性機能) 44	生理学(動物性機能) 48
5限	組織解剖学各論 33	系統解剖学各論 93	組織解剖学各論 39	系統解剖学各論 97	系統解剖学各論 101
6限	組織解剖学各論 34	系統解剖学各論 94	組織解剖学各論 40	系統解剖学各論 98	系統解剖学各論 102
7限	組織解剖学各論 35	系統解剖学各論 95	組織解剖学各論 41	系統解剖学各論 99	系統解剖学各論 103
8限	組織解剖学各論 36	系統解剖学各論 96	組織解剖学各論 42	系統解剖学各論 100	系統解剖学各論 104
	9日	10日	11日	12日	13日
1限	生理学(動物性機能) 49	医学英語Ⅱ 25	組織解剖学各論 43	生理学(植物性機能) 45	組織解剖学各論 51
2限	生理学(動物性機能) 50	医学英語Ⅱ 26	組織解剖学各論 44	生理学(植物性機能) 46	組織解剖学各論 52
3限	生理学(動物性機能) 51	医学英語Ⅱ 27	組織解剖学各論 45	生理学(植物性機能) 47	組織解剖学各論 53
4限	生理学(動物性機能) 52	医学英語Ⅱ 28	組織解剖学各論 46	生理学(植物性機能) 48	組織解剖学各論 54
5限	系統解剖学各論 105	系統解剖学各論 109	組織解剖学各論 47	系統解剖学各論 113	組織解剖学各論 55
6限	系統解剖学各論 106	系統解剖学各論 110	組織解剖学各論 48	系統解剖学各論 114	組織解剖学各論 56
7限	系統解剖学各論 107	系統解剖学各論 111	組織解剖学各論 49	系統解剖学各論 115	
8限	系統解剖学各論 108	系統解剖学各論 112	組織解剖学各論 50	系統解剖学各論 116	
	16日	17日	18日	19日	20日
1限		医学英語Ⅱ 29	医学概論Ⅱ 23	生理学(植物性機能) 49	
2限	組織解剖学各論 57	医学英語Ⅱ 30	医学概論Ⅱ 24	生理学(植物性機能) 50	組織解剖学各論 64
3限	組織解剖学各論 58	医学英語Ⅱ 31	医学概論Ⅱ 25	生理学(植物性機能) 51	組織解剖学各論 65
4限	組織解剖学各論 59	医学英語Ⅱ 32	医学概論Ⅱ 26	生理学(植物性機能) 52	組織解剖学各論 66
5限	組織解剖学各論 60	系統解剖学各論 117	生理学(動物性機能) 53	生理学(動物性機能) 56	組織解剖学各論 67
6限	組織解剖学各論 61	系統解剖学各論 118	生理学(動物性機能) 54	生理学(動物性機能) 57	組織解剖学各論 68
7限	組織解剖学各論 62		生理学(動物性機能) 55	生理学(動物性機能) 58	組織解剖学各論 69
8限	組織解剖学各論 63			生理学(動物性機能) 59	組織解剖学各論 70
	23日	24日	25日	26日	27日
1限		微生物学 22	医学概論Ⅱ 27	生理学(植物性機能) 53	
2限	組織解剖学各論 71	微生物学 23	医学概論Ⅱ 28	生理学(植物性機能) 54	
3限	組織解剖学各論 72	微生物学 24		生理学(植物性機能) 55	
4限	組織解剖学各論 73	微生物学 25			
5限	組織解剖学各論 74	微生物学 実習 ⑩	微生物学 実習 ⑪	微生物学 実習 ⑫	組織解剖学各論 78
6限	組織解剖学各論 75				組織解剖学各論 79
7限	組織解剖学各論 76				組織解剖学各論 80
8限	組織解剖学各論 77				組織解剖学各論 81
	30日				
1限					
2限					
3限	生理学(動物性機能) 60				
4限	生理学(動物性機能) 61				
5限	組織解剖学各論 82				
6限	組織解剖学各論 83				
7限	組織解剖学各論 84				
8限	組織解剖学各論 85				

令和７年度 時間割

２年次　前学期

７ ／ １（火）～ ７ ／３１（木）

1限　8:50 ～ 9:40　5限　13:40 ～14:30　9限　17:40～18:30
2限　9:50 ～10:40　6限　14:40 ～15:30　10限　18:40～19:30
3限 10:50 ～11:40　7限　15:40 ～16:30
4限 11:50 ～12:40　8限　16:40 ～17:30

	月	火	水	木	金
		1日	2日	3日	4日
1限		生理学(植物性機能) 56			
2限		生理学(植物性機能) 57	組織解剖学各論 86		
3限		生理学(植物性機能) 58	組織解剖学各論 87	生理学(植物性機能) 60	微生物学 29
4限		生理学(植物性機能) 59	組織解剖学各論 88	生理学(植物性機能) 61	微生物学 30
5限		医学英語Ⅱ 33	組織解剖学各論 89	微生物学 26	生理学 (動物・植物性機能) 実習オリエンテーション
6限		医学英語Ⅱ 34	組織解剖学各論 90	微生物学 27	
7限		医学英語Ⅱ 35	組織解剖学各論 91	微生物学 28	
8限		医学英語Ⅱ 36	組織解剖学各論 92	微生物学 実習 ⑬	
	7日	8日	9日	10日	11日
1限				微生物学 33	
2限		微生物学 31		微生物学 34	
3限	組織解剖学各論 93	微生物学 32	系統解剖学各論 119	微生物学 35	組織解剖学各論 99
4限	組織解剖学各論 94	微生物学 実習 ⑭	系統解剖学各論 120	微生物学 36	組織解剖学各論 100
5限	組織解剖学各論 95	生理学 (動物・植物性機能) 実習 ①	生理学 (動物・植物性機能) 実習 ②	生理学 (動物・植物性機能) 実習 ③	生理学 (動物・植物性機能) 実習 ④
6限	組織解剖学各論 96				
7限	組織解剖学各論 97				
8限	組織解剖学各論 98				
	14日	15日	16日	17日	18日
1限		微生物学 37		微生物学 41	微生物学 45
2限		微生物学 38		微生物学 42	微生物学 46
3限	組織解剖学各論 101	微生物学 39	組織解剖学各論 107	微生物学 43	微生物学 47
4限	組織解剖学各論 102	微生物学 40	組織解剖学各論 108	微生物学 44	微生物学 48
5限	組織解剖学各論 103	生理学 (動物・植物性機能) 実習 ⑤	生理学 (動物・植物性機能) 実習 ⑥	生理学 (動物・植物性機能) 実習 ⑦	生理学 (動物・植物性機能) 実習 ⑧
6限	組織解剖学各論 104				
7限	組織解剖学各論 105				
8限	組織解剖学各論 106				
	21日	22日	23日	24日	25日
1限	海の日	医学英語Ⅱ 37	医学概論Ⅱ 29		
2限		医学英語Ⅱ 38	医学概論Ⅱ 30		
3限		医学英語Ⅱ 39			
4限		医学英語Ⅱ 40			
5限		微生物学 実習 ⑮			
6限					
7限					
8限					
	28日	29日	30日	31日	
1限					
2限					
3限					
4限					
5限					
6限					
7限					
8限					

令和７年度　時間割

２年次　前学期

９　／　１（月）～　９　／３０（火）

1限　8:50 ～ 9:40　　5限　13:40 ～14:30　　9限　17:40～18:30
2限　9:50 ～10:40　　6限　14:40 ～15:30　　10限　18:40～19:30
3限　10:50 ～11:40　　7限　15:40 ～16:30
4限　11:50 ～12:40　　8限　16:40 ～17:30

	月	火	水	木	金
	1日	2日	3日	4日	5日
1限		生理学(動物性機能)　62	生理学(植物性機能)　62		
2限		生理学(動物性機能)　63	生理学(植物性機能)　63	微生物学　49	衛生学　1
3限		生理学(動物性機能)　64	生理学(植物性機能)　64	微生物学　50	衛生学　2
4限		生理学(動物性機能)　65	生理学(植物性機能)　65	微生物学　51	衛生学　3
5限	組織解剖学各論　109			系統解剖学各論　121	衛生学　4
6限	組織解剖学各論　110			系統解剖学各論　122	衛生学　5
7限	組織解剖学各論　111			系統解剖学各論　123	衛生学　6
8限	組織解剖学各論　112			系統解剖学各論　124	衛生学　7
	8日	9日	10日	11日	12日
1限		微生物学　52		薬理学　1	薬理学　5
2限	衛生学　8	微生物学　53	衛生学　10	薬理学　2	薬理学　6
3限	衛生学　9	微生物学　54	衛生学　11	薬理学　3	薬理学　7
4限		微生物学　55	衛生学　12	薬理学　4	薬理学　8
5限	系統解剖学各論　125	系統解剖学各論　129	微生物学　56	系統解剖学各論　133	衛生学　13
6限	系統解剖学各論　126	系統解剖学各論　130	微生物学　57	系統解剖学各論　134	衛生学　14
7限	系統解剖学各論　127	系統解剖学各論　131		系統解剖学各論　135	
8限	系統解剖学各論　128	系統解剖学各論　132		系統解剖学各論　136	
	15日	16日	17日	18日	19日
1限	敬老の日	微生物学　58	微生物学　62	薬理学　9	
2限		微生物学　59	微生物学　63	薬理学　10	
3限		微生物学　60	微生物学　64	薬理学　11	衛生学　15
4限		微生物学　61	微生物学　65	薬理学　12	衛生学　16
5限		微生物学 実習　⑯	微生物学 実習　⑰	系統解剖学各論　137	系統解剖学各論　141
6限				系統解剖学各論　138	系統解剖学各論　142
7限				系統解剖学各論　139	系統解剖学各論　143
8限				系統解剖学各論　140	系統解剖学各論　144
	22日	23日	24日	25日	26日
1限	産業医学Ⅱ　1	秋分の日	微生物学　66	薬理学　13	
2限	産業医学Ⅱ　2		微生物学　67	薬理学　14	
3限	衛生学　17		微生物学　68	薬理学　15	
4限	衛生学　18		微生物学　69	薬理学　16	衛生学　24
5限	衛生学　19		衛生学　21	系統解剖学各論　145	系統解剖学各論　149
6限	衛生学　20		衛生学　22	系統解剖学各論　146	系統解剖学各論　150
7限			衛生学　23	系統解剖学各論　147	系統解剖学各論　151
8限				系統解剖学各論　148	系統解剖学各論　152
	29日	30日			
1限		免疫学・寄生虫学(寄生虫学)　1			
2限	衛生学　25	免疫学・寄生虫学(寄生虫学)　2			
3限	衛生学　26	免疫学・寄生虫学(寄生虫学)　3			
4限	衛生学　27	免疫学・寄生虫学(寄生虫学)　4			
5限		医学英語Ⅱ　41			
6限		医学英語Ⅱ　42			
7限		医学英語Ⅱ　43			
8限		医学英語Ⅱ　44			

令和７年度　時間割

２年次　後学期

１０／　１（水）～　１０／３１（金）

1限　8:50 ～ 9:40　　5限　13:40 ～14:30　　9限　17:40～18:30
2限　9:50 ～10:40　　6限　14:40 ～15:30　　10限　18:40～19:30
3限 10:50 ～11:40　　7限　15:40 ～16:30
4限 11:50 ～12:40　　8限　16:40 ～17:30

	月	火	水	木	金
			1日	2日	3日
1限			免疫学・寄生虫学(寄生虫学) 5	薬理学 17	免疫学・寄生虫学(寄生虫学) 9
2限			免疫学・寄生虫学(寄生虫学) 6	薬理学 18	免疫学・寄生虫学(寄生虫学) 10
3限			免疫学・寄生虫学(寄生虫学) 7	薬理学 19	免疫学・寄生虫学(寄生虫学) 11
4限			免疫学・寄生虫学(寄生虫学) 8	薬理学 20	免疫学・寄生虫学(寄生虫学) 12
5限			衛生学 28	系統解剖学各論 153	衛生学 31
6限			衛生学 29	系統解剖学各論 154	衛生学 32
7限			衛生学 30	系統解剖学各論 155	衛生学 33
8限				系統解剖学各論 156	
	6日	7日	8日	9日	10日
1限	免疫学・寄生虫学(免疫学) 1	医学英語Ⅱ 45		系統解剖学各論 157	薬理学 21
2限	免疫学・寄生虫学(免疫学) 2	医学英語Ⅱ 46	免疫学・寄生虫学(免疫学) 5	系統解剖学各論 158	薬理学 22
3限	免疫学・寄生虫学(免疫学) 3	医学英語Ⅱ 47	免疫学・寄生虫学(免疫学) 6	免疫学・寄生虫学(免疫学) 8	薬理学 23
4限	免疫学・寄生虫学(免疫学) 4	医学英語Ⅱ 48	免疫学・寄生虫学(免疫学) 7	免疫学・寄生虫学(免疫学) 9	薬理学 24
5限	衛生学 34	産業医学Ⅱ 3	産業医学Ⅱ 7	免疫学・寄生虫学（寄生虫学）実習 ①	衛生学 37
6限	衛生学 35	産業医学Ⅱ 4	産業医学Ⅱ 8		衛生学 38
7限	衛生学 36	産業医学Ⅱ 5	産業医学Ⅱ 9		衛生学 39
8限		産業医学Ⅱ 6	産業医学Ⅱ 10		
	13日	14日	15日	16日	17日
1限	スポーツの日	医学英語Ⅱ 49	免疫学・寄生虫学(免疫学) 10	産業医学Ⅱ 13	薬理学 25
2限		医学英語Ⅱ 50	免疫学・寄生虫学(免疫学) 11	産業医学Ⅱ 14	薬理学 26
3限		医学英語Ⅱ 51	免疫学・寄生虫学(免疫学) 12	産業医学Ⅱ 15	薬理学 27
4限		医学英語Ⅱ 52	御霊慰霊式	産業医学Ⅱ 16	薬理学 28
5限		産業医学Ⅱ 11		産業医学Ⅱ 17	衛生学 40
6限		産業医学Ⅱ 12		産業医学Ⅱ 18	衛生学 41
7限		早期臨床体験実習Ⅱ 実習参加のための基礎講義		免疫学・寄生虫学(免疫学) 13	衛生学 42
8限				免疫学・寄生虫学(免疫学) 14	
	20日	21日	22日	23日	24日
1限	早期臨床体験実習Ⅱ				
2限					
3限					
4限					
5限					
6限					
7限					
8限					
	27日	28日	29日	30日	31日
1限	免疫学・寄生虫学(免疫学) 15	医学英語Ⅱ 53	免疫学・寄生虫学(免疫学) 18	薬理学 29	大学祭準備日
2限	免疫学・寄生虫学(免疫学) 16	医学英語Ⅱ 54	免疫学・寄生虫学(寄生虫学) 16	薬理学 30	
3限	免疫学・寄生虫学(免疫学) 17	医学英語Ⅱ 55	免疫学・寄生虫学(寄生虫学) 17	薬理学 31	
4限		医学英語Ⅱ 56	免疫学・寄生虫学(寄生虫学) 18	薬理学 32	
5限	衛生学 43	免疫学・寄生虫学(寄生虫学) 13	産業医学Ⅱ 実習①	産業医学Ⅱ 実習②	
6限		免疫学・寄生虫学(寄生虫学) 14			
7限		免疫学・寄生虫学(寄生虫学) 15			
8限		早期臨床体験実習Ⅱ 実習成果発表			
9限					

令和７年度　時間割

２年次　後学期

１１／　３（月）～　１１／２８（金）

1限　8:50 ～ 9:40　　5限　13:40 ～14:30　　9限　17:40～18:30
2限　9:50 ～10:40　　6限　14:40 ～15:30　　10限　18:40～19:30
3限　10:50 ～11:40　　7限　15:40 ～16:30
4限　11:50 ～12:40　　8限　16:40 ～17:30

	月	火	水	木	金
1限					
2限					
3限					
4限					
5限					
6限					
7限					
8限					
	3日	4日	5日	6日	7日
1限	大学祭 文化の日	大学祭 後片付け	免疫学・寄生虫学(免疫学)　19	薬理学　33	薬理学　37
2限			免疫学・寄生虫学(免疫学)　20	薬理学　34	薬理学　38
3限			免疫学・寄生虫学(免疫学)　21	薬理学　35	薬理学　39
4限			免疫学・寄生虫学(免疫学)　22	薬理学　36	薬理学　40
5限			衛生学 実習　①	免疫学・寄生虫学 (寄生虫学) 実習　②	衛生学　44
6限					衛生学　45
7限					衛生学　46
8限					衛生学　47
9限					
	10日	11日	12日	13日	14日
1限		医学英語Ⅱ　57	免疫学・寄生虫学(寄生虫学)　22	薬理学　41	薬理学　45
2限	免疫学・寄生虫学(寄生虫学)　19	医学英語Ⅱ　58	免疫学・寄生虫学(寄生虫学)　23	薬理学　42	薬理学　46
3限	免疫学・寄生虫学(寄生虫学)　20	医学英語Ⅱ　59	免疫学・寄生虫学(寄生虫学)　24	薬理学　43	薬理学　47
4限	免疫学・寄生虫学(寄生虫学)　21	医学英語Ⅱ　60	免疫学・寄生虫学(寄生虫学)　25	薬理学　44	薬理学　48
5限		薬理学 実習　①	衛生学 実習　②	免疫学・寄生虫学(免疫学)　23	産業医学Ⅱ　19
6限				免疫学・寄生虫学(免疫学)　24	産業医学Ⅱ　20
7限				免疫学・寄生虫学(免疫学)　25	産業医学Ⅱ　21
8限				免疫学・寄生虫学(免疫学)　26	産業医学Ⅱ　22
9限					
10限					
	17日	18日	19日	20日	21日
1限	免疫学・寄生虫学(免疫学)　27	医学英語Ⅱ　61	免疫学・寄生虫学(免疫学)　31	薬理学　49	総合型選抜入試 準備日
2限	免疫学・寄生虫学(免疫学)　28	医学英語Ⅱ　62	免疫学・寄生虫学(免疫学)　32	薬理学　50	
3限	免疫学・寄生虫学(免疫学)　29	医学英語Ⅱ　63	免疫学・寄生虫学(免疫学)　33	薬理学　51	
4限	免疫学・寄生虫学(免疫学)　30	医学英語Ⅱ　64	免疫学・寄生虫学(免疫学)　34	薬理学　52	
5限	衛生学　48	薬理学 実習　②	衛生学 実習　③	免疫学・寄生虫学 (寄生虫学) 実習　③	
6限					
7限					
8限					
9限					
10限					
	24日	25日	26日	27日	28日
1限	振替休日	免疫学・寄生虫学(免疫学)　35	免疫学・寄生虫学(免疫学)　38	産業医学Ⅱ　25	薬理学　53
2限		免疫学・寄生虫学(免疫学)　36	免疫学・寄生虫学(免疫学)　39	産業医学Ⅱ　26	薬理学　54
3限		免疫学・寄生虫学(免疫学)　37	免疫学・寄生虫学(免疫学)　40		薬理学　55
4限		免疫学・寄生虫学(寄生虫学)　26			薬理学　56
5限		薬理学 実習　③	衛生学　49		衛生学 実習　④
6限					
7限			産業医学Ⅱ　23		
8限			産業医学Ⅱ　24		
9限					
10限					

令和７年度　時間割

２年次　後学期

１２／　１（月）～　１２／２６（金）

1限　8:50 ～ 9:40　　5限　13:40 ～14:30　　9限　17:40～18:30
2限　9:50 ～10:40　　6限　14:40 ～15:30　　10限　18:40～19:30
3限　10:50 ～11:40　　7限　15:40 ～16:30
4限　11:50 ～12:40　　8限　16:40 ～17:30

	月	火	水	木	金
	1日	2日	3日	4日	5日
1限		推薦入試 準備日	推薦入試		薬理学　59
2限					薬理学　60
3限				薬理学　57	薬理学　61
4限				薬理学　58	薬理学　62
5限	産業医学Ⅱ　27			免疫学・寄生虫学 （寄生虫学） 実習　④	産業医学Ⅱ　31
6限	産業医学Ⅱ　28				産業医学Ⅱ　32
7限	産業医学Ⅱ　29				産業医学Ⅱ　33
8限	産業医学Ⅱ　30				産業医学Ⅱ　34
	8日	9日	10日	11日	12日
1限		医学英語Ⅱ　65	基礎病理学（病理学1総論）　1	薬理学　63	薬理学　67
2限		医学英語Ⅱ　66	基礎病理学（病理学1総論）　2	薬理学　64	薬理学　68
3限		医学英語Ⅱ　67	基礎病理学（病理学1総論）　3	薬理学　65	薬理学　69
4限		医学英語Ⅱ　68	基礎病理学（病理学1総論）　4	薬理学　66	薬理学　70
5限	産業医学Ⅱ　35	薬理学 実習　④	基礎病理学（病理学2総論）　1	基礎病理学（病理学1総論）　5	基礎病理学（病理学1総論）　8
6限	産業医学Ⅱ　36		基礎病理学（病理学2総論）　2	基礎病理学（病理学1総論）　6	基礎病理学（病理学1総論）　9
7限	産業医学Ⅱ　37		基礎病理学（病理学2総論）　3	基礎病理学（病理学1総論）　7	基礎病理学（病理学1総論）　10
8限	産業医学Ⅱ　38		基礎病理学（病理学2総論）　4		基礎病理学（病理学1総論）　11
9限					
10限					
	15日	16日	17日	18日	19日
1限		医学英語Ⅱ　69	基礎病理学（病理学2総論）　5	薬理学　71	
2限	基礎病理学（病理学1総論）　12	医学英語Ⅱ　70	基礎病理学（病理学2総論）　6	薬理学　72	
3限	基礎病理学（病理学1総論）　13	医学英語Ⅱ　71	基礎病理学（病理学2総論）　7	薬理学　73	
4限	基礎病理学（病理学1総論）　14	医学英語Ⅱ　72	基礎病理学（病理学2総論）　8	薬理学　74	
5限	基礎病理学 （病理学1総論） 実習　①	基礎病理学 （病理学1総論） 実習　②	基礎病理学 （病理学2総論） 実習　①	産業医学Ⅱ　39	薬理学　75
6限				産業医学Ⅱ　40	薬理学　76
7限				産業医学Ⅱ　41	薬理学　77
8限				産業医学Ⅱ　42	薬理学　78
	22日	23日	24日	25日	26日
1限		医学英語Ⅱ　73	基礎病理学（病理学2総論）　9		
2限		医学英語Ⅱ　74	基礎病理学（病理学2総論）　10		
3限	基礎病理学（病理学1総論）　15	医学英語Ⅱ　75	基礎病理学（病理学2総論）　11		
4限	基礎病理学（病理学1総論）　16	医学英語Ⅱ　76	基礎病理学（病理学2総論）　12		
5限	免疫学・寄生虫学 （免疫学） 実習　①	免疫学・寄生虫学 （免疫学） 実習　②	免疫学・寄生虫学 （免疫学） 実習　③		基礎病理学 （病理学1総論） 実習　③
6限					
7限					
8限					
9限					
10限					
	29日	30日	31日		
1限					
2限					
3限					
4限					
5限					
6限					
7限					
8限					

令和７年度 時間割

２年次　後学期

１　／　５（月）～　１　／３０（金）

1限　8:50 ～ 9:40　5限　13:40 ～14:30　9限　17:40～18:30
2限　9:50 ～10:40　6限　14:40 ～15:30　10限　18:40～19:30
3限 10:50 ～11:40　7限　15:40 ～16:30
4限 11:50 ～12:40　8限　16:40 ～17:30

	月	火	水	木	金
				1日	2日
1限				元日	
2限					
3限					
4限					
5限					
6限					
7限					
8限					
	5日	6日	7日	8日	9日
1限		医学英語Ⅱ 77	基礎病理学（病理学2総論） 13		基礎病理学 （病理学2総論） 実習 ③
2限		医学英語Ⅱ 78	基礎病理学（病理学2総論） 14		
3限		医学英語Ⅱ 79	基礎病理学（病理学2総論） 15	免疫学・寄生虫学 （免疫学） 実習 ⑥	
4限		医学英語Ⅱ 80	基礎病理学（病理学2総論） 16		
5限	基礎病理学 （病理学2総論） 実習 ②	免疫学・寄生虫学 （免疫学） 実習 ④	免疫学・寄生虫学 （免疫学） 実習 ⑤		衛生学 50
6限					
7限					
8限					
9限				免疫学・寄生虫学（免疫学） 41	
10限					
	12日	13日	14日	15日	16日
1限	成人の日				大学入学 共通テスト 準備日
2限				薬理学 79	
3限				薬理学 80	
4限			基礎病理学（病理学1総論） 17		
5限		産業医学Ⅱ 43			
6限		産業医学Ⅱ 44			
7限					
8限					
	19日	20日	21日	22日	23日
1限					
2限		免疫学・寄生虫学（寄生虫学） 27		基礎病理学（病理学2総論） 17	
3限	衛生学 51	免疫学・寄生虫学（寄生虫学） 28			
4限	衛生学 52				
5限			微生物学 70		免疫学・寄生虫学（免疫学） 42
6限			微生物学 71		免疫学・寄生虫学（免疫学） 43
7限					
8限					
	26日	27日	28日	29日	30日
1限	基 礎 総 合 試 験 Ⅱ 準 備 期 間				
2限					
3限					
4限					
5限					
6限					
7限					
8限					

令和７年度　時間割

２年次　後学期

２　／　２（月）～　２　／２７（金）

1限　8:50 ～ 9:40　5限　13:40 ～14:30　9限　17:40～18:30
2限　9:50 ～10:40　6限　14:40 ～15:30　10限　18:40～19:30
3限 10:50 ～11:40　7限　15:40 ～16:30
4限 11:50 ～12:40　8限　16:40 ～17:30

	月	火	水	木	金
	2日	3日	4日	5日	6日
1限	基礎総合試験Ⅱ 準 備 期 間	基礎総合試験Ⅱ			一般入試 準備日
2限					
3限					
4限					
5限					
6限					
7限					
8限					
	9日	10日	11日	12日	13日
1限			建国記念の日		
2限					
3限					
4限					
5限					
6限					
7限					
8限					
	16日	17日	18日	19日	20日
1限					
2限					
3限					
4限					
5限					
6限					
7限					
8限					
	23日	24日	25日	26日	27日
1限	天皇誕生日				
2限					
3限					
4限					
5限					
6限					
7限					
8限					

医学英語Ⅱ
【Medical English Ⅱ】

担当責任者 准教授（英語） 田中 公介

ねらい

1年次に同じ

※4/8から5/27、7/1と9/30の計7回分の授業は5-8時限目に開講する。それ以外の授業は1-4時限目に開講する。

学修目標

1. 中級レベルの会話・スピーチができる。（Ⅴ-4, Ⅶ-1, Ⅶ-5）
2. 中・上級レベルのリスニングができる。（Ⅴ-4, Ⅴ-5, Ⅶ-1, Ⅶ-3, Ⅶ-4, Ⅶ-5）
3. 中・上級レベルの英作文ができる。パラグラフ・ライティングに習熟する。（Ⅴ-4, Ⅶ-4）
4. 中・上級レベルの医学関連の英語論文要約・症例を読解することができる。（Ⅴ-5, Ⅶ-2, Ⅶ-3）
5. より多くの医学関連表現・言いまわしを身につけ、読解・作文に応用できる。（Ⅴ-5, Ⅶ-2, Ⅶ-3）

事前事後学習の方法

1. 各クラスで毎回実施される小テストの予習をすること。
2. 各クラスで毎回指定される個所の予習をすること。
3. 配布資料・テキストを使って、授業内容の復習をすること。

成績評価方法・基準

1. 各クラスの成績を基に総合的に評価する。成績評価の詳細は以下の通りである。

C. ベル ： Vocabulary Tests (15%)、Speaking Activities (15%)、Presentations (60%) 、Review Quiz (10%)

J. ヒックス ： Quizzes(25%)、Homework(18%)、Presentations(35%)、Classwork(12%)、Participation (10%)

田中 公介 ： 提出課題(40%)、期末確認テスト(60%)

下仮屋 翔 ： 単語テスト(20%)、課題(20%)、確認テスト(60%)

2. 4クラス全てで60点以上を取ることを合格条件とする。
3. 各クラスの点数の合計値の平均点を100点満点で算出し、A, B, C, D, Fの5段階評価とする。

○教 科 書

C. ベル ： プリント

J. ヒックス ： Lifesaver: Basic English in Medical Situations

田中 公介 ： プリント、ファイル配布

下仮屋 翔 ： プリント

○参 考 書

下仮屋 翔 ： 康永 秀生著 「必ずアクセプトされる医学英語論文:完全攻略50の鉄則(改訂版)」 2021年（金原出版）

小林 充尚著 「動詞で究める医学英語writing」2015年（メジカルビュー社）

田中 公介 ： 藤枝 宏壽共著 「これだけは知っておきたい医学英語の基本用語と表現 第4版」 2021年（メジカルビュー社）

2 年 次

講義(A-Dクラス):2301講義室

年月日	曜日	時限	授業項目(内容)	コアカリ項目				担当者
				第1層	第2層	第3層	第4層	
R7.4.8	火	C・5-6 A・7-8	The Human body Presentation explanation & planning	RE	04	01	03	C. ベル
4.15	火	C・5-6 A・7-8	Discussing the human body with patient Vocabulary Test, Speaking Activity (inc. Review)	RE	04	01	03	C. ベル
4.22	火	C・5-6 A・7-8	The Human body presentation	RE	04	01	03	C. ベル
5.20	火	C・5-6 A・7-8	Symptoms and Illness Presentation explanation & planning	RE	04	01	03	C. ベル
5.27	火	C・5-6 A・7-8	Talking about symptoms and diagnosing illness Vocabulary Test, Speaking Activity (inc. Review)	RE	04	01	03	C. ベル
6.3	火	C・1-2 A・3-4	Symptoms & Illness presentation	RE	04	01	03	C. ベル
6.10	火	C・1-2 A・3-4	Treatment & Recovery Presentation explanation & planning	RE	04	01	03	C. ベル
6.17	火	C・1-2 A・3-4	Discussing treatment and recovery with a patient. Vocabulary Test, Speaking Activity (inc. Review)	RE	04	01	03	C. ベル
7.1	火	C・5-6 A・7-8	Treatment & Recovery presentation	RE	04	01	03	C. ベル
7.22	火	C・1-2 A・3-4	Review Quiz	RE	04	01	03	C. ベル
9.30	火	D・5-6 B・7-8	The Human body Presentation explanation & planning	RE	04	01	03	C. ベル
10.7	火	D・1-2 B・3-4	Discussing the human body with patient Vocabulary Test, Speaking Activity (inc. Review)	RE	04	01	03	C. ベル
10.14	火	D・1-2 B・3-4	The Human body presentation	RE	04	01	03	C. ベル
10.28	火	D・1-2 B・3-4	Symptoms and Illness Presentation explanation & planning	RE	04	01	03	C. ベル
11.11	火	D・1-2 B・3-4	Talking about symptoms and diagnosing illness Vocabulary Test, Speaking Activity (inc. Review)	RE	04	01	03	C. ベル
11.18	火	D・1-2 B・3-4	Symptoms & Illness presentation	RE	04	01	03	C. ベル
12.9	火	D・1-2 B・3-4	Treatment & Recovery Presentation explanation & planning	RE	04	01	03	C. ベル
12.16	火	D・1-2 B・3-4	Discussing treatment and recovery with a patient Vocabulary Test, Speaking Activity (inc. Review)	RE	04	01	03	C. ベル
12.23	火	D・1-2 B・3-4	Treatment & Recovery presentation	RE	04	01	03	C. ベル
R8.1.6	火	D・1-2 B・3-4	Review Quiz	RE	04	01	03	C. ベル

講義(A-Dクラス):2302講義室

年月日	曜日	時限	授業項目(内容)	コアカリ項目				担当者
				第1層	第2層	第3層	第4層	
R7.4.8	火	D・5-6 B・7-8	Don't worry. Part I Reading Homework (inc. Review)	RE	04	01	02	J. ヒックス(学外)
4.15	火	D・5-6 B・7-8	Don't worry. Part II Vocabulary Quiz, Reading Homework (inc. Review)	RE	04	01	02	J. ヒックス(学外)
4.22	火	D・5-6 B・7-8	What are your symptoms? Part I Vocabulary Quiz, Reading Homework (inc. Review)	RE	04	01	02	J. ヒックス(学外)
5.20	火	D・5-6 B・7-8	What are your symptoms? Part II Vocabulary Quiz, Reading Homework (inc. Review)	RE	04	01	02	J. ヒックス(学外)
5.27	火	D・5-6 B・7-8	Where does it hurt? Part I Vocabulary Quiz, Reading Homework (inc. Review)	RE	04	01	02	J. ヒックス(学外)
6.3	火	D・1-2 B・3-4	Where does it hurt? Part II Vocabulary Quiz, Reading Homework (inc. Review)	RE	04	01	02	J. ヒックス(学外)
6.10	火	D・1-2 B・3-4	How long have you had these symptoms? Part I Vocabulary Quiz, Reading Homework (inc. Review)	RE	04	01	02	J. ヒックス(学外)
6.17	火	D・1-2 B・3-4	How long have you had these symptoms? Part II Vocabulary Quiz, Reading Homework (inc. Review)	RE	04	01	02	J. ヒックス(学外)
7.1	火	D・5-6 B・7-8	Could you fill in this medical questionnaire? Part I Vocabulary Quiz, Reading Homework (inc. Review)	RE	04	01	02	J. ヒックス(学外)
7.22	火	D・1-2 B・3-4	Could you fill in this medical questionnaire? Part II Vocabulary Quiz, Reading Homework (inc. Review)	RE	04	01	02	J. ヒックス(学外)
9.30	火	C・5-6 A・7-8	Don't worry. Part I Reading Homework (inc. Review)	RE	04	01	02	J. ヒックス(学外)
10.7	火	C・1-2 A・3-4	Don't worry. Part II Vocabulary Quiz, Reading Homework (inc. Review)	RE	04	01	02	J. ヒックス(学外)
10.14	火	C・1-2 A・3-4	What are your symptoms? Part I Vocabulary Quiz, Reading Homework (inc. Review)	RE	04	01	02	J. ヒックス(学外)
10.28	火	C・1-2 A・3-4	What are your symptoms? Part II Vocabulary Quiz, Reading Homework (inc. Review)	RE	04	01	02	J. ヒックス(学外)
11.11	火	C・1-2 A・3-4	Where does it hurt? Part I Vocabulary Quiz, Reading Homework (inc. Review)	RE	04	01	02	J. ヒックス(学外)
11.18	火	C・1-2 A・3-4	Where does it hurt? Part II Vocabulary Quiz, Reading Homework (inc. Review)	RE	04	01	02	J. ヒックス(学外)
12.9	火	C・1-2 A・3-4	How long have you had these symptoms? Part I Vocabulary Quiz, Reading Homework (inc. Review)	RE	04	01	02	J. ヒックス(学外)
12.16	火	C・1-2 A・3-4	How long have you had these symptoms? Part II Vocabulary Quiz, Reading Homework (inc. Review)	RE	04	01	02	J. ヒックス(学外)
12.23	火	C・1-2 A・3-4	Could you fill in this medical questionnaire? Part I Vocabulary Quiz, Reading Homework (inc. Review)	RE	04	01	02	J. ヒックス(学外)
R8.1.6	火	C・1-2 A・3-4	Could you fill in this medical questionnaire? Part II Vocabulary Quiz, Reading Homework (inc. Review)	RE	04	01	02	J. ヒックス(学外)

2 年 次

講義(A-Dクラス):
6208室(コンピュータ実習室(大))

年月日	曜日	時限	授業項目(内容)	コアカリ項目				担当者
				第1層	第2層	第3層	第4層	
R7.4.8	火	A-B・5-6 C-D・7-8	オリエンテーション、医学論文読解の基礎(5)	RE	02	02	01	田中 公介
4.15	火	A-B・5-6 C-D・7-8	医学論文読解の基礎(6)	RE	02	02	01	田中 公介
4.22	火	A-B・5-6 C-D・7-8	Medical Reading(提出課題)(1)	RE	02	02	01	田中 公介
5.20	火	A-B・5-6 C-D・7-8	Medical Reading(1)の解説、医学論文読解の基礎(7)	RE	02	02	01	田中 公介
5.27	火	A-B・5-6 C-D・7-8	医学論文読解の基礎(8)	RE	02	02	01	田中 公介
6.3	火	A-B・1-2 C-D・3-4	Medical Reading(提出課題)(2)	RE	02	02	01	田中 公介
6.10	火	A-B・1-2 C-D・3-4	Medical Reading(2)の解説、医学論文読解の基礎(9)	RE	02	02	01	田中 公介
6.17	火	A-B・1-2 C-D・3-4	Medical Reading(提出課題)(3)、医学論文読解の基礎(10)	RE	02	02	01	田中 公介
7.1	火	A-B・5-6 C-D・7-8	Medical Reading(3)の解説、Medical Reading(提出課題)(4)、Medical Reading(4)の解説	RE	02	02	01	田中 公介
7.22	火	A-B・1-2 C-D・3-4	期末確認テスト	RE	02	02	01	田中 公介
9.30	火	A-B・5-6 C-D・7-8	オリエンテーション、 Medical Writing入門(課題提出・解説)(1)	RE	04	01	01	下仮屋 翔
10.7	火	A-B・1-2 C-D・3-4	単語テスト(1)、Medical Writing入門(課題提出・解説)(2)	RE	04	01	01	下仮屋 翔
10.14	火	A-B・1-2 C-D・3-4	単語テスト(2)、Medical Writing入門(課題提出・解説)(3)	RE	04	01	01	下仮屋 翔
10.28	火	A-B・1-2 C-D・3-4	単語テスト(3)、Medical Writing演習(課題提出・解説)(1)	RE	04	01	01	下仮屋 翔
11.11	火	A-B・1-2 C-D・3-4	単語テスト(4)、Medical Writing演習(課題提出・解説)(2)	RE	04	01	01	下仮屋 翔
11.18	火	A-B・1-2 C-D・3-4	確認テスト(1)、Medical Writing演習(課題提出・解説)(3)	RE	04	01	01	下仮屋 翔
12.9	火	A-B・1-2 C-D・3-4	単語テスト(5)、Medical Writing演習(課題提出・解説)(4)	RE	04	01	01	下仮屋 翔
12.16	火	A-B・1-2 C-D・3-4	単語テスト(6)、Medical Writing演習(課題提出・解説)(5)	RE	04	01	01	下仮屋 翔
12.23	火	A-B・1-2 C-D・3-4	単語テスト(7)、Medical Writing演習(課題提出・解説)(6)	RE	04	01	01	下仮屋 翔
R8.1.6	火	A-B・1-2 C-D・3-4	単語テスト(8)、確認テスト(2)	RE	04	01	01	下仮屋 翔

【前期:田中担当クラス】
・医学論文読解の基礎:医学関連語彙・表現・用法を習得する。
・Medical Reading:医学関連の英文の日本語訳出をする。一部を課題として指定し授業中に作成・提出する。
・期末確認テスト:学期中の授業内容を復習する筆記テストを実施する(解説は学期終了後に実施予定)。

【後期:下仮屋担当クラス】
・単語テスト:医学関連基本英単語を覚える。毎回、初回時限の冒頭で実施する。
・Medical Writing入門:医学論文の構成や、執筆に際して注意すべき点を理解し、基礎的な英作文演習を通じて実践していく。
・Medical Writing演習:同入門の学習内容を踏まえて医学論文の英訳演習に取り組み、学術的文章にふさわしい表現法や語彙を習得する。
・各課題は一部をオンライン上で提出する(期限厳守)。各課題ならびに確認テストの内容は、授業内または動画視聴形式で解説する。

※ 前後期ともに、使用教室を変更することがある。詳細は都度連絡する。

医学概論Ⅱ
【Medical Humanities Ⅱ】

担当責任者 （医学部長）

ねらい

「医学とは、できる限り確かな医学知識（Science）と技術（Art）を用いて、病いにある人の自己回復力を全人的に援助する人間学（Humanities）である。」医学生の立場でこの意味を充分に理解・体得するために、次の方針に基づいた教育を行う。

1. 講義および体験学習を通じて、「医学とは何か」「人間とは何か」について理解を深めることにより、人間に対する豊かな感性と霊性を養う。
2. 医学概論教育を通じて本来の自分の生き方を再発見・探求することにより、専門職である医師となるための基本的な倫理観・態度を養う。
3. 産業医学マインドの原点である、①上医をめざす、②感謝されない医師、③哲学する医師の3つの基本的医師像に加え、④実感として共感する医師となれるよう、その基本的態度の体得に努める。

学修目標

1. 医学の本質について自ら論じることができる。（Ⅰ-3，Ⅰ-4）
2. 医療倫理の歴史的変遷と展開について説明できる。（Ⅰ-1）
3. 「生と死」に関する根源的な問いを自ら考え説明することができる。（Ⅰ-3）
4. 現代医療を直面している生命倫理問題について自ら論じることができる。（Ⅰ-1）
5. バイオエシックスの成立の背景とその特徴について説明できる。（Ⅰ-1）
6. インフォームド・コンセントの基礎となる考え方とその具体的対応について説明できる。（Ⅳ-8）
7. 安楽死と尊厳死の相違について説明できる。（Ⅰ-1）

事前事後学習の方法

1. シラバスに記載されている授業項目について、指定教科書や参考書などで事前に予習しておくこと。
2. 配布された講義プリントを熟読して講義内容の復習をすること。

成績評価方法・基準

1. 科目試験Ⅰ（約30%）・Ⅱ（約50%）、講義レポート（約15%）、グループ発表（約5%）の結果を基に総合的に判断する。
2. 100点満点換算で、A、B、C、D、Fの5段階評価とする。

○ 教 科 書

藤野昭宏、前田義郎訳 「医療倫理の歴史 バイオエシックスの源流と諸文化圏における展開」 2009年 ナカニシヤ出版

○ 参 考 書

伴信太郎、藤野昭宏編 「シリーズ生命倫理学19－医療倫理教育」 2012年 丸善出版
白幡聡、藤野昭宏編 「小児医療とインフォームドコンセント」 2010年 医薬ジャーナル社
フーフェラント著 杉田絹枝、杉田勇訳 「自伝／医の倫理」1998年 北樹出版
R. フェイドン/T. ビーチャム著 酒井忠昭、秦洋一訳 「インフォームド・コンセント患者の選択」 1996年 みすず書房
トム・L・ビーチャム/ジェイムズ・F・チルドレス著 永安幸正、立木教夫監訳 「生命医学倫理」 1997年 成文堂
デイヴィッド・ロスマン著 酒井忠昭監訳 「医療倫理の夜明け -臓器移植・延命治療・死ぬ権利をめぐって-」 2000年 昌文社
香川知晶著 「生命倫理の成立」 2000年 勁草書房
川喜多愛郎著「近代医学の史的基盤 上・下」1986年 岩波書店
ミッシェル・フーコー著 神谷美恵子訳 「臨床医学の誕生」 2000年 みすず書房
有馬斉著「死ぬ権利はあるか 安楽死、尊厳死、自殺幇助の是非と命の価値」 2019年 春風社
生命倫理百科事典 全5巻 翻訳刊行委員会編 日本生命倫理学会編集協力 2007年 丸善株式会社

2 年 次

講義:2301講義室

年月日	曜日	時限	授　業　項　目（内　容）	コアカリ項目				担　当　者
				第1層	第2層	第3層	第4層	
R7.4.2	水	1・2	生命倫理学とは ＊講義レポート①	PR	04	01	01	石丸 知宏
4.9	水	1・2	医療倫理の歴史① ヒポクラテス医学 ＊講義レポート②	SO	04	05	01	石丸 知宏
4.16	水	1・2	医療倫理の歴史② 古代・中世欧州、中国とインド ＊講義レポート③	SO	04	05	01	石丸 知宏
4.16	水	3・4	医療倫理の歴史③ 近代欧米、日本 ＊講義レポート④	SO	04	05	01	石丸 知宏
4.23	水	1・2	生命倫理学の歴史と原則 ＊講義レポート⑤	PR	04	01	01	石丸 知宏
4.30	水	1・2	インフォームド・コンセント ＊講義レポート⑥	CM	02	03	03	石丸 知宏
5.7	水	1	科目試験Ⅰ(50分間)					石丸 知宏
5.7	水	2	生命倫理学の実践	PR	04	01	01	石丸 知宏
5.14	水	1・2	人工妊娠中絶と自己決定 ＊講義レポート⑦	PR	04	01	01	石丸 知宏
5.21	水	1.2	脳死、臓器移植 ＊講義レポート⑧	PR	04	01	01	樫本 直樹(哲学概論)
5.28	水	1.2	終末期医療、尊厳死・安楽死(特別講義) ＊講義レポート⑨	GE	03	06	05	瀬尾 雅子(学外)
6.4	水	1.2	医療資源の配分 ＊講義レポート⑩	SO	04	07	01	石丸 知宏
6.18	水	1.2	生命倫理学 研究発表会① ＊講義レポート⑪	PR	04	01	03	石丸 知宏
6.18	水	3・4	生命倫理学 研究発表会② ＊講義レポート⑫	PR	04	01	03	石丸 知宏
6.25	水	1.2	生命倫理学 研究発表会③ ＊講義レポート⑬	PR	04	01	03	石丸 知宏
7.23	水	1.2	科目試験Ⅱ(100分間)					石丸 知宏

人体発生学
【Human Embryology】

担当責任者 教授（第2解剖学） 森本 景之

ねらい

ヒトの一生の始まりから出生前後の発生・発育中に起こる一連の変化（成長・形態形成・分化）について理解し、人体の各細胞、組織、および器官の間にいかにして正常な関係が成立していくかに関する基礎的な知識を習得する。また、発生の異常を起こす可能性のある遺伝的要因および環境要因についても理解する。

学修目標

1. 生殖細胞の成熟過程を説明することができる。（Ⅱ-2）
2. 排卵から着床までを説明することができる。（Ⅱ-2）
3. 胚盤の形成過程を説明できる。（Ⅱ-2）
4. 各胚葉の分化過程を説明することができる。（Ⅱ-2）
5. 各胚葉に由来する器官・組織を列挙し、それぞれの形態形成過程を説明することができる。（Ⅱ-2）
6. 遺伝子と発生の異常がもたらす奇形・病態を説明することができる。（Ⅱ-2）

事前事後学習の方

1. 事前学習として、教科書等で講義・実習の該当箇所に目を通す。
2. 事後学習として、講義プリント等を用いて、到達目標を達成する。

成績評価方法・基準

1. 小テスト（全4回）の結果を基に、出席状況、受講態度を加味して総合的に判定する。
2. 100点満点換算で、A、B、C、D、Fの5段階評価とする。

○ 教 科 書

藤本十四秋、受島敦美著「医学要点双書 発生学」改訂第6版、2010年（金芳堂）

○ 参 考 書

下記は臨床医学の見地から書かれた定評ある成書であり、高学年や卒業後においても、発生学を学ぶ際に活用できる参考書として推薦する。

1. 瀬口春道監訳「ムーア人体発生学」原著第11版、2022年（医歯薬出版）
2. T.W.Sadler著、安田峯生訳「ラングマン人体発生学」第12版、2024年（メディカル・サイエンス・インターナショナル）

また、下記はコンパクトにまとめられた参考書として推薦する。

3. 山田重人、山口 豊著「ひと目でわかる ビジュアル人体発生学」、2022年（羊土社）

2 年 次

講義:2301講義室

年 月 日	曜 日	時 限	授 業 項 目 (内 容)	コアカリ項目				担 当 者
				第1層	第2層	第3層	第4層	
R7.4.2	水	3･4	発生学とは 生殖子形成～着床 胚盤形成 胚葉の分化	PS	01 02	02 11	22 01	森本 景之
4.4	金	3･4	胚子 胎盤形成	PS	01 02	02 02	22,26 01	森本 景之
4.9	水	3･4	小テスト 循環器系の発生 胎児循環	GE PS	03 01	03 02	01 24	森本 景之
4.14	月	3･4	消化器系の発生	PS	01	02	25	森本 景之
4.18	金	3･4	小テスト 泌尿生殖器･呼吸器系の発生	PS	01	02	24,25	森本 景之
4.21	月	3･4	神経･感覚器系の発生	PS	01	02	26	國分 啓司
4.23	水	3･4	小テスト 頭部顔面と咽頭器官の発生	PS	01	02	23	中富 満城
4.25	金	3･4	小テスト 新生児、先天奇形、遺伝子疾患、補足	GE PS	03 02	03 01	01 01	森本 景之

系統解剖学各論
【Regional Anatomy】

担当責任者　（医学部長）

ねらい

1. 医学の基礎として人体の形態と構造を理解する。
2. 精緻な観察力の涵養を図る。
3. 医学教育の成立する社会的基盤について理解する。

人体の形態と構造を理解することは、医学においてもっとも基礎的なことである。人体の構造を深く理解するためには、神経解剖学講義、自習とともに、人体解剖学実習と脳実習において実際の人体の詳細な3次元的観察を行うことが非常に重要である。

人体解剖学実習と脳実習は献体という多くの人々の善意によって初めて行うことができるものである。医学教育を支えてくれる多くの人々の存在を理解し、医学と社会とを考える大きな機会としていただきたい。近い将来医師となるために必要な知識を積極的にご遺体から受け取ることが重要である。

全身各臓器の正常構造、血管分布と神経支配を理解する。

学修目標

＜人体解剖学＞

1. 献体された故人とご遺族に対し感謝の気持ちを持ち、敬意を払って適切な態度で臨むことができる。（Ⅰ-1，Ⅴ-3）
2. 主要な器官を適切に剖出でき、各器官の位置関係を方向用語で説明できる。（Ⅰ-1，Ⅱ-1，Ⅵ-5）
3. 主要な関節と靭帯の構成と機能を説明できる。（Ⅰ-1，Ⅱ-1，Ⅵ-5）
4. 主要な骨格筋の運動と支配神経を説明できる。（Ⅰ-1，Ⅱ-1，Ⅵ-5）
5. 主要な動・静脈を図示し、その走行と分布域、吻合を説明できる。（Ⅰ-1，Ⅱ-1，Ⅴ-1，Ⅵ-5）
6. 胸管を経由するリンパの流れを概説できる。（Ⅰ-1，Ⅱ-1，Ⅴ-1，Ⅵ-5）
7. 脊髄神経と神経叢の構成及び主な骨格筋支配とデルマトームを概説できる。（Ⅰ-5，Ⅱ-1）
8. 脳神経の名称、走行、分布と機能を概説できる。（Ⅰ-5，Ⅱ-1）

＜神経解剖学＞

1. 中枢神経系と末梢神経系の構成を概説できる。（Ⅰ-5，Ⅱ-1）
2. 髄膜・脳室系の構造と脳脊髄液の産生と循環を説明できる。（Ⅰ-5，Ⅱ-1）
3. 脳の血管分布を説明できる。（Ⅰ-1，Ⅱ-1，Ⅴ-1，Ⅵ-5）
4. 脳幹の構造・機能と伝導路を説明できる。（Ⅰ-1，Ⅱ-1，Ⅵ-5）
5. 大脳と小脳の構造と機能を説明できる。（Ⅰ-1，Ⅱ-1，Ⅵ-5）
6. 大脳基底核の線維結合と機能を概説できる。（Ⅰ-1，Ⅱ-1，Ⅵ-5）
7. 交感神経系と副交感神経系の中枢内局在、末梢分布と機能を概説できる。（Ⅰ-5，Ⅱ-1）
8. 視床下部の構造と機能を内分泌及び自律神経と関連付けて概説できる。（Ⅰ-5，Ⅱ-1）

事前事後学習の方法

1. シラバスに記載されている授業項目について、教科書・参考書などで事前に予習しておくこと。
2. 指定教科書や配布物を熟読して講義内容の復習をすること。

成績評価方法・基準

1. レポート内容（20%）、ミニテスト（20%）、人体解剖学試験（30%）、神経解剖学試験（30%）の結果を基に、出席状況・受講・実習態度を加味し総合的に判定する。
2. 100点満点換算で、A、B、C、D、Fの5段階評価とする。

2 年 次

○ **教 科 書** （指定）

伊藤隆原著、高野廣子改訂「解剖学講義」改訂3版、2012年（南山堂）

○ **実 習 書** （必携）

寺田春水・藤田恒夫著「解剖実習の手びき」第11版、2004年（南山堂）

○ **参 考 書** （推薦）

Richard L. Drake著、秋田恵一翻訳「グレイ解剖学」原著第5版、2024年（エルゼビア・ジャパン）

ネッター著、相磯貞和翻訳「ネッター解剖学アトラス」原書第7版、2022年（南江堂）

Johannes W. Rohenら著「解剖学カラーアトラス」第9版、2023年（医学書院）

坂井建雄著「標準解剖学」、2017年（医学書院）

坂井建雄著「解剖実習カラーテキスト」、2013年（医学書院）

寺田春水・藤田恒夫著「骨学実習の手びき」第4版、1992年（南山堂）

松村譲二著「イラスト解剖学」第10版、2021年（中外医学社） （電子ブック・大学図書館にある）

注意事項

1. 携帯電話、スマートフォン、カメラなどネットワークに接続可能な機器の解剖実習室への持ち込みは禁止する。
2. 解剖学講義・実習とは別に、2025年10月15日(水)に予定している御霊慰霊式に参加する。
   日程はあくまでも予定のため、確定した段階で改めて通知する。欠席は認めないので、留意すること。

講義：2301講義室
実習：1B11解剖実習室

<人体解剖学>

年月日	曜日	時限	授業項目（内容）	コアカリ項目				担当者
				第1層	第2層	第3層	第4層	
R7.4.1	火	7	人体解剖学実習説明会	PR	02	03		全教員
4.7	月	5～8	解剖実習 1：くび・胸・腹部の体表観察と皮切り、広頸筋と乳腺	PS	02	03 04 05 13	01 01 01 01	全教員
4.10	木	5～8	解剖実習 2：胸腹部の皮静脈と皮神経、大胸筋と外腹斜筋、頚神経叢の枝と胸鎖乳突筋	PS	02	03 04 05 13	01 01 01 01	全教員
4.14	月	5～8	解剖実習 3：背中の皮切り、背中の浅層	PS	02	03 05 06	01 01 01	全教員
4.16	水	5～8	解剖実習 4：くびのやや深層、胸部の深層と腋窩（レポート1）	PS	02	03 05 06	01 01 01	全教員
4.17	木	5～8	解剖実習 5：鎖骨下動脈の枝、うでの皮切りと腕神経叢と上腕屈側（レポート2）	PS	02	03 05 06	01 01 01	全教員
4.18	金	5～8	解剖実習 6：肩甲骨前面、前腕屈側の浅層、手掌の皮切りと手掌腱膜（ミニテスト1）	PS	02	03 05 06	01 01 01	全教員
4.21	月	5～8	解剖実習 7：上腕伸側と肩甲骨背面の筋、前腕伸側と手背、手掌の浅層	PS	02	03 05 06	01 01 01	全教員
4.23	水	5～8	解剖実習 8：手の深層、肩・肘・手くびの関節、手と指の関節	PS	02	03 05 06	01 01 01	全教員
4.24	木	5～8	解剖実習 9：下肢の皮静脈と皮神経、大腿前面の深層、下腿前面と足背（ミニテスト2）	PS	02	03 05 06	01 01 01	全教員

講義:2301講義室
実習:1B11解剖実習室

〈人体解剖学〉

年月日	曜日	時限	授業項目(内容)	コアカリ項目				担当者
				第1層	第2層	第3層	第4層	
4.25	金	5〜8	解剖実習10:大殿筋、殿部の深層、大腿後面の深層 (レポート3)	PS	02	03 05 06	01 01 01	全教員
5.1	木	5〜8	解剖実習11:膝窩と下腿後面、足底、下腿の最深層、 膝の関節、足の関節	PS	02	03 05 06	01 01 01	全教員
5.2	金	5〜8	解剖実習12:胸壁、側腹筋、腹直筋鞘、 横筋筋膜と腹膜 (ミニテスト3)	PS	02	03 05 06	01 01 01	全教員
5.8	木	5〜8	解剖実習13:胸腔を開く、胸膜と心膜、肺 (レポート4)	PS	02	03 05 06 07	01 01 01 01	全教員
5.9	金	5〜8	解剖実習14:くびの根もとの深層、縦隔、心臓の外景 (レポート5)	PS	02	03 05 06	01 01 01	全教員
5.13	火	5〜8	解剖実習15:心臓の内景、縦隔の深部	PS	02	03 05 06	01 01 01	全教員
5.15	木	5〜8	解剖実習16:臍、腹部内臓の自然位での観察	PS	02	03 05 06 08	01 01 01 01	全教員
5.16	金	5〜8	解剖実習17:腹部内臓に分布する血管と神経 (レポート6)	PS	02	03 05 06 08	01 01 01 01	全教員
5.19	月	5〜8	解剖実習18:空腸・回腸と結腸、胃・肝臓・十二指腸・ 膵臓・脾臓 (ミニテスト4)	PS	02	03 05 06 08	01 01 01 01	全教員
5.22	木	5〜8	解剖実習19:腎臓と副腎、後胸壁と後腹壁、 横隔膜と腰神経叢 (レポート7)	PS	02	03 05 06 09	01 01 01 01	全教員
5.23	金	5〜8	解剖実習20:胸腰筋膜と固有背筋、後頭下の筋、脊髄	PS	02	03 05 06	01 01 01	全教員
5.26	月	5〜8	解剖実習21:膀胱とその周辺、外陰部と精巣、会陰、 骨盤の切半	PS	02	03 06 10	01 01 01	全教員
5.29	木	5〜8	解剖実習22:骨盤内臓、骨盤の血管と神経、 骨盤壁の筋と股関節 (レポート8)	PS	02	03 05 06 10	01 01 01 01	全教員
5.30	金	5〜8	解剖実習23:くびの深層、頭部の切り離し、咽頭	PS	02	03 05 06 07 14 16	01 01 01 01 01 01	全教員
6.3	火	5〜8	解剖実習24:顔の浅層、甲状腺と気管、喉頭 (ミニテスト5)	PS	02	03 06 07 16	01 01 01 01	全教員
6.5	木	5〜8	解剖実習25:頭蓋の内面、頭の切半と口腔、 鼻腔と咽頭鼻部 (レポート9)	PS	02	03 05 06 07 16	01 01 01 01 01	全教員
6.6	金	5〜8	解剖実習26:咀嚼筋、顎関節と側頭下窩、舌と口蓋 (レポート10)	PS	02	03 06 07 16	01 01 01 01	全教員

2 年 次

講義:2301講義室
実習:1B11解剖実習室

〈人体解剖学〉

年月日	曜日	時限	授業項目（内容）	コアカリ項目				担当者
				第1層	第2層	第3層	第4層	
6.9	月	5～8	解剖実習27:副鼻腔と翼口蓋神経節、眼球を前から見る、眼窩の内容、眼球など	PS	02	03 06 07 15 16	01 01 01 01 01	全教員
6.10	火	5～8	解剖実習28:外・中・内耳、翼突管、頸動脈管と耳神経節、舌下神経管と頸静脈孔	PS	02	03 05 06 16	01 01 01 01	全教員
6.12	木	5～8	解剖実習29:総合復習					全教員
6.17	火	5･6	解剖実習30:納棺	PR	02	03		全教員
7.9	水	3･4	人体解剖学試験					全教員

講義:2301講義室
実習:1B11解剖実習室

＜神経解剖学＞

年月日	曜日	時限	授業項目（内容）	コアカリ項目				担当者
				第1層	第2層	第3層	第4層	
R7.9.4	木	5･6	神経解剖学総論	PS	02	03	01	未定
9.4	木	7･8	脊髄	PS	02	03	01	未定
9.8	月	5･6	脳幹	PS	02	03	01	未定
9.8	月	7･8	小脳、間脳	PS	02	03	01	未定
9.9	火	5･6	大脳の外形と皮質	PS	02	03	01	未定
9.9	火	7･8	辺縁系、大脳基底核、大脳髄質	PS	02	03	01	未定
9.11	木	5･6	髄膜、脳室、脳と脊髄の血管	PS	02	03	01	未定
9.11	木	7･8	伝導路　（ミニテスト1）	PS	02	03	01	未定
9.18	木	5･6	脊髄神経 1	PS	02	03	01	未定
9.18	木	7･8	脊髄神経 2	PS	02	03	01	未定
9.19	金	5･6	脳神経、自律神経系（ミニテスト2）	PS	02	03	01	未定
9.19	金	7･8	脳実習1:脳の概観、髄膜、脳の血管系（レポート1）	PS	02	03	01	全教員
9.25	木	5･6	脳実習2:脳神経根糸の同定（レポート2）	PS	02	03	01	全教員
9.25	木	7･8	脳実習3:脳幹の外面、小脳と第4脳室（ミニテスト3）（レポート3）	PS	02	03	01	全教員
9.26	金	5･6	脳実習4:延髄、橋、中脳と小脳の断面（レポート4）	PS	02	03	01	全教員
9.26	金	7･8	脳実習5:大脳の切半と第3脳室、大脳皮質、嗅脳（ミニテスト4）	PS	02	03	01	全教員
10.2	木	5･6	脳実習6:大脳の連合線維、側脳室と大脳基底核（レポート5）	PS	02	03	01	全教員
10.2	木	7･8	脳実習7:間脳、大脳と間脳の断面（ミニテスト5）（レポート6）	PS	02	03	01	全教員
10.9	木	1･2	神経解剖学試験					全教員

組織解剖学各論
【Special Histology】

担当責任者 教授（第2解剖学） 森本 景之

ねらい

1. 医学の基礎として、人体を構成する器官の正常構造を理解する。
2. 細胞の微細構造を理解する。
3. 細胞集団としての組織・臓器の構成、機能分化を理解する。
4. 精緻な観察力の涵養を図る。
5. 医学教育の成立する社会的基盤について理解する。

人体の正常構造を理解することは、医学においてもっとも基礎となる。組織解剖学各論では、総論で学んだ知識を基に、臓器毎にその詳細な構造を機能と関連させて理解する。人体の構造を深く理解するためには、講義、自習とともに、実習において深い観察を行うことが非常に重要である。組織解剖学各論の講義・実習において、光学顕微鏡を通して、細胞と組織の構造と機能の理解を得ることは、人体の正しい理解に必須である。加えて、医学・生物学への電子顕微鏡の導入による細胞と組織の超微形態学を把握することは、分子生物学、免疫学等の正しい理解にも連結する。

解剖学、組織学における実習は献体という多くの人々の善意によって初めて行うことができるものである。医学教育は多くの方々の協力の上に成り立っていることを忘れてはならない。このことは、基礎医学、臨床医学、産業医学を修得し、医師となる上でとくに重要である。自己を理解し、様々な人の支えによって医学を学ぶ機会が得られたことへの感謝と敬意の念を持ち、学習の成果を社会に還元していただきたい。

1. 人体の細胞および組織の構造と機能を顕微鏡的に理解する。
2. 固定・薄切された細胞・組織の顕微鏡像から生体における三次元的構造を理解する。

学修目標

1. 各器官を構成する組織を列挙し、その構造と機能を説明することができる。（Ⅱ−1）
2. 各組織を構成する細胞を列挙し、その構造と機能を説明することができる。（Ⅱ−1）
3. 各細胞の微細構造と機能を説明することができる。（Ⅱ−1）
4. 各顕微鏡標本の組織学的所見を説明することができる。（Ⅱ−1）

事前事後学習の方法

1. 事前学習として、教科書等で講義・実習の該当箇所に目を通す。
2. 事後学習として、講義プリント、実習スケッチ等を用いて、到達目標を達成する。

成績評価方法・基準

1. 小テスト（全10回）、グループ学習、実習スケッチ、画像試験の結果を基に、出席・実習状況を加味して、総合的に判定する。
2. 100点満点換算で、A、B、C、D、Fの5段階評価とする。

○ **教 科 書**（指定）

Anthony L. Mescher著、坂井建夫/川上速人監訳「ジュンケイラ組織学」第6版、2024年(丸善出版)

○ **参 考 書**

藤田尚男/藤田恒夫原著、岩永敏彦改訂「標準組織学 総論」第6版、2022年（医学書院）

藤田尚男/藤田恒夫原著、岩永敏彦/石村和敬改訂「標準組織学 各論」第6版、2022年（医学書院）

藤田尚男他訳「Sobotta 実習 人体組織学図譜」第5版、2005年（医学書院）

内山安男監訳「組織細胞生物学」原書第5版、2022年(南江堂)

2 年 次

講義:2301講義室
実習:2303実習室

年月日	曜日	時限	授業項目（内容）	コアカリ項目				担当者
				第1層	第2層	第3層	第4層	
R7.4.30	水	5	組織学総論復習					全教員
4.30	水	6	オリエンテーション	PR	01 02	01 01	02 01	全教員
5.7	水	5･6	組織学各論1:脈管	PS	01 02 02	02 02 06	12 01 01	森本 景之
5.7	水	7･8	組織学各論実習1:脈管	PS	01 02 02	02 02 06	12 01 01	全教員
5.12	月	3･4	組織学各論2:消化器1(舌、歯、唾液腺)	PS	01 02 02	02 08 16	10,17 01 01	森本 景之
5.12	月	5･6	組織学各論実習2:消化器1(唾液腺)	PS	01 02 02	02 08 16	10 01 01	全教員
5.12	月	7･8	組織学各論実習3:消化器2(舌、歯)	PS	01 02 02	02 08 16	17 01 01	全教員
5.14	水	3･4	小テスト 組織学各論3:消化器2(咽頭、食道、胃)	PS	02	08 16	01 01	馬場 良子
5.14	水	5･6	組織学各論実習4:消化器3(食道)	PS	02	08	01	全教員
5.14	水	7･8	組織学各論実習5:消化器4(胃)	PS	02	08	01	全教員
5.21	水	3･4	組織学各論4:消化器3(小腸、大腸)	PS	02	08	01	馬場 良子
5.21	水	5･6	組織学各論実習6:消化器5(小腸)	PS	02	08	01	全教員
5.21	水	7･8	組織学各論実習7:消化器6(大腸)	PS	02	08	01	全教員
5.28	水	3･4	組織学各論5:消化器4(肝、胆、膵)	PS	02	08	01	森本 景之
5.28	水	5･6	組織学各論実習8:消化器7(肝)	PS	02	08	01	全教員
5.28	水	7･8	組織学各論実習9:消化器8(胆、膵)	PS	02	08	01	全教員
6.2	月	3･4	小テスト 組織学各論6:呼吸器	PS	01 02 02	02 07 16	17 01 01	馬場 良子
6.2	月	5･6	組織学各論実習10:呼吸器1(喉頭、気管)	PS	02	07 16	01 01	全教員
6.2	月	7･8	組織学各論実習11:呼吸器2(肺)	PS	02	07	01	全教員
6.4	水	3･4	組織学各論7:泌尿器	PS	02	09	01	馬場 良子
6.4	水	5･6	組織学各論実習12:泌尿器1(腎)	PS	02	09	01	全教員
6.4	水	7･8	組織学各論実習13:泌尿器2(尿管、膀胱)	PS	02	09	01	全教員
6.11	水	1･2	グループ学習	LL IT	02 03	01 02	01 01	全教員
6.11	水	3･4	小テスト 組織学各論8:内分泌1	PS	01 02	02 14	06,19 01	國分 啓司
6.11	水	5～8	組織学各論実習14･15:内分泌1･2(下垂体、松果体)	PS	01 02	02 14	06,19 01	全教員
6.13	金	1･2	グループ学習	LL IT	02 03	01 02	01 01	全教員

講義:2301講義室
実習:2303実習室

年月日	曜日	時限	授業項目(内容)	コアカリ項目				担当者
				第1層	第2層	第3層	第4層	
6.13	金	3・4	組織学各論9:内分泌2	PS	02	14	01	國分 啓司
6.13	金	5・6	組織学各論実習16:内分泌3(甲状腺、副腎)	PS	02	14	01	全教員
6.16	月	2～4	小テスト 組織学各論10・11:男性生殖器1・2	PS	02	09 10	01 01	森本 景之
6.16	月	5・6	組織学各論実習17:男性生殖器1(精巣、精管)	PS	02	09	01	全教員
6.16	月	7・8	組織学各論実習18:男性生殖器2(付属性腺、陰茎)	PS	02	09 10	01 01	全教員
6.20	金	2～4	小テスト 組織学各論12・13:女性生殖器1・2	PS	02	10 11 13	01 01 01	森本 景之
6.20	金	5・6	組織学各論実習19:女性生殖器1(卵巣、卵管)	PS	02	10	01	全教員
6.20	金	7・8	組織学各論実習20:女性生殖器2(子宮、胎盤、臍帯)	PS	02	10 11	01 01	全教員
6.23	月	2～4	小テスト 組織学各論14:中枢神経系	PS	01 02	02 03	13 01	國分 啓司
6.23	月	5～8	組織学各論実習21・22:中枢神経系1・2	PS	02	03	01	全教員
6.27	金	5・6	小テスト 組織学各論15:外皮	PS	01 02	02 04	10,17 01	馬場 良子
6.27	金	7・8	組織学各論16:平衡聴覚器	PS	01 02	02 16	17 01	國分 啓司
6.30	月	5・6	組織学各論実習23:外皮	PS	02	04	01	全教員
6.30	月	7・8	組織学各論実習24:平衡聴覚器	PS	02	16	01	全教員
7.2	水	2～4	組織学各論17・18:視覚器	PS	01 02	02 15	17 01	國分 啓司
7.2	水	5・6	組織学各論実習25:視覚器1(眼球)	PS	02	15	01	全教員
7.2	水	7・8	組織学各論実習26:視覚器2(視神経、眼瞼)	PS	02	15	01	全教員
7.7	月	3・4	グループ学習	LL IT	02 03	01 02	01 01	全教員
7.7	月	5・6	小テスト 組織学各論19:リンパ性器官1	PS	01 02	03 02	18 01	森本 景之
7.7	月	7・8	組織学各論実習27:リンパ性器官1(胸腺、リンパ節)	PS	01 02	03 02	18 01	全教員
7.11	金	3・4	グループ学習3	LL IT	02 03	01 02	01 01	全教員
7.14	月	3・4	組織学各論20:リンパ性器官2	PS	01 02	03 02	18 01	森本 景之
7.14	月	5～8	組織学各論実習28・29:リンパ性器官2・3(扁桃、脾臓)	PS	01 02	03 02	18 01	全教員
7.16	水	3・4	小テスト 実習:総括、標本回収					全教員
9.1	月	5～8	画像試験					全教員

生理学（動物性機能）
【Physiology（animal function)】

担当責任者　教授（第1生理学）　丸山 崇

ねらい

1. 正常な生体機能がどのような機序で発現し、維持されているかを統合的に理解する。
2. 生理学の分野のうち、特に動物性機能について理解を深める。
3. 運動、感覚、自律機能さらに高次機能等についての基本的概念と基本的知識を体系的に把握する。
4. 以上の知識を基として、生体機能の恒常性維持の観点から、これらの概念、知識に基づき人体機能を統合的に理解する。
5. 生理学は論理を重視する学問であり、単に知識を身につけただけでは将来医学における未知の問題に対処することができないことを理解する。
6. 実験の方法論や実験結果を分析し、結論を生み出す論理的な思考能力を身につける。
7. 産業医学における諸問題の解決や予防のために果たす生理学の役割を理解する。

学修目標

1. 神経・筋に関する基本的メカニズムを理解し、医学的・科学的意義を説明できる。（Ⅱ-1,Ⅱ-5,Ⅴ-1）
2. 感覚器における刺激受容と情報処理機構を理解し、医学的な問題と関連づけて説明できる。（Ⅱ-1,Ⅱ-5,Ⅴ-1）
3. 生体信号の末梢・中枢内での情報伝達機能を理解し、医学的・科学的意義を説明することができる。（Ⅱ-1,Ⅴ-1）
4. 中枢神経系による運動の形成と制御機構を理解し、運動・行動の生理的機序を説明することができる。（Ⅱ-1,Ⅱ-4）
5. 生命維持にとって最も基本的な内分泌系や自律神経系の働きを理解し、医学的・科学的意義を説明できる。（Ⅱ-1,Ⅱ-5,Ⅴ-1）
6. 情動・本能行動の発現機序を理解し、医学的・科学的意義を説明することができる。（Ⅱ-1,Ⅱ-4,Ⅴ-1）
7. 認知、学習、記憶等高次機能が形成される過程およびストレス、睡眠、摂食等のメカニズムを説明できる。（Ⅱ-1,Ⅱ-3,Ⅴ-1）
8. 産業医学における諸問題について例を挙げて、その解決や予防のための生理学の役割を説明できる。（Ⅱ-8,Ⅲ-1,Ⅴ-1）

事前事後学習の方法

1. シラバスに記載されている授業項目について、参考書などで事前に予習しておくこと。
2. 配布された講義プリントおよび参考書などを参照して、講義内容の復習を行うこと。

成績評価方法・基準

1. 講義後確認テスト（約1割）、実習レポート（約3割）、復習テスト①②（合わせて約6割）の結果をもとに出席状況およびレポート提出状況を加味し、受講実習態度を含めて総合的に判定する。
2. 100点満点換算で、A、B、C、D、Fの5段階評価とする。

○ 教 科 書

特に指定しない。

○ 参 考 書

監訳：本間研一 「標準生理学」（第9版） 医学書院

共訳：岡田泰伸　井上真澄　上田陽一　他 「ギャノング生理学」（原書26版） 丸善

生理学（植物性機能）
【Physiology(vegetative function)】

担当責任者 教授（第1生理学） 丸山 崇

ねらい

信頼される医療を行うために、人体の植物機能である呼吸・循環・消化・内分泌調節・排尿・エネルギー代謝がどのように整合的・合理的に営まれているかを理解し、生命に対する深い洞察力を身につける。さらに植物機能を評価する方法を習得する。

学修目標

1. 物質移動（Ⅱ-1）
   a 組織・細胞レベルでの物質移動の基本メカニズムについて説明できる。
   b 液中のイオン濃度の測定および細胞の電気的活動の測定ができる。
2. 循環（Ⅱ-1，Ⅱ-3）
   a 興奮伝導について、構造的特徴とイオンチャネルメカニズムについて説明できる。
   b 膜興奮と心収縮および心電図との関連を説明できる。
   c 冠循環の特徴を説明できる。
   d 心拍出量の測定方法を述べることができる。
   e 血圧の液性および神経性調節を説明できる。
3. 消化（Ⅱ-1，Ⅱ-3）
   a 消化酵素の種類とその基質、および分泌機序を説明できる。
   b 胃酸の分泌機序およびそれに対する防御機構を述べることができる。
   c 消化管の電気現象と蠕動運動との関連を説明できる。
   d 肝汁の生成と排泄、および消化における役割を説明できる。
4. 排尿（Ⅱ-1，Ⅱ-3）
   a 尿の濃縮に関わる構造と濃縮機序について説明できる。
   b 種々の利尿薬の作用点を列挙できる。
   c 尿生成に関連するホルモンを列挙し、その作用機序を説明できる。
   d 尿生成における神経性調節を説明できる。
   e 腎臓による酸・塩基平衡の機序について説明できる。
   f 糸球体における濾過の機序について説明できる。
5. 運動とエネルギー代謝との関連について説明できる。（Ⅱ-1，Ⅱ-3）
6. 呼吸（Ⅱ-1，Ⅱ-3）
   a 換気の仕組みを説明できる。
   b 肺胞におけるガス交換、および血液によるガス運搬を説明できる。
   c 肺気量について説明できる。
7. 内分泌調節（Ⅱ-1，Ⅱ-3）
   a ストレスと成長に関与するホルモンの名前を列挙し、その作用機序を説明できる。
   b 水・電解質の調節に関与するホルモンの名前を列挙し、その作用機序を説明できる。
   c Caイオンの調節に関与するホルモンの名前を列挙し、その作用機序を説明できる。
   d 生殖に関連するホルモンの名前を列挙し、その作用機序を説明できる。
   e 高血糖によるインスリンの分泌機序、およびインスリンの作用機序を説明できる。
8. 生命現象の巧妙さを感じ、それを客観的に表現できる。（Ⅱ-1，Ⅱ-3）

事前事後学習の方法

1. シラバスに記載されている授業項目について、参考書などで事前に予習しておくこと。
2. 配布された講義プリントおよび参考書などを参照して、講義内容の復習を行うこと。

成績評価方法・基準

1. 出席状況（1割）・実習レポート（2割）・復習テスト（1割）・小テストおよび復習テスト（合わせて6割）に受講・実習態度を加味して判定する。
2. 100点満点換算で、A、B、C、D、Fの5段階評価とする。

○ 教 科 書

特に指定しない。

○ 参 考 書

監訳：本間研一 「標準生理学」（第9版）医学書院
共訳：岡田泰伸 井上真澄 上田陽一 他 「ギャノング生理学」（原書26版） 丸善

2 年 次

講義:2301講義室
実習:2304実習室

年月日	曜日	時限	授業項目（内容）	コアカリ項目				担当者
				第1層	第2層	第3層	第4層	
R7.4.1	火	5	神経生理学の概論(Ⅰ)(講義後確認テスト) (動物性)	PS	02	03	01	丸山 崇(1生理)
4.1	火	6	神経生理学の概論(Ⅱ)(講義後確認テスト) (動物性)	PS	02	03	01	丸山 崇(1生理)
4.2	水	5	神経生理学の歴史(Ⅰ)(講義後確認テスト) (動物性)	SO	04	05	01	丸山 崇(1生理)
4.2	水	6	神経生理学の歴史(Ⅱ)(講義後確認テスト) (動物性)	SO	04	05	01	丸山 崇(1生理)
4.2	水	7	興奮性膜(Ⅰ)(講義後確認テスト) (動物性)	PS	01	02	01	丸山 崇(1生理)
4.2	水	8	興奮性膜(Ⅱ)(講義後確認テスト) (動物性)	PS	01	02	01	丸山 崇(1生理)
4.3	木	1	医学生理学の概論 (植物性)	RE PS	02 01	01 02	01 02, 30	原田 景太(2生理)
4.3	木	2	循環:心臓(Ⅰ) (植物性)	PS	01	02	14	原田 景太(2生理)
4.3	木	3	循環:心臓(Ⅱ) (植物性)	PS	02	06	01	原田 景太(2生理)
4.3	木	4	循環:心臓(Ⅲ)(講義後確認テスト) (植物性)	PS	02	06	01	原田 景太(2生理)
4.4	金	5	イオンチャネル(Ⅰ)(講義後確認テスト) (動物性)	PS	01	02	02	丸山 崇(1生理)
4.4	金	6	イオンチャネル(Ⅱ)(講義後確認テスト) (動物性)	PS	01	02	02	丸山 崇(1生理)
4.4	金	7	シナプス伝達(Ⅰ)(講義後確認テスト) (動物性)	PS	01	02	03	丸山 崇(1生理)
4.4	金	8	シナプス伝達(Ⅱ)(講義後確認テスト) (動物性)	PS	01	02	03	丸山 崇(1生理)
4.7	月	1	大脳の構造と機能(Ⅰ)(講義後確認テスト) (動物性)	PS	02	03	01	丸山 崇(1生理)
4.7	月	2	大脳の構造と機能(Ⅱ)(講義後確認テスト) (動物性)	PS	02	03	01	丸山 崇(1生理)
4.7	月	3	大脳の構造と機能(Ⅲ)(講義後確認テスト) (動物性)	PS	02	03	02	丸山 崇(1生理)
4.7	月	4	大脳の構造と機能(Ⅳ)(講義後確認テスト) (動物性)	PS	02	03	04	丸山 崇(1生理)
4.9	水	5	体液:酸 塩基(Ⅰ) (植物性)	PS	02	09	01	原田 景太(2生理)
4.9	水	6	体液:酸 塩基(Ⅱ)(講義後確認テスト) (植物性)	PS	01	02	19	原田 景太(2生理)
4.9	水	7	体液:浸透圧循環動態(Ⅰ) (植物性)	PS	01	02	01	原田 景太(2生理)
4.9	水	8	体液:浸透圧循環動態(Ⅱ)(講義後確認テスト) (植物性)	PS	01	02	19	原田 景太(2生理)
4.10	木	1	循環:心臓(Ⅳ) (植物性)	PS	01	02	14	原田 景太(2生理)
4.10	木	2	循環:心臓(Ⅴ) (植物性)	PS	02	06	01	原田 景太(2生理)
4.10	木	3	循環:心臓(Ⅵ) (植物性)	PS	02	06	01	原田 景太(2生理)
4.10	木	4	循環:心臓(Ⅶ)(講義後確認テスト) (植物性)	PS	02	06	01	原田 景太(2生理)
4.11	金	5	生理学と産業医学(Ⅰ)(講義後確認テスト) (動物性)	SO	01	04	01	山田誠二(1生理学外)
4.11	金	6	生理学と産業医学(Ⅱ)(講義後確認テスト) (動物性)	SO	01	04	01	山田誠二(1生理学外)
4.11	金	7	生理学と産業医学(Ⅲ)(講義後確認テスト) (動物性)	SO	01	04	03	山田誠二(1生理学外)
4.11	金	8	生理学と産業医学(Ⅳ)(講義後確認テスト) (動物性)	SO	01	04	03	山田誠二(1生理学外)
4.17	木	1	血液(Ⅰ) (植物性)	PS	01	03	18	原田 景太(2生理学)
4.17	木	2	血液(Ⅱ) (植物性)	PS	02	02	01	原田 景太(2生理)
4.17	木	3	血液(Ⅲ) (植物性)	PS	02	02	01	原田 景太(2生理)
4.17	木	4	血液(Ⅳ)(講義後確認テスト) (植物性)	PS	02	02	01	原田 景太(2生理)
4.21	月	1	運動の制御～小脳(Ⅰ)(講義後確認テスト) (動物性)	PS	02	03	01	丸山 崇(1生理)
4.21	月	2	運動の制御～小脳(Ⅱ)(講義後確認テスト) (動物性)	PS	02	03	02	丸山 崇(1生理)
4.22	火	1	運動の制御～脳幹大脳基底核(Ⅰ)(講義後確認テスト) (動物性)	PS	02	03	01	丸山 崇(1生理)
4.22	火	2	運動の制御～脳幹大脳基底核(Ⅱ)(講義後確認テスト) (動物性)	PS	02	03	02	丸山 崇(1生理)
4.22	火	3	運動の制御～脊髄(Ⅰ)(講義後確認テスト) (動物性)	PS	02	03	01	丸山 崇(1生理)
4.22	火	4	運動の制御～脊髄(Ⅱ)(講義後確認テスト) (動物性)	PS	02	03	02	丸山 崇(1生理)
4.24	木	1	呼吸(Ⅰ) (植物性)	PS	02	07	01	原田 景太(2生理)
4.24	木	2	呼吸(Ⅱ) (植物性)	PS	02	07	01	原田 景太(2生理)
4.24	木	3	呼吸(Ⅲ) (植物性)	PS	02	07	01	原田 景太(2生理)
4.24	木	4	呼吸(Ⅳ)(講義後確認テスト) (植物性)	PS	02	07	01	原田 景太(2生理)

講義:2301講義室
実習:2304実習室

年月日	曜日	時限	授業項目(内容)		コアカリ項目				担当者
					第1層	第2層	第3層	第4層	
5.1	木	1	体液の中枢性調節(Ⅰ)	(植物性)	PS	02	09	01	原田 景太(2生理)
5.1	木	2	体液の中枢性調節(Ⅱ)(講義後確認テスト)	(植物性)	PS	01	02	19	原田 景太(2生理)
5.1	木	3	呼吸の中枢性調節(Ⅰ)	(植物性)	PS	02	07	01	原田 景太(2生理)
5.1	木	4	呼吸の中枢性調節(Ⅱ)(講義後確認テスト)	(植物性)	PS	01	02	19	原田 景太(2生理)
5.2	金	1	感覚(Ⅰ)(講義後確認テスト)	(動物性)	PS	02	03	01	丸山 崇(1生理)
5.2	金	2	感覚(Ⅱ)(講義後確認テスト)	(動物性)	PS	02	03	02	丸山 崇(1生理)
5.2	金	3	痛覚(Ⅰ)(講義後確認テスト)	(動物性)	PS	02	03	01	丸山 崇(1生理)
5.2	金	4	痛覚(Ⅱ)(講義後確認テスト)	(動物性)	PS	02	03	02	丸山 崇(1生理)
5.15	木	1	循環:血圧(Ⅰ)	(植物性)	PS	01	04	14	原田 景太(2生理学)
5.15	木	2	循環:血圧(Ⅱ)	(植物性)	PS	02	06	01	原田 景太(2生理学)
5.15	木	3	循環:血圧(Ⅲ)	(植物性)	PS	02	06	01	原田 景太(2生理学)
5.15	木	4	循環:血圧(Ⅳ)(講義後確認テスト)	(植物性)	PS	02	06	01	原田 景太(2生理学)
5.19	月	1	味覚(講義後確認テスト)	(動物性)	PS	02	03	01	丸山 崇(1生理)
5.19	月	2	嗅覚(講義後確認テスト)	(動物性)	PS	02	03	01	丸山 崇(1生理)
5.19	月	3	視覚(Ⅰ)(講義後確認テスト)	(動物性)	PS	02	03	01	丸山 崇(1生理)
5.19	月	4	視覚(Ⅱ)(講義後確認テスト)	(動物性)	PS	02	03	01	丸山 崇(1生理)
5.22	木	1	内分泌:(Ⅰ)	(植物性)	PS	01	02	05	原田 景太(2生理学)
5.22	木	2	内分泌:(Ⅱ)	(植物性)	PS	01	02	06	原田 景太(2生理)
5.22	木	3	内分泌:(Ⅲ)	(植物性)	GE	03	04	01	原田 景太(2生理)
5.22	木	4	内分泌:(Ⅳ)(講義後確認テスト)	(植物性)	PS	02	10 11	01 01	原田 景太(2生理)
5.23	金	1	体温調節(Ⅰ)	(植物性)	PS	01	02	19	原田 景太(2生理)
5.23	金	2	体温調節(Ⅱ)(講義後確認テスト)	(植物性)	PS	01	02	19	原田 景太(2生理)
5.26	月	1	筋の生理学(Ⅰ)(講義後確認テスト)	(動物性)	PS	02	05	01	丸山 崇(1生理)
5.26	月	2	筋の生理学(Ⅱ)(講義後確認テスト)	(動物性)	PS	01	02	14	丸山 崇(1生理)
5.26	月	3	摂食行動の生理学(Ⅰ)(講義後確認テスト)	(動物性)	PS	02	03	01	花田礼子(1生理学外)
5.26	月	4	摂食行動の生理学(Ⅱ)(講義後確認テスト)	(動物性)	PS	02	14	01	花田礼子(1生理学外)
5.27	火	1	視床下部と辺縁系(Ⅰ)(講義後確認テスト)	(動物性)	PS	02	03	01	丸山 崇(1生理)
5.27	火	2	視床下部と辺縁系(Ⅱ)(講義後確認テスト)	(動物性)	PS	02	03	02	丸山 崇(1生理)
5.27	火	3	脳と情動(Ⅰ)(講義後確認テスト)	(動物性)	PS	02	03	01	丸山 崇(1生理)
5.27	火	4	脳と情動(Ⅱ)(講義後確認テスト)	(動物性)	PS	02	17	02	丸山 崇(1生理)
5.29	木	1	加齢の生理学(Ⅰ)	(植物性)	GE	03	05	01	原田 景太(2生理)
5.29	木	2	加齢の生理学(Ⅱ)(講義後確認テスト)	(植物性)	GE PS	03 01	05 02	04 33	原田 景太(2生理)
5.29	木	3	消化管(Ⅰ)	(植物性)	PS	02	08	01	原田 景太(2生理)
5.29	木	4	消化管(Ⅱ)(講義後確認テスト)	(植物性)	PS	02	08	01	原田 景太(2生理)
5.30	金	1	神経内分泌の基礎(Ⅰ)(講義後確認テスト)	(動物性)	PS	02	03	01	丸山 崇(1生理)
5.30	金	2	神経内分泌の基礎(Ⅱ)(講義後確認テスト)	(動物性)	PS	02	03	02	丸山 崇(1生理)
5.30	金	3	神経内分泌の基礎(Ⅲ)(講義後確認テスト)	(動物性)	PS	01	02	06	丸山 崇(1生理)
5.30	金	4	神経内分泌の基礎(Ⅳ)(講義後確認テスト)	(動物性)	PS	02	14	01	丸山 崇(1生理)
6.2	月	1	消化管(Ⅲ)	(植物性)	PS	02	08	01	原田 景太(2生理)
6.2	月	2	消化管(Ⅳ)(講義後確認テスト)	(植物性)	PS	02	08	01	原田 景太(2生理)
6.5	木	1	消化管(Ⅴ)	(植物性)	PS	02	08	01	原田 景太(2生理)
6.5	木	2	消化管(Ⅵ)	(植物性)	PS	02	08	01	原田 景太(2生理)
6.5	木	3	消化管(Ⅶ)	(植物性)	PS	02	08	01	原田 景太(2生理)
6.5	木	4	消化管(Ⅷ)(講義後確認テスト)	(植物性)	PS	02	08	01	原田 景太(2生理)
6.6	金	1	自律神経の基礎(Ⅰ)(講義後確認テスト)	(動物性)	PS	02	03	01	丸山 崇(1生理)
6.6	金	2	自律神経の基礎(Ⅱ)(講義後確認テスト)	(動物性)	PS	02	03	02	丸山 崇(1生理)

2 年 次

講義:2301講義室
実習:2304実習室

年月日	曜日	時限	授業項目（内容）	コアカリ項目				担当者
				第1層	第2層	第3層	第4層	
6.6	金	3	ストレスの生理学(Ⅰ)(講義後確認テスト)　(動物性)	PS	02	03	01	丸山 崇(1生理)
6.6	金	4	ストレスの生理学(Ⅱ)(講義後確認テスト)　(動物性)	PS	02	03	02	丸山 崇(1生理)
6.9	月	1	睡眠と生体リズム(Ⅰ)(講義後確認テスト)　(動物性)	PS	02	03	01	丸山 崇(1生理)
6.9	月	2	睡眠と生体リズム(Ⅱ)(講義後確認テスト)　(動物性)	PS	02	03	01	丸山 崇(1生理)
6.9	月	3	睡眠と生体リズム(Ⅲ)(講義後確認テスト)　(動物性)	PS	02	03	02	丸山 崇(1生理)
6.9	月	4	睡眠と生体リズム(Ⅳ)(講義後確認テスト)　(動物性)	PS	02	03	02	丸山 崇(1生理)
6.12	木	1	肝胆膵(Ⅰ)　(植物性)	PS	02	08	01	原田 景太(2生理)
6.12	木	2	肝胆膵(Ⅱ)　(植物性)	PS	01	02	28	原田 景太(2生理)
6.12	木	3	肝胆膵(Ⅲ)　(植物性)	PS	01	02	29	原田 景太(2生理)
6.12	木	4	肝胆膵(Ⅳ)(講義後確認テスト)　(植物性)	PS	01	02	30, 31	原田 景太(2生理)
6.18	水	5	聴覚と前庭機能(Ⅰ)(講義後確認テスト)　(動物性)	PS	02	03	01	稲永清敏(1生理学外)
6.18	水	6	聴覚と前庭機能(Ⅱ)(講義後確認テスト)　(動物性)	PS	02	03	01	稲永清敏(1生理学外)
6.18	水	7	聴覚と前庭機能(Ⅲ)(講義後確認テスト)　(動物性)	PS	02	03	01	稲永清敏(1生理学外)
6.19	木	1	腎臓(Ⅰ)　(植物性)	PS	02	09	01	宮崎 三枝子(2生理学外)
6.19	木	2	腎臓(Ⅱ)　(植物性)	PS	02	09	01	宮崎 三枝子(2生理学外)
6.19	木	3	腎臓(Ⅲ)　(植物性)	PS	02	09	01	宮崎 三枝子(2生理学外)
6.19	木	4	腎臓(Ⅳ)(講義後確認テスト)　(植物性)	PS	02	09	01	宮崎 三枝子(2生理学外)
6.19	木	5	心電図(Ⅰ)(講義後確認テスト)　(動物性)	PS	02	06	01	藤田孝之(1生理学外)
6.19	木	6	心電図(Ⅱ)(講義後確認テスト)　(動物性)	PS	02	06	01	藤田孝之(1生理学外)
6.19	木	7	心電図(Ⅲ)(講義後確認テスト)　(動物性)	PS	02	06	01	藤田孝之(1生理学外)
6.19	木	8	心電図(Ⅳ)(講義後確認テスト)　(動物性)	PS	02	06	01	藤田孝之(1生理学外)
6.26	木	1	健康と運動(Ⅰ)　(植物性)	PS	01	02	35	原田 景太(2生理)
6.26	木	2	健康と運動(Ⅱ)　(植物性)	PS	01	02	36	原田 景太(2生理)
6.26	木	3	健康と運動(Ⅲ)(講義後確認テスト)　(植物性)	SO	04	01	01	原田 景太(2生理)
6.30	月	3	復習テスト①　(動物性)	PS	02	03	01	丸山 崇(1生理)
6.30	月	4	復習テスト①の解説　(動物性)	PS	02	03	01	丸山 崇(1生理)
7.1	火	1	糖代謝(Ⅰ)　(植物性)	PS	01	04	07	原田 景太(2生理)
7.1	火	2	糖代謝(Ⅱ)　(植物性)	PS	01	04	07	原田 景太(2生理)
7.1	火	3	糖代謝(Ⅲ)　(植物性)	PS	01	04	07	原田 景太(2生理)
7.1	火	4	糖代謝(Ⅳ)(講義後確認テスト)　(植物性)	PS	01	04	07	原田 景太(2生理)
7.3	木	3～4	小テスト＋小テストの解説　(植物性)					原田 景太(2生理)
7.4	金	5～8	実習オリエンテーション					生理合同
7.8	火	5～8	実習①					生理合同
7.9	水	5～8	実習②					生理合同
7.10	木	5～8	実習③					生理合同
7.11	金	5～8	実習④					生理合同
7.15	火	5～8	実習⑤					生理合同
7.16	水	5～8	実習⑥					生理合同
7.17	木	5～8	実習⑦					生理合同
7.18	金	5～8	実習⑧					生理合同
9.2	火	1	神経生理学総括　(動物性)	PS	02	03	01	丸山 崇(1生理)
9.2	火	2	神経生理学総括　(動物性)	PS	02	03	01	丸山 崇(1生理)
9.2	火	3	復習テスト②　(動物性)	PS	02	03	01	丸山 崇(1生理)
9.2	火	4	復習テスト②の解説　(動物性)	PS	02	03	01	丸山 崇(1生理)
9.3	水	1～4	復習テスト　(植物性)					原田 景太(2生理)

薬理学
【Pharmacology】

担当責任者 教授（薬理学） 高橋 富美

ねらい

薬と生体の相互作用に関する知識を修得し、薬物治療の基本原理を理解する。また、医薬品開発の現状について学ぶ。

学修目標

1. 生体における薬物ターゲットと作用発現のメカニズムを説明できる。（Ⅱ-1）
2. 薬物の体内動態とそれに影響を与える要因について説明できる。（Ⅱ-6）
3. 薬物の有害反応について例をあげて説明できる。（Ⅱ-6）
4. 医薬品開発の現状と問題点を説明できる。（Ⅱ-12）
5. 薬物治療の基本原理を主な疾患について説明できる。（Ⅱ-6）

事前事後学習の方法

1. シラバスに記載されている授業項目について、参考書などで事前に予習しておくこと。
2. 配布された講義資料を参考にして講義内容の復習をすること。

成績評価方法・基準

1. 復習テスト、レポート、講義ごとの小テストなどの結果および受講態度に基づき総合的に判断する。
2. A、B、C、D、Fの5段階評価とし、Fを不合格とする。

○教 科 書

田中千賀子、加藤隆一 編 「New 薬理学 」（南江堂） 第8版

○参 考 書

Laurence Brunton, Bruce Chabner, Bjorn Knollman, “Goodman & Gilman’s The Pharmacological Basis of Therapeutics”
13th Edition (McGraw-Hill)

笹栗俊之、宮田篤郎 編 「ベッドサイドの薬理学」（丸善出版）

講義：2301講義室
実習：2204実験室、2205講義室
コンピューター実習室（大）

年月日	曜日	時限	授業項目（内容）	コアカリ項目				担当者
				第1層	第2層	第3層	第4層	
R7.9.11	木	1･2	総論①薬理学･臨床薬理学とは（小テスト）	CS	02	04	02	高橋 富美
9.11	木	3･4	総論②臨床薬効評価･医薬品開発（小テスト）	RE SO	05 02	02 02	01 05	高橋 富美
9.12	金	1～4	総論③薬物の体内動態（小テスト）	CS	02	04	02,04	有岡 将基
9.18	木	1～4	総論④薬物の作用機序（小テスト）	PS CS	01 02	03 04	31,32 04,09	高橋 富美
9.25	木	1～4	総論⑤薬物反応の個体差（小テスト）	GE PS CS	01 01 02	01 04 04	07 04 05	高橋 富美

2 年 次

講義:2301講義室
実習:2204実験室、2205講義室
コンピューター実習室(大)

年月日	曜日	時限	授業項目(内容)	コアカリ項目				担当者
				第1層	第2層	第3層	第4層	
10.2	木	1～4	総論⑥薬物有害反応／薬物相互作用(小テスト)	PS CS	01 02	03 04	33 04,06, 08	有岡 将基
10.10	金	1～4	総論⑦生理活性物質と薬理作用(小テスト)	PS	01	02	04,05, 06	石兼 真
10.17	金	1･2	総論復習テスト&解説					全教員
10.17	金	3･4	薬物処方の実際	CS	02	04	03,04, 05	植木 哲也
10.30	木	1～4	各論:中枢神経薬理①催眠･鎮静･鎮痛薬(小テスト)	PS CS	02 02	17 04	04 12	上野 晋
11.6	木	1～4	各論:中枢神経薬理②パーキンソン病薬･抗てんかん薬(小テスト)	PS	02	17	04	上野 晋
11.7	金	1～4	各論:中枢神経薬理③麻酔(小テスト)/治験の実際	CS	02	04	31,32	吉原 達也(学外)
11.11	火	5～10	実習①(レポート)	RE SO	05 02	02 02	01 05	全教員
11.13	木	1～4	各論:中枢神経薬理④抗精神病薬･抗うつ薬･抗不安薬(小テスト)	PS	02	17	04	上野 晋
11.14	金	1･2	各論:循環器薬理①降圧薬(小テスト)	PS	02	06	04	石兼 真
11.14	金	3･4	各論:循環器薬理②抗狭心症薬／血液･造血器薬理(小テスト)	PS	02	06 02	04 04	高橋 富美
11.18	火	5～10	実習②(レポート)	PS	02	17	04	全教員
11.20	木	1～4	各論:循環器薬理③心不全治療薬／抗不整脈薬(小テスト)	PS	02	06	04	石兼 真
11.25	火	5～10	実習③(レポート)	PS	02	06	04	全教員
11.28	金	1･2	各論前半復習テスト&解説					全教員
11.28	金	3･4	各論:免疫･アレルギー薬理(小テスト)	PS	03	02	04	高橋 富美
12.4	木	3･4	各論:炎症薬理(小テスト)	PS CS	01 02	04 04	15 13	高橋 富美
12.5	金	1～4	各論:消化器･泌尿器･生殖器薬理(小テスト)	PS	02	08 09 10	04 04 04	石兼 真
12.9	火	5～10	実習④(レポート)	CS	01 02	01 04	01-03 04	柳田 俊彦(学外)
12.11	木	1･2	各論:呼吸器薬理(小テスト)	PS	02	07	04	高橋 富美
12.11	木	3･4	各論:化学療法薬①(小テスト)	PS CS	03 02	04 04	25 10,13	有岡 将基
12.12	金	1～4	各論:化学療法薬②(小テスト)	PS PS CS	01 03 02	03 03 04	14,15 04 11	有岡 将基
12.18	木	1･2	各論:内分泌･代謝薬理①脂質･プリン･骨代謝(小テスト)	PS	02	14	04	有岡 将基
12.18	木	3･4	各論:内分泌･代謝薬理②糖尿病治療薬(小テスト)	PS	02	14	04	石兼 真
12.19	金	5～8	特別講義					上園 保仁(学外)
R8.1.15	木	2･3	総復習テスト&解説					全教員

基礎病理学
【Basic Pathology】

担当責任者 教 授（第1病理学） 久岡 正典
教 授（第2病理学） 中山 敏幸

ねらい　疾患の原因や発生機序と共に、侵された臓器や組織に生じる形態学的変化や機能傷害を理解する。病理学の研究手法の基本は形態学的観察であり、病理解剖学や病理組織学に加え組織化学や免疫組織化学、電子顕微鏡観察、分子病理学などを統合して、様々な病変に見られる特徴を把握し、身体に及ぼす影響についても理解することで、疾患の概念や関連する知識を包括的に習得する。

学修目標

1. 基礎病理学においては、医学全般で用いられる基本的学術用語を習得し、病気の成立に関する生物科学的基本原則を体系的に説明することができる。（Ⅱ-1，Ⅱ-3，Ⅱ-5，Ⅱ-6）
2. 病理学実習においては、剖検や生検、切除材料にみられる肉眼的あるいは組織学的所見を自らの眼で把握し、臓器・組織の病理学的変化を理解して詳述することができる。（Ⅱ-1，Ⅱ-3，Ⅱ-5，Ⅱ-6）

事前事後学習の方法

1. シラバスに記載されている授業項目について、参考書などを利用して事前に学習しておくこと。
2. 配布された講義資料や参考書などにより講義内容の復習をすること。

成績評価方法・基準

1. 筆記・実習試験、小テスト、レポート等を総合的に評価する。
2. 100点満点換算し、A、B、C、D、Fの5段階評価とする。
3. 試験の出題範囲は以下の通りとする。

   1) 第1病理学: 退行性病変、腫瘍、組織診と細胞診　2)第2病理学: 炎症、循環障害、感染症

   各担当講座別に試験等を実施する。

○ 教 科 書

特に指定しない。

○ 参 考 書

北川昌伸監修、仁木利郎・小田義直編、「標準病理学　第7版」 2023年、医学書院

小田義直、坂元亨宇、深山正久、松野吉宏、森永正二郎、森谷卓也編、「組織病理アトラス 第6版」 2015年、文光堂

青笹克之編「解明　病理学−病気のメカニズムを解く−第4版」 2021年、医歯薬出版株式会社

豊國伸哉、高橋雅英監訳、「ロビンス基礎病理学原書10版」 2018年、丸善

吉野正、小田義直、坂元亨宇、森井英一編、「カラーアトラス病理組織の見方と鑑別診断 第7版」 2020年、医歯薬出版

2 年 次

(1)講義　　講義:2301講義室

年月日	曜日	時限	授　業　項　目（内　容）	コアカリ項目				担　当　者
				第1層	第2層	第3層	第4層	
R7.12.10	水	1	退行性病変Ⅰ	PS	01	04	05	久岡　正典(1病理)
12.10	水	2	退行性病変Ⅱ・小テスト	PS	01	04	06	久岡　正典(1病理)
12.10	水	3	退行性病変Ⅲ	PS	01	04	07	久岡　正典(1病理)
12.10	水	4	退行性病変Ⅳ・小テスト	PS	01	04	08	久岡　正典(1病理)
12.10	水	5	炎症Ⅰ	PS	01	04	15	片渕　瑛介(2病理)
12.10	水	6	炎症Ⅱ	PS	01	04	15	片渕　瑛介(2病理)
12.10	水	7	炎症Ⅲ	PS	01	04	16	片渕　瑛介(2病理)
12.10	水	8	炎症Ⅳ	PS	01	04	16	片渕　瑛介(2病理)
12.11	木	5	退行性病変Ⅴ	PS	01	04	09	久岡　正典(1病理)
12.11	木	6	退行性病変Ⅵ・小テスト	PS	01	04	10	久岡　正典(1病理)
12.11	木	7	退行性病変Ⅶ	PS	01	04	11,12	久岡　正典(1病理)
12.12	金	5	腫瘍Ⅰ	PS	01	04	19	久岡　正典(1病理)
12.12	金	6	腫瘍Ⅱ・小テスト	PS	01	04	20,21	久岡　正典(1病理)
12.12	金	7	腫瘍Ⅲ	PS	03	04	04	久岡　正典(1病理)
12.12	金	8	腫瘍Ⅳ・小テスト	PS	01	04	22	久岡　正典(1病理)
12.15	月	2	腫瘍Ⅴ	PS	01	04	23	久岡　正典(1病理)
12.15	月	3	腫瘍Ⅵ	PS	01	04	24	久岡　正典(1病理)
12.15	月	4	腫瘍Ⅶ・小テスト	PS	03	04	01	久岡　正典(1病理)
12.17	水	1	炎症Ⅴ	PS	01	04	17	片渕　瑛介(2病理)
12.17	水	2	炎症Ⅵ	PS	01	04	17	片渕　瑛介(2病理)
12.17	水	3	炎症Ⅶ	PS	01	04	18	片渕　瑛介(2病理)
12.17	水	4	炎症Ⅷ・小テスト	PS	01	04	18	片渕　瑛介(2病理)
12.22	月	3	組織診と細胞診Ⅰ	PS	03	04	06	名和田　彩(1病理)
12.22	月	4	組織診と細胞診Ⅱ・小テスト	PS	03	04	06	名和田　彩(1病理)
12.24	水	1	感染症Ⅰ	PS	03	03	5	島尻　正平(2病理)
12.24	水	2	感染症Ⅱ	PS	03	03	6	島尻　正平(2病理)
12.24	水	3	感染症Ⅲ	PS	03	03	7	島尻　正平(2病理)
12.24	水	4	感染症Ⅳ・小テスト	PS	03	03	8	島尻　正平(2病理)
R8.1.7	水	1	循環障害Ⅰ	PS	01	04	13	中山　敏幸(2病理)
1.7	水	2	循環障害Ⅱ	PS	01	04	13	中山　敏幸(2病理)
1.7	水	3	循環障害Ⅲ	PS	01	04	14	中山　敏幸(2病理)
1.7	水	4	循環障害Ⅳ・小テスト	PS	01	04	14	中山　敏幸(2病理)
1.14	水	4	基礎病理学　試験　(1病理)	PS	03	04	07	久岡　正典(1病理)
1.22	木	2	基礎病理学　試験　(2病理)	PS	01 03	04 03	13-18 05-08	中山　敏幸(2病理)

(2)実習　　講義:6208コンピュータ実習室(大)

年月日	曜日	時限	授業項目(内容)	コアカリ項目				担当者
				第1層	第2層	第3層	第4層	
R7.12.15	月	5	退行性病変Ⅰ	PS	01	04	05	1病理全教員
12.15	月	6	退行性病変Ⅱ	PS	01	04	06	1病理全教員
12.15	月	7	退行性病変Ⅲ	PS	01	04	07	1病理全教員
12.15	月	8	退行性病変Ⅳ	PS	01	04	08	1病理全教員
12.16	火	5	退行性病変Ⅴ	PS	01	04	09	1病理全教員
12.16	火	6	退行性病変Ⅵ(レポート提出)	PS	01	04	10-12	1病理全教員
12.16	火	7	腫瘍Ⅰ	PS	01	04	19	1病理全教員
12.16	火	8	腫瘍Ⅱ	PS	01	04	20-23	1病理全教員
12.17	水	5	炎症Ⅰ	PS	01	04	15	片渕　瑛介(2病理)
12.17	水	6	炎症Ⅱ	PS	01	04	16	片渕　瑛介(2病理)
12.17	水	7	炎症Ⅲ	PS	01	04	17	片渕　瑛介(2病理)
12.17	水	8	炎症Ⅳ	PS	01	04	18	片渕　瑛介(2病理)
12.26	金	5	腫瘍Ⅲ	PS	01	04	24	1病理全教員
12.26	金	6	腫瘍Ⅳ	PS	03	04	01	1病理全教員
12.26	金	7	腫瘍Ⅴ	PS	03	04	04	1病理全教員
12.26	金	8	腫瘍Ⅵ(レポート提出)	PS	03	04	06	1病理全教員
R8.1.5	月	5	感染症Ⅰ	PS	03	03	5	島尻　正平(2病理)
1.5	月	6	感染症Ⅱ	PS	03	03	6	島尻　正平(2病理)
1.5	月	7	感染症Ⅲ	PS	03	03	7	島尻　正平(2病理)
1.5	月	8	感染症Ⅳ	PS	03	03	8	島尻　正平(2病理)
1.9	金	1	循環障害Ⅰ	PS	01	04	13	中山　敏幸(2病理)
1.9	金	2	循環障害Ⅱ	PS	01	04	13	中山　敏幸(2病理)
1.9	金	3	循環障害Ⅲ	PS	01	04	14	中山　敏幸(2病理)
1.9	金	4	循環障害Ⅳ	PS	01	04	14	中山　敏幸(2病理)

免疫学・寄生虫学
【Immunology and Parasitology】

担当責任者 教授(免疫学・寄生虫学) 長田 良雄

ねらい

＜免疫学＞

生体は病原微生物等の外来性の異物の侵入に対して即座に反応し、それらを排除することにより、生体の恒常性を維持しようとする働き(生体防御機構)を有している。したがって、この機構が破綻すると、生体の病的障害が引き起こされる。免疫学は生体防御の機構を細胞レベル、分子レベルで解明し、疾病の予防、治療に役立たせることを究明する学問である。それ故、免疫学の教育目標は、免疫系の構成要素を系統的に学習し、免疫反応に関与する細胞、因子の役割を理解し、免疫系の異常により生ずる種々の病的障害の機構を考察することにより、臨床医学を学ぶための基礎的知識を習得することである。

＜寄生虫学＞

寄生蠕虫、寄生原虫および衛生動物によって引き起こされる病害を正しく理解するための基本的な知識を習得し、的確に診断を下し、速やかに治療を行えるよう診断技術や思考方法を身につける。一方、感染症を地球規模で概観することにより、感染症の中には社会文化や生活習慣と密接に結びついて流行・蔓延する疾患があることを認識する。海外渡航者の健康問題についても理解し、適切な予防法を述べることができるようにする。

学修目標

＜免疫学＞

1. 自然免疫と獲得免疫の機構を説明できる。(Ⅱ-1, Ⅱ-5)
2. 免疫系の構成要素を列挙できる。(Ⅱ-1, Ⅱ-5)
3. 抗体産生機構とサイトカインの役割を説明できる。(Ⅱ-1, Ⅱ-5)
4. 抗原と抗体の構造と機能を説明できる。(Ⅱ-1, Ⅱ-5)
5. 抗原・抗体反応の機構を説明できる。(Ⅱ-1, Ⅱ-5)
6. 細胞性免疫の機構を説明できる。(Ⅱ-1, Ⅱ-5)
7. 移植抗原の構造と移植免疫反応の機構を説明できる。(Ⅱ-1, Ⅱ-5)
8. 癌免疫の機構を説明できる。(Ⅱ-1, Ⅱ-5)
9. アレルギーの機構を説明し、それに関連した疾患を列挙できる。(Ⅱ-1, Ⅱ-5)
10. 自己免疫の機構を説明し、それに関連した疾患を列挙できる。(Ⅱ-1, Ⅱ-5)
11. 免疫不全の機構を説明し、それに関連した疾患を列挙できる。(Ⅱ-1, Ⅱ-5)
12. 免疫学的方法論を用いた検査法と治療法を列挙できる。(Ⅱ-1, Ⅱ-5, Ⅱ-6)

＜寄生虫学＞

1. 原虫類・蠕虫類の分類および形態学的特徴を説明できる。(Ⅱ-6, Ⅱ-10, Ⅱ-11)
2. 寄生虫の生活史、感染経路を説明できる。(Ⅱ-5, Ⅱ-6, Ⅱ-10, Ⅱ-11)
3. 寄生虫感染宿主の生体防御の特徴を説明できる。(Ⅱ-5, Ⅱ-6, Ⅱ-10, Ⅱ-11)
4. 各臓器・器官の主な寄生虫症を説明できる。(Ⅱ-5, Ⅱ-6)
5. 人獣共通寄生虫症を説明できる。(Ⅱ-6, Ⅱ-10, Ⅱ-11)
6. 寄生虫症の診断法を説明できる。(Ⅱ-6)
7. 寄生虫症の治療および予防の概要を説明できる。(Ⅱ-6, Ⅱ-10, Ⅱ-11)
8. 衛生動物に起因する疾患の概要を説明できる。(Ⅱ-5, Ⅱ-6, Ⅱ-10, Ⅱ-11)
9. 海外渡航者の健康問題の概要および対策を説明できる。(Ⅱ-8, Ⅶ-3, Ⅶ-4, Ⅶ-5)

事前事後学習の方法

＜免疫学＞

1. 事前学習: 各講義における重要語句を整理しておくこと。
2. 事後学習: 配布資料の内容をまとめ、各講義の関連を整理すること。

＜寄生虫学＞

1. 事前学習: 実習前には必ず該当部分の講義プリント、教科書をよく読み込み頭に入れておくこと。
2. 事後学習: 疫学、生活環、病態、検査法、治療法ごとに、病原体を横断して整理すること。

成績評価方法・基準

1.「出欠状況」、「実習レポート内容」、「小テストを含む各試験の成績」 を総合的に評価する。
2. 免疫学、寄生虫学の2分野とも6割以上の成績点を得た場合のみ、本科目の合格となる。
3. 試験やレポートの内容・方法および配点については、講義開始時に説明する。

○ 教 科 書

＜免疫学＞

特に定めないが、参考書の中から一つは持っておくのが望ましい。

＜寄生虫学＞

(南山堂)「図説人体寄生虫学」改訂10版(推奨)
(文光堂)「寄生虫学テキスト」第4版

○ 実 習 書

当教室で準備する。

○ 参 考 書

＜免疫学＞

1. 医科免疫学(南江堂)
2. 医系免疫学(中外医学社)
3. エッセンシャル免疫学(MEDSi)
4. 分子細胞免疫学(ELSEVIER)
5. 免疫ペディア(羊土社)
6. 基礎免疫学(ELSEVIER)
7. イラストレイテッド免疫学(丸善)

＜寄生虫学＞

(参考書)

1. Manson's Tropical Diseases (Farrar他編、Elsevier社)
2. Travel Medicine(Keystone他編、Elsevier社)

(読みもの)

1. 佐々木瑞希著 「寄生虫を守りたい」(dZERO)
2. 永宗喜三郎他編 「寄生虫のはなし―この素晴らしき, 虫だらけの世界―」(朝倉書店)
3. 小林照幸著 「死の貝 日本住血吸虫症との闘い」(新潮社)
4. 長谷川英男著 「絵でわかる寄生虫の世界」(講談社)
5. Sonia Shah著 「人類五〇万年の闘いーマラリア全史」(太田出版)
6. Tuomas Aivelo著「寄生生物の果てしなき進化」(草思社)

2 年 次

免疫学　　講義:2301講義室

年 月 日	曜 日	時 限	授 業 項 目 (内 容)	コアカリ項目				担 当 者
				第1層	第2層	第3層	第4層	
R7.10.6	月	1	総論	RE	02	01	01	吉田 安宏
10.6	月	2	免疫学史	PS	01	03	26	吉田 安宏
10.6	月	3	リンパ組織①	PS	01 02	03 02	18 01	吉田 安宏
10.6	月	4	小テスト①					吉田 安宏、森田 健太郎
10.8	水	2	リンパ組織②	PS	02	02	01	吉田 安宏
10.8	水	3・4	免疫担当細胞①	PS	01	03	18,20	吉田 安宏
10.9	木	3	免疫担当細胞②	PS	01	03	18,20	吉田 安宏
10.9	木	4	抗原・受容体・抗体①	PS	01	02 03	05 24	吉田 安宏
10.15	水	1～3	抗原・受容体・抗体②	PS	01	02 03	05 21,23,24	吉田 安宏
10.16	木	7・8	自然免疫・サイトカイン①	PS	01	03	19,24,26	吉田 安宏
10.27	月	1・2	自然免疫・サイトカイン②	PS	01	03	19,24,26	吉田 安宏
10.27	月	3	獲得免疫	PS	01	03	20,25,26	吉田 安宏
10.29	水	1	小テスト②					吉田 安宏
11.5	水	1・2	体液性免疫	PS	01	03	21,23	森田 健太郎
11.5	水	3・4	細胞性免疫	PS	01	03	20,22, 25,26	森田 健太郎
11.13	木	5・6	免疫寛容	PS	01	03	28	森田 健太郎
11.13	木	7・8	移植免疫	CS	02	04	43	森田 健太郎
11.17	月	1・2	補体	PS	01	03	19	森田 健太郎
11.17	月	3・4	粘膜免疫	PS	01	02 03	21 18	森田 健太郎
11.19	水	1・2	ワクチン	PS	01	03	15,26	黒田 悦史(学外)
11.19	水	3・4	癌免疫	PS	01 03	03 04	30 25	吉田 安宏
11.25	火	1～3	アレルギー・自己免疫性疾患	PS	01 03	03 02	29 01	吉田 安宏
11.26	水	1・2	自己免疫性疾患・免疫不全	PS	01	03	27	吉田 安宏
11.26	水	3	免疫毒性・シグナル伝達	PS	01	02	04	吉田 安宏
R8.1.8	木	9	総合理解度チェック問題トライ					吉田 安宏
1.23	金	5・6	まとめテスト					吉田 安宏、森田 健太郎

実習:2304実習室

年 月 日	曜 日	時 限	授 業 項 目 (内 容)	コアカリ項目				担 当 者
				第1層	第2層	第3層	第4層	
R7.12.22	月	5～10	免疫学実習①	PS	03	02	03	全教員
12.23	火	5～10	免疫学実習②	RE	02	02	01	全教員、杉浦 勉(学外)
12.24	水	5～10	免疫学実習③	PS	02	02	03	全教員、杉浦 勉(学外)
R8.1.6	火	5～10	免疫学実習④	RE	03	03	01	全教員
1.7	水	5～10	免疫学実習⑤	RE	03	03	01	全教員
1.8	木	3～8	免疫学実習⑥	RE PS	03 02	04 02	01 05	全教員

講義:2301講義室

寄生虫学

実習:2204実習室

年 月 日	曜 日	時 限	授 業 項 目 (内 容)	コアカリ項目				担 当 者
				第1層	第2層	第3層	第4層	
R7.9.30	火	1･2	寄生虫学総論	PS	01	03	13	長田 良雄
9.30	火	3･4	衛生動物	PS	01	03	13,16,17	荻野 和正(学外)
10.1	水	1～4	原虫 1	PS	01	03	13,16,17	清水 少一
10.3	金	1･2	原虫 2	PS	01	03	13,16,17	清水 少一
10.3	金	3･4	条虫	PS	01	03	13	長田 良雄
10.9	木	5～8	寄生虫学実習 1 (小テスト、レポート提出)	PS CS	01 03	03 01	13 01	全教員(学外 荻野和正)
10.28	火	5～7	吸虫	PS	01	03	13	長田 良雄
10.29	水	2～4	線虫 1	PS	01	03	13	長田 良雄
11.6	木	5～8	寄生虫学実習 2 (小テスト、レポート提出)	PS CS	01 03	03 01	13 01	全教員(学外 荻野和正)
11.10	月	2	寄生虫検査法	PS CS	01 03	03 01	13 03	長田 良雄
11.10	月	3･4	渡航医学	PS	01 03	03 03	13,15-17 16	清水 少一
11.12	水	1	線虫 2	PS	01	03	13	長田 良雄
11.12	水	2～4	寄生虫症 と ワンヘルス	PS	01	03	13,16	吉田 彩子(学外)
11.20	木	5～8	寄生虫学実習 3 (小テスト、レポート提出)	PS CS	01 03	03 01	13 01	全教員(学外 荻野和正)
11.25	火	4	寄生虫感染と免疫	PS	01	03	13,26	長田 良雄
12.4	木	5～8	寄生虫学実習 4 (小テスト、レポート提出)	PS CS	01 03	03 01	13 01	全教員(学外 荻野和正)
R8.1.20	火	2･3	終試験					長田 良雄、清水 少一

微生物学
【Microbiology】

担当責任者 教授（微生物学） 齋藤 光正

ねらい

医学部における微生物学は、微生物の示す生命現象そのものを理解する生物学的側面と、感染という現象に焦点を合わせ感染症を理解するための基礎的概念を養うという2つの面を有している。
従ってこのような微生物の有する両面性に考慮を払うことにより、感染症の発症の機構、感染症の診断法・予防法・治療法などについての基本的原理を習得する。一方、産業医学において問題となる感染症について基本的知識を習得する。

学修目標

1. 個々の病原微生物の有する性状・特徴・病原性について理解し、それらを統合することにより病原微生物の持つ基本的な性質を説明できる。（Ⅱ-5）
2. 病原微生物による感染と発症のメカニズムを宿主・寄生体関係という観点から説明できる。（Ⅱ-5）
3. 病原微生物の侵襲に対する宿主側の非特異的及び特異的防御反応を説明できる。（Ⅱ-5）
4. 化学療法剤の種類・特徴・作用機序等を理解し、感染症の治療に応用することができる。また耐性について説明できる。（Ⅱ-6）
5. 細菌・ウイルス・真菌の培養法や同定法等、さらに、免疫学的診断法についても説明ができ、感染症の総合的な診断をすることができる。（Ⅱ-6）
6. 感染症を予防・コントロールするための対策を説明することができる。（Ⅱ-10）
7. 滅菌・消毒法を理解し、感染の予防を行うことができる。（Ⅱ-10）
8. 生活習慣と密接に結びついて流行・蔓延する感染症や動物由来感染症があることを認識し、その公衆衛生学的対策やワンヘルスアプローチについて説明することができる。（Ⅱ-11）
9. 海外渡航者が留意すべき感染症について理解し、適切な予防方法を述べることができるようにする。（Ⅶ-3）

事前事後学習の方法

講義について
1. 予習： 講義資料、教科書をよく読み、予習課題（"Take-home message"）を仕上げておくこと。
2. 復習： 講義中に答え合わせをした予習課題を繰り返し復習し、小テストに備えること。復習課題をノートにまとめること。

実習について
1. 予習： 実習書をよく読みこむこと。
2. 復習： 実習レポートを作成すること。

成績評価方法・基準

1. 中間テスト・最終テスト(合わせて約5割)、実習レポート(約2割)、理解度チェックのための小テスト(約3割)の結果を基に復習課題ノート提出状況等を加味し、総合的に判断する。
2. 100点満点換算で、A、B、C、D、Fの5段階評価とする。

○ 教 科 書

特に指定しない。

○ 実 習 書

「2025年度 微生物学実習書」（当教室製）

○参 考 書

（教科書的なもの）

1．戸田新細菌学（ウイルス学・真菌学・免疫学を含む）34版（南山堂）
2．現代微生物学入門（南嶋洋一他著、南山堂）
3．Medical Microbiology（Mims他著、Mosby社）
4．Manual of Clinical Microbiology（Murray他著、ASM Press）
5．医科ウイルス学（南江堂）
6．病原真菌と真菌症（山口英世著、南山堂）

（読みもの）

1．「院内感染」富家恵美子著（河出文庫）
2．「細菌の逆襲」吉川昌之介著（中公新書）
3．「食中毒の正しい知識」三輪谷俊夫監修（菜根出版）
4．「食中毒予防必携」（日本食品衛生協会）
5．「ウイルスの狩人」G・ウィリアムズ著（岩波書店）
6．「微生物の狩人」ポール・ド・クライフ著（岩波文庫）
7．「結核」（JATA BOOKS）

講義：2301講義室
実習：2204実習室

年月日	曜日	時限	授業項目（内容）	コアカリ項目				担当者
				第1層	第2層	第3層	第4層	
R7.4.1	火	1･2	はじめに（微生物と感染症）	PS PS SO	01 03 01	03 03 03	01,15 16 06	齋藤 光正
4.1	火	3	細菌の分類と構造	PS	01	03	01	齋藤 光正
4.1	火	4	微生物取扱法	PS	03	03	18	齋藤 光正
4.3	木	5･6	小テスト （実習1）顕微鏡操作法	RE	03	03	01	全教員
4.4	金	1･2	細菌の生理と生化学、バクテリオファージ、遺伝	PS	01	03	01	福田 和正
4.8	火	1･2	環境と微生物、常在細菌叢、食品と微生物	PS	01	03	01,02,07	福田 和正
4.8	火	3･4	小テスト　レポート提出 （実習2）無菌操作とグラム染色、環境微生物①	RE	03	03	01	全教員
4.11	金	1･2	感染の機構、人獣共通感染症とワンヘルスの概念、 感染防御免疫	PS	01	03	02,03, 16-26	齋藤 光正
4.11	金	3	感染症診断法	CS	02	03	01,02	齋藤 光正
4.11	金	4	（実習3）細菌の分離①	RE	03	03	01	全教員
4.14	月	1･2	抗菌薬療法	PS	01 03	03 03	14 04,13-15	齋藤 光正
4.15	火	2･3	小テスト　レポート提出 （実習4）細菌の分離②、環境微生物②	RE	03	03	01	全教員
4.18	金	1･2	消毒と滅菌	PS	03	03	18	齋藤 光正
4.30	水	3･4	小テスト　レポート提出 （実習5）化学療法薬①、皮膚常在菌①	RE	03	03	01	全教員
5.9	金	2･3	小テスト （実習6）化学療法薬②、皮膚常在菌②、 鼻腔常在菌①	RE	03	03	01	全教員
5.13	火	1･2	ブドウ球菌、レンサ球菌、淋菌・髄膜炎菌と ナイセリア属菌	PS	01 03	03 03	04 16	齋藤 光正

2 年 次

講義:2301講義室
実習:2204実習室

年月日	曜日	時限	授業項目（内容）	コアカリ項目				担当者
				第1層	第2層	第3層	第4層	
5.13	火	3･4	レポート提出 (実習7) 鼻腔常在菌②、咽頭常在菌①、緑膿菌①	RE	03	03	01	全教員
5.16	金	1･2	緑膿菌とブドウ糖非発酵グラム陰性桿菌、 医療関連感染とその対策、レジオネラ	PS	01 03	03 03	04 02,03, 07,18	齋藤 光正
5.16	金	3･4	小テスト　レポート提出 (実習8) 咽頭常在菌②	RE	03	03	01	全教員
5.20	火	3･4	小テスト　レポート提出 (実習9) 緑膿菌②	RE	03	03	01	全教員
5.23	金	3･4	ブルセラ、フランシセラ、バルトネラ、百日咳菌、 ヘモフィラス、パスツレラ	PS	01 03	03 03	04,16 16	齋藤 光正
6.24	火	1･2	腸内細菌目細菌	PS	01	03	04	福田 和正
6.24	火	3	ビブリオ	PS	01	03	04	福田 和正
6.24	火	4	カンピロバクター、ヘリコバクター	PS	01	03	04	福田 和正
6.24	火	5	小テスト　レポート提出 (実習10) 下痢原因菌①	RE	03	03	01	全教員
6.25	水	5･6	小テスト (実習11) 下痢原因菌②	RE	03	03	01	全教員
6.26	木	5～8	小テスト (実習12) 下痢原因菌③	RE	03	03	01	全教員
7.3	木	5･6	結核菌と非結核性抗酸菌	PS	01 03	03 03	05 16	小川 みどり(学外)
7.3	木	7	アクチノマイセス、ノカルジア	PS	01	03	05	齋藤 光正
7.3	木	8	レポート提出 (実習13) 抗酸菌①	RE	03	03	01	全教員
7.4	金	3･4	炭疽菌とバシラス属、ラクトバシラス、リステリア、 ジフテリア	PS	01 03	03 03	04 16	齋藤 光正
7.8	火	2･3	偏性嫌気性菌	PS	01 03	03 03	04 16	齋藤 光正
7.8	火	4	小テスト (実習14) 抗酸菌②	RE	03	03	01	全教員
7.10	木	1	スピロヘータ(レプトスピラ属を除く)	PS	01	03	06	齋藤 光正
7.10	木	2	レプトスピラ属、マイコプラズマ	PS	01	03	06,17	齋藤 光正
7.10	木	3	リケッチア	PS	01	03	06,17	齋藤 光正
7.10	木	4	クラミジア	PS	01	03	06	齋藤 光正
7.15	火	1	プリオン	PS	01	03	16	福田 和正
7.15	火	2	真菌総論	PS	01	03	12	福田 和正
7.15	火	3･4	真菌各論	PS	01	03	12	齋藤 光正
7.17	木	1･2	ウイルス学総論	PS	01	03	08,09	福田 和正
7.17	木	3･4	ポックス、ヘルペスウイルス	PS	01 03	03 03	10 16	齋藤 光正
7.18	金	1	アデノ、パピローマ、ポリオーマ、パルボウイルス	PS	01 03	03 03	10 16	齋藤 光正
7.18	金	2	トガウイルス、フラビウイルス	PS	01 03	03 03	11,17 16	齋藤 光正
7.18	金	3･4	オルトミクソウイルス	PS	01 03	03 03	11 16	福田 和正
7.22	火	5～8	小テスト　レポート提出 (実習15) 抗酸菌③、片付け	RE	03	03	01	全教員

講義:2301講義室
実習:2204実習室

年月日	曜日	時限	授業項目(内容)	コアカリ項目				担当者
				第1層	第2層	第3層	第4層	
9.4	木	2	中間テスト (出題範囲:講義 7月15日「真菌各論」まで) 実習 「下痢原因菌」まで)					齋藤 光正
9.4	木	3	中間テストの解説					齋藤 光正
9.4	木	4	パラミクソウイルス、ニューモウイルス	PS	01 03	03 03	11 16	齋藤 光正
9.9	火	1・2	コロナ(新型コロナウイルス含む)、ラブド、フィロ、 アレナ、ブニヤウイルス	PS	01 03	03 03	11,17 16	齋藤 光正
9.9	火	3・4	ピコルナ、レオ、カリシ、アストロウイルス	PS	01 03	03 03	11 16	齋藤 光正
9.10	水	5・6	肝炎ウイルス	PS	01 03	03 03	10,11 16	福田 和正
9.16	火	1・2	レトロウイルス	PS	01	03	11	齋藤 光正
9.16	火	3・4	感染管理	SO	01	04 05	01 02	諸冨 伸夫(学外)
9.16	火	5～7	小テスト (実習16)インフルエンザウイルス①	RE	03	03	01	全教員
9.17	水	1～4	新興再興感染症	PS SO	01 05	03 02	17 01	西園 晃(学外)
9.17	水	5～8	小テスト レポート提出 (実習17)インフルエンザウイルス②	RE	03	03	01	全教員
9.24	水	1・2	労働衛生管理と微生物	PS SO	03 01	03 04	07,17 03	石松 維世 (作業環境計測制御学)
9.24	水	3・4	まとめ					齋藤 光正
R8.1.21	水	5	最終テスト (出題範囲:講義 7月17日「ウイルス学総論」以降) 実習 「抗酸菌」、「インフルエンザウイルス」)					齋藤 光正
1.21	水	6	最終テストの解説					齋藤 光正

衛生学
【Hygiene】

担当責任者　教授（衛生学）　辻　真弓

ねらい

ヒトと環境要因との関連についての充分な認識がなくては、医学が目的とする疾病の予防、健康の増進、寿命の延長は達成できない。実験衛生学の礎は19世紀に築かれ、大気、水、土壌と人の健康とのかかわりが重視されるようになったが、人口の都市集中化や産業の発達により数多くの問題が発生した。近年の環境汚染や職業病などもその一例である。衛生学においては、産業化が進んだ将来を常に考えながら、自然環境、人工環境、労働環境における諸問題に関しての基礎知識、生体影響および将来の展望などについて講義、実習を通して学ぶ。これらを通して我々を取りまく環境側の要因の把握およびその影響についての理解を深め、環境と人間とのかかわりに関する基本的および総合的評価ができる目を養う。

学修目標

1. 環境の諸因子を理解するとともに、環境と生体との相互関係を説明できる。（Ⅱ-11）
2. 有害物質の吸収・代謝・排泄、量-反応関係およびリスク評価について説明できる。（Ⅱ-8，Ⅲ-1）
3. 化学的環境と健康、中毒の発生要因と病態生理、環境発がん物質、内分泌撹乱物質等について説明できる。（Ⅱ-8，Ⅲ-1，Ⅲ-5）
4. 大気汚染の事例を知るとともに、大気環境の原因、健康影響、対策などについて記述でき、さらに、我が国における大気環境の現状、環境基準の概要、今後の地球規模での環境問題を説明できる。（Ⅱ-11，Ⅲ-5）
5. 浄水法、下水処理法の概要を知るとともに、上水、放流下水の水質基準とその意義について述べることができる。さらに、水質汚濁の原因、影響、対策などについて説明できる。（Ⅱ-11）
6. 気温、気湿、気流、気圧、騒音、振動、光、電磁波等の物理的因子の生活環境および環境中における評価法を知り、その健康影響について記述する。さらに、その対策について説明できる。（Ⅱ-8，Ⅲ-1）
7. 栄養素と疾病について理解し、国民栄養の現状について学ぶ。さらに、食中毒の原因と対策、食品添加物、残留農薬などの安全性評価について説明できる。（Ⅱ-11，Ⅲ-1）

事前事後学習の方法

1. 配布された講義テキストを熟読して講義内容の復習をすること。
2. 実習したことをよく復習して体得すること。

成績評価方法・基準

1. 中間試験、最終試験、レポートなどの成績および出席状況、受講態度に基づき、総合的に評価・判断し、60点以上を合格とする。

○ 教 科 書

医療情報科学研究所編「公衆衛生がみえる2022-2023」（メディックメディア）

○ 参 考 書

日本毒性学会教育委員会編「トキシコロジー（第3版）」（朝倉書店）

厚生労働統計協会「国民衛生の動向」

岸玲子監修「NEW予防医学・公衆衛生学　改訂第4版」（南江堂）

講義:2301講義室
実習:2303実習室

年月日	曜日	時限	授業項目（内容）	コアカリ項目				担当者
				第1層	第2層	第3層	第4層	
R7.9.5	金	2	衛生学概論	GE	04	02	02	辻 真弓
9.5	金	3	環境リスク評価の考え方	GE	04	02	02	辻 真弓
9.5	金	4	生活習慣と疾病	GE	04	01	06	一瀬 豊日 (進路指導部)
9.5	金	5	栄養素の基本①	PS	01	02	35	佐久間理英 (学外)
9.5	金	6	栄養素の基本②	PS	01	02	35	佐久間理英 (学外)
9.5	金	7	栄養素と疾病①	GE	04	01	03	太田 雅規 (学外)
9.5	金	8	栄養素と疾病②	GE	04	01	03	太田 雅規 (学外)
9.8	月	2	化学的因子による健康影響　1.職業癌	SO	01	04	03	辻 真弓
9.8	月	3	化学的因子による健康影響　2.職業癌 演習	SO	01	04	03	辻 真弓
9.10	水	2	化学的因子による健康影響 3.ガス	SO	01	04	04	辻 真弓
9.10	水	3	化学的因子による健康影響 4.大気汚染	SO	04	03	01	辻 真弓
9.10	水	4	下水道	GE	04	02	02	一瀬 豊日 (進路指導部)
9.12	金	5	上水道	GE	04	02	02	一瀬 豊日 (進路指導部)
9.12	金	6	水質汚濁	GE	04	02	02	一瀬 豊日 (進路指導部)
9.19	金	3	物理的因子による健康影響 1.非電離放射線① (赤外線・紫外線・電磁波)	PS	03	06	01	岡﨑 龍史 (放射線衛生管理学)
9.19	金	4	〃　2.非電離放射線② (赤外線・紫外線・電磁波)	PS	03	06	06	岡﨑 龍史 (放射線衛生管理学)
9.22	月	3	栄養素と疾病③	GE	04	01	03	田中 里枝 (学外)
9.22	月	4	食品衛生①	SO	01	03	02	田中 里枝 (学外)
9.22	月	5	食品衛生②	GE	04	01	03	田中 里枝 (学外)
9.22	月	6	演習① 衛生学概論、生活習慣と疾病、栄養素の基本①②、栄養素と疾病①～③、食品衛生①②	GE	04	02	02	田中 里枝 (学外)
9.24	水	5	物理的因子による健康影響 3.暑熱寒冷/気圧による健康障害	SO	01	04	03	永野 千景 (産業保健管理学)
9.24	水	6	物理的因子による健康影響 4.暑熱寒冷/気圧による健康障害	SO	01	04	04	永野 千景 (産業保健管理学)
9.24	水	7	物理的因子による健康影響 5.騒音・振動	SO	01	04	03	永野 千景 (産業保健管理学)
9.26	金	4	中間試験① 演習①内容	GE	04	02	02	全教員
9.29	月	2	作業態様と健康	SO	01	04	03	峰 悠子
9.29	月	3	プラネタリーヘルス	SO SO	04 04	03 03	01 02	峰 悠子
9.29	月	4	演習② 下水道、上水道、水質汚濁、物理的因子による健康影響1～5、作業態様と健康、プラネタリーヘルス	GE SO	04 01	02 05	02 01	全教員

2 年 次

講義:2301講義室
実習:2303実習室

年月日	曜日	時限	授業項目（内容）	コアカリ項目				担当者
				第1層	第2層	第3層	第4層	
10.1	水	5	衛生学からみた労働衛生関係統計	SO	01	04	02	田中 政幸 (学外)
10.1	水	6	最近の労働衛生の展開と衛生学	SO	01	04	01	田中 政幸 (学外)
10.1	水	7	母性保健	SO	01	04	01	長井 聡里 (学外)
10.3	金	5	疫学の応用:食中毒発生1	SO	02	02	05	郡山 千早 (学外)
10.3	金	6	〃 2	SO	02	02	06	郡山 千早 (学外)
10.3	金	7	産業廃棄物とリサイクル	SO	01	04	02	峰 悠子
10.6	月	5	化学的因子による健康影響 5.毒性評価	SO	01	04	04	一瀬 豊日 (進路指導部)
10.6	月	6	化学的因子による健康影響 6.タバコの健康影響	GE	04	01	06	大和 浩 (健康開発科学)
10.6	月	7	〃 7.タバコ対策	GE	04	01	06	大和 浩 (健康開発科学)
10.10	金	5	環境毒性学 1.概論 2.塩素系化合物の生体影響	SO	01	04	04	山元 恵 (学外)
10.10	金	6	環境毒性学 3.重金属の生体影響 4.まとめ	SO	01	04	04	山元 恵 (学外)
10.10	金	7	演習③ 環境リスク評価の考え方、化学的因子による健康影響 1～7	GE SO	04 01	02 04	02 01	全教員
10.17	金	5	小児と妊娠と化学物質ばく露	GE	03	01	02	辻 真弓
10.17	金	6	成人と高年齢と化学物質曝ばく露	GE	03	01	02	赤池 幸歌
10.17	金	7	演習④ 衛生学からみた労働衛生関係統計、最近の労働衛生の展開と衛生学、母性保健、産業廃棄物とリサイクル、小児と妊娠と化学物質ばく露、成人と高年齢と化学物質ばく露	GE GE SO	03 04 01	01 02 04	01 02 02	全教員
10.27	月	5	中間試験② 演習②③④内容	GE GE	03 04	01 02	01 02	全教員
11.5	水	5～8	実習①	GE SO	04 04	02 03	02 01	全教員、 一瀬 豊日(進路指導部)
11.7	金	5	職業性疾病①	SO	01	04	03	小川 真規 (学外)
11.7	金	6	〃 ②	SO	01	04	03	小川 真規 (学外)
11.7	金	7	労働現場と衛生学①	SO	01	04	01	川本 俊弘 (学外)
11.7	金	8	労働現場と衛生学①	SO	01	04	03	川本 俊弘 (学外)
11.12	水	5･6	実習②(実習①の振り返り)	GE SO	04 04	02 03	02 01	全教員
11.17	月	5	演習⑤ 環境リスク評価の考え方、化学的因子による健康影響 1～7、職業性疾病①②、労働現場と衛生学①②	GE SO	04 01	02 04	02 01	全教員
11.19	水	5～8	実習③	GE SO	04 04	02 03	02 01	全教員、 一瀬 豊日(進路指導部)
11.26	水	5	中間試験③ 演習⑤内容	GE SO	04 01	02 04	02 01	全教員
11.28	金	5･6	実習④(実習③の振り返り)	GE SO	04 04	02 03	02 01	全教員
R8.1.9	金	5	演習 講義すべての振り返り	GE	04	02	02	全教員
1.19	月	3･4	最終試験	GE SO	04 01	02 04	02 01	全教員

早期臨床体験実習Ⅱ
【Early Clinical Exposure Ⅱ】

担当責任者　早期臨床体験実習小委員会委員長

ねらい

高齢者福祉医療施設で医師・看護師・介護士・理学療法士など多職種が連携した医療支援の現場を見学(一部体験)し、地域での保健・福祉医療の重要性を理解する。

施設利用者の生活支援の現場を見学(一部体験)し、地域での在宅医療支援の重要性を理解する。

施設利用者の立場や気持ちを理解し、医療・生活支援の現場での医師の役割を学ぶ。

将来医師を目指す医学生としての、心構えや身に着けるべき態度を学び、目標とする医師像を明確にし、今後の学習意欲の向上につなげる。

学修目標

1. 多職種の連携による医療・生活の現場を体験実習し、チーム医療の重要性を理解する。(Ⅵ-3, Ⅵ-4, Ⅵ-5)
2. 訪問看護ステーションの在宅医療、生活支援としての役割機能を理解する。(Ⅱ-12)
3. 介護福祉施設の介護、生活支援、医療を通し、医師、医療チームの役割機能を理解する。(Ⅵ-3, Ⅵ-4, Ⅵ-5)
4. 高齢者デイサービスセンターでの生活上の介護や支援を通し役割機能を理解する。(Ⅱ-12)
5. 短期入所施設(ショートステイ)での介護、生活支援、医療を通し、役割機能を理解する。(Ⅱ-12)
6. 医学生としてふさわしい、身なり、態度で行動する。(Ⅰ-5)
7. 将来医師となる自分が今後なすべきことを自覚する。(Ⅰ-4, Ⅰ-5)

事前事後学習の方法

1. 事前学習 準備授業で説明する注意事項を実習前に再度確認する。高齢者福祉医療制度について予習する。
2. 事後学習 実習中に経験した臨床的知識を確認し、自己学習の機会にする。

成績評価方法・基準

出欠状況(欠席は原則認めない)、実習態度、各職種からの評価、学修目標の理解度、レポートによって総合的に判定する。

実習であるので皆勤が原則である。止むを得ない理由のない欠席・遅刻、服装の乱れ、態度不良、居眠り、積極性欠如などは不合格である。

○教 科 書

特に指定しない。

○参 考 書

担当教員の指示に従う。

年月日	曜日	時限	授業項目(内容)	コアカリ項目				担当者
				第1層	第2層	第3層	第4層	
R7.10.14	火	7・8	早期臨床体験実習Ⅱ実習参加の為の基礎講義	GE GE PR LL IP SO	02 03 01-03 01 01,02 01	 05,06 05,06 01,03		医学教育担当教員
10.20～24	月～金	1～8	早期臨床体験実習Ⅱ					
10.28	火	8.9	早期臨床体験実習Ⅱ実習成果発表					

産業医学Ⅱ

（労働衛生一般・放射線衛生）

【Occupational Health Ⅱ】

担当責任者 産業生態科学研究所 所長

ねらい

学修目標

内容が決まり次第、e-ラーニング掲示板にてお知らせします。
講義年月日は、以下に記載しているとおりです。

事前事後学習の方法

成績評価方法・基準

○ **教 科 書**

○ **参 考 書**

講義：2301講義室
実習：

年月日	曜日	時限	授業項目（内容）	コアカリ項目				担当者
				第1層	第2層	第3層	第4層	
R7.9.22	月	1						
9.22	月	2						
10.7	火	5						
10.7	火	6						
10.7	火	7						
10.7	火	8						
10.8	水	5						
10.8	水	6						
10.8	水	7						
10.8	水	8						
10.14	火	5						
10.14	火	6						

講義:2301講義室
実習:

年月日	曜日	時限	授業項目（内容）	コアカリ項目				担当者
				第1層	第2層	第3層	第4層	
10.16	木	1						
10.16	木	2						
10.16	木	3						
10.16	木	4						
10.16	木	5						
10.16	木	6						
10.29	水	5～9						
10.30	木	5～9						
11.14	金	5						
11.14	金	6						
11.14	金	7						
11.14	金	8						
11.26	水	7						
11.26	水	8						
11.27	木	1						
11.27	木	2						
12.1	月	5						
12.1	月	6						
12.1	月	7						
12.1	月	8						
12.5	金	5						
12.5	金	6						
12.5	金	7						
12.5	金	8						
12.8	月	5						
12.8	月	6						
12.8	月	7						
12.8	月	8						
12.18	木	5						
12.18	木	6						
12.18	木	7						
12.18	木	8						
R8.1.13	火	5						
1.13	火	6						

3 年 次

授業科目	頁	開講 前学期	開講 後学期
医学概論 Ⅲ	193	○	
臨床病理学	195	○	
病態病理学	198	○	
公衆衛生学	201	○	
法医学	206	○	
研究室配属	208	○	○
第1内科学総論	209		○
第2内科学総論	211	○	○
第3内科学総論	213		○
呼吸器内科学総論	214		○
神経内科学総論	216		○
精神医学総論	218		○
小児科学 I	220	○	○
第1外科学総論	222		○
第2外科学総論	223		○
脳神経外科学総論	225		○
整形外科学総論	227		○
皮膚科学	229		○
泌尿器科学総論	231		○
産科学	232		○
血液内科学総論	234		○
歯科・口腔外科学	236		○
早期臨床体験実習 Ⅲ	237		○
産業医学 Ⅲ（作業環境管理、作業管理、有害業務管理）	238	○	

令和７年度　時間割

３年次　前学期

４　／　１（火）～　４　／３０（水）

1限　8:50 ～ 9:40　　5限　13:40 ～14:30　　9限　17:40～18:30
2限　9:50 ～10:40　　6限　14:40 ～15:30　　10限　18:40～19:30
3限 10:50 ～11:40　　7限　15:40 ～16:30
4限 11:50 ～12:40　　8限　16:40 ～17:30

	月	火	水	木	金
		1日	2日	3日	4日
1限		法医学 1	法医学 3		公衆衛生学 3
2限		法医学 2	法医学 4		公衆衛生学 4
3限		病態病理学 1	産業医学Ⅲ 1	産業医学Ⅲ 3	公衆衛生学 5
4限		病態病理学 2	産業医学Ⅲ 2	産業医学Ⅲ 4	公衆衛生学 6
5限		病態病理学 3		産業医学Ⅲ 5	産業医学Ⅲ 6
6限		病態病理学 4	病態病理学 7	公衆衛生学 1	産業医学Ⅲ 7
7限		病態病理学 5	病態病理学 8	公衆衛生学 2	産業医学Ⅲ 8
8限		病態病理学 6			産業医学Ⅲ 9
	7日	8日	9日	10日	11日
1限	法医学 5	法医学 7	法医学 9	産業医学Ⅲ 12	公衆衛生学 7
2限	法医学 6	法医学 8	法医学 10	産業医学Ⅲ 13	公衆衛生学 8
3限	病態病理学 9	医学概論Ⅲ 1	産業医学Ⅲ 10	産業医学Ⅲ 14	公衆衛生学 9
4限	病態病理学 10	医学概論Ⅲ 2	産業医学Ⅲ 11	産業医学Ⅲ 15	公衆衛生学 10
5限	病態病理学 11	病態病理学 15	病態病理学 19	研究室配属 合同説明会	産業医学Ⅲ 16
6限	病態病理学 12	病態病理学 16	病態病理学 20		産業医学Ⅲ 17
7限	病態病理学 13	病態病理学 17	病態病理学 21		研究室配属 合同説明会
8限	病態病理学 14	病態病理学 18	病態病理学 22		
	14日	15日	16日	17日	18日
1限	法医学 11	法医学 13	法医学 15	公衆衛生学 13	公衆衛生学 17
2限	法医学 12	法医学 14	法医学 16	公衆衛生学 14	公衆衛生学 18
3限	病態病理学 23	医学概論Ⅲ 3	公衆衛生学 11	公衆衛生学 15	公衆衛生学 19
4限	病態病理学 24	医学概論Ⅲ 4	公衆衛生学 12	公衆衛生学 16	公衆衛生学 20
5限	病態病理学 25	病態病理学 29	病態病理学 33	産業医学Ⅲ 18	公衆衛生学 21
6限	病態病理学 26	病態病理学 30	病態病理学 34	産業医学Ⅲ 19	公衆衛生学 22
7限	病態病理学 27	病態病理学 31	病態病理学 35		
8限	病態病理学 28	病態病理学 32	病態病理学 36		
	21日	22日	23日	24日	25日
1限	法医学 17	法医学 19	法医学 21	健康診断	医学概論Ⅲ 7
2限	法医学 18	法医学 20	法医学 22		医学概論Ⅲ 8
3限	病態病理学 37	医学概論Ⅲ 5	産業医学Ⅲ 20		医学概論Ⅲ 9
4限	病態病理学 38	医学概論Ⅲ 6	産業医学Ⅲ 21		医学概論Ⅲ 10
5限	病態病理学 39	病態病理学 43	産業医学Ⅲ 22		臨床病理学 1
6限	病態病理学 40	病態病理学 44	病態病理学 47		臨床病理学 2
7限	病態病理学 41	病態病理学 45	病態病理学 48		臨床病理学 3
8限	病態病理学 42	病態病理学 46			臨床病理学 4
	28日	29日	30日		
1限	開学記念日	昭和の日	法医学 23		
2限			法医学 24		
3限			臨床病理学 5		
4限			臨床病理学 6		
5限			臨床病理学 7		
6限			臨床病理学 8		
7限			病態病理学 49		
8限			病態病理学 50		

令和７年度　時間割

３年次　前学期

５　／　１（木）～　５　／３０（金）

1限　8:50 ～ 9:40　　5限　13:40 ～14:30　　9限　17:40～18:30
2限　9:50 ～10:40　　6限　14:40 ～15:30　　10限　18:40～19:30
3限　10:50 ～11:40　　7限　15:40 ～16:30
4限　11:50 ～12:40　　8限　16:40 ～17:30

	月	火	水	木	金
				1日	2日
1限				公衆衛生学 23	医学概論Ⅲ 15
2限				公衆衛生学 24	医学概論Ⅲ 16
3限				公衆衛生学 25	臨床病理学 9
4限				公衆衛生学 26	臨床病理学 10
5限				医学概論Ⅲ 11	臨床病理学 11
6限				医学概論Ⅲ 12	臨床病理学 12
7限				医学概論Ⅲ 13	臨床病理学 13
8限				医学概論Ⅲ 14	臨床病理学 14
	5日	6日	7日	8日	9日
1限	こどもの日	振替休日	法医学 25	公衆衛生学 29	公衆衛生学 33
2限			法医学 26	公衆衛生学 30	公衆衛生学 34
3限			公衆衛生学 27	公衆衛生学 31	公衆衛生学 35
4限			公衆衛生学 28	公衆衛生学 32	公衆衛生学 36
5限			臨床病理学 15		産業医学Ⅲ 23
6限			臨床病理学 16		産業医学Ⅲ 24
7限			臨床病理学 17		
8限			臨床病理学 18		
	12日	13日	14日	15日	16日
1限	法医学 27	法医学 29	法医学 31		公衆衛生学 37
2限	法医学 28	法医学 30	法医学 32		公衆衛生学 38
3限	病態病理学 51		臨床病理学 19	医学概論Ⅲ 17	公衆衛生学 39
4限	病態病理学 52		臨床病理学 20	医学概論Ⅲ 18	公衆衛生学 40
5限	病態病理学 53	病態病理学 57	臨床病理学 21	医学概論Ⅲ 19	臨床病理学 23
6限	病態病理学 54	病態病理学 58	臨床病理学 22	医学概論Ⅲ 20	臨床病理学 24
7限	病態病理学 55	病態病理学 59			臨床病理学 25
8限	病態病理学 56	病態病理学 60			臨床病理学 26
	19日	20日	21日	22日	23日
1限	法医学 33	法医学 35	法医学 37	公衆衛生学 41	公衆衛生学 45
2限	法医学 34	法医学 36	法医学 38	公衆衛生学 42	公衆衛生学 46
3限	臨床病理学 27		臨床病理学 31	公衆衛生学 43	公衆衛生学 47
4限	臨床病理学 28		臨床病理学 32	公衆衛生学 44	公衆衛生学 48
5限	臨床病理学 29	病態病理学 61	臨床病理学 33		臨床病理学 35
6限	臨床病理学 30	病態病理学 62	臨床病理学 34		臨床病理学 36
7限		病態病理学 63			臨床病理学 37
8限		病態病理学 64			臨床病理学 38
	26日	27日	28日	29日	30日
1限	法医学 39	法医学 41	法医学 43		法医学 45
2限	法医学 40	法医学 42	法医学 44		法医学 46
3限	臨床病理学 39	医学概論Ⅲ 21	臨床病理学 45		臨床病理学 49
4限	臨床病理学 40	医学概論Ⅲ 22	臨床病理学 46		臨床病理学 50
5限	臨床病理学 41	病態病理学 65	臨床病理学 47		臨床病理学 51
6限	臨床病理学 42	病態病理学 66	臨床病理学 48		臨床病理学 52
7限	臨床病理学 43	病態病理学 67	病態病理学 69		臨床病理学 53
8限	臨床病理学 44	病態病理学 68	病態病理学 70		臨床病理学 54

令和７年度 時間割

３年次　前学期

６ ／ ２（月）～ ６ ／30（月）

1限　8:50 ～ 9:40　5限　13:40 ～14:30　9限　17:40～18:30
2限　9:50 ～10:40　6限　14:40 ～15:30　10限　18:40～19:30
3限　10:50 ～11:40　7限　15:40 ～16:30
4限　11:50 ～12:40　8限　16:40 ～17:30

	月	火	水	木	金
	2日	3日	4日	5日	6日
1限	法医学 47	医学概論Ⅲ 23	公衆衛生学 49	公衆衛生学 実習 ①	法医学 49
2限	法医学 48	医学概論Ⅲ 24	公衆衛生学 50		法医学 50
3限	臨床病理学 55	医学概論Ⅲ 25	臨床病理学 61		臨床病理学 65
4限	臨床病理学 56	医学概論Ⅲ 26	臨床病理学 62		臨床病理学 66
5限	臨床病理学 57	病態病理学 71	臨床病理学 63		臨床病理学 67
6限	臨床病理学 58	病態病理学 72	臨床病理学 64		臨床病理学 68
7限	臨床病理学 59		病態病理学 73		
8限	臨床病理学 60		病態病理学 74		
	9日	10日	11日	12日	13日
1限	法医学 51	医学概論Ⅲ 27	法医学 53	法医学 55	公衆衛生学 実習 ②
2限	法医学 52	医学概論Ⅲ 28	法医学 54	法医学 56	
3限	法医学 実習 ①	法医学 実習 ②	臨床病理学 69		
4限			臨床病理学 70		
5限			臨床病理学 71	臨床病理学 74	
6限			臨床病理学 72	臨床病理学 75	
7限			臨床病理学 73		
8限					
	16日	17日	18日	19日	20日
1限	法医学 57	医学概論Ⅲ 29	公衆衛生学 実習 ③	公衆衛生学 実習 ④	公衆衛生学 実習 ⑤
2限	法医学 58	医学概論Ⅲ 30			
3限	臨床病理学 76				
4限	臨床病理学 77				
5限		病態病理学 75		臨床病理学 78	病態病理学 79
6限		病態病理学 76		臨床病理学 79	
7限		病態病理学 77			
8限		病態病理学 78			
	23日	24日	25日	26日	27日
1限	研究室配属	研究室配属	研究室配属	研究室配属	研究室配属
2限					
3限					
4限					
5限					
6限					
7限					
8限					
	30日				
1限	研究室配属				
2限					
3限					
4限					
5限					
6限					
7限					
8限					

令和７年度　時間割

３年次　前学期

７　／　１（火）～　７　／３１（木）

1限　8:50 ～ 9:40　5限　13:40 ～14:30　9限　17:40～18:30
2限　9:50 ～10:40　6限　14:40 ～15:30　10限　18:40～19:30
3限　10:50 ～11:40　7限　15:40 ～16:30
4限　11:50 ～12:40　8限　16:40 ～17:30

	月	火	水	木	金
		1日	2日	3日	4日
1限 2限 3限 4限 5限 6限 7限 8限		研究室配属	研究室配属	研究室配属	研究室配属
	7日	8日	9日	10日	11日
1限 2限 3限 4限 5限 6限 7限 8限	研究室配属	研究室配属	研究室配属	研究室配属	研究室配属
	14日	15日	16日	17日	18日
1限 2限 3限 4限 5限 6限 7限 8限	研究室配属	研究室配属	研究室配属	研究室配属	研究室配属
	21日	22日	23日	24日	25日
1限 2限 3限 4限 5限 6限 7限 8限	海の日	研究室配属	研究室配属	研究室配属	研究室配属
	28日	29日	30日	31日	
1限 2限 3限 4限 5限 6限 7限 8限	研究室配属	研究室配属	研究室配属	研究室配属	

7/27(土)Post-CC OSCE(模擬患者)

令和７年度　時間割

３年次　前学期

９　／　１（月）～　９　／３０（火）

1限　8:50 ～ 9:40　　5限　13:40 ～14:30　　9限　17:40～18:30
2限　9:50 ～10:40　　6限　14:40 ～15:30　　10限　18:40～19:30
3限　10:50 ～11:40　　7限　15:40 ～16:30
4限　11:50 ～12:40　　8限　16:40 ～17:30

	月	火	水	木	金
	1日	2日	3日	4日	5日
1限	基礎総合試験Ⅲ	研究室配属	研究室配属	研究室配属	研究室配属
2限					
3限					
4限					
5限					
6限					
7限					
8限					
	8日	9日	10日	11日	12日
1限	研究室配属	研究室配属	研究室配属	研究室配属	研究室配属
2限					
3限					
4限					
5限					
6限					
7限					
8限					
	15日	16日	17日	18日	19日
1限	敬老の日	研究室配属	研究室配属	研究室配属	研究室配属
2限					
3限					
4限					
5限					
6限					
7限					
8限					
	22日	23日	24日	25日	26日
1限	研究室配属	秋分の日	研究室配属	研究室配属	研究室配属
2限					
3限					
4限					
5限					
6限					
7限					
8限					
	29日	30日			
1限	研究室配属	血液内科学総論 1			
2限		血液内科学総論 2			
3限		小児科学Ⅰ 1			
4限		小児科学Ⅰ 2			
5限		第3内科学総論 1			
6限		第3内科学総論 2			
7限					
8限					

令和７年度　時間割

３年次　後学期

１０／　１（水）～　１０／３１（金）

1限　8:50 ～ 9:40　　5限　13:40 ～14:30　　9限　17:40～18:30
2限　9:50 ～10:40　　6限　14:40 ～15:30　　10限　18:40～19:30
3限　10:50 ～11:40　　7限　15:40 ～16:30
4限　11:50 ～12:40　　8限　16:40 ～17:30

	月	火	水	木	金
			1日	2日	3日
1限			産科学 1		泌尿器科学総論 3
2限			産科学 2		泌尿器科学総論 4
3限			泌尿器科学総論 1	産科学 3	第1内科学総論 1
4限			泌尿器科学総論 2	産科学 4	第1内科学総論 2
5限			脳神経外科学総論 1	小児科学Ⅰ 3	精神医学総論 1
6限			脳神経外科学総論 2	小児科学Ⅰ 4	精神医学総論 2
7限			整形外科学総論 1	第2外科学総論 1	第2内科学総論 1
8限			整形外科学総論 2	第2外科学総論 2	第2内科学総論 2
	6日	7日	8日	9日	10日
1限	呼吸器内科学総論 1	血液内科学総論 3	産科学 5		泌尿器科学総論 7
2限	呼吸器内科学総論 2	血液内科学総論 4	産科学 6		泌尿器科学総論 8
3限	第2内科学総論 3	小児科学Ⅰ 5	泌尿器科学総論 5	産科学 7	第1内科学総論 5
4限	第2内科学総論 4	小児科学Ⅰ 6	泌尿器科学総論 6	産科学 8	第1内科学総論 6
5限	精神医学総論 3	第3内科学総論 3	脳神経外科学総論 3	小児科学Ⅰ 7	精神医学総論 5
6限	精神医学総論 4	第3内科学総論 4	脳神経外科学総論 4	小児科学Ⅰ 8	精神医学総論 6
7限	第1内科学総論 3	歯科・口腔外科学 1	整形外科学総論 3	第2外科学総論 3	第2内科学総論 5
8限	第1内科学総論 4	歯科・口腔外科学 2	整形外科学総論 4	第2外科学総論 4	第2内科学総論 6
	13日	14日	15日	16日	17日
1限	スポーツの日	血液内科学総論 5	産科学 9		泌尿器科学総論 9
2限		血液内科学総論 6	産科学 10		泌尿器科学総論 10
3限		小児科学Ⅰ 9	第2内科学総論 7	産科学 11	第1内科学総論 9
4限		小児科学Ⅰ 10	第2内科学総論 8	産科学 12	第1内科学総論 10
5限		第3内科学総論 5	脳神経外科学総論 5	小児科学Ⅰ 11	精神医学総論 7
6限		第3内科学総論 6	脳神経外科学総論 6	小児科学Ⅰ 12	精神医学総論 8
7限		歯科・口腔外科学 3	第1内科学総論 7	第2外科学総論 5	第2内科学総論 9
8限		歯科・口腔外科学 4	第1内科学総論 8	第2外科学総論 6	第2内科学総論 10
	20日	21日	22日	23日	24日
1限	第1内科学総論 11	血液内科学総論 7	産科学 13		
2限	第1内科学総論 12	血液内科学総論 8	産科学 14		
3限	第2内科学総論 11	小児科学Ⅰ 13	第2内科学総論 13	産科学 15	
4限	第2内科学総論 12	小児科学Ⅰ 14	第2内科学総論 14	産科学 16	
5限	精神医学総論 9	歯科・口腔外科学 5	脳神経外科学総論 7	小児科学Ⅰ 15	精神医学総論 11
6限	精神医学総論 10	歯科・口腔外科学 6	脳神経外科学総論 8	小児科学Ⅰ 16	精神医学総論 12
7限	第1内科学総論 13	歯科・口腔外科学 7	整形外科学総論 5	第2外科学総論 7	第3内科学総論 7
8限	第1内科学総論 14	歯科・口腔外科学 8	整形外科学総論 6	第2外科学総論 8	第3内科学総論 8
	27日	28日	29日	30日	31日
1限	呼吸器内科学総論 3	血液内科学総論 9	産科学 17	小児科学Ⅰ 19	大学祭準備日
2限	呼吸器内科学総論 4	血液内科学総論 10	産科学 18	小児科学Ⅰ 20	
3限	第2内科学総論 15	小児科学Ⅰ 17	第1内科学総論 15	産科学 19	
4限	第2内科学総論 16	小児科学Ⅰ 18	第1内科学総論 16	産科学 20	
5限	呼吸器内科学総論 5	第3内科学総論 9	第2内科学総論 17	皮膚科学 1	
6限	呼吸器内科学総論 6	第3内科学総論 10	第2内科学総論 18	皮膚科学 2	
7限	第1外科学総論 1	第2外科学総論 9	整形外科学総論 7	第2外科学総論 11	
8限	第1外科学総論 2	第2外科学総論 10	整形外科学総論 8	第2外科学総論 12	

令和７年度　時間割

３年次　後学期

１１／　３（月）～　１１／２８（金）

1限　8:50 ～ 9:40　　5限　13:40 ～14:30　　9限　17:40～18:30
2限　9:50 ～10:40　　6限　14:40 ～15:30　　10限　18:40～19:30
3限 10:50 ～11:40　　7限　15:40 ～16:30
4限 11:50 ～12:40　　8限　16:40 ～17:30

	月	火	水	木	金
1限					
2限					
3限					
4限					
5限					
6限					
7限					
8限					
	3日	4日	5日	6日	7日
1限	大学祭 文化の日	大学祭 後片付け	第1内科学総論 17	皮膚科学 3	
2限			第1内科学総論 18	皮膚科学 4	
3限			第1内科学総論 19	産科学 21	
4限			第1内科学総論 20	産科学 22	
5限			第2内科学総論 19	歯科・口腔外科学 9	第3内科学総論 11
6限			第2内科学総論 20	歯科・口腔外科学 10	第3内科学総論 12
7限			第1内科学総論 21	第2外科学総論 13	第2内科学総論 21
8限			第1内科学総論 22	第2外科学総論 14	第2内科学総論 22
	10日	11日	12日	13日	14日
1限	呼吸器内科学総論 7	第1内科学総論 23	第2内科学総論 25	皮膚科学 5	
2限	呼吸器内科学総論 8	第1内科学総論 24	第2内科学総論 26	皮膚科学 6	
3限	第2内科学総論 23	血液内科学総論 11	第1内科学総論 25	小児科学Ⅰ 21	血液内科学総論 13
4限	第2内科学総論 24	血液内科学総論 12	第1内科学総論 26	小児科学Ⅰ 22	血液内科学総論 14
5限	精神医学総論 13	第3内科学総論 13	第1内科学総論 27	歯科・口腔外科学 13	第3内科学総論 15
6限	精神医学総論 14	第3内科学総論 14	第1内科学総論 28	歯科・口腔外科学 14	第3内科学総論 16
7限	第1外科学総論 3	歯科・口腔外科学 11		第2外科学総論 15	第1外科学総論 5
8限	第1外科学総論 4	歯科・口腔外科学 12		第2外科学総論 16	第1外科学総論 6
	17日	18日	19日	20日	21日
1限	呼吸器内科学総論 9	第1内科学総論 29	第1内科学総論 31	皮膚科学 7	総合型選抜入試 準備日
2限	呼吸器内科学総論 10	第1内科学総論 30	第1内科学総論 32	皮膚科学 8	
3限	第2内科学総論 27	血液内科学総論 17	第1内科学総論 33	小児科学Ⅰ 23	
4限	第2内科学総論 28	血液内科学総論 18	第1内科学総論 34	小児科学Ⅰ 24	
5限	血液内科学総論 15	第3内科学総論 17	整形外科学総論 9	歯科・口腔外科学 17	
6限	血液内科学総論 16	第3内科学総論 18	整形外科学総論 10	歯科・口腔外科学 18	
7限		歯科・口腔外科学 15	第1外科学総論 7	第2外科学総論 17	
8限		歯科・口腔外科学 16	第1外科学総論 8	第2外科学総論 18	
	24日	25日	26日	27日	28日
1限	振替休日	第1内科学総論 35	精神医学総論 15		第1内科学総論 37
2限		第1内科学総論 36	精神医学総論 16		第1内科学総論 38
3限			第2内科学総論 29	小児科学Ⅰ 25	
4限			第2内科学総論 30	小児科学Ⅰ 26	
5限		第3内科学総論 19	整形外科学総論 11	皮膚科学 9	第3内科学総論 21
6限		第3内科学総論 20	整形外科学総論 12	皮膚科学 10	第3内科学総論 22
7限		歯科・口腔外科学 19			第1外科学総論 9
8限		歯科・口腔外科学 20			第1外科学総論 10

令和７年度　時間割

３年次　後学期

１２／　１（月）～　１２／２６（金）

1限　8:50 ～ 9:40　5限　13:40 ～14:30　9限　17:40～18:30
2限　9:50 ～10:40　6限　14:40 ～15:30　10限　18:40～19:30
3限 10:50 ～11:40　7限　15:40 ～16:30
4限 11:50 ～12:40　8限　16:40 ～17:30

	月	火	水	木	金
	1日	2日	3日	4日	5日
1限	呼吸器内科学総論 11	推薦入試 準備日	推薦入試		神経内科学総論 1
2限	呼吸器内科学総論 12				神経内科学総論 2
3限	小児科学Ⅰ 27			皮膚科学 13	
4限	小児科学Ⅰ 28			皮膚科学 14	
5限	皮膚科学 11			歯科・口腔外科学 21	第3内科学総論 23
6限	皮膚科学 12			歯科・口腔外科学 22	第3内科学総論 24
7限					第1外科学総論 11
8限					第1外科学総論 12
	8日	9日	10日	11日	12日
1限	呼吸器内科学総論 13	神経内科学総論 3	第1内科学総論 39	神経内科学総論 7	
2限	呼吸器内科学総論 14	神経内科学総論 4	第1内科学総論 40	神経内科学総論 8	
3限	第2内科学総論 31	神経内科学総論 5	第1内科学総論 41	皮膚科学 17	
4限	第2内科学総論 32	神経内科学総論 6	第1内科学総論 42	皮膚科学 18	
5限	皮膚科学 15	第3内科学総論 25		歯科・口腔外科学 23	第3内科学総論 27
6限	皮膚科学 16	第3内科学総論 26		歯科・口腔外科学 24	第3内科学総論 28
7限	第1外科学総論 13	血液内科学総論 19	整形外科学総論 13		呼吸器内科学総論 15
8限	第1外科学総論 14	血液内科学総論 20	整形外科学総論 14		呼吸器内科学総論 16
	15日	16日	17日	18日	19日
1限	呼吸器内科学総論 17				皮膚科学 25
2限	呼吸器内科学総論 18				皮膚科学 26
3限	呼吸器内科学総論 19	神経内科学総論 9	第1内科学総論 43		
4限	呼吸器内科学総論 20	神経内科学総論 10	第1内科学総論 44		第1内科学総論 46
5限	皮膚科学 19	皮膚科学 21		神経内科学総論 11	
6限	皮膚科学 20	皮膚科学 22	第1内科学総論 45	神経内科学総論 12	
7限	第1外科学総論 15		整形外科学総論 15	皮膚科学 23	
8限	第1外科学総論 16		整形外科学総論 16	皮膚科学 24	
	22日	23日	24日	25日	26日
1限					
2限			第1内科学総論 47		
3限	呼吸器内科学総論 21	神経内科学総論 13			
4限	呼吸器内科学総論 22	神経内科学総論 14			
5限	皮膚科学 27	皮膚科学 29		皮膚科学 31	
6限	皮膚科学 28	皮膚科学 30		皮膚科学 32	
7限					
8限					
	29日	30日	31日		
1限					
2限					
3限					
4限					
5限					
6限					
7限					
8限					

令和７年度　時間割

3年次　後学期

１　／　５（月）～　１　／３０（金）

1限　8:50 ～ 9:40　　5限　13:40 ～14:30　　9限　17:40～18:30
2限　9:50 ～10:40　　6限　14:40 ～15:30　　10限　18:40～19:30
3限　10:50 ～11:40　　7限　15:40 ～16:30
4限　11:50 ～12:40　　8限　16:40 ～17:30

	月	火	水	木	金
				1日	2日
1限				元日	
2限					
3限					
4限					
5限					
6限					
7限					
8限					
	5日	6日	7日	8日	9日
1限					神経内科学総論　15
2限					神経内科学総論　16
3限					
4限					
5限					皮膚科学　33
6限					皮膚科学　34
7限					早期臨床体験実習Ⅲ 実習参加のための基礎講義
8限					
	12日	13日	14日	15日	16日
1限	成人の日	神経内科学総論　17			早期臨床体験実習Ⅲ
2限		神経内科学総論　18			
3限		神経内科学総論　19			
4限		神経内科学総論　20			
5限			神経内科学総論　21		
6限			神経内科学総論　22		
7限					
8限					
	19日	20日	21日	22日	23日
1限	早期臨床体験実習Ⅲ				
2限					
3限					
4限					
5限					早期臨床体験実習Ⅲ実習成果発表
6限					
7限					
8限					
	26日	27日	28日	29日	30日
1限					
2限					
3限					
4限					
5限					
6限					
7限					
8限					

令和７年度　時間割

３年次　後学期

２　／　２（月）～　２　／２７（金）

1限　8:50 ～ 9:40　5限　13:40 ～14:30　9限　17:40～18:30
2限　9:50 ～10:40　6限　14:40 ～15:30　10限　18:40～19:30
3限　10:50 ～11:40　7限　15:40 ～16:30
4限　11:50 ～12:40　8限　16:40 ～17:30

	月	火	水	木	金
	2日	3日	4日	5日	6日
1限					一般入試準備日
2限					
3限					
4限					
5限					
6限					
7限					
8限					
	9日	10日	11日	12日	13日
1限			建国記念の日		
2限					
3限					
4限					
5限					
6限					
7限					
8限					
	16日	17日	18日	19日	20日
1限					
2限					
3限					
4限					
5限					
6限					
7限					
8限					
	23日	24日	25日	26日	27日
1限	天皇誕生日				
2限					
3限					
4限					
5限					
6限					
7限					
8限					

医学概論Ⅲ
【Medical Humanities Ⅲ】

担当責任者 （医学部長）

ねらい

「医学とは、できる限り確かな医学知識（Science）と技術（Art）を用いて、病いにある人の自己回復力を全人的に援助する人間学（Humanities）である。」医学生の立場でこの意味を充分に理解・体得するために、次の方針に基づいた教育を行う。

1. 講義および体験学習を通じて、「医学とは何か」「人間とは何か」について理解を深めることにより、人間に対する豊かな感性と霊性を養う。
2. 医学概論教育を通じて本来の自分の生き方を再発見・探求することにより、専門職である医師となるための基本的な倫理観・態度を養う。
3. 産業医学マインドの原点である、①上医をめざす、②感謝されない医師、③哲学する医師の3つの基本的医師像に加え、④実感として共感する医師となれるよう、その基本的態度の体得に努める。

学修目標

1. コミュニケーション医学の意義を述べることができる。（Ⅵ-1）
2. コミュニケーション医学の技法について説明し実践する。（Ⅵ-1）
3. 全人的医療（プライマリ・ケア）における医療面接の意味を説明できる。（Ⅳ-1, Ⅳ-8）
4. 医療人類学における病と癒しの意味を論じることができる。（Ⅵ-1）
5. 漢方医学の特徴を西洋医学と比較して説明できる。（Ⅳ-8, Ⅳ-11）
6. 研究倫理と利益相反及び研究不正防止策について説明できる。（Ⅴ-3）

事前事後学習の方法

1. シラバスに記載されている授業項目について、指定教科書や参考書などで事前に予習しておくこと。
2. 配布された講義プリントを熟読して講義内容の復習をすること。

成績評価方法・基準

1. 科目試験Ⅰ（約30%）・Ⅱ（約50%）、講義レポート（約15%）、グループ発表（約5%）の結果を基に総合的に判断する。
2. 100点満点換算で、A、B、C、D、Fの5段階評価とする。

○ 教 科 書

辻内琢也 監訳 ヘルマン医療人類学 2022年 金剛出版

飯田淳子、錦織宏編 医師・医学生のための人類学・社会学 2022年 ナカニシヤ出版

日本漢方医学教育協議会 編集 基本がわかる漢方医学講義 2020年 羊土社

○ 参 考 書

アーサー・クラインマン著 江口重行ほか訳 「病の語り -慢性の病いをめぐる臨床人類学」 1994年 誠信書房

波平恵美子著 「病むことの文化」 1990年 海鳴社

町田いづみ、保坂隆著 「医療コミュニケーション入門」 2001年 星和書店

鈴木二郎著 「治療としての面接」 2001年 金剛出版

藤平健、小倉重成著 「漢方概論」 2002年 創元社

3 年 次

講義:2401講義室

年月日	曜日	時限	授業項目（内容）	コアカリ項目				担当者
				第1層	第2層	第3層	第4層	
R7.4. 8	火	3･4	医療人類学とは ＊講義レポート①	GE	04	02	02	石丸 知宏
4. 15	火	3･4	医療人類学の理論と実践 ＊講義レポート②	GE	04	02	03	石丸 知宏
4. 22	火	3･4	医学のアート ＊講義レポート③	CM	01	02	02	石丸 知宏
4.25	金	1･2	医療訴訟とコミュニケーション ＊講義レポート④	CM	01	02	01	石丸 知宏
4.25	金	3･4	医療面接の実践演習① ＊講義レポート⑤	CM	02	03	01,02	石丸 知宏
5.1	木	5	科目試験Ⅰ(50分間)					石丸 知宏
5.1	木	6･7	医療面接の実践演習② ＊講義レポート⑥	RE RE	05 05	01 02	01 01,02	石丸 知宏
5.1	木	8	研究倫理と利益相反 ＊講義レポート⑦	GE CM	04 02	03 02	02 01	石丸 知宏
5.2	金	1･2	漢方医学① ＊講義レポート⑧	CS	02	04	14	石丸 知宏
5.15	木	3･4	漢方医学② ＊講義レポート⑨	CS	02	04	14	石丸 知宏
5.15	木	5･6	補完代替医療とアーユルヴェーダ ＊講義レポート⑩	SO	06	01	03	石丸 知宏
5.27	火	3･4	漢方診療の実際(特別講義) ＊講義レポート⑪	CS	02	04	14	井上 博喜(学外)
6. 3	火	1･2	医療人類学 研究発表会① ＊講義レポート⑫	SO	06	01	02	石丸 知宏
6. 3	火	3･4	医療人類学 研究発表会② ＊講義レポート⑬	SO	06	01	02	石丸 知宏
6.10	火	1･2	医療人類学 研究発表会③ ＊講義レポート⑭	S0	06	01	02	石丸 知宏
6.17	火	1･2	科目試験Ⅱ(100分間)					石丸 知宏

臨床病理学
【Clinical Pathology】

担当責任者 教授（第1病理学） 久岡 正典

ねらい

疾患の原因や発生・進展機序に加え、疾患に侵された臓器や組織に生じる形態学的変化や機能傷害について理解する。肉眼及び光学顕微鏡、電子顕微鏡による病変の観察に、適宜組織化学や免疫組織化学、分子遺伝学的解析手法を加えることにより、病変の特徴を把握・理解し、疾患の病理診断に結びつける。さらに、身体症状や他の検査所見での特徴、代表的な治療法、患者予後についても理解を深め、疾患の概念と病態に関する知識を包括的に習得する。

学修目標

1. 病理学総論の知識に立脚して、器官及び器官系における疾患の成立機序や進展過程、臨床病理学的特徴を、その臓器や組織の特徴と共に説明できる。（Ⅱ-5,Ⅴ-4）
2. 病理学実習においては、剖検や生検、切除材料にみられる肉眼的あるいは組織学的所見を自らの眼で把握し、臓器・組織の病理学的変化を理解して詳述することができる。（Ⅱ-5,Ⅴ-4）

事前事後学習の方法

1. 教育要項に記載されている授業項目について、参考書などで事前に学習することを推奨する。
2. 配布される講義資料や参考書等を熟読して講義内容を必ず復習すること。

成績評価方法・基準

小テスト、講義・実習試験、実習レポート等の評価を合わせ100点満点に換算し、その結果を基にA、B、C、D、Fの5段階評価とする。

○教 科 書

特に指定しない。

○参 考 書

1. 北川昌伸監修、仁木利郎・小田義直編、「標準病理学 第7版」 2023年、医学書院
2. 小田義直、坂元亨宇、深山正久、松野吉宏、森永正二郎、森谷卓也編、「組織病理アトラス 第6版」 2015年、文光堂
3. 青笹克之編「解明 病理学-病気のメカニズムを解く-第4版」2021年、医歯薬出版株式会社
4. 豊國伸哉、高橋雅英監訳、「ロビンス基礎病理学原書10版」 2018年、丸善
5. 吉野正、小田義直、坂元亨宇、森井英一編、「カラーアトラス病理組織の見方と鑑別診断 第7版」 2020年、医歯薬出版

(1)講義　　講義:2401講義室

年月日	曜日	時限	授業項目（内容）	コアカリ項目				担当者
				第1層	第2層	第3層	第4層	
R7.4.25	金	5	運動器Ⅰ	PS	02	05	01-05	久岡 正典
4.25	金	6	運動器Ⅱ（小テスト）	PS	02	05	01-05	久岡 正典
4.25	金	7	運動器Ⅲ	PS	02	05	01-05	久岡 正典
4.25	金	8	運動器Ⅳ（小テスト）	PS	03	04	12	久岡 正典
4.30	水	3	乳腺Ⅰ	PS	02	13	01-05	名和田 彩
4.30	水	4	乳腺Ⅱ（小テスト）	PS	02	13	01-05	名和田 彩
4.30	水	5	乳腺Ⅲ	PS	02	13	01-05	名和田 彩
4.30	水	6	乳腺Ⅳ（小テスト）	PS	03	14	17	名和田 彩

3 年 次

(1)講義　　講義:2401講義室

年月日	曜日	時限	授業項目（内容）	コアカリ項目				担当者
				第1層	第2層	第3層	第4層	
5.2	金	3	神経Ⅰ	PS	02	03	01-05	久岡 正典
5.2	金	4	神経Ⅱ(小テスト)	PS	03	04	10	久岡 正典
5.7	水	5	造血器Ⅰ(総論)	PS	02	02	01-05	名和田 彩
5.7	水	6	造血器Ⅱ(貧血)(小テスト)	PS	02	02	01-05	名和田 彩
5.7	水	7	造血器Ⅲ(貧血)	PS	02	02	01-05	名和田 彩
5.7	水	8	造血器Ⅳ(貧血)(小テスト)	PS	02	02	01-05	名和田 彩
5.14	水	3	造血器Ⅴ(血小板)(小テスト)	PS	02	02	01-05	津田 陽二郎
5.14	水	4	造血器Ⅵ(脾臓・胸腺)(小テスト)	PS	02	02	01-05	津田 陽二郎
5.14	水	5	造血器Ⅶ(リンパ節)	PS	02	02	01-05	津田 陽二郎
5.14	水	6	造血器Ⅷ(リンパ節)(小テスト)	PS	02	02	01-05	津田 陽二郎
5.16	金	5	神経Ⅲ	PS	02	03	01-05	久岡 正典
5.16	金	6	神経Ⅳ(小テスト)	PS	02	03	01-05	久岡 正典
5.16	金	7	神経Ⅴ	PS	02	03	01-05	久岡 正典
5.16	金	8	神経Ⅵ(小テスト)	PS	03	04	10	久岡 正典
5.19	月	3	皮膚Ⅰ	PS	02	04	01-05	内橋 和芳(学外)
5.19	月	4	皮膚Ⅱ(小テスト)	PS	03	04	11	内橋 和芳(学外)
5.19	月	5	造血器Ⅸ(リンパ節)	PS	02	02	01-05	津田 陽二郎
5.19	月	6	造血器Ⅹ(リンパ節)(小テスト)	PS	02	02	01-05	津田 陽二郎
5.23	金	5	内分泌Ⅰ	PS	02	14	01-05	亀山 香織(学外)
5.23	金	6	内分泌Ⅱ	PS	02	14	01-05	亀山 香織(学外)
5.23	金	7	内分泌Ⅲ	PS	02	14	01-05	亀山 香織(学外)
5.23	金	8	内分泌Ⅳ(小テスト)	PS	03	04	18	亀山 香織(学外)
5.26	月	3	呼吸器Ⅰ	PS	02	07	01-05	笠井 孝彦(学外)
5.26	月	4	呼吸器Ⅱ	PS	02	07	01-05	笠井 孝彦(学外)
5.26	月	5	呼吸器Ⅲ	PS	02	07	01-05	笠井 孝彦(学外)
5.26	月	6	呼吸器Ⅳ	PS	02	07	01-05	笠井 孝彦(学外)
5.26	月	7	呼吸器Ⅴ	PS	02	07	01-05	笠井 孝彦(学外)
5.26	月	8	呼吸器Ⅵ(小テスト)	PS	03	04	13	笠井 孝彦(学外)
5.28	水	3	造血器ⅩⅠ(白血病)	PS	02	02	01-05	名和田 彩
5.28	水	4	造血器ⅩⅡ(白血病)(小テスト)	PS	02	02	01-05	名和田 彩
5.28	水	5	造血器ⅩⅢ(白血病)	PS	02	02	01-05	名和田 彩
5.28	水	6	造血器ⅩⅣ(白血病)(小テスト)	PS	03	04	09	名和田 彩
5.30	金	7	小児病理Ⅰ	PS	02	12	01-04	竹内 真(学外)
5.30	金	8	小児病理Ⅱ(小テスト)	PS	03	04	20	竹内 真(学外)
6.2	月	3	呼吸器Ⅶ	PS	02	07	01-05	笠井 孝彦(学外)
6.2	月	4	呼吸器Ⅷ	PS	02	07	01-05	笠井 孝彦(学外)
6.2	月	5	呼吸器Ⅸ	PS	02	07	01-05	笠井 孝彦(学外)
6.2	月	6	呼吸器Ⅹ	PS	02	07	01-05	笠井 孝彦(学外)
6.2	月	7	呼吸器ⅩⅠ	PS	02	07	01-05	笠井 孝彦(学外)
6.2	月	8	呼吸器ⅩⅡ(小テスト)	PS	03	04	13	笠井 孝彦(学外)
6.12	木	5	病理のトピックスⅠ	PS	03	04	06	久岡 正典

(1)講義　　講義:2401講義室

年月日	曜日	時限	授業項目（内容）	コアカリ項目				担当者
				第1層	第2層	第3層	第4層	
6.12	木	6	病理のトピックスⅡ(小テスト)	PS	03	04	06	久岡 正典
6.19	木	5	講義試験					久岡 正典
6.19	木	6	実習試験					久岡 正典

(2)実習　　顕微鏡実習:6208コンピュータ実習室(大)

年月日	曜日	時限	授業項目（内容）	コアカリ項目				担当者
				第1層	第2層	第3層	第4層	
R7.5.2	金	5	運動器Ⅰ	PS	02	05	01-05	全教員
5.2	金	6	運動器Ⅱ	PS	02	05	01-05	全教員
5.2	金	7	運動器Ⅲ	PS	02	05	01-05	全教員
5.2	金	8	運動器Ⅳ(実習レポート提出)	PS	03	04	12	全教員
5.21	水	3	乳腺Ⅰ	PS	02	13	01-05	全教員
5.21	水	4	乳腺Ⅱ	PS	02	13	01-05	全教員
5.21	水	5	乳腺Ⅲ	PS	02	13	01-05	全教員
5.21	水	6	乳腺Ⅳ(実習レポート提出)	PS	03	04	17	全教員
5.30	金	3	造血器Ⅰ	PS	02	02	01-05	全教員
5.30	金	4	造血器Ⅱ	PS	02	02	01-05	全教員
5.30	金	5	造血器Ⅲ	PS	02	02	01-05	全教員
5.30	金	6	造血器Ⅳ(実習レポート提出)	PS	03	04	09	全教員
6.4	水	3	呼吸器Ⅰ	PS	02	07	01-05	全教員
6.4	水	4	呼吸器Ⅱ	PS	02	07	01-05	全教員
6.4	水	5	呼吸器Ⅲ	PS	02	07	01-05	全教員
6.4	水	6	呼吸器Ⅳ(実習レポート提出)	PS	02	07	01-05	全教員
6.6	金	3	呼吸器Ⅴ	PS	02	07	01-05	全教員
6.6	金	4	呼吸器Ⅵ	PS	02	07	01-05	全教員
6.6	金	5	呼吸器Ⅶ	PS	02	07	01-05	全教員
6.6	金	6	呼吸器Ⅷ(実習レポート提出)	PS	03	04	13	全教員
6.11	水	3	内分泌Ⅰ	PS	02	14	01-05	全教員
6.11	水	4	内分泌Ⅱ(実習レポート提出)	PS	03	04	18	全教員
6.11	水	5	神経Ⅰ	PS	02	03	01-05	全教員
6.11	水	6	神経Ⅱ	PS	02	03	01-05	全教員
6.11	水	7	神経Ⅲ(実習レポート提出)	PS	03	04	10	全教員
6.16	月	3	実習のまとめ Ⅰ					全教員
6.16	月	4	実習のまとめ Ⅱ					全教員

病態病理学
【Human Pathology】

担当責任者 教授（第2病理学） 中山 敏幸

ねらい

疾患の原因や発生機序と共に、侵された臓器や組織に生じる形態学的変化や機能傷害を理解する。病理学の研究手法の基本は形態学的観察であり、病理解剖学や病理組織学に加え組織化学や免疫組織化学、電子顕微鏡観察、分子病理学などを統合して、様々な病変に見られる特徴を把握し、身体に及ぼす影響についても理解することで、疾患の概念や関連する知識を包括的に習得する。

学修目標

1. 病態病理学においては、基礎病理学の知識に立脚して、器官及び器官系における疾患の成立機序や進展過程を、その臓器や組織の特徴を示しながら説明することができる。（Ⅰ-3, Ⅱ-1, Ⅱ-3, Ⅱ-5, Ⅱ-6, Ⅳ-4, Ⅳ-5, Ⅴ-2）
2. 病理学実習においては、剖検や生検、切除材料にみられる肉眼的あるいは組織学的所見を自らの眼で把握し、臓器・組織の病理学的変化を理解して詳述することができる。（Ⅱ-1, Ⅱ-5, Ⅱ-6）

事前事後学習の方法

講義について

1. 予習： シラバスに記載されている授業項目について、参考資料及び参考書等で事前に学習しておくこと。
   復習： 配布された講義テキストや資料、自身の講義ノート等を熟読して講義内容の復習をすること。
   実習について
2. 予習： シラバスに記載されている実習項目について、参考資料及び参考書等で事前に学習しておくこと。
   復習： 配布された講義テキストや資料、実習スケッチ、自身の実習メモ等を熟読して実習内容の復習をすること。

成績評価方法・基準

復習記述テスト及び復習実習テスト、小テスト、実習スケッチ、レポート、出席状況等にて、総合的に判断する。

100点満点換算にて、A、B、C、D、Fの5段階評価とする。

○教 科 書

特に指定しない。

○参 考 書

北川昌伸、仁木利郎編、「標準病理学 第6版」 2019年、医学書院

森谷卓也、小田義直、深山正久、松野吉宏、他編、「組織病理アトラス 第6版」 2017年、文光堂

赤木忠厚、松原修、真鍋俊明、他編、「カラーアトラス病理組織の見方と鑑別診断 第7版」 2020年、医歯薬出版

Kumar, Abbas & Aster編、「Robbins & Cotran Pathologic Basis of Disease, 10th edition」2020年、Elsevier社

DS. Strayer, JE. Saffitz編、「Rubin's Pathology, 8th edition」2019年、Wolters Kluwer Health社

V Kumar, AK. Abbas編、「Robbins Basic Pathology, 10th edition」2017年、Elsevier社

(1)講義　　講義:2401講義室

年月日	曜日	時限	授業項目（内容）	コアカリ項目				担当者
				第1層	第2層	第3層	第4層	
R7.4.1	火	3	泌尿器1	PS	02	09	01	片渕 瑛介
4.1	火	4	泌尿器2	PS	02	09	01	片渕 瑛介
4.1	火	5	泌尿器3	PS	02	09	02	片渕 瑛介
4.1	火	6	泌尿器4	PS	02	09	02	片渕 瑛介
4.2	水	6	循環器1	PS	02	06	01	島尻 正平
4.2	水	7	循環器2	PS	02	06	01	島尻 正平
4.7	月	3	循環器3	PS	02	06	02	島尻 正平
4.7	月	4	循環器4	PS	02	06	02	島尻 正平

(1)講義

年月日	曜日	時限	授業項目（内容）	コアカリ項目				担当者
				第1層	第2層	第3層	第4層	
4.7	月	5	循環器5	PS	02	06	03	島尻 正平
4.7	月	6	循環器6	PS	02	06	04	島尻 正平
4.7	月	7	循環器7	PS	02	06	05	島尻 正平
4.7	月	8	循環器8（小テスト）	PS	02	06	05	島尻 正平
4.8	火	5	消化器1	PS	02	08	01	中山 敏幸
4.8	火	6	消化器2	PS	02	08	02	中山 敏幸
4.8	火	7	消化器3	PS	02	08	03	中山 敏幸
4.8	火	8	消化器4	PS	02	08	04,05	中山 敏幸
4.14	月	3	男性生殖器1	PS	02	10	01	島尻 正平
4.14	月	4	男性生殖器2	PS	02	10	02-05	島尻 正平
4.14	月	5	女性生殖器1	PS	02	10	01	松木 康真(学外)
4.14	月	6	女性生殖器2	PS	02	10	02	松木 康真(学外)
4.14	月	7	女性生殖器3	PS	02	10	03	松木 康真(学外)
4.14	月	8	女性生殖器4	PS	02	10 11	04,05 05	松木 康真(学外)
4.15	火	5	消化器5	PS	02	08	01	中山 敏幸
4.15	火	6	消化器6	PS	02	08	02	中山 敏幸
4.15	火	7	消化器7	PS	02	08	03	中山 敏幸
4.15	火	8	消化器8	PS	02	08	04,05	中山 敏幸
4.21	月	3	泌尿器5	PS	02	09	03	片渕 瑛介
4.21	月	4	泌尿器6	PS	02	09	03	片渕 瑛介
4.21	月	5	消化器9	PS	02	08	01	中山 敏幸
4.21	月	6	消化器10	PS	02	08	02	中山 敏幸
4.21	月	7	消化器11	PS	02	08	03	中山 敏幸
4.21	月	8	消化器12	PS	02	08	04	中山 敏幸
4.22	火	5	消化器13	PS	02	08	01	中山 敏幸
4.22	火	6	消化器14	PS	02	08	02	中山 敏幸
4.22	火	7	消化器15	PS	02	08	03	中山 敏幸
4.22	火	8	消化器16	PS	02	08	04,05	中山 敏幸
5.12	月	3	泌尿器7	PS	02	09	04	木村 聡(学外)
5.12	月	4	泌尿器8	PS	02	09	04	木村 聡(学外)
5.12	月	5	泌尿器9	PS	02	09	05	木村 聡(学外)
5.12	月	6	泌尿器10	PS	02	09	05	木村 聡(学外)
5.12	月	7	消化器17	PS	02	08	05	中山 敏幸
5.12	月	8	消化器18（小テスト）	PS	02	08	05	中山 敏幸
5.20	火	5	肝胆膵1	PS	02	08	01	新野 大介(学外)
5.20	火	6	肝胆膵2	PS	02	08	01	新野 大介(学外)
5.20	火	7	肝胆膵3	PS	02	08	02	新野 大介(学外)
5.20	火	8	肝胆膵4	PS	02	08	02	新野 大介(学外)
5.27	火	5	肝胆膵5	PS	02	08	03	島尻 正平
5.27	火	6	肝胆膵6	PS	02	08	03	島尻 正平

3 年 次

(1)講義

年月日	曜日	時限	授　業　項　目　（内　容）	コアカリ項目				担　当　者
				第1層	第2層	第3層	第4層	
5.27	火	7	肝胆膵7	PS	02	08	04	島尻　正平
5.27	火	8	肝胆膵8	PS	02	08	04	島尻　正平
6.3	火	5	肝胆膵9	PS	02	08	05	島尻　正平
6.3	火	6	肝胆膵10（小テスト）	PS	02	08	05	島尻　正平
6.20	金	5	試験	PS	02			中山　敏幸

(2)実習　　実習:6208コンピュータ実習室(大)

年月日	曜日	時限	授　業　項　目　（内　容）	コアカリ項目				担　当　者
				第1層	第2層	第3層	第4層	
R7.4.1	火	7	泌尿器1	PS	02	09	01	片渕　瑛介
4.1	火	8	泌尿器2	PS	02	09	02	片渕　瑛介
4.9	水	5	循環器1	PS	02	06	01	島尻　正平
4.9	水	6	循環器2	PS	02	06	02	島尻　正平
4.9	水	7	消化器1	PS	02	08	01	中山　敏幸
4.9	水	8	消化器2	PS	02	08	02-05	中山　敏幸
4.16	水	5	生殖器1	PS	02	10	01	島尻　正平
4.16	水	6	生殖器2	PS	02	10	02	島尻　正平
4.16	水	7	生殖器3	PS	02	10	03	島尻　正平
4.16	水	8	生殖器4	PS	02	10 11	04,05 05	島尻　正平
4.23	水	6	循環器3	PS	02	06	03	島尻　正平
4.23	水	7	循環器4	PS	02	06	04,05	島尻　正平
4.30	水	7	消化器3	PS	02	08	01	中山　敏幸
4.30	水	8	消化器4	PS	02	08	02	中山　敏幸
5.13	火	5	泌尿器3	PS	02	09	03	中山　敏幸
5.13	火	6	泌尿器4	PS	02	09	04, 05	中山　敏幸
5.13	火	7	消化器5	PS	02	08	03	中山　敏幸
5.13	火	8	消化器6	PS	02	08	04, 05	中山　敏幸
5.28	水	7	肝胆膵1	PS	02	08	01	島尻　正平
5.28	水	8	肝胆膵2	PS	02	08	02	島尻　正平
6.4	水	7	消化器7	PS	02	08	01	中山　敏幸
6.4	水	8	消化器8	PS	02	08	02-05	中山　敏幸
6.17	火	5	肝胆膵3	PS	02	08	03	島尻　正平
6.17	火	6	肝胆膵4	PS	02	08	04,05	島尻　正平
6.17	火	7	マクロ実習	PS	02			中山　敏幸
6.17	火	8	マクロ実習	PS	02			中山　敏幸

公衆衛生学
【Public Health】

担当責任者 （医学部長）

ねらい

1. 生涯にわたって医師としての自己研修を続けていくための基礎的能力（基本的知識・技能・態度を指す、以下同じ）を修得する。
（自己研修能力の修得）
2. 医師として接する人々を、全人的な視野をもって受容するための基礎的能力を修得する。
（全人的対応能力の修得）
3. 医師として適切な健康教育をおこなうための基礎的能力を修得する。
（健康教育の実践能力の修得）
4. 人間集団の健康・疾病の状況を人類生態学ないし疫学的視点から理解していくための基礎的能力を修得する。
（疫学的思考力の修得）
5. 地域を基盤とした保健医療福祉活動において、医師として積極的に参加するための基礎的能力を修得する。
（地域保健医療福祉の実践能力の修得）
6. 本学の使命に沿って、産業保健の意義を適切に理解するための基礎的能力を修得する。
（産業保健マインドの修得）
7. 国際保健医療協力の意義を適切に理解するための基礎的能力を修得する。
（国際的視野の修得）

学修目標

1. 自己研修能力の修得

1. これからの社会における医師としての社会的使命を説明する。〈Ⅰ-1, Ⅰ-2, Ⅰ-3〉
2. 生涯にわたる自己研修の基礎づくりとして公衆衛生学の授業に積極的に取り組んでいく態度を示す。〈Ⅰ-4, Ⅰ-5〉
3. 自ら進んで文献・参考書などを積極的に活用して学習する。〈Ⅰ-4, Ⅴ-1, Ⅴ-2, Ⅴ-5〉
4. セミナーや実習発表会での発表や学外実習などでのレポートのまとめを要領よくおこなう。〈Ⅳ-11, Ⅴ-4, Ⅴ-5, Ⅵ-5〉
5. 中間試験などであらかじめ提示されている問題等について、自分で取り組んでいくような積極的な学習態度を示す。
〈Ⅴ-1, Ⅴ-4, Ⅴ-5〉

2. 全人的対応能力の修得

1. グループによる学外実習などで社会人としてふさわしい態度を示す。〈Ⅳ-11, Ⅵ-1, Ⅵ-4, Ⅵ-5〉
2. グループによる学外実習などで接する様々な社会的立場の人々と、適切なコミュニケーションをとる。〈Ⅵ-1, Ⅵ-3, Ⅵ-5〉
3. グループによる学外実習などで、患者、高齢者、心身障害者などに接する場合、医師になる者として十分に共感していく態度を示す。〈Ⅵ-1, Ⅵ-2〉
4. 人間の健康、疾病に関与する要因として、自然科学的な側面だけでなく、社会・文化・経済学的側面が強く関与していることを認識する。〈Ⅱ-11, Ⅱ-12〉
5. わが国には、歴史的所産としての被差別部落問題が存在していることを認識し、この現実をふまえた学習態度を示す。
〈Ⅱ-8, Ⅱ-11, Ⅲ-1〉

3. 健康教育の実践能力の修得

1. 健康な日常生活を送る上で、様々なライフスタイルが関与している事実を認識する。〈Ⅱ-11, Ⅱ-12〉
2. 健康教育を実践する上で、知識の提供にとどまらず、態度と行動の変容の重要性を体験に基づき述べる。〈Ⅱ-13〉
3. 一定のテーマに沿って、健康教育指導案を作成する。〈Ⅳ-10, Ⅳ-11, Ⅴ-1〉
4. 健康教育を効果的におこなうための各種メディアを積極的に活用し、それらの作成方法、操作方法に習熟する。
〈Ⅱ-14, Ⅴ-4, Ⅴ-5, Ⅶ-2〉
5. 発表会や、スモールグループでの討論会などで要領よく発表し、また司会役を適切におこなう。〈Ⅵ-5〉

4. 疫学的思考力の修得

1. わが国および世界の先進主要国における、人口構造や疾病構造の推移と特徴について要領よく説明する。〈Ⅱ-11,Ⅱ-12,Ⅱ-13〉
2. 健康指標・疫学指標の公衆衛生学的意義をふまえて、これらの指標を具体的に活用する。〈Ⅱ-11,Ⅱ-12,Ⅱ-13,Ⅶ-2,Ⅶ-3〉
3. 感染性疾患の対策についての諸原則をふまえ、いくつかの具体例を説明する。〈Ⅱ-9,Ⅱ-10,Ⅱ-11,Ⅱ-12〉
4. 主として非感染性疾患を対象とする疫学方法論の種類をあげ、夫々の長所と短所について要領よく説明する。〈Ⅱ-11〉
5. 疾患についての記述疫学的な記載方法を体系的に説明し、いくつかの主要疾患については夫々の疫学的事項を具体的に説明する。〈Ⅱ-11,Ⅴ-4,Ⅴ-5〉

5. 地域保健医療福祉の実践能力の修得

1. 包括医療を実践する場としての地域保健医療福祉の意義を要領よく説明する。〈Ⅱ-12,Ⅳ-10〉
2. さまざまな保健医療福祉職種の職務ならびに保健医療チームの一員としての医師(学校医、産業医、保健所長など)の役割について説明する。〈Ⅰ-2,Ⅰ-3〉
3. わが国の公衆衛生行政組織(学校保健行政、労働衛生行政などを含む)の大要とそれらの行政活動の基盤となっている主なる法規について説明する。〈Ⅱ-12,Ⅳ-10〉
4. 医師に直接関連する法律(医師法・医療法)ならびに医師として患者の発生などに関係して届け出義務のある法規とその具体的事項について説明する。〈Ⅰ-2,Ⅱ-9,Ⅱ-12,Ⅲ-3,Ⅳ-10〉
5. わが国における医師会の組織と主なる活動について述べる。〈Ⅰ-1,Ⅰ-2〉

6. 産業保健マインドの修得

1. 公衆衛生学の立場から生涯にわたって産業保健の諸問題について、積極的な関心を示す。〈Ⅱ-8,Ⅱ-11〉
2. わが国の産業構造の特徴と、その産業現場における職業病の種類とその対策・現状について、具体的に述べる。〈Ⅲ-1〉
3. 法規に基づいた産業医としての役割(専属ならびに嘱託)について積極的な関心を示す。〈Ⅲ-1,Ⅲ-2,Ⅲ-3〉
4. 中小零細企業における産業保健活動の現状と課題について具体的に述べる。〈Ⅲ-4〉
5. 大企業における安全衛生活動の組織と専属産業医の職務などについて具体的に述べる。〈Ⅲ-5〉

7. 国際的視野の修得

1. 世界各国の人口構造、疾病構造、医療供給水準などに差異のあることを認識し、かつそれらの状況を説明する。〈Ⅶ-2,Ⅶ-3〉
2. 国際保健医療協力に関連した主なる国際機関の組織と、その活動について説明する。〈Ⅶ-4,Ⅶ-5〉
3. わが国の国際保健医療協力の組織とその活動の状況について説明する。〈Ⅶ-2,Ⅶ-3,Ⅶ-5〉
4. プライマリ・ヘルス・ケアの内容をふまえて、発展途上国において具体的におこなわれている活動の事例について、簡潔に述べる。〈Ⅶ-3,Ⅶ-4〉
5. 国際保健医療協力において、NGOが果たしている役割ならびにその具体例について述べる。〈Ⅶ-1,Ⅶ-5〉

事前事後学習の方法

1. 事前学習については、教科書の関係箇所を読み、関係省庁のウェブサイト等で最近の動向について把握するとともに、LMS上に掲載する講義資料を閲覧し、事前課題が設定されている場合はその課題に取り組むこと
2. 事後学習については、LMS上に掲載する講義資料及び授業の動画等を用いて復習し、事後課題が設定されている場合はその課題に取り組むとともに、教科書及び関係省庁のウェブサイト等で制度の詳細等について確認すること

成績評価方法・基準

出席状況、実習への取り組み、レポートによる評価

○教 科 書

*随時参考にするので、必ず購入のこと

公衆衛生がみえる 2022-2023

○指定参考書

ロスマンの疫学 第2版 篠原出版新社(2013/9/26) KennethJ. Rothman (著), 矢野 栄二 (翻訳), 橋本 英樹 (翻訳), 大脇 和浩 (翻訳)
世界一わかりやすい「医療政策」の教科書 医学書院 (2020/6/1) 津川 友介(著)
医療経済学の基礎理論と論点 講座 医療経済・政策学 第1巻 勁草書房 (2006/6/1) 西村 周三(著),田中 滋(著),遠藤 久夫(著)
世界標準の経営理論 ダイヤモンド社 (2019/12/12) 入山 章栄(著)
ちょっと気になる社会保障 勁草書房:第3版 (2020/2/15) 権丈 善一(著)
日本社会のしくみ 雇用・教育・福祉の歴史社会学 講談社 (2019/7/17) 小熊 英二(著)
社会的共通資本 岩波書店 (2000/11/20) 宇沢 弘文(著)
アフターデジタル 日経BP (2019/3/23) 藤井 保文(著), 尾原 和啓(著)
アフターデジタル2 日経BP (2020/7/23) 藤井 保文(著)
LIFE SHIFT 東洋経済新報社 (2016/10/21) リンダ・グラットン(著), アンドリュー・スコット(著)
フューチャー・デザイン: 七世代先を見据えた社会 勁草書房 (2015/4/9) 西條 辰義(著)
アートオブコミュニティ オライリージャパン (2011/5/26) Jono Bacon (著)
ネットコミュニティの本質 白桃書房 (2009/12/1) 金森 剛(著)
クラブとサロン NTT出版 (1991/1/1) 小林 章夫(著)
ヘルスデザインシンキング ビー・エヌ・エヌ (2020/12/22) ボン・ク(著), エレン・ラプトン(著)
サービスデザインの教科書 NTT出版 (2017/9/11) 武山 政直(著)
ミスマッチ 見えないユーザーを排除しない「インクルーシブ」なデザインへ ビー・エヌ・エヌ新社 (2019/3/15) キャット・ホームズ(著)
インクルーシブデザイン: 社会の課題を解決する参加型デザイン 学芸出版社 (2014/4/1)
ジュリア カセム(著, 編集), 平井 康之(著, 編集), 塩瀬 隆之(著, 編集), 森下 静香(著, 編集), 水野 大二郎(著)
悲劇的なデザイン ―あなたのデザインが誰かを傷つけたかもしれないと考えたことはありますか?
ビー・エヌ・エヌ新社 (2017/12/27) ジョナサン・シャリアート(著), シンシア・サヴァール・ソシエ(著)
レジエンスエンジニアリング 日科技連出版社 (2012/11/1) Erik Hollnagel (著), Nancy Leveson (著), David D. Woods (著)
行動経済学まんが ヘンテコノミクス マガジンハウス (2017/11/16) 佐藤 雅彦(著), 菅 俊一(著), 高橋 秀明(著)
誰のためのデザイン? 増補・改訂版 ―認知科学者のデザイン原論 新曜社; 増補・改訂版 (2015/4/23) D. A. ノーマン(著)
誰の健康が優先されるのか――医療資源の倫理学 岩波書店 (2017/9/29) グレッグ・ボグナー(著), イワオ・ヒロセ(著)
医療政策を問いなおす: 国民皆保険の将来 筑摩書房 (2015/11/10) 島崎 謙治(著)
日本の医療 増補改訂版: 制度と政策 東京大学出版会(2020/4/27) 島崎 謙治(著)
「公益」資本主義 英米型資本主義の終焉 文藝春秋 (2017/3/17) 原 丈人(著)
やまゆり園事件 幻冬舎 (2022/8/4) 神奈川新聞取材班(著)
「能力」の生きづらさをほぐす どく社 (2022/12/21) 勅使川原真衣(著)

3 年 次

講義:2401講義室
実習:6208講義室

年月日	曜日	時限	授業項目（内容）	コアカリ項目				担当者
				第1層	第2層	第3層	第4層	
R7.4.3	木	6	オリエンテーション・医療(1)	SO	04	01	02	未定
4.3	木	7	医療(2) レポート提出	SO	04	06	01	未定
4.4	金	1	衛生統計(1)	SO	02	01	01	未定
4.4	金	2	衛生統計(2) レポート提出	SO	02	01	01	未定
4.4	金	3	地域リハビリテーション(1)	SO	04	06	01	未定
4.4	金	4	地域リハビリテーション(2)	SO	04	06	01	未定
4.11	金	1	衛生統計(3)	SO	02	01	01	未定
4.11	金	2	衛生統計(4) 小テスト	SO	02	01	01	未定
4.11	金	3	障害者福祉・精神保健(1)	SO	04	06	01	未定
4.11	金	4	障害者福祉・精神保健(2) レポート提出	SO	04	06	01	未定
4.16	水	3	疫学(1)	SO	02	01	01	未定
4.16	水	4	疫学(2) レポート提出	SO	02	01	01	未定
4.17	木	1	疫学(3)	SO	02	01	01	未定
4.17	木	2	疫学(4) レポート提出	SO	02	01	01	未定
4.17	木	3	在宅ケア(1)	SO	02	01	01	未定
4.17	木	4	在宅ケア(2) レポート提出	SO	02	01	01	未定
4.18	金	1	成人保健(1)	IP	02	02	02	未定
4.18	金	2	成人保健(2) レポート提出	IP	02	02	02	未定
4.18	金	3	母子保健・学校保健(1)	SO	01	02	03	未定
4.18	金	4	母子保健・学校保健(2) レポート提出	SO	01	02	03	未定
4.18	金	5	地域医療と医師会(1)	SO	05	02	02	未定
4.18	金	6	地域医療と医師会(2)	SO	05	02	02	未定
5.1	木	1	特論(油症)(1)	SO	02	01	01	未定
5.1	木	2	特論(油症)(2)	SO	04	01	02	未定
5.1	木	3	衛生統計(5)	SO	01	02	03	未定
5.1	木	4	衛生統計(6) 小テスト	SO	01	02	03	未定
5.7	水	3	薬事(1)	SO	04	06	01	未定
5.7	水	4	薬事(2) レポート提出	SO	04	06	01	未定
5.8	木	1	疫学(5)	SO	02	01	01	未定
5.8	木	2	疫学(6)	SO	02	01	01	未定
5.8	木	3	疫学(7)	SO	02	01	01	未定
5.8	木	4	疫学(8) レポート提出	SO	02	01	01	未定

講義:2401講義室
実習:6208講義室

年月日	曜日	時限	授業項目（内容）	コアカリ項目				担当者
				第1層	第2層	第3層	第4層	
5.9	金	1	介護(1)	SO	05	02	02	未定
5.9	金	2	介護(2) レポート提出	SO	05	02	02	未定
5.9	金	3	地域医療(1)	SO	01	02	03	未定
5.9	金	4	地域医療(2) レポート提出	SO	01	02	03	未定
5.16	金	1	国際保健(1)	SO	04	06	01	未定
5.16	金	2	国際保健(2) 小テスト	SO	04	06	01	未定
5.16	金	3	医療(3)	SO	04	06	01	未定
5.16	金	4	医療(4) レポート提出	SO	04	06	01	未定
5.22	木	1	産業保健(特論)(1)	SO	04	06	01	未定
5.22	木	2	産業保健(特論)(2)	SO	04	06	01	未定
5.22	木	3	産業保健(特論)(3)	SO	01	02	03	未定
5.22	木	4	産業保健(特論)(4)	SO	01	02	03	未定
5.23	金	1	ヘルスコミュニケーション(1)	SO	04	06	01	未定
5.23	金	2	ヘルスコミュニケーション(2)	SO	04	06	01	未定
5.23	金	3	ヘルスコミュニケーション(3)	SO	04	06	01	未定
5.23	金	4	ヘルスコミュニケーション(4)	SO	04	06	01	未定
6.4	水	1	厚生労働行政(1)	SO	04	06	01	未定
6.4	水	2	厚生労働行政(2) レポート提出	SO	04	06	01	未定
6.5	木	1～8	実習(1)	GE	01	04	04	スタッフ
6.13	金	1～8	実習(2)	GE	01	04	04	スタッフ
6.18	水	1～8	実習(3)	GE	01	04	04	スタッフ
6.19	木	1～4	実習(4)	GE	01	04	04	スタッフ
6.20	金	1～4	実習(5)	GE	01	04	04	スタッフ

法医学
【Forensic Medicine】

担当責任者 教授（法医学） 佐藤 寛晃

ねらい

すべての医行為における「医と法」との無数の接点における課題の本質を理解する。具体的には生体および死体を問わず、さらには物体（体液斑、組織片など）の検査、診断に当たって法医学的思考方法を修得する。法医解剖に積極的に参加する。

医事法制では、医師法および医療法を始めとし医療行為に係わる法規の立法精神を学ぶ。さらに医師と患者間の人間関係の倫理的問題点にも目を向ける。医療事故の発生について、その基本的原因と法的側面を理解する。

学修目標

1. 医学上の生と死および死因論について説明できる。（Ⅱ-3, Ⅱ-5）
2. 死体現象を列記し、その発生機転と死後経過時間を説明できる。（Ⅱ-3, Ⅱ-5）
3. 診療時の損傷検査における法医学的診断事項と診断方法を述べることができる。（Ⅱ-6, Ⅳ-4）
4. 法医学上の窒息の定義および窒息の手段別分類形態における生体の反応を説明できる。（Ⅱ-5）
5. 異常環境による障害を列挙し、その機序を説明できる。（Ⅱ-5）
6. 内因死・感染症関連死の法医学的問題点を列記できる。（Ⅱ-3, Ⅱ-5）
7. 嬰児殺・小児虐待の法医学的診断事項を説明できる。（Ⅱ-3, Ⅱ-5）
8. 中毒患者に対する法医学的留意点を列記できる。（Ⅱ-3, Ⅱ-5）
9. 血液型に係わる法医学上の問題点を列記できる。（Ⅱ-2, Ⅱ-6）
10. 診療行為が違法とはならない理由を説明できる。（Ⅰ-2）
11. 医師の義務および診療契約について説明できる。（Ⅰ-2）
12. 医療文書を適切に作成できる。（Ⅳ-6）
13. 医療事故に潜む問題点を列記できる。（Ⅳ-7）

事前事後学習の方法

講義について

1. 予習：教育要項に記載されている授業項目について、参考書などで事前に予習しておくこと。
2. 復習：配布された講義プリントと参考書を熟読して講義内容を復習すること。

実習について

1. 予習：実習書をよく読むこと。
2. 復習：実習レポートを作成すること。

成績評価方法・基準

1. 復習テスト（約5割）、理解度チェックのための小テスト（約3割）、実習レポート（約1割）、検案書作成（約1割）とし、理解度が6割に達していない場合には、口頭試問を追加実施して、総合的に判断する。
2. 100点満点換算で、A、B、C、D、Fの5段階評価とする。

○教 科 書

学生のための法医学、改訂7版、2024年、南山堂

○参 考 書

特に指定しない。

(1)講義　　講義:2401講義室

年 月 日	曜 日	時 限	授 業 項 目 (内 容)	コアカリ項目				担 当 者
				第1層	第2層	第3層	第4層	
R7.4.1	火	1･2	総論、生と死、死因論	GE	03	06	01	佐藤 寛晃
4.2	水	1･2	異状死体、死体検案、生活反応	SO	03	01	02	佐藤 寛晃
4.7	月	1･2	死体現象①	GE	03	06	01	梅原 敬弘
4.8	火	1･2	死体現象②	SO	03	01	02	梅原 敬弘
4.9	水	1･2	損傷総論、鋭器損傷①	PS	03	05	12	佐藤 寛晃
4.14	月	1･2	鋭器損傷②、鈍器損傷	PS	03	05	12	佐藤 寛晃
4.15	火	1･2	銃器損傷、交通事故損傷	PS	03	05	12	佐藤 寛晃
4.16	水	1･2	頭部損傷	PS	03	05	12	佐藤 寛晃
4.21	月	1･2	頭部以外の損傷	PS	03	05	12	佐藤 寛晃
4.22	火	1･2	窒息総論、窒息各論①	PS	02	07	01	佐藤 寛晃
4.23	水	1･2	窒息各論②	PS	02	07	02	佐藤 寛晃
4.30	水	1	窒息各論③	PS	03	05	04	佐藤 寛晃
4.30	水	2	小テスト					全教員
5.7	水	1･2	物体検査	SO	03	01	04	梅原 敬弘
5.12	月	1･2	個人識別	SO	03	01	04	梅原 敬弘
5.13	火	1･2	血液型①	PS	01	04	02	神田 芳郎(学外)
5.14	水	1･2	血液型②	PS	01	01	07	梅原 敬弘
5.19	月	1･2	中毒総論	PS	03	05	06	田中 敏子
5.20	火	1･2	中毒各論①	PS	01	01	07	梅原 敬弘
5.21	水	1･2	中毒各論②	SO	03	01	04	梅原 敬弘
5.26	月	1･2	中毒各論③	SO	03	01	04	梅原 敬弘
5.27	火	1･2	内因性急死、感染症関連死	PS	02	01	01	木村 聡(学外)
5.28	水	1･2	異常環境下の障害	PS	03	05	10	佐藤 寛晃
5.30	金	1･2	過労死と労働災害死、周産期の障害、	PS	02	11	05	佐藤 寛晃
6.2	月	1	児童虐待	SO	01	03	05	佐藤 寛晃
6.2	月	2	小テスト					全教員
6.6	金	1･2	医事法総論(医療と法)	SO	05	01	01	和泉澤 千恵(学外)
6.9	月	1･2	医療を取り巻く法的･倫理的問題	CS	05	05	02	佐藤 寛晃
6.11	水	1･2	医療過誤と医療関係者の責任	CS	05	03	02	佐藤 寛晃
6.12	木	1･2	復習テスト					全教員
6.16	月	1･2	死亡診断書･死体検案書の書き方	SO	03	01	03	佐藤 寛晃
			全レポート提出(6.23(月)17:00締切)					

(2)実習　　実習:2204, 2304実習室

年 月 日	曜 日	時 限	授 業 項 目 (内 容)	コアカリ項目				担 当 者
				第1層	第2層	第3層	第4層	
R7.6.9	月	3～8	赤血球型検査	PS	01	01	07	全教員
6.10	火	3～8	唾液検査	SO	03	01	04	全教員

研究室配属
【Special Biomedical Research Program】

担当責任者 3年次教育小委員会委員長

ねらい

教員の指導の下に基礎医学・産業医学等の研究を行うことにより、研究の重要性を理解し、科学的思考力、自己学習能力、課題探求・問題解決能力を高める。

学修目標

医学研究の方法を理解する。

1. 課題探求・問題解決能力を高める。(V-1)
2. 科学の論理を理解する。(V-1)

研究課題について自己学習することができる。

1. 研究課題の背景を説明することができる。(V-2)
2. 研究課題の実験・調査計画を立案できる。(V-3)
3. 研究課題の実験・調査を実践できる。(V-3)
4. 実験・調査結果を評価し、問題点を列挙することができる。(V-5)
5. 実験・調査結果について考察し、討議することができる。(V-5)
6. 実験・調査結果について整理し、口頭で発表することができる。(V-4)
7. 関連する他の研究の発表を聴講し、内容について討議できる。(V-4)
8. 研究結果をまとめ、報告書を作成することができる。(V-4)

事前事後学習の方法

担当教員に従う。

成績評価方法・基準

学修目標の達成度と出席状況を総合的に評価する。

○ 教 科 書

担当教員に従う。

○ 参 考 書

担当教員に従う。

年月日	曜日	時限	授業項目(内容)	コアカリ項目				担当者
				第1層	第2層	第3層	第4層	
R7.4.10	木	5・6	研究室配属合同説明会					各研究室担当教員
4.11	金	7・8	研究室配属合同説明会					各研究室担当教員
6.23	月		研究室配属	RE	01～05			各研究室担当教員
～9.29	月							

第1内科学総論

【Allergy, Immunology, Rheumatology, Infection, Endocrinology and Metabolism】

担当責任者 （医学部長）

ねらい

アレルギー性疾患、全身性自己免疫疾患（膠原病、リウマチ性疾患）、免疫不全症、感染症の病因と病態を十分に理解した上で、これらの疾患に関する正しい診断法、及び治療法を習得する。殊に、発熱・全身倦怠感や関節痛などの全身症状や所見、全身の多臓器障害がもたらす症状と所見を、横断的、且つ多角的に習得することが要求される。

下垂体・甲状腺・副腎等によるホルモン異常による内分泌疾患と糖尿病を中心とする代謝性疾患の病因、病態生理を十分に理解した上で、これらの疾患に関する正しい診断法及び治療法について習得する。

糖尿病などの代謝疾患は全身疾患であり、メタボリック症候群とされる疾患も多く、信頼される産業医として活躍するためにも、非常に重要な疾患であり、この疾患の最新の治療等について、できるだけ幅広く習得する必要がある。

いずれの講義も、モデルコアカリキュラムのみならず医師国家試験出題基準にも照合した教育プログラムを立てている。

学修目標

1. 免疫監視機構の概念とその異常・不均衡がもたらすアレルギー性疾患・自己免疫疾患・免疫不全症・感染症の病態機構を理解する。（Ⅱ-1，Ⅱ-5）
2. 各種病原体による感染の成立、感染予防、感染対策を列挙することができる。（Ⅱ-1，Ⅱ-5，Ⅱ-10）
3. アレルギー疾患・自己免疫疾患・免疫不全症・感染症の症状、理学的所見、検査法、診断法、鑑別診断を系統立てて列挙し習得する。（Ⅱ-5，Ⅱ-6，Ⅱ-10）
4. 感染症については、新型コロナウイルス感染症などを含むウイルス感染症の予防（ワクチン）、診断、検査、治療の基本、ワンヘルスの概念も習得する。（Ⅰ-1，Ⅰ-5，Ⅱ-5，Ⅱ-6）
5. 上記疾患群間に併発する病態、診断、治療、病態や治療による多臓器障害について系統的・多角的に理解する。（Ⅱ-5，Ⅱ-6，Ⅱ-10）
6. これらの疾患群、疾患群間に併発する病態の治療法を系統立てて列挙し理解する。（Ⅱ-5，Ⅱ-6，Ⅱ-10）
7. ホルモンの概念、作用機構、その調節について理解する。（Ⅱ-1）
8. ホルモンの生理作用を理解し、ホルモン分泌、作用異常と病態との関連性について学ぶ。（Ⅱ-1，Ⅱ-5）
9. ホルモン分泌及び作用異常症の概念とその症状、理学的所見、検査法、診断法、治療について習得する。（Ⅱ-1，Ⅱ-5，Ⅱ-6）
10. 内分泌・代謝疾患の鑑別疾患を系統立てて列挙することができる。（Ⅱ-6）

事前事後学習の方法

1. シラバスに記載されている授業項目について、参考書などで事前に予習しておくこと。
2. 配布された講義テキストを熟読して講義内容の復習をすること。

成績評価方法・基準

科目試験（100点満点換算）の結果を基に出席状況を加味し、A、B、C、D、Fの5段階評価で総合的に判断する。

○ 教 科 書

1. Jamesonら編： Harrison’s Principles of Internal Medicine 第21版 2022年 McGrow Hill出版
2. 矢崎義雄編： 内科学 第12版 2022年 朝倉書店

○ 参 考 書

1. 日本リウマチ学会編： リウマチ病学テキスト改訂第3版 2022年 南江堂
2. 日本アレルギー学会編： アレルギー総合ガイドライン2022 2022年 協和企画
3. 谷田憲俊編： 感染症学 改訂第四版 2010年 診断と治療社
4. 日本糖尿病学会編： 糖尿病ガイド 2021～2022 文光堂
5. 寺本民生、片山茂裕 編集： 内分泌・代謝学 メディカルレビュー社
6. 成瀬光栄、高橋 裕、田上哲也、竹内靖博、田辺晶代 編集： 内分泌代謝疾患Clinical Question100 診断と治療社

3 年 次

講義:2401講義室

年 月 日	曜 日	時 限	授 業 項 目 (内 容)	コアカリ項目				担 当 者
				第1層	第2層	第3層	第4層	
R7.10.3	金	3	免疫系の構成・機能、膠原病総論(Ⅲ-10, XI-2)	PE PS	03 01	02 03	01 18-28	中山田 真吾
10.3	金	4	副甲状腺・カルシウム代謝(X-2)	PS	02 01	14 03	01-05 29	田中 健一
10.6	月	7・8	感染症(診断、検査、治療の基本、ウイルス感染症(新型コロナ感染症含)) (V-4, XII-1)	PS	03	03	01-18	鈴木 克典
10.10	金	3・4	内分泌器官の構造・機能(Ⅲ-9)	PS	02	14	01	岡田 洋右
10.15	水	7・8	免疫と自己免疫(Ⅲ-10)	PE	03	02	01	熊ノ郷 敦(学外)
10.17	金	3・4	全身性強皮症、皮膚筋炎、MCTD、Sjogren症候群、リウマチ性多発筋痛症、IgG4関連疾患など(XI-2)	PS	03	02	01-05	久保 智史
10.20	月	1・2	原発性免疫不全症と後天性免疫不全症候群(XI-3,4)	PS	01	03	27	齋藤 和義
10.20	月	7・8	寄生虫、プリオン、その他の病原体 (XII-2-5)	PS	01	03	13, 26	清水 少一
10.29	水	3・4	関節リウマチと類縁疾患(悪性関節リウマチ、脊椎関節炎、成人Still病など) (XI-2)	PS	03	02	01-05	中山田 真吾
11.5	水	1・2	感染症(細菌感染症・ワンヘルスの概念、真菌感染症、性感染症、院内感染) (XII-1-5)	PS	03	03	01-18	鈴木 克典
11.5	水	3・4	下垂体前葉機能亢進症(X-1-E, F)	PS	02	14	01-05	鳥本 桂一
11.5	水	7・8	副甲状腺・カルシウム代謝(X-2-L, M)	PS	02	14	01-05	田中 健一
11.11	火	1・2	下垂体前葉機能亢進症(X-1-G, H, I)	PS	02	14	01-05	鳥本 桂一
11.12	水	3・4	下垂体前葉機能低下症(X-1-J, K, L)	PS	02	14	01-05	鳥本 桂一
11.12	水	5・6	下垂体後葉・水代謝(X-1-M, N)	PS	02	14	01-05	鳥本 桂一
11.18	火	1・2	アレルギー総論(医師国家試験出題基準 V-5)	PS	03	02	01-05	園本 格士朗
11.19	水	1・2	甲状腺ホルモンの生合成・分泌・機能検査(X-2)	PS	02	14	01-05	鳥本 桂一
11.19	水	3・4	甲状腺機能亢進症、破壊性甲状腺炎(X-2-B, D)	PS	02	14	01-05	鳥本 桂一
11.25	火	1	アレルギー性疾患(呼吸器アレルギー) (XI-1-C)	PS	03	02	01-05	園本 格士朗
11.25	火	2	アレルギー性疾患(全身性アレルギー) (XI-1-C-A)	PS	03	02	01-05	園本 格士朗
11.28	金	1・2	顕微鏡的多発血管炎、及び高安動脈炎、IgA血管炎、ベーチェット病、川崎病など血管炎を主とする類縁疾患(XI-2)	PS	03	02	01-05	宮川 一平
12.10	水	1・2	糖尿病(X-5-A)	PS	02	14	01-05	西田 啓子
12.10	水	3・4	甲状腺機能低下症、慢性甲状腺炎(X-2-B, D)	PS	02	14	01-05	鳥本 桂一
12.17	水	3・4	全身性エリテマトーデス、抗リン脂質抗体症候群(XI-2)	PS	03	02	01-05	中山田 真吾
12.17	水	6	副甲状腺・カルシウム代謝(X-2)	PS	02	14	01-05	田中 健一
12.19	金	4	アレルギー性疾患(皮膚、粘膜アレルギー) (XI-1-B)	PS	03	02	01-05	澤田 雄宇(皮膚科学)
12.24	水	2	科目試験					

第2内科学総論
【Cardiology & Nephrology】

担当責任者 教授（第2内科学） 片岡 雅晴

ねらい

主要な循環器・腎疾患の病因、病態生理、それらの診断に必要な検査法を理解し、適切な診断を行い、さらに適切な治療法を選択できるようになるために、循環器・腎疾患の診断に必要な病歴・理学所見・検査および治療法を学習・理解する。

3年次では、循環器・腎疾患を正しく診断できるようになるために、心血管系および腎臓の解剖と生理を十分に理解し、診断に必要な病歴・身体所見・検査法の評価について正しく理解する。

学修目標

1. 主要な循環器・腎疾患の病因、病態生理、鑑別すべき疾患を挙げることができる。（Ⅱ-5, Ⅳ-4）
2. 主要な循環器・腎疾患の症状・身体所見の特徴を説明できる。（Ⅱ-5, Ⅳ-2）
3. 基本的な診察法を述べることができる。（Ⅳ-2）
4. 主要な検査法の適応と、その所見の意義を列挙することができる。（Ⅱ-6）
5. 主要な循環器・腎疾患の治療の基本について説明できる。（Ⅱ-6）

事前事後学習の方法

1. シラバスに記載されている授業項目について参考書等で予習する。
2. 講義直後（当日）に講義テキスト等を熟読し、内容を深く理解する。

成績評価方法・基準

1. 講義への2/3以上の出席で受験資格を得る。
2. 理解度チェックの為の小テストの結果を考慮して総合的に判断する。

○ 教 科 書

矢崎義雄総編集「内科学」（朝倉書店）

イヤーノート2024 内科・外科編 メディックメディア

○ 参 考 書

Braunwald、「Heart Disease」（Saunders）

Harrison's Principles of Internal Medicine（McGraw-Hill, Inc）

ガイトン生理学、エルゼビア・ジャパン

Comprehensive Clinical Nephrology, 6th Edition（Elsevier）

病気がみえる vol.2 循環器 第5版 メディックメディア

病気がみえる vol.8 腎・泌尿器 第3版 メディックメディア

3 年 次

講義:2401講義室

年月日	曜日	時限	授　業　項　目（内　容）	コアカリ項目				担　当　者
				第1層	第2層	第3層	第4層	
R7.10.3	金	7･8	心血管系の解剖と生理	PS	02	06	01	林　克英
10.6	月	3･4	循環器疾患の症状	PS	02	06	02	古賀　純一郎
10.10	金	7･8	循環器疾患の身体的所見(1):心音	PS	02	06	02	永田　泰史
10.15	水	3･4	循環器疾患の身体的所見(2):心音以外	PS	02	06	03	古賀　純一郎
10.17	金	7･8	心疾患の超音波診断	PS	02	06	03	永田　泰史
10.20	月	3･4	心電図診断(1):正常	PS	02	06	03	荻ノ沢　泰司
10.22	水	3･4	心電図診断(2):伝導障害、LVH、RVH	PS	02	06	03	荻ノ沢　泰司
10.27	月	3･4	心電図診断(3):運動負荷、心筋梗塞、狭心症	PS	02	06	03	片岡　雅晴
10.29	水	5･6	心電図診断(4):不整脈(1)	PS	02	06	03	林　克英
11.5	水	5･6	胸部エックス線診断　＜循環器 小テスト＞	PS	02	06	03	瀬戸山　航史
11.7	金	7･8	腎臓の解剖と機能	PS	02	09	01	宮本　哲
11.10	月	3･4	水･電解質･酸塩基平衡(Ⅰ)	PS	02	09	04	宮本　哲
11.12	水	1･2	水･電解質･酸塩基平衡(Ⅱ)	PS	02	09	04	宮本　哲
11.17	月	3･4	腎疾患の主要症状と身体所見	PS	02	09	02	長谷川　恵美
11.26	水	3･4	腎と高血圧	PS	02	09	05	中園　和利
12.8	月	3･4	臨床的腎機能評価　＜腎 小テスト＞	PS	02	09	03	眞田　賢哉

第3内科学総論
【Gastroenterology】

担当責任者 教授(第3内科学) 原田 大

ねらい

消化管、肝臓、胆道、膵臓等の消化器組織の解剖と生理を理解することを目標とする。
消化器疾患の病態整理を理解して、診断と治療法を選択することを目標とする。

学修目標

1. 消化管や肝胆膵などの消化器臓器の解剖と生理を説明できる。(Ⅱ-1, Ⅱ-5)
2. 消化器疾患の病態生理を理解できる。(Ⅱ-5)
3. 消化器疾患の診断法を説明できる。(Ⅱ-6)
4. 消化器疾患の治療を説明できる。(Ⅱ-6)

事前事後学習の方法

1. 予習として教科書をよく読み、疑問点を挙げておくこと。
2. 復習として配布された講義資料を理解すること。

成績評価方法・基準

科目試験の結果を基に、出席状況を加味し総合的に判断する。

○教 科 書

矢崎義雄編 「内科学」第12版 2022年 朝倉書店

○参 考 書

福井次矢、黒川清 監修「ハリソン内科学」第5版〈全2巻〉 2017年 メディカル・サイエンス・インターナショナル

講義:2401講義室

年月日	曜日	時限	授業項目(内容)	コアカリ項目				担当者
				第1層	第2層	第3層	第4層	
R7.9.30	火	5・6	消化管・腹膜の解剖と画像	PS	02	08	01	中村 早人
10.7	火	5・6	消化管ホルモン	PS	02	08	01	中村 早人
10.14	火	5・6	消化管X線診断学・内視鏡診断学	PS	02 03	08 04	01,03,05 05,14	阿部 慎太郎
10.24	金	7・8	胃炎、消化性潰瘍	PS	02	08	05	渡邊 龍之
10.28	火	5・6	胃の生理、胃液分泌	PS	02	08	01	渡邊 龍之
11.7	金	5・6	急性膵炎	PS	02	08	05	大江 晋司
11.11	火	5・6	肝の解剖・画像・生理・機能検査	PS	02	08	01	原田 大
11.14	金	5・6	胆・膵の解剖・画像・生理・機能検査	PS	02	08	01	中村 早人
11.18	火	5・6	ウイルス性肝炎	PS	02	08	05	本間 雄一
11.25	火	5・6	肝細胞癌	PS	03	04	14	柴田 道彦
11.28	金	5・6	慢性膵炎	PS	02	08	05	宮川 恒一郎
12.5	金	5・6	肝障害(アルコール性、薬物性)	PS	02	08	01-05	阿部 慎太郎
12.9	火	5・6	科目試験(消化管)					試験担当
12.12	金	5・6	科目試験(肝胆膵)					試験担当

呼吸器内科学総論
【Respirology Ⅰ】

担当責任者　教授（呼吸器内科学） 矢寺　和博

ねらい

呼吸器系は常に外界と接し、環境や職業、生活習慣の影響を受けやすい臓器である。

1．呼吸器系の解剖と生理、防御機能を正しく理解し、疾病の発生機序を学ぶ。

2．呼吸器疾患の特徴と病態を理解し、診断法を身につける。

3．呼吸器疾患の特徴に応じた治療と予防の体系を習得する。

4．呼吸不全の原因と病態を理解し、呼吸管理について学ぶ。

学修目標

1．基本的な診察法が実施できる。(Ⅳ-1, Ⅳ-2, Ⅳ-3, Ⅵ-1, Ⅵ-2)

2．主要な呼吸器疾患の病因、病態、生理、鑑別すべき疾患を挙げることができる。(Ⅱ-1, Ⅱ-5, Ⅱ-6, Ⅱ-7)

3．主要な検査法の原理、方法、適応を理解し、所見の解釈ができる。(Ⅱ-1, Ⅱ-5, Ⅱ-6)

4．主要な呼吸器疾患の予防と治療法の基本について説明できる。(Ⅱ-6, Ⅲ-1)

事前事後学習の方法

1．シラバスに記載されている授業項目について、下記の教科書、参考書などで事前に予習しておくこと。

2．配布された講義資料を熟読して講義内容の復習をすること。

成績評価方法・基準

1．理解度チェックのための小テスト・復習テスト(約8割)、受講態度・参加状況（約2割）の結果を基に総合的に判断する。

2．100点満点換算で、A、B、C、D、Fの5段階評価とする。

○ 教 科 書

矢崎義男、他編 「内科学」 第12版 2022年 朝倉書店

南学正臣、他編 「内科学書」 第9版 2019年 中山書店

○ 参 考 書

河野茂、他編 レジデントのための呼吸器診療マニュアル 第2版 2014年 医学書院

講義:2401講義室

年 月 日	曜 日	時 限	授 業 項 目 (内 容)	コアカリ項目				担 当 者
				第1層	第2層	第3層	第4層	
R7.10.6	月	1･2	呼吸器の解剖と防御機能	PS CS CS	02 02 02	07 02 03	01,03 01 01	矢寺 和博
10.27	月	1･2	呼吸生理･呼吸機能検査･閉塞性･拘束性肺疾患	PS CS	02 02	07 03	03 01	田原 正浩
10.27	月	5･6	急性呼吸不全	PS	02	07	05	船田 碧
11.10	月	1･2	診断学(1) 症候学･身体所見･臨床検査法	PS	02	07	02	赤田 憲太朗
11.17	月	1	小テスト					赤田 憲太朗
11.17	月	2	呼吸器感染症(1) 新型コロナウイルス等感染対応	PS	02	07	05	赤田 憲太朗
12.1	月	1･2	肺と環境(喫煙･職業性肺疾患)	PS	02	07	05	根本 一樹
12.8	月	1･2	呼吸器疾患の臨床診断学･臨床推論	PS CS	02 02	07 02	05 01-04	矢寺 和博
12.12	金	7･8	呼吸器感染症(2)	PS	02	07	05	宮崎 泰可(学外)
12.15	月	1･2	呼吸器感染症(3)	PS	02	07	05	根本 一樹
12.15	月	3･4	診断学(2) X線検査法･内視鏡検査法	PS	02	03	01,06, 07	迎 寛(学外)
12.22	月	3	呼吸器感染症(4)	PS	02	07	05	先成 このみ
12.22	月	4	復習テスト					先成 このみ

神経内科学総論
【General Neurology】

担当責任者 教授（神経内科学） 足立 弘明

ねらい

神経系の正常構造と機能を理解し、脳・神経系の特性を認識する。この講義では、神経解剖、神経生理、神経病理、神経化学・薬理学などを学ぶことにより、神経学の総論的な知識を身につける。これらを学ぶことにより脳・脊髄の局在診断や神経症候の理解が可能になる。

さらに、心療内科学の総論的な知識も身につける。

この講義では、主要な神経疾患・筋疾患・心身医学に関する病態生理、原因、症候、診断と治療を学ぶ。

学修目標

1. 脳・脊髄と頭蓋・脊椎の解剖を復習し，脳血管の走行・支配領域，及び髄液腔との関係を理解し，特に大脳基底核、脳幹、脊髄部では横断面の解剖を図示できる。（Ⅱ-1）
2. 脳・脊髄の局在機能を理解し、主要神経症候と神経解剖学的病変部位を説明できる。（Ⅱ-1，Ⅱ-5）
3. 基本的な神経学的診察法を述べることができる。（Ⅳ-2）
4. 主要な脳・神経疾患の病因、病態生理、鑑別すべき疾患を列挙することができる。（Ⅱ-1，Ⅱ-5）
5. 主要な脳・神経疾患に対する検査の適応・禁忌と、その意義を述べることができる。（Ⅱ-2，Ⅱ-6）
6. 主要な脳・神経疾患に対する治療の基本について説明できる。（Ⅱ-6）
7. 主要な心療内科疾患の病態生理、鑑別すべき疾患を列挙することができる。（Ⅱ-1，Ⅱ-5）

事前事後学習の方法

1. シラバスに記載されている授業項目について、参考書などで事前に予習しておくこと。
2. 配布された講義プリントを参考にして、講義内容の復習をすること。

成績評価方法・基準

1. 100点満点換算でA、B、C、D、Fの5段階評価とする。
2. 理解度チェックのための小テストを行い、復習テスト(9割)、小テスト(1割)の結果を基に総合的に判断する。

○教 科 書

日本心療内科学会編「心療内科学:診断から治療まで」(朝倉書店)

矢崎義雄総編集 「内科学」(朝倉書店)

水野美邦編 「神経内科ハンドブック 第5版: 鑑別診断と治療」(医学書院)

平山惠造監修「臨床神経内科学」(南山堂)

神田隆著「医学生・研修医のための神経内科学」(中外医学社)

○参 考 書

福武敏夫著 「神経症状の診かた・考えかた」(医学書院)

田崎義昭・斎藤佳雄著 「ベッドサイドの神経の診かた」(南山堂)

鈴木則宏編「神経診察クローズアップ:正しい病巣診断のコツ」(メジカルビュー社)

L.P.Rowland「Merritt's Textbook of Neurology」(Williams & Willkins)

講義:2401講義室

年月日	曜日	時限	授業項目（内容）	コアカリ項目				担当者
				第1層	第2層	第3層	第4層	
R7.12.5	金	1	脳神経内科とは(神経系の一般特性)(1) 小テスト	PS	02	03	01,02	足立 弘明
12.5	金	2	脳神経内科とは(神経系の一般特性)(2) 小テスト	PS	02	03	01,02	足立 弘明
12.9	火	1	運動系:運動機能・腱反射と症候(1) 小テスト	PS	02	03	01,02	足立 弘明
12.9	火	2	錐体外路と症候(2) 小テスト	PS	02	03	01,02	足立 弘明
12.9	火	3	脳幹・脳神経系の機能と症候(1) 小テスト	PS	02	03	01,02	岡田 和将
12.9	火	4	脳幹・脳神経系の機能と症候(2) 小テスト	PS	02	03	01,02	岡田 和将
12.11	木	1	自律神経、感覚系の機能と症候(1) 小テスト	PS	02	03	01,02	岡田 和将
12.11	木	2	自律神経、感覚系の機能と症候(2) 小テスト	PS	02	03	01,02	岡田 和将
12.16	火	3	小脳の機能と症候(運動失調)(1) 小テスト	PS	02	03	01,02	岡田 和将
12.16	火	4	小脳の機能と症候(運動失調)(2) 小テスト	PS	02	03	01,02	岡田 和将
12.18	木	5	大脳基底核の機能と症候、けいれん、睡眠(1) 小テスト	PS	02	03	01,02	豊田 知子(学外)
12.18	木	6	大脳基底核の機能と症候、けいれん、睡眠(2) 小テスト	PS	02	03	01,02	豊田 知子(学外)
12.23	火	3	脊髄・脊髄神経の機能と症候(1) 小テスト	PS	02	03	01,02	岡田 和将
12.23	火	4	脊髄・脊髄神経の機能と症候(2) 小テスト	PS	02	03	01,02	岡田 和将
R8.1.9	金	1	心身医学総論(1) 小テスト	PS	02	17	01,02	兒玉 直樹
1.9	金	2	心身医学総論(2) 小テスト	PS	02	17	01,02	兒玉 直樹
1.13	火	1	高次脳機能(1) 小テスト	PS	02	03	01,02	足立 弘明
1.13	火	2	高次脳機能(2) 小テスト	PS	02	03	01,02	足立 弘明
1.13	火	3	意識障害・失神、脳死(1) 小テスト	PS	02	03	01,02	岡田 和将
1.13	火	4	意識障害・失神、脳死(2) 小テスト	PS	02	03	01,02	岡田 和将
1.14	水	5・6	テスト					足立 弘明

精神医学総論
【Psychiatry】

担当責任者 教授（精神医学） 吉村 玲児

ねらい

精神医学は、人間の精神現象とその病態を取り扱う医学である。すなわち精神障害の病因、診断、治療、予防を研究する学問であり、さらには社会との関連において精神現象を追及する学問でもある。特に最近の社会構造の変化に伴ってメンタルヘルス対策は重要な課題となってきており、産業医にとってその知識の習得と技能の研鑽は必要不可欠である。
また基礎的な精神医学の知識は臨床のどの科に従事するにしても欠くことはできない。
講義は産業医を含む一般医にとって実地に必要な精神医学的知識の他、下記の点を目標にする。

1. 人間の精神現象、行動について、医学的に把握するために必要な知識、技術、態度を認識する。
2. 性格、知能、感情、思考などを含む心理の正常と異常を理解する。
3. 各種精神疾患の基盤となる分子病態生理および治療法の概要を理解する。

学修目標

1. 精神医学の成り立ちを説明できる。（Ⅱ-12）
2. 精神科の専門用語の意味を説明することができる。（Ⅱ-1, Ⅱ-4, Ⅱ-5）
3. 統合失調症、気分障害および老年期の精神疾患について基礎的な知識を述べることができる。（Ⅱ-4, Ⅱ-5, Ⅱ-6）
4. 精神科における治療（精神療法・生物学的治療）がどのようなものか知っており、各疾患にどのように用いられるかを述べることができる。そして、治療の作用機転・経過・副作用についても概略を述べることができる。（Ⅱ-5, Ⅱ-6）

事前事後学習の方法

1. 下記教科書を用い、該当する範囲を事前に予習しておくこと。
2. 講義で不明な点があれば講義後であっても随時質問は受け付ける。
3. 授業中に実施される小テストのフィードバックとしてeラーニングを活用する。

成績評価方法・基準

1. 理解度チェックのための小テストの結果を基に、出席状況を加味し、総合的に判断する。
2. 100点満点換算で、A、B、C、D、Fの5段階評価とする。

○ 教 科 書

TEXT精神医学 改定4版（南山堂）

○ 参 考 書

澤明監訳、阿部浩史訳「DSM-5を使いこなすための臨床精神医学テキスト」2015年（医学書院）

講義:2401講義室

年月日	曜日	時限	授業項目（内容）	コアカリ項目				担当者
				第1層	第2層	第3層	第4層	
R7.10.3	金	5	精神医学概論Ⅰ 小テスト	PS	02	17	01-02	小西 勇輝
10.3	金	6	精神医学概論Ⅱ 小テスト	PS	02	17	03-05	小西 勇輝
10.6	月	5	気分障害(うつ病)Ⅰ 小テスト	PS	02	17	01-02	吉村 玲児
10.6	月	6	気分障害(うつ病)Ⅱ 小テスト	PS	02	17	03-05	吉村 玲児
10.10	金	5	統合失調症Ⅰ 小テスト	PS	02	17	01-02	小澤 尚史
10.10	金	6	統合失調症Ⅱ 小テスト	PS	02	17	03-05	小澤 尚史
10.17	金	5	児童・思春期精神障害Ⅰ 小テスト	GE	03	02	02	新開 隆弘
10.17	金	6	児童・思春期精神障害Ⅱ 小テスト	GE	03	04	04	新開 隆弘
10.20	月	5	職場のメンタルヘルスⅠ 小テスト	GE	03	04	04	北川 奨悟
10.20	月	6	職場のメンタルヘルスⅡ 小テスト	PS	02	17	01-05	北川 奨悟
10.24	金	5	神経症(不安障害)Ⅰ 小テスト	PS	02	17	01-02	利田 征允
10.24	金	6	神経症(不安障害)Ⅱ 小テスト	PS	02	17	03-05	利田 征允
11.10	月	5	アルコール依存症Ⅰ 小テスト	PS	02	17	05	新開 隆弘
11.10	月	6	アルコール依存症Ⅱ 小テスト	GE	04	01	06	新開 隆弘
11.26	水	1	老年精神医学Ⅰ 小テスト	GE	03	05	01,03,07	池ノ内 篤子 (認知症センター)
11.26	水	2	老年精神医学Ⅱ 小テスト	PS	02	17	01-05	池ノ内 篤子 (認知症センター)

小児科学Ⅰ
【Pediatrics Ⅰ】

担当責任者　教授(小児科学) 深野 玲司

ねらい

1/1 小児の成長発達段階での生理学的特徴を習得し、理解する。

1/2 主要な小児科疾患の病態生理を理解する。

1/3 小児保健および小児診療に必要な理論と実践の基礎を習得する。

学修目標

1/1 小児の成長発達について説明できる。(Ⅱ-5)

1/2 主要な小児疾患について系統的に、また基礎医学、社会医学や他の臨床医学と関連づけて説明できる。(Ⅱ-5, Ⅱ-6)

1/3 基本的な診察法を述べることができる。(Ⅱ-6)

事前事後学習の方法

1/1 シラバスに記載されている授業項目について、参考書などで事前に予習しておくこと。

1/2 配布された講義テキストを熟読して講義内容の復習をすること。

成績評価方法・基準

筆記試験(約8割)及び理解度チェックのための小テスト(約2割)の結果を基に、出席状況を加味し、総合的に判断する。

○教 科 書

標準小児科学(内山 聖 監修、第8版 2013年 医学書院)

○参 考 書

小児科学(五十嵐 隆 編集、第10版 2011年 文光堂)

新生児学入門(仁志田 博司 著、第5版 2018年 医学書院)

ネルソン小児科学(衞藤 義勝 監修、原著 第19版 2015年 エルゼビア・ジャパン)

標準小児外科学(高松 英夫・福澤 正洋 監修、第7版 2017年 医学書院)

講義 :2401講義室

年月日	曜日	時限	授業項目（内容）	コアカリ項目				担当者
				第1層	第2層	第3層	第4層	
R7 9.30	火	3･4	小児医学概論	PS GE	02 03	01 02	01 01-06	深野 玲司
10.2	木	5･6	新生児学(1)	GE PS	03 02	02 01	01 01	菅 秀太郎
10.7	火	3･4	腎臓学(1)	PS	02	01 09	01 01-05	平川 潤
10.9	木	5･6	先天異常･奇形 小テスト	PS	01 02	04 01	01-04 01	五十嵐 亮太
10.14	火	3･4	腫瘍学(1) 小テスト	PS	02	01 02	01 01-05	浅井 完
10.16	木	5･6	新生児学(2) 小テスト	GE PS	03 02	03 01	02 01	菅 秀太郎
10.21	火	3･4	血液学(1) 小テスト	PS	02	01 02	01 01-05	水城 和義
10.23	木	5	小児救急	PS PS CS	02 03 03	01 05 03	01 01,05 01-03	多久 佳祐
〃	〃	6	小児の発達	GE PS	03 02	02 03	02 02	柴原 淳平
10.28	火	3･4	感染症学(1) 小テスト	PS	02 03	01 03	01 01,16	米田 哲
10.30	木	1･2	小児心身医学	GE PS	03 02	04 01	02,03 01	永光 信一郎 （学外）
11.13	木	3･4	小児外科学(1) 小テスト	PS	02	01 08	01 01-05	江角 元史郎 （小児外科）
11.20	木	3･4	消化器学 小テスト	PS	02	01 08	01 01-05	白山 理恵
11.27	木	3･4	内分泌学(1) 小テスト	GE GE PS PS	03 03 02 02	02 04 01 14	01 01 01 01-05	齋藤 玲子
12.1	月	3･4	試験					

第1外科学総論
【General Surgery】

担当責任者 教授（第1外科学） 平田 敬治

ねらい

外傷や手術等の侵襲に際し、惹起されうる事態についての知識を習得する。さらに手術基本手技・輸液輸血・術前術後管理などの外科的治療法について基本的な知識・態度・技術について習得する。

学修目標

1. 医学全般および患者との係わりにおける外科を理解し、説明できる。（Ⅰ-1, Ⅰ-4, Ⅰ-5）
2. 外科的侵襲と生体反応を説明できる。（Ⅱ-1, Ⅱ-3, Ⅱ-5, Ⅱ-7, Ⅱ-10）
3. 創傷・外傷とその治療機序について説明できる。（Ⅱ-1, Ⅱ-3, Ⅱ-5, Ⅱ-7, Ⅱ-10）
4. 外科感染症と治療について述べることができる。（Ⅱ-1, Ⅱ-5, Ⅱ-7, Ⅱ-10）
5. 輸液および栄養補給法の意義と実際について説明できる。（Ⅱ-1, Ⅱ-3, Ⅱ-5, Ⅱ-6, Ⅱ-7）
6. 出血、止血、血液凝固、輸血の機序と実際について説明できる。（Ⅱ-1, Ⅱ-3, Ⅱ-5, Ⅱ-6, Ⅱ-7, Ⅱ-10）
7. 消毒・滅菌・手術基本手技について説明できる。（Ⅱ-1, Ⅱ-3, Ⅱ-5, Ⅱ-6, Ⅱ-7, Ⅱ-9, Ⅱ-10）
8. 術前、術中、術後の管理と合併症について説明できる。（Ⅱ-1, Ⅱ-3, Ⅱ-4, Ⅱ-5, Ⅱ-6, Ⅱ-7, Ⅱ-9, Ⅱ-10）
9. 腫瘍の発生と進展の分子機序を理解し、説明できる。（Ⅱ-1, Ⅱ-2, Ⅱ-3, Ⅱ-4, Ⅱ-5, Ⅱ-6, Ⅱ-7, Ⅱ-9, Ⅱ-10, Ⅱ-11, Ⅴ-2）
10. 臓器移植および人工臓器の理論と実践について説明できる。（Ⅱ-1, Ⅱ-3, Ⅱ-4, Ⅱ-5, Ⅱ-6, Ⅱ-7, Ⅱ-10, Ⅱ-11, Ⅴ-2）

事前事後学習の方法

1. シラバスの記載項目について、事前に予習しておくこと。
2. 配布された講義のテキスト、スライド内容ともに講義内容の復習をすること。

成績評価方法・基準

1. 講義後小テスト、出席状況を加味して、総合的に判断する。
2. 100点満点換算で、A/B/C/D/Fの5段階評価とする。

○ 教 科 書

北野 正剛 監修 「標準外科学」第15版 2019年 医学書院

○ 参 考 書

Townsent CM, et al Sabiston「Textbook of Surgery」第19版 2012年 Saunders

講義：2401講義室

年月日	曜日	時限	授業項目（内容）	コアカリ項目				担当者
				第1層	第2層	第3層	第4層	
R7.10.27	月	7･8	外科学の総論（講義中に小テスト）	CS	02	04	20	平田 敬治
11.10	月	7･8	水・電解質と外科患者管理・輸液（講義中に小テスト）	CS	02	04	26	田上 貴之
11.14	金	7･8	腹部－基本外科処置/術前術後管理/外科合併症（講義中に小テスト）	CS	02	04	20	柴尾 和徳
11.19	水	7･8	創傷治癒・熱傷（講義中に小テスト）	PS	03	05	13	森 泰寿
11.28	金	7･8	救急外科（講義中に小テスト）	CS	03	03	03	伊藤 重彦（学外）
12.5	金	7･8	腹壁・腹膜（講義中に小テスト）	PS	02	08	01-05	佐藤 永洋
12.8	月	7･8	輸血・止血障害（講義中に小テスト）	CS	02	04	38-40	永田 淳
12.15	月	7･8	外科的感染症・感染対策（講義中に小テスト）	PS	03	03	07	勝木 健文（学外）

第2外科学総論
【Second Department of General Surgery】

担当責任者 教授（第2外科学） 田中 文啓

ねらい

外傷や手術等の侵襲に際し、惹起されうる事態についての知識を習得する。さらに手術基本手技・輸液輸血・術前術後管理などの外科的治療法について基本的な知識・態度・技術について習得する。

学修目標

1. 医学全般および患者との係わりにおける外科を理解し、説明できる。（Ⅰ-3, Ⅵ-1）
2. 外科的侵襲と生体反応を説明できる。（Ⅱ-1, Ⅱ-4, Ⅱ-5, Ⅱ-6）
3. 創傷・外傷とその治療機序について説明できる。（Ⅱ-5, Ⅱ-6）
4. 外科感染症と治療について述べることができる。（Ⅱ-5, Ⅱ-6, Ⅱ-10）
5. 輸液および栄養補給法の意義と実際について説明できる。（Ⅱ-1, Ⅱ-3）
6. 出血、止血、血液凝固、輸血の機序と実際について説明できる。（Ⅱ-1, Ⅱ-5, Ⅱ-6）
7. 消毒・滅菌・手術基本手技について説明できる。（Ⅱ-6, Ⅱ-10）
8. 術前、術中、術後の管理と合併症について説明できる。（Ⅱ-6, Ⅱ-9, Ⅱ-10）
9. 腫瘍の発生と進展の分子機序を理解し、説明できる。（Ⅱ-2, Ⅱ-3, Ⅱ-5）
10. 臓器移植および人工臓器の理論と実践について説明できる。（Ⅰ-1, Ⅰ-2, Ⅱ-1, Ⅱ-12）

事前事後学習の方法

1. 指定教科書や参考書をよく読みこむこと。
2. 配布された講義のテキスト、スライド内容ともに講義内容の復習をすること。

成績評価方法・基準

1. 理解度チェックのための小テスト、受講態度・参加状況などの結果を基に総合的に判断する。
2. 100点満点換算で、A、B、C、D、Fの5段階評価とする。

○ 教 科 書

乳腺腫瘍学 第3版 日本乳癌学会(編集) 金原出版
乳癌診療ガイドライン 日本乳癌学会(編集) 金原出版
マンモグラフィガイドライン 日本医学放射線学会/日本放射線技術学会 (著) 医学書院
乳癌取扱い規約(第18版) 日本乳癌学会(編集) 金原出版
乳房超音波診断ガイドライン改訂第4版 日本乳腺甲状腺超音波医学会(編集) 南江堂
ワインバーグ がんの生物学原書第2版 武藤誠/青木正博(訳) 南江堂
改訂第5版外傷初期診療ガイドラインJATEC 日本外傷学会/日本救急医学会(監修) へるす出版
呼吸器外科テキスト 日本呼吸器外科学会/呼吸器外科専門医合同委員会(編集) 南江堂
肺癌診療ガイドライン-悪性胸膜中皮腫・胸腺腫瘍含む- 2020年版 日本肺癌学会 (編集) 金原出版

○ 参 考 書

3 年 次

講義:2401講義室

年月日	曜日	時限	授業項目（内容）	コアカリ項目				担当者
				第1層	第2層	第3層	第4層	
R7.10.2	木	7･8	手術の基本、消毒･滅菌 小テスト	PS	01 03	03 03	02 18	松宮 弘喜
10.9	木	7･8	ホメオスターシス･ショック･MOF 小テスト	PS	01 03	02 05	19 02	田原 有希
10.16	木	7･8	胸部の発生、先天性疾患 小テスト	PS	01 02	02 07	25 05	藤田 康博
10.23	木	7･8	臓器移植･人工臓器･アレルギー拒絶反応 小テスト	CS	02	04	41,43, 44	松宮 弘喜
10.28	火	7･8	外傷(胸部･腹部･多発外傷を含む) 小テスト	PS CS	03 03	05 03	12,16 04	橋本 鉄平
10.30	木	7･8	胸部－術前･術後管理･外科合併症 小テスト	PS CS	03 02	05 04	16 24-27	吉松 克真
11.6	木	7･8	がんの診断 小テスト	PS	02	07	01-05	根本 有希子
11.13	木	7･8	乳腺疾患の概要 小テスト	PS	03	04	17	田嶋 裕子
11.20	木	7･8	がんの治療 小テスト	PS	03	04	13	竹中 賢

脳神経外科学総論
【Introduction to Neurosurgery】

担当責任者 教授（脳神経外科学） 山本 淳考

ねらい

神経系の正常構造と機能を理解し、脳・神経系の特性を認識する。この講義では、神経解剖、神経生理、神経病理、神経化学・薬理学などを学ぶことにより、神経学、脳神経外科学の総論的な知識を身につける。これらを学ぶことにより脳・脊髄の局在診断や神経症候の理解が可能になる。

脳神経外科学総論の講義は、主要な脳・神経疾患に関する病態生理、原因、症候、診断と治療を学ぶ。

学修目標

1. 脳・脊髄と頭蓋・脊椎の解剖を復習し、脳血管の走行・支配領域、及び髄液腔との関係を理解し、特に大脳基底核、脳幹、脊髄部では横断面の解剖を図示できる。（Ⅱ-1）
2. 脳・脊髄の局在機能を理解し、主要神経症候と神経解剖学的病変部位を説明できる。（Ⅱ-5）
3. 基本的な神経学的診察法を述べることができる。（Ⅱ-6）
4. 主要な脳・神経疾患の病因、病態生理、鑑別すべき疾患を列挙することができる。（Ⅱ-1，Ⅱ-5）
5. 主要な脳・神経疾患に対する検査の適応・禁忌と、その意義を述べることができる。（Ⅱ-6，Ⅱ-9）
6. 主要な脳・神経疾患に対する治療の基本について説明できる。（Ⅱ-6）
7. 外科治療の対象となる疾患（腫瘍、血管障害、外傷、先天奇形、感染症、機能的疾患）にどのような病態があるかを学習し、それぞれの疾患に対する診断法を述べることができる。（Ⅱ-1，Ⅱ-5）

事前事後学習の方法

1. シラバスに記載されている授業項目について、参考書などで事前に予習しておくこと。
2. 配布された講義プリントを参考にして、講義内容の復習をすること。

成績評価方法・基準

1. それぞれの講義終了時に、講義内容の理解度チェックのための小テストを行う。
2. 小テストの結果をもとに、A、B、C、D、Fの5段階評価とする。

○ 教 科 書

児玉南海雄/峯浦一喜 監修「標準脳神経外科学」（医学書院）

○ 参 考 書

太田富雄・松谷雅生・野崎和彦編 「脳神経外科学」（金芳堂）

田崎義昭・斎藤佳雄著 「ベッドサイドの神経の診かた」（南山堂）

日本脳卒中学会編 「脳卒中治療ガイドライン2021」（協和企画）

日本脳腫瘍学会編 「脳腫瘍診療ガイドライン 2019年版」（金原出版株式会社）

松谷雅生・堀智勝・浅野孝雄編集 「脳神経外科手術のための解剖学」（メディカルビュー社）

後藤文男・天野隆弘著 「臨床のための神経機能解剖学」（中外医学社）

宜保浩彦著 「臨床のための脳局所解剖学」（中外医学社）

D.N. Louis「WHO Classification of Tumours of the Central Nervous System」（WHO）

A.L. Rhoton, Jr「Rhoton's Cranial Anatomy & Surgical Approaches」（Oxford University Press, Inc）

3 年 次

講義:2401講義室

年月日	曜日	時限	授　業　項　目（内　容）	コアカリ項目				担　当　者
				第1層	第2層	第3層	第4層	
R7.10. 1	水	5･6	脳神経外科で扱う主な疾患　小テスト	PS	02	03	05	宮岡 亮
10. 8	水	5･6	脳神経画像の基礎知識　小テスト	PS	02	03	03	鈴木 恒平
10.15	水	5･6	脳神経外科に必要な脳･脊髄の解剖　小テスト	PS	02	03	01	宮岡 亮
10.22	水	5･6	脳神経外科救急　小テスト	PS	02	03	04	田中 優子 (脳卒中血管内科学)

整形外科学総論
【Musculoskeletal System: General】

担当責任者 教授（整形外科学） 酒井 昭典

ねらい

1. 運動器一般の知識を修得する。
2. 基礎医学としての解剖学・生理学と臨床医学としての整形外科学との関連性を理解する。

学修目標

1. 整形外科の歴史と運動器疾患の診察法と治療法を理解する。(Ⅱ-6)
2. 四肢・躯幹の形態と機能、発生と加齢性変化の概略を述べることができる。(Ⅱ-1, Ⅱ-2 Ⅱ-3)
3. 骨・関節を臓器として理解し、疾患における一般的症状を記述することができる。(Ⅱ-1,Ⅱ-5)
4. 外傷・労働災害・スポーツ傷害・小児整形外科の特性を理解し、治療の原則を述べることができる。(Ⅱ-7,Ⅱ-8)

事前事後学習の方法

1. 教育要項に記載されている授業項目について、教科書などで事前に予習しておくこと。
2. 配布された講義資料を熟読して講義内容の復習をすること。

成績評価方法・基準

1. 毎回の講義において理解度チェックのための小テストを行う。
2. 課題を与え、レポートを提出させる。
3. 小テスト(約8割)とレポート(約2割)の結果を基に、受講態度や出席状況等を加味し、総合的に判断する。
4. 100点満点換算で、A、B、C、D、Fの5段階評価とする。

○ 教 科 書

井樋 栄二 他 監修 「標準整形外科学 第15版」 2023年 （医学書院）

○ 参 考 書

大鳥 精司 他 編 「TEXT整形外科学 改訂5版」 2019年 （南山堂）

酒井 昭典 他 編 「骨折の治療指針とリハビリテーション」 2017年 （南江堂）

P.Tornetta,Ⅲ. 他 編 「Rockwood & Green's Fractures 第9版」 2020 年 （Wolters Kluwer ）

Frederick M Azar 他 編 「Campbell's Operative Orthopaedics 第14版」 2020年 （Elsevier）

3 年 次

講義:2401講義室

年月日	曜日	時限	授　業　項　目（内　容）	コアカリ項目				担　当　者
				第1層	第2層	第3層	第4層	
R7. 10. 1	水	7･8	腫瘍性疾患(小テスト･レポート提出) (骨腫瘍･軟部腫瘍･腫瘍類似疾患･代謝性疾患･その他)	PS	02	05	01-05	鈴木 仁士
10. 8	水	7･8	運動器疾患総論(小テスト) (歴史･診察法･治療)と整形外科外傷学	PS	02	05	01-05	善家 雄吉
10.22	水	7･8	手の外科(小テスト) (骨･関節･腱･神経の機能解剖、外傷と疾患)	PS	02	05	01-05	山中 芳亮
10.29	水	7･8	股関節疾患(小テスト)(変形性股関節症･ペルテス病･大腿骨頭壊死･その他)･小児整形外科	PS	02	05	01-05	塚本 学
11.19	水	5･6	スポーツ傷害(小テスト)	PS	02	05	01-05	村田 洋一
11.26	水	5･6	膝関節疾患(小テスト) (変形性膝関節症･膝内障･骨壊死･その他)	PS	02	05	01-05	嵐 智哉
12.10	水	7･8	骨関節の感染症(小テスト) (骨髄炎･関節リウマチ･骨壊死･骨端症)	PS	02	05	01-05	真野 洋祐
12.17	水	7･8	脊柱･脊髄疾患(小テスト) (腰痛疾患･変形性脊椎症･脊髄症･側彎症･その他)	PS	02	05	01-05	邑本 哲平

皮膚科学
【Dermatology】

担当責任者 教授(皮膚科学) 澤田 雄宇

ねらい

1. 各種皮膚病変における発症機序を理解する。
2. 皮膚疾患の診断における考え方を習得する。
3. 皮膚疾患の治療法の原則を習得する。
4. 内臓病変と皮膚病変の関連性を理解する。
5. 手術法の考え方を理解する。

学修目標

1. 皮膚の正常構造と機能を説明できる。(Ⅱ-1)
2. 各皮膚疾患の病因とそれぞれの皮膚疾患における異常を説明できる。(Ⅱ-5)
3. 各皮膚疾患の診断と診療について説明できる。(Ⅱ-6)

事前事後学習の方法

1. 指定教科書をよく読み、予習課題を仕上げておくこと。
2. 講義内容を配布資料を見直し、復習しておくこと。

成績評価方法・基準

1. 講義への3分の2以上の出席は必須。
2. 復習テストの結果を基に、出席状況、受講態度等により総合的に判断する。

○ 教 科 書

あたらしい皮膚科学 第3版(中山書店)

○ 参 考 書

玉置邦彦 総編 最新皮膚科学体系(中山書店)

講義:2401講義室
レポート・テスト:2401、2202講義室

年月日	曜日	時限	授業項目(内容)	コアカリ項目				担当者
				第1層	第2層	第3層	第4層	
R7.10.30	木	5	皮膚の構造 表皮、真皮、付属器、角化 皮膚の機能 免疫、メラニン合成	PS	02	04	05	澤田 雄宇
10.31	木	6	皮膚発疹学・病理組織学 皮膚病変の記載(原発疹、続発疹)、 皮膚の病理組織学的所見	PS	03	04	06	澤田 雄宇
11.6	木	1	皮膚疾患の診断・検査法 生検、蛍光抗体法、酵素抗体法、真菌検査、 ダーモスコピー、貼付試験、皮内反応	PS	02	04	03	澤田 雄宇
11.6	木	2	皮膚疾患の治療法 外用療法、内服療法、光線療法、手術療法	PS	02	04	04	澤田 雄宇
11.13	木	1	湿疹・皮膚炎、とくに接触皮膚炎とアトピー性皮膚炎、痒疹	PS	02	04	05	澤田 雄宇
11.13	木	2	多形滲出性紅斑、結節性紅斑、扁平苔癬、紅皮症、薬疹	PS	02	04	05	澤田 雄宇
11.20	木	1	**復習テスト 1**	PS	02	04	05	澤田 雄宇

3 年 次

講義:2401講義室

レポート・テスト:2401、2202講義室

年月日	曜日	時限	授　業　項　目（内　容）	コアカリ項目				担　当　者
				第1層	第2層	第3層	第4層	
11.20	木	2	職業性皮膚疾患 職業性因子による諸種の皮膚障害、接触皮膚炎、 ざ瘡様発疹、タール皮膚炎、放射線皮膚炎、 熱傷瘢、諸種の感染症など	PS	02	04	05	澤田　雄宇
11.27	木	5	感染症1　感染症対策 せつ、膿痂疹、丹毒、蜂窩織炎、SSSSなど化膿菌 感染症、皮膚結核、ハンセン病、梅毒、AIDS	PS	03	03	09	澤田　雄宇
11.27	木	6	感染症2　感染症対策 真菌感染症、白癬、カンジダ症、癜風、 スポロトリコーシス　など	PS	03	03	09	澤田　雄宇
12.1	月	5	感染症3　感染症対策 単純疱疹、帯状疱疹、疣贅などウイルス性疾患、 ライム病、つつが虫病	PS	03	03	09	澤田　雄宇
12.1	月	6	乾癬、掌蹠膿疱症、ライター病、遺伝性角化症	PS	02	04	05	澤田　雄宇
12.4	木	3	光線過敏症 光アレルギー性皮膚炎、色素性乾皮症、ポルフィリン症	PS	02	04	05	澤田　雄宇
12.4	木	4	**復習テスト 2**	PS	02	04	05	澤田　雄宇
12.8	月	5	悪性リンパ腫、ランゲルハンス細胞組織球症、EBウィルス	PS	02	04	05	澤田　雄宇
12.8	月	6	膠原病 SLE、DLE、皮膚筋炎、強皮症など	PS	02	04	05	澤田　雄宇
12.11	木	3・4	皮膚付属器疾患 脱毛症、ざ瘡、酒さ、無汗症、多汗症、爪疾患	PS	02	04	05	澤田　雄宇
12.15	月	5・6	悪性黒色腫、メルケル細胞癌、血管肉腫、血管腫	PS	02	04	05	澤田　雄宇
12.16	火	5・6	蕁麻疹、紫斑、血管炎、好酸球性膿疱性毛嚢炎	PS	02	04	05	大森　俊(学外)
12.18	木	7	**復習テスト 3**	PS	02	04	05	澤田　雄宇
12.18	木	8	代謝異常症・形成異常症・皮膚萎縮・肉芽腫性疾患 アミロイドーシス、黄色腫、Ehlers-Danlos症候群	PS	02	04	05	澤田　雄宇
12.19	金	1	形成外科学　総論・再建外科	PS	02	04	05	兵藤　伊久夫
12.19	金	2	形成外科学　熱傷・創傷治癒	PS	02	04	05	遠藤　淑恵
12.22	月	5	上皮性腫瘍 粉瘤、脂漏性角化症、有棘細胞癌、基底細胞癌、 ボーエン病、パジェット病	PS	02	04	05	澤田　雄宇
12.22	月	6	水疱症・膿疱症 天疱瘡、類天疱瘡など自己免疫性水疱症、 遺伝性水疱症	PS	02	04	05	澤田　雄宇
12.23	火	5・6	全身疾患と皮膚	PS	02	04	05	大森　俊(学外)
12.25	木	5	皮膚潰瘍・爪疾患・フットケア	PS	02	04	05	大森　俊(学外)
12.25	木	6	水疱症・膿疱症 天疱瘡、類天疱瘡など自己免疫性水疱症、 遺伝性水疱症	PS	02	04	05	澤田　雄宇
R8.1.9	金	5	母斑・母斑症、色素異常 色素性母斑、太田母斑、脂腺母斑、神経線維腫症、 結節性紅斑、白皮症、尋常性白斑、肝斑	PS	02	04	05	澤田　雄宇
1.9	金	6	**復習テスト 4**	PS	02	04	05	澤田　雄宇

泌尿器科学総論
【Urology】

担当責任者 教授（泌尿器科学） 柏木 英志

ねらい

泌尿器科領域における副腎、尿路、男性性器に関連した診断および治療法を理解する。

学修目標

1. 上部尿路疾患、下部尿路疾患、後腹膜尿路外疾患をあげ、その症状を述べることができる。（Ⅱ-5, Ⅱ-6）
2. それぞれの疾患について、泌尿器科一般検査の検査法と意義を述べることができる。（Ⅱ-6, Ⅳ-2, Ⅳ-4）
3. 内視鏡検査の適応と所見、有用性を述べることができる。（Ⅱ-6）
4. 画像診断法の種類と、臓器、疾患別の特徴的所見を述べることができる。（Ⅱ-1, Ⅱ-5, Ⅱ-6）

事前事後学習の方法

1. 教育要項に記載されている授業科目について、指定教科書や参考書などで事前に予習しておくこと。
2. 配布された講義資料や受講内容を記録した各自のノートなどを熟読し、講義内容の復習を行うこと。

成績評価方法・基準

1. 講義への3分の2以上の出席は必須。
2. 出席状況及び復習テストの結果を基に判断する。（復習テストは必須）

○教 科 書

○参 考 書

Campbell-Walsh, Urology 12th ed.（Elsevier Saunders 2021）

吉田修 編 「ベッドサイド泌尿器科学（診断・治療編）改訂第4版」（南江堂）

講義：2401講義室

年月日	曜日	時限	授業項目（内容）	コアカリ項目				担当者
				第1層	第2層	第3層	第4層	
R7.10.1	水	3・4	泌尿器科疾患の概説 Ⅰ	PS	02	09	01-05	柏木 英志
10.3	金	1・2	総論Ⅰ（視診・触診・聴診）	PS	02	09	03	東島 克佳
10.8	水	3・4	泌尿器科疾患の概説 Ⅱ	PS	02	10	01-05	木室 里依子
10.10	金	1・2	総論Ⅱ（検尿・画像検査）	PS	02	09 10	03 03	永田 祐二郎
10.17	金	1・2	総論Ⅲ（解剖と症候論） 復習テスト	PS	02	09 10	01,02 01,02	杉田 佳弘

産科学
【 Obstetrics and Gynecology Ⅰ】

担当責任者　教授（産科婦人科学）　吉野　潔

ねらい

産科学および、内分泌学や腫瘍学を含む婦人科学の基礎と臨床に関する知識を習得する。

学修目標

1. 正常妊娠の生理・胎児発育について説明することができる。（Ⅱ-3，Ⅱ-11）
2. 正常分娩の経過について説明することができる。（Ⅱ-11，Ⅱ-12，Ⅳ-2，Ⅵ-1）
3. 異常妊娠・妊娠合併症について説明することができる。（Ⅱ-5，Ⅱ-6）
4. 異常分娩の対処法を説明することができる。（Ⅱ-5，Ⅱ-6）
5. 女性性器の発生と解剖について説明することができる。（Ⅱ-1，Ⅱ-2，Ⅳ-2，Ⅳ-3，Ⅳ-6）
6. 女性の内分泌学の基礎知識を述べることができる。（Ⅱ-3，Ⅱ-11，Ⅳ-1，Ⅳ-4，Ⅳ-5，Ⅵ-1）
7. 女性の先天異常について説明することができる。（Ⅱ-2，Ⅱ-3，Ⅱ-5，Ⅱ-6，Ⅳ-1，Ⅳ-2，Ⅳ-4，Ⅳ-8）
8. 女性性器の各種良性疾患の病態について説明することができる。（Ⅱ-5，Ⅱ-6）
9. 産婦人科腫瘍学の基礎知識を述べることができる。（Ⅱ-5，Ⅱ-6，Ⅴ-2）

事前事後学習の方法

1. シラバスに記載されている授業項目について、参考書などで事前に予習しておくこと。
2. 講義内容の復習をすること。

成績評価方法・基準

1. 理解度チェックのための小テストの結果を基に総合的に判断する。
2. 100点満点換算でA,B,C,D,Fの5段階評価とする。

○ 教 科 書

○ 参 考 書

綾部琢哉　編集 「標準産科婦人科学 第5版」（医学書院　2021）

産婦人科診療ガイドライン 産科編2023 日本産科婦人科 学会 出版

産婦人科診療ガイドライン 婦人科外来編2023 日本産科婦人科 学会 出版

講義:2401講義室

年月日	曜日	時限	授業項目（内容）	コアカリ項目				担当者
				第1層	第2層	第3層	第4層	
R7.10.01	水	1･2	産科疾患の概説	PS	02	11	01	内村 貴之
10.02	木	3･4	産科学総論Ⅰ	PS	02	11	02	内村 貴之
10.08	水	1･2	産科学総論Ⅱ	PS	02	11	03	飯尾 一陽
10.09	木	3･4	産科学総論Ⅲ	PS	02	11	04	田尻 亮祐
10.15	水	1･2	産科学総論Ⅳ　産科小テスト	PS	02	11	05	田尻 亮祐
10.16	木	3･4	婦人科疾患の概説	PS	02	10	01	吉野 潔
10.22	水	1･2	婦人科学総論Ⅱ（感染症･生殖医療）	PS	02	10	03	武富 瑠香
10.23	木	3･4	婦人科学総論Ⅰ（良性腫瘍）	PS	02	10	02	西村 和朗
10.29	水	1･2	婦人科学総論Ⅲ（悪性腫瘍）	PS	02	10	04	金城 泰幸
10.30	木	3･4	婦人科学総論Ⅳ（手術）	PS	02	10	05	遠山 篤史
11.06	木	3･4	婦人科学総論Ⅴ（女性内分泌） 婦人科小テスト	PS	02	10	05	村上 緑

血液内科学総論
【Hematology and Oncology Ⅰ】

担当責任者 （医学部長）

ねらい

造血幹細胞および血球についての基本的な知識を習得・理解する。

血液病の病態、血球・凝固の異常および悪性血液腫瘍の特徴を理解する。

病歴、理学的所見、検査所見より鑑別診断を行い、正しい診断を下す知識を習得する。

モデル・コア・カリキュラムガイドライン・医師国家試験の出題基準に従った教育を実施する。

学修目標

1. 造血幹細胞および造血因子を理解し、生体における血球産生を説明できる。(Ⅱ-1, Ⅱ-2)
2. 血液病の病態メカニズムを理解し、症状・理学所見および検査所見を説明できる。(Ⅱ-5)
3. 末梢血および骨髄血液像による血球形態から遺伝子検査に及ぶ幅広い診断方法を説明できる。(Ⅱ-6, Ⅳ-4)
4. 抗腫瘍薬、造血薬、免疫抑制薬、サイトカインや輸血を含む血液病の治療方法を説明できる。(Ⅱ-6, Ⅳ-5)
5. 自家・同種造血幹細胞移植の原理を説明できる。(Ⅱ-6, Ⅳ-5)

事前事後学習の方法

1. 事前は指定教科書を通読し、予習課題をまとめておくこと。
2. 事後は講義プリントをよく読み復習し、課題をノートにまとめる。

成績評価方法・基準

1. 復習テスト(5割程度)、理解度チェックのための小テスト(3割程度)、課題に対するレポート(2割程度)の結果を基に、受講態度・出席状況等を加味し、総合的に評価する。
2. 100点満点換算で、A・B・C・D・Fの5段階評価とする。

○ 教 科 書

内科学 第12版 矢崎義雄総編集 2022年 朝倉書店

ハリソン内科学 第5版 福井次矢・黒川清監修 2017年 メディカル・サイエンス・インターナショナル

ワシントンマニュアル 第14版 高久史麿・苅尾七臣監訳 2021年 メディカル・サイエンス・インターナショナル

○ 参 考 書

Wintrobe's Clinical Hematology 14th edition, 2019, Lippincott Williams & Wilkins

Williams Hematology, 10th edition, 2021, McGraw Hill

WHO Classification Tumors of Haematopoietic and Lymphoid Tissues, revised 4th edition, 2017, IARC Press

講義:2401講義室

年月日	曜日	時限	授業項目（内容）	コアカリ項目				担当者
				第1層	第2層	第3層	第4層	
R7.9.30	火	1	血球総論	PS	02	02	01-05	森本 浩章
9.30	火	2	造血幹細胞と造血因子(レポート課題)	CS	02	02	01-04	森本 浩章
10.7	火	1・2	白血球減少・増多/(急性・慢性)白血病と感染症対策	PS PS CS	02 03 02	02 04 04	01-05 06,09 10	森本 浩章
10.14	火	1・2	リンパ節腫脹・悪性リンパ腫/成人T細胞白血病リンパ腫(小テスト)	PS PS CS	02 03 02	02 04 04	01-05 06,09 10	森本 浩章
10.21	火	1・2	血小板増多・減少/凝固異常による出血傾向・血栓	CS	02	03	01,02	東 丈裕
10.28	火	1・2	赤血球減少・増多/汎血球減少と再生不良性貧血	PS PS CS	02 03 02	02 04 04	01-05 06,09 10	東 丈裕
11.11	火	3・4	免疫グロブリン異常/骨髄腫・マクログロブリン血症（小テスト)	GE	01	04	05	中西 司
11.14	金	3	血球形態学総論	PS	02	02	01	廣澤 誠
11.14	金	4	血液学的検査、染色体・遺伝子検査	PS	01 03	04 04	20 01,09	廣澤 誠
11.17	月	5	輸血総論/分子標的薬	GE	01	04	06	東 丈裕
11.17	月	6	造血幹細胞移植療法総論と感染症対策	LL	01	01	01	東 丈裕
11.18	火	3・4	脾腫・慢性骨髄増殖性疾患(小テスト/レポート提出)	CS PS	02 03	04 04	10 08,09,26	中西 司
12.9	火	7・8	復習テスト・解説	PS	03	04	25	森本 浩章/赤尾 健一

歯科・口腔外科学
【Dentistry・Stomatology】

担当責任者 診療教授（歯科・口腔外科） 宮脇 昭彦

ねらい

1. 顎・顔面・口腔領域の主な疾患の診断、治療について概要を理解する。
2. 他領域疾患や全身疾患との関連を理解し、説明できる。

学修目標

1. 齲蝕、慢性辺縁性歯周炎およびこれに継発する疾患について説明する。（Ⅱ-1, Ⅱ-6, Ⅱ-11）
2. 有害業務による歯科疾患の診断、治療について述べる。（Ⅱ-6, Ⅱ-11, Ⅲ-1）
3. 顎顔面損傷の診断、救急処置について説明する。（Ⅱ-1, Ⅱ-6, Ⅱ-11）
4. 顎・口腔領域の嚢胞、腫瘍について概略を理解し、口腔がんの診断、治療について述べる。（Ⅱ-1, Ⅱ-6, Ⅱ-11）
5. 顎関節、唾液腺疾患の診査法を説明し、主な疾患について述べる。（Ⅱ-1, Ⅱ-6, Ⅱ-11）

事前学習 講義資料をよく読んで、専門用語は教科書で調べておく。

成績評価方法・基準

講義担当者ごとに理解度の確認のために4回の小テストを行い、出席状況、授業態度
を加味し、100点満点換算でA,B,C,D,E,Fの5段階評価とする

○ 教 科 書

野間 弘康・瀬戸 晧一: 標準口腔外科学、第4版、医学書院、2015

○ 参 考 書

榎本昭二, 道健一, 天笠光雄, 小村健監修 最新 口腔外科学 第5版 医歯薬出版 2017

講義:2401講義室

年月日	曜日	時限	授業項目（内容）	コアカリ項目				担当者
				第1層	第2層	第3層	第4層	
R7.10.7	火	7･8	歯ならびに歯周組織の疾患	PS	02	16	01,02, 04,05	宮脇 昭彦
10.14	火	7･8	職業性歯科疾患	PS SO	02 01	16 04	01,02,05 03,04 03,04	宮脇 昭彦
10.21	火	5･6	顎顔面の損傷(1)	PS	02	16	01-05	秋森 俊行
10.21	火	7･8	顎顔面の損傷(2)(小テスト1 担当秋森)	PS	02 03	16 05	01-05 12	秋森 俊行
11.6	木	5･6	顎炎、顎関節疾患	PS	02 03	16 05	01,02,05 12	上田 大佑
11.11	火	7･8	顎変形症	PS CS	02 02	16 04	01-05 20	宮脇 昭彦
11.13	木	5･6	顎骨壊死について	PS	02	16	02-05	上田 大佑
11.18	火	7･8	顎・口腔の悪性腫瘍(1)	PS	02	16	01-05	宮脇 昭彦
11.20	木	5･6	顎・口腔の悪性腫瘍(2)(小テスト2 担当宮脇)	PS CS	02 02	16 04	01-05 19-21	宮脇 昭彦
11.25	火	7･8	顎・口腔の良性腫瘍	PS	02	16	01,02, 04,05	志渡澤 和佳
12.4	木	5･6	顎・口腔の嚢胞性疾患(小テスト3 担当志渡澤)	PS	02	16	01,02, 04,05	志渡澤 和佳
12.11	木	5･6	唾液腺疾患（小テスト4 担当上田）	PS	02	16	01-05	上田 大佑

早期臨床体験実習Ⅲ
【Early Clinical Exposure Ⅲ】

担当責任者　早期臨床体験実習小委員会委員長

ねらい

救急医療における多職種によるチーム医療の訓練を体験し、
救急医療現場での医師の役割、医師像を明確にし、今後の学習意欲の向上につなげる。
救急救命士の訓練の現場を見学(一部体験)し、専門性を身に着けるための心構えや身に着けるべき態度を学ぶ。
将来医師を目指す医学生としての、心構えや身に着けるべき態度を学び、目標とする医師像を明確にする。

学修目標

1. 多職種の連携による医療・生活の現場を体験実習し、チーム医療の重要性を理解する。(VI-3, VI-4, VI-5)
2. 救命救急の医療現場で必要とされる知識・技術を理解する。(Ⅱ-7)
3. 救命救急でのチーム医療の重要性、医療現場での医師の役割を理解する。(VI-3, VI-4, VI-5)
4. 救命処置や医学的根拠に基づく傷病者観察と判断を身につける。(Ⅱ-7)
5. 医師として、救急医療の現場におけるチーム医療でのリーダーシップの重要性を理解する。(Ⅱ-12)
6. 医学生としてふさわしい、身なり、態度で行動する。(Ⅰ-5)
7. 将来医師となる自分が今後なすべきことを自覚する。(Ⅰ-4, Ⅰ-5)

事前事後学習の方法

1. 事前学習 準備授業で説明する注意事項を実習前に再度確認する。
2. 事後学習 実習中に経験した臨床的知識を確認し、自己学習の機会にする。

成績評価方法・基準

出欠状況(欠席は原則認めない)、実習態度、各職種からの評価、学修目標の理解度、レポートによって総合的に判定する。
実習であるので皆勤が原則である。止むを得ない理由のない欠席・遅刻、服装の乱れ、態度不良、居眠り、積極性欠如
などは不合格である。

○ 教 科 書

特に指定しない。

○ 参 考 書

担当教員の指示に従う。

年月日	曜日	時限	授業項目(内容)	コアカリ項目				担当者
				第1層	第2層	第3層	第4層	
R8.1.9	金	7	早期臨床体験実習Ⅲ 実習参加の為の基礎講義・医療安全について	GE PR PS LL	01-04 01-03 03 01,02	05		医学教育担当教員
1.16～22	金～木	1～8	早期臨床体験実習Ⅲ					
1.23	金	5	早期臨床体験実習Ⅲ　実習成果発表					

産業医学Ⅲ

（作業環境管理、作業管理、有害業務管理）

【Occupational Health Ⅲ】

担当責任者 教授（衛生学） 辻 真弓

ねらい

産業医学Ⅲは産業医資格を得るために不可欠な科目であり、作業環境管理・作業管理を中心とした産業医学の基本的内容を把握することを目的とする。また、有害業務管理をとおして労働衛生管理の実際について学ぶ。

学修目標

1. 騒音、振動、暑熱寒冷多湿・高気圧職場における労働衛生管理の概略を述べることができる。（Ⅱ-8, Ⅲ-1, Ⅲ-2）
2. 化学物質取扱い職場における労働衛生管理の概略を述べることができる。（Ⅱ-8, Ⅲ-1, Ⅲ-2）
3. 作業管理の意義と役割について説明できる。（Ⅱ-8, Ⅲ-1, Ⅲ-2）
4. 運動器の障害予防にかかる人間工学アプローチについて説明できる。（Ⅱ-8, Ⅲ-4）
5. 情報機器（VDT）作業の作業管理活動について説明できる。（Ⅱ-8, Ⅲ-2）
6. ストレスと疲労の違いを理解し、産業疲労の捉え方について説明できる。（Ⅱ-8, Ⅲ-3）
7. 労働負荷と負担との視点から勤務様態を把握でき、その作業管理活動のあり方について説明できる。（Ⅱ-8, Ⅲ-4）
8. 作業場の有害物質・有害エネルギーについて認識できる。（Ⅱ-8, Ⅲ-1）
9. 作業環境の測定・評価について説明できる。（Ⅱ-8, Ⅲ-2, Ⅲ-4）
10. 作業環境の改善について説明できる。（Ⅱ-8, Ⅲ-1, Ⅲ-2）
11. 電離の健康影響、有害業務管理について概説できる。（Ⅱ-8, Ⅲ-3, Ⅲ-4）

事前事後学習の方法

配布された講義テキストを熟読して講義内容の復習をすること。

成績評価方法・基準

筆記試験および出席状況を総合的に評価し、60点以上を合格とする。

○教 科 書

特に指定しない。

○参 考 書

圓藤吟史 他 編 「事例で学ぶ一般健診・特殊健診マニュアル 改訂第3版」（宇宙堂八木書店）

厚生労働省労働基準局編「労働衛生のしおり」（中央労働災害防止協会）

講義:2401講義室

年月日	曜日	時限	授業項目（内容）	コアカリ項目				担当者
				第1層	第2層	第3層	第4層	
R7.4.2	水	3	産業中毒①	SO	01	04	04	辻 真弓 (衛生学)
4.2	水	4	産業中毒②	SO	01	04	04	辻 真弓 (衛生学)
4.3	木	3	作業管理と人間工学①(腰痛、上肢障害)	SO	01	04	01	榎原 毅 (人間工学)
4.3	木	4	作業管理と人間工学②(情報機器作業など)	SO	01	04	01	榎原 毅 (人間工学)
4.3	木	5	作業環境測定法概論	SO	01	04	01	東 秀憲 (労働衛生工学)
4.4	金	5	作業環境改善・局所排気①	SO	01	04	01	東 秀憲 (労働衛生工学)
4.4	金	6	作業環境改善・局所排気②	SO	01	04	01	東 秀憲 (労働衛生工学)
4.4	金	7	特定化学物質取り扱い業務①	SO	01	04	03	藤澤 浩一 (職業性腫瘍学)
4.4	金	8	特定化学物質取り扱い業務②	SO	01	04	03	藤澤 浩一 (職業性腫瘍学)
4.9	水	3	有害化学物質の管理①	SO	01	04	04	藤澤 浩一 (職業性腫瘍学)
4.9	水	4	有害化学物質の管理②	SO	01	04	04	藤澤 浩一 (職業性腫瘍学)
4.10	木	1	作業管理と人間工学③(交代勤務・過重労働等)	SO	01	04	01	藤原 広明 (人間工学)
4.10	木	2	作業管理と人間工学④(交代勤務・過重労働等)	SO	01	04	01	藤原 広明 (人間工学)
4.10	木	3	電離放射線取り扱い業務①	PS	03	06	06	岡﨑 龍史 (放射線衛生管理学)
4.10	木	4	電離放射線取り扱い業務②	PS	03	06	06	岡﨑 龍史 (放射線衛生管理学)
4.11	金	5	騒音の作業環境管理①	SO	01	04	01	大神 明 (作業関連疾患予防学)
4.11	金	6	騒音の作業環境管理②	SO	01	04	01	大神 明 (作業関連疾患予防学)
4.17	木	5	粉じん・アスベストの作業環境管理①	SO	01	04	03	森本 泰夫 (呼吸病態学)
4.17	木	6	粉じん・アスベストの作業環境管理②	SO	01	04	03	森本 泰夫 (呼吸病態学)
4.23	水	3	生物学的モニタリング	SO	01	04	01	田中 政幸 (学外)
4.23	水	4	産業疲労	SO	01	04	03	谷 直道 (人間工学)
4.23	水	5	演習	SO	01	04	01	辻 真弓 (衛生学)
5.9	金	5・6	試験	SO	01	04	01	辻 真弓 (衛生学)

4 年 次

授業科目	頁	開講 前学期	開講 後学期
医学概論 Ⅳ	254		○
第1内科学各論	256	○	
第2内科学各論	258	○	
第3内科学各論	260	○	
呼吸器内科学各論	262	○	
神経内科学各論	264	○	
精神医学各論	266	○	
小児科学 Ⅱ	268	○	
第1外科学各論	270	○	
第2外科学各論	272	○	
心臓血管外科学	274	○	
脳神経外科学各論	275	○	
整形外科学各論	277	○	
泌尿器科学各論	279	○	
眼科学	281	○	
耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	283	○	
婦人科学	285	○	
放射線科学	287	○	
麻酔科学	289	○	
リハビリテーション医学	291	○	
救急医学	293	○	
血液内科学各論	294	○	
総合診療医学	296	○	
臨床検査医学	298	○	
遺伝子診断・治療学	300		○
医のプロフェッショナリズム	302		○
臨床診断学	304		○
産業医学 Ⅳ（健康管理、メンタルヘルス、健康の保持増進対策）	306		○

令和７年度　時間割

４年次　前学期

４　／　１（火）～　４　／３０（水）

1限　8:50 ～ 9:40　　5限　13:40 ～14:30　　9限　17:40～18:30
2限　9:50 ～10:40　　6限　14:40 ～15:30　　10限　18:40～19:30
3限 10:50 ～11:40　　7限　15:40 ～16:30
4限 11:50 ～12:40　　8限　16:40 ～17:30

	月	火	水	木	金
		1日	2日	3日	4日
1限		神経内科学各論 1	第2内科学各論 1	第2内科学各論 3	小児科学Ⅱ 1
2限		神経内科学各論 2	第2内科学各論 2	第2内科学各論 4	小児科学Ⅱ 2
3限		血液内科学各論 1	麻酔科学 1	神経内科学各論 3	婦人科学 1
4限		血液内科学各論 2	麻酔科学 2	神経内科学各論 4	婦人科学 2
5限		放射線科学 1	整形外科学各論 1	眼科学 1	放射線科学 3
6限		放射線科学 2	整形外科学各論 2	眼科学 2	放射線科学 4
7限		耳鼻咽喉科・頭頸部外科学 1	第3内科学各論 1	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学 3	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学 5
8限		耳鼻咽喉科・頭頸部外科学 2	第3内科学各論 2	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学 4	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学 6
	7日	8日	9日	10日	11日
1限	第2内科学各論 5	神経内科学各論 5	第2外科学各論 1	第2内科学各論 7	婦人科学 5
2限	第2内科学各論 6	神経内科学各論 6	第2外科学各論 2	第2内科学各論 8	婦人科学 6
3限	小児科学Ⅱ 3	血液内科学各論 3	麻酔科学 5	神経内科学各論 7	小児科学Ⅱ 5
4限	小児科学Ⅱ 4	血液内科学各論 4	麻酔科学 6	神経内科学各論 8	小児科学Ⅱ 6
5限	麻酔科学 3	リハビリテーション医学 1	整形外科学各論 3	眼科学 3	放射線科学 5
6限	麻酔科学 4	リハビリテーション医学 2	整形外科学各論 4	眼科学 4	放射線科学 6
7限	婦人科学 3	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学 7	第3内科学各論 3	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学 9	第1内科学各論 1
8限	婦人科学 4	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学 8	第3内科学各論 4	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学 10	第1内科学各論 2
	14日	15日	16日	17日	18日
1限	第2内科学各論 9	神経内科学各論 9	第1内科学各論 5	麻酔科学 9	婦人科学 7
2限	第2内科学各論 10	神経内科学各論 10	第1内科学各論 6	麻酔科学 10	婦人科学 8
3限	小児科学Ⅱ 7	血液内科学各論 5	第2内科学各論 11	神経内科学各論 11	小児科学Ⅱ 9
4限	小児科学Ⅱ 8	血液内科学各論 6	第2内科学各論 12	神経内科学各論 12	小児科学Ⅱ 10
5限	麻酔科学 7	リハビリテーション医学 3	整形外科学各論 5	リハビリテーション医学 5	放射線科学 7
6限	麻酔科学 8	リハビリテーション医学 4	整形外科学各論 6	リハビリテーション医学 6	放射線科学 8
7限	第1内科学各論 3	第2外科学各論 3	第3内科学各論 5	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学 11	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学 13
8限	第1内科学各論 4	第2外科学各論 4	第3内科学各論 6	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学 12	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学 14
	21日	22日	23日	24日	25日
1限	第2内科学各論 13	神経内科学各論 13	第1内科学各論 7	第2内科学各論 15	婦人科学 11
2限	第2内科学各論 14	神経内科学各論 14	第1内科学各論 8	第2内科学各論 16	婦人科学 12
3限	小児科学Ⅱ 11	血液内科学各論 7	麻酔科学 13	神経内科学各論 15	放射線科学 11
4限	小児科学Ⅱ 12	血液内科学各論 8	麻酔科学 14	神経内科学各論 16	放射線科学 12
5限	麻酔科学 11	眼科学 5	整形外科学各論 7	リハビリテーション医学 7	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学 15
6限	麻酔科学 12	眼科学 6	整形外科学各論 8	リハビリテーション医学 8	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学 16
7限	婦人科学 9	第2外科学各論 5	第3内科学各論 7	放射線科学 9	第1内科学各論 9
8限	婦人科学 10	第2外科学各論 6	第3内科学各論 8	放射線科学 10	第1内科学各論 10
	28日	29日	30日		
1限	開学記念日	昭和の日	第1内科学各論 11		
2限			第1内科学各論 12		
3限			第2内科学各論 17		
4限			第2内科学各論 18		
5限			整形外科学各論 9		
6限			整形外科学各論 10		
7限			第3内科学各論 9		
8限			第3内科学各論 10		

令和７年度 時間割

４年次　前学期

５ ／ １（木）～ ５ ／３０（金）

1限　8:50 ～ 9:40　5限　13:40 ～14:30　9限　17:40～18:30
2限　9:50 ～10:40　6限　14:40 ～15:30　10限　18:40～19:30
3限 10:50 ～11:40　7限　15:40 ～16:30
4限 11:50 ～12:40　8限　16:40 ～17:30

	月	火	水	木	金
				1日	2日
1限				麻酔科学 15	小児科学Ⅱ 13
2限				麻酔科学 16	小児科学Ⅱ 14
3限				神経内科学各論 17	婦人科学 13
4限				神経内科学各論 18	婦人科学 14
5限				眼科学 7	放射線科学 13
6限				眼科学 8	放射線科学 14
7限				第2外科学各論 7	第2内科学各論 19
8限				第2外科学各論 8	第2内科学各論 20
	5日	6日	7日	8日	9日
1限	こどもの日	振替休日	第1内科学各論 13	第2内科学各論 21	小児科学Ⅱ 15
2限			第1内科学各論 14	第2内科学各論 22	小児科学Ⅱ 16
3限			麻酔科学 17	神経内科学各論 19	婦人科学 15
4限			麻酔科学 18	神経内科学各論 20	婦人科学 16
5限			整形外科学各論 11	リハビリテーション医学 9	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学 17
6限			整形外科学各論 12	リハビリテーション医学 10	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学 18
7限			第1外科学各論 1	第2外科学各論 9	第2内科学各論 23
8限			第1外科学各論 2	第2外科学各論 10	第2内科学各論 24
	12日	13日	14日	15日	16日
1限	呼吸器内科学各論 1	神経内科学各論 21	健康診断	放射線科学 17	小児科学Ⅱ 19
2限	呼吸器内科学各論 2	神経内科学各論 22		放射線科学 18	小児科学Ⅱ 20
3限	小児科学Ⅱ 17	放射線科学 15		婦人科学 17	婦人科学 19
4限	小児科学Ⅱ 18	放射線科学 16		婦人科学 18	婦人科学 20
5限	精神医学各論 1	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学 19	整形外科学各論 13	眼科学 9	麻酔科学 19
6限	精神医学各論 2	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学 20	整形外科学各論 14	眼科学 10	麻酔科学 20
7限	第1外科学各論 3	血液内科学各論 9	第3内科学各論 11	眼科学 11	第2内科学各論 25
8限	第1外科学各論 4	血液内科学各論 10	第3内科学各論 12		第2内科学各論 26
	19日	20日	21日	22日	23日
1限	呼吸器内科学各論 3	神経内科学各論 23	第1内科学各論 15	精神医学各論 5	泌尿器科学各論 1
2限	呼吸器内科学各論 4	神経内科学各論 24	第1内科学各論 16	精神医学各論 6	泌尿器科学各論 2
3限	小児科学Ⅱ 21	放射線科学 19	第2内科学各論 27	婦人科学 21	婦人科学 23
4限	小児科学Ⅱ 22	放射線科学 20	第2内科学各論 28	婦人科学 22	婦人科学 24
5限	精神医学各論 3	眼科学 12	整形外科学各論 15	リハビリテーション医学 11	放射線科学 21
6限	精神医学各論 4	眼科学 13	整形外科学各論 16	リハビリテーション医学 12	放射線科学 22
7限	第1外科学各論 5	第2外科学各論 11	第3内科学各論 13		耳鼻咽喉科・頭頸部外科学 21
8限	第1外科学各論 6	第2外科学各論 12	第3内科学各論 14		耳鼻咽喉科・頭頸部外科学 22
	26日	27日	28日	29日	30日
1限	第2内科学各論 29	神経内科学各論 25	第2内科学各論 31	婦人科学 25	泌尿器科学各論 3
2限	第2内科学各論 30	神経内科学各論 26	第2内科学各論 32	婦人科学 26	泌尿器科学各論 4
3限	呼吸器内科学各論 5	放射線科学 23	第1内科学各論 17	小児科学Ⅱ 23	小児科学Ⅱ 25
4限	呼吸器内科学各論 6	放射線科学 24	第1内科学各論 18	小児科学Ⅱ 24	小児科学Ⅱ 26
5限	麻酔科学 21	眼科学 14	整形外科学各論 17	リハビリテーション医学 13	精神医学各論 7
6限	麻酔科学 22	眼科学 15	整形外科学各論 18	リハビリテーション医学 14	精神医学各論 8
7限	第1外科学各論 7	血液内科学各論 11	第3内科学各論 15	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学 23	第1外科学各論 9
8限	第1外科学各論 8	血液内科学各論 12	第3内科学各論 16	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学 24	第1外科学各論 10

令和７年度　時間割

４年次　前学期

６　／　２（月）～　６　／３０（月）

1限　8:50 ～ 9:40　　5限　13:40 ～14:30　　9限　17:40～18:30
2限　9:50 ～10:40　　6限　14:40 ～15:30　　10限　18:40～19:30
3限 10:50 ～11:40　　7限　15:40 ～16:30
4限 11:50 ～12:40　　8限　16:40 ～17:30

	月	火	水	木	金
	2日	3日	4日	5日	6日
1限	呼吸器内科学各論 7	第2外科学各論 13	泌尿器科学各論 5	神経内科学各論 27	婦人科学 27
2限	呼吸器内科学各論 8	第2外科学各論 14	泌尿器科学各論 6	神経内科学各論 28	婦人科学 28
3限	小児科学Ⅱ 27	血液内科学各論 13	第2内科学各論 33	精神医学各論 9	第2内科学各論 35
4限	小児科学Ⅱ 28	血液内科学各論 14	第2内科学各論 34	精神医学各論 10	第2内科学各論 36
5限	麻酔科学 23	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学 25	整形外科学各論 19	眼科学 18	放射線科学 27
6限	麻酔科学 24	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学 26	整形外科学各論 20	眼科学 19	放射線科学 28
7限	第1外科学各論 11	眼科学 16	第3内科学各論 17	放射線科学 25	第1外科学各論 13
8限	第1外科学各論 12	眼科学 17	第3内科学各論 18	放射線科学 26	第1外科学各論 14
	9日	10日	11日	12日	13日
1限	呼吸器内科学各論 9	第2外科学各論 15	第2内科学各論 37	神経内科学各論 29	泌尿器科学各論 7
2限	呼吸器内科学各論 10	第2外科学各論 16	第2内科学各論 38	神経内科学各論 30	泌尿器科学各論 8
3限	小児科学Ⅱ 29	放射線科学 29	第1内科学各論 19	婦人科学 29	婦人科学 31
4限	小児科学Ⅱ 30	放射線科学 30	第1内科学各論 20	婦人科学 30	婦人科学 32
5限	麻酔科学 25	リハビリテーション医学 15	整形外科学各論 21	眼科学 20	精神医学各論 11
6限	麻酔科学 26	リハビリテーション医学 16	整形外科学各論 22	眼科学 21	精神医学各論 12
7限	第1外科学各論 15	血液内科学各論 15	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学 27	小児科学Ⅱ 31	第3内科学各論 19
8限	第1外科学各論 16	血液内科学各論 16	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学 28	小児科学Ⅱ 32	第3内科学各論 20
	16日	17日	18日	19日	20日
1限	呼吸器内科学各論 11	第2外科学各論 17	第2内科学各論 39	神経内科学各論 31	放射線科学 33
2限	呼吸器内科学各論 12	第2外科学各論 18	第2内科学各論 40	神経内科学各論 32	放射線科学 34
3限	小児科学Ⅱ 33	放射線科学 31	第1内科学各論 21	精神医学各論 13	婦人科学 33
4限	小児科学Ⅱ 34	放射線科学 32	第1内科学各論 22	精神医学各論 14	婦人科学 34
5限	麻酔科学 27	リハビリテーション医学 17	整形外科学各論 23	眼科学 22	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学 29
6限	麻酔科学 28	リハビリテーション医学 18	整形外科学各論 24	眼科学 23	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学 30
7限	第1外科学各論 17	血液内科学各論 17	第3内科学各論 21	泌尿器科学各論 9	第2内科学各論 41
8限	第1外科学各論 18	血液内科学各論 18	第3内科学各論 22	泌尿器科学各論 10	第2内科学各論 42
	23日	24日	25日	26日	27日
1限	呼吸器内科学各論 13	第2外科学各論 19	泌尿器科学各論 11	神経内科学各論 33	放射線科学 35
2限	呼吸器内科学各論 14	第2外科学各論 20	泌尿器科学各論 12	神経内科学各論 34	放射線科学 36
3限	小児科学Ⅱ 35	血液内科学各論 19	第2内科学各論 43	小児科学Ⅱ 37	婦人科学 35
4限	小児科学Ⅱ 36	血液内科学各論 20	第2内科学各論 44	小児科学Ⅱ 38	婦人科学 36
5限	麻酔科学 29	眼科学 24	整形外科学各論 25	リハビリテーション医学 19	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学 33
6限	麻酔科学 30	眼科学 25	整形外科学各論 26	リハビリテーション医学 20	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学 34
7限	第1外科学各論 19	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学 31	第1外科学各論 21	第1内科学各論 23	第3内科学各論 23
8限	第1外科学各論 20	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学 32	第1外科学各論 22	第1内科学各論 24	第3内科学各論 24
	30日				
1限	呼吸器内科学各論 15				
2限	呼吸器内科学各論 16				
3限	小児科学Ⅱ 39				
4限	小児科学Ⅱ 40				
5限	麻酔科学 31				
6限	麻酔科学 32				
7限	第1外科学各論 23				
8限	第1外科学各論 24				

令和７年度　時間割

４年次　前学期

７　／　１（火）～　７　／３１（木）

1限　8:50 ～ 9:40　　5限　13:40 ～14:30　　9限　17:40～18:30
2限　9:50 ～10:40　　6限　14:40 ～15:30　　10限　18:40～19:30
3限　10:50 ～11:40　　7限　15:40 ～16:30
4限　11:50 ～12:40　　8限　16:40 ～17:30

	月	火	水	木	金
		1日	2日	3日	4日
1限		神経内科学各論　35	第１内科学各論　27	精神医学各論　15	泌尿器科学各論　13
2限		神経内科学各論　36	第１内科学各論　28	精神医学各論　16	泌尿器科学各論　14
3限		血液内科学各論　21	第２内科学各論　45	小児科学Ⅱ　41	婦人科学　37
4限		血液内科学各論　22	第２内科学各論　46	小児科学Ⅱ　42	婦人科学　38
5限		耳鼻咽喉科・頭頸部外科学 35	整形外科学各論　27	リハビリテーション医学　21	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学 39
6限		耳鼻咽喉科・頭頸部外科学 36	整形外科学各論　28	リハビリテーション医学　22	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学 40
7限		第１内科学各論　25	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学 37	第３内科学各論　25	第２内科学各論　47
8限		第１内科学各論　26	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学 38	第３内科学各論　26	第２内科学各論　48
	7日	8日	9日	10日	11日
1限	精神医学各論　17	神経内科学各論　37	第１内科学各論　31	婦人科学　39	泌尿器科学各論　17
2限	精神医学各論　18	神経内科学各論　38	第１内科学各論　32	婦人科学　40	泌尿器科学各論　18
3限	心臓血管外科学　1	血液内科学各論　23	第２外科学各論　21	小児科学Ⅱ　43	婦人科学　41
4限	心臓血管外科学　2	血液内科学各論　24	第２外科学各論　22	小児科学Ⅱ　44	婦人科学　42
5限	第２内科学各論　49	第１内科学各論　29	呼吸器内科学各論　17	リハビリテーション医学　23	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学 43
6限	第２内科学各論　50	第１内科学各論　30	呼吸器内科学各論　18	リハビリテーション医学　24	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学 44
7限	精神医学各論　19	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学 41	泌尿器科学各論　15	第３内科学各論　27	呼吸器内科学各論　19
8限	精神医学各論　20	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学 42	泌尿器科学各論　16	第３内科学各論　28	呼吸器内科学各論　20
	14日	15日	16日	17日	18日
1限	呼吸器内科学各論　21	第２内科学各論　51	泌尿器科学各論　19	臨床検査医学　1	婦人科学　43
2限	呼吸器内科学各論　22	第２内科学各論　52	泌尿器科学各論　20	臨床検査医学　2	婦人科学　44
3限	小児科学Ⅱ　45	神経内科学各論　39	第１内科学各論　35	小児科学Ⅱ　47	小児科学Ⅱ　49
4限	小児科学Ⅱ　46	神経内科学各論　40	第１内科学各論　36	小児科学Ⅱ　48	小児科学Ⅱ　50
5限	心臓血管外科学　3	第１内科学各論　33	呼吸器内科学各論　23	リハビリテーション医学　25	泌尿器科学各論　21
6限	心臓血管外科学　4	第１内科学各論　34	呼吸器内科学各論　24	リハビリテーション医学　26	泌尿器科学各論　22
7限	精神医学各論　21	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学 45	脳神経外科学各論　1	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学 47	第３内科学各論　29
8限	精神医学各論　22	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学 46	脳神経外科学各論　2	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学 48	第３内科学各論　30
	21日	22日	23日	24日	25日
1限	海の日	CBT 模擬試験	泌尿器科学各論　23	婦人科学　45	婦人科学　47
2限			泌尿器科学各論　24	婦人科学　46	婦人科学　48
3限			第２内科学各論　53	小児科学Ⅱ　51	臨床検査医学　5
4限			第２内科学各論　54	小児科学Ⅱ　52	臨床検査医学　6
5限			第１内科学各論　37	リハビリテーション医学　27	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学 49
6限			第１内科学各論　38	リハビリテーション医学　28	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学 50
7限			脳神経外科学各論　3	臨床検査医学　3	第３内科学各論　31
8限			脳神経外科学各論　4	臨床検査医学　4	第３内科学各論　32
	28日	29日	30日	31日	
1限	呼吸器内科学各論　25	第１内科学各論　41			
2限	呼吸器内科学各論　26	第１内科学各論　42			
3限	心臓血管外科学　5	小児科学Ⅱ　53	第２内科学各論　55		
4限	心臓血管外科学　6	小児科学Ⅱ　54	第２内科学各論　56		
5限	精神医学各論　23	血液内科学各論　25		耳鼻咽喉科・頭頸部外科学 53	
6限	精神医学各論　24	血液内科学各論　26		耳鼻咽喉科・頭頸部外科学 54	
7限	第１内科学各論　39	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学 51	第１内科学各論　43	第１内科学各論　45	
8限	第１内科学各論　40	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学 52	第１内科学各論　44	第１内科学各論　46	

令和７年度 時間割

４年次　前学期

９ ／ １（月）～ ９ ／３０（火）

1限　8:50 ～ 9:40　5限　13:40 ～14:30　9限　17:40～18:30
2限　9:50 ～10:40　6限　14:40 ～15:30　10限　18:40～19:30
3限 10:50 ～11:40　7限　15:40 ～16:30
4限 11:50 ～12:40　8限　16:40 ～17:30

	月	火	水	木	金
	1日	2日	3日	4日	5日
1限	泌尿器科学各論 25	臨床検査医学 7	総合診療医学 1	救急医学 5	臨床検査医学 11
2限	泌尿器科学各論 26	臨床検査医学 8	総合診療医学 2	救急医学 6	臨床検査医学 12
3限	心臓血管外科学 7	臨床検査医学 9	総合診療医学 3	救急医学 7	精神医学各論 27
4限	心臓血管外科学 8	臨床検査医学 10	総合診療医学 4	救急医学 8	精神医学各論 28
5限	精神医学各論 25	救急医学 1	脳神経外科学各論 5	リハビリテーション医学 29	臨床検査医学 13
6限	精神医学各論 26	救急医学 2	脳神経外科学各論 6	リハビリテーション医学 30	臨床検査医学 14
7限	第1外科学各論 25	救急医学 3	第1内科学各論 47	第1内科学各論 49	第1外科学各論 27
8限	第1外科学各論 26	救急医学 4	第1内科学各論 48	第1内科学各論 50	第1外科学各論 28
	8日	9日	10日	11日	12日
1限	臨床検査医学 15	神経内科学各論 41	総合診療医学 5	総合診療医学 9	総合診療医学 11
2限	臨床検査医学 16	神経内科学各論 42	総合診療医学 6	総合診療医学 10	総合診療医学 12
3限	心臓血管外科学 9	精神医学各論 29	総合診療医学 7	救急医学 9	精神医学各論 31
4限	心臓血管外科学 10	精神医学各論 30	総合診療医学 8	救急医学 10	精神医学各論 32
5限	泌尿器科学各論 27	臨床検査医学 17	第1内科学各論 53	リハビリテーション医学 31	泌尿器科学各論 29
6限	泌尿器科学各論 28	臨床検査医学 18	第1内科学各論 54	リハビリテーション医学 32	泌尿器科学各論 30
7限	第1外科学各論 29	第1内科学各論 51	第1外科学各論 31	脳神経外科学各論 7	第1内科学各論 55
8限	第1外科学各論 30	第1内科学各論 52	第1外科学各論 32	脳神経外科学各論 8	第1内科学各論 56
	15日	16日	17日	18日	19日
1限	敬老の日	救急医学 11	総合診療医学 13	救急医学 15	総合診療医学 17
2限		救急医学 12	総合診療医学 14	救急医学 16	総合診療医学 18
3限		救急医学 13	総合診療医学 15	救急医学 17	総合診療医学 19
4限		救急医学 14	総合診療医学 16	救急医学 18	総合診療医学 20
5限		第1内科学各論 57	第1内科学各論 59	臨床検査医学 19	泌尿器科学各論 31
6限		第1内科学各論 58	第1内科学各論 60	臨床検査医学 20	泌尿器科学各論 32
7限		精神医学各論 33	第1外科学各論 33	脳神経外科学各論 9	第1内科学各論 61
8限		精神医学各論 34	第1外科学各論 34	脳神経外科学各論 10	第1内科学各論 62
	22日	23日	24日	25日	26日
1限	臨床検査医学 21	秋分の日	泌尿器科学各論 33	総合診療医学 23	総合診療医学 25
2限	臨床検査医学 22		泌尿器科学各論 34	総合診療医学 24	総合診療医学 26
3限			総合診療医学 21	救急医学 19	総合診療医学 27
4限			総合診療医学 22	救急医学 20	総合診療医学 28
5限	精神医学各論 35		第1内科学各論 65	心臓血管外科学 11	泌尿器科学各論 35
6限	精神医学各論 36		第1内科学各論 66	心臓血管外科学 12	泌尿器科学各論 36
7限	第1内科学各論 63		第1外科学各論 35	脳神経外科学各論 11	
8限	第1内科学各論 64		第1外科学各論 36	脳神経外科学各論 12	
	29日	30日			
1限	総合診療医学 29				
2限	総合診療医学 30				
3限	心臓血管外科学 13				
4限	心臓血管外科学 14				
5限	神経内科学各論 43	第1内科学各論 67			
6限	神経内科学各論 44				
7限					
8限					

令和７年度　時間割

４年次　後学期

１０／　１（水）～　１０／３１（金）

1限　8:50 ～ 9:40　5限　13:40 ～14:30　9限　17:40～18:30
2限　9:50 ～10:40　6限　14:40 ～15:30　10限　18:40～19:30
3限 10:50 ～11:40　7限　15:40 ～16:30
4限 11:50 ～12:40　8限　16:40 ～17:30

	月	火	水	木	金
			1日	2日	3日
1限					臨床診断学
2限				総合診療医学 31	
3限			臨床検査医学 23	臨床診断学	
4限					
5限					
6限					
7限					
8限					
	6日	7日	8日	9日	10日
1限	臨床診断学	臨床診断学	臨床診断学	臨床診断学	臨床診断学
2限					
3限					
4限					
5限					
6限					
7限					
8限					
	13日	14日	15日	16日	17日
1限	スポーツの日	臨床診断学	臨床診断学	臨床診断学	臨床診断学
2限					
3限					
4限					
5限					
6限					
7限					
8限					
	20日	21日	22日	23日	24日
1限	臨床診断学	臨床診断学	臨床診断学	臨床診断学	臨床診断学
2限					
3限					
4限					
5限					
6限					
7限					
8限					
	27日	28日	29日	30日	31日
1限	臨床診断学	臨床診断学	臨床診断学	臨床診断学	大学祭 準備日
2限					
3限					
4限					
5限					
6限					
7限					
8限					

令和７年度　時間割

４年次　後学期

１１／　３（月）～　１１／２８（金）

1限　8:50 ～ 9:40　　5限　13:40 ～14:30　　9限　17:40～18:30
2限　9:50 ～10:40　　6限　14:40 ～15:30　　10限　18:40～19:30
3限 10:50 ～11:40　　7限　15:40 ～16:30
4限 11:50 ～12:40　　8限　16:40 ～17:30

	月	火	水	木	金
1限					
2限					
3限					
4限					
5限					
6限					
7限					
8限					
	3日	4日	5日	6日	7日
1限	大学祭 文化の日	大学祭 後片付け	OSCE本試験	OSCE本試験	
2限					
3限					
4限					
5限					
6限					
7限					
8限					
	10日	11日	12日	13日	14日
1限					
2限					
3限					
4限					
5限					
6限					
7限					
8限					
	17日	18日	19日	20日	21日
1限		CBT 本試験	医学概論Ⅳ 1	遺伝子診断・治療学 1	総合型選抜入試 準備日
2限			医学概論Ⅳ 2	遺伝子診断・治療学 2	
3限			医学概論Ⅳ 3	遺伝子診断・治療学 3	
4限			医学概論Ⅳ 4	遺伝子診断・治療学 4	
5限			産業医学Ⅳ 1	産業医学Ⅳ 5	
6限			産業医学Ⅳ 2	産業医学Ⅳ 6	
7限			産業医学Ⅳ 3	産業医学Ⅳ 7	
8限			産業医学Ⅳ 4	産業医学Ⅳ 8	
	24日	25日	26日	27日	28日
1限	振替休日	医学概論Ⅳ 5	医学概論Ⅳ 9		産業医学Ⅳ 13
2限		医学概論Ⅳ 6	医学概論Ⅳ 10		産業医学Ⅳ 14
3限		医学概論Ⅳ 7	医学概論Ⅳ 11		産業医学Ⅳ 15
4限		医学概論Ⅳ 8	医学概論Ⅳ 12		産業医学Ⅳ 16
5限		産業医学Ⅳ 9	遺伝子診断・治療学 5		遺伝子診断・治療学 9
6限		産業医学Ⅳ 10	遺伝子診断・治療学 6		遺伝子診断・治療学 10
7限		産業医学Ⅳ 11	遺伝子診断・治療学 7		遺伝子診断・治療学 11
8限		産業医学Ⅳ 12	遺伝子診断・治療学 8		遺伝子診断・治療学 12

令和７年度　時間割

４年次　後学期

１２／　１（月）～　１２／２６（金）

1限　8:50 ～ 9:40　5限　13:40 ～14:30　9限　17:40～18:30
2限　9:50 ～10:40　6限　14:40 ～15:30　10限　18:40～19:30
3限 10:50 ～11:40　7限　15:40 ～16:30
4限 11:50 ～12:40　8限　16:40 ～17:30

	月	火	水	木	金
	1日	2日	3日	4日	5日
1限	医学概論Ⅳ 13	推薦入試 準備日	推薦入試	遺伝子診断・治療学 17	産業医学Ⅳ 21
2限	医学概論Ⅳ 14			遺伝子診断・治療学 18	産業医学Ⅳ 22
3限	医学概論Ⅳ 15			遺伝子診断・治療学 19	産業医学Ⅳ 23
4限	医学概論Ⅳ 16			遺伝子診断・治療学 20	産業医学Ⅳ 24
5限	遺伝子診断・治療学 13			産業医学Ⅳ 17	医のプロフェッショナリズム 1
6限	遺伝子診断・治療学 14			産業医学Ⅳ 18	医のプロフェッショナリズム 2
7限	遺伝子診断・治療学 15			産業医学Ⅳ 19	医のプロフェッショナリズム 3
8限	遺伝子診断・治療学 16			産業医学Ⅳ 20	医のプロフェッショナリズム 4
	8日	9日	10日	11日	12日
1限	医学概論Ⅳ 17	OSCE 追・再試験	医学概論Ⅳ 21	遺伝子診断・治療学 23	医のプロフェッショナリズム 15
2限	医学概論Ⅳ 18		医学概論Ⅳ 22	遺伝子診断・治療学 24	医のプロフェッショナリズム 16
3限	医学概論Ⅳ 19		医学概論Ⅳ 23	遺伝子診断・治療学 25	医のプロフェッショナリズム 17
4限	医学概論Ⅳ 20		医学概論Ⅳ 24		医のプロフェッショナリズム 18
5限	医のプロフェッショナリズム 5		遺伝子診断・治療学 21	医のプロフェッショナリズム 11	医のプロフェッショナリズム 19
6限	医のプロフェッショナリズム 6		遺伝子診断・治療学 22	医のプロフェッショナリズム 12	医のプロフェッショナリズム 20
7限	医のプロフェッショナリズム 7		医のプロフェッショナリズム 9	医のプロフェッショナリズム 13	医のプロフェッショナリズム 21
8限	医のプロフェッショナリズム 8		医のプロフェッショナリズム 10	医のプロフェッショナリズム 14	医のプロフェッショナリズム 22
	15日	16日	17日	18日	19日
1限	医学概論Ⅳ 25				CBT 追・再試験
2限	医学概論Ⅳ 26	遺伝子診断・治療学 26			
3限	医学概論Ⅳ 27	医のプロフェッショナリズム 25	医のプロフェッショナリズム 27		
4限	医学概論Ⅳ 28	医のプロフェッショナリズム 26	医のプロフェッショナリズム 28		
5限	医のプロフェッショナリズム 23	遺伝子診断・治療学 27	医のプロフェッショナリズム 29	遺伝子診断・治療学 30	
6限	医のプロフェッショナリズム 24	遺伝子診断・治療学 28	医のプロフェッショナリズム 30	医のプロフェッショナリズム 33	
7限		遺伝子診断・治療学 29	医のプロフェッショナリズム 31	医のプロフェッショナリズム 34	
8限			医のプロフェッショナリズム 32		
	22日	23日	24日	25日	26日
1限	医学概論Ⅳ 29			臨床実習 オリエンテーション	
2限	医学概論Ⅳ 30				
3限	医のプロフェッショナリズム 35				
4限	医のプロフェッショナリズム 36				
5限	医のプロフェッショナリズム 37				
6限	医のプロフェッショナリズム 38				
7限	医のプロフェッショナリズム 39				
8限	医のプロフェッショナリズム 40				
	29日	30日	31日		
1限					
2限					
3限					
4限					
5限					
6限					
7限					
8限					

※ 12/20(土)電子カルテシステム操作説明会

令和７年度　時間割

４年次　後学期

１　／　５（月）～　１　／３０（金）

1限　8:50 ～ 9:40　　5限　13:40 ～14:30　　9限　17:40～18:30
2限　9:50 ～10:40　　6限　14:40 ～15:30　　10限　18:40～19:30
3限 10:50 ～11:40　　7限　15:40 ～16:30
4限 11:50 ～12:40　　8限　16:40 ～17:30

	月	火	水	木	金
				1日	2日
1限				元日	
2限					
3限					
4限					
5限					
6限					
7限					
8限					
	5日	6日	7日	8日	9日
1限	臨床実習	臨床実習	臨床実習	臨床実習	臨床実習
2限					
3限					
4限					
5限					
6限					
7限					
8限					
	12日	13日	14日	15日	16日
1限	成人の日	臨床実習	臨床実習	臨床実習	臨床実習
2限					
3限					
4限					
5限					
6限					
7限					
8限					
	19日	20日	21日	22日	23日
1限	臨床実習	臨床実習	臨床実習	臨床実習	臨床実習
2限					
3限					
4限					
5限					
6限					
7限					
8限					
	26日	27日	28日	29日	30日
1限	臨床実習	臨床実習	臨床実習	臨床実習	臨床実習
2限					
3限					
4限					
5限					
6限					
7限					
8限					

令和７年度　時間割

４年次　後学期

２　／　２（月）～　２　／２７（金）

1限　8:50 ～ 9:40　5限　13:40 ～14:30　9限　17:40～18:30
2限　9:50 ～10:40　6限　14:40 ～15:30　10限　18:40～19:30
3限 10:50 ～11:40　7限　15:40 ～16:30
4限 11:50 ～12:40　8限　16:40 ～17:30

	月	火	水	木	金
	2日	3日	4日	5日	6日
1限	臨床実習	臨床実習	臨床実習	臨床実習	臨床実習
2限					
3限					
4限					
5限					
6限					
7限					
8限					
	9日	10日	11日	12日	13日
1限	臨床実習	臨床実習	建国記念の日	臨床実習	臨床実習
2限					
3限					
4限					
5限					
6限					
7限					
8限					
	16日	17日	18日	19日	20日
1限	臨床実習	臨床実習	臨床実習	臨床実習	臨床実習
2限					
3限					
4限					
5限					
6限					
7限					
8限					
	23日	24日	25日	26日	27日
1限	天皇誕生日	臨床実習	臨床実習	臨床実習	臨床実習
2限					
3限					
4限					
5限					
6限					
7限					
8限					

令和７年度　時間割

４年次　後学期

３　／　２（月）～　３　／１３（金）

1限　8:50 ～ 9:40　5限　13:40 ～14:30　9限　17:40～18:30
2限　9:50 ～10:40　6限　14:40 ～15:30　10限　18:40～19:30
3限　10:50 ～11:40　7限　15:40 ～16:30
4限　11:50 ～12:40　8限　16:40 ～17:30

	月	火	水	木	金
	2日	3日	4日	5日	6日
1限	臨床実習	卒業式	臨床実習	臨床実習	臨床実習
2限					
3限					
4限					
5限					
6限					
7限					
8限					
	9日	10日	11日	12日	13日
1限	臨床実習	臨床実習	臨床実習	臨床実習	臨床実習
2限					
3限					
4限					
5限					
6限					
7限					
8限					
	16日	17日	18日	19日	20日
1限					春分の日
2限					
3限					
4限					
5限					
6限					
7限					
8限					
	23日	24日	25日	26日	27日
1限					
2限					
3限					
4限					
5限					
6限					
7限					
8限					
	30日	31日			
1限					
2限					
3限					
4限					
5限					
6限					
7限					
8限					

医学概論Ⅳ
【Medical Humanities Ⅳ】

担当責任者 （医学部長）

ねらい

「医学とは、できる限り確かな医学知識（Science）と技術（Art）を用いて、病いにある人の自己回復力を全人的に援助する人間学（Humanity）である。」医学生の立場でこの意味を充分に理解・体得するために、次の方針に基づいた教育を行う。

1. 講義および体験学習を通じて、「医学とは何か」「人間とは何か」について理解を深めることにより、人間に対する豊かな感性と霊性を養う。
2. 医学概論教育を通じて本来の自分の生き方を再発見・探求することにより、専門職である医師となるための基本的な倫理観・態度を養う。
3. 産業医学マインドの原点である、①上医をめざす、②感謝されない医師、③哲学する医師の3つの基本的医師像に加え、④実感として共感する医師となれるよう、その基本的態度の体得に努める。

学修目標

1. 臨死患者と対話できるアプローチ方法やホスピス病棟の意義について説明することができる。（Ⅵ-1）
2. 患者の心理的プロセスや患者の意思決定能力について説明することができる。（Ⅳ-8）
3. 実践的な臨床現場における倫理問題を臨床倫理学的アプローチに基づいて論じることができる。（Ⅰ-1, Ⅰ-3）

事前事後学習の方法

1. シラバスに記載されている授業項目について、指定教科書や参考書などで事前に予習しておくこと。
2. 配布された講義プリントを熟読して講義内容の復習をすること。

成績評価方法・基準

1. 科目試験Ⅰ・Ⅱ（約85％）、講義レポート（約15％）の結果を基に総合的に判断する。
2. 100点満点換算で、A、B、C、D、Fの5段階評価とする。

○ 教 科 書

1. 藤野昭宏監訳 「病院倫理入門 － 医療専門職のための臨床倫理テキスト」 2011年 丸善出版
2. 赤林朗、蔵田伸雄、児玉聡訳 「臨床倫理学」 2006年 新興医学出版
3. 日本エンドオブライフケア学会監修 「エンドオブライフケア学」 2024年 日本看護協会出版会

○ 参 考 書

会田薫子編集 「ACPの考え方と実践」2024年 東京大学出版会
水野治太郎著 「ナラティブ・アプローチによるグリーフケアの理論と実際」 2017年 金子書房
白幡聡、藤野昭宏編 「小児医療のインフォームドコンセント」 2010年 医薬ジャーナル社
Albert R. Jonsen, Mark Siegler, William J. Winslade著 「Clinical Ethics」 2006年 McGraw-Hill Companies
福井次矢、浅井篤、大西基喜編 「臨床倫理学入門」 2003年 医学書院
チャールズ・ハインド編 「いかに深刻な診断を伝えるか」 2000年 人間と歴史社
E.キューブラー・ロス著 鈴木晶訳 「死ぬ瞬間」 完全新訳改訂版 2004年 読売新聞社
日野原重明著 「死をどう生きたか-心に残る人びと-」 1983年 中公新書
河合隼雄著 「生と死の接点」 1989年 岩波書店

講義：2205講義室

年月日	曜日	時限	授業項目（内容）	コアカリ項目				担当者
				第1層	第2層	第3層	第4層	
R7.11.19	水	1･2	エンドオブライフケア ＊講義レポート①	GE	03	06	01,03	石丸 知宏
11.19	水	3･4	死に至る心の過程 ＊講義レポート②	GE	03	06	02	石丸 知宏

講義:2205講義室

年月日	曜日	時限	授業項目(内容)	コアカリ項目				担当者
				第1層	第2層	第3層	第4層	
11.25	火	1・2	終末期患者とのコミュニケーション ＊講義レポート③	GE	03	06	02	石丸 知宏
11.25	火	3・4	小児の終末期 ＊講義レポート④	GE	03	06	04	荒木 俊介(学外)
11.26	水	1・2	アドバンス・ケア・プランニング ＊講義レポート⑤	GE	03	06	05	石丸 知宏
11.26	水	3・4	悲嘆のケア ＊講義レポート⑥	GE	03	06	06	石丸 知宏
12.1	月	1	科目試験Ⅰ(50分間)					石丸 知宏
12.1	月	2	臨床倫理学の基礎	PR	04	01	02	石丸 知宏
12.1	月	3・4	臨床倫理学の応用 ＊講義レポート⑦	PR	04	01	02	石丸 知宏
12.8	月	1・2	臨床倫理学の実践(成人) ＊講義レポート⑧	PR	04	01	03	石丸 知宏
12.8	月	3・4	臨床倫理学の実践(小児) ＊講義レポート⑨	PR	04	01	03	石丸 知宏
12.10	水	1・2	臨床倫理学 Case Study 実践演習① ＊講義レポート⑩	PR	04	01	03	石丸 知宏
12.10	水	3・4	臨床倫理学 Case Study 実践演習② ＊講義レポート⑪	PR	04	01	03	石丸 知宏
12.15	月	1・2	臨床倫理学 Case Study 実践演習③ ＊講義レポート⑫	PR	04	01	03	石丸 知宏
12.15	月	3・4	終末期医療の実際(特別講義) ＊講義レポート⑬	GE	03	06	03	下稲葉 順一(学外)
12.22	月	1・2	科目試験Ⅱ(100分間)					石丸 知宏

第1内科学各論

【Allergy, Immunology, Rheumatology, Infection, Endocrinology and Metabolism】

担当責任者 （医学部長）

ねらい

アレルギー性疾患、全身性自己免疫疾患（膠原病、リウマチ性疾患）、免疫不全症、感染症の病因と病態を十分に理解した上で、これらの疾患に関する正しい診断法、及び治療法を習得する。

殊に、発熱・全身倦怠感や関節痛などの全身症状や所見、全身の多臓器障害がもたらす症状と所見を、横断的、且つ多角的に習得することが要求される。また、病態形成に中心的な役割を担う分子を標的とした分子標的治療を論理的に理解する。

下垂体・甲状腺・副腎等のホルモン異常による内分泌疾患と糖尿病を中心とした代謝性疾患の病因、病態生理を十分に理解した上で、これらの疾患に関する正しい診断法及び治療法について習得することを目標とする。

さらに、症例からその病態と内分泌異常の関連、疾患の鑑別、診断法、治療法について学び、かつ具体的な診断のプロセスについて検討して内分泌代謝疾患の臨床を習得することを目標とする。

いずれの講義も、モデルコアカリキュラムのみならず医師国家試験出題基準にも照合した教育プログラムを立てている。

学修目標

1. 免疫監視機構の概念と、それらの異常・不均衡がもたらすアレルギー性疾患・自己免疫疾患・免疫不全症・感染症の病態機構を理解する。（Ⅱ-1, Ⅱ-5, Ⅱ-6, Ⅱ-10）
2. 各種病原体による感染の成立、感染予防、感染対策を列挙することができる。（Ⅱ-1, Ⅱ-5, Ⅱ-10）
3. アレルギー疾患・自己免疫疾患・免疫不全症・感染症の症状、理学的所見、検査法、診断法、鑑別診断を系統立てて列挙し習得する。（Ⅱ-5, Ⅱ-6, Ⅱ-10）
4. 感染症については、新型コロナウイルス感染症などを含むウイルス感染症の予防（ワクチン）、診断、検査、治療の基本、ワンヘルスの概念も習得する。（Ⅰ-1, Ⅰ-5, Ⅱ-5, Ⅱ-6）
5. これらの疾患群間に併発する病態、治療に用いる薬剤との相互作用、これらの疾患群がもたらす多臓器障害について系統的・多角的に理解する。（Ⅱ-5, Ⅱ-6, Ⅱ-10）
6. これらの疾患群、疾患群間に併発する病態の治療法を系統立てて列挙し理解する。（Ⅱ-5, Ⅱ-6, Ⅱ-10）
7. ホルモンの概念、生理作用、作用機構、その調節を理解し、ホルモン分泌、作用異常と病態との関連性について学ぶ。（Ⅱ-1, Ⅱ-5）
8. 内分泌疾患でない病態へのホルモンの関わりあいについて理解する。（Ⅱ-1, Ⅱ-5）
9. 症例から病態、疾患の鑑別、診断、治療についての思考方法について学ぶ。（Ⅱ-5, Ⅱ-6）

事前事後学習の方法

1. シラバスに記載されている授業項目について、参考書などで事前に予習しておくこと。
2. 配布された講義テキストを熟読して講義内容の復習をすること。

成績評価方法・基準

科目試験（100点満点換算）の結果を基に出席状況等を加味し、A、B、C、D、Fの5段階評価で総合的に判断する。

○教 科 書

Jamesonら編： Harrison's Principles of Internal Medicine 第21版 2022年 McGrow Hill出版

矢崎義雄編： 内科学 第12版 2022年 朝倉書店

○参 考 書

1. 日本リウマチ学会編： リウマチ病学テキスト改訂第3版 2022年 南江堂
2. 日本アレルギー学会編： アレルギー総合ガイドライン2022 2022年 協和企画
3. 谷田憲俊編： 感染症学 改訂第四版 2010年 診断と治療社
4. 日本糖尿病学会編： 糖尿病ガイド 2021～2022 文光堂
5. 寺本民生、片山茂裕 編集： 内分泌・代謝学 メディカルレビュー社
6. 成瀬光栄、高橋 裕、田上哲也、竹内靖博、田辺晶代 編集： 内分泌代謝疾患Clinical Question100 診断と治療社

講義:2205講義室

年月日	曜日	時限	授　業　項　目（内　容）	コアカリ項目				
				第1層	第2層	第3層	第4層	
R7.4.11	金	7・8	膠原病各論Ⅰ（全身性エリテマトーデス、抗リン脂質抗体症候群など:医師国試出題基準XI-2-A～B）	PS	03	02	01-05	中山田 真吾
4.14	月	7・8	感染症各論 Ⅰ（細菌感染症）・ワンヘルスの概念（XII-1-5）	PS	03	03	01-18	鈴木 克典
4.16	水	1・2	膠原病各論 Ⅲ（関節リウマチ:XI-2-R）	PS	03	02	01-05	中山田 真吾
4.23	水	1・2	甲状腺がん(X-2-H～K)	PS	02 03	14 04	01-05 18	鳥本 桂一
4.25	金	7・8	副腎皮質・ステロイドホルモン（X-3-A）	PS	02	14	01-05	肥川 健司
4.30	水	1・2	感染症各論 Ⅱ(ウイルス感染症)ウイルス感染対策 ・新型コロナウイルス感染対策（XII-1-5）	PS	03	03	01-18	鈴木 克典
5.7	水	1・2	感染症各論 Ⅲ(真菌感染症、性感染症、院内感染など)（XII-1-5）	PS	03	03	01-18	鈴木 克典
5.21	水	1・2	感染症各論 Ⅳ(寄生虫、プリオン、その他の病原体)（XII-2-5）	PS	01	03	13, 26	清水 少一
5.28	水	3・4	原発性・続発性免疫不全症（XI-3-A～O）	PS	01	03	27	齋藤 和義
6.11	水	3・4	糖尿病:病因、病態生理(VI-10-G)	PS	02	14	01-05	隅川 舞子
6.18	水	3・4	アレルギー性疾患各論（全身性アレルギー、食物アレルギー、アナフィラキシー）(XI-1-A-C)	PS	03	02	01-05	園本 格士朗
6.26	木	7・8	糖尿病:UP DATE(X-5-A)	PS	02	14	01-05	西田 啓子
7.1	火	7・8	糖尿病:慢性合併症（VI-10-G）	PS	02	14	01-05	隅川 舞子
7.2	水	1・2	甲状腺中毒症（X-2-A）	PS	02	14	01-05	鳥本 桂一
7.8	火	5・6	膠原病各論 Ⅳ(全身性血管炎、Behçet 病、Kawasaki 病（急性熱性皮膚粘膜リンパ節症候群）:XI-2-G～P)	PS	03	02	01-05	宮川 一平
7.9	水	1・2	ナトリウム代謝異常（X-3-D, E）	PS	02	14	01-05	鳥本 桂一
7.15	火	5・6	膠原病各論Ⅴ（悪性関節リウマチ、脊椎関節炎等のリウマチ類縁疾患、成人スチル病、IgG4関連疾患など:XI-2-S～AC）	PS	03	02	01-05	宮川 一平
7.16	水	3・4	アレルギー性疾患各論（呼吸器アレルギー、皮膚・粘膜アレルギー）(XI-1-A-C)	PS	03	02	01-05	園本 格士朗
7.23	水	5・6	副腎皮質（X-3-B, C）	PS	02	14	01-05	肥川 健司
7.28	月	7・8	副腎髄質・MEN（X-3-H, J, 4-C）	PS	02	14	01-05	肥川 健司
7.29	火	1・2	下垂体疾患（X-1-E～I）	PS	02	14	01-05	田中 健一
7.30	水	7・8	糖尿病:治療(X-5-A)	PS	02	14	01-05	隅川 舞子
7.31	木	7・8	糖尿病性昏睡の実際(X-5-B, C)	PS	02	14	01-05	隅川 舞子
9.3	水	7・8	メタボリックシンドローム・肥満（VI-10-A）	PS	02	14	01-05	肥川 健司
9.4	木	7・8	性腺・性分化異常(X-3-F, G, 4-A, B)	PS	02	14	01-05	柳瀬 敏彦(学外)
9.9	火	7・8	糖尿病性昏睡（X-6-A～C, E）	PS	02	14	01-05	隅川 舞子
9.10	水	5・6	低血糖(X-5-E)	PS	02	14	01-05	肥川 健司
9.12	金	7・8	カルシウム代謝異常（X-2-L）	PS	02	14	01-05	田中 健一
9.16	火	5・6	痛風・その他代謝疾患(X-6)	PS	02	14	01-05	肥川 健司
9.17	水	5・6	カリウム代謝異常（X-2-B, C）	PS	02	14	01-05	隅川 舞子
9.19	金	7・8	骨粗鬆症(X-6-AA)	PS	02	14	01-05	田中 健一
9.22	月	7・8	グルココルチコイド過剰症（X-3-A）	PS	02	14	01-05	肥川 健司
9.24	水	5・6	膠原病各論 Ⅱ（強皮症、皮膚筋炎、多発性筋炎、混合性結合組織病、Sjogren症候群など:XI-2-C～F）	PS	03	02	01-05	久保 智史
9.30	火	5	科目試験					

第2内科学各論
【 Cardiology & Nephrology 】

担当責任者　　教授（第2内科学）　片岡　雅晴

ねらい

3年次、4年次を通して主要循環器疾患・腎疾患の病因、病態生理、それらの診断に必要な検査法を理解し、適切に診断を下せ、さらに適切な治療法を選択できるようになることを目標とする。

4年次では、主要循環器疾患の病因、病態を理解し、診断に必要な検査および適切な治療を選択できるようになるために、引き続き循環器疾患全般および各疾患について学習する。また、病歴・現症・検査所見から腎疾患の適切な診断と治療法を選択できるようになるために、主な腎疾患の病因・病態生理・診断法および治療を理解する。

学修目標

1．主要な循環器疾患・腎疾患の病因、病態生理、鑑別すべき疾患を挙げることができる。（Ⅱ-5,Ⅱ-6）
2．基本的な診察法を述べることができる。（Ⅱ-6,Ⅳ-2）
3．主要な検査法の適応と、その数値の意義を列挙することができる。（Ⅱ-6）
4．主要な循環器疾患・腎疾患の治療の基本について説明できる。（Ⅱ-5,Ⅱ-6）

事前事後学習の方法

1．シラバスに記載されている授業項目について、教科書、参考書などで事前に予習しておくこと。
2．配布された講義テキストを熟読して講義内容の復習をすること。

成績評価方法・基準

1．講義への2/3以上の出席で受験資格を得る。
2．理解度チェックの為の小テストの結果を考慮して総合的に判断する。

○ 教 科 書

矢崎義雄総編集「内科学」（朝倉書店）
イヤーノート2024　内科・外科編　メディックメディア
南学正臣編「内科学書」（中山書店）
Comprehensive Clinical Nephrology, 6th Edition, Elsevier

○ 参 考 書

Braunwald、「Heart Disease」（Saunders）
Harrison’s Principles of Internal Medicine（McGraw-Hill, Inc）
Kirklin「Cardiac Surgery」（Churchill Livingstone NY）
ガイトン生理学、エルゼビア・ジャパン
病気がみえる vol.2　循環器 第5版　メディックメディア
病気がみえる vol.8　腎・泌尿器 第3版　メディックメディア

講義:2205講義室

年月日	曜日	時限	授業項目（内容）	コアカリ項目				担当者
				第1層	第2層	第3層	第4層	
R7.4.2	水	1･2	ネフローゼ症候群	PS	02	09	05	中園 和利
4.3	木	1･2	心臓カテーテル法	PS	02	06	03	仲 悠太郎
4.7	月	1.2	尿細管･間質性疾患	PS	02	09	05	宮本 哲
4.10	木	1･2	心臓画像診断(CT、シンチ、MRI)	PS	02	06	03	仲 悠太郎
4.14	月	1･2	原発性糸球体腎炎(総論)	PS	02	09	05	中園 和利
4.16	水	3･4	原発性糸球体腎炎(各論Ⅰ)	PS	02	09	05	中園 和利
4.21	月	1･2	脂質異常症	PS	02	06	05	太﨑 博美(学外)
4.24	木	1･2	心電図診断(5)：不整脈(2)	PS	02	06	03	林 克英
4.30	水	3･4	原発性糸球体腎炎(各論Ⅱ)	PS	02	09	05	長谷川 恵美
5.2	金	7･8	先天性心疾患	PS	02	06	05	岩瀧 麻衣
5.8	木	1･2	心不全の病態と診断	PS	02	06	05	尾上 武志
5.9	金	7･8	二次性糸球体腎炎(Ⅰ)	PS	02	09	05	宮本 哲
5.16	金	7･8	高血圧	PS	02	06	05	吉田 哲郎(学外)
5.21	水	3･4	虚血性心疾患(1)	PS	02	06	05	岡部 宏樹
5.26	月	1･2	肺循環(肺高血圧) 心臓腫瘍	PS	02	06	05	片岡 雅晴
5.28	水	1･2	二次性糸球体腎炎(Ⅱ)	PS	02	09	05	宮本 哲
6.4	水	3･4	大動脈･末梢血管疾患	PS	02	06	05	古賀 純一郎
6.6	金	3･4	弁膜疾患 (閉鎖不全症)	PS	02	06	05	尾上 武志
6.11	水	1･2	弁膜疾患 (狭窄症)	PS	02	06	05	永田 泰史
6.18	水	1･2	虚血性心疾患(2)	PS	02	06	05	岡部 宏樹
6.20	金	7･8	心不全の治療	PS	02	06	04	尾上 武志
6.25	水	3･4	心筋疾患	PS	02	06	05	岩瀧 麻衣
7.2	水	3･4	心膜疾患	PS	02	06	05	岩瀧 麻衣
7.4	金	7･8	急性腎不全	PS	02	09	05	眞田 賢哉
7.7	月	5･6	国試問題 〈循環器 小テスト〉	PS	02	06	05	瀬戸山 航史
7.15	火	1･2	慢性腎不全	PS	02	09	05	眞田 賢哉
7.23	水	3･4	透析療法(Ⅰ)	PS	02	09	04	長谷川 恵美
7.30	水	3･4	透析療法(Ⅱ) 〈腎 小テスト〉	PS	02	09	04	長谷川 恵美

第3内科学各論

【Third Department of Internal medicine 】

担当責任者 教授(第3内科学) 原田 大

ねらい

消化管・腹膜および肝・胆・膵疾患の病態生理を理解するとともに、鑑別すべき疾患を考慮しながら適切に診断し、最適な治療法を選択できることを目標とする。

学修目標

1. 主要な消化管・腹膜および肝・胆・膵疾患の病因、病態生理、鑑別すべき疾患を挙げることができる。(Ⅱ-5, Ⅱ-6)
2. 基本的な診療法を述べることができる。(Ⅳ-2)
3. 主要な検査法の適応と、その意義を列挙することができる。(Ⅱ-6)
4. 主要な治療法の基本について説明できる。(Ⅱ-6)

事前事後学習の方法

1. 教科書で予習をして疑問点をあげておくこと。
2. 配布された講義資料をもとに復習をすること。

成績評価方法・基準

科目試験の結果を基に、出席状況を加味し総合的に判断する。

○ 教 科 書

矢崎義雄編 「内科学」第12版 2022年 朝倉書店

○ 参 考 書

福井次矢、黒川清 監修「ハリソン内科学」第5版〈全2巻〉 2017年 メディカル・サイエンス・インターナショナル

講義:2205講義室

年月日	曜日	時限	授業項目(内容)	コアカリ項目				担当者
				第1層	第2層	第3層	第4層	
R7.4.2	水	7･8	食道疾患	PS	02	08	05	石原 光
4.9	水	7･8	消化管ポリポーシス	PS	02 03	08 04	05 03,05,14	渡邊 龍之
4.16	水	7･8	胃癌	PS	03	04	14	久米井 伸介
4.23	水	7･8	炎症性腸疾患	PS	02	08	04,05	久米 恵一郎
4.30	水	7･8	大腸癌	PS	03	04	14	熊元 啓一郎
5.14	水	7･8	その他の腸の炎症性疾患･胃食道静脈瘤	PS	02	08	04,05	久米 恵一郎
5.21	水	7･8	脂肪肝、その他の肝疾患	PS	02	08	02-05	成田 竜一(学外)
5.28	水	7･8	自己免疫性肝疾患、代謝性肝疾患	PS	02	08	05	原田 大
6.4	水	7･8	胆嚢、胆道系疾患	PS	02	08	05	中村 早人
6.13	金	7･8	小腸･腹膜疾患	PS	02	08	05	久米井 伸介
6.18	水	7･8	膵癌	PS	03	04	14	大江 晋司
6.27	金	7･8	膵神経内分泌腫瘍、その他の膵疾患	PS	02 03	04 04	04-06,08 14	宮川 恒一郎
7.3	木	7･8	肝不全、肝硬変、門脈亢進症	PS	02	08	05	本間 雄一
7.10	木	7･8	肝腫瘍(肝細胞癌以外)、肝膿瘍	PS	03 02	04 08	02-08, 14,25 02-05	阿部 慎太郎
7.18	金	7･8	科目試験(消化管)					試験担当
7.25	金	7･8	科目試験(肝胆膵)					試験担当

呼吸器内科学各論
【Respirology Ⅱ】

担当責任者　教授（呼吸器内科学）　矢寺　和博

ねらい

呼吸器系は常に外界と接し、環境や職業、生活習慣の影響を受けやすい臓器である。

1．呼吸器系の解剖と生理、防御機能を正しく理解し、疾病の発生機序を学ぶ。

2．呼吸器疾患の特徴と病態を理解し、診断法を身につける。

3．呼吸器疾患の特徴に応じた治療と予防の体系を習得する。

4．呼吸不全の原因と病態を理解し、呼吸管理について学ぶ。

学修目標

1．基本的な診察法が実施できる。(Ⅳ-1, Ⅳ-2, Ⅳ-3, Ⅵ-1, Ⅵ-2)

2．主要な呼吸器疾患の病因、病態、生理、鑑別すべき疾患を挙げることができる。(Ⅱ-1, Ⅱ-5, Ⅱ-6, Ⅱ-7)

3．主要な検査法の原理、方法、適応を理解し、所見の解釈ができる。(Ⅱ-1, Ⅱ-5, Ⅱ-6)

4．主要な呼吸器疾患の予防と治療法の基本について説明できる。(Ⅱ-6, Ⅲ-1)

事前事後学習の方法

1．シラバスに記載されている授業項目について、下記の教科書、参考書などで事前に予習しておくこと。

2．配布された講義資料を熟読して講義内容の復習をすること。

成績評価方法・基準

1．理解度チェックのための小テスト・復習テスト(約8割)、受講態度・参加状況（約2割）の結果を基に総合的に判断する。

2．100点満点換算で、A、B、C、D、Fの5段階評価とする。

○ 教 科 書

矢崎義男、他編 「内科学」 第12版　2022年　朝倉書店

南学正臣、他編 「内科学書」 第9版　2019年　中山書店

○ 参 考 書

河野茂、他編　レジデントのための呼吸器診療マニュアル 第2版　2014年　医学書院

講義:2205講義室

年月日	曜日	時限	授業項目(内容)	コアカリ項目				担当者
				第1層	第2層	第3層	第4層	
R7.5.12	月	1・2	呼吸器感染症(1) 新型コロナウイルス等感染対応	PS	02	07	05	根本 一樹
5.19	月	1・2	呼吸器感染症(2) 新型コロナウイルス等感染対応	PS PS GE	02 03 01	07 04 06	05 13,26 02	西田 千夏
5.26	月	3・4	アレルギー・免疫関連呼吸器疾患	PS	02	07	05	田原 正浩
6.2	月	1・2	COPD・嚢胞性肺疾患・禁煙指導	PS	02	07	05	森本 俊規
6.9	月	1・2	肺結核と非結核性抗酸菌症	PS	02	07	05	廣瀬 宣之(学外)
6.16	月	1・2	肺癌の診断・治療	PS	02	07	05	浦本 秀隆(学外)
6.23	月	1	小テスト					池上 博昭
6.23	月	2	びまん性肺疾患(1)	PS	02 03	07 04	05 13,22-25	池上 博昭
6.30	月	1・2	肺癌と緩和ケア	GE	01	06	01	白石 朝子
7.9	水	5・6	慢性呼吸不全・睡眠時無呼吸	PS	02	07	05	津田 徹(学外)
7.11	金	7・8	びまん性肺疾患(2)	PS	02	07	05	先成 このみ
7.14	月	1・2	呼吸器感染症(3) 新型コロナウイルス等感染対応	PS	02	07	05	平賀 紗喜
7.16	水	5・6	びまん性肺疾患(3)	PS	02	07	05	丈達 陽順
7.28	月	1	胸膜疾患・縦隔疾患・胸膜中皮腫	PS	02	07	05	赤田 憲太朗
7.28	月	2	復習テスト					赤田 憲太朗

神経内科学各論
【Neurology】

担当責任者 教授（神経内科学） 足立 弘明

ねらい

神経系の正常構造と機能を理解し、大脳・小脳・脊髄などの神経系の特性を認識し、神経内科学にはどのような病態、疾患があるかを習得する。脳神経疾患の診断や病態の理解には神経解剖、神経生理、神経病理、神経化学・薬理学などの知識が不可欠であり、これらの特性を知ることにより脳・脊髄の局在機能や神経症候の理解が深まる。

4年次は主として各論の講義をするので、脳・神経疾患の原因、病態、症候と診断・治療を説明できるように学ぶ。

学修目標

1. 脳・脊髄と頭蓋・脊椎の解剖を復習し、脳血管の走行・支配領域、及び髄液腔との関係を理解し、特に大脳基底核、脳幹、脊髄部では横断面の解剖を図示できる。（Ⅱ-1）
2. 脳・脊髄の局在機能を理解し、主要神経症候と神経解剖学的病変部位を説明できる。（Ⅱ-5）
3. 基本的な神経学的診察法を述べることができる。（Ⅱ-6）
4. 主要な脳・神経疾患の病因、病態生理、鑑別すべき疾患を列挙することができる。（Ⅱ-1，Ⅱ-5）
5. 主要な脳・神経疾患に対する検査の適応・禁忌と、その意義を述べることができる。（Ⅱ-6，Ⅱ-9）
6. 主要な脳・神経疾患に対する治療の基本について説明できる。（Ⅱ-6）
7. 外科治療の対象となる疾患（腫瘍、血管障害、外傷、先天奇形、感染症、機能的疾患）の病態に基底核、脳幹、脊髄部がどのように関与しているのかを各々の横断面の解剖で図示できる。（Ⅱ-1，Ⅱ-5）
8. 心身症の診断・治療法を説明できる。（Ⅱ-1，Ⅱ-5）

事前事後学習の方法

1. シラバスに記載されている授業項目について、事前に参考書・指定教科書等を利用して事前に予習をすること。
2. 授業中に配布された講義テキスト等を熟読して講義内容を復習すること。

成績評価方法・基準

1. 下記のごとく講義終了時に、講義内容の理解度チェックのための小テストを行う。
   理解度チェックのための小テストを行い、復習テスト（9割）、小テスト（1割）の結果を基に総合的に判断する。
2. 100点満点換算で、A，B，C，D，Fの5段階評価とする。

○教 科 書

日本心療内科学会編 「心療内科学：診断から治療まで」（朝倉書店）
矢崎義雄総編集 「内科学」（朝倉書店）
水野美邦編 「神経内科ハンドブック 第5版: 鑑別診断と治療」（医学書院）
平山惠造監修 「臨床神経内科学」（南山堂）
神田隆著 「医学生・研修医のための神経内科学」（中外医学社）

○参 考 書

福武敏夫著 「神経症状の診かた・考えかた」（医学書院）
田崎義昭・斎藤佳雄著 「ベッドサイドの神経の診かた」（南山堂）
鈴木則宏編「神経診察クローズアップ：正しい病巣診断のコツ」（メジカルビュー社）
L.P.Rowland「Merritt's Textbook of Neurology」（Williams & Willkins）

講義:2205講義室

年月日	曜日	時限	授業項目（内容）	コアカリ項目				担当者
				第1層	第2層	第3層	第4層	
R7.4.1	火	1	錐体外路系疾患(1) 小テスト	PS	02	03	03,04	橋本 智代
4.1	火	2	錐体外路系疾患(2) 小テスト	PS	02	03	03,04	橋本 智代
4.3	木	3	運動ニューロン疾患(1) 小テスト	PS	02	03	03,04	足立 弘明
4.3	木	4	運動ニューロン疾患(2) 小テスト	PS	02	03	03,04	足立 弘明
4.8	火	1	免疫性神経疾患(1) 小テスト	PS	02	03	03,04	岡田 和将
4.8	火	2	免疫性神経疾患(2) 小テスト	PS	02	03	03,04	岡田 和将
4.10	木	3	末梢神経の病気(1) 小テスト	PS	02	03	03,04	神田 隆(学外)
4.10	木	4	末梢神経の病気(2) 小テスト	PS	02	03	03,04	神田 隆(学外)
4.15	火	1	頭痛、めまい(1) 小テスト	PS	02	03	03,04	大成 圭子
4.15	火	2	頭痛、めまい(2) 小テスト	PS	02	03	03,04	大成 圭子
4.17	木	3	心身医学各論(1) 小テスト	PS	02	17	03,04	須藤 信行(学外)
4.17	木	4	心身医学各論(2) 小テスト	PS	02	17	03,04	須藤 信行(学外)
4.22	火	1	高次脳機能障害(1) 小テスト	PS	02	03	03,04	岩中 行己男
4.22	火	2	高次脳機能障害(2) 小テスト	PS	02	03	03,04	岩中 行己男
4.24	木	3	てんかん(1) 小テスト	PS	02	03	03,04	豊田 知子(学外)
4.24	木	4	てんかん(2) 小テスト	PS	02	03	03,04	豊田 知子(学外)
5.1	木	3	医学生に必要な認知症の基礎知識(1) 小テスト	PS	02	03	03,04	鷲見 幸彦(学外)
5.1	木	4	医学生に必要な認知症の基礎知識(2) 小テスト	PS	02	03	03,04	鷲見 幸彦(学外)
5.8	木	3	不随意運動(1) 小テスト	PS	02	03	03,04	豊田 知子(学外)
5.8	木	4	不随意運動(2) 小テスト	PS	02	03	03,04	豊田 知子(学外)
5.13	火	1	脊髄小脳変性症(1) 小テスト	PS	02	03	03,04	岡田 和将
5.13	火	2	脊髄小脳変性症(2) 小テスト	PS	02	03	03,04	岡田 和将
5.20	火	1	栄養障害・中毒による神経疾患(1) 小テスト	PS	02	03	03,04	大成 圭子
5.20	火	2	栄養障害・中毒による神経疾患(2) 小テスト	PS	02	03	03,04	大成 圭子
5.27	火	1	先天性および代謝性疾患(1) 小テスト	PS	02	03	03,04	岩中 行己男
5.27	火	2	先天性および代謝性疾患(2) 小テスト	PS	02	03	03,04	岩中 行己男
6.5	木	1	神経感染性疾患(1) 小テスト	PS	02	03	03,04	足立 弘明
6.5	木	2	神経感染性疾患(2) 小テスト	PS	02	03	03,04	足立 弘明
6.12	木	1	中枢性脱髄性疾患(1) 小テスト	PS	02	03	03,04	岡田 和将
6.12	木	2	中枢性脱髄性疾患 (2) 小テスト	PS	02	03	03,04	岡田 和将
6.19	木	1	筋疾患の臨床と病理(1) 小テスト	PS	02	03	03,04	足立 弘明
6.19	木	2	筋疾患の臨床と病理(2) 小テスト	PS	02	03	03,04	足立 弘明
6.26	木	1	内科疾患に伴う神経障害(1) 小テスト	PS	02	03	03,04	橋本 智代
6.26	木	2	内科疾患に伴う神経障害(2) 小テスト	PS	02	03	03,04	橋本 智代
7.1	火	1	神経筋接合部疾患・筋緊張症候群(1) 小テスト	PS	02	03	03,04	大成 圭子
7.1	火	2	神経筋接合部疾患・筋緊張症候群(2) 小テスト	PS	02	03	03,04	大成 圭子
7.8	火	1	脳・脊髄血管障害(1) 小テスト	PS	02	03	03,04	岩中 行己男
7.8	火	2	脳・脊髄血管障害(2) 小テスト	PS	02	03	03,04	岩中 行己男
7.15	火	3	心身症(1) 小テスト	PS	02	17	03,04	林田 草太(学外)
7.15	火	4	心身症(2) 小テスト	PS	02	17	03,04	林田 草太(学外)
9.9	火	1	中枢神経疾患の病理(1) 小テスト	PS	02	03	03,04	橋本 智代
9.9	火	2	中枢神経疾患の病理(2) 小テスト	PS	02	03	03,04	橋本 智代
9.29	月	5・6	テスト					足立 弘明

精神医学各論
【Psychiatry】

担当責任者　教授（精神医学）　吉村　玲児

ねらい

精神医学は、人間の精神現象とその病態を取り扱う医学である。すなわち精神障害の病因、診断、治療、予防を研究する学問であり、さらには社会との関連において精神現象を追及する学問でもある。特に最近の社会構造の変化に伴ってメンタルヘルス対策は重要な課題となってきており、産業医にとってその知識の習得と技能の研鑽は必要不可欠である。
また基礎的な精神医学の知識は臨床のどの科に従事するにしても欠くことはできない。
講義は産業医を含む一般医にとって実地に必要な精神医学的知識の他、下記の点を目標にする。

1．人間の精神現象、行動について、医学的に把握するために必要な知識、技術、態度を認識する。
2．性格、知能、感情、思考などを含む心理の正常と異常を理解する。
3．各種精神疾患の基盤となる分子病態生理および治療法の概要を理解する。

学修目標

1．精神医学の成り立ちを説明できる。（Ⅱ-12）
2．精神科の専門用語の意味を説明することができる。（Ⅱ-1，Ⅱ-4，Ⅱ-5）
3．器質性精神疾患、内因性精神疾患、心因性精神疾患についての基礎知識をもち、それぞれに属する疾患の種類とその症状を理解し、検査・診断の流れを述べることができる。（Ⅱ-4，Ⅱ-5，Ⅱ-6）
4．精神科における治療（精神療法・生物学的治療）がどのようなものか知っており、各疾患にどのように用いられるかを述べることができる。そして、治療の作用機転・経過・副作用についても概略を述べることができる。（Ⅱ-6）
5．小児思春期および老年期の精神疾患についても基礎的な知識を述べることができる。（Ⅱ-3，Ⅱ-4，Ⅱ-5，Ⅱ-6）
6．社会精神医学、精神保健福祉法についても主要な知識を述べることができる。（Ⅱ-11，Ⅱ-12）
7．産業保健活動への理解を深め、主な精神疾患に対する産業医としての対応について述べることができる。（Ⅲ-1，Ⅲ-2，Ⅲ-4）
8．精神科チーム医療を理解する。（Ⅵ-3）

事前事後学習の方法

1．下記教科書を用い、該当する範囲を事前に予習しておくこと。
2．講義で不明な点があれば講義後であっても随時質問は受け付ける。
3．授業中に実施される小テストのフィードバックとしてeラーニングを活用する。

成績評価方法・基準

1．理解度チェックのための小テストの結果を基に、出席状況を加味し、総合的に判断する。
2．100点満点換算で、A、B、C、D、Fの5段階評価とする。

○ 教 科 書

TEXT精神医学　改定4版（南山堂）

○ 参 考 書

澤明監訳、阿部浩史訳「DSM-5を使いこなすための臨床精神医学テキスト」2015年（医学書院）

4年次

講義:2205講義室

年月日	曜日	時限	授業項目（内容）	コアカリ項目				担当者
				第1層	第2層	第3層	第4層	
R7.5.12	月	5	精神医学入門 小テスト	PS	02	17	02	利田 征允
5.12	月	6	統合失調症 小テスト	PS	02	17	05	小澤 尚史
5.19	月	5･6	精神医学症候学 小テスト	PS	02	17	01-03	小西 勇輝
5.22	木	1･2	重度ストレス反応および適応障害	PS	02	17	05	丸岡 隆之 （学外）
5.30	金	5	気分障害Ⅰ(うつ病) 小テスト	PS	02	17	05	吉村 玲児
5.30	金	6	気分障害Ⅱ(双極性障害･その他の気分障害) 小テスト	PS	02	17	05	吉村 玲児
6.5	木	3	不安障害/強迫性障害 小テスト	PS	02	17	05	新開 隆弘
6.5	木	4	パーソナリティ障害 小テスト	PS	02	17	05	新開 隆弘
6.13	金	5･6	心身医学総論･診断 小テスト	GE	01	03	02	兒玉 直樹 (脳神経内科･診療内科)
6.19	木	3･4	器質性精神障害･症状性精神障害	CS	02	02	01-03	江頭 一輝 （学外）
7.3	木	1	児童思春期精神医学 小テスト	GE GE	03 03	02 04	02-03 02-04	飯野 千妃呂 (緩和ケア･血液腫瘍科)
7.3	木	2	アルコール関連疾患と薬物依存症 小テスト	PS	02	17	02-05	右田 香奈枝
7.7	月	1･2	心身症の治療 小テスト	PS	02	17	01-05	高橋 昌稔 (脳神経内科･診療内科)
7.7	月	7･8	器質性精神障害(認知症)	GE PS	03 02	05 17	01-03 05	小林 良太 （学外）
7.14	月	7･8	認知行動療法	PS	02	17	04	中尾 智博 （学外）
7.28	月	5･6	心理検査･精神症状評価尺度	PS	02	17	03	行正 徹 （学外）
9.1	月	5	老年精神医学 小テスト	GE PS	03 02	05 17	01-03 05	池ノ内 篤子 (認知症センター)
9.1	月	6	食行動障害および摂食障害群 小テスト	PS	02	17	05	橋口 賢一 (認知症センター)
9.5	金	3･4	司法精神医学･精神保健福祉法	SO	01	03	04	小嶋 秀幹 （学外）
9.9	火	3	緩和ケア 小テスト	GE	01	06	01,02, 05	藤井 有沙 (緩和ケアセンター)
9.9	火	4	リエゾン精神医学 小テスト	IP IP	01 01	02 03	01 01-02	藤井 有沙 (緩和ケアセンター)
9.12	金	3	精神薬理学Ⅰ(抗精神病薬･抗うつ薬) 小テスト	PS CS	02 02	17 04	04 04	森山 陽介
9.12	金	4	精神薬理学Ⅱ(気分安定薬･抗不安薬･睡眠薬) 小テスト	PS CS	02 02	17 04	04 04	森山 陽介
9.16	火	7･8	睡眠･覚醒障害	PS	02	17	05	内村 直尚 （学外）
9.22	月	5	精神科に関わる社会資源 小テスト	SO SO	01 01	02 03	03 04	北川 奨悟
9.22	月	6	電気けいれん療法 小テスト	PS	02	17	04	北川 奨悟

小児科学Ⅱ
【Pediatrics Ⅱ】

担当責任者　教授(小児科学) 深野 玲司

ねらい

1 小児の成長発達段階での生理学的特徴を習得し、理解する。

2 主要な小児科疾患の病態生理を理解する。

3 小児保健および小児診療に必要な理論と実践の基礎を習得する。

学修目標

1 小児の成長発達について説明できる。(Ⅱ-5)

2 主要な小児疾患について系統的に、また基礎医学、社会医学や他の臨床医学と関連づけて説明できる。(Ⅱ-5, Ⅱ-6)

3 基本的な診察法を述べることができる。(Ⅱ-6)

事前事後学習の方法

1 シラバスに記載されている授業項目について、参考書などで事前に予習しておくこと。

2 配布された講義テキストを熟読して講義内容の復習をすること。

成績評価方法・基準

筆記試験(約8割)及び理解度チェックのための小テスト(約2割)の結果を基に、出席状況を加味し、総合的に判断する。

○ 教 科 書

標準小児科学(内山 聖 監修、第8版 2013年 医学書院)

○ 参 考 書

小児科学(五十嵐 隆 編集、第10版 2011年 文光堂)

新生児学入門(仁志田 博司 著、第5版 2018年 医学書院)

ネルソン小児科学(衞藤 義勝 監修、原著 第19版 2015年 エルゼビア・ジャパン)

標準小児外科学(高松 英夫・福澤 正洋 監修、第7版 2017年 医学書院)

講義：2205講義室

年月日	曜日	時限	授業項目(内容)	コアカリ項目				担当者
				第1層	第2層	第3層	第4層	
R7.4.4	金	1・2	免疫学 小テスト	PS GE	02 03	01 02	01 05	伊藤 琢磨
4.7	月	3・4	新生児学(3)	PS GE	02 03	01 03	01 01,02	田中 健太郎
4.11	金	3・4	膠原病・川崎病 小テスト	PS	02 03	01 02	01 01-05	伊藤 琢磨
4.14	月	3・4	新生児学(4) 小テスト	PS GE	02 03	01 03	01 01,02	田中 健太郎
4.18	金	3・4	神経学(2)	GE PS PS PS	03 02 02 02	02 01 05 12	02 01 01-05 01	柴原 淳平

講義：2205講義室

年月日	曜日	時限	授業項目（内容）	コアカリ項目				担当者
				第1層	第2層	第3層	第4層	
4.21	月	3・4	呼吸器学 小テスト	PS	02	01 07	01 01-05	伊藤 琢磨
5.2	金	1・2	肝臓学 小テスト	PS	02	01 08	01 01-05	桑村 真美
5.9	金	1・2	アレルギー学 小テスト	PS	02 03	01 02	01 01-05	川村 卓
5.12	月	3・4	神経学(1) 小テスト	PS	02	01 03 12	01 01-05 01	五十嵐 亮太
5.16	金	1・2	先天代謝異常症	PS	02	12	01-04	井原 健二(学外)
5.19	月	3・4	内分泌学(2) 小テスト	PS	02	01 14	01 01-05	齋藤 玲子
5.29	木	3・4	神経学(3) 小テスト	PS	02	03 12	01-05 01	米田 哲
5.30	金	3・4	感染症(2) 小テスト	PS PS GE	02 02 03	01 11 02	01 05 05	多久 佳祐
6.2	月	3・4	試験					
6.9	月	3・4	循環器系の成長発達:血行動態	PS	02	01 06	01 01	宗内 淳(学外)
6.12	木	7・8	小児の循環器疾患:各論 小テスト	PS	02	01 06	01 02-05	清水 大輔
6.16	月	3・4	腎臓学(2)	PS	02	01 08	01 01-05	平川 潤
6.23	月	3	栄養・代謝学	GE PS PS PS	03 01 02 02	02 04 01 14	03,04 07,11,12 01 06	齋藤 玲子
6.23	月	4	小児保健医学	GE	03	06	04	水城 和義
6.26	木	3・4	小児外科(1)	PS	02	01 08	01 01-05	江角 元史郎(小児外科)
6.30	月	3・4	循環器系の成長発達:形態	PS	02	01 06	01 01	宗内 淳(学外)
7.3	木	3・4	小児外科(2)	PS	02	01 08	01 01-05	江角 元史郎(小児外科)
7.10	木	3・4	感染症(4)・予防医学・感染症対策	GE PS PS	03 02 03	02 12 03	05 03 16,18	米田 哲
7.14	月	3・4	腫瘍学(2) 小テスト	PS	02 03	01 04	01 02,04-08	本田 裕子
7.17	木	3・4	小児外科(3) 小テスト	PS	02	01 08	01 01-05	江角 元史郎(小児外科)
7.18	金	3・4	感染症(3)	GE PS PS	03 02 03	02 01 03	05 01 13-16	小川 将人
7.24	木	3・4	血液学(2) 小テスト	PS	02	02	01-05	白山 理恵
7.29	火	3・4	試験					

第1外科学各論
【General Surgery】

担当責任者　教授（第1外科学）　平田　敬治

ねらい

主要な消化器疾患や腹部疾患を系統的に学習する。それぞれの疫学・病因・病態生理・症候・検査所見・診断・治療・予後について学習し、主に消化器外科の基礎的知識を身につける。消化器病の予防や診療に際し、自ら考え問題解決できるようにトレーニングを行う。

学習目標

1．消化器や腹壁・後腹膜の診療に必要な解剖・生理について述べることができる。（Ⅱ-1）
2．各々の疾患の原因・疫学について述べることができる。（Ⅱ-2,Ⅱ-5,Ⅱ-11）
3．消化器検査各種について説明できる。（Ⅱ-6）
4．各疾患の診断・治療・予防を理解し、説明できる。（Ⅱ-6,Ⅱ-7）
5．消化器の各症候から、診断・治療などの計画を立てることができる。（Ⅱ-1,Ⅱ-2,Ⅱ-3,Ⅱ-4,Ⅱ-5,Ⅱ-6,Ⅱ-7）
6．腸管感染症の予防、院内感染対策について説明できる。（Ⅱ-9,Ⅱ-10,Ⅳ-7,Ⅴ-5）

事前事後学習の方法

1．シラバスの記載項目について、事前に予習しておくこと。
2．配布された講義のテキスト、スライド内容ともに講義内容の復習をすること。

成績評価方法・基準

1．講義中小テスト、出席状況を加味し総合的に判断する。
2．100点満点換算で、A/B/C/D/Fの5段階評価とする。

○教　科　書

北野　正剛　監修　「標準外科学」第15版　2019年　医学書院

○参　考　書

遠藤　格ほか　編　ビジュアルサージカル消化器外科手術　「胆道・膵臓」　2019年　学研メディカル秀潤社
山本雅一ほか　編　ビジュアルサージカル消化器外科手術　「肝臓・脾臓」　2019年　学研メディカル秀潤社
上西紀夫ほか 編集　ビジュアルサージカル消化器外科手術　「手術の基本知識」　2019年　学研メディカル秀潤社
上西紀夫ほか 編集　ビジュアルサージカル消化器外科手術　「上部消化管」　2018年　学研メディカル秀潤社
正木忠彦ほか 編集　ビジュアルサージカル消化器外科手術　「下部消化管」　2018年　学研メディカル秀潤社

講義:2205講義室

年月日	曜日	時限	授業項目（内容）	コアカリ項目				担当者
				第1層	第2層	第3層	第4層	
R7.5.7	水	7･8	消化器総論と診断法（講義中に小テスト）	PS	02	08	01-05	平田 敬治
5.12	月	7･8	食道（良性疾患）（講義中に小テスト）	PS	02	08	01-05	柴尾 和徳
5.19	月	7･8	食道（悪性疾患）（講義中に小テスト）	PS	03	04	14	日暮 愛一郎（学外）
5.26	月	7･8	胃・十二指腸疾患（講義中に小テスト）	PS	02	08	01-05	柴尾 和徳
5.30	金	7･8	小腸・イレウス（講義中に小テスト）	PS	02	08	01-05	鳥越 貴行（学外）
6.2	月	7･8	大腸良性疾患（講義中に小テスト）	PS	02	08	01-05	中山 善文（学外）
6.6	金	7･8	大腸悪性疾患（講義中に小テスト）	PS	03	04	14	平田 敬治
6.9	月	7･8	肛門とヘルニア（講義中に小テスト）	PS	02	08	01-05	中山 善文（学外）
6.16	月	7･8	急性腹症（講義中に小テスト）	PS	02	08	01-05	永田 直幹（学外）
6.23	月	7･8	肝胆膵総論（講義中に小テスト）	PS	02	08	01-05	田村 利尚
6.25	水	7･8	肝臓良性疾患（講義中に小テスト）	PS	02	08	01-05	岡本 好司（学外）
6.30	月	7･8	肝臓悪性疾患（講義中に小テスト）	PS	03	04	14	岡本 好司（学外）
9.1	月	7･8	胆道良性疾患（講義中に小テスト）	PS	02	08	01-05	森 泰寿
9.5	金	7･8	胆道悪性疾患（講義中に小テスト）	PS	03	04	14	田村 利尚
9.8	月	7･8	膵臓良性疾患（講義中に小テスト）	PS	02	08	01-05	森 泰寿
9.10	水	7･8	膵臓悪性疾患（講義中に小テスト）	PS	03	04	14	森 泰寿
9.17	水	7･8	脾臓外科・門脈（講義中に小テスト）	PS	02	08	01-05	佐藤 永洋
9.24	水	7･8	内分泌外科（講義中に小テスト）	PS	02	14	01-06	井上 譲

4年次

第2外科学各論
【Specifics Second Department of Surgery】

担当責任者　教授（第2外科学）　田中　文啓

ねらい

呼吸器系は常に外界と接し、環境や職業、生活習慣の影響を受けやすい臓器である。

1．呼吸器系および胸壁・乳腺の解剖と生理、防御機能を正しく理解し、疾病の発生機序を学ぶ。
2．呼吸器・胸壁・乳腺疾患の特徴と病態を理解し、診断法を身につける。
3．呼吸器・胸壁・乳腺疾患の特徴に応じた治療と予防の体系を習得する。
4．呼吸不全の原因と病態を理解し、呼吸管理について学ぶ。

学修目標

1．基本的な診察法が実施できる。(Ⅳ-1, Ⅳ-2, Ⅳ-3, Ⅵ-1, Ⅵ-2)
2．主要な呼吸器・胸壁・乳腺疾患の原因、病態、生理、鑑別すべき疾患を挙げることができる。(Ⅱ-1, Ⅱ-5, Ⅱ-6, Ⅱ-7, Ⅳ-4)
3．主要な検査法の原理、方法、適応を理解し、所見の解釈ができる。(Ⅱ-1, Ⅱ-5, Ⅱ-6, Ⅱ-7)
4．主要な呼吸器・胸壁・乳腺疾患の予防と治療法の基本について説明できる。(Ⅱ-6, Ⅱ-7, Ⅱ-11, Ⅲ-1, Ⅳ-5, Ⅳ-8, Ⅳ-11)

事前事後学習の方法

1．シラバスに記載されている授業項目について、参考書などで事前に予習しておくこと。
2．配布された講義テキストを熟読して講義内容の復習をすること。

成績評価方法・基準

1．理解度チェックのための小テスト、レポート、受講態度・参加状況などの結果を基に総合的に判断する。
2．100点満点換算で、A、B、C、D、Fの5段階評価とする。

○ 教 科 書

医療情報科学研究所編 「病気がみえる・婦人科・乳腺外科」 2018年 メディックメディア 東京
医療情報科学研究所編 「病気がみえる・呼吸器」 2018年 メディックメディア 東京
岡庭豊、他編 「イヤーノート 内科・外科編」 メディックメディア 東京

○ 参 考 書

日本肺癌学会編 「肺がん診療ガイドライン」 2022年版 金原出版
日本呼吸器外科学会編 「呼吸器外科テキスト」 改訂第2版 2021年 南江堂
日本呼吸器学会編 「新呼吸器専門医テキスト」 改訂第2版 2020年 南江堂
日本乳癌学会編 「乳腺腫瘍学」 第4版 2022年 金原出版

講義:2205講義室

年月日	曜日	時限	授業項目(内容)	コアカリ項目				担当者
				第1層	第2層	第3層	第4層	
R7.4.9	水	1・2	肺腫瘍(1) 小テスト	PS	03	04	13	田中 文啓
4.15	火	7・8	肺腫瘍(2) 小テスト	PS	03	04	13	田中 文啓
4.22	火	7・8	肺腫瘍(3) 小テスト	PS	03	04	13	田中 文啓
5.1	木	7・8	乳腺良性疾患・胸壁 小テスト	PS	03	04	17	田嶋 裕子
5.8	木	7・8	乳癌 小テスト	PS	03	04	17	田嶋 裕子
5.20	火	7・8	縦隔疾患 小テスト	PS	03	04	13	田中 文啓
6.3	火	1・2	胸膜疾患 小テスト	PS	03	04	13	田中文啓
6.10	火	1・2	胸郭変形・移植・救急疾患 小テスト	PS	03	04	13	田中 文啓
6.17	火	1・2	肺腫瘍の診断と治療(臨床講義) 小テスト	PS	03	04	13	田中 文啓
6.24	火	1・2	肺腫瘍の外科治療と周術期管理(臨床講義) 小テスト	PS	03	04 05	13	田中 文啓
7.9	水	3・4	胸膜・縦隔・救急疾患(臨床講義) 小テスト	PS	03	04	13	田中 文啓

心臓血管外科学
【Cardiovascular Surgery】

担当責任者　教授（心臓血管外科学）西村　陽介

ねらい　主要循環器疾患の病因、病態生理、およびそれらの診断に必要な検査法を理解した上で、さらに適切な外科的治療法の適応と術式の選択ができるようになるために、また、外科的治療を必要とする循環器疾患について基本的な知識・理解を習得するために、循環器疾患（外科系）の診断に必要な病歴・理学所見・検査および治療法を学習する。

学修目標

1. 主要循環器疾患の病因、病態生理、鑑別すべき疾患を挙げることができる。（Ⅱ-5）
2. 主要な循環器疾患の外科治療の基本について説明できる。（Ⅱ-5，Ⅱ-6）
3. 外科的治療を要する循環器疾患について背景病態について説明できる。（Ⅱ-1，Ⅱ-5）
4. 外科的治療を要する循環器疾患について診断、治療、問題点について説明できる。（Ⅱ-6）
5. 手術、手術適応、時期、手術方法、合併症、効果について説明できる。（Ⅱ-5）

事前事後学習の方法

1. シラバスに記載されている授業項目について、教科書、参考書などで事前に予習しておくこと。
2. 配布された講義資料や小テストをよく吟味して講義内容の復習をすること。

成績評価方法・基準

1. 理解度チェックの為の小テスト、授業中の態度や発言、質問などを適宜評価に考慮する。
2. 講義最終日に本試験を行い、その結果を評価に考慮する。

○ 教 科 書

標準外科学 第15版（医学書院）

○ 参 考 書

1. Kirklin「Cardiac Surgery」（Churchill Livingstone NY）
2. Rutherford「Vascular Surgery」(Elsevier Saunders)
3. Braunwald、「Heart Disease」（Saunders）
4. 龍野勝彦、他「心臓血管外科テキスト」（中外医学社）

講義室：2205講義室

年月日	曜日	時限	授　業　項　目（内　容）	コアカリ項目				担　当　者
				第1層	第2層	第3層	第4層	
R7.7.7	月	3･4	心臓血管外科の基礎的理解、小テスト	PS	02	06	01	西村　陽介
7.14	月	5･6	先天性心疾患の外科治療、小テスト	PS	02	06	05	落合　由恵（学外）
7.28	月	3･4	虚血性心疾患，心膜疾患・腫瘍の外科治療、小テスト	PS	02	06	05	西村　陽介
9.1	月	3･4	弁膜疾患の外科治療、小テスト	PS	02	06	05	西村　陽介
9.8	月	3･4	心臓移植と人工心臓、小テスト	PS	02	06	05	塩瀬　明（学外）
9.25	木	5･6	大動脈疾患の外科治療、小テスト	PS	02	06	05	大石　恭久
9.29	月	3･4	末梢血管の外科、小テスト	PS	02	06	05	安恒　亨（学外）

脳神経外科学各論
【Individuals in Neurosurgery】

担当責任者 教授（脳神経外科学） 山本 淳考

ねらい

神経系の正常構造と機能を理解し、脳・神経系の特性を認識し、脳神経外科学にはどのような病態、疾患があるかを習得する。脳神経疾患の診断や病態の理解には神経解剖、神経生理、神経病理、神経化学・薬理学などの知識が不可欠であり、これらの特性を知ることにより脳・脊髄の局在機能や神経症候の理解が深まる。

4年次は主として各論の講義をするので、脳・神経疾患の原因、病態、症候と診断・治療を説明できるように学ぶ。

学修目標

1. 脳・脊髄と頭蓋・脊椎の解剖を復習し、脳血管の走行・支配領域、及び髄液腔との関係を理解し、特に大脳基底核、脳幹、脊髄部では横断面の解剖を図示できる。（Ⅱ-1）
2. 脳・脊髄の局在機能を理解し、主要神経症候と神経解剖学的病変部位を説明できる。（Ⅱ-5）
3. 基本的な神経学的診察法を述べることができる。（Ⅱ-6）
4. 主要な脳・神経疾患の病因、病態生理、鑑別すべき疾患を列挙することができる。（Ⅱ-1，Ⅱ-5）
5. 主要な脳・神経疾患に対する検査の適応・禁忌と、その意義を述べることができる。（Ⅱ-6，Ⅱ-9）
6. 主要な脳・神経疾患に対する治療の基本について説明できる。（Ⅱ-6）
7. 外科治療の対象となる疾患（腫瘍、血管障害、外傷、先天奇形、感染症、機能的疾患）の病態に基底核、脳幹、脊髄部がどのように関与しているのかを各々の横断面の解剖で図示できる。（Ⅱ-1，Ⅱ-5）

事前事後学習の方法

1. シラバスに記載されている授業項目について、事前に参考書・指定教科書等を利用して予習をすること。
2. 授業中に配布された講義テキスト等を熟読して講義内容を復習すること。

成績評価方法・基準

1. 下記のごとく講義終了時に、講義内容の理解度チェックのための小テストを行う。
2. 100点満点換算で、A、B、C、D、Fの5段階評価とする。

○ 教 科 書

児玉南海雄・峯浦一喜監修 「標準脳神経外科」（医学書院）

○ 参 考 書

太田富雄・松谷雅生・野崎和彦編 「脳神経外科学」（金芳堂）

田崎義昭・斎藤佳雄著 「ベッドサイドの神経の診かた」（南山堂）

日本脳卒中学会編 「脳卒中治療ガイドライン2021」（協和企画）

日本脳腫瘍学会編 「脳腫瘍診療ガイドライン 2019年版」（金原出版株式会社）

松谷雅生・堀智勝・浅野孝雄編集 「脳神経外科手術のための解剖学」（メディカルビュー社）

後藤文男・天野隆弘著 「臨床のための神経機能解剖学」（中外医学社）

宜保浩彦著 「臨床のための脳局所解剖学」（中外医学社）

D.N. Louis「WHO Classification of Tumours of the Central Nervous System」（WHO）

A.L. Rhoton, Jr「Rhoton's Cranial Anatomy & Surgical Approaches」（Oxford University Press, Inc）

4 年 次

講義:2205講義室

年 月 日	曜 日	時 限	授 業 項 目 (内 容)	コアカリ項目				担 当 者
				第1層	第2層	第3層	第4層	
R7.7.16	水	7･8	出血性脳血管障害の診断と治療 小テスト	PS	01	04	13	黒川 暢 (脳卒中血管内科学)
7.23	水	7･8	小児脳神経外科	PS	02	12	04	宮川 正(学外)
9.3	水	5･6	脳腫瘍の診断と治療 小テスト	PS	03	04	10	中野 良昭
9.11	木	7･8	頭部外傷 小テスト	PS	03	05	04	齋藤 健
9.18	木	7･8	機能的脳神経外科 小テスト	PS	02	03	04	齋藤 健
9.25	木	7･8	虚血性脳血管障害の診断と治療 小テスト	PS	01	04	13	田中 優子 (脳卒中血管内科学)

整形外科学各論
【Musculoskeletal System: Specific】

担当責任者 教授（整形外科学） 酒井 昭典

ねらい

1. ヒトと整形外科とのかかわりを理解する。
2. 整形外科に関する基礎知識を修得する。
3. 整形外科の診断・治療に対する考え方を修得する。
4. 整形外科の保存療法と手術療法の考え方を修得する。

学修目標

1. ヒトの運動器の進化、発達、解剖、生理と病理について記述することができる。（Ⅱ-1, Ⅱ-2, Ⅱ-3, Ⅱ-5）
2. 運動器の問・視・触診の診断手技、補助診断手技の基本的事項を述べることができる。（Ⅱ-6）
3. 運動器の治療手技、外傷処置、感染対策の基本的事項を列挙することができる。（Ⅱ-6, Ⅱ-7, Ⅱ-10）
4. 運動器の日常的疾患について診断と治療の原則を述べることができる。（Ⅱ-6）

事前事後学習の方法

1. シラバスに記載されている授業項目について、教科書などで事前に予習しておくこと。
2. 配布された講義資料を熟読して講義内容の復習をすること。

成績評価方法・基準

1. 毎回の講義において理解度チェックのための小テストを行う。
2. 課題を与え、レポートを提出させる。
3. 小テスト(約8割)とレポート(約2割)の結果を基に、受講態度や出席状況等を加味し、総合的に判断する。
4. 100点満点換算で、A、B、C、D、Fの5段階評価とする。

○ 教 科 書

井樋 栄二 他 監修 「標準整形外科学 第15版」 2023年 （医学書院）

○ 参 考 書

大鳥 精司 他 編 「TEXT整形外科学 改訂5版」 2019年 （南山堂）

酒井 昭典 他 編 「骨折の治療指針とリハビリテーション」 2017年 （南江堂）

P.Tornetta,Ⅲ. 他 編 「Rockwood & Green's Fractures 第9版」 2020 年 （Wolters Kluwer ）

Frederick M Azar 他 編 「Campbell's Operative Orthopaedics 第14版」 2020年 （Elsevier）

4 年 次

講義:2205講義室

年月日	曜日	時限	授　業　項　目（内　容）	コアカリ項目				担　当　者
				第1層	第2層	第3層	第4層	
R7.4.2	水	5･6	整形外科総論、検査･診断･治療(レポート提出)	PS	2	5	1～5	酒井 昭典
4.9	水	5･6	スポーツ整形外科(小テスト)	PS	2	5	1～5	鈴木 仁士
4.16	水	5･6	関節リウマチとその外科的治療(小テスト)	PS	2	5	1～5	川﨑 展
4.23	水	5･6	整形外科の基礎科学(骨･軟骨･筋･神経)(レポート提出)	PS	2	5	1	酒井 昭典
4.30	水	5･6	高齢者の運動器疾患(小テスト)	PS	2	5	1～5	塚本 学
5.7	水	5･6	脊椎疾患の診断と治療(小テスト)	PS	2	5	1～5	中村 英一郎
5.14	水	5･6	骨軟部腫瘍(小テスト)	PS	2	5	1～5	鈴木 仁士
5.21	水	5･6	整形外科外傷(小テスト)	PS	2	5	1～5	善家 雄吉
5.28	水	5･6	上肢の疾患(小テスト)	PS	2	5	1～5	山中 芳亮
6.4	水	5･6	下肢の疾患、先天異常(小テスト)	PS	2	5	1～5	鈴木 仁士
6.11	水	5･6	骨関節感染炎症性疾患(小テスト)	PS	2	5	1～5	真野 洋佑
6.18	水	5･6	脊椎の外傷(小テスト)	PS	2	5	1～5	佐保 明
6.25	水	5･6	スポーツ傷害と整形外科(小テスト)	PS	2	5	1～5	内田 宗志
7.2	水	5･6	加齢に伴う腰椎疾患(小テスト)	PS	2	5	1～5	山田 晋司

泌尿器科学各論
【Urology】

担当責任者 教授（泌尿器科学） 柏木 英志

ねらい

泌尿器科領域における尿路、副腎、男性性器の病態に関連した検査および診断、治療法を理解し、臨床に関する知識を習得する。

学修目標

1. 尿路結石症の成因、症状、診断、合併症、治療法および再発予防について説明できる。（Ⅱ-5，Ⅱ-6，Ⅱ-11）
2. 尿路・性器外傷を列挙し、症状、診断、治療とくに初期治療と後遺症について説明できる。（Ⅱ-5，Ⅱ-6，Ⅱ-7）
3. 外科的副腎疾患をあげ、その病態、診断、治療について説明できる。（Ⅱ-5，Ⅱ-6）
4. 女性泌尿器科学の病態、診断、治療法について説明できる。（Ⅱ-5，Ⅱ-6）
5. 神経泌尿器科学の病態、診断、治療法について説明できる。（Ⅱ-1，Ⅱ-5，Ⅱ-6）
6. 尿路、性器に発生する腫瘍について、症状、診断、治療を説明できる。（Ⅱ-1，Ⅱ-5，Ⅱ-6）
7. 器質的排尿障害について、原因疾患と治療法を説明できる。（Ⅱ-1，Ⅱ-5，Ⅱ-6）
8. 尿路性器感染症について、病態、診断、治療法を説明できる。（Ⅱ-5，Ⅱ-6，Ⅱ-10）
9. 小児泌尿器科疾患の病態、診断、治療方法について説明できる。（Ⅱ-1，Ⅱ-2，Ⅱ-5，Ⅱ-6）

事前事後学習の方法

1. 教育要項に記載されている授業項目について、参考書などで事前に予習しておくこと。
2. 配布された講義テキストを熟読して講義内容の復習をすること。

成績評価方法・基準

1. 講義への3分の2以上の出席及び小テスト、復習テストは必須。
2. 小テスト、復習テストの結果を基に総合的に判断する。

○ 教 科 書

○ 参 考 書

Campbell-Walsh,Urology 12th ed.（ Elsevier Saunders 2021 ）

吉田修 編 「ベッドサイド泌尿器科学（診断・治療編） 改訂第4版」（南江堂）

4 年 次

講義: 2205 講義室

年月日	曜日	時限	授　業　項　目（内　容）	コアカリ項目				担　当　者
				第1層	第2層	第3層	第4層	
R7.5.23	金	1･2	泌尿器科的緊急処置	PS	02	09	05	東島　克佳
5.30	金	1･2	泌尿器科腫瘍学　Ⅰ（腎腫瘍、腎盂･尿管腫瘍）	PS	02	09	05	富﨑　一向
6.4	水	1･2	尿路性器感染症　Ⅰ（UTI、院内感染） 小テスト①	PS	02	09	05	松本　正広
6.13	金	1･2	泌尿器科腫瘍学　Ⅱ（精巣腫瘍、陰茎･尿道腫瘍）	PS	02	10	05	城嶋　和真
6.19	木	7･8	小児泌尿器科学　Ⅰ（発生と異常）	PS	02	12	04	高橋　康一（学外）
6.25	水	1･2	小児泌尿器科学　Ⅱ（診断と治療） 小テスト②	PS	02	12	04	渡邉　舟貴
7.4	金	1･2	泌尿器科腫瘍学　Ⅲ（前立腺癌）	PS	02	10	05	柏木　英志
7.9	水	7･8	腎不全、腎生検、腎移植	PS	02	09	05	生田　弘文(学外)
7.11	金	1･2	下部尿路機能障害　Ⅰ 小テスト③	PS	02	09	05	水嶋　唯
7.16	水	1･2	尿路性器感染症　Ⅱ（STI、抗菌薬） 前半復習テスト	PS	02	09	05	松本　正広
7.18	金	5･6	下部尿路機能障害　Ⅱ	PS	02	09	05	原田　修治（学外）
7.23	水	1･2	女性泌尿器科学 小テスト④	PS	02	09	05	木室　里依子
9.1	月	1･2	泌尿器科腫瘍学　Ⅳ（副腎･後腹膜腫瘍）	PS	02	09	05	永田　祐二郎
9.8	月	5･6	尿路性器外傷	PS	02	09	05	寺戸　三千和（学外）
9.12	金	5･6	器質性排尿障害 小テスト⑤	PS	02	09	05	赤坂　聡一郎（学外）
9.19	金	5･6	尿路結石症	PS	02	09	05	松本　博臣(学外)
9.24	水	1･2	泌尿器科腫瘍学　Ⅴ（膀胱腫瘍、尿路変向術） 小テスト⑥	PS	02	09	05	湊　晶規
9.26	金	5･6	性機能障害、男性不妊症 後半復習テスト	PS	02	10	05	庄　武彦（学外）

眼科学
【Ophthalmology】

担当責任者 教授（眼科学） 近藤 寛之

ねらい

1. 眼の解剖学的および生理学的知識を習得する。
2. 眼機能の基礎的知識、検査法を習得する。
3. 眼機能の異常についての総論的知識を習得する。
4. 眼疾患の治療についての総論的知識を習得する。
5. 前眼部および眼付属器疾患の診断、治療、予防を習得する。
6. 水晶体、硝子体の疾患の診断、治療、予防を習得する。
7. ぶどう膜疾患、眼底疾患の診断、治療、予防を習得する。
8. 神経眼科的疾患の診断、治療、予防を習得する。
9. 全身疾患における眼病変の診断、治療、予防を習得する。
10. 職業性眼疾患の診断、治療、予防を習得する。

学修目標

1. 眼機能および眼機能異常について説明できる。（Ⅱ-1，Ⅱ-5，Ⅱ-6）
2. 眼科一般検査法と診察の順序について説明できる。（Ⅱ-6）
3. 眼科特殊検査の意義と重要性について説明できる。（Ⅱ-6）
4. 結膜疾患、眼瞼疾患、涙器疾患の診断、治療、予防が説明できる。（Ⅱ-6，Ⅱ-11）
5. 角膜疾患、白内障、緑内障、ぶどう膜疾患の診断、治療、予防が説明できる。（Ⅱ-6，Ⅱ-11）
6. 網膜疾患、視神経疾患、眼筋麻痺の診断、治療、予防が説明できる。（Ⅱ-6，Ⅱ-11）
7. 糖尿病、高血圧、膠原病における眼病変の診断、治療、予防が説明できる。（Ⅱ-1，Ⅱ-5，Ⅱ-6，Ⅱ-11）
8. 職業性眼疾患の診断、治療、予防が説明できる。（Ⅱ-6，Ⅱ-8，Ⅱ-11）

事前事後学習の方法

1. 授業項目に基づき、参考書であらかじめ自習を行う。
2. 授業で配布された資料をもとに復習する。復習課題やテスト復習をノートにまとめること。

成績評価方法・基準

1. 復習テスト(約7割)、理解度チェックのための小テスト(約3割)の結果を基に課題ノート提出状況等を加味し、総合的に判断する。
2. 100点満点換算で、A、B、C、D、Fの5段階評価とする。

○ 教 科 書

特に指定しない。

○ 参 考 書

中澤 満ら編集 「標準眼科学」 第14版 2018年 （医学書院）

所 敬 監修、吉田晃敏、谷原秀信 編集 「現代の眼科学」 第13版 2018年 （金原出版）

4 年 次

講義:2205講義室

年月日	曜日	時限	授業項目（内容）	コアカリ項目				担当者
				第1層	第2層	第3層	第4層	
R7.4.3	木	5	視力・屈折・眼圧・調節・検査一般/小テスト	PS	02	15	01,03	近藤 寛之
4.3	木	6	水晶体及び白内障/小テスト	PS	02	15	05	野田 啓司
4.10	木	5	神経眼科1(視野・視路・対光反射・眼振)/小テスト	PS	02	15	05	鶴崎 瑞季
4.10	木	6	神経眼科2(視神経炎・視神経症・遺伝性疾患)/小テスト	PS	02	15	05	鶴崎 瑞季
4.22	火	5	発生(生理・解剖)/小テスト	PS	02	15	01	松下 五佳
4.22	火	6	小児眼科/小テスト	PS	02	15	05	松下 五佳
5.1	木	5	涙道疾患と手術	PS	02	15	04,05	鈴木 亨(学外)
5.1	木	6	緑内障1/小テスト	PS	02	15	05	奥 一真
5.15	木	5	網膜の機能と変性疾患/小テスト	PS	02	15	05	近藤 寛之
5.15	木	6	網膜剥離と手術/小テスト	PS	02	15	05	近藤 寛之
5.15	木	7	緑内障2/小テスト	PS	02	15	05	奥 一真
5.20	火	5	角結膜疾患・検査・診断・治療1	PS	02	15	01-04	平山 雅敏(学外)
5.20	火	6	角結膜疾患・検査・診断・治療2	PS	02	15	01	平山 雅敏(学外)
5.27	火	5	糖尿病網膜症/小テスト	PS	02	15	05	成瀬 翔
5.27	火	6	神経眼科3(眼位・眼球運動・両眼視・斜視)	PS	02	15	05	西尾 陽子(学外)
6.3	火	7	眼科領域の腫瘍/小テスト	PS	02	15	05	野田 啓司
6.3	火	8	眼科外傷・眼科救急/小テスト	PS	02	15	05	野田 啓司
6.5	木	5	ロービジョン(視覚リハビリ)	PS	02	15	04	村上 美紀(学外)
6.5	木	6	色覚/小テスト	PS	02	15	05	落合 信寿
6.12	木	5	ぶどう膜と全身疾患1	PS	02	15	02	園田 康平(学外)
6.12	木	6	ぶどう膜と全身疾患2	PS	02	15	05	園田 康平(学外)
6.19	木	5	蛍光眼底造影/小テスト	PS	02	15	03	永田 竜朗
6.19	木	6	加齢黄斑変性/小テスト	PS	02	15	05	永田 竜朗
6.24	火	5	復習テスト	PS	02	15	05	落合 信寿
6.24	火	6	復習テスト	PS	02	15	05	落合 信寿

耳鼻咽喉科・頭頸部外科学
【Otorhinolaryngology-Head and Neck Surgery】

担当責任者:教授(耳鼻咽喉科・頭頸部外科)堀　龍介

ねらい　耳鼻咽喉科・頭頸部外科学に含まれる分野は広範で、耳科学(聴覚学、平衡神経学)、鼻科学、口腔咽頭科学、喉頭科学、気管食道科学、頭頸部腫瘍学、顎顔面外科、再建外科を主とする形成外科学、および音声言語学に及んでいる。まず、これらの領域について系統的に行われる講義を通じて、コア・カリキュラムに示された内容を最低限の目標として、基礎的知識を習得するよう努める。続いて特に重要な症候、疾患、検査法、治療法を取り扱う臨床講義を通じて、耳鼻咽喉科・頭頸部外科領域の医学・医療に関する理解を深める。

学修目標

1. 聴覚障害、平衡障害の診断法と治療法を説明できる(Ⅱ-6)
2. 鼻・副鼻腔疾患の診断法と治療法を説明できる(Ⅱ-6)
3. 口腔・咽頭・喉頭疾患の診断法と治療法を説明できる(Ⅱ-6)
4. 甲状腺疾患を含む頸部疾患の診断法と治療法を説明できる(Ⅱ-6)
5. 唾液腺疾患と顔面神経麻痺の診断法と治療法を説明できる(Ⅱ-6)
6. 気管・食道疾患の診断法と治療法の説明をできる(Ⅱ-6)
7. 耳鼻咽喉科領域のプライマリ・ケアについて概説できる(Ⅱ-6)

事前事後学習の方法

1. シラバスに掲載されている授業項目について、参考書などで事前に予習しておくこと
2. 配布された講義テキストを熟読して講義内容の復習を行うこと

成績評価方法・基準

1. 理解度チェックのための小テスト(45%)、課題レポート(28%)、出席状況(27%)を基に総合的に評価する。
2. 100点満点換算で、60点以上を合格とする。

○ 教 科 書

「新耳鼻咽喉科学」(野村恭也編著、南山堂)

○ 参 考 書

「目でみる耳鼻咽喉科疾患」(池田勝久編著、文光堂)

4 年 次

講義:2205講義室

年月日	曜日	時限	授業項目（内容）	コアカリ項目				担当者
				第1層	第2層	第3層	第4層	
R7.4.1	火	7.8	口腔・咽喉頭の構造と機能	PS	02	16	01	長谷川翔一
4.3	木	7.8	耳鼻咽喉科・頭頸部外科概論～外耳・中耳疾患	PS	02	16	05	堀 龍介
4.4	金	7.8	睡眠時無呼吸症候群（課題レポート）	PS	02	16	05	北村 拓朗
4.8	火	7.8	耳鼻咽喉科・頭頸部外科概論（課題レポート）	PS	02	16	05	堀 龍介
4.10	木	7.8	頸部、甲状腺疾患の診断と治療	PS	02	16	05	清水 隆（学外）
4.17	木	7.8	アレルギー性鼻炎、花粉症	PS	02	16	05	坂本 菊男（学外）
4.18	金	7.8	小児耳鼻咽喉科疾患（小テスト）	PS	02	16	02	北村 拓朗
4.25	金	5.6	口腔・咽頭悪性腫瘍（課題レポート）	PS	02	16	05	若杉 哲郎
5.9	金	5.6	聴覚機能検査、平衡機能検査（小テスト）	PS	02	16	01	古閑 友馬
5.13	火	5.6	嚥下障害の診断と治療（小テスト）	PS	02	16	05	竹内 頌子
5.23	金	7.8	副鼻腔炎の診断と治療	PS	02	16	05	上田 成久（学外）
5.29	木	7.8	喉頭疾患の診断と治療	PS	02	16	05	麻生 裕明（学外）
6.3	火	5.6	頸部、甲状腺、気管、食道の構造と機能（小テスト）	PS	02	16	01	伊藤 有紀
6.11	水	7.8	めまいの診断と治療	PS	02	16	05	工藤 香児（学外）
6.20	金	5.6	鼻・副鼻腔炎悪性腫瘍	PS	02	16	05	花栗 誠 （学外）
6.24	火	7.8	耳鼻咽喉科領域の救急医療（課題レポート）	PS	02	16	04	高橋 梓
6.27	金	5.6	咽喉頭、頸部食道悪性腫瘍（小テスト）	PS	02	16	05	若杉 哲郎
7.1	火	5.6	顔面外傷	PS	02	16	04	竹内 頌子
7.2	水	7.8	補聴器、人工内耳、人工中耳	PS	02	16	04	赤池 亮太
7.4	金	5.6	聴覚障害を引き起こす疾患の治療と診断（小テスト）	PS	02	16	02	河口 倫太郎
7.8	火	7.8	嗅覚障害、味覚障害（小テスト）	PS	02	16	02	柴田 美雅
7.11	金	5.6	難聴・耳鳴りの治療と予防	PS	02	16	04	河口 倫太郎
7.15	火	7.8	顔面神経麻痺の診断と治療（小テスト）	PS	02	16	05	長谷川 翔一
7.17	木	7.8	聴器の構造と機能	PS	02	16	01	藤村 武之（学外）
7.25	金	5.6	耳鼻咽喉科と産業医学	PS	02	16	05	池嵜 祥司(学外)
7.29	火	7.8	再建術（小テスト）	PS	02	16	04	高橋 梓
7.31	木	5.6	頭頸部の発生と奇形	PS	02	16	01	田畑 貴久（学外）

婦人科学
【 Obstetrics and Gynecology Ⅱ】

担当責任者 教授（産科婦人科学） 吉野 潔

ねらい

産科学および、内分泌学や腫瘍学を含む婦人科学の基礎と臨床に関する知識を習得する。

学修目標

1. 女性性器の発生と解剖について説明することができる。(Ⅱ-1, Ⅱ-2, Ⅳ-2, Ⅳ-3, Ⅳ-6)
2. 女性の内分泌学の基礎知識を述べることができる。(Ⅱ-3, Ⅱ-11, Ⅳ-1, Ⅳ-4, Ⅳ-5, Ⅵ-1)
3. 女性の先天異常について説明することができる。(Ⅱ-2, Ⅱ-3, Ⅱ-5, Ⅱ-6, Ⅳ-1, Ⅳ-2, Ⅳ-4, Ⅳ-8)
4. 女性性器の各種良性疾患の病態について説明することができる。(Ⅱ-5, Ⅱ-6)
5. 産婦人科腫瘍学の基礎知識を述べることができる。(Ⅱ-5, Ⅱ-6, Ⅴ-2)
6. 正常妊娠の生理・胎児発育について説明することができる。(Ⅱ-3, Ⅱ-11)
7. 正常分娩の経過について説明することができる。(Ⅱ-11, Ⅱ-12, Ⅳ-2, Ⅵ-1)
8. 異常妊娠・妊娠合併症について説明することができる。(Ⅱ-5, Ⅱ-6)
9. 異常分娩の対処法を説明することができる。(Ⅱ-5, Ⅱ-6)

事前事後学習の方法

1. シラバスに記載されている授業項目について、参考書などで事前に予習しておくこと。
2. 講義内容の復習をすること。

成績評価方法・基準

1. 理解度チェックのための小テストの結果を基に総合的に判断する。
2. 100点満点換算でA、B、C、D、Fの5段階評価とする。

○ 教 科 書

○ 参 考 書

綾部琢哉 編集 「標準産科婦人科学 第5版」（医学書院 2021）

産婦人科診療ガイドライン 産科編2023 日本産科婦人科 学会 出版

産婦人科診療ガイドライン 婦人科外来編2023 日本産科婦人科 学会 出版

4 年 次

講義:2205講義室

年月日	曜日	時限	授業項目（内容）	コアカリ項目				担当者
				第1層	第2層	第3層	第4層	
R7.4.4	金	3･4	産科学各論(正常分娩)	PS	02	11	01	内村 貴之
4.7	月	7･8	産科学各論(妊娠･産褥経過、妊婦健診)	PS	02	11	01	内村 貴之
4.11	金	1･2	産科学各論(異常分娩Ⅰ)	PS	02	11	02	飯尾 一陽
4.18	金	1･2	産科学各論(異常分娩Ⅱ)	PS	02	11	03	飯尾 一陽
4.21	月	7･8	産科学各論(異常妊娠Ⅰ)	PS	02	11	04	田尻 亮祐
4.25	金	1･2	産科学各論(異常妊娠Ⅱ)	PS	02	11	05	田尻 亮祐
5.2	金	3･4	産科学各論(妊娠合併症Ⅰ)	PS	02	11	04	田尻 亮祐
5.9	金	3･4	産科学各論(妊娠合併症Ⅱ)	PS	02	11	03	飯尾 一陽
5.15	木	3･4	産科学各論(胎児心拍数陣痛図) 産科小テスト	PS	02	11	05	内村 貴之
5.16	金	3･4	婦人科各論(婦人科性器の発生と解剖、発育異常･先天異常)	PS	02	10	01	武富 瑠香
5.22	木	3･4	婦人科各論(内分泌･更年期)1	PS	02	10	05	村上 緑
5.23	金	3･4	婦人科各論(内分泌･更年期)2	PS	02	10	05	村上 緑
5.29	木	1･2	婦人科各論(子宮の良性疾患)	PS	02	10	03	原田 大史
6.6	金	1･2	婦人科各論(付属器の良性疾患)	PS	02	10	02	遠山 篤史
6.12	木	3･4	婦人科各論(子宮頸部悪性腫瘍)	PS	02	10	05	栗田 智子
6.13	金	3･4	婦人科各論(子宮体部悪性腫瘍)	PS	02	10	05	植田 多恵子
6.20	金	3･4	特別講義(婦人科悪性腫瘍のトピックス)	PS	02	10	05	京 哲(学外)
6.27	金	3･4	特別講義(骨盤臓器脱の診断と治療)	PS	02	10	05	吉村 和晃(学外)
7.4	金	3･4	特別講義(子宮頸がんの予防と検診)	PS	02	10	02	川越 俊典(学外)
7.10	木	1･2	婦人科各論(付属器の悪性腫瘍、腹膜がん)	PS	02	10	04	吉野 潔
7.11	金	3･4	特別講義(不妊症治療の実際)	PS	02	10	05	田中 温(学外)
7.18	金	1･2	産婦人科と産業保健	SO	01	03	05	金城 泰幸
7.24	木	1･2	婦人科各論(外陰･膣の疾患、絨毛性疾患) 婦人科小テスト	PS	02	10	05	西村 和朗
7.25	金	1･2	特別講義(婦人科悪性腫瘍の診断法)	PS	02	10	03	柏村 正道(学外)

放射線科学
【Radiology】

担当責任者 教授（放射線科学） 青木 隆敏

ねらい

放射線診断と放射線治療の役割を理解し、現代の医療において適切に検査法や治療法を選択できることを目標とする。

学修目標

1. X線検査法、CT・MRI、シンチグラフィの基本を説明できる。（Ⅱ-6, Ⅱ-9, Ⅳ-5, Ⅳ-7）
2. 主要な臓器の正常所見および異常所見について説明できる。（Ⅱ-6, Ⅳ-5）
3. InterventionalRadiologyの適応について説明できる。（Ⅱ-6, Ⅱ-7, Ⅳ-5, Ⅳ-7）
4. 主要な腫瘍における放射線治療法とその成績について説明できる。（Ⅱ-6, Ⅳ-5）

事前事後学習の方

1. シラバスに記載されている授業項目について、事前に配布する講義テキストで予習しておくこと。
2. 講義テキストを熟読して講義内容の復習をすること。

成績評価方法・基準

1. 理解度チェックのための小テスト（約6割）、レポート（約4割）の結果を基に、出席状況や受講態度も加味し総合的に判断する。
2. 100点満点換算で、A、B、C、D、Fの5段階評価とする。

○ 教 科 書

特に指定しない（全授業を網羅したオリジナルの教材を配布する）

○ 参 考 書

西谷 弘・他編 「標準放射線医学 第7版」（2011年 医学書院）

4 年 次

講義:2205講義室

年月日	曜日	時限	授　業　項　目（内　容）	コアカリ項目				担　当　者
				第1層	第2層	第3層	第4層	
R7.4.1	火	5･6	放射線医学の基礎 1(原理、管理･防護、CT)	PS	03	06	01	青木 隆敏
4.4	金	5･6	放射線医学の基礎 2(MRI) 小テスト レポート提出	PS	03	06	05	青木 隆敏
4.11	金	5･6	放射線治療の原理と応用	PS	03	06	08	大栗 隆行
4.18	金	5･6	IVRの基礎･画像解剖学 1 (脳)小テスト レポート提出	PS	03	06	07	井手 智
4.24	木	7･8	画像解剖学 2 (胸部、腹部)	PS	03	06	06	青木 隆敏
4.25	金	3･4	脳･脊髄の画像診断	CS	02	03	07	井手 智
5.2	金	5･6	胸部の画像診断	CS	02	03	07	青木 隆敏
5.13	火	3･4	消化管の画像診断	CS	02	03	07	林田 佳子
5.15	木	1･2	肝胆膵の画像診断 小テスト	CS	02	03	07	二ツ矢 浩一郎
5.20	火	3･4	頭頸部、後腹膜･男性生殖器、大動脈の画像診断	CS	02	03	07	藤崎 瑛隆
5.23	火	5･6	女性生殖器、骨軟部の画像診断 小テスト レポート提出	CS	02	03	07	林田 佳子
5.27	火	3･4	核医学検査法 総論	PS	03	06	02	村上 優
6.5	木	7･8	核医学検査法 各論 小テスト レポート提出	PS	03	04	05	村上 優
6.6	金	5･6	放射線治療 各論 1	PS	03	06	04	大栗 隆行
6.10	火	3･4	放射線治療 各論 2	PS	03	06	24	大栗 隆行
6.17	火	3･4	放射線治療 各論 3	PS	03	04	24	大栗 隆行
6.20	金	1･2	放射線治療 各論 4	PS	03	04	24	大栗 隆行
6.27	金	1･2	放射線治療 各論 5 レポート提出	PS	03	04	24	大栗 隆行

麻酔科学
【Anesthesiology】

担当責任者 教授（麻酔科学） 堀下 貴文

ねらい

麻酔科学は、周術期における侵襲に対する生体反応とその制御について学習することを目標とする。

麻酔によって侵襲から患者を守る手段を学習し、麻酔の基本的概念を理解し、実践することの重要性を理解する。

学修目標

1. 侵襲に対する生体反応の概略とその制御の重要性を理解する。（Ⅱ-1，Ⅱ-5，Ⅱ-6）
2. 周術期患者管理の意義について理解する。（Ⅰ-4）
3. 麻酔科学における安全の考え方は、医療全般における安全確保の前提でもあることを理解する。（Ⅳ-7）
4. 麻酔科学に関連する領域（ペインクリニック・緩和医療）の意義を理解する。（Ⅱ-6，Ⅳ-8）

事前事後学習の方法

1. 指定教科書及び講義資料をよく読み込むこと。
2. 講義資料をよく復習すること。

成績評価方法・基準

1. 講義毎の小テスト、確認試験の結果と合わせ、出席状況を加味し、総合的に判断する。
2. 授業態度も評価対象とする。

○ 教 科 書

「標準麻酔科学」第7版 古家 仁 編 2018年 医学書院

○ 参 考 書

特に指定しない。

4 年 次

講義:2205講義室

年月日	曜日	時限	授業項目（内容）	コアカリ項目				担当者
				第1層	第2層	第3層	第4層	
R7.4.2	水	3･4	麻酔科学総論 小テスト	PS	03	05	16	堀下 貴文
4.7	月	5･6	患者ならびに侵襲の評価とモニタリング 小テスト	CS	02	04	30	堀下 貴文
4.9	水	3･4	気道管理 小テスト	CS	02	04	33	堀下 貴文
4.14	月	5･6	静脈麻酔薬と静脈麻酔法 確認試験	CS	02	04	32	堀下 貴文
4.17	木	1･2	吸入麻酔薬と吸入麻酔法 小テスト	CS	02	04	32	橋本 航
4.21	月	5･6	局所麻酔薬と局所麻酔法 小テスト	CS	02	04	28	堀下 貴文
4.23	水	3･4	筋弛緩薬 小テスト	CS	02	04	31	堀下 貴文
5.1	木	1･2	呼吸管理 確認試験	PS	03	05	17	橋本 航
5.7	水	3･4	循環管理 小テスト	PS	03	05	16	堀下 貴文
5.16	金	5･6	輸液･輸血 小テスト	CS	02	04	26	濵田 高太郎
5.26	月	5･6	小児の麻酔管理 小テスト	PS	03	05	16	堀下 貴文
6.2	月	5･6	高齢者の麻酔管理 確認試験	PS	03	05	16	堀下 貴文
6.9	月	5･6	特殊症例の麻酔管理Ⅰ（胸部外科麻酔、心臓外科麻酔） 小テスト	PS	03	05	16	濵田 高太郎
6.16	月	5･6	特殊症例の麻酔管理Ⅱ（産科麻酔、脳神経外科麻酔） 小テスト	PS	03	05	16	堀下 貴文
6.23	月	5･6	合併症を有する患者の麻酔管理 小テスト	PS	03	05	16	堀下 貴文
6.30	月	5･6	ペインクリニックと緩和ケア 確認試験	GE	01	06	01.04	寺田 忠徳

リハビリテーション医学
【Rehabilitation Medicine】

担当責任者　教授（リハビリテーション医学）　佐伯　覚

ねらい

リハビリテーション医学は、疾病の診断と治療、疾病により生じた障害の診断と治療（訓練、指導、調整などを含む）、社会的・心理的再適応を促し、家庭復帰、社会復帰、職場復帰を直接取り扱う臨床医学である。障害者や高齢者で頻度の高い疾患の診察、治療、さらにこれらの疾患により生じた障害の診断と治療計画立案を学び、臨床的立場から産業医学や高齢者医療における医師の役割を理解する。

学修目標

1. リハビリテーション医学で頻度の高い疾患の診断と治療方法を理解する。（Ⅱ-6）
2. 障害の概念（機能障害、活動制限、参加制約）とその診断方法を学ぶ。（Ⅱ-6, Ⅱ-12, Ⅳ-8）
3. リハビリテーション医学に特有な治療方法（理学療法、作業療法、補装具、言語聴覚療法、社会・心理的再適応など）、リハビリテーションにおける感染症対策を理解する。（Ⅱ-6）
4. 障害者の職場復帰・治療と就労の両立支援のプロセスを理解する。（Ⅱ-6, Ⅲ-1, Ⅲ-2, Ⅳ-9, Ⅳ-10）
5. 多職種のスタッフが参加するチームアプローチを理解する。（Ⅰ-5, Ⅱ-6, Ⅳ-8, Ⅳ-9, Ⅵ-3, Ⅵ-5）

事前事後学習の方法

1. シラバスに記載されている授業項目について、教科書などで事前に予習しておくこと。
2. 配布された講義資料を熟読して講義内容の復習をすること。

成績評価方法・基準

1. 中間試験・最終試験（合わせて約6割）、理解度チェックのための小テスト・レポート（約4割）などをもとに講義への参加姿勢などを加味し、総合的に判断する。
2. 100点満点換算で、A、B、C、D、Fの5段階とする。

○ 教 科 書

上田敏・伊藤利之/監修「標準リハビリテーション医学第4版」（医学書院）

○ 参 考 書

江藤文夫・里宇明元監修「最新リハビリテーション医学第3版」（医歯薬出版）

講義：2205講義室

年月日	曜日	時限	授業項目（内容）	コアカリ項目				担当者
				第1層	第2層	第3層	第4層	
R7.4.8	火	5	リハ医学1　リハビリテーション医学概論	GE GE GE GE CS IP	01 01 01 04 02 01	01 02 03 01 04 01	01,06 01,02 02 01 45 01	佐伯　覚
4.8	火	6	リハ医学2　リハビリテーション診断学	GE CS CS CS CS CM CM	04 01 01 02 02 03 03	01 01 02 02 04 01 02	04 01,02 01,06 03 46 01,02 02	佐伯　覚

4 年 次

講義:2205講義室

年月日	曜日	時限	授業項目（内容）	コアカリ項目				担当者
				第1層	第2層	第3層	第4層	
4.15	火	5	リハ医学3　リハビリテーション治療学Ⅰ	CS	02	04	48,49	堀　諒子
4.15	火	6	リハ医学4　リハビリテーション治療学Ⅱ/小テスト1	GE IP IP	01 02 02	06 02 04	05 01 01	堀　諒子
4.17	木	5	リハ医学5　障害評価Ⅰ	CS	02	04	46	越智　光宏
4.17	木	6	リハ医学6　障害評価Ⅱ	CS	02	04	46	越智　光宏
4.24	木	5	リハ医学7　神経筋疾患Ⅰ	PS	02	03	05	蜂須賀　明子
4.24	木	6	リハ医学8　神経筋疾患Ⅱ/小テスト2	CS	02	04	47	蜂須賀　明子
5.8	木	5	リハ医学9　装具・福祉用具・車椅子	CS	02	04	48	越智　光宏
5.8	木	6	リハ医学10　切断・義肢	CS	02	04	48	越智　光宏
5.22	木	5	リハ医学11　脳卒中Ⅰ	PS	02	03	05	松嶋　康之
5.22	木	6	リハ医学12　脳卒中Ⅱ/小テスト3	CS	02	04	47	松嶋　康之
5.29	木	5	リハ医学13　がんのリハビリテーション	GE PS	01 03	06 04	02 26,27	田中　亮
5.29	木	6	リハ医学14　中間試験・まとめ1					佐伯　覚
6.10	火	5	リハ医学15　内部障害Ⅰ	PS	02	06 14	05 05	伊藤　英明
6.10	火	6	リハ医学16　内部障害Ⅱ	PS CS	02 02	07 04	05 47	伊藤　英明
6.17	火	5	リハ医学17　神経変性疾患Ⅰ	PS	02	03	05	尾﨑　文
6.17	火	6	リハ医学18　神経変性疾患Ⅱ/小テスト4	CS	02	04	47	尾﨑　文
6.26	木	5	リハ医学19　脊髄損傷Ⅰ	PS	02	03	05	橘　智弘(学外)
6.26	木	6	リハ医学20　脊髄損傷Ⅱ	CS	02	04	47	橘　智弘(学外)
7.3	木	5	リハ医学21　摂食嚥下障害Ⅰ	PS	02	16	05	松嶋　康之
7.3	木	6	リハ医学22　摂食嚥下障害Ⅱ/小テスト5	CS	02	04	47	松嶋　康之
7.10	木	5	リハ医学23　運動器疾患Ⅰ	PS	02	05	05	田島　浩之
7.10	木	6	リハ医学24　運動器疾患Ⅱ	CS	02	04	47	田島　浩之
7.17	木	5	リハ医学25　高次脳機能障害Ⅰ	PS	02	17	05	岡﨑　哲也(学外)
7.17	木	6	リハ医学26　高次脳機能障害Ⅱ/小テスト6	CS	02	04	47	岡﨑　哲也(学外)
7.24	木	5	リハ医学27　小児疾患Ⅰ	GE	03	02	01,02	鳥越　清之(学外)
7.24	木	6	リハ医学28　小児疾患Ⅱ	PS CS	02 02	12 04	04 47	鳥越　清之(学外)
9.4	木	5	リハ医学29　地域リハビリテーション	GE GE SO	02 02 01	02 04 02	05 01 03	梅津　祐一(学外)
9.4	木	6	リハ医学30　介護予防/小テスト7	GE	03	05	01-05, 07	梅津　祐一(学外)
9.11	木	5	リハ医学31　リハビリテーション医療安全(感染対策含)	CS	05	03 04 05 06	01,02 01 02 01	杉本　香苗
9.11	木	6	リハ医学32　最終試験・まとめ2					佐伯　覚

救急医学
【Emergency Medicine】

担当責任者　教授(救急・集中治療医学)尾崎　将之

ねらい

救急医療は身体的急変に対応する医療である。急変時の病態生理と治療について理解を深める。

1. 救急医療・集中治療で必要な基本的な知識・手技を身につける。
2. 信頼できる情報に基づいた医療を実践できる礎を築く。

学修目標

1. ショックの病態と一次・二次救命処置を述べることができる。(Ⅱ-7)
2. 外傷・敗血症・急性腹症・災害での初期対応を述べることができる。(Ⅳ-4)
3. 救急医療システムを述べることができる。(Ⅳ-10)
4. 質の高い文献の入手法、批判的吟味について述べることができる。(Ⅳ-5)

事前事後学習の方法

1. 事前:事前配布のPDFおよび「標準救急医学　第5版」の該当箇所を必ず確認する。
2. 事後:授業の復習をPDFや「標準救急医学　第5版」該当箇所、その他の資料で復習する。

成績評価方法・基準

1. 講義毎の小テスト、最終テストの結果を基に、受講態度や出席状況を加味し、総合的に判断する。
2. 100点満点換算で、A、B、C、D、Fの5段階評価とする。

○ 教 科 書

日本救急医学会監修「標準救急医学　第5版」 医学書院 ISBN-13: 978-4260017558

を購入し自己学習すること。

○ 参 考 書

なし

講義:2205講義室

年月日	曜日	時限	授業項目(内容)	コアカリ項目				担当者
				第1層	第2層	第3層	第4層	
R7.9.2	火	5･6	ショックの分類と治療 (小テスト)	PS	03	05	02.03	尾崎　将之
9.2	火	7･8	敗血症と急性呼吸不全 (小テスト)	PS	03 02	03 07	08,12-15 04,05	尾辻　健
9.4	木	1･2	外傷初期診療と外傷整形各論 (小テスト)	PS	03	05	12	岡田　祥明
9.4	木	3･4	中毒・環境因子	PS	03	05	06-10	蒲地 正幸(学外)
9.11	木	3･4	救急医学と産業医学	SO	01	04	01-04	遠藤　武尊(学外)
9.16	火	1･2	集中治療医学 (小テスト)	PS	03	05	15	相原　啓二
9.16	火	3･4	文献検索、批判的吟味	GE	01	04	01-06	福岡　敏雄(学外)
9.18	木	1･2	外傷再建チームの社会的重要性 (小テスト)	PS	02	05	03, 04	善家　雄吉
9.18	木	3･4	心停止患者の初期対応(一次・二次救命処置)	PS	03	05	05	二瓶　俊一(学外)
9.25	木	3	侵襲と生体反応 (小テスト)	PS	03	05	06	尾崎　将之
9.25	木	4	災害医療・最終テスト	SO	01	05	01-03	尾崎　将之

血液内科学各論
【Hematology and Oncology Ⅱ】

担当責任者 （医学部長）

ねらい

血液病の発症病態を理解し、正しい診断を下す知識を習得する。

臨床症候から、正しい鑑別診断を行うことを目標とする。

疾患活動性やリスク評価に基づき、治療を選択する能力を習得する。

症例に基づいた診断・治療方法を習得する。

モデル・コア・カリキュラムガイドラインや医師国家資格出題基準に従った、教育を実施する。

学修目標

1. 貧血、リンパ節腫大、出血・血栓の臨床所見より鑑別診断を列挙できる。（Ⅱ-6, Ⅳ-4）
2. 白血球増加・減少、貧血・多血、M蛋白血症などの検査所見より鑑別診断を列挙できる。（Ⅱ-6, Ⅳ-4）
3. 白血球・赤血球・血小板などの血球や凝固因子の質的・量的異常より鑑別診断を列挙できる。（Ⅱ-6, Ⅳ-4）
4. 血算、血液像、細胞生化学、細胞抗原、染色体・遺伝子異常などによる診断方法を説明できる。（Ⅱ-6, Ⅳ-4）
5. 抗腫瘍薬、造血薬、サイトカイン、免疫抑制薬、輸血を用いた血液病の治療を説明できる。（Ⅱ-6, Ⅳ-5）
6. 骨髄・臍帯血・末梢血幹細胞移植の原理・適応や方法を説明できる。（Ⅱ-6, Ⅳ-5）

事前事後学習の方法

1. 事前は指定教科書を通読し、予習課題をまとめておくこと。
2. 事後は講義プリントをよく読み復習し、課題をノートにまとめる。

成績評価方法・基準

1. 復習テスト(5割程度)、理解度チェックのための小テスト(3割程度)、課題に対するレポート(2割程度)の結果を基に、受講態度・出席状況等を加味し、総合的に評価する。
2. 100点満点換算で、A・B・C・D・Fの5段階評価とする。

○ 教 科 書

内科学　第12版　矢崎義雄総編集　2022年　朝倉書店

ハリソン内科学 第5版　福井次矢 ・黒川清監修　2017年　メディカル・サイエンス・インターナショナル

ワシントンマニュアル　第14 版　高久史麿・苅尾七臣監訳　2021年　メディカル・サイエンス・インターナショナル

○ 参 考 書

Wintrobe's Clinical Hematology 14th edition, 2019, Lippincott Williams & Wilkins

Williams Hematology, 10th edition, 2021, McGraw Hill

WHO Classification Tumors of Haematopoietic and Lymphoid Tissues, revised 4th edition, 2017, IARC Press

講義:2205講義室

年月日	曜日	時限	授業項目(内容)	コアカリ項目				担当者
				第1層	第2層	第3層	第4層	
R7.4.1	火	3・4	赤血球系疾患Ⅰ(鉄欠乏性貧血・巨赤芽球性貧血など)・レポート課題	PS	02	02	01-05	森本 浩章
4.8	火	3・4	赤血球系疾患 Ⅱ(自己免疫性溶血性貧血・再生不良性貧血など)	PR	03	01	01	東 丈裕
4.15	火	3・4	白血球系疾患・骨髄性疾患Ⅰ(急性白血病など)	PS CS	03 02	04 04	01-04 10	森本 浩章
4.22	火	3・4	白血球系疾患・骨髄性疾患Ⅱ(CML・MF/ET/PVなど)(小テスト)	GE PS CS	01 02 02	04 02 02	06 05 01	中西 司
5.13	火	7・8	悪性リンパ腫と類縁疾患Ⅰ(Hodgkin・非Hodgkinリンパ腫など)	PS PS CS	02 03 02	02 04 04	01-05 06,09 10	森本 浩章
5.27	火	7・8	悪性リンパ腫と類縁疾患Ⅱ(多発性骨髄腫・CLLなど)	PS PS CS	02 03 02	02 04 04	01-05 06,09 10	森本 浩章
6.3	火	3・4	出血性素因と血栓傾向Ⅰ(ITP・DIC・TTP・HUSなど)	CS	02	02	01	中西 司
6.10	火	7・8	出血性素因と血栓傾向 Ⅱ(後天性血友病・vWF/AT/PC/PS欠損など)(小テスト)	CS	02	03	06,07	東 丈裕
6.17	火	7・8	末梢血幹細胞移植・骨髄・臍帯血移植の各論と感染症対策	GE	01	01	06	東 丈裕
6.24	火	3・4	各論:血液病の形態診断	PS	03	04	08,09	廣澤 誠
7.1	火	3・4	各論:血液病の染色体・遺伝子診断	PS	01 03	04 04	20 01,09	廣澤 誠
7.8	火	3・4	各論:血液病の治療(小テスト・レポート提出)	GE	01	04	05	中西 司
7.29	火	5・6	復習テスト・解説	CS	02	04	41,43,44	森本 浩章/赤尾 健一

総合診療医学
【General Medicine】

担当責任者　（医学部長）

ねらい

患者を全人的に捉え、様々な症候を特定の臓器・疾患に限定せずに多角的に診療し、
疾病や健康問題に統合的に対応できる総合診療能力を身につけるため、基本的な医学知識、診療手技、
臨床推論の立て方、医療コミュニケーションとプレゼンテーション技法を習得する。

学修目標

1．総合診療に必要な基本的な基礎および臨床医学知識、診療手技を獲得する。（Ⅱ-1～14）
2．医療情報を得るための医療コミュニケーションを行うことができる。（Ⅵ-1～5）
3．患者の様々な症候や健康問題から十分な医療情報を得ることができる。（Ⅳ-1，Ⅳ-2）
4．医療情報から臨床推論を組み立てることができる。（Ⅳ-4，Ⅳ-5）
5．臨床推論を組み入れたプレゼンテーションを行うことができる。（Ⅳ-3）
6．家族に共感した応対と診療サポートができる。（Ⅳ-8，Ⅵ-1）
7．救急現場での総合診療能力の必要性を理解できる。（Ⅱ-7）
8．総合診療医や家庭医、産業医の役割（プライマリ・ケア）を理解できる。（Ⅱ-8，Ⅳ-11）

事前事後学習の方法

1．シラバスに記載されている授業項目について、参考書などで事前に予習しておくこと。
2．配布された講義テキストを熟読して講義内容の復習をすること。

成績評価方法・基準

科目試験（100点満点換算）の結果を基に出席状況を加味し、A、B、C、D、Fの5段階評価で総合的に判断する。

○ 教科書・参考書

1．福井次夫編　内科診断学　第3版　2016年　医学書院
2．矢崎義雄編　内科学　第11版　2017年　朝倉書店

講義:2205講義室

年月日	曜日	時限	授業項目(内容)	コアカリ項目				担当者
				第1層	第2層	第3層	第4層	
R7.9.3	水	1	総合診療:総論(症候)	CS	02	02	01-04	未定
9.3	水	2	総合診療:総論(診察)	CS	02	02	01-04	未定
9.3	水	3	総合診療:総論(検査)	CS	02	03	01-07	未定
9.3	水	4	総合診療:総論(治療)	CS	02	04	01-49	未定
9.10	水	1	総合診療各論:全身倦怠感Ⅲ	GE	01	01	01-06	森本 浩章(血液内科)
9.10	水	2	総合診療:臨床推論Ⅰ	CS	02	02	01-04	未定
9.10	水	3	総合診療:臨床推論Ⅱ	CS	02	02	01-04	未定
9.10	水	4	総合診療各論:全身倦怠感Ⅰ	GE	01	01	01-06	永田 泰史(第2内科学)
9.11	木	1	地域医療連携・在宅医療Ⅰ	GE	02	03	01-02	未定
9.11	木	2	総合診療各論:ストレス応答医学	GE	01	01	01-06	跡見 順子(学外)
9.12	金	1	地域医療連携・在宅医療Ⅱ	GE	02	02	01-05	未定
9.12	金	2	総合診療各論:頭痛Ⅰ	PS	02	17	01-05	吉村 玲児(精神医学)
9.17	水	1	総合診療各論:発熱Ⅱ	GE	01	01	01-06	米田 哲(小児科学)
9.17	水	2	総合診療各論:発熱Ⅲ	GE	01	01	01-06	清水 少一(免疫学・寄生虫学)
9.17	水	3	総合診療各論:頭痛Ⅱ	GE	01	01	01-06	鈴木 恒平(脳神経外科学)
9.17	水	4	総合診療各論:頭痛Ⅲ	GE	01	01	01-06	寺田 忠徳(麻酔科学)
9.19	金	1	総合診療各論:全身倦怠感Ⅱ	GE	01	01	01-06	宮川 恒一郎(第3内科学)
9.19	金	2	総合診療各論:腹痛Ⅰ	GE	01	01	01-06	柴田 道彦(第3内科学)
9.19	金	3	総合診療各論:腹痛Ⅳ	GE	01	01	01-06	白山 理恵(小児科学)
9.19	金	4	総合診療各論:腹痛Ⅲ	GE	01	01	01-06	田村 利尚(第1外科学)
9.24	水	3	総合診療各論:腹痛Ⅱ	PS	03	04	01-27	栗田 智子(産科婦人科学)
9.24	水	4	臨床腫瘍学	PS	03	05	01-19	松宮 弘喜(第2外科学)
9.25	木	1	臨床腫瘍学	PS	03	04	01-27	田上 貴之(第1外科学)
9.25	木	2	救急総合診療Ⅰ	GE	02	03	01-02	尾崎 将之(救急・集中治療科)
9.26	金	1	救急総合診療Ⅱ	GE	02	03	01-02	尾崎 将之(救急・集中治療科)
9.26	金	2	家庭医Ⅰ	GE	02	02	01-05	未定
9.26	金	3	総合診療各論:全身倦怠感Ⅳ	GE	01	01	01-06	久保 智史
9.26	金	4	総合診療各論:発熱Ⅰ	GE	01	01	01-06	久保 智史
9.29	月	1	家庭医Ⅱ	PS	03	05	01-19	未定
9.29	月	2	総合診療各論:発熱Ⅳ	GE	01	01	01-06	田原 正浩(呼吸器内科学)
10.2	木	2	科目試験					

臨床検査医学
【Laboratory Medicine】

担当責任者　（医学部長）

ねらい

1．医師と検査と患者の一連の関係において、検査に対する医師としての基本的理念を理解する。
2．臨床検査は問診、診察とともに臨床の場において必須の要件であり、診断体系における臨床検査医学の位置づけ及び各種臨床検査の意義を学ぶ。
3．産業医学や労働衛生における臨床検査の利用を学ぶ。

学修目標

1．臨床検査における基準値、病態判断値の概念、検査成績に及ぼす諸因子、検体採取法や精度管理について説明できる。（Ⅱ-6）
2．検査の特性（感度、特異度、偽陽性、偽陰性、検査前確率、検査後確率、オッズ比、尤度比）を説明できる。（Ⅱ-11）
3．各検査項目毎にその検査の目的、原理、およびデータの意味を説明できる。（Ⅱ-6）
4．臨床検査により、疾病の診断、病態や重症度の把握、治療方針の決定や予後の推定などを評価できる。（Ⅱ-6）
5．医療経済を取り巻く環境が年々厳しくなる現状を把握し無駄な検査をしない適応力を習得する。（Ⅱ-13）
6．健康診断における臨床検査項目の選択や解釈ができる。また個人データの経時的集積により、潜在的疾患の早期発見や予防に関する評価ができる。（Ⅱ-11）

事前事後学習の方法

1．シラバスに記載されている授業項目について、参考書などで事前に予習しておくこと。
2．配布された講義テキストを熟読して講義内容の復習をすること。

成績評価方法・基準

科目試験（100点満点換算）の結果を基に出席状況を加味し、A、B、C、D、Fの5段階評価で総合的に判断する。

○ 教 科 書

高木康監修「標準臨床検査医学」第5版 2023年（医学書院）

○ 参 考 書

1．金井正光監修 「臨床検査法提要」 改訂第35版　2020年 （金原出版）
2．大西宏明、Medical Practice編集委員会編「臨床検査ガイド」2025年改訂版（文光堂）
3．櫻林郁之介、熊坂一成監修「臨床検査項目辞典」2008年（医歯薬出版）

講義:2205講義室

年月日	曜日	時限	授業項目(内容)	コアカリ項目				担当者
				第1層	第2層	第3層	第4層	
R7.7.17	木	1・2	臨床検査医学総論、検査の特性、基準値・カットオフ値	CS	02	03	01-07	島尻 正平(第2病理学)
7.24	木	7・8	腹部超音波検査	CS	02	03	01-07	柴田 道彦(第3内科学)
7.25	金	3・4	尿・糞便検査	CS	02	03	01-07	杉田 佳弘(泌尿器科学)
9.2	火	1・2	血液学的検査	CS	02	03	01-07	山口 絢子 (臨床検査・輸血部)
9.2	火	3・4	生化学的検査	CS	02	03	01-07	山口 絢子 (臨床検査・輸血部)
9.5	金	1・2	脳脊髄液検査、脳波および大脳誘発電位	CS	02	03	01-07	大成 圭子(神経内科学)
9.5	金	5・6	免疫学的検査	CS	02	03	01-07	山口 絢子 (臨床検査・輸血部)
9.8	月	1・2	生理機能検査(心電図、心エコーなど)	CS	02	03	01-07	永田 泰史 (第2内科学)
9.9	火	5・6	輸血と移植	CS	02	04	38-41	山口 絢子 (臨床検査・輸血部)
9.18	木	5・6	内視鏡を用いる検査	CS	02	03	01-07	渡邊 龍之(第3内科学)
9.22	月	1・2	呼吸機能検査・動脈血ガス分析など	CS	02	03	01-07	池上 博昭(呼吸器内科学)
10.1	水	3	科目試験					

遺伝子診断・治療学
【Molecular Diagnosis and Gene Therapy】

担当責任者　（医学部長）

ねらい　　疾病の病因及び病態を遺伝子レベルで理解し、臨床医学に応用するために、遺伝情報の伝達の仕組みとその異常による疾患発症のメカニズム、診断、治療への応用法を修得し、同時に倫理的配慮の必要性について考察する。

学修目標

1. ゲノム・染色体と遺伝子の関係が説明できる。（Ⅱ-1，Ⅱ-2）
2. 胚（生殖細胞）と体細胞、遺伝子異常が引き起こす疾患の相違点を説明できる。（Ⅱ-2，Ⅱ-3，Ⅱ-5）
3. メンデル遺伝の様式を説明し、代表的な疾患を列挙できる。（Ⅱ-2，Ⅱ-5，Ⅱ-6，Ⅴ-5）
4. 染色体検査法や遺伝子検査法を例示し、染色体異常による疾患の中で主なものを概説できる。（Ⅱ-2）
5. ミトコンドリア遺伝子による疾患を例示できる。（Ⅱ-2，Ⅱ-5，Ⅱ-6）
6. 多因子遺伝が原因となる疾患を列挙し、その特徴を説明できる。（Ⅱ-2）
7. 遺伝子診断や遺伝子治療の倫理的問題点について説明できる。（Ⅱ-1，Ⅱ-5，Ⅱ-6）
8. 遺伝子治療の適応となりうる疾患を挙げ、その現状や方法について概説できる。（Ⅱ-2，Ⅱ-6）
9. 個体の発達異常における遺伝因子と環境因子の関係を概説できる。（Ⅱ-2）
10. 出生前診断の方法と適応、出生前診断と生命倫理について説明できる。（Ⅱ-2）
11. 代謝疾患、奇形など小児科領域の遺伝子異常を挙げ、病態や治療を説明できる。（Ⅱ-5，Ⅱ-6，Ⅴ-4）
12. トリプレットリピート病、アルツハイマー病や筋ジストロフィーなどの神経・筋疾患の遺伝子異常を挙げ、病態を説明できる。（Ⅱ-2，Ⅱ-5，Ⅱ-6）
13. 内分泌・代謝疾患をモデルとして単一遺伝子病と多因子遺伝子病を説明できる。（Ⅱ-2）
14. 生活習慣病と遺伝子多型の関連について説明できる。（Ⅱ-2）
15. 自己免疫・アレルギー疾患の遺伝子診断と遺伝子治療を例示して説明できる。（Ⅱ-2，Ⅱ-5，Ⅱ-6，Ⅴ-5）
16. 感染症の核酸検査について説明できる。（Ⅱ-2，Ⅱ-5，Ⅱ-6，Ⅱ-10，Ⅴ-5）
17. 血液・腫瘍疾患の遺伝子異常と遺伝子治療を例示して説明できる。（Ⅱ-2）
18. 心血管系疾患、腎疾患の遺伝子診断と遺伝子治療を例示して説明できる。（Ⅱ-2，Ⅴ-5）
19. 呼吸器系疾患の遺伝子診断と遺伝子治療を例示して説明できる。（Ⅱ-2）
20. 消化器系疾患の遺伝子診断と遺伝子治療を例示して説明できる。（Ⅱ-2，Ⅱ-5，Ⅱ-6，Ⅴ-4）
21. 生殖器系疾患の遺伝子診断と遺伝子治療を例示して説明できる。（Ⅱ-2）
22. 精神科領域の疾患の遺伝子診断と遺伝子治療を例示して説明できる。（Ⅱ-2，Ⅴ-5）
23. 耳鼻咽喉科領域の疾患の遺伝子診断と遺伝子治療を例示して説明できる。（Ⅱ-2，Ⅴ-5）
24. 整形外科領域の疾患の遺伝子診断と遺伝子治療を例示して説明できる。（Ⅱ-2，Ⅴ-5）
25. 皮膚科領域の疾患の遺伝子診断と遺伝子治療を例示して説明できる。（Ⅱ-2，Ⅴ-5）
26. 眼科領域の疾患の遺伝子診断と遺伝子治療を例示して説明できる。（Ⅱ-2，Ⅴ-5）
27. 泌尿器領域の疾患の遺伝子診断と遺伝子治療を例示して説明できる。（Ⅱ-2，Ⅴ-5）
28. 遺伝子治療の適応となりうる疾患を挙げ、その現状や方法について概説できる。（Ⅱ-2，Ⅱ-6）

事前事後学習の方法

1. シラバスに記載されている授業項目について、参考書などで事前に予習しておくこと。
2. 配布された講義テキストを熟読して講義内容の復習をすること。

成績評価方法・基準

科目試験（100点満点換算）の結果を基に出席状況を加味し、A、B、C、D、Fの5段階評価で総合的に判断する。

○ 教科書・参考書

1. 松田一郎 監修　医科遺伝学　改訂第2版　南江堂
2. 小澤敬也 他編著　臨床遺伝子医学ガイダンス―分子医学へのアプローチ　南山堂
3. 斉藤秀彦, 吉田純 編　遺伝子医療―基礎から応用へ　名古屋大学出版会

講義：2205講義室

年月日	曜日	時限	授業項目（内容）	コアカリ項目				担当者
				第1層	第2層	第3層	第4層	
R7.11.20	木	1・2	遺伝子診断、遺伝子治療の基礎	PS	01	04	01	遠藤　元誉 (分子生物学)
R7.11.20	木	3・4	遺伝子診断や遺伝子治療の倫理、法律	PS	03	01	06	石丸　知宏(医学概論)
11.26	水	5・6	消化器系疾患領域における遺伝子診断治療学	PS	02	08	05	原田　大(第3内科学)
11.26	水	7・8	免疫・アレルギー疾患、感染症領域の遺伝子診断治療学	PS	03	02	05	久保　智史
11.28	金	5・6	血液・腫瘍疾患に於ける遺伝子診断治療学	PS	02	06	05	東　丈裕(血液内科)
11.28	金	7・8	心血管系疾患、腎疾患領域における遺伝子診断治療学	PS	02	09	05	古賀　純一郎 (第2内科学)
12.1	月	5・6	精神科領域の疾患における遺伝子診断治療学	PS	02	17	05	新開　隆弘(精神医学)
12.1	月	7・8	小児科領域に於ける遺伝子診断治療学	PS	02	12	04	齋藤　祐介(小児科学)
12.4	木	1・2	内分泌代謝疾患、生活習慣病領域の遺伝子診断治療学	PS	02	14	05	園田　里美
12.4	木	3・4	整形外科領域における遺伝子診断と治療	PS	02	05	05	酒井　昭典 (整形外科学)
12.10	水	5・6	呼吸器系疾患領域における遺伝子診断治療学	PS	02	07	05	丈達　陽順 (呼吸器内科学)
12.11	木	1	遺伝カウンセリング	PS	03	01	05	田尻　亮祐 (産科婦人科学)
12.11	木	2	泌尿器診療における遺伝子診断と治療	PS	02	09	05	柏木　英志 (泌尿器科学)
12.11	木	3	眼科疾患における遺伝子診断と治療	PS	02	15	05	松下　五佳(眼科学)
12.16	火	2	神経・筋疾患領域に於ける遺伝子診断治療学	PS	02	03	05	岡田　和将 (脳神経内科・心療内科)
12.16	火	5	耳鼻咽喉科領域における遺伝子診断治療学	PS	02	16	05	堀　龍介 (耳鼻咽喉科・頭頸部外科学)
12.16	火	6	皮膚疾患における遺伝子診断と治療	PS	02	04	05	澤田　雄宇(皮膚科学)
12.16	火	7	生殖器領域に於ける遺伝子診断治療学	PS	02	01	10	松浦　祐介 (広域・発達看護学)
12.18	木	5	科目試験					

医のプロフェッショナリズム
【Medical Professionalism】

担当責任者　　教授（第3内科学）　原田　大

ねらい

豊かな人間性、患者や医療倫理を尊重する姿勢、コミュニケーション能力、チーム医療での役割を果たすのにふさわしい人格、十分な医学知識、技術の習得、自己研鑽の意欲、態度を生涯にわたり継続する資質の習得を目標とする。

学修目標

1. 患者を全人的に理解し、患者・家族と良好な人間関係を確立することの重要性を理解する。(Ⅳ-1)
2. チーム医療の重要性を理解し、その構成員としての役割を理解し、医療・福祉・保健の幅広い職種からなる他メンバーと協調することの重要性を理解する。(Ⅵ-3)
3. 患者の問題を把握し、問題対応型の思考を行い、生涯にわたる自己学習の習慣を身につけるなど問題対応能力獲得の重要性を理解する。(Ⅰ-4)
4. 患者及び医療従事者にとって安全な医療を遂行し、安全管理の方策を身に付け、危機管理に参画するために、安全管理の重要性やその取り組みや機能を理解する。(Ⅱ-9)
5. 医療の持つ社会的側面の重要性を理解し、保健医療法規・制度、医療保険、公費負担医療、医の倫理・生命倫理を理解し、適切に診療することの重要性を理解する。(Ⅰ-2,Ⅱ-12)

事前事後学習の方法

配布された講義資料をもとに復習をすること。

成績評価方法・基準

1. 出欠状況および授業態度により総合的に判断する。
2. 評価方法は各講座により異なる。

○ 教 科 書

矢崎義雄編 「内科学」第12版　2022年 朝倉書店

○ 参 考 書

特に指定しない。

講義:2205講義室

年月日	曜日	時限	授業項目(内容)	コアカリ項目				担当者
				第1層	第2層	第3層	第4層	
R7.12.5	金	5･6	メディカルプロフェッショナリズム:総論	PR	01 03	01 01	01,02 02	石丸 知宏(医学概論)
12.5	金	7･8	医師としてのプロフェッショナリズム 1	PR	01 01 02 02 03 04	01 02 01 03 01 01	01,02 01,02 01,02 01,02 01,02 01	上田 陽一(学長)
12.8	月	5	医師としてのプロフェッショナリズム 2	PR	04	01	02	堀江 正知(副学長)
12.8	月	6	医師としてのプロフェッショナリズム 3	PR	01 01 03	01 02 01	01,02 01,02 01,02	田中 文啓(病院長)
12.8	月	7	医師としてのプロフェッショナリズム 4	PR	01 04	01 01	01,02 02,03	酒井 昭典(医学部長)
12.8	月	8	医師としてのプロフェッショナリズム 5	PR PR SO	02 04 05	03 01 02	01 02 03	上野 晋 (産業生態科学研究所長)
12.10	水	7･8	メディカルコミュニケーション	GE CM SO	04 01-03 06	01,02		種田 博之(人間関係論)
12.11	木	5･6	医療制度・医療政策	SO	01	02	02	村松 圭司(公衆衛生学)
12.11	木	7･8	チームとしてのプロフェッショナリズム 1	IP	02	02 03 04	01 01 01	江角 元史郎(NST)
12.12	金	1･2	医療情報管理	IT	01 01 02	01 02 01	01 01 02	村上 玄樹(医療情報部)
12.12	金	3	チームとしてのプロフェッショナリズム 2	PR GE GE	04 01 03	01 06 06	02 01,02 03	白石 朝子 (緩和ケアセンター)
12.12	金	4	チームとしてのプロフェッショナリズム 2	GE GE CM CM	01 03 01 02	06 06 02 03	01-03,05 06 01,02 01	藤井 有沙 (緩和ケアセンター)
12.12	金	5･6	チームとしてのプロフェッショナリズム 3	IP CS CS	02 05 05	04 05 06	01 02 01,02	原 幸治 (医療の質・安全管理部)
12.12	金	7･8	医学研究:臨床研究と倫理	RE	05	02	01	岡田 洋右 (臨床研究推進センター)
12.15	月	5･6	チームとしてのプロフェッショナリズム 5	GE PR PS CM CM	01 04 03 01 02	06 01 04 02 03	01 02,03 26,27 02 02,04	永田 昌子 (両立支援科学)
12.16	火	3	医療と倫理:生殖医療と倫理	PR	04	01	03	網本 頌子 (産科婦人科学)
12.16	火	4	医療と倫理:生殖医療と倫理	PR	04	01	01	菅 秀太郎(小児科学)
12.17	水	3･4	医療と倫理:脳死判定と臓器移植	CS	02	04	41	堀下 貴文 (麻酔科学)
12.17	水	5･6	医学研究:研究倫理とプロフェッショナリズム	RE	05	02	01	石丸 知宏(医学概論)
12.17	水	7･8	医療と倫理:病院倫理委員会と倫理コンサルテーション	PR	04	01	02	石丸 知宏(医学概論)
12.18	木	6･7	医療と倫理:医薬品の副作用と救済制度	RE	05	02	01	未定 (学外) (薬理学)
12.22	月	3･4	医学研究:基礎医学研究と倫理	RE	05	01 02	01 02	岡村 匡史(学外) (動物研究センター)
12.22	月	5･6	医学研究:基礎医学研究と倫理	RE	03 05 05	04 01 02	01 01 02	遠藤 元誉(分子生物学)
12.22	月	7･8	チームとしてのプロフェッショナリズム 4	PR	02	02	02	鈴木 克典(感染制御部)

臨床診断学
【Clinical Pathognomy】

担当責任者　共用試験・教育小委員会委員長

ねらい

臨床診断学実習は、医療面接や身体診察法などの基本的かつ実際的な診察診断に関する知識を深め、臨床実習に必要な基本的臨床能力を習得する事を目標とする。

基本的な臨床技能、即ち、医療面接や身体診察法、その記録法を習得するには、講義のみならず、視聴覚機材を用いた学習、相手を要するロールプレーなどを反復実践する。また、少人数のグループに対する教員の直接指導によるチュートリアル方略で実習が行われる。

臨床診断学の終了後には、診療参加型臨床実習前客観的臨床能力試験「OSCE」(objective structured clinical examination)を受験する。OSCEでは、標準模擬患者によって基本的臨床技能の実践や医師患者関係が評価される。共用試験である「OSCE」及び、臨床基礎試験として実施する知識技能を問う「CBT」(computer-based testing)の双方に合格することにより、診療参加型臨床実習への参加が認められる。しかし、臨床診断学の最終目標は、OSCEやCBTの合格の先にある臨床実習、さらに医師になった際の実地臨床に必要な基本的臨床能力を習得する事である。

学修目標

1. 医療面接に適切な環境を作ることができる。(Ⅳ-1)
2. よい医師ー患者関係を構築することができる。(Ⅵ-1, Ⅵ-2)
3. ロールプレイや模擬患者を利用して、医療面接のスキルが実践できる。(Ⅳ-1, Ⅵ-1, Ⅵ-2)
4. よい病歴と不十分な病歴を判別できる。問題点を認識し解決方法を考えることができる。(Ⅳ-3, Ⅳ-4)
5. 現病歴などの病歴聴取と記載ができる。(Ⅳ-3, Ⅳ-4)
6. バイタルサインや各種身体診察(理学所見)の実践ができる。(Ⅱ-6, Ⅳ-4)
7. 臨床検査とくに血液・尿・便などの基礎的検査の必要性の説明や結果の解釈ができる。(Ⅱ-5, Ⅱ-6)

事前事後学習の方法

1. 医学系OSCE受験者向け配信動画を視聴
2. 実習後にも再度、医学系OSCE受験者向け配信動画の視聴、指導内容の復習

成績評価方法・基準

1. 出席状況、受講態度等により総合的に評価する。3/4以上の出席で共用試験OSCEの受験資格を得る。
2. 共用試験については、医療系大学間共用試験実施評価機構で定められた全国統一の到達基準により評価される。

○教 科 書

「診療参加型臨床実習に必要とされる技能と態度についての学修・評価項目」(医療系大学間共用試験実施評価機構)
「共用試験ガイドブック」(医療系大学間共用試験実施評価機構)
「医学系OSCE受験者向け配信動画」(医療系大学間共用試験実施評価機構)

○参 考 書

伴信太郎 「基礎的身体診察法」(VTR)全5巻 (メディカル情報センター)
メディカルインタビュー Cohen-Cloe SA, 監修 飯島克巳ほか (メディカル・サイエンス・インターナショナル)
医療面接の基本 津田 司 監修 日経メディカル (日経BP社)
フィジカルアセスメントのための診断学教育ビデオシリーズ 全10巻 by Donald W. Novey
小児診断学ビデオプログラム 全4巻 by Walter Tunnessen (日本語訳)

講義・実習：2205講義室、南別館 他（別途指示する）

年月日	曜日	時限	授業項目（内容）	コアカリ項目				担当者
				第1層	第2層	第3層	第4層	
R7.10.2	木	3, 4	オリエンテーション					委員長 医学教育担当教員 山本 幸代
〃	〃	5～8	診療録の記載の仕方（POS、problem list）および演習	CS	02	01	05.03	医学教育担当教員 山本 幸代
10.3	金	1～4	医療面接（患者へのアプローチ）VTR、解説 他	CS	01	01	01	医学概論 石丸 知宏
〃	〃	5～8	医療面接の進め方、取り方、実習	CS	01	01	02	医学概論 石丸 知宏
10.6	月	1～4	神経系の診かた（VTR、解説、実習）	CS	01	02	05	脳神経内科・診療内科 大成 圭子
10.7	火	1～2	精神障害者の診かた	CS	01	01	01,02	精神医学 吉村 玲児
〃	〃	3～4	心療内科患者の診かた	CS	01	02	01	脳神経内科・診療内科 兒玉 直樹
〃	〃	5～8	基本的臨床手技（静脈採血）	CS	03	02	01	医学教育担当教員 山本 幸代
10.8	水	2	外性器の診かた（解説）	PS	02	09,10	05	泌尿器科学 城嶋 和真
〃	〃	3～4	バイタルサインの取り方（VTRと解説）	CS	01	02	03	第1内科学 宮川 一平
〃	〃	5～7	バイタルサインの取り方（実習）	CS	01	02	03	第1内科学 宮川 一平
10.9	木	1～4	神経系の診かた（VTR、解説、実習）	CS	01	02	05	神経内科学 足立 弘明
〃	〃	5～8	神経系の診かた（実習）	CS	01	02	05	神経内科学 足立 弘明
10.10	金	1～8	救命医学（VTR、解説、実習）	CS	03	03	01,02	救急・集中治療医学 尾崎 将之
10.14	火	4～8	腹部の診かた（講義と実習）	CS	01	02	05,06	第3内科学 久米 惠一郎
10.15	水	3～4	四肢脊椎の診かた （VTR、解説）	PS	02	05	01～05	整形外科学 徳田 昂太郎
〃	〃	5～8	外科基本手技（VTRと解説）、実習	CS	03	02	01	第1外科学 山内 潤身
10.16	木	1～4	心臓・血管系の診かた（VTR、解説）	CS	01	02	05	第2内科学 荻ノ沢 泰司
〃	〃	5～8	心臓・血管系の診かた（実習）	CS	01	02	05	第2内科学 荻ノ沢 泰司
10.17	金	5～8	バイタルサインの取り方（実習）	CS	01	02	03	第1内科学 宮川 一平
10.20	月	1～4	肺・胸郭の診かた（解説）、実習	CS	01	02	01～05	呼吸器内科学 矢寺 和博
10.21	火	1～4	小児科の身体診察（解説）	CS	01	02	01,02 05,06	小児科学 深野 玲司
〃	〃	5～8	小児科の医療面接（解説、実習）	CS	01	01	01～03	小児科学 深野 玲司
10.22	水	1	頭頸部の診かた(講義)	CS	01	02	05	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学 河口 倫太郎
〃	〃	2～4	頭頸部の診かた(実習)	CS	01	02	06	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学 河口 倫太郎
10.23	木	5～7	感染対策（講義・実習）	CS	05	04	01～03	第2外科学 藤田 康博
10.24	金	1～8	救命医学 （VTR、解説、実習）	CS	03	03	01,02	救急・集中治療医学 尾崎 将之
10.27	月	3～4	医療面接のまとめと対策	CS	01	02	06	医学概論 石丸 知宏
〃	〃	5～6	産婦人科の診かた	PS	02	10	03	産科婦人科学 吉野 潔
〃	〃	7	乳腺・腋窩の診かた（VTR、解説、実習）	PS	03	04	17	第2外科学 田嶋 裕子
〃	〃	8～9	OSCE 注意事項 事前説明					医学教育担当教員 山本 幸代
10.28	火	5～8	身体診察（頭頸部、胸部、神経系、腹部、外科、救急）解説	CS	01	02	01～06	共用試験・教育小委員会
10.29	水	1～8	身体診察（頭頸部、胸部、神経系、腹部、外科、救急）実習	CS	01	02	01～06	共用試験・教育小委員会
11.3	木	1～8	身体診察（頭頸部、胸部、神経系、腹部、外科、救急）解説	CS	01	02	01～06	共用試験・教育小委員会
11.5	水	1～8	OSCE 本試験					委員長
11.6	木	1～5	OSCE 本試験					委員長
〃	〃	6～8	OSCE 講評・CBT事前説明					医学教育担当教員・情報管理センター 山本 幸代・大谷 誠

産業医学Ⅳ

（健康管理、メンタルヘルス、健康の保持増進対策）

【Occupational Health Ⅳ】

担当責任者 （医学部長）

ねらい

1．職域における健康管理実践のための基礎的能力を修得する。（健康管理に必要な基礎的事項の修得）
2．職域におけるメンタルヘルス活動実践のための基礎的能力を修得する。（メンタルヘルスに関する基礎的事項の修得）
3．職域における安全管理活動実践のための基礎的能力を修得する。（安全管理に必要な基礎的事項の修得）
4．職域における健康保持増進活動実践のための基礎的能力を修得する。（健康保持増進活動に必要な基礎的事項の修得）
5．職域における両立支援活動実践のための基礎的能力を修得する。（両立支援に必要な基礎的知識の修得）

学修目標

1. 健康管理に必要な基礎的事項の修得（産業医実務研修センター／産業保健経営学／災害産業保健センター）
1．健診の目的と意義について理解する。〈Ⅱ-8，Ⅲ-1〉
2．健診プログラムの立案及び評価の方法について理解する。〈Ⅱ-8，Ⅲ-1〉
3．健診の判定と事後措置、過重労働対策、復職診断について理解する。〈Ⅱ-8，Ⅲ-1〉
4．保健指導の方法論について理解する。〈Ⅱ-8，Ⅲ-1〉
5．企業活動における健診の位置づけについて理解する。〈Ⅱ-8，Ⅲ-1，Ⅲ-4〉

2. メンタルヘルスに関する基礎的事項の修得（産業精神保健学）
1．メンタルヘルス活動の目的と意義、概要について理解する。〈Ⅰ-2，Ⅱ-8，Ⅲ-1，Ⅲ-2，Ⅲ-3，Ⅲ-4〉
2．職域におけるメンタルヘルス問題の現状について理解する。〈Ⅰ-2，Ⅱ-8，Ⅲ-1，Ⅲ-2，Ⅲ-3，Ⅲ-4〉
3．メンタルヘルス対策の方法論（一次、二次、三次予防）について理解する。〈Ⅰ-2，Ⅱ-8，Ⅲ-1，Ⅲ-2，Ⅲ-3，Ⅲ-4〉
4．産業カウンセリングの意義と方法論について理解する。〈Ⅰ-2，Ⅱ-8，Ⅲ-1，Ⅲ-2，Ⅲ-3，Ⅲ-4〉
5．パンデミック下における職場のメンタルヘルス対策の重要性を理解する。〈Ⅰ-2，Ⅱ-8，Ⅲ-1，Ⅲ-2，Ⅲ-3，Ⅲ-4〉

3. 安全管理に必要な基礎的事項の修得（作業関連疾患予防学）
1．安全管理活動の目的と意義について理解する。〈Ⅰ-5，Ⅱ-8，Ⅱ-11，Ⅲ-1，Ⅲ-4〉
2．職域における安全問題の現状について理解する。〈Ⅰ-5，Ⅱ-8，Ⅲ-1，Ⅲ-2，Ⅲ-4〉
3．安全科学の理論について理解する。〈Ⅰ-5，Ⅱ-8，Ⅲ-1，Ⅲ-2〉
4．労働安全衛生マネジメントシステムについて理解する。〈Ⅰ-5，Ⅱ-8，Ⅲ-1，Ⅲ-2，Ⅲ-3〉
5．職域における安全対策の方法論を理解する。〈Ⅰ-5，Ⅱ-8，Ⅲ-1，Ⅲ-2，Ⅲ-3〉

4. 健康保持増進活動に必要な基礎的事項の修得（健康開発科学）
1．健康保持増進活動の目的と意義について理解する。〈Ⅰ-2，Ⅱ-11〉
2．健康の生理学について理解する。〈Ⅱ-1，Ⅱ-3〉
3．健康科学の方法論について理解する。〈Ⅰ-5，Ⅱ-11，Ⅲ-1，Ⅲ-2，Ⅲ-4，Ⅲ-5，Ⅳ-11〉
4．職域と地域における喫煙対策について理解する。〈Ⅰ-2，Ⅱ-8，Ⅲ-1，Ⅲ-2，Ⅲ-4，Ⅲ-5〉
5．健康保持増進活動の介入手法と評価方法について理解する。〈Ⅰ-5，Ⅱ-8，Ⅱ-11，Ⅲ-1，Ⅲ-2，Ⅲ-4，Ⅳ-11〉

5. 両立支援に必要な基礎的知識の修得（両立支援科学）
1．両立支援適正配置の目的と意義について理解する。〈Ⅲ-1，Ⅲ-2〉
2．両立支援の評価方法について理解する。〈Ⅳ-1〉
3．両立支援評価方法について患者に提案を行う。〈Ⅳ-8〉

事前事後学習の方法

1. 産業保健経営学

1. 教科書を利用して、産業保健の活動の全体像について理解する(事前学習)。
2. 講義資料を参照しながら講義中にレポートを作成またはレポート発表を求める、資料を基にチェックを行う(事後学習)。

2. 両立支援科学

1. 事後措置・適正配置　厚生労働省のHP「治療と仕事の両立支援のガイドライン」の3. 留意事項を事前に読んで講義に当たる(事前学習)。
2. 講義資料を参照しながら講義中にレポートを作成またはレポート発表を求める、資料を基にチェックを行う(事後学習)。

3. 作業関連疾患予防学

1. 新聞・ニュース等で報道される最新の労働災害事例について情報を取得し、理解するように心がけること(事前学習)。
2. 講義後に講義内容に関する小テストおよびレポート課題を実施し、労働安全衛生マネジメントシステム、安全理論に対する理解度を総合的に評価する(事後学習)。

4. 健康開発科学

健康増進に関する講義

1. 厚生労働省「健康づくりのための身体活動基準2013」及び「健康づくりのための身体活動指針(アクティブガイド)」の内容を確認する(事前学習)。
2. 自分に合わせた最適な運動プランを計画・実施する(事後学習)。

受動喫煙対策に関する講義

1. 厚生労働省「改正健康増進法」「職場における受動喫煙対策のためのガイドライン」の内容を確認する(事前学習)。
2. 自分が利用する施設や飲食店などの喫煙・受動喫煙対策の状況を把握し、改善のための助言ができる(事後学習)。

5. 産業精神保健学

1. 受講に先がけ教科書あるいは指定参考書の該当部分を予習する(事前学習)。
2. 授業で配布した資料を再確認し修得した知識の定着を図る(事後学習)。

6. 産業医実務研修センター

健康診断・保健指導

1. 教科書を利用して、授業項目に関連する内容を理解する(事前学習)。
2. 講義後の小テストによって学習内容の理解を確認し、間違えた部分を中心によく復習する(事後学習)。

健康教育

1. 自身が産業医になり研修講師を行う際、「研修テーマ」「その対象者の属性」として、現時点で関心を持てるものを1つ以上挙げてください。(事前学習)。
2. 授業時間に学んだことや資料を参考に、自身が「誰かに何かを教える」場合、教育設計の知見に基いた準備をしてください(事後学習)。

7. 災害産業保健センター

1. 事後措置・適正配置　厚生労働省のHP「治療と仕事の両立支援のガイドライン」の3. 留意事項を事前に読んで講義に当たる(事前学習)。
2. 講義資料を参照しながら講義中にレポートを作成またはレポート発表を求める、資料を基にチェックを行う(事後学習)。

成績評価方法・基準

1～7を統合し100点満点換算して、60点以上を合格とする。

1. 産業保健経営学

レポートの評価を100点満点換算する。

2. 両立支援科学

レポートの評価を100点満点換算する。

3. 作業関連疾患予防学

小テスト・レポートの評価を100点満点換算する。

4. 健康開発科学

小テスト(選択式)の評価を100点満点換算する。

小テストの項目は1)本日の講義で得た新しい知識について 2)本日の講義で不要と思った点についてとする。

5. 産業精神保健学

小テスト(選択式)の評価を100点満点換算する。

6. 産業医実務研修センター

小テスト(選択式)の評価を100点満点換算する。

7. 災害産業保健センター

レポートの評価を100点満点換算する。

○教 科 書

国民衛生の動向 最新版(厚生統計協会)

労働衛生のしおり 最新版(中央労働災害防止協会)

○指定参考書

なし

○参 考 書

要説産業精神保健(診断と治療社)

他は随時紹介する

講義:2205講義室

年月日	曜日	時限	授業項目（内容）	コアカリ項目				担当者
				第1層	第2層	第3層	第4層	
R7.11.19	水	5	適正配置・両立支援1 (レポート提出)	SO	04	06	01	永田 昌子 (両立支援科学)
11.19	水	6	適正配置・両立支援2	SO	04	06	01	永田 昌子 (両立支援科学)
11.19	水	7	健康教育1 (小テスト)	SO	04	06	01	柴田 喜幸 (産業医実務研修センター)
11.19	水	8	健康教育2 (小テスト)	SO	04	06	01	柴田 喜幸 (産業医実務研修センター)
11.20	木	5	企業活動としての産業保健	SO	04	06	01	森 晃爾 (産業保健経営学)
11.20	木	6	職域における健康管理(総論) (レポート提出)	SO	04	06	01	小田上 公法 (産業保健経営学)
11.20	木	7	健康危機管理(新興感染症を含む) (レポート提出)	SO	04	06	01	立石 清一郎 (災害産業保健センター)
11.20	木	8	健康科学総論 (小テスト レポート提出)	SO	04	06	01	大和 浩 (健康開発科学)
11.25	火	5	職域における健康増進の実際 (小テスト レポート提出)	SO	04	06	01	大和 浩 (健康開発科学)
11.25	火	6	健康保持増進対策実習1	SO	04	06	01	大和 浩、姜 英、朝長 諒 (健康開発科学)
11.25	火	7	健康保持増進対策実習2 (小テスト レポート提出)	SO	04	06	01	大和 浩、姜 英、朝長 諒 (健康開発科学)
11.25	火	8	職域・地域における喫煙対策 (小テスト レポート提出)	SO	04	06	01	大和 浩 (健康開発科学)
11.28	金	1	健康診断・保健指導1 (小テスト)	SO	04	06	01	田口 要人 (産業医実務研修センター)
11.28	金	2	健康診断・保健指導2 (小テスト)	SO	04	06	01	田口 要人 (産業医実務研修センター)
11.28	金	3	職場のメンタルヘルス-総論	SO	04	06	01	江口 尚 (産業精神保健学)
11.28	金	4	職場のメンタルヘルス-対策の実際-事例研究	SO	04	06	01	江口 尚 (産業精神保健学)
12.4	木	5	メンタルヘルスおよびストレスの調査(実習)	SO	04	06	01	日野 亜弥子 (産業精神保健学)
12.4	木	6	職場環境改善の方法(実習)	SO	04	06	01	真船 浩介 (産業精神保健学)
12.4	木	7	メンタルヘルス教育	SO	04	06	01	江口 尚 (産業精神保健学)
12.4	木	8	メンタルヘルス不調者の職場復帰支援 (小テスト)	SO	04	06	01	江口 尚 (産業精神保健学)
12.5	金	1	産業カウンセリング	SO	04	06	01	真船 浩介 (産業精神保健学)
12.5	金	2	労働安全衛生マネジメントシステム (小テスト レポート提出)	SO	04	06	01	大神 明 (作業関連疾患予防学)
12.5	金	3	安全概論 (小テスト レポート提出)	SO	04	06	01	大神 明 (作業関連疾患予防学)
12.5	金	4	労働現場における事故事例研究 (小テスト レポート提出)	SO	04	06	01	大神 明 (作業関連疾患予防学)

5 年 次

授業科目	頁	開講 前学期	開講 後学期
産業医学V （産業医学現場実習、 産業医学シミュレーション実習）	325		○

令和７年度　時間割

５年次　前学期

４　／　１（火）～　４　／３０（水）

1限　8:50 ～ 9:40　　5限　13:40 ～14:30　　9限　17:40～18:30
2限　9:50 ～10:40　　6限　14:40 ～15:30　　10限　18:40～19:30
3限 10:50 ～11:40　　7限　15:40 ～16:30
4限 11:50 ～12:40　　8限　16:40 ～17:30

	月	火	水	木	金
		1日	2日	3日	4日
1限		臨床実習	臨床実習	臨床実習	臨床実習
2限					
3限					
4限					
5限					
6限					
7限					
8限					
	7日	8日	9日	10日	11日
1限	臨床実習	臨床実習	臨床実習	臨床実習	臨床実習
2限					
3限					
4限					
5限					
6限					
7限					
8限					
	14日	15日	16日	17日	18日
1限	臨床実習	臨床実習	臨床実習	臨床実習	臨床実習
2限					
3限					
4限					
5限					
6限					
7限					
8限					
	21日	22日	23日	24日	25日
1限	臨床実習	臨床実習	臨床実習	臨床実習	臨床実習
2限					
3限					
4限					
5限					
6限					
7限					
8限					
	28日	29日	30日		
1限	開学記念日	昭和の日	模擬試験		
2限					
3限					
4限					
5限					
6限					
7限					
8限					

令和７年度　時間割

５年次　前学期

５　／　１（木）～　５　／３０（金）

1限　8:50 ～ 9:40　5限　13:40 ～14:30　9限　17:40～18:30
2限　9:50 ～10:40　6限　14:40 ～15:30　10限　18:40～19:30
3限　10:50 ～11:40　7限　15:40 ～16:30
4限　11:50 ～12:40　8限　16:40 ～17:30

	月	火	水	木	金
				1日	2日
1限				臨床実習	臨床実習
2限					
3限					
4限					
5限					
6限					
7限					
8限					
	5日	6日	7日	8日	9日
1限	こどもの日	振替休日	健康診断	臨床実習	臨床実習
2限					
3限					
4限					
5限			臨床実習		
6限					
7限					
8限					
	12日	13日	14日	15日	16日
1限	臨床実習	臨床実習	臨床実習	臨床実習	臨床実習
2限					
3限					
4限					
5限					
6限					
7限					
8限					
	19日	20日	21日	22日	23日
1限	臨床実習	臨床実習	臨床実習	臨床実習	臨床実習
2限					
3限					
4限					
5限					
6限					
7限					
8限					
	26日	27日	28日	29日	30日
1限	臨床実習	臨床実習	臨床実習	臨床実習	臨床実習
2限					
3限					
4限					
5限					
6限					
7限					
8限					

令和７年度　時間割

５年次　前学期

６　／　２（月）～　６　／３０（月）

1限　8:50 ～ 9:40　　5限　13:40 ～14:30　　9限　17:40～18:30
2限　9:50 ～10:40　　6限　14:40 ～15:30　　10限　18:40～19:30
3限　10:50 ～11:40　　7限　15:40 ～16:30
4限　11:50 ～12:40　　8限　16:40 ～17:30

	月	火	水	木	金
	2日	3日	4日	5日	6日
1限	臨床実習	臨床実習	臨床実習	臨床実習	臨床実習
2限					
3限					
4限					
5限					
6限					
7限					
8限					
	9日	10日	11日	12日	13日
1限	臨床実習	臨床実習	臨床実習	臨床実習	臨床実習
2限					
3限					
4限					
5限					
6限					
7限					
8限					
	16日	17日	18日	19日	20日
1限	臨床実習	臨床実習	臨床実習	臨床実習	臨床実習
2限					
3限					
4限					
5限					
6限					
7限					
8限					
	23日	24日	25日	26日	27日
1限	臨床実習	臨床実習	臨床実習	臨床実習	臨床実習
2限					
3限					
4限					
5限					
6限					
7限					
8限					
	30日				
1限	臨床実習				
2限					
3限					
4限					
5限					
6限					
7限					
8限					

令和７年度　時間割

５年次　前学期

７　／　１（火）～　７　／３１（木）

1限　8:50 ～ 9:40　　5限　13:40 ～14:30　　9限　17:40～18:30
2限　9:50 ～10:40　　6限　14:40 ～15:30　　10限　18:40～19:30
3限 10:50 ～11:40　　7限　15:40 ～16:30
4限 11:50 ～12:40　　8限　16:40 ～17:30

	月	火	水	木	金
		1日	2日	3日	4日
1限		臨床実習	臨床実習	臨床実習	臨床実習
2限					
3限					
4限					
5限					
6限					
7限					
8限					
	7日	8日	9日	10日	11日
1限	臨床実習	臨床実習	臨床実習	臨床実習	臨床実習
2限					
3限					
4限					
5限					
6限					
7限					
8限					
	14日	15日	16日	17日	18日
1限	臨床実習	臨床実習	臨床実習	臨床実習	臨床実習
2限					
3限					
4限					
5限					
6限					
7限					
8限					
	21日	22日	23日	24日	25日
1限	海の日	臨床実習	臨床実習	臨床実習	臨床実習
2限					
3限					
4限					
5限					
6限					
7限					
8限					
	28日	29日	30日	31日	
1限	臨床実習（予備日）	臨床実習（予備日）	臨床実習（予備日）	臨床実習（予備日）	
2限					
3限					
4限					
5限					
6限					
7限					
8限					

令和７年度　時間割

５年次　前学期

８　／　１（金）～　８　／２９（金）

1限　8:50 ～ 9:40　5限　13:40 ～14:30　9限　17:40～18:30
2限　9:50 ～10:40　6限　14:40 ～15:30　10限　18:40～19:30
3限 10:50 ～11:40　7限　15:40 ～16:30
4限 11:50 ～12:40　8限　16:40 ～17:30

	月	火	水	木	金
					1日
1限					臨床実習（予備日）
2限					
3限					
4限					
5限					
6限					
7限					
8限					
	4日	5日	6日	7日	8日
1限					
2限					
3限					
4限					
5限					
6限					
7限					
8限					
	11日	12日	13日	14日	15日
1限	山の日				
2限					
3限					
4限					
5限					
6限					
7限					
8限					
	18日	19日	20日	21日	22日
1限	臨床実習	臨床実習	臨床実習	臨床実習	臨床実習
2限					
3限					
4限					
5限					
6限					
7限					
8限					
	25日	26日	27日	28日	29日
1限	臨床実習	臨床実習	臨床実習	臨床実習	臨床実習
2限					
3限					
4限					
5限					
6限					
7限					
8限					

令和７年度　時間割

５年次　前学期

９　／　１（月）～　９　／３０（火）

1限　8:50 ～ 9:40　5限　13:40 ～14:30　9限　17:40～18:30
2限　9:50 ～10:40　6限　14:40 ～15:30　10限　18:40～19:30
3限　10:50 ～11:40　7限　15:40 ～16:30
4限　11:50 ～12:40　8限　16:40 ～17:30

	月	火	水	木	金
	1日	2日	3日	4日	5日
1限	臨床実習	臨床実習	臨床実習	臨床実習	臨床実習
2限					
3限					
4限					
5限					
6限					
7限					
8限					
	8日	9日	10日	11日	12日
1限	臨床実習	臨床実習	臨床実習	臨床実習	臨床実習
2限					
3限					
4限					
5限					
6限					
7限					
8限					
	15日	16日	17日	18日	19日
1限	敬老の日	臨床実習	臨床実習	臨床実習	臨床実習
2限					
3限					
4限					
5限					
6限					
7限					
8限					
	22日	23日	24日	25日	26日
1限	臨床実習	秋分の日	臨床実習	臨床実習	臨床実習
2限					
3限					
4限					
5限					
6限					
7限					
8限					
	29日	30日			
1限	産業医学Ⅴ 産業医学 シミュレーション 実習	産業医学Ⅴ 産業医学 シミュレーション 実習			
2限					
3限					
4限					
5限					
6限					
7限					
8限					

令和７年度　時間割

５年次　後学期

１０／　１（水）～　１０／３１（金）

1限　8:50 ～ 9:40　5限　13:40 ～14:30　9限　17:40～18:30
2限　9:50 ～10:40　6限　14:40 ～15:30　10限　18:40～19:30
3限 10:50 ～11:40　7限　15:40 ～16:30
4限 11:50 ～12:40　8限　16:40 ～17:30

	月	火	水	木	金
			1日	2日	3日
1限			産 業 医 学 Ⅴ 産業医学シミュレーション実習		
2限					
3限					
4限					
5限					
6限					
7限					
8限					
	6日	7日	8日	9日	10日
1限	臨床実習	臨床実習	臨床実習	臨床実習	臨床実習
2限					
3限					
4限					
5限					
6限					
7限					
8限					
	13日	14日	15日	16日	17日
1限	スポーツの日	臨床実習	臨床実習	臨床実習	臨床実習
2限					
3限					
4限					
5限					
6限					
7限					
8限					
	20日	21日	22日	23日	24日
1限	臨床実習	臨床実習	臨床実習	臨床実習	臨床実習
2限					
3限					
4限					
5限					
6限					
7限					
8限					
	27日	28日	29日	30日	31日
1限	臨床実習	臨床実習	臨床実習	臨床実習	臨床実習
2限					
3限					
4限					
5限					
6限					
7限					
8限					

令和７年度　時間割

５年次　後学期

１１／　３（月）～　１１／２８（金）

1限　8:50 ～ 9:40　5限　13:40 ～14:30　9限　17:40～18:30
2限　9:50 ～10:40　6限　14:40 ～15:30　10限　18:40～19:30
3限 10:50 ～11:40　7限　15:40 ～16:30
4限 11:50 ～12:40　8限　16:40 ～17:30

	月	火	水	木	金
1限					
2限					
3限					
4限					
5限					
6限					
7限					
8限					
	3日	4日	5日	6日	7日
1限					
2限					
3限					
4限	文化の日	臨床実習	臨床実習	臨床実習	臨床実習
5限					
6限					
7限					
8限					
	10日	11日	12日	13日	14日
1限					
2限					
3限					
4限	臨床実習	臨床実習	臨床実習	臨床実習	臨床実習
5限					
6限					
7限					
8限					
	17日	18日	19日	20日	21日
1限					
2限					
3限					
4限					
5限					
6限					
7限					
8限					
	24日	25日	26日	27日	28日
1限					
2限					
3限					
4限	振替休日		総合試験Ⅱ	総合試験Ⅱ	
5限					
6限					医学部 進路説明会
7限					
8限					

令和７年度　時間割

５年次　後学期

１２／　１（月）～　１２／２６（金）

1限　8:50 ～ 9:40　5限　13:40 ～14:30　9限　17:40～18:30
2限　9:50 ～10:40　6限　14:40 ～15:30　10限　18:40～19:30
3限 10:50 ～11:40　7限　15:40 ～16:30
4限 11:50 ～12:40　8限　16:40 ～17:30

	月	火	水	木	金
	1日	2日	3日	4日	5日
1限	産業医学Ⅴ 産業医学現場実習				
2限					
3限					
4限					
5限					
6限					
7限					
8限					
	8日	9日	10日	11日	12日
1限	臨床実習	臨床実習	臨床実習	臨床実習	臨床実習
2限					
3限					
4限					
5限					
6限					
7限					
8限					
	15日	16日	17日	18日	19日
1限	臨床実習	臨床実習	臨床実習	臨床実習	臨床実習
2限					
3限					
4限					
5限					
6限					
7限					
8限					
	22日	23日	24日	25日	26日
1限	臨床実習 （予備日）	臨床実習 （予備日）	臨床実習 （予備日）	臨床実習 （予備日）	臨床実習 （予備日）
2限					
3限					
4限					
5限					
6限					
7限					
8限					
	29日	30日	31日		
1限					
2限					
3限					
4限					
5限					
6限					
7限					
8限					

令和７年度　時間割

５年次　後学期

１　／　５（月）～　１　／３０（金）

1限　8:50 ～ 9:40　5限　13:40 ～14:30　9限　17:40～18:30
2限　9:50 ～10:40　6限　14:40 ～15:30　10限　18:40～19:30
3限　10:50 ～11:40　7限　15:40 ～16:30
4限　11:50 ～12:40　8限　16:40 ～17:30

	月	火	水	木	金
				1日	2日
1限				元日	
2限					
3限					
4限					
5限					
6限					
7限					
8限					
	5日	6日	7日	8日	9日
1限	臨床実習	臨床実習	臨床実習	臨床実習	臨床実習
2限					
3限					
4限					
5限					
6限					
7限					
8限					
	12日	13日	14日	15日	16日
1限	成人の日	臨床実習	臨床実習	臨床実習	臨床実習
2限					
3限					
4限					
5限					
6限					
7限					
8限					
	19日	20日	21日	22日	23日
1限	臨床実習	臨床実習	臨床実習	臨床実習	臨床実習
2限					
3限					
4限					
5限					
6限					
7限					
8限					
	26日	27日	28日	29日	30日
1限	臨床実習	臨床実習	臨床実習	臨床実習	臨床実習
2限					
3限					
4限					
5限					
6限					
7限					
8限					

令和７年度　時間割

５年次　後学期

２　／　２（月）～　２　／２７（金）

1限　8:50 ～ 9:40　5限　13:40 ～14:30　9限　17:40～18:30
2限　9:50 ～10:40　6限　14:40 ～15:30　10限　18:40～19:30
3限 10:50 ～11:40　7限　15:40 ～16:30
4限 11:50 ～12:40　8限　16:40 ～17:30

	月	火	水	木	金
	2日	3日	4日	5日	6日
1限	臨床実習	臨床実習	臨床実習	臨床実習	臨床実習
2限					
3限					
4限					
5限					
6限					
7限					
8限					
	9日	10日	11日	12日	13日
1限	臨床実習	臨床実習	建国記念の日	臨床実習	臨床実習
2限					
3限					
4限					
5限					
6限					
7限					
8限					
	16日	17日	18日	19日	20日
1限	臨床実習	臨床実習	臨床実習	臨床実習	臨床実習
2限					
3限					
4限					
5限					
6限					
7限					
8限					
	23日	24日	25日	26日	27日
1限	天皇誕生日	臨床実習	臨床実習	臨床実習	臨床実習
2限					
3限					
4限					
5限					
6限					
7限					
8限					

令和７年度　時間割

５年次　後学期

３　／　２（月）～　３　／１３（金）

1限　8:50 ～ 9:40　5限　13:40 ～14:30　9限　17:40～18:30
2限　9:50 ～10:40　6限　14:40 ～15:30　10限　18:40～19:30
3限　10:50 ～11:40　7限　15:40 ～16:30
4限　11:50 ～12:40　8限　16:40 ～17:30

	月	火	水	木	金
	2日	3日	4日	5日	6日
1限	臨床実習	卒業式	臨床実習	臨床実習	臨床実習
2限					
3限					
4限					
5限					
6限					
7限					
8限					
	9日	10日	11日	12日	13日
1限	臨床実習	臨床実習	臨床実習	臨床実習	臨床実習
2限					
3限					
4限					
5限					
6限					
7限					
8限					
	16日	17日	18日	19日	20日
1限					春分の日
2限					
3限					
4限					
5限					
6限					
7限					
8限					
	23日	24日	25日	26日	27日
1限					
2限					
3限					
4限					
5限					
6限					
7限					
8限					
	30日	31日			
1限					
2限					
3限					
4限					
5限					
6限					
7限					
8限					

産業医学Ⅴ

（産業医学現場実習、産業医学シミュレーション実習）

【Occupational HealthⅤ】

担当責任者　産業医学教育小委員会委員長

ねらい

1. 産業現場において産業医と接し、その実務を観察し、産業保健の意義と産業医の使命と活動に対する理解を深める。
2. 産業医とともにその活動を支える方々の役割を理解する。
3. 最近の労働者の健康障害およびその要因について理解する。
4. 企業や団体の役割、業務内容、産業医への期待等を理解する。
5. 産業現場で必要な労働衛生の技術を理解し、産業医に必要な知識や技能を修得する。

学修目標

1. 産業医活動全般について説明できる。（Ⅲ-1, Ⅲ-2, Ⅲ-3, Ⅲ-4, Ⅲ-5）
2. 事業場などの業務内容および産業保健上の課題について説明できる。（Ⅲ-1）
3. 最近の労働者の健康障害およびその要因について説明できる。（Ⅱ-8, Ⅲ-1）
4. 組織の中での産業医の立場および産業医として求められる役割について説明できる。（Ⅲ-1, Ⅲ-2, Ⅲ-3, Ⅲ-4, Ⅲ-5）
5. 産業医像をイメージし、産業医のやりがいについて理解する。（Ⅲ-4）
6. 局所排気装置の点検や使用の方法を説明できる。
7. 労働衛生保護具を正しく着用できる。

事前事後学習の方法

指導教員及び指導産業医の指示に従い、参考書ならびに論文で復習をすること。

成績評価方法・基準

出欠状況（欠席は原則認めない）、実習態度および実習報告書の内容により総合的に判定する。

○ 教 科 書

指導教員及び指導産業医の指示に従う。

○ 参 考 書

厚生労働省労働基準局編「令和6年度　労働衛生のしおり」（中央労働災害防止協会）

産業医の職務Q＆A編集委員会編「産業医の職務Q&A（第10版）増補改訂版」（産業医学振興財団）

産業医学推進研究会編「産業保健ストラテジー　全5巻」（バイオコミュニケーションズ㈱）

その他、指導教員及び指導産業医の指示に従う。

年月日	曜日	時限	授業項目（内容）	コアカリ項目				担当者
				第1層	第2層	第3層	第4層	
			オリエンテーション（3回実施） ※日程等は決まり次第掲示等で通知する	SO	01	04	01	産業医学教育小委員会
R7.9.29～10.3	月～金	1～8	産業医学シミュレーション実習	SO	01	04	01-04	各講座等指導教員
R7.12.1～12.5	月～金	1～8	産業医学現場実習	SO	01	04	01-04	各事業場指導産業医

6 年 次

授業科目	頁	開講 前学期	開講 後学期
症候論統合講義	337	○	
産業医学 VI（治療と職業生活との両立支援）	341	○	

令和７年度　時間割

６年次　前学期

４　／　１（火）～　４　／30（水）

1限　8:50 ～ 9:40　5限　13:40 ～14:30　9限　17:40～18:30
2限　9:50 ～10:40　6限　14:40 ～15:30　10限　18:40～19:30
3限 10:50 ～11:40　7限　15:40 ～16:30
4限 11:50 ～12:40　8限　16:40 ～17:30

	月	火	水	木	金
		1日	2日	3日	4日
1限		臨床実習	臨床実習	臨床実習	臨床実習
2限					
3限					
4限					
5限					
6限					
7限					
8限					
	7日	8日	9日	10日	11日
1限	臨床実習	臨床実習	臨床実習	臨床実習	臨床実習
2限					
3限					
4限					
5限					
6限					Post-CC OSCE 説明会 ①
7限					
8限					
	14日	15日	16日	17日	18日
1限	臨床実習	臨床実習	臨床実習	臨床実習	臨床実習
2限					
3限					
4限					
5限					
6限					
7限					
8限					
	21日	22日	23日	24日	25日
1限	健康診断	臨床実習	臨床実習	臨床実習	臨床実習
2限					
3限					
4限					
5限	臨床実習		健康診断		
6限					
7限					
8限					
	28日	29日	30日		
1限	開学記念日	昭和の日	臨床実習		
2限					
3限					
4限					
5限					
6限					
7限					
8限					

令和７年度　時間割

６年次　前学期

５　／　１（木）～　５　／30（金）

1限　8:50 ～ 9:40　5限　13:40 ～14:30　9限　17:40～18:30
2限　9:50 ～10:40　6限　14:40 ～15:30　10限　18:40～19:30
3限　10:50 ～11:40　7限　15:40 ～16:30
4限　11:50 ～12:40　8限　16:40 ～17:30

	月	火	水	木	金
				1日	2日
1限				臨床実習	臨床実習
2限					
3限					
4限					
5限					
6限					
7限					
8限					
	5日	6日	7日	8日	9日
1限	こどもの日	振替休日	臨床実習	臨床実習	臨床実習
2限					
3限					
4限					
5限					
6限					
7限					
8限					
	12日	13日	14日	15日	16日
1限	臨床実習	臨床実習	臨床実習	臨床実習	臨床実習
2限					
3限					
4限					
5限					
6限					
7限					
8限					
	19日	20日	21日	22日	23日
1限	臨床実習	臨床実習	臨床実習	臨床実習	臨床実習
2限					
3限					
4限					
5限					
6限					
7限					
8限					
	26日	27日	28日	29日	30日
1限	臨床実習	臨床実習	臨床実習	臨床実習	臨床実習
2限					
3限					
4限					
5限					
6限					
7限					
8限					

令和７年度　時間割

６年次　前学期

６　／　２（月）～　６　／30（月）

1限　8:50 ～ 9:40　5限　13:40 ～14:30　9限　17:40～18:30
2限　9:50 ～10:40　6限　14:40 ～15:30　10限　18:40～19:30
3限　10:50 ～11:40　7限　15:40 ～16:30
4限　11:50 ～12:40　8限　16:40 ～17:30

	月	火	水	木	金
	2日	3日	4日	5日	6日
1限	臨床実習	臨床実習	臨床実習	臨床実習	臨床実習
2限					
3限					
4限					
5限					
6限					
7限					
8限					
	9日	10日	11日	12日	13日
1限	臨床実習	臨床実習	臨床実習	臨床実習	臨床実習
2限					
3限					
4限					
5限					
6限					
7限					
8限					
	16日	17日	18日	19日	20日
1限	臨床実習	臨床実習	臨床実習	臨床実習	臨床実習
2限					
3限					
4限					
5限					
6限					
7限					
8限					
	23日	24日	25日	26日	27日
1限	臨床実習	臨床実習	臨床実習	臨床実習	臨床実習
2限					
3限					
4限					
5限					
6限					
7限					
8限					
	30日				
1限	臨床実習				
2限					
3限					
4限					
5限					
6限					
7限					
8限					

令和７年度　時間割

6年次　前学期

７　／　１（火）～　７　／３１（木）

1限　8:50 ～ 9:40　　5限　13:40 ～14:30　　9限　17:40～18:30
2限　9:50 ～10:40　　6限　14:40 ～15:30　　10限　18:40～19:30
3限 10:50 ～11:40　　7限　15:40 ～16:30
4限 11:50 ～12:40　　8限　16:40 ～17:30

	月	火	水	木	金
		1日	2日	3日	4日
1限		臨床実習	臨床実習	臨床実習	臨床実習
2限					
3限					
4限					
5限					
6限					
7限					
8限					
	7日	8日	9日	10日	11日
1限	模擬試験Ⅰ	模擬試験Ⅰ	産業医学Ⅵ 1	産業医学Ⅵ 9	産業医学Ⅵ 17
2限			産業医学Ⅵ 2	産業医学Ⅵ 10	産業医学Ⅵ 18
3限			産業医学Ⅵ 3	産業医学Ⅵ 11	産業医学Ⅵ 19
4限			産業医学Ⅵ 4	産業医学Ⅵ 12	産業医学Ⅵ 20
5限			産業医学Ⅵ 5	産業医学Ⅵ 13	産業医学Ⅵ 21
6限			産業医学Ⅵ 6	産業医学Ⅵ 14	産業医学Ⅵ 22
7限			産業医学Ⅵ 7	産業医学Ⅵ 15	産業医学Ⅵ 23
8限			産業医学Ⅵ 8	産業医学Ⅵ 16	産業医学Ⅵ 24
	14日	15日	16日	17日	18日
1限	産業医学Ⅵ 25	産業医学Ⅵ 33	Post-CC OSCE トレーニング	Post-CC OSCE トレーニング	Post-CC OSCE トレーニング
2限	産業医学Ⅵ 26	産業医学Ⅵ 34			
3限	産業医学Ⅵ 27	産業医学Ⅵ 35			
4限	産業医学Ⅵ 28	産業医学Ⅵ 36			
5限	産業医学Ⅵ 29				
6限	産業医学Ⅵ 30				
7限	産業医学Ⅵ 31				
8限	産業医学Ⅵ 32				
	21日	22日	23日	24日	25日
1限	海の日	Post-CC OSCE トレーニング			(7/25、26) Post-CC OSCE
2限					
3限					
4限					
5限					
6限					
7限					
8限					
	28日	29日	30日	31日	
1限	（夏季特別学習指導）	（夏季特別学習指導）	（夏季特別学習指導）	（夏季特別学習指導）	
2限					
3限					
4限					
5限					
6限					
7限					
8限					

令和７年度　時間割

６年次　前学期

８　／　１（金）～　８　／２９（金）

1限　8:50 ～ 9:40　5限　13:40 ～14:30　9限　17:40～18:30
2限　9:50 ～10:40　6限　14:40 ～15:30　10限　18:40～19:30
3限 10:50 ～11:40　7限　15:40 ～16:30
4限 11:50 ～12:40　8限　16:40 ～17:30

	月	火	水	木	金
					1日
1限					（夏季特別学習指導）
2限					
3限					
4限					
5限					
6限					
7限					
8限					
	4日	5日	6日	7日	8日
1限					
2限					
3限					
4限					
5限					
6限					
7限					
8限					
	11日	12日	13日	14日	15日
1限	山の日				
2限					
3限					
4限					
5限					
6限					
7限					
8限					
	18日	19日	20日	21日	22日
1限	症候論統合講義 1	症候論統合講義 9	症候論統合講義 17		
2限	症候論統合講義 2	症候論統合講義 10	症候論統合講義 18		
3限	症候論統合講義 3	症候論統合講義 11	症候論統合講義 19	症候論統合講義 25	
4限	症候論統合講義 4	症候論統合講義 12	症候論統合講義 20	症候論統合講義 26	
5限	症候論統合講義 5	症候論統合講義 13	症候論統合講義 21	症候論統合講義 27	
6限	症候論統合講義 6	症候論統合講義 14	症候論統合講義 22	症候論統合講義 28	
7限	症候論統合講義 7	症候論統合講義 15	症候論統合講義 23	症候論統合講義 29	症候論統合講義 31
8限	症候論統合講義 8	症候論統合講義 16	症候論統合講義 24	症候論統合講義 30	症候論統合講義 32
	25日	26日	27日	28日	29日
1限	症候論統合講義 33	症候論統合講義 39	症候論統合講義 45		症候論統合講義 59
2限	症候論統合講義 34	症候論統合講義 40	症候論統合講義 46		症候論統合講義 60
3限			症候論統合講義 47	症候論統合講義 53	症候論統合講義 61
4限			症候論統合講義 48	症候論統合講義 54	症候論統合講義 62
5限	症候論統合講義 35	症候論統合講義 41	症候論統合講義 49	症候論統合講義 55	症候論統合講義 63
6限	症候論統合講義 36	症候論統合講義 42	症候論統合講義 50	症候論統合講義 56	症候論統合講義 64
7限	症候論統合講義 37	症候論統合講義 43	症候論統合講義 51	症候論統合講義 57	症候論統合講義 65
8限	症候論統合講義 38	症候論統合講義 44	症候論統合講義 52	症候論統合講義 58	症候論統合講義 66

令和７年度　時間割

6年次　前学期

９　／　１（月）～　９　／30（火）

1限　8:50 ～ 9:40　　5限　13:40 ～14:30　　9限　17:40～18:30
2限　9:50 ～10:40　　6限　14:40 ～15:30　　10限　18:40～19:30
3限 10:50 ～11:40　　7限　15:40 ～16:30
4限 11:50 ～12:40　　8限　16:40 ～17:30

	月	火	水	木	金
	1日	2日	3日	4日	5日
1限	症候論統合講義　67	症候論統合講義　75	症候論統合講義　83	症候論統合講義　91	症候論統合講義　97
2限	症候論統合講義　68	症候論統合講義　76	症候論統合講義　84	症候論統合講義　92	症候論統合講義　98
3限	症候論統合講義　69	症候論統合講義　77	症候論統合講義　85		症候論統合講義　99
4限	症候論統合講義　70	症候論統合講義　78	症候論統合講義　86		症候論統合講義　100
5限	症候論統合講義　71	症候論統合講義　79	症候論統合講義　87	症候論統合講義　93	
6限	症候論統合講義　72	症候論統合講義　80	症候論統合講義　88	症候論統合講義　94	
7限	症候論統合講義　73	症候論統合講義　81	症候論統合講義　89	症候論統合講義　95	症候論統合講義　101
8限	症候論統合講義　74	症候論統合講義　82	症候論統合講義　90	症候論統合講義　96	症候論統合講義　102
	8日	9日	10日	11日	12日
1限	症候論統合講義　103	症候論統合講義　111	症候論統合講義　119	症候論統合講義　127	症候論統合講義　135
2限	症候論統合講義　104	症候論統合講義　112	症候論統合講義　120	症候論統合講義　128	症候論統合講義　136
3限	症候論統合講義　105	症候論統合講義　113	症候論統合講義　121	症候論統合講義　129	症候論統合講義　137
4限	症候論統合講義　106	症候論統合講義　114	症候論統合講義　122	症候論統合講義　130	症候論統合講義　138
5限	症候論統合講義　107	症候論統合講義　115	症候論統合講義　123	症候論統合講義　131	症候論統合講義　139
6限	症候論統合講義　108	症候論統合講義　116	症候論統合講義　124	症候論統合講義　132	症候論統合講義　140
7限	症候論統合講義　109	症候論統合講義　117	症候論統合講義　125	症候論統合講義　133	
8限	症候論統合講義　110	症候論統合講義　118	症候論統合講義　126	症候論統合講義　134	
	15日	16日	17日	18日	19日
1限	敬老の日	症候論統合講義　141	症候論統合講義　147	症候論統合講義　155	（9/19、20） Post-CC　OSCE 予備日 （追・再試験）
2限		症候論統合講義　142	症候論統合講義　148	症候論統合講義　156	
3限			症候論統合講義　149	症候論統合講義　157	
4限			症候論統合講義　150	症候論統合講義　158	
5限		症候論統合講義　143	症候論統合講義　151	症候論統合講義　159	
6限		症候論統合講義　144	症候論統合講義　152	症候論統合講義　160	
7限		症候論統合講義　145	症候論統合講義　153	症候論統合講義　161	
8限		症候論統合講義　146	症候論統合講義　154	症候論統合講義　162	
	22日	23日	24日	25日	26日
1限	症候論統合講義　163	秋分の日	症候論統合講義　169	症候論統合講義　177	症候論統合講義　185
2限	症候論統合講義　164		症候論統合講義　170	症候論統合講義　178	症候論統合講義　186
3限			症候論統合講義　171	症候論統合講義　179	症候論統合講義　187
4限			症候論統合講義　172	症候論統合講義　180	症候論統合講義　188
5限	症候論統合講義　165		症候論統合講義　173	症候論統合講義　181	症候論統合講義　189
6限	症候論統合講義　166		症候論統合講義　174	症候論統合講義　182	症候論統合講義　190
7限	症候論統合講義　167		症候論統合講義　175	症候論統合講義　183	症候論統合講義　191
8限	症候論統合講義　168		症候論統合講義　176	症候論統合講義　184	症候論統合講義　192
	29日	30日			
1限	症候論統合講義　193				
2限	症候論統合講義　194				
3限	症候論統合講義　195				
4限	症候論統合講義　196				
5限	症候論統合講義　197				
6限	症候論統合講義　198				
7限	症候論統合講義　199				
8限	症候論統合講義　200				

令和７年度　時間割

６年次　後学期

１０／　１（水）～　１０／３１（金）

1限　8:50 ～ 9:40　　5限　13:40 ～14:30　　9限　17:40～18:30
2限　9:50 ～10:40　　6限　14:40 ～15:30　　10限　18:40～19:30
3限　10:50 ～11:40　　7限　15:40 ～16:30
4限　11:50 ～12:40　　8限　16:40 ～17:30

	月	火	水	木	金
			1日	2日	3日
1限					
2限					
3限					
4限					
5限					
6限					
7限					
8限					
	6日	7日	8日	9日	10日
1限					
2限					
3限					
4限					
5限					
6限					
7限					
8限					
	13日	14日	15日	16日	17日
1限					
2限					
3限					
4限	スポーツの日	総合試験Ⅰ	総合試験Ⅰ		
5限					
6限					
7限					
8限					
	20日	21日	22日	23日	24日
1限					
2限					
3限					
4限					
5限					
6限					
7限					
8限					
	27日	28日	29日	30日	31日
1限					
2限					
3限					
4限					
5限					
6限					
7限					
8限					

令和７年度　時間割

６年次　後学期

１１／　３（月）～　１１／２８（金）

1限　8:50 ～ 9:40　5限　13:40 ～14:30　9限　17:40～18:30
2限　9:50 ～10:40　6限　14:40 ～15:30　10限　18:40～19:30
3限　10:50 ～11:40　7限　15:40 ～16:30
4限　11:50 ～12:40　8限　16:40 ～17:30

	月	火	水	木	金
	3日	4日	5日	6日	7日
1限	文化の日				
2限					
3限					
4限					
5限					
6限					
7限					
8限					
	10日	11日	12日	13日	14日
1限					
2限					
3限					
4限					
5限					
6限					
7限					
8限					
	17日	18日	19日	20日	21日
1限					
2限					
3限					
4限					
5限					
6限					
7限					
8限					
	24日	25日	26日	27日	28日
1限	振替休日		総合試験Ⅱ	総合試験Ⅱ	
2限					
3限					
4限					
5限					
6限					
7限					
8限					
1限					
2限					
3限					
4限					
5限					
6限					
7限					
8限					

症候論統合講義
【Symptomology Integrated Lecture】

担当責任者　総合試験・国家試験対策小委員会委員長

ねらい

1. 1)症例を主とした臨床講義形式、2)症候を主とし関連科も講義する形式のいずれかで行うが、疾患の病態、症候、診断、治療と予後を学ぶ。
2. 疾患に関する症候、原因、それに関連したトピックス等を理解し、primary careにも対応できるようになる。
3. 各テーマについて、解剖、生理、生化学、薬理、病理等の基礎を理解し、系統だって総合的にテーマの疾患を理解できるようにする。

学修目標

1. 各テーマの臨床病態について説明できる。(Ⅱ-5, Ⅱ-6, Ⅴ-2)
2. 各症候について基礎医学的知識から臨床像を説明できる。(Ⅱ-3, Ⅱ-5, Ⅱ-6, Ⅱ-11, Ⅴ-2)
3. 各症候について、鑑別すべき疾患を列挙し、必要な検査法や治療方針の計画がたてられる。(Ⅱ-5, Ⅱ-6, Ⅴ-2)
4. テーマに関する疾患について、予防・疫学・治療について説明できる。(Ⅱ-3, Ⅱ-5, Ⅱ-6, Ⅱ-11, Ⅴ-2)

事前事後学習の方法

1. 授業項目について、教科書などで事前に予習しておくこと。
2. 配布された講義テキストを熟読して、講義内容の復習をすること。

成績評価方法・基準

出欠状況を加味し、総合的に判断する。

○ 教 科 書

特に指定しない。

○ 参 考 書

特に指定しない。

オンライン講義

年月日	曜日	時限	授業項目(内容)	コアカリ項目				担当者	担当講座
				第1層	第2層	第3層	第4層		
R7.8.18	月	1・2	国家試験問題の傾向と対策 (感染症の臨床問題を例にとって)	PS	03	03	01-18	未定	教務部長
8.18	月	3・4	医療紛争とコミュニケーション	CM	03	02	03	石丸　知宏	医学概論
8.18	月	5・6	全身疾患と皮膚病変①	PS	02	04	05	澤田　雄宇	皮膚科学
8.18	月	7・8	消化管出血	PS	02 03	08 05	05 03	久米　恵一郎	第3内科学
8.19	火	1・2	臨床倫理4分割法の総演習	PR	04	01	03	石丸　知宏	医学概論
8.19	火	3・4	診断書・検案書・証明書	SO	03	01	03	佐藤　寛晃	法医学
8.19	火	5・6	統合失調症の病態と治療	PS	02	17	02,05	吉村　玲児	精神医学
8.19	火	7・8	虚血性心疾患	PS	01 02 03	04 06 05	13 01-05 03,04	仲　悠太郎	第2内科学
8.20	水	1・2	総合画像診断Ⅰ	CS	02	03	01	青木　隆敏	放射線科学

6 年 次

オンライン講義

年月日	曜日	時限	授 業 項 目 (内 容)	コアカリ項目				担 当 者	担 当 講 座
				第1層	第2層	第3層	第4層		
8.20	水	3･4	臨床倫理 Case Study (1)	PR	04	01	03	石丸 知宏	医学概論
8.20	水	5･6	臨床倫理 Case Study (2)	PR	04	01	03	石丸 知宏	医学概論
8.20	水	7･8	重要疾患の病理組織診断	PS	02	01 02-17	01 01-05	中山 敏幸	第2病理学
8.21	木	3･4	基本的治療知識	CS	03	02	01	山本 幸代	医学教育担当教員
8.21	木	5･6	Advanced 薬理学①	CS	02	04	02,04, 05,06	有岡 将基	薬理学
8.21	木	7･8	不整脈の診断と治療	PS	02	06	05	荻ノ沢 泰司	第2内科学
8.22	金	7･8	国家試験におけるリウマチ・膠原病疾患の解き方	PS	03	02	05	久保 智史	第1内科学
8.25	月	1･2	免疫・アレルギー膠原病	PS	03	02	01-05	白山 理恵	小児科学
8.25	月	5･6	障害の診断と評価	PS CS	02 02	03 04	05 47	杉本 香苗	リハビリテーション医学
8.25	月	7･8	総合画像診断Ⅱ	CS	02	03	01	村上 優	放射線科学
8.26	火	1･2	肝機能障害、黄疸	PS	02	08	05	原田 大	第3内科学
8.26	火	5･6	正常妊娠	PS	02	11	01	内村 貴之	産科婦人科学
8.26	火	7･8	悪性脳腫瘍の基礎と臨床	PS	03	04	10	山本 淳考	脳神経外科学
8.27	水	1･2	心疾患の外科治療	PS	02	06	01,04	西村 陽介	心臓血管外科学
8.27	水	3･4	医師国家試験公衆衛生領域 低正答率問題解説(1)	SO	01	01	01	未 定	公衆衛生学
8.27	水	5･6	異常妊娠・妊娠合併症	PS	02	11	05	飯尾 一陽	産科婦人科学
8.27	水	7･8	心筋症	PS	02	06	05	岩瀧 麻衣	第2内科学
8.28	木	3･4	血液腫瘍の診断	PS	01 02 03	04 02 04	20,22 01-05 03,04, 06	中西 司	血液内科
8.28	木	5･6	国試における神経疾患1	PS	02	03	05	足立 弘明	神経内科学
8.28	木	7･8	小児内分泌・代謝学	PS	02	14	01-05	齋藤 玲子	小児科学
8.29	金	1･2	Advanced 薬理学②	CS	02	04	02,04, 05,06, 08	石兼 真	薬理学
8.29	金	3･4	医師国家試験公衆衛生領域 低正答率問題解説(2)	SO	01	02	01	未 定	公衆衛生学
8.29	金	5･6	国試からみた縦隔・胸膜疾患	PS	02	07	01-05	田中 文啓	第2外科学
8.29	金	7･8	鼻疾患	PS	02	16	05	北村 拓朗	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学
9.1	月	1･2	病理診断の基礎知識 (消化管、脳神経、泌尿器)	PS	01 01 02 02	04 08 03 09	22 05	久岡 正典	第1病理学
9.1	月	3･4	泌尿器科の救急疾患	PS	02	09 10	05 05	湊 晶規	泌尿器科学
9.1	月	5･6	臨床現場のInformed Concentの実際	CM	02	01	02	石丸 知宏	医学概論
9.1	月	7･8	乳腺疾患の診断と治療	PS	03	04	17	田嶋 裕子	第2外科学
9.2	火	1･2	国試対策1	PS	02	15	01-05	永田 竜朗	眼科学
9.2	火	3･4	医師国家試験公衆衛生領域 低正答率問題解説(3)	SO	01	03	01	未 定	公衆衛生学
9.2	火	5･6	自己免疫疾患の症候と治療	PS	03	02	05	中山田 真吾	第1内科学
9.2	火	7･8	呼吸器感染症	PS	02	07	05	松永 崇史	呼吸器内科学
9.3	水	1･2	内分泌のまとめ	PS	02	14	05	肥川 健司	第1内科学
9.3	水	3･4	びまん性肺疾患	PS	02	07	05	池上 博昭	呼吸器内科学
9.3	水	5･6	頭部外傷疾患の診断と治療	PS	03	05	12	齋藤 健	脳神経外科学

オンライン講義

年月日	曜日	時限	授業項目（内容）	コアカリ項目				担当者	担当講座
				第1層	第2層	第3層	第4層		
9.3	水	7･8	消化器癌の診断と治療	PS	02 03	08 04	05 14	久米 恵一郎	第3内科学
9.4	木	1･2	国試における神経疾患2	PS	02	03	05	足立 弘明	神経内科学
9.4	木	5･6	婦人科腫瘍の診断･治療･感染症	PS	02	10	05	栗田 智子	産科婦人科学
9.4	木	7･8	膵･胆道疾患	PS	02	08	01-05	田村 利尚	第1外科学
9.5	金	1･2	衛生学の国家試験対策	GE	04 01	02 04	02 01-04	赤池 幸歌	衛生学
9.5	金	3･4	小児感染症学	PS	03	03	01,06, 16	多久 佳祐	小児科学
9.5	金	7･8	全身疾患と皮膚病変②	PS	02	04	05	澤田 雄宇	皮膚科学
9.8	月	1･2	上肢における運動器疾患の診断と治療	PS	02	05	05	酒井 昭典	整形外科学
9.8	月	3･4	下部尿路機能障害	PS	02	09	05	富﨑 一向	泌尿器科学
9.8	月	5･6	終末期患者へのアプローチと倫理	GE	03	06	03,05	石丸 知宏	医学概論
9.8	月	7･8	国試からみた肺腫瘍	PS	02	07	01-05	田中 文啓	第2外科学
9.9	火	1･2	国家試験 産科	PS	02	11	05	田尻 亮祐	産科婦人科学
9.9	火	3･4	急性呼吸不全	PS	02	07	01-05	尾辻 健	救急･集中治療医学
9.9	火	5･6	重要疾患の病理組織診断	PS	03	01 02 03 04 05 06	01-08 01-05 01-18 01-27 01-19 01-08	中山 敏幸	第2病理学
9.9	火	7･8	頭頸部悪性腫瘍	PS	02	16	05	若杉 哲郎	耳鼻咽喉科･頭頸部外科学
9.10	水	1･2	国家試験における病理関連問題の対策	PS	02	01 02-17	01 01-05	島尻 正平	第2病理学
9.10	水	3･4	腎炎と腎不全	PS	02	09	05	宮本 哲	第2内科学
9.10	水	5･6	間脳下垂体疾患の診断と治療	PS	03	04	18	中野 良昭	脳神経外科学
9.10	水	7･8	胃･十二指腸疾患	PS	02	08	01-05	柴尾 和徳	第1外科学
9.11	木	1･2	小腸･大腸疾患	PS	02	08	01-05	秋山 泰樹	第1外科学
9.11	木	3･4	腫瘍免疫とその基礎	PS	03	04	01,02, 04,25	吉田 安宏	免疫学･寄生虫学
9.11	木	5･6	国家試験 婦人科	PS	02	10	05	吉野 潔	産科婦人科学
9.11	木	7･8	COPDと関連疾患	PS	02	07	05	丈達 陽順	呼吸器内科学
9.12	金	1･2	泌尿器癌の診断･治療	PS	03	04	15,16	柏木 英志	泌尿器科学
9.12	金	3･4	小児血液学	PS	02 03	02 04	01-05 20	浅井 完	小児科学
9.12	金	5･6	国試対策2	PS	02	15	01-05	永田 竜朗	眼科学
9.16	火	1･2	成人期の発達障害	PS	02	17	05	小西 勇輝	精神医学
9.16	火	5･6	咳･痰･呼吸困難	PS	02	07	02	西田 千夏	呼吸器内科学
9.16	火	7･8	国試からみた胸部救急疾患	PS	02	07	01-05	田中 文啓	第2外科学
9.17	水	1･2	医師国家試験公衆衛生領域 低正答率問題解説(4)	SO	02	01	01	未 定	公衆衛生学
9.17	水	3･4	国試対策3	PS	02	15	01-05	永田 竜朗	眼科学
9.17	水	5･6	アレルギー性疾患の診断と治療	PS	03	02	05	園本 格士朗	第1内科学
9.17	水	7･8	全身疾患と皮膚病変③	PS	02	04	05	澤田 雄宇	皮膚科学
9.18	木	1･2	横隔膜･腹膜･腹壁疾患	PS	02	08	01-05	永田 淳	第1外科学
9.18	木	3･4	国試における神経疾患3	PS	02	03	05	足立 弘明	神経内科学
9.18	木	5･6	血液腫瘍の治療	GE	01	04	05	中西 司	血液内科
9.18	木	7･8	下肢における運動器疾患の診断と治療	PS	02	05	05	川﨑 展	整形外科学
9.22	月	1･2	新生児学	GE	03	03	01,02	菅 秀太郎	小児科学

6 年 次

オンライン講義

年月日	曜日	時限	授 業 項 目 (内 容)	コアカリ項目				担 当 者	担 当 講 座
				第1層	第2層	第3層	第4層		
9.22	月	5･6	脳卒中のリハビリテーション	PS CS	02 02	03 04	05 47	越智 光宏	リハビリテーション医学
9.22	月	7･8	脊髄損傷のリハビリテーション	PS CS	02 02	03 04	05 47	松嶋 康之	リハビリテーション医学
9.24	水	1･2	放射線腫瘍学	CS	02	04	15	大栗 隆行	放射線科学
9.24	水	3･4	耳疾患	PS	02	16	05	赤池 亮太	耳鼻咽喉科･頭頸部外科学
9.24	水	5･6	女性ホルモン依存性疾患	PS	02	10	04	植田 多恵子	産科婦人科学
9.24	水	7･8	医学概論の総まとめ	PR	03	01	02	石丸 知宏	医学概論
9.25	木	1･2	癌性疼痛と緩和ケア	GE	01	06	01,02	寺田 忠徳	麻酔科学
9.25	木	3･4	国試における神経疾患4	PS	02	03	05	足立 弘明	神経内科学
9.25	木	5･6	脊椎･脊髄疾患の診断と鑑別	PS	02	05	05	中村 英一郎	整形外科学
9.25	木	7･8	膵疾患	PS	02	08	05	中村 早人	第3内科学
9.26	金	1･2	小児神経学	PS	02	03	01-05	五十嵐 亮太	小児科学
9.26	金	3･4	脳血管障害診断、治療	PS	02	03	05	田中 優子	脳卒中血管内科学
9.26	金	5･6	うつ病患者の職場復帰	PS GE	02 03	17 04	01 04	新開 隆弘	精神医学
9.26	金	7･8	感染症の診断と治療	PS	03	03	06	鈴木 克典	第1内科学
9.29	月	1･2	病理診断の基礎知識(細胞診･婦人科)	PS	01 02	04 10	22 05	名和田 彩	第1病理学
9.29	月	3･4	病理診断の基礎知識(皮膚･呼吸器･乳腺)	PS	01 02 02	04 07 13	22,05 05 05	名和田 彩	第1病理学
9.29	月	5･6	国試における麻酔科学及び関連領域	CS	02	04	26-33	堀下 貴文	麻酔科学
9.29	月	7･8	多発外傷	PS	02	07	01-04	尾崎 将之	救急･集中治療医学

産業医学Ⅵ

（治療と職業生活の両立支援）

【Occupational Health Ⅵ】

担当責任者　就学・就労支援センターセンター長

ねらい

産業医として従業員の健康管理を行うに当たって、疾病（症状）についての十分な知識と経験を有することが不可欠である。本科目では産業現場における事例（症例）を題材として、疾患の予防、診断、治療、社会復帰について総合的に学習することを目的とする。

学修目標

1. 労働者において有訴率、罹患率、有症率の高い症状、疾病を挙げることができる。（Ⅱ-4～8,Ⅱ-11,Ⅱ-12,Ⅲ-1）
2. 各疾患（症状）の原因、症候、病態の基本的事項を述べることができる。（Ⅱ-1,Ⅱ-3～8,Ⅱ-11,Ⅱ-12）
3. 各疾患の診断、治療、予後が説明できる。（Ⅱ-5～8,Ⅱ-11,Ⅱ-12）
4. 各疾患（症状）の予防（一次予防、二次予防、三次予防）について説明できる。（Ⅰ-3,Ⅱ-1～8,Ⅱ-11,Ⅱ-12,Ⅲ-1,Ⅲ-4,Ⅲ-5）
5. 疾患（症状）を有する労働者の就労管理について説明できる。（Ⅰ-3,Ⅱ-4,Ⅱ-6,Ⅱ-8,Ⅱ-11,Ⅱ-12,Ⅲ-1～5,Ⅳ-11）

事前事後学習の方法

1. シラバスに記載されている授業項目について、参考書などで事前に予習しておくこと。
2. 配布された講義テキストを熟読して講義内容の復習をすること。

成績評価方法・基準

出欠状況を加味し、総合的に判断する。

○ 教 科 書

特に指定しない。

○ 参 考 書

騒音性難聴に関わるすべての人のためのQ&A（一般社団法人日本耳鼻咽喉科学会産業・環境保健委員会編）

https://ibarakis.johas.go.jp/wp/wp-content/uploads/2018/11/souon_20181128c.pdf

オンライン講義

年月日	曜日	時限	授業項目（内容）	コアカリ項目				担当者
				第1層	第2層	第3層	第4層	
R7.7.9	水	1･2	職業性肺疾患･胸膜疾患･感染対策	SO	01	04	03	田原 正浩 (呼吸器内科学)
7.9	水	3･4	産業保健領域での画像診断 ～定期･特殊健康診断から”がん検診”まで～	SO	01	04	02	草野 涼 (放射線科学 学外)
7.9	水	5･6	労働眼科	SO	01	04	03	奥 一真 (眼科学)
7.9	水	7･8	循環器疾患と職業･ストレス	SO	01	04	03	尾上 武志 (第2内科学)
7.10	木	1･2	職業性神経疾患	SO	01	04	03	岡田 和将 (脳神経内科･心療内科)
7.10	木	3･4	職業性関連胸部悪性腫瘍	SO	01	04	03	田中 文啓 (第2外科学)
7.10	木	5･6	職業性皮膚疾患	SO	01	04	03	礒田 英華 (皮膚科学 学外)
7.10	木	7･8	脳卒中の治療と仕事の両立支援	SO	01	04	01	佐伯 覚 (リハビリテーション医学)
7.11	金	1･2	糖尿病労働者の健康管理	SO	01	01	03	新生 忠司 (第1内科学 学外)
7.11	金	3･4	労働と消化器疾患 ～産業医の役割～	SO	01	04	03	浅海 洋 (第3内科学 学外)
7.11	金	5	両立支援にかかる産業医活動①	SO	01	04	03	林 剛司 (衛生学 学外)
7.11	金	6	両立支援にかかる産業医活動②	SO	01	04	03	山本 修一郎 (衛生学 学外)
7.11	金	7･8	熱中症 有機溶媒中毒など	SO	01	04	04	堀下 貴文 (麻酔科学)
7.14	月	1･2	職場のメンタルヘルス	SO	01	04	03	新開 隆弘 (精神医学)
7.14	月	3･4	労働災害による四肢外傷	SO	01	04	03	善家 雄吉 (整形外科学)
7.14	月	5･6	騒音性難聴	SO	01	04	03	河口 倫太郎 (耳鼻咽喉科･頭頸部外科学)
7.14	月	7･8	職業性関連泌尿器科疾患	SO	01	04	03	真鍋 憲幸 (泌尿器科学 学外)
7.15	火	1･2	職場で遭遇する外科的疾患と処置	SO	01	04	03	井上 譲 (第1外科学)
7.15	火	3･4	女性労働者の健康管理	SO	01	04	01	松浦 祐介 (広域･発達看護学)

臨 床 実 習

授業科目	頁	開講
臨床実習	345	4年次 1月 ～ 5年次 12月
臨床実習 （診療参加型臨床実習）	346	5年次 1月 ～ 6年次 7月

詳細については、それぞれ教育要項（別冊）「臨床実習の手引」ほか、参考資料を参照のこと。

臨床実習
【Bed Side Learning】

担当責任者　診療参加型臨床実習小委員会委員長

ねらい

将来産業医あるいは臨床医として活躍するために、早期から実際の医療現場を体験し、医師としてふさわしい豊かな人間性を身につけ、さらにその職責を全うするために必要な態度、職業的な知識、考え方を身につける。

将来医師としてふさわしい態度で患者に接し、正しい方法によって病歴を聴取、系統的な診察を行うとともに、患者のもつ身体的、精神的および社会的問題を正しく把握し、そのおのおのに対して適切な処置を指示することができるようになるための基本的知識、技能および態度を身につける。

学修目標

1. 疾病を把握するための、病因や構造と機能の異常について考えることができる。(Ⅱ-5)
2. 診断学の基本概念を把握し、患者の現状の把握に必要な検査を考えることができる。(Ⅱ-6, Ⅳ-4)
3. 検査の結果を分析し、適切な治療法を検討することができる。(Ⅱ-6, Ⅳ-5)
4. 診断学の基本概念を把握し、患者へのアプローチの仕方、正しい病歴のとり方、診察の正しい仕方を身につける。(Ⅱ-6, Ⅳ-1, Ⅳ-2, Ⅳ-4, Ⅵ-1)
5. 完全な病歴を作成し、patient profile を作るとともに patient problem を指摘することができる。(Ⅳ-1, Ⅳ-4)
6. 臨床上必要な検査の基本的手技を身につけ、その所見の臨床的意義を指摘することができる。(Ⅱ-6)
7. 医療チームの中にあってとるべき行動の基本を身につける。(Ⅵ-3, Ⅵ-4, Ⅵ-5)
8. 病名の診断、患者の現状の把握に必要な検査を指示し、かつ得られた結果を分析することができる。(Ⅱ-6, Ⅳ-4)
9. 患者の病名を確定し、適切な治療を指示することができる。(Ⅱ-6)
10. 患者の社会的状況を理解し、助言を与えることができる。(Ⅵ-1, Ⅵ-2)

事前事後学習の方法

指導医の指示に従い、参考書ならびに論文で復習をすること。

成績評価方法・基準

1. 疾病の理解について口頭試問や実習レポートなど(各指導医による)の内容を評価の対象とする。
2. 学習能力だけでなく出欠状況(欠席は原則認めない)および実習態度などを網羅し総合的に判断する。
3. ローテーションした全ての講座で合格しなければならない。

○ 参 考 資 料

教育要項(別冊)　臨床実習の手引　産業医科大学

○ 教　科　書

3年次および4年次の各臨床科目の「教科書」欄を参照

○ 参　考　書

診療参加型臨床実習実施ガイドライン　医学教育モデル・コア・カリキュラム(令和4年度改訂版)

3年次および4年次の各臨床科目の「参考書」欄を参照

実習期間およびローテーション

教育要項(別冊) 臨床実習の手引「臨床実習 年次計画表」を参照のこと

実習の内容

教育要項(別冊) 臨床実習の手引「実習計画の概要・臨床実習計画表」を参照のこと

臨床実習（診療参加型臨床実習）
【Bed Side Learning 】

担当責任者　診療参加型臨床実習小委員会委員長

ねらい

将来産業医あるいは臨床医として活躍するために、実際の医療現場で診療チームの一員として臨床活動に参加し、業務を分担しながら、医師として必要な態度、職業的な知識、考え方、技能の基礎を身につける。

学修目標

1. 医師として必要な態度（患者・家族および関連職種への接し方、行動、助力・助言の受け入れ、自己学習）を身につける。（IV-1, IV-8, VI-1）
2. 基本的な情報（医療面接、理学的診察、基本的検査、連絡・報告）を収集する。（IV-1, VI-1, VI-5）
3. 評価と診療計画の立案に学生として許容される範囲内で参加する。（II-6）
4. 診療計画の実施に学生として許容される範囲内で参加する。（II-6, IV-4）

事前事後学習の方法

指導医の指示に従い、参考書ならびに論文で復習をすること。

成績評価方法・基準

1. 出欠状況および授業態度により総合的に判断する。
2. 第1クール～第6クールの全てで合格しなければならない。

○ 参 考 資 料

診療参加型臨床実習指針　産業医科大学医学部編

教育要項（別冊） 臨床実習（診療参加型臨床実習）の手引　産業医科大学

○ 教 科 書

特に指定しない。

○ 参 考 書

診療参加型臨床実習実施ガイドライン　医学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）

実習期間

第1クール　令和7年1月6日～1月31日	第4クール　令和7年4月14日～5月16日
第2クール　令和7年2月3日～2月28日	第5クール　令和7年5月19日～6月13日
第3クール　令和7年3月3日～4月11日（3月17～31日は春季休業）	第6クール　令和7年6月16日～7月4日

※ 令和8年1月開始の実習期間については、別途通知する

実習の内容

教育要項（別冊） 臨床実習（診療参加型臨床実習）の手引を参照のこと

メドレーカリキュラム

授業科目	頁	開講
行動科学	349	1～6年次 各科目
社会医学	356	1～6年次 各科目
医療倫理学	366	1～6年次 各科目

1年次から6年次までの各科目の中で、行動科学、社会医学、医療倫理学に関する講義および実習を抽出し、科目担当責任者を置いています。
学修スケジュールをカリキュラムマップとして提示しています。

行動科学
【Behavioral Science】

担当責任者 （医学部長）

ねらい

- 人の心を理解するための基礎的な知識と考え方及びリベラルアーツを学ぶ。
- 臨床実践に行動科学の知見を生かすことができるよう、健康病い医療に関する文学、哲学、心理学、社会学の視点方法理論について、理解を深める。
- 基礎医学、社会医学、臨床医学を統合的に学習することの重要性を理解する。
- 病態を科学的に捉えると同時に、心や行動についても十分に理解して対応するスキルを修得する。
- 医師医療者、患者家族等に関する行動科学を学修する。
- 人の心理と行動を理解し、患者及び労働者等に対する適切な心理的支援の基本的知識を習得する。
- 患者及び労働者等の心理と行動を把握し、最適な支援方法を検討するために、心理学の基本的知識を習得する。
- 医師としてのプロフェッショナリズム、医の倫理、医療安全を実践的に理解する。
- 最適な医療を提供するために、医療にかかわる職種の知識を習得する。さらに、保健医療福祉サービスの中での医師の役割について理解を深める。

学修目標

1. 人の心理と行動の理解に基づいた心理的支援の基礎を説明できる。(Ⅲ-2, Ⅳ-1, Ⅳ-8, Ⅵ-1, Ⅵ-3, Ⅵ-4, Ⅵ-5)
2. 産業保健において心理職を含む他職種連携の基礎を説明できる。(Ⅱ-8, Ⅲ-1, Ⅲ-2, Ⅲ-4, Ⅵ-1, Ⅵ-3, Ⅵ-4, Ⅵ-5)
3. 心理学を応用した労働者の心の健康の保持増進の基礎を説明できる。(Ⅱ-8, Ⅲ-1, Ⅲ-2, Ⅲ-4, Ⅳ-1, Ⅳ-8)
4. チーム医療、多職種連携の重要性について理解する。(Ⅵ-3)
5. 患者さんの心身のケア、医療安全・患者安全についての理解を深める。(Ⅵ-1, Ⅵ-2, Ⅵ-3, Ⅵ-7)
6. 地域医療・医療連携の現場における医師の役割、患者・医師関係、チーム医療について理解する。(Ⅵ-1, Ⅵ-3)
7. 医師の使命・チーム医療のリーダーとしてあるべき姿・プロフェッショナリズムを実感する。(Ⅵ-3)
8. 患者さん・ご家族や医療者とのコミュニケーションの重要性を理解する。(Ⅵ-1, Ⅵ-2, Ⅵ-3)
9. 医の倫理、医療安全の重要性を理解する。(Ⅰ-2, Ⅳ-7)
10. 行動医学的な評価法・対応法を理解し、患者の行動や意思決定に効果的に関わる方法を考えられるようになる。(Ⅳ-8)

事前事後学習の方法

各科目を参照のこと。

成績評価方法・基準

各科目を参照のこと。

○教 科 書

各科目を参照のこと。

○参 考 書

各科目を参照のこと。

年月日	曜日	時限	授業項目（内容）	コアカリ項目				担当者	科目名等
				第1層	第2層	第3層	第4層		
R8.1.5	月	1･2	基礎医学	LL RE RE RE	01 01 01 02	01 01 02 01	01 02 01 01	1年次教育小委員会委員長 （科目担当責任者）	医療職概論
1.5	月	3･4	助産師	PS IP	02 02	11 04	01,02 01	（産業保健学部）	
1.6	火	1･2	薬剤師	CS IP IP	02 01 02	04 02 04	02 01 01	植木 哲也 （薬剤部）	
1.6	火	3･4	病院地域医療連携	GE GE GE IP	01 01 02 02	03 06 02 04	02,03 05 02 01	野田 雅美 （患者サポートセンター）	
1.7	水	7･8	地域医療	GE GE	02 02	01 02	01,02 01,02, 04,05	長森 健 （北九州市医師会専務理事）	
1.8	木	1･2	歯科医師	PS	02	16	01-05	宮脇 昭彦 （歯科・口腔外科）	
1.9	金	3･4	診療放射線技師	CS IP IP	02 01 02	04 02 04	02 01 01	川下 幸隆 （放射線部）	
1.13	火	1･2	地域保健師	GE	02	01 03 04	01,02 01 02	（産業保健学部）	
1.14	水	3･4	臨床検査技師	CS CS IP	02 02 02	03 04 04	02 36 01	中園 朱実 （臨床検査・輸血部）	
1.14	水	5･6	多職種連携と医学教育	LL IP IP IP	02 01 02 02	01 02 01 03	01,02 01 01 01,02	岩田 勲 （医学教育改革推進センター）	
1.15	木	1･2	臨床工学技士	IT CS IP	02 02 02	02 04 04	02 36 01	（臨床工学部）	
1.15	木	5･6	リハビリテーションにおける療法士	CS IP	02 02	04 04	45,47 01	武本 暁生 （リハビリテーション部）	
1.19	月	1･2	看護管理	CM CM IP	01 01 02	01 02 04	01-05 01,02 01	三輪ゆかり （産業医科大学病院看護部長）	
1.19	月	3･4	専門看護	PR IP	02 02	01 04	01,02 01	松岡 さなえ （看護部放射線治療科）	
R7.6.30	月	5･6	13.医薬品の有機化学Ⅰ	LL RE	01 01	01 02	01 01	永田 龍(学外)	生体物質化学
6.30	月	7･8	14.医薬品の有機化学Ⅱ －新型コロナウイルス関連医薬品－	LL RE	01 01	01 02	01 01	永田 龍(学外)	
R8.1.5	月	5～8	先端医科学講釈Ⅰ（レポート）	RE	01 01 02 02	01 02 01 02	01,02 01,02 01 01	（講師未定）	先端医科学講釈
1.7	水	3～6	先端医科学講釈Ⅱ（レポート）					（講師未定）	
1.8	木	5～8	先端医科学講釈Ⅲ（レポート）					（講師未定）	
1.13	火	3･4	先端医科学講釈Ⅳ（レポート）					（講師未定）	
1.19	月	5～8	先端医科学講釈Ⅴ（レポート）					（講師未定）	
R7.11.11	火	1･2	HIV／AIDSのリスクはどのように評価されたのか？ 小レポート	GE CM SO SO	04 01-03 01 04,06	05		種田 博之	医療社会学
11.18	火	1･2	治療方法がない状況における医師－患者関係 小レポート	GE CM SO SO	04 01-03 01 04,06	05		種田 博之	
11.25	火	1･2	医師と患者の適正なコミュニケーションとは？ 小レポートならびに課題レポート	PR GE CM SO	01-04 01,03,0 4 01-03 04,06			種田 博之	
R7.11.7	金	3･4	要素還元主義と普遍的構造 小レポート提出	RE	01	01 02	01,02 01,02	門野 敏彦(医科物理学)	自然科学思想史
11.12	水	3･4	人類と文明・宇宙 小レポート提出	RE	01	01 02	01,02 01,02	吉田 二美(医科物理学)	
11.14	金	3･4	化学から見た医学 小レポート提出	RE	01	01 02	01,02 01,02	小林 英幸(学外)	
11.17	月	3･4	哲学から見た医学 小レポート提出	RE	01	01 02	01,02 01,02	樫本 直樹(哲学概論)	
11.19	水	3･4	演劇から紐解く病と社会 小レポート提出	RE	01	01 02	01,02 01,02	村松 圭司(公衆衛生学)	
11.28	金	3･4	生物学と医学 小レポート提出	RE	01	01 02	01,02 01,02	未定	
12.19	金	3･4	産業医大白熱教室 小レポート提出	RE	01	01 02	01,02 01,02	長田 良雄 （免疫学・寄生虫学）	

年月日	曜日	時限	授業項目（内容）	コアカリ項目				担当者	科目名等
				第1層	第2層	第3層	第4層		
R7.11.27	木	1～4	早期臨床体験実習Ⅰ実習参加の為の基礎講義	GE GE CM IP PR LL	01 01 01 01,02 01-03 01	01 02-04 01,02	01-06	医学教育担当教員	早期臨床体験実習Ⅰ
12.1～5	月～金	1～8	早期臨床体験実習Ⅰ						
12.11	木	2	早期臨床体験実習Ⅰ実習成果発表						
R7.5.8	木	1･2	各テーマ	RE	01 03	01 03	02 01,03	各担当教員	総合教育セミナー
5.28	水	3･4	〃					各担当教員	
6.3	火	2	〃					各担当教員	
6.18	水	3･4	〃					各担当教員	
6.20	金	1･2	〃					各担当教員	
6.25	水	7･8	〃					各担当教員	
6.30	月	3･4	〃					各担当教員	
7.15	火	1･2	〃					各担当教員	
R7.6.16	月	3	科目試験Ⅰ（50分間）					石丸 知宏	医学概論Ⅰ
6.16	月	4	Early Medical Exposure実習の意義と目的	PR	03	01	01	石丸 知宏	
6.27	金	7･8	Early Medical Exposure オリエンテーション	PR	03	01	01	各施設代表者(学外)	
7.7	月	1～8		PR PR PR	01 02 02	02 01 01	01 01 02	石丸 知宏 樫本 直樹	
7.8	火	1～8	Early Medical Exposure実習						
7.9	水	1～8	福岡県内の重症心身障害児(者)施設に						
7.10	木	1～8	班分けして実習をおこなう						
7.11	金	1～8							
9.5	金	1･2	Early Medical Exposure グループ別反省会Ⅰ	PR	01	02	02	石丸、樫本	
9.5	金	3･4	Early Medical Exposure グループ別反省会Ⅱ	PR	01	02	02	石丸、樫本	
9.5	金	5･6	Early Medical Exposure 全体反省会(発表会)	PR	01	02	02	石丸、樫本	
9.5	金	7･8	施設代表者参加による評価とまとめ	PR	01	02	02	石丸、樫本	
R7.4.7	月	3･4	オリエンテーション 小レポート	PR GE GE LL RE RE	01-03 01 03,04 01,02 01 03	02,03,05 01,02 01		種田 博之	人間関係論
4.11	金	3･4	講義:人間関係論とはどのような学問か？ 小レポート	GE GE CM SO	01 03,04 01-03 04,06	02,03,05		種田 博之	
4.14	月	3～5	実習:私たちはどのように見られているか？ 実習レポート	RE CM	01,03 01-03			種田 博之	
4.21	月	3～5	実習:私たちはメッセージをどのように読み取っているのか？ 実習レポート	RE CM	01,03 01-03			種田 博之	
4.25	金	3･4	講義:私たちは「現実」をどのように見ているのか？① 小レポート	GE GE CM SO	01 03,04 01-03 04,06	02,03,05		種田 博之	
5.2	金	3･4	講義:私たちは「現実」をどのように見ているのか？② 小レポート	GE GE CM SO	01 03,04 01-03 04,06	02,03,06		種田 博之	
5.9	金	1～4	実習:説明するということはどういうことか？ 実習レポート	RE CM	01,03 01-03			種田 博之	
5.12	月	3･4	講義:「意味」の希求 小レポート	GE GE CM SO	01 03,04 01-03 04,06	02,03,05		種田 博之	
5.15	木	5･6	講義:小まとめ 理解度チェックのための小テスト	GE GE CM SO	01 03,04 01-03 04,06	02,03,05		種田 博之	
5.19	月	5～7	実習:演技 実習レポート	RE CM	01,03 01-03			種田 博之	
6.27	金	1･2	講義:コミュニケーションプロセスモデル 小レポート	GE GE CM SO	01 03,04 01-03 04,06	02,03,05		種田 博之	
7.4	金	1･2	講義:コミュニケーションにおけるコンテキスト 小レポート	GE GE CM SO	01 03,04 01-03 04,06	02,03,05		種田 博之	

年月日	曜日	時限	授業項目（内容）	コアカリ項目				担当者	科目名等
				第1層	第2層	第3層	第4層		
R7.7.18	金	1	講義：小まとめ 理解度チェックのための小テスト	GE GE CM SO	01 03,04 01-03 04,06	02,03,05		種田 博之	人間関係論
9.12	金	5～8	グループワーク報告会 グループワークレポート	LL RE IP	02 04 01,02	01 01		種田 博之	
R7. 9. 3	水	1	オリエンテーション	PR	01	01	01,02	真船 浩介	心理学
9. 3	水	2	心理学概論（心理学と諸科学）	GE	01	02	01	真船 浩介	
9.10	水	1	心理測定論（尺度構成法）	CM	03	01	01,02	真船 浩介	
9.10	水	2	実験心理学（実験社会心理学）	PR RE	02 01	02 01	01,02 01,02	真船 浩介	
9.17	水	1	認知心理学（感覚・知覚・認知）	PS PR CM	01 02 02	02 02 03	17 01,02 01	真船 浩介	
9.17	水	2	感情心理学（感情の基礎、測定）	CM	01	01 02	04 02	真船 浩介	
9.24	水	1	発達心理学（発達、愛着）	GE	03	01	01-03	真船 浩介	
9.24	水	2	人格心理学（特性と類型）	GE GE CM	01 04 02	05 02 03	01 01 02	真船 浩介	
10. 1	水	1	学習心理学1（学習理論）	GE	01	05	01,02	真船 浩介	
10. 1	水	2	学習心理学2（行動科学）	GE	01	05	01	真船 浩介	
10. 8	水	1	臨床心理学1（来談者中心療法、積極的傾聴）	GE GE GE CM	01 01 04 02	05 03 02 03	02 01 01 02	真船 浩介	
10. 8	水	2	臨床心理学2（交流分析）	GE CM	04 01	02 01	01 01,02,04	真船 浩介	
10.15	水	1	臨床心理学3（認知行動療法）	GE	01 04	05 02	02 01	真船 浩介	
10.15	水	2	臨床心理学4（応用行動分析）	GE	01 04	05 02	02 01	真船 浩介	
10.22	水	1	前半復習テスト・解説					真船 浩介	
10.22	水	2	社会心理学1（社会的スキル）	CM IP	01 02	01 02	01,02, 04,05 02	真船 浩介	
10.29	水	1	社会心理学2（社会的支援、向社会的行動）	PR	02	01	01,02	真船 浩介	
10.29	水	2	健康心理学1（ストレス科学）	GE CM	01 03	05 01	01 01,02	真船 浩介	
11. 5	水	1	健康心理学2（ストレスマネジメント）	GE	01 04	05 01	01 01,05-07	真船 浩介	
11. 5	水	2	産業・組織心理学1（動機づけ）	GE CM CM	01 02 03	05 03 02	01 04 02	真船 浩介	
11.12	水	1	産業・組織心理学2（キャリア）	GE LL	01 01	02 02	02 01,02	真船 浩介	
11.12	水	2	産業保健心理学1（構成概念を用いた疫学研究）	GE RE	01 01	04 02	02 01,02	井上 彰臣	
11.19	水	1	産業保健心理学2（産業精神保健）	SO CM	01 03	04 01	01-03 01	江口 尚	
11.19	水	2	産業保健心理学3（セルフケア支援）	GE GE	01 04	03 01	02 01,02, 05-07	日野 亜弥子	
12.10	水	1	産業保健心理学4（行動経済学・ナッジ）	GE SO	01 06	05 01	03 02,03	江口 尚	
12.10	水	2	産業保健心理学5（多様性への配慮）	CM SO SO SO	02 04 04 06	01 01 02 01	01 02 01 03	日野 亜弥子	
12.17	水	1	産業保健心理学6（集団へのアプローチ）	IP CM CM GE	02 02 03 04	04 02 02 01	01 01 01 05,07	真船 浩介	
12.17	水	2	産業保健心理学7（多職種連携、心理職の役割）	IP	01	02	01	真船 浩介	
R8. 1. 7	水	1	後半復習テスト・解説					真船 浩介	
1. 7	水	2	まとめ	PR	01	01	01,02	真船 浩介	

年月日	曜日	時限	授業項目（内容）	コアカリ項目				担当者	科目名等
				第1層	第2層	第3層	第4層		
R7.9.5.	金	4	生活習慣と疾病	GE	04	01	06	一瀬 豊日(進路指導部)	衛生学
9.5	金	7	栄養素と疾病①	GE	04	01	03	太田 雅規(学外)	
9.5	金	8	栄養素と疾病②	GE	04	01	03	太田 雅規(学外)	
9.22	月	4	食品衛生①	SO	01	03	02	田中 里枝(学外)	
9.22	月	5	食品衛生②	GE	04	01	03	田中 里枝(学外)	
9.22	月	6	演習① 衛生学概論、生活習慣と疾病、栄養素の基本①②、栄養素と疾病①～③、食品衛生①②	GE	04	02	02	田中 里枝(学外)	
10.6	月	6	化学的因子による健康影響 6.タバコの健康影響	GE	04	01	06	大和 浩(健康開発科学)	
10.6	月	7	〃 7.タバコ対策	GE	04	01	06	大和 浩(健康開発科学)	
R7.6.26	木	1	健康と運動(Ⅰ)	PS	01	02	35	原田 景太(2生理)	生理学(植物性機能)
6.26	木	2	健康と運動(Ⅱ)	PS	01	02	36	原田 景太(2生理)	
6.26	木	3	健康と運動(Ⅲ)(講義後確認テスト)	SO	04	01	01	原田 景太(2生理)	
R7.10.14	火	7･8	早期臨床体験実習Ⅱ実習参加の為の基礎講義	GE GE PR LL IP SO	02 03 01-03 01 01,02 01	05,06 05,06 01,03		医学教育担当教員	早期臨床体験実習Ⅱ
10.20～24	月～金	1～8	早期臨床体験実習Ⅱ					医学教育担当教員	
10.28	火	8.9	早期臨床体験実習Ⅱ実習成果発表					医学教育担当教員	
R8.1.9	金	7	早期臨床体験実習Ⅲ 実習参加の為の基礎講義･医療安全について	GE PR PS LL	01-04 01-03 03 01,02	05		医学教育担当教員	早期臨床体験実習Ⅲ
1.16～22	金～木	1～8	早期臨床体験実習Ⅲ					医学教育担当教員	
1.23	金	5	早期臨床体験実習Ⅲ 実習成果発表					医学教育担当教員	
R7.10.24	金	5	神経症(不安障害)Ⅰ 小テスト	PS	02	17	01-02	利田 征允	精神医学総論
10.24	金	6	神経症(不安障害)Ⅱ 小テスト	PS	02	17	03-05	利田 征允	
R7.4.18	金	1	成人保健(1)	IP	02	02	02	村松 圭司	公衆衛生学
4.18	金	2	成人保健(2) レポート提出	IP	02	02	02	村松 圭司	
5.23	金	1	ヘルスコミュニケーション(1)	SO	04	06	01	市川 衛(学外)	
5.23	金	2	ヘルスコミュニケーション(2)	SO	04	06	01	市川 衛(学外)	
5.23	金	3	ヘルスコミュニケーション(3)	SO	04	06	01	市川 衛(学外)	
5.23	金	4	ヘルスコミュニケーション(4)	SO	04	06	01	市川 衛(学外)	
12.5	金	5･6	肝障害(アルコール性、薬物性)	PS	02	08	01-05	阿部 慎太郎	第3内科学総論
R7.4. 8	火	3･4	医療人類学とは	GE	04	02	02	石丸 知宏	医学概論Ⅲ
4. 15	火	3･4	医療人類学の理論と実践	GE	04	02	03	石丸 知宏	
4. 22	火	3･4	医学のアート	CM	01	02	02	石丸 知宏	
4.25	金	1･2	医療訴訟とコミュニケーション	CM	01	02	01	石丸 知宏	
4.25	金	3･4	医療面接の実践演習①	CM	02	03	01,02	石丸 知宏	
5.1	木	6･7	医療面接の実践演習②	RE RE	05 05	01 02	01 01,02	石丸 知宏	
5.1	木	8	研究倫理と利益相反	GE CM	04 02	03 02	02 01	石丸 知宏	
5.2	金	1･2	漢方医学①	CS	02	04	14	石丸 知宏	
5.15	木	3･4	漢方医学②	CS	02	04	14	石丸 知宏	
5.15	木	5･6	補完代替医療とアーユルヴェーダ	SO	06	01	03	石丸 知宏	
6. 3	火	1･2	医療人類学 研究発表会①	SO	06	01	02	石丸 知宏	
6. 3	火	3･4	医療人類学 研究発表会②	SO	06	01	02	石丸 知宏	
6.10	火	1･2	医療人類学 研究発表会③	SO	06	01	02	石丸 知宏	

年月日	曜日	時限	授業項目（内容）	コアカリ項目				担当者	科目名等
				第1層	第2層	第3層	第4層		
R7.4.23	水	5･6	整形外科の基礎科学(骨・軟骨・筋・神経)(レポート提出)	PS	2	5	1	酒井 昭典	整形外科学各論
R7.12.1	月	2	臨床倫理学の基礎	PR	04	01	02	石丸 知宏	医学概論Ⅳ
12.1	月	3･4	臨床倫理学の応用	PR	04	01	02	石丸 知宏	
12.8	月	1･2	臨床倫理学の実践(成人)	PR	04	01	03	石丸 知宏	
12.8	月	3･4	臨床倫理学の実践(小児)	PR	04	01	03	石丸 知宏	
12.10	水	1･2	臨床倫理学 Case Study 実践演習①	PR	04	01	03	石丸 知宏	医学概論Ⅳ
12.10	水	3･4	臨床倫理学 Case Study 実践演習②	PR	04	01	03	石丸 知宏	
12.15	月	1･2	臨床倫理学 Case Study 実践演習③	PR	04	01	03	石丸 知宏	
R7.12.5	金	5･6	メディカルプロフェッショナリズム:総論	PR	01 03	01 01	01,02 02	石丸 知宏(医学概論)	医の プロフェッショナリズム
12.5	金	7･8	医師としてのプロフェッショナリズム 1	PR	01 01 02 02 03 04	01 02 01 03 01 01	01,02 01,02 01,02 01,02 01,02 01	上田 陽一(学長)	
12.8	月	5	医師としてのプロフェッショナリズム 2	PR	04	01	02	堀江 正知(副学長)	
12.8	月	6	医師としてのプロフェッショナリズム 3	PR	01 01 03	01 02 01	01,02 01,02 01,02	田中 文啓(病院長)	
12.8	月	8	医師としてのプロフェッショナリズム 5	PR PR SO	02 04 05	03 01 02	01 02 03	上野 晋 (産業生態科学研究所長)	
12.10	水	7･8	メディカルコミュニケーション	GE CM SO	04 01-03 06	01,02		種田 博之(人間関係論)	
12.11	木	5･6	医療制度・医療政策	SO	01	02	02	村松 圭司(公衆衛生学)	
12.11	木	7･8	チームとしてのプロフェッショナリズム 1	IP	02	02 03 04	01 01 01	江角 元史郎(NST)	
12.12	金	3	チームとしてのプロフェッショナリズム 2	PR GE GE	04 01 03	01 06 06	02 01,02 03	白石 朝子 (緩和ケアセンター)	
12.12	金	4		GE GE CM CM	01 03 01 02	06 06 02 03	01-03,05 06 01,02 01	藤井 有沙 (緩和ケアセンター)	
12.12	金	5･6	チームとしてのプロフェッショナリズム 3	IP CS CS	02 05 05	04 05 06	01 02 01,02	原 幸治 (医療の質・安全管理部)	
12.12	金	7･8	医学研究:臨床研究と倫理	RE	05	02	01	岡田 洋右 (臨床研究推進センター)	
12.13	金	1･2	医療情報管理	IT	01 01 02	01 02 01	01 01 02	村上 玄樹(医療情報部)	
12.15	月	5･6	チームとしてのプロフェッショナリズム 4	GE PR PS CM CM	01 04 03 01 02	06 01 04 02 03	01 02,03 26,27 02 02,04	永田 昌子 (両立支援科学)	
12.16	火	3	医療と倫理:生殖医療と倫理	PR	04	01	03	網本 頌子 (産科婦人科学)	
12.16	火	4	医療と倫理:生殖医療と倫理	PR	04	01	01	菅 秀太郎(小児科学)	
12.17	水	3･4	医療と倫理:脳死判定と臓器移植	CS	02	04	41	堀下 貴文 (麻酔科学)	
12.17	水	5･6	医学研究:研究倫理とプロフェッショナリズム	RE	05	02	01	石丸 知宏(医学概論)	
12.17	水	7･8	医療と倫理:病院倫理委員会と倫理コンサルテーション	PR	04	01	02	石丸 知宏(医学概論)	
12.22	月	3･4	医学研究:基礎医学研究と倫理	RE	05	01 02	01 02	岡村 匡史(学外) (動物研究センター)	
12.22	月	5･6	医学研究:基礎医学研究と倫理	RE	03 05 05	04 01 02	01 01 02	遠藤 元誉(分子生物学)	
12.22	月	7･8	チームとしてのプロフェッショナリズム 5	PR	02	02	02	鈴木 克典(感染制御部)	

年月日	曜日	時限	授業項目（内容）	コアカリ項目				担当者	科目名等
				第1層	第2層	第3層	第4層		
R7.9.11	木	1	地域医療連携・在宅医療Ⅰ	GE	02	03	01-02	未定	総合診療医学
9.12	金	1	地域医療連携・在宅医療Ⅱ	GE	02	02	01-05	未定	
R7.4.16	水	1・2	膠原病各論 Ⅲ（関節リウマチ：XI-2-R）	PS	03	02	01-05	中山田 真吾	第1内科学各論
7.1	火	7・8	糖尿病：慢性合併症（VI-10-G）	PS	02	14	01-05	隅川 舞子	
7.30	水	7・8	糖尿病：治療(X-5-A)	PS	02	14	01-05	隅川 舞子	
5.21	水	7・8	脂肪肝、その他の肝疾患	PS	02	08	02-05	成田 竜一（学外）	第3内科学各論
R7.5.22	木	1・2	重度ストレス反応および適応障害	PS	02	17	05	丸岡 隆之 （学外）	精神医学各論
6.13	金	5・6	心身医学総論・診断 小テスト	GE	01	03	02	兒玉 直樹 （脳神経内科・診療内科）	
7.7	月	1・2	心身症の治療 小テスト	PS	02	17	01-05	高橋 昌稔 （脳神経内科・診療内科）	
R7.8.18	月	3・4	医療紛争とコミュニケーション	CM	03	02	03	石丸 知宏	症候論統合講義
8.19	火	1・2	臨床倫理4分割法の総演習	PR	04	01	03	石丸 知宏	
8.20	水	3・4	臨床倫理 Case Study (1)	PR	04	01	03	石丸 知宏	
8.20	水	5・6	臨床倫理 Case Study (2)	PR	04	01	03	石丸 知宏	

社会医学
【Social Medicine】

担当責任者 教授（衛生学） 辻 真弓

ねらい

・医学に関連する社会の仕組みを理解するための基礎的な知識と考え方及びリベラルアーツを学ぶ。
・臨床実践に社会科学の知見を生かすことができるよう、健康・疾病・医療に関する社会学の視点・方法・理論について理解する。
・基礎医学、社会医学、臨床医学を統合的に学習することの重要性を理解する。
・□基礎医学・社会医学・臨床医学に関する基本的知識と技能を修得し、疾病の予防、診断と治療、研究に活用することができる。
・保健統計、疫学とその応用、疾病の予防について学ぶ。
・□療統計学の実践的な能力を獲得する。
・□社会と健康・疾病との関係を理解し、環境の変化による個人の健康と社会生活への影響について学ぶ。
・□地域医療・地域保健の在り方と現状及び課題を理解し、地域医療に貢献するための能力を獲得する。
・□産業医の役割とその重要性を理解し、産業医に対する動機づけを得る。
・□産業医学の研究及び産業保健の実務において中心的かつ指導的役割を担う医師としての必要な専門的知識と技能を修得し、実践することができる。
・□環境に関しての基礎知識、生体影響を理解し、環境側の要因の把握およびその影響についての理解を深める。
・□医師として適切な健康教育をおこなうための基礎的能力を修得する。
・□集団の健康・疾病の状況を疫学的視点から理解していくための基礎的能力を修得する。
・□地域を基盤とした保健医療福祉活動において、医師として積極的に参加するための基礎的能力を修得する。

学修目標

1. 地域社会において、プライマリーケアの実践、疾病予防、健康増進、安全確保のための活動に参加できる。（Ⅳ-11）
2. 医療制度、社会福祉制度、医療経済を正しく理解し診療を実践できる。（Ⅳ-10）
3. 地域環境・地球環境に配慮し、必要に応じて事業者に対し改善を要請する。（Ⅲ-5）
4. 予防医学と健康保持増進（健康管理の概念・方法）を概説できる。（Ⅱ-11）
5. 数理統計学の基礎、統計モデルの考え方、多変量解析の手法について理解する。（V-1, V-4）
6. 統計手法を適切に選択・使用し、データを分析し、分析結果を文書や発表スライドを用いて説明できる。（V-1, V-4）
7. 産業医学の特質と重要性、産業医学の歴史および産業医の現状と将来について説明できる。（Ⅱ-8, Ⅱ-11, Ⅱ-12, Ⅱ-13, Ⅲ-1, Ⅲ-2）
8. 産業医の役割とその重要性を説明できる。（Ⅲ-3, Ⅲ-4, Ⅲ-5）
9. 環境の諸因子や気候変動の実態を理解するとともに、環境と生体との相互関係を説明できる。（Ⅱ-8）
10. 気温、気湿、気流、気圧、騒音、振動、光、電磁波等の物理的因子の生活環境および環境中における評価法を知り、その健康影響について記述する。さらに、その対策について説明できる。（Ⅱ-8, Ⅲ-1）
11. 労働条件と労働環境に関連する健康障害の予防、働く人の健康の保持増進、並びに福祉の向上に寄与し、働く人及び事業者に適切な教育を行うことができる。（Ⅲ-1）
12. 働く人及び事業者との円滑な意思疎通を図り、他の専門職とも協力して、職場の環境改善、働く人の健康増進にとりくむことができる。（Ⅲ-2）
13. 集団の健康管理及び組織体の健全な運営の推進を産業医の視点から総合的に判断することができる。（Ⅲ-4）
14. 健康教育を実践する上で、知識の提供にとどまらず、態度と行動の変容の重要性を体験に基づき述べる。（Ⅱ-13）
15. 健康教育を効果的におこなうための各種メディアを積極的に活用し、それらの作成方法、操作方法に習熟する。（Ⅱ-13, Ⅴ-5）

事前事後学習の方法

各科目を参照のこと。

成績評価方法・基準

各科目を参照のこと。

○教 科 書

各科目を参照のこと。

○参 考 書

各科目を参照のこと。

年月日	曜日	時限	授業項目（内容）	コアカリ項目				担当者	科目名等
				第1層	第2層	第3層	第4層		
R7.9.10	水	2	実験心理学（実験社会心理学）	PR RE	02 01	02 01	01,02 01,02	真船　浩介	心理学
10.22	水	2	社会心理学1（社会的スキル）	CM IP	01 02	01 02	01,02, 04,05 02	真船　浩介	
10.29	水	1	社会心理学2（社会的支援、向社会的行動）	PR	02	01	01,02	真船　浩介	
10.29	水	2	健康心理学1（ストレス科学）	GE CM	01 03	05 01	01 01,02	真船　浩介	
11. 5	水	1	健康心理学2（ストレスマネジメント）	GE	01 04	05 01	01 01,05-07	真船　浩介	
11. 5	水	2	産業・組織心理学1（動機づけ）	GE CM CM	01 02 03	05 03 02	01 04 02	真船　浩介	
11.12	水	1	産業・組織心理学2（キャリア）	GE LL	01 01	02 02	02 01,02	真船　浩介	
11.12	水	2	産業保健心理学1（構成概念を用いた疫学研究）	GE RE	01 01	04 02	02 01,02	井上　彰臣	
11.19	水	1	産業保健心理学2（産業精神保健）	SO CM	01 03	04 01	01-03 01	江口　　尚	
11.19	水	2	産業保健心理学3（セルフケア支援）	GE GE	01 04	03 01	02 01,02, 05-07	日野　亜弥子	
12.10	水	1	産業保健心理学4（行動経済学・ナッジ）	GE SO	01 06	05 01	03 02,03	江口　　尚	
12.10	水	2	産業保健心理学5（多様性への配慮）	CM SO SO SO	02 04 04 06	01 01 02 01	01 02 01 03	日野　亜弥子	
12.17	水	1	産業保健心理学6（集団へのアプローチ）	IP CM CM GE	02 02 03 04	04 02 02 01	01 01 01 05,07	真船　浩介	
12.17	水	2	産業保健心理学7（多職種連携、心理職の役割）	IP	01	02	01	真船　浩介	
R8.1. 7	水	2	まとめ	PR	01	01	01,02	真船　浩介	
R7.4.7	月	3･4	オリエンテーション 小レポート	PR GE GE LL RE RE	01-03 01 03,04 01,02 01 03	02,03,05 01,02 01		種田　博之	人間関係論
4.11	金	3･4	講義：人間関係論とはどのような学問か？ 小レポート	GE GE CM SO	01 03,04 01-03 04,06	02,03,05		種田　博之	
4.14	月	3～5	実習：私たちはどのように見られているか？ 実習レポート	RE CM	01,03 01-03			種田　博之	
4.21	月	3～5	実習：私たちはメッセージをどのように読み取っているのか？　実習レポート	RE CM	01,03 01-03			種田　博之	
4.25	金	3･4	講義：私たちは「現実」をどのように見ているのか？① 小レポート	GE GE CM SO	01 03,04 01-03 04,06	02,03,05		種田　博之	
5.2	金	3･4	講義：私たちは「現実」をどのように見ているのか？② 小レポート	GE GE CM SO	01 03,04 01-03 04,06	02,03,05		種田　博之	
5.9	金	1～4	実習：説明するということはどういうことか？ 実習レポート	RE CM	01,03 01-03			種田　博之	
5.12	月	3･4	講義：「意味」の希求 小レポート	GE GE CM SO	01 03,04 01-03 04,06	02,03,05		種田　博之	
5.15	木	5･6	講義：小まとめ 理解度チェックのための小テスト	GE GE CM SO	01 03,04 01-03 04,06	02,03,05		種田　博之	
5.19	月	5～7	実習：演技 実習レポート	RE CM	01,03 01-03			種田　博之	
5.29	木	5･6	講義：私はいかにして「私」となっているか？① 小レポート	GE GE CM SO	01 03,04 01-03 04,06	02,03,05		種田　博之	

年月日	曜日	時限	授業項目（内容）	コアカリ項目				担当者	科目名等
				第1層	第2層	第3層	第4層		
6.5	木	5･6	講義:私はいかにして「私」となっているか？② 小レポート	GE GE CM SO	01 03,04 01-03 04,06	02,03,05		種田 博之	人間関係論
6.20	金	3･4	講義:コミュニケーションをめぐる誤解 小レポート	GE GE CM SO	01 03,04 01-03 04,06	02,03,05		種田 博之	
6.27	金	1･2	講義:コミュニケーションプロセスモデル 小レポート	GE GE CM SO	01 03,04 01-03 04,06	02,03,05		種田 博之	
7.4	金	1･2	講義:コミュニケーションにおけるコンテキスト 小レポート	GE GE CM SO	01 03,04 01-03 04,06	02,03,05		種田 博之	
7.18	金	1	講義:小まとめ 理解度チェックのための小テスト	GE GE CM SO	01 03,04 01-03 04,06	02,03,05		種田 博之	
9.12	金	5～8	グループワーク報告会 グループワークレポート	LL RE IP	02 04 01,02	01 01		種田 博之	
R7.4.8	火	5･6	ガイダンス、我が国の法体系					清水 裕一郎(学外)	法学概論
4.15	火	5･6	憲法とは何か？					清水 裕一郎(学外)	
4.22	火	5･6	日常生活と法(1)―契約					清水 裕一郎(学外)	
5.13	火	5･6	日常生活と法(2)―親族と相続					清水 裕一郎(学外)	
5.20	火	5･6	医療行為と法(1)―医療過誤における法的責任					清水 裕一郎(学外)	
5.27	火	5･6	医療行為と法(2)―医療過誤が問題となった事例					清水 裕一郎(学外)	
6.3	火	5･6	遺骨に対する権利、まとめ					清水 裕一郎(学外)	
R7.10.3	金	3･4	中心極限定理とその証明(スターリングの公式) 小テスト	RE	01	01	01	鳥巣 伊知郎	医療統計学
10.6	月	1･2	多変量データの記述(多次元正規分布) 小テスト	RE	01	01	01	鳥巣 伊知郎	
10.10	金	3･4	線形モデル(分散分析・重回帰分析) 小テスト	RE	01	01	01	鳥巣 伊知郎	
10.17	金	3･4	最小二乗法とガウス-マルコフの定理(BLUE) 小テスト	RE	01	01	01	鳥巣 伊知郎	
10.20	月	1･2	最尤推定量の性質(漸近有効性・一致性) 小テスト	RE	01	01	01	鳥巣 伊知郎	
10.27	月	1･2	推定と検定(P値・信頼区間・尤度比検定) 小テスト	RE	01	01	01	鳥巣 伊知郎	
11.10	月	1･2	情報統計学の話題から1	RE	01	01	01	大谷 誠	
11.17	月	1･2	情報統計学の話題から2 レポート提出	RE	01	01	01	大谷 誠	
11.28	金	1･2	論文抄読と演習1	RE	01	01	01	村松 圭司	
12.12	金	1･2	論文抄読と演習2 レポート提出	RE	01	01	01	村松 圭司	
R7.10.7	火	1･2	医療社会学とは？ 小レポート	SO SO SO CS	01 04 06 05	05		種田 博之	医療社会学
10.14	火	1･2	「輸入非加熱血液製剤によるHIV感染」の概要 小レポート	SO SO SO CS	01 04 06 05	05		種田 博之	
10.21	火	1･2	血友病とHIV／AIDSの基礎的知識 小レポート	PS PS PS CS	01 01 03 02	03 04 03 04	11,22 13 02,04,38	種田 博之	
10.28	火	1･2	HIV／AIDSの表象 小レポート	GE CM SO SO	04 01-03 01 04,06	05		種田 博之	
11.11	火	1･2	HIV／AIDSのリスクはどのように評価されたのか？ 小レポート	GE CM SO SO	04 01-03 01 04,06	05		種田 博之	
11.18	火	1･2	治療方法がない状況における医師－患者関係 小レポート	GE CM SO SO	04 01-03 01 04,06	05		種田 博之	
11.25	火	1･2	医師と患者の適正なコミュニケーションとは？ 小レポートならびに課題レポート	PR GE CM SO	01-04 01,03,04 01-03 04,06			種田 博之	

年月日	曜日	時限	授業項目（内容）	コアカリ項目				担当者	科目名等
				第1層	第2層	第3層	第4層		
R7.10.3	金	7･8	認知症の人の置かれた状況 講義レポート①	PR GE	03 04	01 02	01 01	樫本 直樹	病の文学
10.10	金	7･8	認知症を生きる：手記 講義レポート②	CM	01	02	01	樫本 直樹	
10.17	金	7･8	認知症を生きる：手記 講義レポート③	CM	01	02	02	樫本 直樹	
10.24	金	7･8	認知症の人にどう向き合うのか：GW 講義レポート④	GE CM	04 03	02 01	01 02	樫本 直樹	
11.7	金	7･8	認知症の人にどう向き合うのか：発表 講義レポート⑤	CM	03	01	01	樫本 直樹	
11.14	金	7･8	認知症の人の世界をどう理解するか：医療におけるケアの本質 講義レポート⑥	PR CM	03 01	01 02	01 01	樫本 直樹	
11.28	金	7･8	科目試験	LL PR	01 03	01 01	02 02	樫本 直樹	
R7.4.10	木	8	論文検索（課題提出）	RE	02	02	01	未 定	情報統計学
4.17	木	5･6	Word演習（課題提出）	RE	02	02	01	未 定	
4.17	木	7･8	PowerPoint演習（課題提出）	RE	04	01	01	未 定	
4.24	木	5～7	Excel演習（課題提出）	RE	04	01	01	未 定	
4.24	木	8	統計学(1)統計学概論	SO	02	03	01	未 定	
5.1	木	5	統計学(2)記述統計	SO	02	03	02	未 定	
5.1	木	6	統計学(3)推測統計	SO	02	03	02-04	未 定	
5.1	木	7･8	統計学(4)区間推定	SO	02	03	03	未 定	
5.8	木	7	統計学(5)仮説検定、1標本の検定	SO	02	03	04	未 定	
5.8	木	8	統計学(6)t検定	SO	02	03	04	未 定	
5.15	木	7	統計学(6)t検定（課題提出）	SO	02	03	04	未 定	
5.15	木	8	プレゼンテーション準備(1)（課題提出）	RE	04	01	01	未 定	
5.22	木	5･6	統計学(7)カイ2乗検定（課題提出）	SO	02	03	04	未 定	
5.22	木	7･8	統計学(8)分散分析（課題提出）	SO	02	03	04	未 定	
6.12	木	5･6	統計学(9)相関（課題提出）	SO	02	03	04	未 定	
6.12	木	7･8	統計学(10)回帰分析（課題提出）	SO	02	03	05	未 定	
6.19	木	5～8	プレゼンテーション準備(2)（課題提出）	RE	04	01	01	未 定	
6.26	木	5	人工知能概論	IT	02	02	01	未 定	
6.26	木	6～8	人工知能演習	IT	02	02	01	未 定	
7.3	木	5～8	プレゼンテーション準備(3)（課題提出）	RE	04	01	01	未 定	
7.4	金	5～8	プレゼンテーション準備(4)（課題提出）	RE	04	01	01	未 定	
7.16	水	1･2	プレゼンテーション準備(5)（課題提出）	RE	04	01	01	未 定	
7.16	水	3～8	プレゼンテーション	RE	04	01	02,03	未 定	
7.17	木	5	総括	IT IT IT IT IT RE RE SO	01 02 02 03 03 02 04 02	02 01 02 01 02 02 01 03	02 02 01 02 01 01 01,02 01,03, 04	未 定	
7.24	木	5	最終テスト	IT IT IT IT IT RE RE SO	01 02 02 03 03 02 04 02	02 01 02 01 02 02 01 03	02 02 01 02 01 01 01,02 01,03, 04	未 定	

年月日	曜日	時限	授業項目（内容）	コアカリ項目				担当者	科目名等
				第1層	第2層	第3層	第4層		
R8.1.6	火	3･4	病院地域医療連携	GE GE GE IP	01 01 02 02	03 06 02 04	02,03 05 02 01	野田 雅美 （患者サポートセンター）	医療職概論
1.7	水	7･8	地域医療	GE GE	02 02	01 02	01,02 01,02, 04,05	長森 健 （北九州市医師会専務理事）	
1.13	火	1･2	地域保健師	GE	02	01 03 04	01,02 01 02	（産業保健学部）	
R7.4.14	月	6･7	健康とは何か　ー植物状態患者および家族から学ぶ	GE	04	01	01	石丸 知宏	医学概論Ⅰ
5.12	月	5･6	死とは何か 臨床宗教師からのメッセージ(特別講義①)	SO	06	01	01	源 智道(学外)	
5.26	月	3･4	医療とは何か 患者および家族からのメッセージ （特別講義②）	SO	06	01	01	三好 洋介(学外)	
6.9	月	3･4	障害とは何か 重症心身障害者施設管理者からのメッセージ (特別講義③)	SO	04	01	02	岩永 知秋(学外)	
6.16	月	4	Early Medical Exposure実習の意義と目的	PR	03	01	01	石丸 知宏	
R7.11.27	木	1～4	早期臨床体験実習Ⅰ実習参加の為の基礎講義	GE GE CM IP PR LL	01 01 01 01,02 01-03 01	01 02-04 01,02	01-06	医学教育担当教員	早期臨床体験実習Ⅱ
12.1～5	月～金	1～8	早期臨床体験実習Ⅰ					医学教育担当教員	
12.11	木	2	早期臨床体験実習Ⅰ実習成果発表					医学教育担当教員	
R7.6.4	水	1.2	医療資源の配分	SO	04	07	01	石丸 知宏	医学概論Ⅱ
R7.9.5	金	2	衛生学概論	GE	04	02	02	辻 真弓	衛生学
9.5	金	3	環境リスク評価の考え方	GE	04	02	02	辻 真弓	
9.5	金	4	生活習慣と疾病	GE	04	01	06	一瀬 豊日 （進路指導部）	
9.5	金	5	栄養素の基本①	PS	01	02	35	佐久間理英 （学外）	
9.5	金	6	栄養素の基本②	PS	01	02	35	佐久間理英 （学外）	
9.5	金	7	栄養素と疾病①	GE	04	01	03	太田 雅規 （学外）	
9.5	金	8	栄養素と疾病②	GE	04	01	03	太田 雅規 （学外）	
9.8	月	2	化学的因子による健康影響　1.職業癌	SO	01	04	03	辻 真弓	
9.8	月	3	化学的因子による健康影響　2.職業癌 演習	SO	01	04	03	辻 真弓	
9.10	水	2	化学的因子による健康影響 3.ガス	SO	01	04	04	辻 真弓	
9.10	水	3	化学的因子による健康影響 4.大気汚染	SO	04	03	01	辻 真弓	
9.10	水	4	下水道	GE	04	02	02	一瀬 豊日 （進路指導部）	
9.12	金	5	上水道	GE	04	02	02	一瀬 豊日 （進路指導部）	
9.12	金	6	水質汚濁	GE	04	02	02	一瀬 豊日 （進路指導部）	
9.19	金	3	物理的因子による健康影響 1.非電離放射線① （赤外線･紫外線･電磁波）	PS	03	06	01	岡﨑 龍史 （放射線衛生管理学）	
9.19	金	4	〃　2.非電離放射線② （赤外線･紫外線･電磁波）	PS	03	06	06	岡﨑 龍史 （放射線衛生管理学）	
9.22	月	3	栄養素と疾病③	GE	04	01	03	田中 里枝(学外)	
9.22	月	4	食品衛生①	SO	01	03	02	田中 里枝 （学外）	
9.22	月	5	食品衛生②	GE	04	01	03	田中 里枝(学外)	
9.22	月	6	演習① 衛生学概論、生活習慣と疾病、栄養素の基本①②、栄養素と疾病①～③、食品衛生①②	GE	04	02	02	田中 里枝(学外)	
9.24	水	5	物理的因子による健康影響 3.暑熱寒冷/気圧による健康障害	SO	01	04	03	永野 千景 （産業保健管理学）	
9.24	水	6	物理的因子による健康影響 4.暑熱寒冷/気圧による健康障害	SO	01	04	04	永野 千景 （産業保健管理学）	
9.24	水	7	物理的因子による健康影響 5.騒音･振動	SO	01	04	03	永野 千景 （産業保健管理学）	
9.26	金	4	中間試験① 演習①内容	GE	04	02	02	全教員	
9.29	月	2	作業態様と健康	SO	01	04	03	峰 悠子	
9.29	月	3	プラネタリーヘルス	SO SO	04 04	03 03	01 02	峰 悠子	

年月日	曜日	時限	授　業　項　目（内　容）	コアカリ項目				担　当　者	科目名等
				第1層	第2層	第3層	第4層		
9.29	月	4	演習②　下水道、上水道、水質汚濁、物理的因子による健康影響1～5、作業態様と健康、プラネタリーヘルス	GE SO	04 01	02 05	02 01	全教員	衛生学
10.1	水	5	衛生学からみた労働衛生関係統計	SO	01	04	02	田中　政幸 (学外)	
10.1	水	6	最近の労働衛生の展開と衛生学	SO	01	04	01	田中　政幸 (学外)	
10.1	水	7	母性保健	SO	01	04	01	長井　聡里 (学外)	
10.3	金	5	疫学の応用:食中毒発生1	SO	02	02	05	郡山　千早 (学外)	
10.3	金	6	〃　　2	SO	02	02	06	郡山　千早 (学外)	
10.3	金	7	産業廃棄物とリサイクル	SO	01	04	02	峰　悠子	
10.6	月	5	化学的因子による健康影響　5.毒性評価	SO	01	04	04	一瀬　豊日 (進路指導部)	
10.6	月	6	化学的因子による健康影響　6.タバコの健康影響	GE	04	01	06	大和　浩 (健康開発科学)	
10.6	月	7	〃　　7.タバコ対策	GE	04	01	06	大和　浩 (健康開発科学)	
10.10	金	5	環境毒性学　1.概論　2.塩素系化合物の生体影響	SO	01	04	04	山元　恵(学外)	
10.10	金	6	環境毒性学　3.重金属の生体影響　4.まとめ	SO	01	04	04	山元　恵 (学外)	
10.10	金	7	演習③　環境リスク評価の考え方、化学的因子による健康影響　1～7	GE SO	04 01	02 04	02 01	全教員	
10.17	金	5	小児と妊娠と化学物質ばく露	GE	03	01	02	辻　真弓	
10.17	金	6	成人と高年齢と化学物質曝ばく露	GE	03	01	02	赤池　幸歌	
10.17	金	7	演習④　衛生学からみた労働衛生関係統計、最近の労働衛生の展開と衛生学、母性保健、産業廃棄物とリサイクル、小児と妊娠と化学物質ばく露、成人と高年齢と化学物質ばく露	GE GE SO	03 04 01	01 02 04	01 02 02	全教員	
10.27	月	5	中間試験②　演習②③④内容	GE GE	03 04	01 02	01 02	全教員	
11.5	水	5～8	実習①	GE SO	04 04	02 03	02 01	全教員、 一瀬　豊日(進路指導部)	
11.7	金	5	職業性疾病①	SO	01	04	03	小川　真規(学外)	
11.7	金	6	〃　②	SO	01	04	03	小川　真規(学外)	
11.7	金	7	労働現場と衛生学①	SO	01	04	01	川本　俊弘(学外)	
11.7	金	8	労働現場と衛生学①	SO	01	04	03	川本　俊弘(学外)	
11.12	水	5･6	実習②(実習①の振り返り)	GE SO	04 04	0203	02 01	全教員	
11.17	月	5	演習⑤　環境リスク評価の考え方、化学的因子による健康影響　1～7、職業性疾病①②、労働現場と衛生学①②	GE SO	04 01	02 04	02 01	全教員	
11.19	水	5～8	実習③	GE SO	04 04	02 03	02 01	全教員、 一瀬　豊日(進路指導部)	
11.26	水	5	中間試験③　演習⑤内容	GE SO	04 01	02 04	02 01	全教員	
11.28	金	5･6	実習④(実習③の振り返り)	GE SO	04 04	02 03	02 01	全教員	
1.9	金	5	演習　講義すべての振り返り	GE	04	02	02	全教員	
1.19	月	3･4	最終試験	GE SO	04 01	02 04	02 01	全教員	
R7.4.3	5	5	作業環境測定法概論	SO	01	04	01	東　秀憲 (労働衛生工学)	産業医学Ⅲ
4.10	5	1	作業管理と人間工学③(交代勤務･過重労働等)	SO	01	04	01	藤原　広明 (人間工学)	
4.10	5	2	作業管理と人間工学④(交代勤務･過重労働等)	SO	01	04	01	藤原　広明 (人間工学)	
4.4	6	5	作業環境改善･局所排気①	SO	01	04	01	東　秀憲 (労働衛生工学)	
4.4	6	6	作業環境改善･局所排気②	SO	01	04	01	東　秀憲 (労働衛生工学)	
4.9	4	3	有害化学物質の管理①	SO	01	04	04	藤澤　浩一 (職業性腫瘍学)	
4.9	4	4	有害化学物質の管理②	SO	01	04	04	藤澤　浩一 (職業性腫瘍学)	
4.4	6	7	特定化学物質取り扱い業務①	SO	01	04	03	藤澤　浩一 (職業性腫瘍学)	
4.4	6	8	特定化学物質取り扱い業務②	SO	01	04	03	藤澤　浩一 (職業性腫瘍学)	
4.17	木	5	粉じん･アスベストの作業環境管理①	SO	01	04	03	森本　泰夫 (呼吸病態学)	

年月日	曜日	時限	授業項目（内容）	コアカリ項目				担当者	科目名等
				第1層	第2層	第3層	第4層		
4.17	木	6	粉じん・アスベストの作業環境管理②	SO	01	04	03	森本 泰夫 (呼吸病態学)	産業医学Ⅲ
4.3	5	3	作業管理と人間工学①(腰痛、上肢障害)	SO	01	04	01	榎原 毅 (人間工学)	
4.3	5	4	作業管理と人間工学②(情報機器作業など)	SO	01	04	01	榎原 毅 (人間工学)	
4.23	4	4	産業疲労	SO	01	04	03	谷 直道 (人間工学)	
R7.4.1	火	1・2	総論、生と死、死因論	GE	03	06	01	佐藤 寛晃	法医学
6.6	金	1・2	医事法総論(医療と法)	SO	05	01	01	和泉澤 千恵(学外)	
6.9	月	1・2	医療を取り巻く法的・倫理的問題	CS	05	05	02	佐藤 寛晃	
6.11	水	1・2	医療過誤と医療関係者の責任	CS	05	03	02	佐藤 寛晃	
6.16	月	1・2	死亡診断書・死体検案書の書き方	SO	03	01	03	佐藤 寛晃	
R7.4.3	木	6	オリエンテーション・医療(1)	SO	04	01	02	未定	公衆衛生学
4.3	木	7	医療(2) レポート提出	SO	04	06	01	未定	
4.4	金	1	衛生統計(1)	SO	02	01	01	未定	
4.4	金	2	衛生統計(2) レポート提出	SO	02	01	01	未定	
4.4	金	3	地域リハビリテーション(1)	SO	04	06	01	未定	
4.4	金	4	地域リハビリテーション(2)	SO	04	06	01	未定	
4.11	金	1	衛生統計(3)	SO	02	01	01	未定	
4.11	金	2	衛生統計(4) 小テスト	SO	02	01	01	未定	
4.11	金	3	障害者福祉・精神保健(1)	SO	04	06	01	未定	
4.11	金	4	障害者福祉・精神保健(2) レポート提出	SO	04	06	01	未定	
4.16	水	3	疫学(1)	SO	02	01	01	未定	
4.16	水	4	疫学(2) レポート提出	SO	02	01	01	未定	
4.17	木	1	疫学(3)	SO	02	01	01	未定	
4.17	木	2	疫学(4) レポート提出	SO	02	01	01	未定	
4.17	木	3	在宅ケア(1)	SO	02	01	01	未定	
4.17	木	4	在宅ケア(2) レポート提出	SO	02	01	01	未定	
4.18	金	1	成人保健(1)	IP	02	02	02	未定	
4.18	金	2	成人保健(2) レポート提出	IP	02	02	02	未定	
4.18	金	3	母子保健・学校保健(1)	SO	01	02	03	未定	
4.18	金	4	母子保健・学校保健(2) レポート提出	SO	01	02	03	未定	
4.18	金	5	地域医療と医師会(1)	SO	05	02	02	未定	
4.18	金	6	地域医療と医師会(2)	SO	05	02	02	未定	
5.1	木	1	特論(油症)(1)	SO	02	01	01	未定	
5.1	木	2	特論(油症)(2)	SO	04	01	02	未定	
5.1	木	3	衛生統計(5)	SO	01	02	03	未定	
5.1	木	4	衛生統計(6) 小テスト	SO	01	02	03	未定	
5.7	水	3	薬事(1)	SO	04	06	01	未定	
5.7	水	4	薬事(2) レポート提出	SO	04	06	01	未定	
5.8	木	1	疫学(5)	SO	02	01	01	未定	
5.8	木	2	疫学(6)	SO	02	01	01	未定	
5.8	木	3	疫学(7)	SO	02	01	01	未定	
5.8	木	4	疫学(8) レポート提出	SO	02	01	01	未定	
5.9	金	1	介護(1)	SO	05	02	02	未定	
5.9	金	2	介護(2) レポート提出	SO	05	02	02	未定	
5.9	金	3	地域医療(1)	SO	01	02	03	未定	
5.9	金	4	地域医療(2) レポート提出	SO	01	02	03	未定	
5.16	金	1	国際保健(1)	SO	04	06	01	未定	

年月日	曜日	時限	授業項目（内容）	コアカリ項目				担当者	科目名等
				第1層	第2層	第3層	第4層		
5.16	金	2	国際保健(2) 小テスト	SO	04	06	01	未定	公衆衛生学
5.16	金	3	医療(3)	SO	04	06	01	未定	
5.16	金	4	医療(4) レポート提出	SO	04	06	01	未定	
5.22	木	1	産業保健(特論)(1)	SO	04	06	01	未定	
5.22	木	2	産業保健(特論)(2)	SO	04	06	01	未定	
5.22	木	3	産業保健(特論)(3)	SO	01	02	03	未定	
5.22	木	4	産業保健(特論)(4)	SO	01	02	03	未定	
5.23	金	1	ヘルスコミュニケーション(1)	SO	04	06	01	未定	
5.23	金	2	ヘルスコミュニケーション(2)	SO	04	06	01	未定	
5.23	金	3	ヘルスコミュニケーション(3)	SO	04	06	01	未定	
5.23	金	4	ヘルスコミュニケーション(4)	SO	04	06	01	未定	
6.4	水	1	厚生労働行政(1)	SO	04	06	01	未定	
6.4	水	2	厚生労働行政(2) レポート提出	SO	04	06	01	未定	
R8.1.9	金	1	心身医学総論(1) 小テスト	PS	02	17	01,02	兒玉 直樹	神経内科学総論
1.9	金	2	心身医学総論(2) 小テスト	PS	02	17	01,02	兒玉 直樹	
R7.4..8	火	3・4	医療人類学とは	GE	04	02	02	石丸 知宏	医学概論Ⅲ
4. 15	火	3・4	医療人類学の理論と実践	GE	04	02	03	石丸 知宏	
4.22	火	3・4	医学のアート	CM	01	02	02	石丸 知宏	
4.25	金	1・2	医療訴訟とコミュニケーション	CM	01	02	01	石丸 知宏	
5.15	木	5・6	補完代替医療とアーユルヴェーダ	SO	06	01	03	石丸 知宏	
R7.4.17	木	3	心身医学各論(1) 小テスト	PS	02	17	03,04	須藤 信行(学外)	神経内科学各論
4.17	木	4	心身医学各論(2) 小テスト	PS	02	17	03,04	須藤 信行(学外)	
7.15	火	3	心身症(1) 小テスト	PS	02	17	03,04	林田 草太(学外)	
7.15	火	4	心身症(2) 小テスト	PS	02	17	03,04	林田 草太(学外)	
5.1	木	3	医学生に必要な認知症の基礎知識(1) 小テスト	PS	02	03	03,04	鷲見 幸彦(学外)	
5.1	木	4	医学生に必要な認知症の基礎知識(2) 小テスト	PS	02	03	03,04	鷲見 幸彦(学外)	
R7.9.5	金	3・4	司法精神医学・精神保健福祉法	SO	01	03	04	小嶋 秀幹 (学外)	精神医学各論
9.30	月	5	精神科に関わる社会資源 小テスト	SO	01	02 03	03 04	北川 奨悟	
R7.11.19	水	5	適正配置・両立支援1 (レポート提出)	SO	04	06	01	永田 昌子 (両立支援科学)	産業医学Ⅳ
11.19	水	6	適正配置・両立支援2	SO	04	06	01	永田 昌子 (両立支援科学)	
11.28	金	3	職場のメンタルヘルス-総論	SO	04	06	01	江口 尚 (産業精神保健学)	
11.28	金	4	職場のメンタルヘルス-対策の実際-事例研究	SO	04	06	01	江口 尚 (産業精神保健学)	
12.4	木	5	メンタルヘルスおよびストレスの調査(実習)	SO	04	06	01	日野 亜弥子 (産業精神保健学)	
12.4	木	6	職場環境改善の方法(実習)	SO	04	06	01	真船 浩介 (産業精神保健学)	
12.5	金	1	産業カウンセリング	SO	04	06	01	真船 浩介 (産業精神保健学)	
11.19	水	7	健康教育1 (小テスト)	SO	04	06	01	柴田 喜幸 (産業医実務研修センター)	
11.19	水	8	健康教育2(小テスト)	SO	04	06	01	柴田 喜幸 (産業医実務研修センター)	
11.20	木	5	企業活動としての産業保健	SO	04	06	01	森 晃爾 (産業保健経営学)	
11.20	木	6	職域における健康管理(総論) (レポート提出)	SO	04	06	01	小田上 公法 (産業保健経営学)	
11.20	木	7	健康危機管理(新興感染症を含む) (レポート提出)	SO	04	06	01	立石 清一郎 (災害産業保健センター)	
11.20	木	8	健康科学総論 (小テスト レポート提出)	SO	04	06	01	大和 浩 (健康開発科学)	

年月日	曜日	時限	授業項目（内容）	コアカリ項目				担当者	科目名等
				第1層	第2層	第3層	第4層		
11.25	火	5	職域における健康増進の実際 (小テスト レポート提出)	SO	04	06	01	大和 浩 (健康開発科学)	産業医学Ⅳ
11.25	火	6	健康保持増進対策実習1	SO	04	06	01	大和 浩、姜 英、朝長 諒 (健康開発科学)	
11.25	火	7	健康保持増進対策実習2 (小テスト レポート提出)	SO	04	06	01	大和 浩、姜 英、朝長 諒 (健康開発科学)	
11.25	火	8	職域・地域における喫煙対策 (小テスト レポート提出)	SO	04	06	01	大和 浩 (健康開発科学)	
11.28	金	1	健康診断・保健指導1 (小テスト)	SO	04	06	01	田口 要人 (産業医実務研修センター)	
11.28	金	2	健康診断・保健指導2(小テスト)	SO	04	06	01	田口 要人 (産業医実務研修センター)	
12.4	木	7	メンタルヘルス教育	SO	04	06	01	江口 尚 (産業精神保健学)	
12.4	木	8	メンタルヘルス不調者の職場復帰支援 (小テスト)	SO	04	06	01	江口 尚 (産業精神保健学)	
12.5	金	2	労働安全衛生マネジメントシステム (小テスト レポート提出)	SO	04	06	01	大神 明 (作業関連疾患予防学)	
12.5	金	3	安全概論(小テスト レポート提出)	SO	04	06	01	大神 明 (作業関連疾患予防学)	
12.5	金	4	労働現場における事故事例研究 (小テスト レポート提出)	SO	04	06	01	大神 明 (作業関連疾患予防学)	
12.4	木	7	メンタルヘルス教育	SO	04	06	01	江口 尚 (産業精神保健学)	
12.4	木	8	メンタルヘルス不調者の職場復帰支援 (小テスト)	SO	04	06	01	江口 尚 (産業精神保健学)	
R7.12.11	木	5･6	医療制度・医療政策	SO	01	02	02	村松 圭司 (公衆衛生学)	医の プロフェッショナリズム
12.12	金	7･8	医学研究:臨床研究と倫理	RE	05	02	01	岡田 洋右 (臨床研究推進センター)	
12.17	水	3･4	医療と倫理:脳死判定と臓器移植	CS	02	04	41	堀下 貴文 (麻酔科学)	
12.18	木	6･7	医療と倫理:医薬品の副作用と救済制度	RE	05	02	01	未定 (学外) (薬理学)	
12.22	月	3･4	医学研究:基礎医学研究と倫理	RE	05	01 02	01 02	岡村 匡史(学外) (動物研究センター)	
12.22	月	5･6	医学研究:基礎医学研究と倫理	RE	03 05 05	04 01 02	01 01 02	遠藤 元誉 (分子生物学)	
R7.7. 9	水	1･2	職業性肺疾患・胸膜疾患・感染対策	SO	01	04	03	田原 正浩 (呼吸器内科学)	産業医学Ⅵ
7. 9	水	3･4	産業保健領域での画像診断 ～定期・特殊健康診断から"がん検診"まで～	SO	01	04	02	草野 涼 (放射線科学 学外)	
7. 9	水	5･6	労働眼科	SO	01	04	03	奥 一真 (眼科学)	
7. 9	水	7･8	循環器疾患と職業・ストレス	SO	01	04	03	尾上 武志 (第2内科学)	
7.10	木	1･2	職業性神経疾患	SO	01	04	03	岡田 和将 (脳神経内科・心療内科)	
7.10	木	3･4	職業性関連胸部悪性腫瘍	SO	01	04	03	田中 文啓 (第2外科学)	
7.10	木	5･6	職業性皮膚疾患	SO	01	04	03	礒田 英華 (皮膚科学 学外)	
7.10	木	7･8	脳卒中の治療と仕事の両立支援	SO	01	04	01	佐伯 覚 (リハビリテーション医学)	
7.11	金	1･2	糖尿病労働者の健康管理	SO	01	01	03	新生 忠司 (第1内科学 学外)	
7.11	金	3･4	労働と消化器疾患 ～産業医の役割～	SO	01	04	03	浅海 洋 (第3内科学 学外)	
7.11	金	5	両立支援にかかる産業医活動①	SO	01	04	03	林 剛司 (衛生学 学外)	
7.11	金	6	両立支援にかかる産業医活動②	SO	01	04	03	山本 修一郎 (衛生学 学外)	
7.11	金	7･8	熱中症 有機溶媒中毒など	SO	01	04	04	堀下 貴文 (麻酔科学)	
7.14	月	1･2	職場のメンタルヘルス	SO	01	04	03	新開 隆弘 (精神医学)	
7.14	月	3･4	労働災害による四肢外傷	SO	01	04	03	善家 雄吉 (整形外科学)	
7.14	月	5･6	騒音性難聴	SO	01	04	03	河口 倫太郎 (耳鼻咽喉科・頭頸部外科学)	
7.14	月	7･8	職業性関連泌尿器科疾患	SO	01	04	03	真鍋 憲幸 (泌尿器科学 学外)	

年月日	曜日	時限	授業項目（内容）	コアカリ項目				担当者	科目名等
				第1層	第2層	第3層	第4層		
7.15	火	1･2	職場で遭遇する外科的疾患と処置	SO	01	04	03	井上 譲 (第1外科学)	産業医学VI
7.15	火	3･4	女性労働者の健康管理	SO	01	04	01	松浦 祐介 (広域･発達看護学)	
R7.8.20	火	3･4	診断書･検案書･証明書	SO	03	01	03	佐藤 寛晃 (法医学)	症候論統合講義
8.27	水	3･4	医師国家試験公衆衛生領域 低正答率問題解説(1)	SO	01	01	01	未定	
9.11	木	7･8	COPDと関連疾患	PS	02	07	05	丈達 陽順 (呼吸器内科学)	
9.26	金	5･6	うつ病患者の職場復帰	PS GE	02 03	17 04	01 04	新開 隆弘 (精神医学)	

1年次～6年次

医療倫理学
【Medical Ethics 】

担当責任者 准教授（哲学概論） 樫本 直樹

ねらい

・医師として将来出会うさまざまな倫理的諸問題に向き合い、多様な視点から考えることを可能にするための基盤を構築する。

・なぜ医療現場や臨床研究において倫理が問われるのか、患者や被験者の人権や自律尊重が大切であるのかについて理解する。

・本来の自分の生き方を再発見・探究することにより、専門職である医師となるための基本的な倫理観を身につけ、倫理的態度を養う。

・患者の立場や気持ちを理解し、医療・生活支援の現場での医師の役割を学ぶ。

・人の心理と行動を理解し、患者および労働者等に対する適切な心理的支援の基本的知識を修得する。

・すべての医行為における「医と法」の無数の接点における課題の本質を理解する。

・医師法および医療法をはじめとし、医療行為に係る法規の立法精神を学び、医師と患者間の人間関係の倫理的問題点に目を向ける。

・遺伝情報の伝達の仕組みとその異常による疾患の診断や治療に関する倫理的配慮の必要性について考察する。

・医学・生物学でよく遭遇する標本に統計手法を適用するときに生じる問題点、具体的な扱い方を修得する。

・倫理的価値や原則の対立する問題に対して、他者と議論しながら考えていく実践的コミュニケーション能力の必要性を理解する。

学修目標

1. 自分自身の考えや経験を掘り下げ、倫理と人間の尊厳性に対する認識を持つことができる。（Ⅰ-1, Ⅵ-1）
2. 医療倫理・バイオエシックスの歴史的変遷と展開について説明できる。（Ⅰ-1, Ⅴ-2）
3. 現代医療が直面している生命倫理問題について自ら論じることができる。（Ⅰ-1）
4. インフォームド・コンセントの基礎となる考え方とその具体的対応について説明できる。（Ⅰ-1, Ⅳ-8, Ⅵ-1）
5. 医師の義務および診療契約について説明できる。（Ⅰ-2）
6. 診療行為が違法とはならない理由を説明できる。（Ⅰ-3）
7. 医学上の生と死および死因論について説明できる。（Ⅱ-3、Ⅱ-5）
8. 人の心理と行動の理解に基づいた心理的支援の基礎を説明できる。（Ⅵ-1）
9. 患者の気持ちを理解し、患者を中心としたチーム医療の重要性を説明できる。（Ⅵ-1, Ⅵ-3）
10. 研究倫理と利益相反および研究不正防止策について説明できる。（Ⅴ-3）
11. 医療の持つ社会的側面の重要性を理解し、保健医療法規・制度、医療保険、公費負担医療、医の倫理・生命倫理を理解し、適切に診療することの重要性を理解する。（Ⅰ-2, Ⅱ-12）
12. 実践的な臨床現場における倫理的問題を臨床倫理的アプローチに基づいて論じることができる。（Ⅰ-1、Ⅰ-3）

事前事後学習の方法

各科目を参照のこと。

成績評価方法・基準

各科目を参照のこと。

○ 教 科 書

各科目を参照のこと。

○ 参 考 書

各科目を参照のこと。

年月日	曜日	時限	授業項目（内容）	コアカリ項目				担当者	科目名等
				第1層	第2層	第3層	第4層		
R7.9. 3	水	2	心理学概論(心理学と諸科学)	GE	01	02	01	真船　浩介	心理学
9.10	水	1	心理測定論(尺度構成法)	CM	03	01	01,02	真船　浩介	
9.10	水	2	実験心理学(実験社会心理学)	PR RE	02 01	02 01	01,02 01,02	真船　浩介	
9.17	水	1	認知心理学(感覚・知覚・認知)	PS PR CM	01 02 02	02 02 03	17 01,02 01	真船　浩介	
9.17	水	2	感情心理学(感情の基礎、測定)	CM	01	01 02	04 02	真船　浩介	
9.24	水	2	人格心理学(特性と類型)	GE GE CM	01 04 02	05 02 03	01 01 02	真船　浩介	
10. 8	水	1	臨床心理学1(来談者中心療法、積極的傾聴)	GE GE GE CM	01 01 04 02	05 03 02 03	02 01 01 02	真船　浩介	
10. 8	水	2	臨床心理学2(交流分析)	GE CM	04 01	02 01	01 01,02,04	真船　浩介	
10.15	水	1	臨床心理学3(認知行動療法)	GE	01 04	05 02	02 01	真船　浩介	
10.15	水	2	臨床心理学4(応用行動分析)	GE	01 04	05 02	02 01	真船　浩介	
10.22	水	2	社会心理学1(社会的スキル)	CM IP	01 02	01 02	01,02, 04,05 02	真船　浩介	
10.29	水	2	健康心理学1(ストレス科学)	GE CM	01 03	05 01	01 01,02	真船　浩介	
11. 5	水	1	健康心理学2(ストレスマネジメント)	GE	01 04	05 01	01 01,05-07	真船　浩介	
11. 5	水	2	産業・組織心理学1(動機づけ)	GE CM CM	01 02 03	05 03 02	01 04 02	真船　浩介	
11.19	水	1	産業保健心理学2(産業精神保健)	SO CM	01 03	04 01	01-03 01	江口　　尚	
11.19	水	2	産業保健心理学3(セルフケア支援)	GE GE	01 04	03 01	02 01,02, 05-07	日野　亜弥子	
12.10	水	1	産業保健心理学4(行動経済学・ナッジ)	GE SO	01 06	05 01	03 02,03	江口　　尚	
12.10	水	2	産業保健心理学5(多様性への配慮)	CM SO SO SO	02 04 04 06	01 01 02 01	01 02 01 03	日野　亜弥子	
12.17	水	1	産業保健心理学6(集団へのアプローチ)	IP CM CM GE	02 02 03 04	04 02 02 01	01 01 01 05,07	真船　浩介	
R7.4.11	金	3･4	講義:人間関係論とはどのような学問か？ 小レポート	GE GE CM SO	01 03,04 01-03 04,06	02,03,05		種田　博之	人間関係論
4.14	月	3～5	実習:私たちはどのように見られているか？ 実習レポート	RE CM	01,03 01-03			種田　博之	
4.21	月	3～5	実習:私たちはメッセージをどのように読み取っているのか？　実習レポート	RE CM	01,03 01-03			種田　博之	
4.25	金	3･4	講義:私たちは「現実」をどのように見ているのか？① 小レポート	GE GE CM SO	01 03,04 01-03 04,06	02,03,05		種田　博之	
5.2	金	3･4	講義:私たちは「現実」をどのように見ているのか？② 小レポート	GE GE CM SO	01 03,04 01-03 04,06	02,03,05		種田　博之	
5.9	金	1～4	実習:説明するということはどういうことか？ 実習レポート	RE CM	01,03 01-03			種田　博之	
5.12	月	3･4	講義:「意味」の希求 小レポート	GE GE CM SO	01 03,04 01-03 04,06	02,03,05		種田　博之	
5.19	月	5～7	実習:演技 実習レポート	RE CM	01,03 01-03			種田　博之	
5.29	木	5･6	講義:私はいかにして「私」となっているか？① 小レポート	GE GE CM SO	01 03,04 01-03 04,06	02,03,05		種田　博之	
6.5	木	5･6	講義:私はいかにして「私」となっているか？② 小レポート	GE GE CM SO	01 03,04 01-03 04,06	02,03,05		種田　博之	

年月日	曜日	時限	授業項目（内容）	コアカリ項目				担当者	科目名等
				第1層	第2層	第3層	第4層		
6.20	金	3･4	講義:コミュニケーションをめぐる誤解 小レポート	GE GE CM SO	01 03,04 01-03 04,06	02,03,05		種田 博之	人間関係論
6.27	金	1･2	講義:コミュニケーションプロセスモデル 小レポート	GE GE CM SO	01 03,04 01-03 04,06	02,03,05		種田 博之	
7.4	金	1･2	講義:コミュニケーションにおけるコンテキスト 小レポート	GE GE CM SO	01 03,04 01-03 04,06	02,03,05		種田 博之	
R7.5.1	木	1	自己(1):自己とはなんだろうか	PR	02	02	01	樫本 直樹	哲学概論
5.1	木	2	自己(2)	PR	02	02	02	樫本 直樹	
5.8	木	5	他者(1):他者の心をどうやって知るのか	PR	02	02	01	樫本 直樹	
5.8	木	6	他者(2)	PR	02	02	02	樫本 直樹	
5.22	木	1	心と身体(1):心と身体は別物か	PR	03	01	02	樫本 直樹	
5.22	木	2	心と身体(2) 講義レポート④	SO	04	04	01	樫本 直樹	
5.29	木	1	自由意志(1):自由意志はあるのか	PR	03	01	02	樫本 直樹	
5.29	木	2	自由意志(2) 講義レポート⑤	SO	04	04	01	樫本 直樹	
6.26	木	1	倫理学の基礎(1):倫理的に考えるとは	PR	03	01	01	樫本 直樹	
6.26	木	2	倫理学の基礎(2) 講義レポート⑧	PR	03	01	02	樫本 直樹	
7.3	木	1	主要な倫理学説(1):功利主義とは	PR	03	01	01	樫本 直樹	
7.3	木	2	主要な倫理学説(2)	SO	04	04	01	樫本 直樹	
7.17	木	1	主要な倫理学説(3):義務論とは	PR	03	01	01	樫本 直樹	
7.17	木	2	主要な倫理学説(4)	SO	04	04	01	樫本 直樹	
7.24	木	1	主要な倫理学説(5):徳倫理とは	PR	03	01	01	樫本 直樹	
7.24	木	2	主要な倫理学説(6) 講義レポート⑨	SO	04	04	01	樫本 直樹	
9.10	水	3	生と死(1):死とは何か	PR	03	01	01	樫本 直樹	
9.10	水	4	生と死(2)	PR	03	01	02	樫本 直樹	
9.11	木	1	生と死(3):よりよい死とは	PR	02	02	02	樫本 直樹	
9.11	木	2	生と死(4) 講義レポート⑪	PR	04	01	01	樫本 直樹	
R7.4.14	月	6･7	健康とは何か －植物状態患者および家族から学ぶ	GE	04	01	01	石丸 知宏	医学概論Ⅰ
4.21	月	6･7	医師とは何か －水俣病から学ぶ	PR	01	01	02	石丸 知宏	
5.12	月	5･6	死とは何か 臨床宗教師からのメッセージ(特別講義①)	SO	06	01	01	源 智道(学外)	
5.26	月	3･4	医療とは何か 患者および家族からのメッセージ (特別講義②)	SO	06	01	01	三好 洋介(学外)	
6.2	月	3･4	医療とは何か －薬害エイズから学ぶ	PR	01	01	01	石丸 知宏	
6.9	月	3･4	障害とは何か 重症心身障害者施設管理者からのメッセージ (特別講義③)	SO	04	01	02	岩永 知秋(学外)	

年月日	曜日	時限	授業項目（内容）	コアカリ項目				担当者	科目名等
				第1層	第2層	第3層	第4層		
R7.10.3	金	7･8	認知症の人の置かれた状況 講義レポート①	PR GE	03 04	01 02	01 01	樫本 直樹	病の文学
10.10	金	7･8	認知症を生きる：手記 講義レポート②	CM	01	02	01	樫本 直樹	
10.17	金	7･8	認知症を生きる：手記 講義レポート③	CM	01	02	02	樫本 直樹	
10.24	金	7･8	認知症の人にどう向き合うのか：GW 講義レポート④	GE CM	04 03	02 01	01 02	樫本 直樹	
11.7	金	7･8	認知症の人にどう向き合うのか：発表 講義レポート⑤	CM	03	01	01	樫本 直樹	
R8.1.6	火	3･4	病院地域医療連携	GE GE GE IP	01 01 02 02	03 06 02 04	02,03 05 02 01	野田 雅美 （患者サポートセンター）	医療職概論
1.14	水	1･2	医療提供構造と医療資源	IT IT IP	01 02 02	01 02 04	01 01,02 01	一瀬 豊日（進路指導部）	
1.14	水	5･6	医のプロフェッショナリズム	PR PR PR PR IP	01 01 02 03 02	01 02 03 01 03	01,02 01,02 01,02 01,02 01,02	（医学教育改革推進センター）	
R7.5.20	火	5･6	医療行為と法(1)―医療過誤における法的責任					清水 裕一郎（学外）	法学概論
5.27	火	5･6	医療行為と法(2)―医療過誤が問題となった事例					清水 裕一郎（学外）	
R7.11.27	木	1～4	早期臨床体験実習Ⅰ実習参加の為の基礎講義	GE GE CM IP PR LL	01 01 01 01,02 01-03 01	01 02-04 01,02	01-06	医学教育担当教員	早期臨床体験実習Ⅰ
12.1～5	月～金	1～8	早期臨床体験実習Ⅰ					医学教育担当教員	
12.11	木	2	早期臨床体験実習Ⅰ実習成果発表					医学教育担当教員	
R7.10.7	火	1･2	医療社会学とは？ 小レポート	SO SO SO CS	01 04 06 05	05		種田 博之	医療社会学
10.14	火	1･2	「輸入非加熱血液製剤によるHIV感染」の概要 小レポート	SO SO SO CS	01 04 06 05	05		種田 博之	
10.21	火	1･2	血友病とHIV／AIDSの基礎的知識 小レポート	PS PS PS CS	01 01 03 02	03 04 03 04	11,22 13 02,04,38	種田 博之	
10.28	火	1･2	HIV／AIDSの表象 小レポート	GE CM SO SO	04 01-03 01 04,06	05		種田 博之	
11.11	火	1･2	HIV／AIDSのリスクはどのように評価されたのか？ 小レポート	GE CM SO SO	04 01-03 01 04,06	05		種田 博之	
11.18	火	1･2	治療方法がない状況における医師－患者関係 小レポート	GE CM SO SO	04 01-03 01 04,06	05		種田 博之	
11.25	火	1･2	医師と患者の適正なコミュニケーションとは？ 小レポートならびに課題レポート	PR GE CM SO	01-04 01,03,04 01-03 04,06			種田 博之	

年月日	曜日	時限	授業項目（内容）	コアカリ項目				担当者	科目名等
				第1層	第2層	第3層	第4層		
R7.4.2	水	1･2	生命倫理学とは	PR	04	01	01	石丸 知宏	医学概論Ⅱ
4.9	水	1･2	医療倫理の歴史① ヒポクラテス医学	SO	04	05	01	石丸 知宏	
4.16	水	1･2	医療倫理の歴史② 古代･中世欧州、中国とインド	SO	04	05	01	石丸 知宏	
4.16	水	3･4	医療倫理の歴史③ 近代欧米、日本	SO	04	05	01	石丸 知宏	
4.23	水	1･2	生命倫理学の歴史と原則	PR	4	01	01	石丸 知宏	
4.30	水	1･2	インフォームド･コンセント	CM	02	03	03	石丸 知宏	
5.7	水	2	生命倫理学の実践	PR	04	01	01	石丸 知宏	
5.14	水	1･2	人工妊娠中絶と自己決定	PR	04	01	01	石丸 知宏	
5.21	水	1.2	脳死、臓器移植	PR	04	01	01	樫本 直樹(哲学概論)	
5.28	水	1.2	終末期医療、尊厳死･安楽死(特別講義)	GE	03	06	05	瀬尾 雅子(学外)	
6.4	水	1.2	医療資源の配分	SO	04	07	01	石丸 知宏	
6.18	水	1.2	生命倫理学 研究発表会①	PR	04	01	03	石丸 知宏	
6.18	水	3･4	生命倫理学 研究発表会②	PR	04	01	03	石丸 知宏	
6.25	水	1.2	生命倫理学 研究発表会③	PR	04	01	03	石丸 知宏	
R7.10.14	火	7･8	早期臨床体験実習Ⅱ実習参加の為の基礎講義	GE	02			医学教育担当教員	早期臨床体験実習Ⅱ
10.20～24	月～金	1～8	早期臨床体験実習Ⅱ	GE PR LL IP	03 01-03 01 01,02	05,06 05,06			
10.28	火	8.9	早期臨床体験実習Ⅱ実習成果発表	SO	01	01,03			
R7.4. 8	火	3･4	医療人類学とは	GE	04	02	02	石丸 知宏	医学概論Ⅲ
4. 15	火	3･4	医療人類学の理論と実践	GE	04	02	03	石丸 知宏	
4. 22	火	3･4	医学のアート	CM	01	02	02	石丸 知宏	
4.25	金	1･2	医療訴訟とコミュニケーション	CM	01	02	01	石丸 知宏	
4.25	金	3･4	医療面接の実践演習①	CM	02	03	01,02	石丸 知宏	
5.1	木	6･7	医療面接の実践演習②	RE RE	05 05	01 02	01 01,02	石丸 知宏	
5.1	木	8	研究倫理と利益相反	GE CM	04 02	03 02	02 01	石丸 知宏	
5.15	木	5･6	補完代替医療とアーユルヴェーダ	SO	06	01	03	石丸 知宏	
6. 3	火	1･2	医療人類学 研究発表会①	SO	06	01	02	石丸 知宏	
6. 3	火	3･4	医療人類学 研究発表会②	SO	06	01	02	石丸 知宏	
6.10	火	1･2	医療人類学 研究発表会③	S0	06	01	02	石丸 知宏	
R7.4.1	火	1･2	総論、生と死、死因論	GE	03	06	01	佐藤 寛晃	法医学
4.7	月	1･2	死体現象①	GE	03	06	01	梅原 敬弘	
4.8	火	1･2	死体現象②	SO	03	01	02	梅原 敬弘	

年月日	曜日	時限	授業項目（内容）	コアカリ項目				担当者	科目名等
				第1層	第2層	第3層	第4層		
R8.1.9	金	7	早期臨床体験実習Ⅲ 実習参加の為の基礎講義・医療安全について	GE PR PS LL	01-04 01-03 03 01,02	05		医学教育担当教員	早期臨床体験実習Ⅲ
1.16～22	金～木	1～8	早期臨床体験実習Ⅲ						
1.23	金	5	早期臨床体験実習Ⅲ 実習成果発表						
R7.11.19	水	1･2	エンドオブライフケア	GE	03	06	01,03	石丸 知宏	医学概論Ⅳ
11.19	水	3･4	死に至る心の過程	GE	03	06	02	石丸 知宏	
11.25	火	1･2	終末期患者とのコミュニケーション	GE	03	06	02	石丸 知宏	
11.25	火	3･4	小児の終末期	GE	03	06	04	荒木 俊介(学外)	
11.26	水	1･2	アドバンス・ケア・プランニング	GE	03	06	05	石丸 知宏	
11.26	水	3･4	悲嘆のケア	GE	03	06	06	石丸 知宏	医学概論Ⅳ
12.1	月	2	臨床倫理学の基礎	PR	04	01	02	石丸 知宏	
12.1	月	3･4	臨床倫理学の応用	PR	04	01	02	石丸 知宏	
12.8	月	1･2	臨床倫理学の実践(成人)	PR	04	01	03	石丸 知宏	
12.8	月	3･4	臨床倫理学の実践(小児)	PR	04	01	03	石丸 知宏	
12.10	水	1･2	臨床倫理学 Case Study 実践演習①	PR	04	01	03	石丸 知宏	
12.10	水	3･4	臨床倫理学 Case Study 実践演習②	PR	04	01	03	石丸 知宏	
12.15	月	1･2	臨床倫理学 Case Study 実践演習③	PR	04	01	03	石丸 知宏	
12.15	月	3･4	終末期医療の実際(特別講義)	GE	03	06	03	下稲葉 順一(学外)	
R7.11.20	木	3･4	遺伝子診断や遺伝子治療の倫理、法律	PS	03	01	06	石丸 知宏(医学概論)	遺伝子診断・治療学
R7.12.5	金	5･6	メディカルプロフェッショナリズム：総論	PR	01 03	01 01	01,02 02	石丸 知宏(医学概論)	医の プロフェッショナリズム
12.10	水	7･8	メディカルコミュニケーション	GE CM SO	04 01-03 06	01,02		種田 博之(人間関係論)	
12.12	金	1･2	医療情報管理	IT	01 01 02	01 02 01	01 01 02	村上 玄樹(医療情報部)	
12.12	金	3	チームとしてのプロフェッショナリズム 2	PR GE GE	04 01 03	01 06 06	02 01,02 03	白石 朝子 (緩和ケアセンター)	
12.12	金	4	チームとしてのプロフェッショナリズム 2	GE GE CM CM	01 03 01 02	06 06 02 03	01-03,05 06 01,02 01	藤井 有沙 (緩和ケアセンター)	
12.12	金	7･8	医学研究：臨床研究と倫理	RE	05	02	01	岡田 洋右 (臨床研究推進センター)	
12.15	月	5･6	チームとしてのプロフェッショナリズム 4	GE PR PS CM CM	01 04 03 01 02	06 01 04 02 03	01 02,03 26,27 02 02,04	永田 昌子 (両立支援科学)	
12.16	火	3	医療と倫理:生殖医療と倫理	PR	04	01	03	網本 頌子(産科婦人科学)	
12.16	火	4	医療と倫理:生殖医療と倫理	PR	04	01	01	菅 秀太郎(小児科学)	
12.17	水	5･6	医学研究：研究倫理とプロフェッショナリズム	RE	05	02	01	石丸 知宏(医学概論)	
12.17	水	7･8	医療と倫理：病院倫理委員会と倫理コンサルテーション	PR	04	01	02	石丸 知宏(医学概論)	
12.18	木	6･7	医療と倫理：医薬品の副作用と救済制度	RE	05	02	01	未定 (学外) (薬理学)	
12.22	月	3･4	医学研究：基礎医学研究と倫理	RE	05	01 02	01 02	岡村 匡史(学外) (動物研究センター)	

メドレーカリキュラム

1年次～6年次 医療倫理学

年月日	曜日	時限	授業項目（内容）	コアカリ項目				担当者	科目名等
				第1層	第2層	第3層	第4層		
12.22	月	5･6	医学研究:基礎医学研究と倫理	RE	03 05 05	04 01 02	01 01 02	遠藤 元誉(分子生物学)	医の プロフェッショナリズム
12.22	月	7･8	チームとしてのプロフェッショナリズム 5	PR	02	02	02	鈴木 克典(感染制御部)	
R7.8.18	月	3･4	医療紛争とコミュニケーション	CM	03	02	03	石丸 知宏(医学概論)	症候論統合講義
8.19	火	1･2	臨床倫理4分割法の総演習	PR	04	01	03	石丸 知宏(医学概論)	
8.20	水	3･4	臨床倫理 Case Study (1)	PR	04	01	03	石丸 知宏(医学概論)	
8.20	水	5･6	臨床倫理 Case Study (2)	PR	04	01	03	石丸 知宏(医学概論)	
9.1	月	5･6	臨床現場のInformed Concentの実際	CM	02	01	02	石丸 知宏(医学概論)	
9.8	月	5･6	終末期患者へのアプローチと倫理	GE	03	06	03,05	石丸 知宏(医学概論)	

University of Occupational and Environmental Health, Japan

産 業 医 科 大 学

〒807-8555　北九州市八幡西区医生ヶ丘 1-1　TEL. (093) 603-1611㈹

教務課直通 TEL. (093) 691-7207　FAX. (093) 602-5482

教務課メールアドレス. kyomu1-1@mbox.pub.uoeh-u.ac.jp